

I. 問題と目的

1-1 講義評価とその問題点

1-1-1 教授・学習過程におけるフィードバック情報の役割

教授・学習活動では、教授者が一定の情報を学習者に伝え、学習者がその情報を獲得していく活動が基本となるが、その活動に関するフィードバック情報を参照しつつ活動の調整を行なっていく過程が不可欠である。そのようなフィードバック情報を提供したり解釈する過程を、『評価 (evaluation)』と呼ぶことがある。

『評価』というと、教授者が学習者の学習達成度を評価するときのことを想定する風潮があるが、学習者が自らの学習を評価したり、また、教授者が教授方法の適切性・効率などについて評価することも、『評価』というときの一つの重要な側面を構成している。さらに、学習者が教授者の評価を行なうことも、また、第三者が、教授者や学習者、あるいは、その教授・学習過程そのものを評価するということもあり得る。『評価』は、往々にして、「できる子」、「できない子」といったある次元における学習者のレッテル貼りに陥ることが多く、とくに日本の教育では、『評価』されることを避けて通る傾向がうかがえるが、ここで問題とする『評価』は、あくまで、教授・学習活動において必要不可欠なフィードバック情報の獲得の仕方・解釈の仕方にかかわるものである。

教授側に関する評価は、通常、授業・講義を教授者が行ないながら、同時並行的に学習者の反応を探ることによって暗黙のうちに行なわれているというのが通常であろう。たとえば、ある質問への学習者の反応によって、教授者が伝達を意図した事柄の定着度をある程度知ることができるし、学習者の表情や態度を観察することによっても、学習者の理解度や興味度をある程度推測することができる。しかし、少人数のクラスなど、教授者の配慮がそれなりに行き届く場であればともかく、学習者の数が多くなったり、時間・場所的制約によって、きめの細かい即時フィードバックが難しくなる状況は少なくない。

とくに、放送大学などに代表される遠隔教育という枠組みにおいて、教授者及び学習者がそれぞれフィードバック情報をいかにして得たらよいかという問題は、教授・学習過程における本質的な問題であると共に、一方向的なその教育システムの特徴のゆえに非常に難しい問題ともなっている。放送大学では、一度制作された放送授業は一定の期間そのまま放送され続けることになるが、だからといってフィードバック情報が不要ということではなく、毎学期のフォローアップ指導や、また、その後の授業の改訂の時期においても、講義に関する何らかのフィードバック情報が重要な役割を果たすことはいうまでもないことであろう。

教授・学習という営みは、多くの場合、第三者の目に触れることのない閉じられた場で行なわれる。したがって、その構成要素となる学習者と教授者がフィードバック情報をお互いにやりとりすることが通常であるが、その情報の適格性を保持するためにも、できるだけ客観的な情報を体系的に提供し合うシステムの導入が望まれるであろう。たとえば、試験やレポートは

学習者から教授者へ体系的にフィードバック情報を提供する機会となっているし、また、その結果や通知票の返却は教授者から学習者への体系的なフィードバックということができよう。さらに、学習者から教授者への体系的なフィードバックとして、教授手法に対する印象や学習満足感などの、試験などでは抽出しきれない側面の情報に関する調査法の導入が考えられ、実際の試みもいくつか行なわれてきているのは、教授・学習過程で必要とされるフィードバック情報の多様性からも、当然の成り行きといえることであろう。

そのようなフィードバックは、理想的には、ある相ごとに適宜行なわれることによって、漸進的に教材や授業が修正されつつ形作られていければよい。しかし、「形成的評価」と呼ばれるそのような試みがどの教育システムにおいても可能となるわけではなく、現時点では、研究や特定の教材開発、一部の教育実践など、限られた枠組みで行なわれているに過ぎない。現状の高等教育などでは、とくに即時的なフィードバックとそれを利用した教授法の修正が難しい土壌にあり、教授者と学習者が遊離している傾向にあることは否めないところであろう。高等教育における教授者は、一般に、教授者としての立場のみならず研究者としての立場を併せもっており、その点とも関連して、教育目標を一定のものとして固定することが難しいといった独自の問題点をもっている。それだけに、『評価』の視点を定めにくいということもあるが、それが一つの教授・学習過程の場である以上、評価情報が重要な役割を果たすことは同様のことである。したがって、形成的には難しいとしても、総括的に教授法に対する評価情報を抽出し、それ以降の新たな講義の改訂に役立てるなど、学習者の側からのフィードバック情報を何らかの形で抽出する方法を模索しておくことは意義なしとはしないであろう。

1-1-2 大学の講義評価に関する問題点

「大学の講義評価」は、たとえば、1990年7月30日に報告された『大学審議会大学教育部会における審議の概要』に、「大学評価のシステム」、とりわけ、「大学の自己評価について」という枠組みで議論されており、その評価法として「学生による授業評価等」と例示されているのははじめとして、実際にいくつかの大学でもすでに実施されるなど、日本の高等教育においても徐々に注目されてきているところである。しかし、この動きはむしろ遅きに失するものであり、アメリカなどでは、すでに1920年代の中程から主要な大学で取り入れられはじめ、1970年代に急速に普及し、現在ではごく当然のこととして諸外国の大学教育の中に位置づいており（喜多村、1986；Marsh, 1987；岩永、1988；カミングス、1989）、さらに、標準的な調査もいくつか開発されてきている（Braskamp *et al.*, 1984；Marsh, 1987）。

しかし、講義の評価調査による方法には、多くの問題点が潜んでおり、無批判にそれを取り入れることは、百害あって一利なしとさえいえる微妙な部分をもっている。事実、実際にそれが行なわれているアメリカでも、学生による学期末のマークシート方式の講義評価の無効性を強調する教官も少なくはないという（Lowman, 1984）。しかし、一方で、評価調査が普及するほどの有用性もあるわけであり、むしろ、そこで得られる情報をいかに利用するかということが問題とされるべき段階にあるといえるであろう。そのためには、調査結果の解釈を裏付ける実証的な研究が必要であり、現に、アメリカにおける講義評価の普及の裏には、それについての実に多くの研究がある。1976～1984年の間に、ERICに所蔵されているだけでも1,000を越え

る研究が行なわれているという (Marsh, 1987)。

そこでは、主として以下のような問題点が取り上げられてきている。

① どのような観点から評価すればよいか？

講義評価はさまざまな観点 (次元) から行ない得るが、どのような観点を用意し、それぞれについてどのような質問項目を含めればよいのか、また、それらの観点はどのように関連しているのか、回答者による偏りはないのかといった検討を行なう必要がある。これらに関する研究は、主に、因子分析などの手法を利用し、調査に含まれる質問項目の構造を探ることによって吟味されている (Feldman, 1976 ; Centra, 1979 ; Abrami, 1985 ; Marsh, 1984)。

② 評価尺度の信頼性はどの程度か？

講義評価のある尺度が構成されたとして、その尺度によって得られる指標がどの程度の信頼性をもっているか、どの程度の誤差を含むものであるかという検討を行なう必要がある。信頼性の検討は、主に同様の状況における 2 つの評定値間の相関係数を求めることによって行なわれるが (Marsh, 1984 ; 1987)、そのような状況設定は必ずしも容易ではない。実践的には、評定尺度を構成する質問項目の内部一貫性に関する検討がとりあえず行なわれ、その他のさまざまな種類の誤差要因については研究的・実験的に検討が行なわれることになろう。なお、クラスの評定尺度の平均値は、かなりの安定度を保つことが示されている (Feldman, 1977 ; Centra, 1979 ; Marsh, 1987)。

③ 評価尺度の妥当性はどの程度か？

講義評価尺度に一定の信頼性が確保されたとしても、その尺度が意図された特性を反映しているかどうかという問題が残される。このように、尺度の有意義性に関する検討を、妥当性の検討と呼ぶ。妥当性の検討は、非常に難しい問題をその方法自体に含んでおり、(Messick, 1980 ; Howard *et al.*, 1985 ; Marsh, 1987 ; Abrami *et al.*, 1990)、多特性多方法妥当化、メタ分析、実験的方法など、いくつかの方法によって検討されてきているが、十分確定的な知見が得られている段階ではない。妥当性の検討のための比較的簡単な方法の一つに、関連性があるべきその他の外的基準との間に統計的な関連があるかどうかという検討を行なう方法があるが、それにのっとって、さまざまな集団において、さまざまな外的基準との相関分析を積み重ねていくことも妥当性検討の有力な手段となり得るであろう (大塚、印刷中)。

④ 評価尺度に他の要因のバイアスが含まれてはいないか？

講義評価の尺度にはさまざまな要因が一定のバイアスとして関与し、評価尺度が歪められる可能性が高い。そこで、どのような状況でそのような要因がバイアスとして働いているかを検討しておく必要がある。たとえば、「フォックス博士効果」と呼ばれる現象に関する実験がアメリカでいくつか行なわれてきている。そこでは、ある俳優にフォックス博士なる著名な学者 (架空) を演じさせ、受講学生に講義評定させるとその評定値が高くなるという事実が示されているという (Marsh, 1987)。このような教授者の性格的なものの他にも、学習者の性差・性格・学力 (成績)・好み、教授者と学習者の相性、評定者の立場 (自己評定・同僚の評定・同窓生の評定など)、クラスの規模、評定の目的や時期などによって、どの程度評定値が影響を受けるかという研究がいろいろと行なわれてきている (Centra, 1977 ; 1979 ; Feldman, 1978 ;

Abrami *et al.*, 1982 ; Marsh, 1987 ; Murray *et al.*, 1990)。この種の評定は、予測できないような要因がバイアスとして働き得ることから、それに関する研究の方法論的難しさが指摘されている。これは、妥当性の検討とも相通ずるところがあるが、いずれにせよ、実践的には、同時に取り得るその他の指標との相関関係を記述しておくところから始める必要があるであろう。

⑤ 評価尺度はどのように利用されるべきか？

講義評価尺度は、さまざまな立場から利用され得るが、どのような立場に関してどのような有用性があるといえるであろうか。講義評価尺度は、本来的には、教授者の指導の改訂のために診断的に利用されるべきものであるが、その他にも、学生が講義を選択する際の情報として、管理者側が教授体制の運営のために参考とする資料として、あるいは、教授・学習過程の研究資料としてなど、いくつかの利用可能性が残されている。そのそれぞれの状況において、講義評価情報がどのように役に立ち得るかは、それぞれに調査・研究を要することになる。たとえば、講義途中など比較的短期的にフィードバックしたときは、そのような評価の実施可能性は低くなるものの、その有効性が認められること、また、逆に実施可能性は高くなるが長期的にフィードバックされる情報の効果はあまり大きくないというような結果が示されている (Centra, 1979 ; Marsh, 1987)。また、講義評価情報が、教員の人事にどのような形で取り入れられているかについての調査も行なわれている (Centra, 1979 ; 岩永, 1988)。しかし、この点に関しては、教授者に関する個人的な評価が絡んでくるだけに、研究の枠組みをどのレベルに設定するか、役に立つ基準を何に求めればよいのかなど、難しい問題を多く含んでいる。そのような制約もあって、評価尺度の利用に関する研究は、それほど多く行なわれてきているわけではないが、講義評価を実際に行なう際の非常に重要な観点であり、今後の何らかの調査・研究の積み重ねが期待されるところでもある。

日本では、まだ講義評価が取り入れられている高等教育機関も少ないということもあって、上記のいずれの点においても、研究が数多く積み重ねられているとはいえない。今後、大学審議会の提案などによってもうかがえるように、徐々に講義評価の実施が広がっていく可能性もあり、以上のような観点からの研究を地道に積み重ねておく必要性は小さからぬものがあると思われる。

1-2 放送大学及び放送教材の特殊性

1-2-1 放送大学の特殊性

本論で対象としていくのは、主に放送大学の授業であるが、他の高等教育機関と違い、放送大学にはいくつかの特殊性がある。まず、放送大学は、放送及び通信を主に利用した教授システムをとっており、いわゆる遠隔教育という枠組みにあるということである。また、放送大学は、単なる高等教育機関ではなく、生涯教育をもう一つの柱として標榜している点が特徴的である。この特殊な枠組みの中で、どのように講義に対する評価を行なっていけば効果的かという点が、本論の直接的な目的となっている。したがって、評価調査の枠組みは、単に高等教育

における講義評価ということにとどまらず、遠隔教育・生涯教育というより広い枠組みにおける評価のあり方を模索していくことになる。そこでは、以下にあげられるような特徴や問題点を特に留意していく必要があるであろう。

① 一方的システム

放送で授業が進められるということは、教授者と学習者が同一の場にはいないということであり、学習者の理解度や反応の即時フィードバックが不可能であるために、講義評価調査のような形での体系的なフィードバックシステムは、他の高等教育機関で行なわれている講義に比べて必要度がより高いであろう。なお、遠隔教育における評価システムについては、我国より先行している諸外国において、コースチームなどに評価担当者が加わるなど、いくつかの試みがなされており（Nathenson *et al.*, 1981）、制度的な違いを越えても参考になる部分はあると思われる。

② 授業の教材利用可能性

授業が放送されるということは、それが VTR などに収録されているということであり、その時点で、授業としてだけでなく、講義そのものが教材としての役割を果たす可能性が生じてくる。そこで、放送教材などを、他の高等教育機関や社会教育などの場で再利用していくなど、その利用可能性を模索することに意義が生じてくるばかりでなく、先に触れた講義評価尺度の検討のために多くの立場からの評価データを集積し得る条件を備えることになる。

③ 授業制作者の立場

放送という形をとるためには、教授者一人で講義を作ることは不可能であり、必ず放送番組を制作するための制作者が補佐することになる。すなわち、講義を作るということに関しては、教授者のみならず、教授者と制作者という二つの立場を想定する必要があるということである。これは、講義評価の次元に、番組としての評価次元を加える必要性のあることを意味するものである。

④ 異種メディアの連携

学習者は、放送授業と共に、印刷教材という別のメディアの教材も利用することになるので、異種メディアの連携に関する評価情報が必要とされることになるであろう。

⑤ 生涯教育・自己学習という観点

生涯教育という観点からすれば、放送授業・教材の利用者の範囲が広範になり、どのような層において、どのような評価がなされるかというより詳細な評価情報の記述がなされる必要がある共に、単に高等教育の枠組みのみならず、学習への動機づけや方法に関する知識など、自己学習を促進するための要素が評価次元として重視される可能性があるであろう（大塚、1988b）。

1-2-2 放送大学学生調査と放送教材貸与事業

以上のような枠組みにおいて、講義・教材評価に関する基礎的資料を集積していくための手段として利用できる研究事業として、放送教育開発センターでは、現在2つの研究プロジェクトがある。一つは、放送大学学生調査であり、もう一つは、放送大学放送教材貸与事業である

(図1参照)。

放送大学学生調査では、すでに、放送授業・印刷教材などに関する科目ごとの評価調査を行っている(大塚・他、1987)。しかし、一人の学生が複数の科目を選択しており、そのそれぞれに多くの項目を用意することは、回答の負担が極端に増すことになり、比較的少数の項目によつての評価調査しかできないという制約がある。したがって、それだけでは、先に述べた評価尺度に関する基礎的な分析が十分にできたとはいえない段階にある。また、講義評価項目に関与すると思われるバイアスの要因に関する分析は、放送大学だけを対象にした調査研究では限界がある。

その点で、放送大学の放送授業を、他の高等教育機関で教材として再利用する可能性を模索するための機会として、1986年度より放送教育開発センターと放送大学が連携して始められた「放送大学放送教材等の貸与事業」を通して得られる他大学の教官などの評価情報は、直接、放送大学の講師・制作者へのフィードバック情報としてのみならず、学生による講義評価項目の有効性を補佐する基礎資料としても重要な役割を果たすことになる。

「放送大学放送教材等の貸与事業」は、次のような手続きを経て行なわれている。

① 対象科目の選定

貸与の対象とする科目の選定は主に以下のような観点から行なっている。

- (1) 著作権処理費用の勘案
- (2) 専攻分野のバランス
- (3) 受講学生数・印刷教材販売数の配慮
- (4) 貸与希望の需要の配慮
- (5) 主任講師の専任教員、客員教員のバランス
- (6) 前年度配布科目

② 配布機関の選定

教材の配布対象機関の選定は、以下の高等教育機関を中心に、できるだけ多くの高等教育機関を対象とするよう努めている。

- (1) 放送大学の運営上の協力大学(各学習センターとの連携協力大学)
- (2) 放送大学の地域拡大等に関連する大学
- (3) 単位互換実施大学・短大
- (4) 公開講座実施大学
- (5) 通信教育制大学・短大
- (6) 国立高等専門学校
- (7) その他
 - a. 単位互換推進意向大学・短大
 - b. 単科大学(医、工、農系)
 - c. 学長その他教員が放送教育に熱心な大学など
 - d. 地方公共団体など

以上の基準に基づいて選定された各機関に対して、貸与教材希望調査を行ない、回答のあつ

た機関に放送大学の教材を複写・貸与することとしている。

③ 教材送付と調査の実施

アンケート調査が添付された放送教材は、一旦、各高等教育機関の事務担当者に送付され、そこから、それぞれの教官等に貸与される。貸与された教官等は、放送教材等をさまざまな方法でモニターした上でアンケートに回答し、事務担当者に提出する。なお、アンケート調査への回答は、教材を利用する教官が中心となるが、教官に限ることなく、実際の指導に利用した場合には、その学習者でも回答可とし、できる限り幅広い層からの回答を期待している。アンケート調査は、事務担当者が一括し、高等教育機関ごとに郵送にて回収される。

以上のような手続きによって行なわれる教材のモニター調査は、各教材について、学生調査に比べて密度の高い質問項目を構成できる余地があり、また、大学の教官が担当するという点で、多少なりとも専門家の目からの教材評価が可能となるという点で、学生の評価とは異なった側面からの評価情報のフィードバックが期待できる。しかし、いかに専門家といえども、前節に触れた評価調査に関する基本的問題点は検討を経なければならない事項であり、調査に含まれる項目への反応を詳細に記述しておくことが、まず必要とされるところであろう。

なお、前項の学生の講義評価という枠組みにおいて、生涯教育のまさに一事例でもある放送大学の学生に対しても、同様の評価調査を行なえば、評価調査項目の特徴の記述の幅を広げることが可能となるので、両調査の連携が望まれるところであろう。

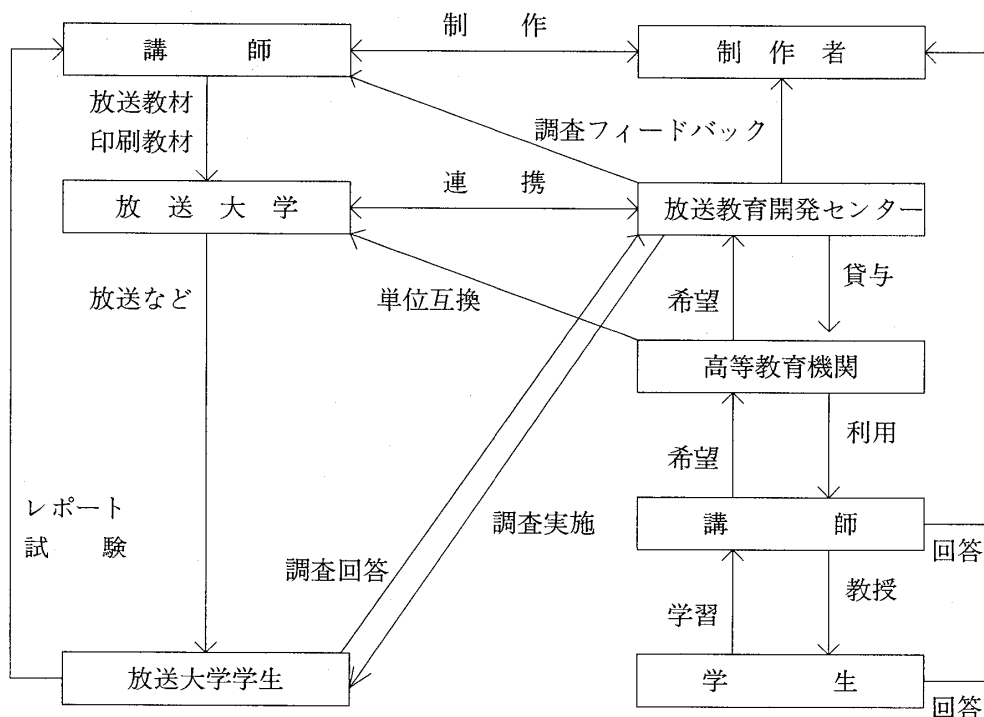


図1 放送大学放送教材等の配布事業の図式

1-3 本論の目的

以上の議論を踏まえ、本論は、放送大学の講義・教材に関する2つの調査（『放送大学放送教材に関する調査』・『放送大学教材についての学生調査』）を通して、遠隔高等教育における講義・教材評価調査のあり方を模索すると共に、その調査に対する反応を的確に記述し、蓄積していくことを主たる目的とするものである。より具体的に、本論で目的とすべき点をあげるとすれば、以下のような諸点をあげることができるであろう。

- ① 講義・教材評価調査の形式や質問の枠組みをどのように設定するかを検討すること。
- ② 講義・教材評価調査に含まれる質問項目はどのような構造（次元）をもっており、それらがどのような関連性にあるかを記述すること。
- ③ 講義・教材評価調査の反応は、被調査者の属性や講義・教材の特徴などによってどのような影響を受けるかを検討すること。
- ④ 講義・教材によって学習する立場（学生）と、それを利用する立場（教官）で、評価調査への反応にどのような異同がみられるかを記述すること。

II. 1986年度『放送大学放送教材に関する調査』より

2-1 目 的

本調査は、前章で触れた放送大学の放送教材等を各種高等教育機関に貸与する事業に付随して行なわれたものである。その事業では、放送大学の放送教材・印刷教材に関する、第三者の、とくに専門家の意見を評価情報として抽出することと、各種高等教育機関においてそれらがどのような利用可能性があるのかを模索することを目的としている。本調査は、その点に関する情報を抽出する道具としての役割を果たすものである。本論は、その事業の目的に関する直接的な結果報告に力点をおくというよりは、むしろ、道具としての評価調査のあり方についての検討に力点をおくものである。

前章で触れたように、講義などの評価調査に関する問題点が残されており、とくに我国ではそれに関する研究の積み重ねがほとんど行なわれてきていないという現状においては、道具としての有効性に関する検討を十分に経ておくことは、道具を利用した結果を云々する以前に行なわれるべき必須の条件であるといえよう。そこで、ここでは、遠隔教育としての放送大学における講義・教材評価調査のあり方を検討するための基礎資料として調査結果を詳細に記述すると共に、質問項目間の相関分析を通して評価調査の構造・バイアス要因などに関する検討を行なうことを第一義的な目的としたい。

2-2 方 法

2-2-1 実施方法と対象

実施手続き

本調査は、郵送法による質問紙調査で行なわれた。前章で述べたような放送大学放送教材等の貸与事業の一部として、配布教材に質問紙調査を付して各高等教育機関の教材利用担当者に送付し、一定の期間の後に郵送にて調査用紙を回収した。本調査における教材の貸与時期は、1986年12月、調査回収時期は1987年7月であった。

対象科目

貸与事業の対象となった科目は、前章であげたような基準に基づいて選ばれた、以下の32科目であった。

〔テレビ科目〕

地球と宇宙・日本の自然・生活と芸術・心理学概論Ⅰ・基礎化学・英語Ⅰ・住居Ⅰ・食物総論・乳幼児の健康と心理・日常生活と法・日本経済史・経営管理Ⅱ・計測と制御・宗教理論と宗教史・脳と行動・データ解析法

〔ラジオ科目〕

人間の歴史・人間と社会・哲学の基礎・国家と法Ⅰ・英語Ⅱ-A・英語Ⅱ-B1・英語Ⅱ-B2・
中国語・青少年の保健Ⅰ・児童の心理と教育・教育思想・政治思想Ⅰ・中小企業論・流通
と商業・和文古典Ⅰ・物理科学史

被調査者

被調査者となったのは、各高等教育機関（大学・高専・短大など）の教官がほとんどであった。なお、貸与した教材に関しては、利用者は複数であってもよく、また、一人の利用者が何種類かの教材を視聴することも可能であり、その点に関する統制を取ってしなかったこともあって、調査の回収率や回収の偏りに関しては検討することが困難となっている。回収されたサンプルの属性分布を通して、この調査標本の特徴を一応押さえておくこととしたい。

表1-1などを参照すると、回収総数978通のうち、男性が90.1%、回答者平均年齢45.9歳、所属機関としては、国公立大学48.7%、高専26.3%、私立大学20.5%、職種としては、教授40.6%、助教授32.8%、講師14.2%などとなっており、主な被調査者像として、中・高年男性の大学教官をイメージできる。この調査を、後述する『放送大学学生調査』と区別して、『専門家調査』と呼ぶことがあるのは、この被調査者の属性の分布に基づいて。

科目の分類別にみた被調査者の分布では、テレビ科目78.5%、ラジオ科目21.5%、理科系科目（産業と技術・自然の理解・自然系など）56.8%、文科系科目（外国語科目・理科系科目を除く残りの科目）43.2%、基本・基礎科目30.6%、外国語科目12.6%、専門科目56.9%といったところである（いずれも有効回答数に対する割合）。

2-2-2 質問紙調査の構成

本調査は、先に述べてきたように、講義・教材の評価項目を、教授者の立場からのみならず、制作者の立場から有用と思われるものも併せて含めること、また、評価項目の妥当性・バイアスの影響などの検討のために、被調査者の属性・科目の特徴を抽出する項目を含めること、さらに、教材の高等教育機関での利用可能性を探る項目を含めること、などに留意して構成した。また、最初の調査ということもあって、自由記述欄を比較的多く設けて、質問項目の過不足を探る手がかりとするように留意した。その質問紙原票は、資料1に示した通りである。その構成を概観すると以下の通りとなる。

被調査者・科目等の特徴

- ① 被調査者の属性に関する質問項目（表紙：性別・年齢・所属・職種など）
- ② 被調査者の所属する高等教育機関の設備に関する質問項目（Q04.テレビ・ビデオ・ラジオ・テープレコーダー）
- ③ 対象とする科目・教材に関する質問項目（Q01.科目名；Q05.番組の形式）
- ④ 被調査者の教材視聴程度に関する質問項目（Q02.視聴の量的割合；Q03.視聴の質）

教材評価項目

- ⑤ 放送教材の制作的観点からの質問項目（Q06.場面・素材の量的評定；Q07.場面・素材に関する改善点）
- ⑥ 講師及び講義の構成に関する質問項目（Q08.講師・講義の印象評定；Q09.講師・講義に関

する改善点)

- ⑦ 放送教材に関する全体的な印象に関する質問項目 (Q10.興味・理解・工夫・満足度・印刷教材など)

教材の利用可能性

- ⑧ 放送教材に関する利用可能性についての質問項目 (Q13.授業・参考資料・等)

- ⑨ 放送教材に与えられ得る高等教育機関での単位数についての質問項目 (Q14.条件・単位数・理由)

自由記述

- ⑩ 放送教材に関する自由記述項目 (Q11.改善点; Q12.印象; Q15.希望教材; Q16.調査への意見)

2-3 分析結果

2-3-1 調査回答者の各下位集団別調査結果

調査への回答結果は、まず、ある被調査者がある科目に回答した一単位の調査票についての回答を一つのケースとみなして集計を行なった。したがって、ある被調査者がいくつかの科目について視聴した場合には、その科目数分だけ同じ被調査者の回答したものとなるが、それぞれを独立のケースとして集計を行なったことになる。なお、科目ごとの基礎集計結果は、公開することは微妙な問題も絡んでおり、さらに、本研究自体が研究途上ということもあり、内部資料として別冊にまとめた。

なお、以下の統計的分析は、すべて放送大学の FACOM760/780 にインストールされた SAS-Ver. 5.18 によって行なった。

調査の基本的集計結果を表 1 に示す。表 1 は、「総計」の欄に、回収データすべてを対象としたときの有効回答（無記入・判読不可能項目を除く）に関する基礎的な集計結果が示されている。

表側のカテゴリー

表側は、「性別」、「年齢群」、「所属機関」、「職種」が被調査者の属性に相当するものであり、また、「メディア」、「理科系・文科系」、「理文×メディア」、「科目分類」は、それぞれ対象科目の属性である。なお、「理科系・文科系」の分類は、基本・基礎科目における「自然系」、専門科目の「産業と技術」、「自然の理解」に含まれる科目を理科系科目とし、その他の基本・基礎科目、専門科目（外国語科目を除く）を文科系と分類したものである。「理文×メディア」は、「メディア」、「理科系・文科系」のカテゴリーをクロスさせたものである。以下、Q01 から調査票に並べられてある質問項目の順に、反応カテゴリーが並べられている。途中、「講義形態×メディア」とあるのは、Q05 で「講師一人の形式」と「それ以外」に分類したものを「講義形態」という 2 値変数とし、その名義変数と「メディア」のテレビ・ラジオの 2 つのカテゴリーをクロスさせたものである。また、Q14 の「相当単位数」は、任意の数で回答してもらったものを「0」～「3 単位以上」の 4 つのカテゴリーに分類したものである。

有効回答数

表側には、各質問項目のカテゴリーと共に、「有効回答数」、「平均値」といった欄がある。「有効回答数」は、表頭にあるカテゴリーに含まれる有効回答数を示したものである。ただし、Q06に関しては、「9 非該当」に回答したものは欠損値とし、また、ラジオ科目については、「9 非該当」のある項目はすべて欠損値扱いとし、有効回答数に含めなかった。また、Q05、Q07、Q09、Q13で、すべての項目に○が付けられていたり、逆にまったく○が付けられていない回答がいくつか見られたが、問の趣旨から外れた回答とみなし欠損値扱いとした。さらに、Q07、Q09については、明らかに入力ミスと思われる部分が最終的に発見されたので、その部分は欠損値扱いとした。Q07、Q09の A. に関して、B～X と有効回答数が異なっているのはそのためである。

以上の有効回答数を100%としたときの各質問項目のカテゴリーに含まれるケースの割合を%で表わしたものが「有効回答数」の下、各カテゴリー名の行に表示されている。たとえば、表1-1（その1）では、その最上行の数字は、全体の回答総数が978、男性の有効回答総数が861、女性が95、などを示し、また、その下は、性別に関する有効回答総数が全体では956、それを100%としたとき、男性の占める割合が90.1%、女性の占める割合が9.9%、などを示したものである。

平均値

「平均値」は、たとえば、Q10のように、「1 非常にそう思う」～「5 非常にそう思わない」などの段階評定を行なったときの対応する数値「1」～「5」を表頭のカテゴリーに関して平均した値を示したものである。すなわち、その数値に該当カテゴリーの割合をかけて合計した値に等しいものである。反応の偏りなどを概観するときに、この平均値を参照すると便利であろう。なお、年齢に関しては、記入された年齢の平均値を、「平均値」と記された行に示している。また、Q01の科目に関しては、少数の科目もあり、「%」ではなしに「実度数」を示した。

表頭のカテゴリー

表1-1の表頭に並べてあるカテゴリーは、性別・年齢群・被調査者の所属機関の主要なカテゴリーであり、それぞれのカテゴリーに該当するケースにおける有効回答に関する基礎集計結果がその下に示されている。

表1-2の表頭に示したものは、大学を所属機関とする者の職種（高専・短大を除く）、対象科目のメディア・科目分類・理文別のカテゴリーである。さらに、表1-3は、対象科目の理文×メディア・講義形態・講義形態×メディア別のカテゴリーが表頭に並べられてある。

表1-4の表頭は、Q02の視聴量に関するカテゴリーを、「5 週分以下」、「6～11週分」、「12週以上」の3カテゴリーに再分類したもの、Q03の視聴質に関するカテゴリーのうち、「じっくり視聴せず」、「ほとんど表面的」というカテゴリーをまとめて3分類にしたもの、Q13の利用可能性の質問項目に関しては「1」～「4」の4つのカテゴリー、そして、Q14の相当単位数の3つの分類カテゴリーを並べたものである。

主な結果

① Q02〔視聴量〕

「15週分全部」を視聴した被調査者が30.8%、「9 週分以上」視聴した被調査者が51.4%となっている。

② Q03〔視聴質〕

「かなりじっくり視聴」した被調査者32.1%、「ある程度じっくり」視聴した被調査者55.5%となっている。

③ Q04〔設備〕

利用可能な設備は、「テレビ」54.5%、「ビデオ」61.2%、「ラジオ」47.1%、「テープ」53.8%となっている。

④ Q05〔講義形態〕

「講師一人の形態」が61.3%を占める。

⑤ Q06〔放送教材の量的評定〕

多いと評定された項目は、A.講師の登場時間(2.11)、L.内容を説明する時間(2.57)、K.講義内容の分量(2.68)。少ないと評定された項目は、G.寸劇などの利用頻度(4.21)、J.演習問題などの利用頻度(4.09)、C.コンピュータ・グラフィックやアニメーションの利用頻度(3.88)、R.事実を証言する証人の登場頻度(3.86)、P.視聴者に問いかけをする頻度(3.78)などとなっている。

⑥ Q07〔放送教材の量的改善点評定〕

P.問いかけの頻度(31.3%)、M.視聴者の考慮時間(28.0%)、N.息抜きの時間(21.6%)などとなっている。「その他」の自由記述には、A～Sの補足や、「改善点はとくにない」といったもの、また、量的な点でなく、質的な点に言及したものなどに分類できる。

⑦ Q08〔講師の印象評定〕

B.清潔(2.27)、E.暖かい(2.51)、D.親しみやすい(2.55)という印象が強い方向で評定され、A.派手な印象(3.51)が弱い。

⑧ Q08〔講義の進め方の印象評定〕

I.話し方が明瞭(2.41)、O.わかりやすい(2.44)、R.すっきりした話し方(2.54)、N.説得力がある(2.55)、S.素材提示の仕方が適切(2.55)といった印象が強いという方向で評定され、Q.まわりくどい話し方(3.45)、M.ユーモアがある(3.40)といった印象が弱いという方向で評定されている。

⑨ Q09〔講師の改善点〕

D.親しみやすさ(23.2%)がもっとも選択率が高くなっている。

⑩ Q09〔講義の進め方改善点〕

M.ユーモア(38.4%)、S.素材提示の適切性(21.8%)、O.わかりやすさ(21.2%)などとなっている。「その他」の自由記述では、「改善点が特になし」、「申し分なし」といった肯定意見がかなりあったほか、講師が複数の教材に関しては、回答のしにくさを指摘するものもあった。

⑪ Q10〔教材の全体的評定〕

質問項目に「そう思う」と同意する者の多い項目(平均値2.5以下)は、31.何らかの形で利用価値のある教材(1.78)、37.講師の人選は適切(2.03)、5.役に立つ番組(2.04)、30.興味深い番組(2.07)、1.内容の範囲は適切(2.15)、46.全体的に満足のいく番組(2.24)、35.基本が身につく講義(2.26)、3.単位数にふさわしい内容(2.40)、7.講義の概要が最初に適切に示されている(2.40)、27.1回の講義時間は適切(2.41)、19.具体例が適切に取り入れられ

ている(2.43)、6.わかりやすい番組(2.44)、8.まとめが要所で適切になされている(2.44)、4.面白い番組(2.45)、25.内容のレベルが適切(2.46)、29.カリキュラムの組み方は適切(2.46)、26.講義の進度は適切(2.47)、9.どこが重要なポイントかがよくわかる(2.48)、22.印刷教材と適切に関連している(2.48)などであり、逆に「そう思わない」者の多い項目(平均値3.5以上)は、44.印刷教材に演習などが適切に含まれている(3.57)、21.必要以上に専門用語が使われている(3.51)となっている。

⑫ Q13〔放送教材の利用法〕

「授業の参考資料(68.5%)」、「図書室などで自主的な利用(54.6%)」への回答が多く、「授業で全面利用(7.8%)」、「利用したいと思わない(2.6%)」への回答が少ない。「その他」の記述は、上記選択肢への選択理由の他、「サークル活動、課外活動などでの利用」が若干あった。

⑬ Q14〔相当単位数〕

2単位40.4%、0単位25.9%などとなっている。コースとしては、科目によっていろいろであるが、「教養課程」、「専門課程」、ものによっては「教職課程」などがあげられている。

2-3-2 調査項目の因子分析結果

質問項目のまとまりごとに因子分析を行なった結果を表2に示す。因子分析は、主成分分析(共通性の推定値を1とする主因子解)に基づき適宜選ばれた因子をプロマックス回転(バリマックス回転解の因子負荷量の3乗値をターゲットマトリックスとする斜交プロクラステス回転解)する方法によって行なった。表2には、主成分分析の因子負荷量行列及びプロマックス回転後の因子負荷量行列を示した。斜交回転解の因子間相関と因子構造については、表4の各因子得点尺度間の相関係数及び因子得点尺度と各項目の相関係数によってそのおおよそのところを知ることができる。

表2の中で「**」、「##」等の符号の付けられた項目は、因子負荷量の絶対値の大きいものである(各表の注を参照)。それらの項目の特徴によって、各因子分析におけるプロマックス回転解の因子の特徴を以下のようにまとめておくことにする。

① Q06因子分析(視覚素材についての項目を除く)

主成分分析では、第1因子の寄与がかなり大きく、「内容量」に関する項目と「印刷教材」に関する項目を除き、絶対値が0.5を越える因子負荷量を示している。中では、「講師の登場時間」のみが負の因子負荷量となっている。講師の登場時間が増えるほど、「VTR」、「ゲスト」、「寸劇」、「証人」などの利用頻度が減り、「考慮時間」、「問いかけ」、「息抜き」、「演習問題利用」などの視聴者の関与する余裕が少なくなるという関連性があることがうかがえる。第2因子では、逆に、「講師の登場時間」が、「内容の分量」、「説明時間」とともに、「印刷教材参照」、「演習問題利用」、「考慮時間」、「息抜き時間」などと正の関連をもつようにも表われている(表2-1-1)。

プロマックス回転を行なうと、以下のような特徴をもった因子に項目が分類された(表2-1-2)。

第1因子＝メディア特性(VTR、ゲスト、寸劇、証人)の活用度(講師登場時間は負)

第2因子＝視聴者考慮機会(問いかけ、息抜き)の配慮(内容説明時間も正で関与)

第3因子＝印刷教材利用頻度（演習問題利用を含む）

第4因子＝講義内容量の多さ（講義時間、説明時間）

② Q06因子分析（視覚素材についての項目のみ）

視覚素材に関する項目に関しては、主成分分析により一因子性が強いことがうかがえる（表2-2-1）。プロマックス回転後、以下の3つの項目群に分類ができた（表2-2-2）。

第1因子＝実資料素材利用頻度

第2因子＝黒板・図版利用頻度

第3因子＝アニメ・実験導入頻度

③ Q07因子分析（視覚素材についての項目を除く）

改善点に○を付けさせる方式の項目で、選択率がすべて3割以下であり、相関分析には本質的に不向きな項目であるが、参考のために出力した。主成分分析でも、一つの因子に因子寄与が偏ることなく、プロマックス回転後と比較的似たパターンを示している（表2-3-1）。プロマックス回転後（表2-3-2）は、以下のような項目群に分けられたが、「講師登場時間」が第2因子でもやや高く（特に、主成分分析でその傾向がみられるが）、たとえば、語学系の科目では、講師の登場時間を減して寸劇や演習を多くすべきであるとか（第5因子）、また、さまざまな技術に関する科目や、社会の実情を資料とするような科目では、講師の登場時間を割いて、ゲストや証人、VTRなどをもっと利用すべき（第2因子）というように、特定の分野に特有の関係が「講師登場時間」をめぐるいくつかの因子に表われていることが考えられる（表1-2（その8）などを参照のこと）。

第1因子＝講義内容量の多さ改善

第2因子＝ゲスト等登場時間改善

第3因子＝息抜き・視聴者考慮機会の改善

第4因子＝問いかけ・印刷教材参照頻度等改善

第5因子＝講師登場時間・演習問題参照頻度等の改善

④ Q07因子分析（視覚素材についての項目のみ）

主成分分析では、一因子性がやや見られるが、Q06の視覚素材についての項目同様、以下の3つの項目群に分けることができた（表2-4-2）。

第1因子＝実資料素材利用度改善

第2因子＝黒板・図版利用度改善

第3因子＝アニメ・実験頻度改善

⑤ Q08因子分析（講師のパーソナリティ）

項目内容に関するバランスの影響もあって、一因子性が若干強くなっているが、プロマックス回転後、以下の3つの因子に分類できた（表2-5-2）。

第1因子＝講師の親しみやすさ（暖かさ、清潔感、活動性）

第2因子＝講師の堅さ（厳しさ、緊張）

第3因子＝講師の派手さ（派手さ、活動性、負の関連として清潔感）

⑥ Q08因子分析（講師の講義の仕方）

主成分分析では、「話すスピード」を除いて、非常に一因子性が高くなっており、「わかりや

すさ」、「おもしろさ」が関連していることがうかがわれる(表2-6-1)。プロマックス回転後、第1因子は、やや「わかりやすさ」が強調され、第2因子に「おもしろさ」に関する項目が高い因子負荷量をもつようになっている。第3因子に「堅さ」、「まわりくどさ」などが高い因子負荷量をもち、第4因子は、「スピード」に関する独自因子となっている(表2-6-2)。

第1因子＝明解な話し方(明瞭さ、説得力、すっきり、わかりやすさ、話術の巧みさ、間、表現力の豊かさ、素材提示の適切性)

第2因子＝面白味のある話し方(ユーモア、話術の巧みさ、表現力の豊かさ、負の関連として言葉遣いの堅さ)

第3因子＝話し方の堅さ・簡潔性(まわりくどさ、堅さ、負の関連としてすっきりさ)

第4因子＝話す速さ

⑦ Q09因子分析(講師のパーソナリティ)

Q07と同様、相関分析には必ずしも向いていない質問項目であるが、プロマックス回転後、Q08の評定とほぼ同様の3つの項目群に分類された(表2-7-2)。

第1因子＝講師の親近感改善

第2因子＝講師の堅さ改善

第3因子＝講師の活動性改善

⑧ Q09因子分析(講師の講義の仕方)

Q08に比べ、「わかりやすさ」と「おもしろさ」がはっきり分離してそれぞれの因子(第1、第3)にまとまっている点、「言葉遣いの堅さ」と「話しの簡潔性」が分離した因子(第3、第4)となっていること等が特徴的である(表2-8-2)。

第1因子＝話しの明解さの改善(説得力、素材提示適切、わかりやすさ、明瞭さ)

第2因子＝話す速さ・間の改善(間、スピード)

第3因子＝話しの豊かさの改善(話術巧み、ユーモア、表現力の豊かさ、言葉遣いの堅さ)

第4因子＝話し方の簡潔性の改善(まわりくどさ、すっきり)

⑨ Q10因子分析

総合的な教材への好感度といった点で、主成分分析では一因子性が非常に強くなっている(表2-9-1)。プロマックス回転後、以下の8つの項目群に分類された(表2-9-2)。

第1因子＝講義内容質量の適切性(分量、進度、情報量、講義時間、レベル、内容の適切性、カリキュラム、基本、ペース作り)

第2因子＝視聴者理解の配慮工夫(問い、動機づけ、リズム、疑問への配慮、息抜き、概念導入適切)

第3因子＝番組への満足度(面白い、興味、有用、利用価値、満足、講師人選、わかりやすい、具体例、負の関連として改善点の多さ)

第4因子＝番組の実用性(実務に応用、実用的、生活に密着、印刷教材の演習、時宜を得た素材)

第5因子＝要点提示の適切性(まとめ、講義概要、ポイントが明確)

第6因子＝難解性・専門度・進度

第7因子＝図表提示の適切性(図表適切、図表提示の工夫、利用メディア活用)

第8因子＝印刷教材の適切性（印刷教材に要工夫、負の関連として印刷教材と対応適切、印刷教材充実）

2-3-3 調査項目による因子尺度偏差値の特徴

前項のプロマックス回転によって求められる因子得点を、平均50、標準偏差10の偏差値に変換した得点を各因子の因子尺度偏差値と呼ぶことにする。なお、各項目において、項目の記述にあてはまる方を小さい値として評定する形となっているので、因子尺度偏差値を求める際に、因子の特徴を表わす語（前項参照）の程度が高い方を大きい因子尺度偏差値の値になるように、改善点を問うたQ7、Q9以外は、正負を反転して偏差値得点を算出している。ただし、否定的な質問項目が正の因子負荷量となっているQ10の第8因子のみ、そのまま偏差値得点を算出している。各項目の評定値と因子尺度偏差値の正負の関係は、表4の相関係数によって確認されたい。

これらの因子尺度偏差値が、表1の表頭に分類したカテゴリーごとにどのような分布の特徴をもっているかを要約する統計量を、表3に示した。各因子尺度偏差値ごとに、有効度数、平均値、標準偏差、歪度、最小値、最大値が示されている。歪度は、分布の歪みを示すものであり、左右対称の分布のときに0、大きい値に分布の裾を長く引くような歪みをもつ場合に正值、その逆の歪みのときに負値となる。偏差値の場合、正規分布に近い分布であるならば、30より小さくなったり、70より大きくなる値をとる可能性はほぼ5%であり、ほとんどが20～80の尺度値となる。したがって、最小値が20より小さくなる場合や、最大値が80より大きくなる場合には、分布が正規分布からずれた形となっているか、その値が極端に外れた値になっていることを示唆するものといえる。歪みが大きい場合や、外れ値が含まれる場合には、平均値の解釈には注意を要するので、歪度・最小値・最大値などとも併せて、各下位集団の因子尺度偏差値の特徴を把握していくことが望まれる。

2-3-4 調査項目及び因子尺度偏差値の相関

前項に述べた因子尺度偏差値、評定者の属性や対象科目の属性に関する2値データに関しては、それを含むその他の項目との間の相関係数行列を求めた（表4）。これによって、たとえば、メディア（テレビ・ラジオ）によって影響を及ぼされる因子尺度偏差値にはどのようなものがあるか、評定者の年齢によって影響を及ぼされるものはどんなものか、といった検討の資料とすることができる。また、因子尺度偏差値間の相関係数は、プロマックス回転解の因子間相関係数に相当するものになり、また、因子尺度偏差値と、その因子分析に投入された項目評定値との相関係数は、因子構造（因子得点と素データの相関係数）に相当することになる（正負を反転しているので因子構造そのものではない）。

表頭に、主な因子尺度偏差値、及び、主な項目名が、表側には、それらの他に、調査に含まれるすべての項目が並べられており、それぞれの尺度・項目のクロスする点にそれらの相関係数が示されている。相関係数に付された記号は、相関係数の無相関検定の有意水準を表わすものではなく、相関係数の大きさに関する記号で、表下に注として記されているので参照されたい。無相関検定は、データ数がある程度多いこと、各変数の正規性の保証が事前に確認されて

いるわけではないことなどから、ここではそれほど有効な方法ではないということに注意されたい。

主な結果

① Q6、Q7〔放送教材の量的評定（表4-1-1、4-1-2）〕

Q6の因子間相関は、視覚素材に関する尺度において、「実資料素材利用度」と「黒板・図利用度」、「アニメ・実験利用度」の間にやや低い相関があり、また、それは量的評定因子尺度の「メディア活用度」、「視聴者考慮機会」と相関がみられる。視覚素材などメディアの活用度は、Q10「視聴者理解への配慮工夫」尺度と相関がみられる他、視覚素材利用に関する3つの尺度は、Q10「図表提示の適切性」との関連がみられる。Q6「視聴者考慮機会の頻度」は、Q8「講師の親しみやすさ」、「講師の明解な話し方」、「面白味ある話し方」などとやや低い相関がみられる。Q7の改善点評定に関しては、Q7内部での因子間相関がほとんどないほか、「内容量の改善」尺度がQ10「講義内容の適切性」尺度と負のやや低い相関があるのが観測される程度である。Q6の量の大小評定そのものと、改善点との間には顕著な関連性は観測されなかった。

② Q8、Q9〔講師・講義の仕方の評定（表4-1-3、4-1-4）〕

Q8の講師についての因子間相関はほとんどないが、講義の進め方に関する評定では、「明解な話し方」と「面白味ある話し方」が正の、「話し方の堅さ」尺度と負の内部相関がみられる。「講師の親しみやすさ」は、「明解な話し方」、「面白味ある話し方」とかなりの相関が、また、「話しの堅さ」と負のやや低い相関がみられる。「講師の親しみやすさ」、「明解な話し方」は、Q10の多くの尺度と相関がみられ、とくに「番組への満足度」との相関が高くなっている。Q9の改善点は、内部相関が低く、「話しの豊かさ改善」がQ8「面白味のある話し方」とやや低い負の相関がみられる程度である。

③ Q10〔総合的評定（表4-1-5）〕

Q10の内部の因子間相関は、「難度・進度・専門度」を除いて、相互に低い相関がみられる。Q10「講義内容の適切性」は、Q7「講義内容の多さ改善」と負の相関が、Q8「講師の親しみやすさ」、「講師の明解な話し方」と正の相関がみられる。Q10「視聴者理解への配慮工夫」は、Q6のメディア活用関係の尺度、「視聴者考慮機会の頻度」、Q8「講師の親しみやすさ」、「明解な話し方」、「面白味ある話し方」などと正の相関がみられる。Q10「番組の満足度」尺度は、Q8「講師の親しみやすさ」、「講師の明解な話し方」、「面白味ある話し方」と正の相関が、Q8「話し方の堅さ」と負の相関がみられる。Q10「要点提示の適切性」は、Q8「講師の親しみやすさ」、「講師の明解な話し方」と正の相関がみられる。Q10「難度・進度・専門度」尺度は、Q6「印刷教材利用頻度」、Q8「講師の話し方の堅さ」、「話す速さ」と正の相関がみられる。Q10「図表提示の適切性」は、Q6の視覚素材の利用頻度と正の相関があり、メディアに依存することがうかがえる。さらに、Q8「講師の親しみやすさ」、「講師の明解な話し方」と正の相関がみられる。Q10「印刷教材の適切性」は、Q8「講師の明解な話し方」と低い正の相関がみられる。相関関係のパターンを概観すると、本調査の枠組みにおいては、「講師の親しみやすさ」、「講師の明解な話し方」、「番組への満足度」の間の関連性が高いことがうかがえる。

なお、その他の変数と因子尺度偏差値間の相関は顕著な関連性はほとんど見いだせなかった

(表4-1-6)。また、ラジオ科目では、Q10「番組の満足度」に関して、Q8「講師の明解な話し方」、「講師の親しみやすさ」の正の相関がやや強めに観測されていること、Q2「視聴量」、Q3「視聴質」とQ10「番組の満足度」がやや低い負の相関が観測されていることなどが注目できるであろう(表4-3-5、4-3-6)。

2-3-5 自由記述のまとめ

自由記述に関しては、以下の観点からの記述にほぼ分類することができた。

① 講師

(1)しゃべり方：発音の明瞭性・正確性、言葉遣いの適切性・難易度、語り口の流暢さ・自然さ・速度

(2)態度：緊張している、おちつきがない、表情が堅い

(3)説明のわかりやすさ：論旨の明確性・適切性・難易度

(例)●「わかりやすく」ということが、視聴者に迎合するようになってはならない。……講師は役者ではないのだから、あまり演技をさせないこと、雰囲気を作るために必要な場合もできるだけ簡単にし、その代わり、それは不自然に見えないようにする。……

●優秀な研究者が、即優秀な教師ではない場合がよくあるので、特に放送という形式の場合、その点を十分配慮して講師の人選をするべきだ。……本人にはよくわかっていることでも、視聴している学生の視点で考えてほしい。……

●放送大学で学士号を得ようとしている学生向けはもちろん大切ですが、もっと広く生涯教育を対象に、各界の第一人者の講義を教材化して頂きたい。いわゆる教養番組ではなく、ある程度の専門知識を視聴者に要求するものでもよい。……そんなものを蓄積しても、誰も見てくれなかったらどうするかという視聴率の問題はあるでしょうが、潜在的な視聴希望は結構多いのではないかと思います。……

(4)個性・魅力：人間味のある人を、ユーモアがない、引き込まれるような講義、人柄が感じられ楽しい

(5)アシスタント：必要性について、しゃべり方、態度

(6)一般的印象：単調である、退屈である、うまい・下手

② 教授法・教授形態

(1)ゲスト：必要性について、人選の適切性、しゃべり方、態度

(2)教授法の工夫：クイズ、具体例・実例・具体的説明、実験のデモ、まとめ、黒板や図解の利用

(例)●何を何のために学習するか、学習効果をあげるためにどのような説明をすべきか、など、行き届いた講義で、授業姿勢、技術面で非常に役に立っています。……

●専門用語以外で、難しい言い回しが多すぎる。私ならもっとやさしい言い方をするのに思うことがしばしばあった。

●種々の方法・概念が、どういう目的で、どのように使われているのか、……具体例を交えながら講義を進めていくことが必要だと思う。

(3)教授形態：講義、対談、演習・討論、実習などの各形態に対する賛否及び要望

(例)●視聴者への問いかけが少なく、印象としては、ただ話を聞かされたという感じである。最近の学生向きであるかもしれないが……。

③ 制作への要望

(1)メディアの特徴を生かす：ビデオ、図表、イラスト、コンピュータグラフィックなどの活用、現地取材の必要性

(2)画面構成：講師を写しすぎる、メモをとるため図表の時は画面制止を長く

(3)休憩時間・BGM：必要性について、適切性について

(4)印刷教材：誤字・脱字、誤り、放送との内容不一致、図表・文献の掲載についての要望

(例)●放送教材を視聴することによって興味をもち、さらに進んで、印刷教材や参考書を見て深く理解しようとする意欲をかきたてるように企画されたらと思います。そのためには、放送教材は、できるだけ、やさしく、面白く、わかりやすく、簡単にされたらいかがかと思います。印刷教材の方に適当な演習問題をつけ加えたら、勉学に役に立つと思います。

(5)ビデオの録画・録音状態について：映像資料の解像度、配布 VTR の録画状態

④ 内 容

(1)量・難易度・速度（学習者のレベルとの関係についての意見も含む）

(2)内容の偏り：講師の独断である、反対意見も取り上げるべき、もっと幅広く、もっと各論を詳しく、重要な内容が落ちている

(3)内容の誤り・不適切（知見や資料が古いとの指摘を含む）

⑤ アンケート調査に対する意見・感想

(1)モニターの時間が短すぎる

(2)二人の講師の場合答えにくい項目あり

(3)テレビとラジオでは項目を変える必要あり、番組ごとに項目を作るべき

(4)質問の意味が理解できない

(5)無記名だが記名式と同じである

(6)項目が多い

(例)●……「ライブラリー」に置くから適当にみなさいというのではなかなか見る機会を作れません。今回の調査のようにテープを送っていただいて感想を書けという試みは、私たちにとっては実にありがたい。できれば今後もこういう試みを続けてほしい。

●いろいろの種類の放送教材を集めて自分の担当する学生の講義や講座の学生の教育に使いたいと思う。自分自身のための勉強のためにも、放送大学の教材に深い関心をもつようになった。

●本調査の目標が不明瞭であったのと、やはり教育は、教師と学生の関係の中で培われるものであることを踏まえた上で、今後の放送教育を考えていってほしい。

III. 1987年度『放送大学教材に関する学生調査』より

3-1 目 的

本調査は、第I章の図1で示された放送大学の学生調査の中で行なわれたものである。放送大学は、その一方向性の教授システムがゆえに、受講学生の教授側へのフィードバック情報をいかに抽出するかということが重要な問題となるはずであるが、その手法に関する調査・研究の積み重ねが我国では十分に行われていないことは先に述べたとおりである。そこで、前章に触れた専門家による放送大学放送教材評価調査と同様の項目を学生調査においても利用することにより、学生と専門家の評価に関する比較を通して、評価調査のあり方、評価項目の特徴の吟味を行ない、放送大学の教材に関する学生のフィードバック情報の抽出のための基礎的データを蓄積していくことをここでの目的とする。

さらに、放送大学でのこのような蓄積は、高等教育という枠組みにおいて、その他の大学における講義評価に関する基礎として、また、遠隔教育という枠組みにおいて、放送教材の評価に関する基礎として、さらに、放送大学の幅広い層からのデータの収集によって、生涯学習教材の評価に関する基礎としてなど、さまざまな枠組みにおける教材評価のための基礎資料として有用となるであろうことをここで特に強調しておきたい。

3-2 方 法

3-2-1 実施方法と対象

実施手続き

本調査は、1987年8月に郵送法による質問紙調査『放送大学教材についての学生調査』として、放送大学在学生4,733名に郵送され、同年9月に回収されたものである。同調査は、放送教育開発センター研究プロジェクト「学生動態調査」の一環として行なわれたもので、主として岩永によって作成されたものである。郵送調査の回収数は1,566通（33.1%）であった。なお、質問紙調査の原票は、資料2にその全部を掲載したが、本論で対象とするのはQ15のみである。その他の結果については、一部が岩永（1989）に報告されているが、本論でも付表として「結果一覧」に付したので参照されたい。

対象科目

Q15で対象とした科目は、前章の『放送大学放送教材に関する調査』で対象とした同じ32科目である。これは、放送大学学生の調査結果と、他大学の教官などの専門家の調査結果を比較するためである。

被調査者

被調査者は、学習センター、及び、学生種別によって層化抽出された放送大学の学生である。標本として回収された学生の割合については、付表を参照されたい。なお、分析対象とする単

位は、被調査者×対象科目であり、一人の学生が数科目の割合で回答していることから、分析対象とした回答総数は3,514となっている。学生の回答した科目数には個人差があるが、とりあえず、基礎的な分析として、被調査者×対象科目の組み合わせを独立した一つのデータとして扱うことにした。また、被調査者が実際に科目登録を行なっている科目に対する回答のみを有効とし、回答はあったものの、放送大学・調査管理課で保存されている基礎資料データ（1985年度1学期～1987年度1学期）と計算機上で照合されなかった回答については無効とした。なお、基礎資料データの内容、放送大学全体の属性分布については、大塚（1988a）を参照されたい。

分析対象とした被調査者の属性は、女性が54.8%と多く、平均年齢41.50歳、全科履修生77.0%、人間の探究20.4%、発達と教育17.0%、評価分類60～79点40.7%、対象科目としては、基本基礎科目52.6%、テレビ科目60.0%、文科系科目73.3%といった特徴をもっており、専門家調査の属性とは年齢を除いて対照的な分布となっていることに留意されたい。

3-2-2 質問紙調査の構成

本調査は、放送大学の学生の講義・教材評価に関する基礎的資料を収集すると共に、前章の他大学の教官など「専門家」の教材評価との比較を行なう目的から、『放送大学放送教材に関する調査』Q10より20項目を適宜抽出して質問項目を構成した。Q15のそれぞれの項目が、『放送大学放送教材に関する調査』Q10のいずれの項目に相当しているかは、表5の項目内容に付してあるので参照されたい。なお、Q15(㍺)「まとめが要所で適切になされている (Q10-8)」は、回答欄に「内容が実用的である (Q10-24)」となっており、多くの回答者が後者についての回答を行なったものと考えられるが、ここでは一応すべての分析から除外した。

3-3 分析結果

3-3-1 調査回答者の各下位集団別調査結果

調査の基本的集計結果を表5に示す。表5は、「総計」の欄に、回収データすべてを対象としたときの有効回答（無記入・判読不可能項目を除く）に関する基礎的な集計結果が示されている。また、比較のために、前章の「専門家」調査の「総計」に相当する結果も、「評価調査・他大学講師等」の欄に併せて示しておいた。

表側のカテゴリー

表側は、「性別」、「年齢群」、「学生種別」、「専攻」、「科目評価分類」が被調査者の属性に相当するものであり、また、「学習科目」、「科目分類」、「メディア」、「理科系・文科系」、「理文×メディア」が、それぞれ対象科目の属性である（前章参照）。以下、Q15の調査票に並べられている質問項目の順に、反応カテゴリーが並べられている。

有効回答数・平均値

表側の有効回答数、平均値に関しては、前章と同様である。ただし、「専攻」に関する有効回答数は、全体のものであり、全科履修生に限定したものでないことに注意されたい。

表頭のカテゴリー

表5-1の表頭に並べてあるカテゴリーは、性別・年齢群・学生種別の被調査者の属性に関するものであり、表5-2の表頭は、メディア・科目分類・理文・理文×メディアの対象科目に関する属性に関するものである。表5-3は、被調査者の属性として、「専攻」、「科目評価分類」を表頭に掲げたが、微妙なデータでもあり、表側から科目名を除外してある。

主な結果

評価項目の内、「そう思う」の方向に同意傾向の強い項目（平均値2.2以下）は、(カ)印刷教材と適切に関連している（1.68）、(ス)興味深い番組である（1.76）、(ア)わかりやすい番組（1.96）、(ト)全体的に満足のいく番組である（1.98）、(キ)具体例が適切に取り入れられている（2.07）、(ク)利用メディアの特性が活かされている（2.10）、(テ)放送は学習のペース作りに役立っている（2.10）、(ウ)講義の流れに適当な緩急のリズムがある（2.15）、(イ)どこが重要なポイントかがよくわかる（2.17）、(チ)印刷教材が充実している（2.20）などであり、「そう思わない」の方向に反対傾向が強い項目（平均値3.5以上）は、(ク)必要以上に専門用語が使われている（3.63）、(ツ)印刷教材に演習などが適切に含まれている（3.63）であった。

3-3-2 調査項目の因子分析結果

Q15(カ)、及び、予備的な因子分析によって独自性の強かった Q15(ツ)「印刷教材に演習などが適切に含まれている」の2項目を除く18項目に関して、因子分析を行なった結果を表6に示す。因子分析は、前章同様の手続きに従い、主成分分析に基づき選ばれた5因子について、プロマックス回転する方法によって行なった。表6には、主成分分析の因子負荷量行列及びプロマックス回転後の因子負荷量行列を示した。なお、因子構造については、表8の各因子尺度偏差値間の相関係数及び因子尺度偏差値と各項目の相関係数によってその概要を知ることができる。

なお、表6では、18項目に関する関連性を比較するために、「専門家」、「放送大学学生」込みの「全体」の因子分析結果の他に、「専門家」のみ、「放送大学学生」のみの因子分析結果も併せて示した。その「全体」のプロマックス回転解（表6-1-2）に基づいて因子の特徴をまとめると以下ようになる。

Q15因子分析

第1因子＝明解性・満足感

第2因子＝印刷教材の適切性

第3因子＝素材の親近性

第4因子＝メディア活用度

第5因子＝分量・専門度・進度

専門家調査との比較

上記の結果は、データ数の関係から、ほとんど学生調査における因子の特徴を反映している。表6-2-2の専門家調査におけるプロマックス回転解を見ると、第2因子に、素材の親近性とメディア活用がまとまっており、第3因子に、講義のリズムに関する項目がまとまっている。また、「学習のペース作り」の項目は、学生調査では、第2因子の印刷教材の適切性と密接な関連性のあることを示しているのに対して、専門家調査では、第1因子の明解性・満足感と関連性が高くなっている。

3-3-3 調査項目による因子尺度偏差値の特徴

前項のプロマックス回転によって求められる因子得点を、平均50、標準偏差10の偏差値に変換した因子尺度偏差値を、前章同様の手続きに基づいて算出した。ここで対象とした5因子に関しては、因子の特徴を表わす語の程度が高い方を大きい因子尺度偏差値の値になるように、正負を反転して偏差値得点を算出している。

これらの因子尺度偏差値に関して、表5の表頭に分類したカテゴリーごとにどのような分布の特徴をもっているかを要約する統計量を、表7に示した。各因子得点ごとに、前章同様、有効度数、平均値、標準偏差、歪度、最小値、最大値が示されている。

3-3-4 調査項目及び因子尺度偏差値の相関

前項に述べた因子尺度偏差値、評定者の属性や対象科目の属性に関する2値データに関しては、それを含むその他の項目との間の相関係数行列を求めた(表8)。なお、比較のために、全体の相関係数の他に、メディアごと、調査ごとに、同様の相関行列を求めた(表8-1-1～表8-3-6)。

表頭に、因子尺度偏差値、及び、主な項目名が、表側には、それらの他に、本調査に含まれるすべての項目が並べられており、それぞれの尺度・項目のクロスする点にそれらの相関係数が示されている。項目と因子尺度偏差値の相関係数は、プロマックス回転解の因子構造に相当するものであり、また、因子尺度偏差値間の相関係数は、その因子間相関係数となっているのは前章同様である。相関係数に付された記号は、やはり、相関係数の無相関検定の有意水準ではなく、相関係数の大きさに関する記号であることに注意されたい。

因子間の相関では、第1～第4因子間の相関が比較的高く、第5因子の分量・進度・専門度に関する尺度が他の尺度と独立していることがうかがえる(表8-1-1)。なお、第4因子のメディアの活用度は、ラジオ科目の方が低いという関連性を示しており、ラジオ科目だけの相関関係を見ると、第1～第3因子と第4因子の相関も多少低くなっている(表8-1-3)。

被調査者の科目評価分類と第1因子の明解性・満足度との相関は0.365と、低い相関関係がみられる(表8-3-1)。その他の属性と尺度間には、顕著な相関関係はみられない。

3-3-5 専門家調査と学生調査の比較

科目ごとに平均値を求め、それを科目の評価値として、専門家調査と学生調査でどの程度科目平均値間にズレがあるかを、平均値の差、及び、相関係数によって検討してみた。その結果を表9に示す。

科目平均値の差

専門家調査の方が全体的に平均値が高く、教材に対して厳しい評価となっている。平均値の差の大きい項目($T \geq 8$)としては、(ウ)講義の流れに適当な緩急のリズム(平均値の差=専門家-学生:0.772)、(カ)印刷教材と適切に関連(0.700)、(カ)メディア特性活用(0.624)、(テ)学習のペース作りに有用(0.453)、(サ)印刷教材が充実(0.483)など、小さい項目($-2 \leq T \leq 2$)としては、(ク)必要以上に専門用語(-0.056)、(ツ)印刷教材の演習適切(0.087)、(ク)講義の進度が速い(0.162)などがあげられる。

科目平均値の相関係数

専門家調査、学生調査それぞれの32科目の評定平均値の相関係数の高い項目（0.7以上）としては、(セ)生活に密着した素材（0.878）、(コ)図表などが適切に利用（0.845）、(ツ)印刷教材の演習適切（0.760）、(ソ)時宜を得た素材利用（0.751）、(カ)メディア特性活用（0.705）など、逆に小さい項目（0.2以下）としては、(ニ)視聴者の疑問配慮（0.055）、(ケ)印刷教材と適切に関連（0.094）、(ト)全体的に満足な番組（0.130）、(チ)印刷教材が充実（0.173）、(ス)興味深い番組（0.198）などがあげられる。

因子尺度による比較

因子尺度では、第2因子「印刷教材の適切性」に関する差がもっとも大きく、第5因子「分量・専門度・進度」に関する差がもっとも小さくなっている。また、第1、第2因子など、「満足感」、「適切性」など価値観の絡んでくる尺度に関しては、専門家と学生の科目平均値間の相関係数は低く、第3～5因子など、客観的な判断が可能な側面についての評価は、相関係数が高くなっている。

IV. 今後の課題

ここでは、本評価調査に関する方法論的問題点を中心に提起、今後の課題としてまとめておく。

① 評価調査の枠組みについて

放送大学の教材は、放送大学という枠組みの中で、高等教育としての講義という位置づけが中心になされるものの、放送教材にはその制作者が関与しており、教育番組としての位置づけも可能であり、さらに、放送教材は VTR、テープという形で視聴覚教材として幅広い利用も可能となる。したがって、評価調査で対象とされる要素も多様にわたっていることになり、たとえば、教材を作成し提供する側として、講師・制作者・大学等の提供母体、教材の目的として、講義・番組・教材、教材を利用する側として、学生・他大学講師・その他の視聴者などといった要素が考えられる。本論では、特に、講義評価、番組評価、教材利用という観点を中心に項目が構成された『放送大学放送教材に関する調査』を中心に報告してきたが、たとえば、放送大学のもう一つの柱である生涯学習といった観点からの項目などが、まだ十分に整備されていないと思われる。今後、何回かの試行錯誤を繰り返し、必要とされる十分な項目が網羅されているかどうかを検討しつつ、調査の改訂が引き続き行なわれていくべきであろう。

② 評価調査の方法について

本評価調査は、一つの科目の15週にわたる講義を通して、全体的印象を回答する項目を中心として構成されている。しかし、放送大学放送教材では、通常の講義と異なり、何人かの講師が分担していたり、放送の回ごとに異なるゲストが講義を行ったり、テレビとラジオというメディアの違いがあったりというように、講義の形態がかなり多様であって、一律の評価項目で調査を行なうことが必ずしも適切であるとは言い難い。比較のためにも共通項目が有用であることは確かであるが、諸外国の講義評価などでも見られるように、共通項目の他に、各科目独自の評価項目をつけ加えたり、各回ごとに評価調査を蓄積していくことの可能なシステムを模索していくことは、回答する側の戸惑いを少なくするという以上に、制作を担当する側にとっても、今後大いに望まれる改善点であろう。

③ 評価のバイアスについて

講義・教材の評価に関して、さまざまなバイアスが含まれる可能性のあることが知られているが、本調査では、大きな相関をもつ他の指標を見いだすことはできなかった。しかし、放送大学学生の調査において、成績と講義の明解性・満足度にある程度の相関が観測されたほか、学生調査の結果と他大学講師の調査結果との間にもかなりの差異が見いだされている。したがって、今後も、評価調査は、単に全体の平均的反応傾向だけを記述するだけでなく、適当な下位集団ごとに詳細に反応傾向を記述しておくことによって、講義・番組を制作する側が、ターゲットとすべき層に関する評価結果を選択的に利用できるような準備を、引き続き積み重ねていくことが重要となろう。

④ 測定道具としての評価調査の可能性

評価調査の相関分析などから、質問項目間にはほぼ予想された関連性が見いだされるなど、調査項目に関しては、概ね当初ねらっているような方向での反応が得られていると考えられる。すなわち、ここで取り上げたいいくつかの因子尺度偏差値などは、その次元に関する測定道具としてとりあえず利用可能であることが示唆されたとすることができよう。しかし、Q7、Q9などの改善点を取り上げるような質問項目では、集団における反応率としてはそれなりの信頼性が確保されることが考えられるが、一方、選択率が全体的に少なく、個人間の変動を抽出することが難しくなることから、個人の尺度としては信頼性が低くなる可能性が示唆された。また、5段階評定の場合、項目によっては、「3 どちらともいえない」に回答が集中するものもあって、今後、適切な段階数に関する検討も行なわれていく必要があると思われる。

⑤ 放送大学教材の利用可能性について

放送大学教材配布事業による教材評価は、概ね歓迎されているようである。他大学の講師が、自分の担当する講義を構成する際の参考として、また、映像・音響資料を講義の参考資料としてというように、今後の配布事業の継続を希望する声も散見される。一方、講義としてそのまま利用するという点に関しては、それほど多い希望があるわけではないが、かなり大きい単位数に相当すると評価される場合もあり、今後、放送大学との単位互換などの制度の普及のための布石としての意義も大きくなることが予想される。

⑥ 評価調査の利用について

評価調査の結果をどのように利用するかは、今後、別の角度からの取り組みが必要となろう。現時点では、調査の解析が中心に行なわれているが、実際に評価調査の結果がどのように役に立つか等は、制作側の協力も得て、より大きな研究プロジェクトとして取り組んでいかねばならないであろう。また、一方で、今回のような全体的な印象だけを評価調査という形で取り上げる方法のみならず、形成的な形での評価と、その利用に関する問題点も、たとえば、事例的に一つの講義や番組を取り上げるなどして、追跡的に検討される必要もあると思われる。それは、より有用なフィードバック情報を得る方法を探索することが、教授・学習の過程の問題に取り組む本研究のまさに基本的な立場であるからである。

〈参考文献〉

- Abrami, P.C. 1985 Dimensions of effective college instruction. *Review of Higher Education*, 8, 211-228.
- Abrami, P.C., d'Apollonia, S., & Cohen, P.A. 1990 Validity of student ratings of instruction: What we know and what we do not. *Journal of Educational Psychology*, 82, 219-231.
- Abrami, P.C., Perry, R.P., & Leventhal, L. 1982 The relationship between student personality characteristics, teacher ratings, and student achievement. *Journal of Educational Psychology*, 74, 111-125.
- Braskamp, L.A., Brandenburg, D.C., & Ory, J.C. 1984 *Evaluating teaching effectiveness: a practical guide*. Sage Publications, Inc.
- Centra, J.A. 1977 Student ratings of instruction and their relationship to student learning.

- American Educational Research Journal*, **14**, 17-24.
- Centra, J.A. 1979 *Determining faculty effectiveness : assessing teaching, research, and service for personnel decisions and improvement*. Jossey-Bass Inc., Publishers.
- カミングス, W.K. 1989 荻谷剛彦 (訳) 学生による授業評価の効果 —— アメリカの大学・虚像と実像 5 カレッジマネジメント, **34**, 20-26.
- Feldman, K.A. 1976 The superior college teacher from the student's view. *Research in Higher Education*, **5**, 243-288.
- Feldman, K.A. 1977 Consistency and variability among college students in rating their teachers and courses : A review and analysis. *Research in Higher Education*, **6**, 223-274.
- Feldman, K.A. 1978 Course characteristics and college students' ratings of their teachers and courses : What we know and what we don't. *Research in Higher Education*, **9**, 199-242.
- Feldman, K.A. 1989 Instructional effectiveness of college teachers as judged by teachers themselves, current and former students, colleagues, administrators, and external (neutral) observers. *Research in Higher Education*, **30**, 137-194.
- Howard, G.S., Conway, C.G. & Maxwell, S.E. 1985 Construct validity of measures of college teaching effectiveness. *Journal of Educational Psychology*, **77**, 187-196.
- 岩永雅也 1988 アメリカの大学における教員評価の方法 IDE・現代の高等教育, **298**, 23-30.
- 岩永雅也 1989 新時代への賭け —— 放送大学の現状と課題 放送教育開発センター研究紀要, **2**, 1-41.
- 喜多村和之 1986 学生消費者の時代 —— アメリカの大学「生き残り」戦略 リクルート出版
- Lowman, J. 1984 *Mastering the techniques of teaching*. Jossey-Bass Inc., Publishers. 阿部美哉 (監訳)・塩崎千枝子・他 (訳) 大学のティーチング 玉川大学出版部
- Marsh, H.W. 1984 Students' evaluation of university teaching : Dimensionality, reliability, validity, potential biases, and utility. *Journal of Educational Psychology*, **76**, 707-754.
- Marsh, H.W. 1987 Students' evaluation of university teaching : Research findings, methodological issues, and directions for future research. *International Journal of Educational Research*, **11**, 253-388.
- Messick, S. 1980 Test validity and the ethics of assessment. *American Psychologist*, **35**, 1012-1027.
- Murray, H.G., Rushuton, & Paunonen, S.V. 1990 Teacher personality traits and student instructional ratings in six types of university courses. *Journal of Educational Psychology*, **82**, 250-561.
- Nathenson, M., Brown, S., Kirkup, G., Lewsey, M., & Sparatley, I. 1981 Learning from evaluation at the Open University : I. a new model of course development. *British Journal of Educational Technology*, **12**, 120-139.
- 大塚雄作 1988a 放送大学学生の属性と学習状況に関する基礎的分析 放送教育開発センター研究報告, **01**.
- 大塚雄作 1988b 自己学習における放送教材の利用とその評価についての一考察 昭和62年度放

送利用の大学公開講座に関する実施報告書，放送教育開発センター研究報告，04，275-315.

大塚雄作 印刷中 教授・学習過程における数量的情報の捉え方 滝沢武久・東 洋（編） 応用心

理学講座9 教授・学習の行動科学 福村出版

大塚雄作・柴山盛生・塩崎千枝子・山中速人・岩永雅也 1987 遠隔高等教育の学習者像——第2

回放送大学学生動態調査に基づく実証的研究 放送教育開発センター

結 果 一 覽

表 目 次

1. 1986年度『放送大学放送教材に関する調査』の下位集団別基礎集計結果	37
表1-1 1986年度『放送大学放送教材に関する調査』性別・年齢群別・所属機関別・結果一覧（その1～22）	38
表1-2 1986年度『放送大学放送教材に関する調査』大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧（その1～22）	60
表1-3 1986年度『放送大学放送教材に関する調査』理文×メディア別・授業形態別・授業形態×メディア別・結果一覧（その1～22）	82
表1-4 1986年度『放送大学放送教材に関する調査』視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧（その1～21）	104
2. 1986年度『放送大学放送教材に関する調査』の質問項目群別の因子分析結果	125
表2-1-1 Q06『放送教材の量的評定（共通項目）』主成分分析	126
表2-1-2 Q06『放送教材の量的評定（共通項目）』プロマックス回転	126
表2-2-1 Q06『放送教材の量的評定（テレビ独自項目）』主成分分析	127
表2-2-2 Q06『放送教材の量的評定（テレビ独自項目）』プロマックス回転	127
表2-3-1 Q07『放送教材の改善的評定（共通項目）』主成分分析	128
表2-3-2 Q07『放送教材の改善的評定（共通項目）』プロマックス回転	128
表2-4-1 Q07『放送教材の改善的評定（テレビ独自項目）』主成分分析	129
表2-4-2 Q07『放送教材の改善的評定（テレビ独自項目）』プロマックス回転	129
表2-5-1 Q08『講師の印象評定』主成分分析	130
表2-5-2 Q08『講師の印象評定』プロマックス回転	130
表2-6-1 Q08『講師の講義の進め方の印象評定』主成分分析	131
表2-6-2 Q08『講師の講義の進め方の印象評定』プロマックス回転	131
表2-7-1 Q09『放送教材講師の改善点評定』主成分分析	132
表2-7-2 Q09『放送教材講師の改善点評定』プロマックス回転	132
表2-8-1 Q09『講師の講義の進め方の改善点評定』主成分分析	133
表2-8-2 Q09『講師の講義の進め方の改善点評定』プロマックス回転	133
表2-9-1 Q10『放送教材の総合的評定』主成分分析（その1～2）	134
表2-9-2 Q10『放送教材の総合的評定』プロマックス回転（その1～2）	136
3. 1986年度『放送大学放送教材に関する調査』の下位集団別の因子尺度偏差値に	

関する基礎統計量	139
----------------	-----

表 3-1 性別・年齢群別・所属機関別・因子尺度偏差値基礎統計量一覧（その 1～7）	141
表 3-2 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・因子尺度偏差値基礎統計量一覧（その 1～7）	149
表 3-3 理文×メディア別・授業形態別・授業形態×メディア別・因子尺度偏差値基礎統計量一覧（その 1～7）	157
表 3-4 視聴量別・視聴質別・利用希望形態別・想定相当単位数別・因子尺度偏差値基礎統計量一覧（その 1～7）	165

4. 1986年度『放送大学放送教材に関する調査』の因子尺度偏差値・質問項目間の相関係数.....173

表 4-1-1 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列（その 1～5）	175
表 4-1-2 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列（その 1～5）	181
表 4-1-3 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列（その 1～5）	187
表 4-1-4 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列（その 1～5）	193
表 4-1-5 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列（その 1～5）	199
表 4-1-6 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列（その 1～5）	205
表 4-2-1 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列(その 1～5)...	211
表 4-2-2 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列(その 1～5)...	217
表 4-2-3 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列(その 1～5)...	223
表 4-2-4 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列(その 1～5)...	229
表 4-2-5 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列(その 1～5)...	235
表 4-2-6 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列(その 1～5)...	241
表 4-3-1 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列(その 1～5)...	247
表 4-3-2 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列(その 1～5)...	253
表 4-3-3 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列(その 1～5)...	259
表 4-3-4 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列(その 1～5)...	265
表 4-3-5 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列(その 1～5)...	271
表 4-3-6 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列(その 1～5)...	277

5. 1987年度『放送大学教材についての学生調査』の下位集団別基礎集計結果 ...283

表 5-1 1987年度『放送大学教材についての学生調査』性別・年齢群別・学生種別・結果一覧（その 1～6）	284
表 5-2 1987年度『放送大学教材についての学生調査』メディア別・科目分類別・理文別・	

結果一覧（その1～6）	290
表5-3 1987年度『放送大学教材についての学生調査』専攻別・評価群別・結果一覧（その1～5）	296
6. 1987年度『放送大学教材についての学生調査』の因子分析結果	301
表6-1-1 『放送大学教材についての学生調査』18項目に関する全体の主成分分析	303
表6-1-2 『放送大学教材についての学生調査』18項目に関する全体のプロマックス回転	303
表6-2-1 『放送大学教材についての学生調査』18項目に関する専門家の主成分分析	304
表6-2-2 『放送大学教材についての学生調査』18項目に関する専門家のプロマックス回転	304
表6-3-1 『放送大学教材についての学生調査』18項目に関する学生の主成分分析	305
表6-3-2 『放送大学教材についての学生調査』18項目に関する学生のプロマックス回転	305
7. 1987年度『放送大学教材についての学生調査』の下位集団別の因子尺度偏差値に関する基礎統計量	307
表7-1 専門家の性別・年齢群別・所属機関別・学生調査因子尺度偏差値基礎統計量一覧	309
表7-2 専門家の大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・学生調査因子尺度偏差値基礎統計量一覧	310
表7-3 専門家の理文×メディア別・授業形態別・授業形態×メディア別・学生調査因子尺度偏差値基礎統計量一覧	311
表7-4 専門家の視聴量別・視聴質別・利用希望形態別・想定相当単位数別・学生調査因子尺度偏差値基礎統計量一覧	312
表7-5 放送大学学生の性別・年齢群別・学生種別・学生調査因子尺度偏差値基礎統計量一覧	313
表7-6 放送大学学生のメディア別・科目分類別・理文別・学生調査因子尺度偏差値基礎統計量一覧	314
表7-7 放送大学学生の専攻別・評価群別・学生調査因子尺度偏差値基礎統計量一覧	315
8. 1987年度『放送大学教材についての学生調査』の因子尺度偏差値・質問項目間の相関係数	317
表8-1-1 学生調査因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列	319
表8-1-2 学生調査因子尺度偏差値・調査項目等の全体のテレビ科目についての相関係数行列	320
表8-1-3 学生調査因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目についての相関係数行列	321
表8-2-1 学生調査因子尺度偏差値・調査項目等の専門家の相関係数行列（その1～2）	322
表8-2-2 学生調査因子尺度偏差値・調査項目等の専門家のテレビ科目についての相関係数行列（その1～2）	324

表 8-2-3	学生調査因子尺度偏差値・調査項目等の専門家のラジオ科目についての相関係数行列（その 1～2）	326
表 8-3-1	学生調査因子尺度偏差値・調査項目等の学生の相関係数行列	328
表 8-3-2	学生調査因子尺度偏差値・調査項目等の学生のテレビ科目についての相関係数行列	329
表 8-3-3	学生調査因子尺度偏差値・調査項目等の学生のラジオ科目についての相関係数行列	330
表 8-3-4	学生調査のその他の指標・調査項目等の学生の相関係数行列	331
表 8-3-5	学生調査のその他の指標・調査項目等の学生のテレビ科目についての相関係数行列	332
表 8-3-6	学生調査のその他の指標・調査項目等の学生のラジオ科目についての相関係数行列	333

9. 1986年度『放送大学教材に関する調査』と1987年度『放送大学教材についての学生調査』の比較一覧 ……335

表 9	『専門家評価調査（1986年度）』と『学生評価調査（1987年度）』の比較一覧	337
-----	---	-----

付. 1987年度『放送大学教材についての学生調査』の結果一覧 ……339

付表-1	1987年度『放送大学教材についての学生調査』の性別・年齢群別・学生種別結果一覧（その 1～8）	340
付表-2	1987年度『放送大学教材についての学生調査』の職業・学歴別結果一覧（その 1～8）	348
付表-3	1987年度『放送大学教材についての学生調査』の職業・学歴細分類別結果一覧（その 1～8）	356
付表-4	1987年度『放送大学教材についての学生調査』の学習センター・専攻別結果一覧（その 1～8）	364
付表-5	1987年度『放送大学教材についての学生調査』の87年度1学期在籍全科履習生、細分類別結果一覧（その 1～8）	372
付表-6	1987年度『放送大学教材についての学生調査』の87年度1学期在籍全科履習生学習状況別結果一覧（その 1～8）	380

1. 1986年度『放送大学放送教材に関する調査』の
下位集団別基礎集計結果

表 1-1 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 性別・年齢群別・所属機関別・結果一覧 (その1)

	回 答 総 数	性 別		年 齢 群					所 属 機 関			
		男	女	性	34歳 ~	35歳 44歳	45歳 54歳	55歳 以上	国公立 大学	私立 大学	高 専	短 大
◎ 性別別有効回答数 (%)	978	861	95	性	136	328	294	219	473	199	256	44
1 男	956	861	95		134	322	285	215	464	193	249	44
2 女	90.1 9.9	100.0 0.0	0.0 100.0		83.6 16.4	88.5 11.5	90.2 9.8	96.3 3.7	87.9 12.1	86.0 14.0	99.6 0.4	77.3 22.7
◎ 年齢群別有効回答数 (%)	45.90 977	46.32 861	41.87 95	性	29.83 136	39.97 328	49.57 294	59.81 219	45.83 472	46.84 199	45.28 256	46.55 44
1 34歳	13.9	13.0	23.2		100.0	0.0	0.0	0.0	13.6	12.1	16.0	15.9
2 35歳	33.6	33.1	38.9		0.0	100.0	0.0	0.0	33.3	37.2	30.9	27.3
3 44歳	30.1	29.8	29.5		0.0	0.0	100.0	0.0	33.3	23.6	30.9	25.0
4 55歳	22.4	24.0	8.4		0.0	0.0	0.0	100.0	19.9	27.1	22.3	31.8
◎ 所属機関別有効回答数 (%)	972	856	94	性	136	322	294	219	473	199	256	44
1 国立大学	48.7	47.1	59.6		17.6	48.8	53.4	42.9	100.0	0.0	0.0	0.0
2 公立大学	20.5	19.4	28.7		30.1	23.0	16.0	24.7	0.0	100.0	0.0	0.0
3 専門学校	26.3	29.0	1.1		5.1	24.5	26.9	26.0	0.0	0.0	100.0	0.0
4 短期大学	4.5	4.0	10.6		0.0	0.0	3.7	6.4	0.0	0.0	0.0	100.0
◎ 職種別有効回答数 (%)	969	857	91	性	132	325	292	219	471	192	256	44
1 教授	40.6	44.0	13.2		0.0	8.6	57.2	90.4	44.2	38.5	35.2	47.7
2 助教授	32.8	32.7	34.1		15.2	55.4	36.3	5.5	30.1	30.7	38.3	34.1
3 講師	14.2	13.2	23.1		44.7	22.2	1.7	0.9	8.5	25.0	16.0	15.9
4 その他 (助手など)	12.4	10.2	29.7		40.2	13.8	4.8	3.2	17.2	5.7	10.5	2.3
◎ メディア有効回答数 (%)	978	861	95	性	136	328	294	219	473	199	256	44
1 テレビ	78.5	78.4	77.9		75.7	78.7	75.9	83.6	78.6	75.9	78.1	90.9
2 ラジオ	21.5	21.6	22.1		24.3	21.3	24.1	16.4	21.4	24.1	21.9	9.1
◎ 理系・文系有効回答数 (%)	855	753	81	性	107	297	254	196	420	165	221	43
1 理系	56.8	59.1	32.1		53.3	58.9	57.1	55.1	54.0	57.6	63.3	44.2
2 文系	43.2	40.9	67.9		46.7	41.1	42.9	44.9	46.0	42.4	36.7	55.8
◎ 文系・メディア有効回答数 (%)	855	753	81	性	107	297	254	196	420	165	221	43
21 テレビ	52.5	54.7	29.6		50.5	53.5	52.0	52.6	51.0	50.9	57.9	44.2
22 ラジオ	4.3	4.4	2.5		2.8	5.4	5.1	2.6	3.1	6.7	5.4	0.0
11 文系	29.7	27.5	51.9		30.8	27.6	28.3	34.2	31.4	29.1	24.0	46.5
12 文系	13.5	13.4	16.0		15.9	13.5	14.6	10.7	14.5	13.3	12.7	9.3

表 1-1 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 性別・年齢群別・所属機関別・結果一覧 (その2)

科目分類	性別		年齢群				所属機関			
	性 別		年 齢				所 属 機 関			
	総 計	男 性	女 性	34歳	35～44歳	45～54歳	55歳以上	国公立大学	私立大学	短大
◎ 科目分類	978	861	95	136	328	294	219	473	199	256
有効回答数	30.6	31.4	20.0	21.3	28.7	33.7	34.7	29.8	31.7	31.3
2 基礎科目	12.6	12.5	14.7	21.3	9.5	13.6	10.5	11.2	17.1	13.7
3 外国語科目	56.9	56.1	65.3	57.4	61.9	52.7	54.8	59.0	51.3	55.1
5 専門科目										70.5
◎ 01. あなたの視聴された放送教材は以下のどれですか。	978	861	95	136	328	294	219	473	199	256
有効回答数										44
1 宇宙 (度数)	57	53	0	6	22	18	11	26	11	17
2 地球との自然	41	38	2	5	10	11	14	23	8	8
3 日本文化論 I	31	26	4	3	6	9	13	9	11	11
4 生活基礎 I	58	49	8	12	19	16	11	35	14	7
5 基礎 I	63	59	2	1	19	26	17	24	14	21
6 基礎 I	65	56	8	16	17	19	13	26	19	19
7 基礎 I	26	19	6	0	9	8	9	15	3	5
8 基礎 I	19	13	6	0	7	5	7	12	4	0
9 基礎 I	33	20	13	10	9	10	4	22	6	2
10 基礎 I	31	27	3	3	13	8	7	15	3	11
11 基礎 I	30	27	2	3	11	9	7	13	5	10
12 基礎 I	25	23	0	1	9	8	7	12	3	7
13 基礎 I	73	72	0	7	30	23	13	24	7	40
14 基礎 I	26	26	0	2	8	7	9	11	5	7
15 基礎 I	92	83	8	15	29	24	24	54	18	16
16 基礎 I	98	84	12	19	40	22	17	51	23	19
17 人間学基礎 I A 1 2	10	8	2	2	2	5	1	4	5	1
18 人間学基礎 I A 1 2	10	9	0	0	6	3	1	6	1	3
19 人間学基礎 I A 1 2	20	19	1	0	6	9	5	7	1	11
20 人間学基礎 I A 1 2	9	9	0	0	4	2	3	7	1	1
21 人間学基礎 I A 1 2	18	16	2	3	5	6	4	9	5	4
22 人間学基礎 I A 1 2	14	14	0	3	3	6	2	6	4	4
23 人間学基礎 I A 1 2	13	12	1	3	3	5	2	6	3	4
24 人間学基礎 I A 1 2	13	10	3	4	3	4	2	6	3	4
25 人間学基礎 I A 1 2	13	8	5	4	4	3	2	7	2	3
26 人間学基礎 I A 1 2	14	12	2	5	5	2	2	7	6	1
27 人間学基礎 I A 1 2	12	11	1	2	4	4	2	6	2	3
28 人間学基礎 I A 1 2	5	5	0	1	2	1	1	4	1	0
29 人間学基礎 I A 1 2	10	9	1	1	5	3	1	4	3	2
30 人間学基礎 I A 1 2	7	5	2	2	3	2	0	5	0	2
31 人間学基礎 I A 1 2	12	11	1	2	2	5	3	9	0	3
32 人間学基礎 I A 1 2	30	28	0	1	13	11	5	8	11	10

表 1-1 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 性別・年齢群別・所属機関別・結果一覧 (その3)

	性別	年齢群	所属機関	期 短大	性 別				年 齢 群				所 属 機 関			
					男	女	性	性	34歳	35～44歳	45～54歳	55歳以上	国立大学	公立大学	私立大学	専門学校
Q 0 2 あなたは、その放送教材をどの程度視聴しましたか。																
平均値	3.14	3.12	3.44	3.79	3.10	3.12	2.82	3.22	3.24	3.00	2.70	2.70	4.62	198	248	44
有効回答数	958	843	94	132	320	290	215	462	324	3.00	2.70	2.70	27.5	32.3	34.7	34.1
1 15週分未満	30.8	30.6	29.8	17.4	30.3	30.0	40.9	27.5	32.3	34.7	34.1	34.1	8.4	3.0	7.7	9.1
2 16～24週分	7.1	7.2	6.3	7.6	8.1	6.9	5.6	8.4	3.0	7.7	9.1	9.1	13.6	14.1	11.7	18.2
3 25～34週分	13.5	14.0	9.6	12.1	12.8	16.2	11.2	13.6	14.1	11.7	18.2	18.2	21.2	23.2	20.2	29.5
4 35～44週分	21.2	21.6	19.1	20.5	23.8	20.0	19.5	21.2	23.2	20.2	29.5	29.5	21.2	23.2	20.2	29.5
5 45～54週分	20.9	20.6	23.4	26.5	19.7	21.7	18.1	21.2	23.2	20.2	29.5	29.5	21.2	23.2	20.2	29.5
6 55週分以上	6.6	5.9	13.8	15.9	5.3	5.2	4.7	6.9	9.1	5.2	0.0	0.0	6.9	9.1	5.2	0.0
Q 0 3 あなたは、その放送教材をどのように視聴しましたか。																
平均値	1.82	1.83	1.79	1.84	1.91	1.77	1.74	1.81	1.78	1.87	1.84	1.84	1.81	1.78	1.87	1.84
有効回答数	967	851	95	133	325	292	216	470	198	249	44	44	47.0	30.8	28.9	25.0
1 くりと視聴	32.1	30.8	37.9	33.8	24.6	38.7	32.9	34.5	30.8	28.9	25.0	25.0	52.1	60.6	56.6	65.9
2 ある程度視聴せず	55.5	56.8	48.4	49.6	61.8	46.6	62.0	52.1	60.6	56.6	65.9	65.9	10.9	8.1	12.9	9.1
3 ほとんど視聴しない	10.7	10.8	10.5	15.0	11.4	13.4	3.2	10.9	8.1	12.9	9.1	9.1	2.6	0.5	1.6	0.0
4 ほとんど視聴しない	1.8	1.6	3.2	1.5	2.2	1.4	1.9	2.6	0.5	1.6	0.0	0.0	2.6	0.5	1.6	0.0
Q 0 4 (A) あなたの所属される機関では、「テレビ」がどの程度利用できますか。																
平均値	1.57	1.57	1.61	1.59	1.61	1.48	1.60	1.61	1.71	1.43	1.26	1.26	1.61	1.71	1.43	1.26
有効回答数	945	838	87	135	324	281	205	456	190	250	43	43	45.6	49.0	47.7	81.4
1 容易に利用できる	54.5	50.6	54.8	54.8	54.3	57.7	50.2	53.9	42.1	61.2	79.1	79.1	31.1	45.3	34.4	16.3
2 利用できるが難しい	34.1	33.5	37.9	31.1	29.9	36.7	39.0	31.1	45.3	34.4	16.3	16.3	14.9	12.6	4.4	4.7
3 利用するが難しい	11.4	11.7	11.5	14.1	15.7	5.7	10.7	14.9	12.6	4.4	4.7	4.7	14.9	12.6	4.4	4.7
Q 0 4 (B) あなたの所属される機関では、「ビデオ」がどの程度利用できますか。																
平均値	1.43	1.45	1.37	1.43	1.43	1.38	1.51	1.45	1.57	1.33	1.19	1.19	1.45	1.57	1.33	1.19
有効回答数	963	848	93	136	324	289	213	466	194	254	43	43	46.6	49.0	47.7	81.4
1 容易に利用できる	61.2	60.1	64.5	63.2	63.3	62.6	54.5	61.6	49.0	67.7	81.4	81.4	32.0	45.4	31.9	18.6
2 ある程度利用できる	34.5	35.0	34.4	30.9	30.9	36.3	39.9	32.0	45.4	31.9	18.6	18.6	6.4	5.7	0.4	0.0
3 利用するが難しい	4.4	4.8	1.1	5.9	5.9	1.0	5.6	6.4	5.7	0.4	0.0	0.0	6.4	5.7	0.4	0.0
Q 0 4 (C) あなたの所属される機関では、「ラジオ」がどの程度利用できますか。																
平均値	1.73	1.74	1.68	1.81	1.87	1.52	1.76	1.68	1.79	1.79	1.64	1.64	1.68	1.79	1.79	1.64
有効回答数	922	817	85	134	313	275	199	445	186	247	39	39	44.5	46.8	40.1	48.7
1 容易に利用できる	47.1	46.5	51.8	37.3	40.6	59.3	46.7	51.0	46.8	40.1	48.7	48.7	29.9	27.4	40.5	38.5
2 ある程度利用できる	32.8	33.2	28.2	44.8	31.6	29.8	30.7	29.9	27.4	40.5	38.5	38.5	19.1	25.8	19.4	12.8
3 利用するが難しい	20.2	20.3	20.0	17.9	27.8	10.9	22.6	19.1	25.8	19.4	12.8	12.8	19.1	25.8	19.4	12.8
Q 0 4 (D) あなたの所属される機関では、「オーディオ・テープ・レコーダー」がどの程度利用できますか。																
平均値	1.61	1.63	1.37	1.50	1.71	1.48	1.71	1.63	1.58	1.62	1.38	1.38	1.63	1.58	1.62	1.38
有効回答数	936	828	87	134	316	282	203	453	188	250	39	39	45.3	46.8	40.1	48.7
1 容易に利用できる	53.8	51.9	72.4	60.4	50.6	61.3	43.8	53.6	53.2	52.8	66.7	66.7	29.6	35.6	32.0	28.2
2 ある程度利用できる	31.4	32.7	18.4	29.1	28.2	29.1	41.4	29.6	35.6	32.0	28.2	28.2	16.8	11.2	15.2	5.1
3 利用するが難しい	14.7	15.3	9.2	10.4	21.2	9.6	14.8	16.8	11.2	15.2	5.1	5.1	16.8	11.2	15.2	5.1

表1-1 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」性別・年齢群別・所属機関別・結果一覽（その4）

総計	性別	年 齢	群	所 属 機 関		短 期 大 学
				国公立大	専 高	
Q 0 5	あなたの現職された放送教材は、以下のどのような形式に近いかと思われるか。					
1	有効回答数	923	814	87	133	203
2	講師1人形式	61.3	61.1	60.9	60.3	63.5
3	聞き手に講師が答える	11.7	10.7	20.7	15.0	9.4
4	対談形式	2.9	3.1	0.0	2.9	3.3
5	ゲスト中心形式	8.6	9.2	4.6	8.3	10.8
6	デトスカメラ形式	6.1	6.4	3.4	6.0	5.4
7	ドキュメンタリー形式	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8	その他	9.4	9.6	10.3	8.3	6.9
◎	講義形態×メディア					
11	有効回答数	923	814	87	133	203
21	講師1人形式×テレビ	46.5	45.6	50.6	48.9	49.3
22	講師1人形式×ラジオ	14.8	15.5	10.3	12.0	14.3
23	講師1人形式×テレビ	32.1	32.8	27.6	27.1	33.0
24	その他の他	6.6	6.1	11.5	12.0	3.4
Q 0 6	A. 講師の登場している時間					
1	有効回答数	2.11	2.10	2.22	2.27	2.11
2	有効回答率 (%)	939	828	91	134	210
3	多い	27.3	27.2	27.5	21.6	24.8
4	多い	38.0	39.1	30.8	38.1	43.8
5	多い	31.5	30.8	35.2	32.8	27.6
6	多い	2.8	2.5	5.5	6.7	3.3
7	多い	0.4	0.4	1.1	0.7	0.5
Q 0 6	B. 黒板、パネルなどの利用頻度					
1	有効回答数	2.84	2.82	3.00	2.86	2.85
2	有効回答率 (%)	746	655	73	102	177
3	多い	6.0	6.1	5.5	2.9	4.5
4	多い	32.3	33.6	26.0	38.2	33.9
5	多い	37.9	36.9	39.7	31.4	40.1
6	多い	19.0	18.9	20.5	24.5	14.7
7	多い	4.7	4.4	8.2	2.9	6.8
Q 0 6	C. コンピュータ・グラフィックやアニメーションの利用頻度					
1	有効回答数	3.88	3.90	3.78	4.05	3.81
2	有効回答率 (%)	680	596	67	91	156
3	多い	0.7	0.8	0.0	1.1	0.0
4	多い	6.8	6.5	7.5	1.1	10.3
5	多い	27.6	27.0	31.3	18.7	32.1
6	多い	33.8	32.9	37.3	49.5	28.8
7	多い	31.0	32.7	23.9	29.7	31.4

表1-1 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 性別・年齢群別・所属機関別・結果一覧 (その5)

	性別	年 齢 群	所 属 機 関		期 学				
			国立大学	私立大学		短大	専 門 学 校		
D 図版 (フリップ) の利用頻度									
Q 0 6	平 均 値	2.93	2.87	2.95	2.98	2.89	2.86	2.99	3.10
1	有効回答数	734	102	210	170	349	147	193	40
2	非常に多い	3.1	3.9	1.9	3.5	3.4	4.1	2.1	2.5
3	多い	30.5	28.4	28.6	28.2	33.0	33.3	25.4	25.0
4	どちらともいえない	42.6	44.1	47.6	41.2	40.1	38.8	51.3	40.0
5	少ない	18.1	17.6	16.7	21.2	18.6	19.7	13.5	25.0
6	非常に少ない	5.6	5.9	5.2	5.9	4.9	4.1	7.8	7.5
E ビデオ、オーディオ・テープ等の取材視聴教材の利用頻度									
Q 0 6	平 均 値	3.34	3.37	3.37	3.25	3.38	3.28	3.31	3.26
1	有効回答数	914	313	262	206	435	182	248	43
2	非常に多い	7.0	8.3	6.5	6.8	7.1	8.2	6.0	4.7
3	多い	16.6	17.4	16.0	19.9	15.4	17.6	17.7	20.9
4	どちらともいえない	33.0	34.8	33.6	32.0	34.3	30.2	32.3	37.2
5	少ない	22.4	23.3	22.1	24.3	18.9	25.8	26.6	18.6
6	非常に少ない	20.9	21.2	21.8	17.0	24.4	18.1	17.3	18.6
F 実験等のデモンストラーションの導入頻度									
Q 0 6	平 均 値	3.45	3.52	3.40	3.36	3.50	3.30	3.46	3.49
1	有効回答数	680	234	194	159	329	132	179	35
2	非常に多い	2.8	2.6	4.1	1.9	2.4	3.8	3.4	0.0
3	多い	18.1	17.1	14.9	24.5	17.6	21.2	16.2	20.0
4	どちらともいえない	30.9	31.2	33.5	28.3	30.7	30.3	31.3	34.3
5	少ない	27.8	24.4	31.4	25.8	26.1	31.1	29.6	22.9
6	非常に少ない	20.4	24.8	16.0	19.5	23.1	13.6	19.6	22.9
G 寸劇などの利用頻度									
Q 0 6	平 均 値	4.21	4.25	4.13	4.34	4.31	4.12	4.08	4.29
1	有効回答数	867	302	240	193	403	181	240	38
2	非常に多い	2.0	1.3	1.7	1.0	1.5	3.9	1.7	0.0
3	多い	3.8	2.0	4.6	5.7	3.7	3.9	4.6	0.0
4	どちらともいえない	19.6	23.8	22.1	10.9	16.4	18.8	25.0	23.7
5	少ない	21.0	16.6	22.1	22.8	19.6	23.2	21.3	23.7
6	非常に少ない	53.6	56.3	49.6	59.6	58.8	50.3	47.5	52.6
H 講師以外のゲストの登場時間									
Q 0 6	平 均 値	3.59	3.62	3.59	3.51	3.65	3.54	3.56	3.33
1	有効回答数	918	133	264	202	435	184	250	43
2	非常に多い	2.2	4.5	1.1	3.0	2.8	1.1	2.4	0.0
3	多い	15.1	19.5	14.8	15.8	15.4	17.9	12.0	18.6
4	どちらともいえない	30.1	16.5	35.6	27.7	26.2	27.7	36.4	41.9
5	少ない	27.0	27.8	21.2	33.7	25.5	32.6	25.2	27.9
6	非常に少ない	25.6	31.6	27.3	19.8	30.1	20.7	24.0	11.6

表 1-1 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 性別・年齢群別・所属機関別・結果一覧 (その6)

	総計	性別		年	年齢群			所属機関				
		男性	女性		34歳 ～	35歳 44歳	45歳 54歳	55歳 以上	国公立 大学	私立 大学	高等 専修 学校	短期 大学
Q 0 6	I 印刷教材を参照する頻度 平均値 3.40 有効回数多い 3.9 2 多 3 どちらともいえない 4 少ない 5 非常に少ない	3.39 831 4.0 14.9 34.6 31.6 15.3	3.53 90 2.2 13.3 31.1 35.6 17.8	3.31 134 7.5 14.2 34.3 28.4 15.7	3.40 323 2.5 14.9 38.7 27.9 16.1	3.35 271 4.4 14.8 34.3 34.7 11.8	3.50 208 3.4 14.4 28.8 35.1 18.3	3.38 446 4.5 15.0 33.9 31.4 15.2	3.45 190 3.2 13.7 34.7 32.1 16.3	3.37 252 4.4 15.1 35.3 30.2 15.1	3.47 43 0.0 14.0 34.9 41.9 9.3	
Q 0 6	J 演習問題など利用頻度 平均値 4.09 有効回数多い 4.1 2 多 3 どちらともいえない 4 少ない 5 非常に少ない	4.10 802 0.1 4.4 23.7 28.7 43.1	3.98 86 0.0 2.3 32.6 30.2 34.9	4.02 133 0.0 5.3 22.6 36.8 35.3	4.08 314 0.0 2.2 30.3 24.8 42.7	4.11 255 0.0 3.9 23.5 29.8 42.7	4.13 199 0.5 6.5 17.6 30.7 44.7	4.08 424 0.0 5.0 24.1 29.2 41.7	4.05 182 0.0 4.4 27.5 26.4 41.8	4.14 249 0.4 2.8 23.3 29.7 43.8	4.10 42 0.0 2.4 21.4 40.5 35.7	
Q 0 6	K 講義内容の分量 平均値 2.68 有効回数多い 3.4 2 多 3 どちらともいえない 4 少ない 5 非常に少ない	2.68 839 3.5 29.7 62.4 4.2 0.3	2.67 93 3.2 31.2 61.3 4.3 0.0	2.76 134 3.7 22.4 68.7 4.5 0.7	2.73 324 2.8 27.8 63.6 5.6 0.3	2.65 280 3.9 30.4 62.1 3.6 0.0	2.61 213 3.3 36.6 57.7 2.8 0.5	2.64 456 4.8 32.0 51.0 5.3 0.2	2.65 193 3.1 34.2 57.5 4.7 0.5	2.79 254 1.2 21.7 74.4 2.4 0.4	2.70 43 0.0 32.6 65.1 2.3 0.0	
Q 0 6	L 内容を説明する時間 平均値 2.57 有効回数多い 6.6 2 多 3 どちらともいえない 4 少ない 5 非常に少ない	2.57 835 6.8 40.5 42.8 9.0 1.2	2.65 93 3.2 39.8 46.2 10.8 0.0	2.76 135 5.2 29.6 49.6 15.6 0.0	2.54 323 6.2 43.7 40.9 8.0 1.2	2.53 277 7.9 39.4 45.1 7.2 0.4	2.57 212 6.6 43.9 38.2 9.0 2.4	2.52 451 7.5 44.1 38.1 8.9 1.3	2.57 192 7.3 41.7 38.5 12.0 0.5	2.64 255 4.7 34.1 54.5 5.9 0.8	2.73 44 4.5 34.1 45.5 15.9 0.0	
Q 0 6	M 視聴者に考えさせる時間 平均値 3.61 有効回数多い 0.7 2 多 3 どちらともいえない 4 少ない 5 非常に少ない	3.61 845 0.8 7.6 32.7 47.6 11.4	3.66 92 0.0 6.5 30.4 53.3 9.8	3.69 134 0.7 4.5 32.1 50.7 11.9	3.62 324 0.6 7.7 34.3 43.8 13.6	3.59 287 0.3 9.1 30.3 51.6 8.7	3.58 213 1.4 7.0 33.8 47.9 9.9	3.60 463 0.9 9.7 30.0 46.9 12.5	3.68 192 1.0 5.7 29.7 51.6 12.0	3.58 255 0.4 4.7 39.6 47.5 7.8	3.60 43 0.0 7.0 34.9 48.8 9.3	

表 1-1 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 性別・年齢群別・所属機関別・結果一覧 (その8)

	総計	性別		年齢群	所属機関						
		男性	女性		国立大学	私立大学	高等学校	専門学校			
Q06	S. 平地見学の導入頻度	3.37	3.37	3.42	3.37	3.35	3.39	3.36	3.43	3.37	3.28
1	平均値	3.37	3.37	3.42	3.37	3.35	3.39	3.36	3.43	3.37	3.28
2	有効回答数	667	62	89	227	187	163	313	134	177	39
3	有効回答率 (%)	3.6	1.6	3.4	4.0	3.2	3.7	3.2	5.2	2.3	7.7
4	有効回答率 (%)	17.4	24.2	20.2	16.3	16.0	18.4	19.2	15.7	15.8	15.4
5	有効回答率 (%)	35.1	30.6	30.3	35.7	38.5	33.1	34.2	29.9	40.7	35.9
6	有効回答率 (%)	25.8	22.6	23.6	26.4	26.7	25.2	24.9	29.1	25.4	23.1
7	有効回答率 (%)	18.1	21.0	22.5	17.6	15.5	19.6	18.5	20.1	15.8	17.9
Q07	A. 以上で、放送教材を改善するために重要と思われる点を下さい (複数回答可)。	548	65	98	211	185	131	309	126	159	29
1	有効回答数	548	65	98	211	185	131	309	126	159	29
2	有効回答率 (%)	10.5	10.8	9.2	9.5	11.4	12.2	11.0	11.9	8.2	10.3
3	有効回答率 (%)	855	84	127	270	261	196	420	171	219	41
4	有効回答率 (%)	7.4	7.8	8.7	6.7	7.7	7.1	6.9	10.5	5.0	12.2
5	有効回答率 (%)	17.2	17.9	13.4	18.9	17.6	16.8	15.7	18.1	18.7	19.5
6	有効回答率 (%)	13.5	13.7	12.6	14.4	12.3	14.3	11.2	17.0	14.6	17.1
7	有効回答率 (%)	13.9	13.7	12.6	16.7	13.0	11.7	14.3	12.3	14.6	12.2
8	有効回答率 (%)	17.9	17.9	15.7	18.9	18.0	17.9	18.8	15.8	18.7	14.6
9	有効回答率 (%)	4.3	4.2	7.9	5.2	4.2	1.0	4.3	4.7	4.6	2.4
10	有効回答率 (%)	15.8	15.8	15.0	13.7	15.3	19.9	15.7	16.4	15.5	12.2
11	有効回答率 (%)	15.2	15.9	9.4	15.9	15.7	17.3	16.2	15.8	13.7	4.9
12	有効回答率 (%)	18.0	17.7	18.1	14.8	17.6	23.0	16.2	19.9	21.5	9.8
13	有効回答率 (%)	14.5	14.3	21.3	18.9	13.8	14.3	13.8	19.3	13.7	4.9
14	有効回答率 (%)	18.0	17.4	26.2	21.3	17.2	15.8	18.6	18.1	17.4	9.8
15	有効回答率 (%)	27.6	27.6	31.5	27.4	28.7	25.5	31.9	25.1	23.3	24.4
16	有効回答率 (%)	21.6	21.5	18.1	20.0	24.1	23.0	21.0	28.7	18.7	14.6
17	有効回答率 (%)	9.0	8.1	8.7	10.4	8.0	8.7	8.1	14.0	7.3	4.9
18	有効回答率 (%)	31.3	30.4	29.1	28.9	37.5	28.1	32.9	33.9	26.9	26.8
19	有効回答率 (%)	16.4	15.9	10.2	18.5	15.3	18.9	16.2	22.2	13.7	9.8
20	有効回答率 (%)	5.0	4.9	4.7	3.7	5.4	6.6	5.7	0.6	5.5	14.6
21	有効回答率 (%)	12.9	13.0	10.2	13.0	10.3	17.3	10.0	12.3	18.3	17.1
22	有効回答率 (%)	22.9	22.8	17.3	20.4	23.0	30.1	23.8	19.3	22.8	29.3
Q08	A. 講師は、派手な印象が	3.51	3.70	3.65	3.53	3.46	3.46	3.58	3.57	3.35	3.46
1	平均値	3.51	3.70	3.65	3.53	3.46	3.46	3.58	3.57	3.35	3.46
2	有効回答数	963	91	136	326	287	213	468	194	254	41
3	有効回答率 (%)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4
4	有効回答率 (%)	2.6	2.9	2.2	4.0	2.4	0.9	2.1	2.6	3.9	0.0
5	有効回答率 (%)	52.8	45.1	44.9	49.1	56.1	59.2	48.9	47.9	63.0	53.7
6	有効回答率 (%)	34.9	39.6	39.0	36.5	32.8	32.4	37.4	39.2	26.8	36.6
7	有効回答率 (%)	9.7	15.4	14.0	10.4	8.4	7.5	11.5	10.3	6.3	7.3
Q08	B. 講師は、清潔な印象が	2.27	2.30	2.34	2.27	2.18	2.34	2.24	2.32	2.29	2.27
1	平均値	2.27	2.30	2.34	2.27	2.18	2.34	2.24	2.32	2.29	2.27
2	有効回答数	970	93	136	326	290	217	471	195	254	44
3	有効回答率 (%)	9.3	9.7	8.8	10.1	11.7	5.1	10.4	8.2	7.9	11.4
4	有効回答率 (%)	55.8	52.7	50.7	53.7	60.7	55.8	56.7	52.8	55.9	56.8
5	有効回答率 (%)	33.9	35.5	38.2	35.3	26.2	39.2	31.8	38.5	35.8	25.0
6	有効回答率 (%)	0.8	2.2	2.2	0.6	1.0	0.0	0.8	0.0	0.4	6.8
7	有効回答率 (%)	0.2	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.2	0.5	0.0	0.0

表1-1 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 性別・年齢群別・所属機関別・結果一覧 (その9)

	性別	性	別	年	齢	群	所	属	機	関	期	学						
総計													男	性	女	性		
C 講師は、活動的な印象が													2.86	2.86	2.86	2.86		
Q 0 8	平均	2.86	967	852	93	136	326	289	2.79	2.80	2.87	2.86	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80
1	有効回答数	967	852	93	136	326	289	2.79	2.80	2.87	2.86	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80
2	非常に強い	3.4	3.3	4.3	5.9	3.7	3.5	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
3	強い	26.6	26.8	22.6	19.9	24.8	28.7	30.7	24.3	28.4	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6	31.6
4	どちらともいえない	53.2	52.7	59.1	49.3	52.1	55.0	54.4	55.3	46.4	53.4	56.8	56.8	56.8	56.8	56.8	56.8	56.8
5	弱い	14.8	15.4	10.8	19.1	17.5	11.1	13.0	13.4	19.6	12.3	22.7	22.7	22.7	22.7	22.7	22.7	22.7
6	非常に弱い	2.1	1.9	3.2	5.9	1.8	1.7	0.5	3.0	1.5	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
D 講師は、親しみやすいという印象が													2.62	2.62	2.62	2.62		
Q 0 8	平均	2.55	969	855	92	136	326	289	2.49	2.52	2.53	2.67	2.53	2.53	2.53	2.53	2.53	2.53
1	有効回答数	969	855	92	136	326	289	2.49	2.52	2.53	2.67	2.53	2.53	2.53	2.53	2.53	2.53	2.53
2	非常に強い	7.3	7.3	7.6	11.0	8.6	5.2	6.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
3	強い	44.5	44.9	35.9	30.9	40.5	51.2	49.8	43.5	40.0	50.8	37.2	37.2	37.2	37.2	37.2	37.2	37.2
4	どちらともいえない	35.0	34.3	45.7	39.0	36.8	33.6	31.8	34.6	34.4	35.4	44.2	44.2	44.2	44.2	44.2	44.2	44.2
5	弱い	11.9	12.4	8.7	14.0	13.5	9.3	11.5	11.7	15.9	9.1	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3	9.3
6	非常に弱い	1.3	1.2	2.2	5.1	0.6	0.7	0.9	1.3	2.6	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
E 講師は、暖かいという印象が													2.53	2.53	2.53	2.53		
Q 0 8	平均	2.51	968	854	92	136	326	288	2.44	2.48	2.46	2.64	2.46	2.46	2.46	2.46	2.46	2.46
1	有効回答数	968	854	92	136	326	288	2.44	2.48	2.46	2.64	2.46	2.46	2.46	2.46	2.46	2.46	2.46
2	非常に強い	7.4	7.3	6.5	8.1	8.9	6.9	5.5	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
3	強い	44.0	44.4	40.2	36.0	40.5	48.3	48.4	43.9	43.0	42.9	42.9	42.9	42.9	42.9	42.9	42.9	42.9
4	どちらともいえない	39.7	39.2	46.7	43.4	39.6	39.2	38.2	38.0	43.0	42.9	42.9	42.9	42.9	42.9	42.9	42.9	42.9
5	弱い	8.1	8.3	6.5	10.3	10.1	4.9	7.8	7.4	12.4	5.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1
6	非常に弱い	0.8	0.8	0.0	2.2	0.9	0.7	0.0	0.8	1.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
F 講師は、厳しいという印象が													3.14	3.14	3.14	3.14		
Q 0 8	平均	3.15	965	852	91	136	326	288	3.12	3.21	3.17	3.16	3.17	3.17	3.17	3.17	3.17	3.17
1	有効回答数	965	852	91	136	326	288	3.12	3.21	3.17	3.16	3.17	3.17	3.17	3.17	3.17	3.17	3.17
2	非常に強い	1.2	0.9	1.1	2.2	0.6	2.1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
3	強い	11.4	12.2	5.5	16.2	12.3	8.7	10.7	9.8	17.6	9.8	17.6	9.8	17.6	9.8	17.6	9.8	17.6
4	どちらともいえない	61.7	60.6	71.4	56.6	60.7	68.4	57.0	64.5	53.9	68.9	64.5	53.9	68.9	64.5	53.9	68.9	64.5
5	弱い	22.3	22.5	22.0	19.9	23.0	16.7	30.4	23.0	23.3	18.9	23.8	23.3	18.9	23.8	23.3	18.9	23.8
6	非常に弱い	3.4	3.8	0.0	5.1	3.4	4.2	1.4	5.2	2.0	0.0	0.0	5.2	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
G 講師は、緊張しているという印象が													3.02	3.02	3.02	3.02		
Q 0 8	平均	3.18	965	853	91	135	326	288	3.13	3.18	3.18	3.10	3.18	3.18	3.18	3.18	3.18	3.18
1	有効回答数	965	853	91	135	326	288	3.13	3.18	3.18	3.10	3.18	3.18	3.18	3.18	3.18	3.18	3.18
2	非常に強い	1.2	1.2	2.2	3.0	0.3	1.4	1.4	1.3	3.1	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	強い	16.3	15.4	24.2	17.0	17.2	16.7	14.0	17.3	19.6	10.3	23.3	19.6	10.3	23.3	19.6	10.3	23.3
4	どちらともいえない	51.7	52.2	44.0	38.5	52.8	55.2	53.5	50.1	46.4	59.7	48.8	46.4	59.7	48.8	46.4	59.7	48.8
5	弱い	25.3	25.3	28.6	33.3	23.9	21.5	27.4	25.8	25.7	27.9	27.9	25.8	25.7	27.9	25.8	25.7	27.9
6	非常に弱い	5.5	6.0	1.1	8.1	5.8	5.2	3.7	6.6	5.2	4.3	0.0	6.6	5.2	4.3	0.0	4.3	0.0

表1-1 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」性別・年齢群別・所属機関別・結果一覧（その10）

	性別	性	別	年	年齢	群	所	属	機	関	短期学			
											国公立大	私立大	高専	短大
Q08	H	講師の講義の進め方は、話すスピードが速いという印象が	3.22	3.21	3.33	3.43	3.20	3.13	3.25	3.18	3.20	3.27		
1	平均	回数強い	988	853	93	136	215	290	472	195	254	41		
2	有常	強い	8.8	0.9	0.0	1.2	0.0	1.4	1.1	1.0	0.4	0.0		
3	強	ちい	60.0	61.2	48.4	47.1	65.1	65.5	58.1	55.5	65.7	9.8		
4	弱	ちい	27.9	26.5	40.9	36.8	25.1	21.7	29.4	25.1	26.0	36.6		
5	非	常に弱い	2.5	2.7	1.1	7.4	1.4	1.7	3.2	3.6	0.8	0.0		
Q08	I	講師の講義の進め方は、話し方が明瞭であるという印象が	2.41	2.42	2.38	2.48	2.38	2.37	2.38	2.45	2.46	2.36		
1	平均	回数強い	969	853	94	134	218	291	471	195	254	44		
2	有常	強い	7.4	7.0	8.2	7.7	7.8	6.5	8.7	7.7	4.3	9.1		
3	強	ちい	51.0	51.7	45.7	46.3	52.8	55.0	51.0	47.7	52.4	56.8		
4	弱	ちい	34.5	35.6	41.5	35.1	33.5	33.7	33.5	37.4	36.2	22.7		
5	非	常に弱い	7.0	7.5	3.2	10.4	5.5	4.8	6.8	6.7	7.1	11.4		
			0.1	0.1	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0		
Q08	J	講師の講義の進め方は、言葉遣いが堅いという印象が	3.03	3.02	3.03	3.01	3.09	2.96	3.05	2.94	3.07	2.93		
1	平均	回数強い	971	856	93	136	217	291	472	197	254	42		
2	有常	強い	1.4	1.4	2.2	2.9	1.4	0.7	1.7	2.0	0.4	0.0		
3	強	ちい	21.7	22.2	18.3	24.3	20.7	1.4	1.7	2.0	0.4	0.0		
4	弱	ちい	52.3	52.1	53.8	45.6	49.3	25.1	26.4	26.4	16.9	26.2		
5	非	常に弱い	21.8	21.3	25.8	23.5	24.4	20.3	22.5	18.8	23.2	19.0		
			2.7	3.0	0.0	3.7	4.1	1.0	3.8	3.0	0.8	0.0		
Q08	K	講師の講義の進め方は、問の取り方がよいという印象が	2.77	2.78	2.67	2.81	2.74	2.76	2.78	2.83	2.72	2.68		
1	平均	回数強い	972	856	94	135	218	292	472	196	254	44		
2	有常	強い	3.9	3.2	9.6	5.2	2.8	3.8	3.6	4.1	3.5	6.8		
3	強	ちい	30.3	30.7	25.5	25.2	33.0	28.1	31.8	24.5	32.7	27.3		
4	弱	ちい	51.4	51.3	53.2	53.3	51.8	56.8	48.3	57.1	52.8	56.8		
5	非	常に弱い	13.8	14.3	11.7	16.3	12.4	11.3	15.9	13.3	10.6	9.1		
			0.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.0	0.4	0.0		
Q08	L	講師の講義の進め方は、表現力が豊かであるという印象が	2.82	2.82	2.91	3.09	2.68	2.75	2.82	2.88	2.78	2.86		
1	平均	回数強い	971	856	93	136	218	292	470	197	254	44		
2	有常	強い	3.9	3.4	6.5	3.7	5.5	3.1	3.8	4.6	3.5	2.3		
3	強	ちい	28.1	28.6	21.5	20.6	30.3	32.9	29.1	23.4	29.1	31.8		
4	弱	ちい	51.1	51.8	47.3	42.6	55.0	51.4	50.2	53.3	53.1	45.5		
5	非	常に弱い	15.3	14.6	23.7	29.4	9.2	11.3	14.7	17.3	13.8	18.2		
			1.5	1.6	1.1	3.7	0.0	1.4	2.1	1.5	0.4	2.3		

表 1-1 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 性別・年齢群別・所属機関別・結果一覧 (その11)

		性別		年齢群		所属機関	
		男性	女性	35歳 45歳 54歳	55歳 以上	国立 公立 私立 大学	専門学校 短期 大学
M. 講師の講義の進め方は、ユーモアがあるという印象が							
Q.08	平均値	3.40	3.44	3.45	3.30	3.44	3.47
	有効回答数	855	94	325	292	471	254
1	非常に強い	0.9	2.1	0.7	1.0	0.6	1.5
2	強い	8.9	9.4	9.5	8.6	9.6	9.1
3	どちらともいえない	46.7	48.9	42.8	53.4	43.1	57.1
4	弱い	36.8	37.2	38.5	35.0	38.4	39.1
5	非常に弱い	6.7	7.4	8.6	3.8	8.3	2.4
	標準偏差	1.25	1.25				
N. 講師の講義の進め方は、説得力があるという印象が							
Q.08	平均値	2.56	2.53	2.56	2.51	2.51	2.57
	有効回答数	855	95	325	292	471	254
1	非常に強い	5.5	4.2	6.2	4.5	6.6	4.3
2	強い	45.4	48.4	43.7	47.9	47.6	42.5
3	どちらともいえない	38.8	37.9	37.8	41.1	34.8	45.3
4	弱い	9.7	9.5	12.3	5.5	10.0	7.9
5	非常に弱い	0.7	0.0	0.0	1.0	1.1	0.0
	標準偏差	2.9	2.9				
O. 講師の講義の進め方は、わかりやすいという印象が							
Q.08	平均値	2.45	2.39	2.51	2.35	2.44	2.43
	有効回答数	856	94	326	292	472	254
1	非常に強い	6.8	6.4	7.1	6.8	8.3	3.5
2	強い	51.9	55.3	47.9	57.2	51.5	53.9
3	どちらともいえない	32.5	30.9	32.8	31.2	29.2	38.2
4	弱い	8.3	7.4	11.7	3.8	10.2	4.3
5	非常に弱い	0.5	0.0	0.6	1.0	0.8	0.0
	標準偏差	2.45	2.45				
P. 講師の講義の進め方は、話術が巧みであるという印象が							
Q.08	平均値	2.90	2.91	2.93	2.85	2.91	2.85
	有効回答数	972	94	326	292	472	254
1	非常に強い	4.1	5.3	4.0	4.8	4.2	4.3
2	強い	21.2	19.1	21.8	20.5	23.5	19.7
3	どちらともいえない	56.3	55.3	53.1	61.0	51.3	62.2
4	弱い	17.3	19.1	19.9	12.0	19.1	13.8
5	非常に弱い	1.1	1.1	1.2	1.7	1.9	0.0
	標準偏差	1.1	1.1				
Q. 講師の講義の進め方は、まわりくどい話し方という印象が							
Q.08	平均値	3.45	3.39	3.39	3.45	3.48	3.42
	有効回答数	970	93	326	291	472	254
1	非常に強い	0.5	1.1	1.2	0.0	0.4	0.0
2	強い	6.7	6.4	7.1	6.5	7.6	5.1
3	どちらともいえない	47.7	46.2	49.1	50.2	44.5	53.9
4	弱い	37.5	38.7	37.1	35.1	38.6	33.1
5	非常に弱い	7.5	5.4	5.5	8.2	8.9	7.5
	標準偏差	8.1	8.1				

表 1-1 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 性別・年齢群別・所属機関別・結果一覧 (その12)

	性別	年齢	所属機関	期学			
					性	別	年
Q 0 8 R. 講師の講義の進め方は、すっきりとした話し方という印象が							
1	2.54	2.44	2.61	2.52	2.62	2.53	2.39
2	972	855	95	326	217	196	44
3	6.7	6.3	11.6	5.9	6.5	5.1	6.8
4	43.7	44.3	38.9	41.9	43.6	43.0	50.0
5	39.4	38.7	43.2	38.2	40.1	37.3	40.9
	9.7	10.1	6.3	13.2	7.4	10.6	7.1
	0.5	0.6	0.7	0.6	0.3	0.5	0.0
Q 0 8 S. 講師の講義の進め方は、素材の提示の仕方が適切という印象が							
1	2.55	2.56	2.49	2.73	2.59	2.63	2.50
2	971	855	94	135	326	196	44
3	6.3	5.8	9.6	4.4	4.3	6.1	5.9
4	42.9	42.7	40.4	31.1	43.6	45.2	47.7
5	40.9	41.5	41.5	51.9	42.3	38.4	31.8
	9.3	9.2	8.5	11.9	8.9	9.3	6.8
	0.6	0.7	0.0	0.7	0.9	0.8	0.0
Q 0 9. 以上のA～Sの中で、視聴された放送教材を改善するために重要と思われる点を選んで下さい (複数回答可)。							
A.	595	517	64	200	175	299	142
B.	1.5	1.2	4.7	2.1	1.1	1.0	2.1
C.	813	711	83	260	247	401	201
D.	3.8	3.7	6.0	2.7	3.2	3.0	3.5
E.	12.7	12.2	15.7	16.4	13.8	14.0	9.5
F.	23.2	23.3	25.3	25.4	20.0	24.9	19.9
G.	8.2	8.4	8.4	7.4	6.9	9.7	8.5
H.	2.3	2.5	1.2	3.8	1.2	2.0	3.0
I.	9.6	9.3	10.8	6.6	9.7	8.5	10.8
J.	16.5	16.3	20.5	16.4	15.8	17.2	12.9
K.	15.0	14.2	22.9	14.8	16.2	16.5	14.9
L.	11.3	11.8	7.2	9.0	10.4	12.6	11.9
M.	17.7	18.3	16.9	15.6	16.9	17.7	16.2
N.	19.3	18.4	24.1	23.0	17.3	19.5	18.9
O.	38.4	38.6	38.6	41.8	36.2	38.4	48.6
P.	17.0	16.9	20.5	18.0	19.6	17.7	14.4
Q.	21.2	20.7	22.9	23.0	19.6	24.2	18.9
R.	17.0	16.6	21.7	20.5	16.5	18.0	10.8
S.	5.9	5.9	6.0	5.7	8.1	6.2	5.4
T.	8.7	8.6	7.2	8.2	10.0	8.2	2.7
U.	21.8	21.8	22.9	18.0	23.9	23.2	24.3
V.	14.5	14.2	18.1	11.5	12.3	17.2	16.2
Q 1 0. 1. 扱っている内容の範囲は適切である							
1	2.15	2.16	2.17	2.23	2.21	2.17	2.14
2	963	849	94	136	327	460	256
3	20.8	20.1	21.3	16.2	19.9	22.4	19.3
4	53.1	53.7	50.0	55.9	52.3	50.0	55.1
5	17.2	17.3	19.1	19.9	15.3	17.4	16.4
	8.1	7.9	9.6	5.1	11.9	8.9	8.6
	0.8	0.9	0.0	2.9	0.6	1.3	0.0
Q 1 0. 2. 扱っている内容の範囲は適切である							
1	2.15	2.16	2.17	2.23	2.21	2.17	2.14
2	963	849	94	136	327	460	256
3	20.8	20.1	21.3	16.2	19.9	22.4	19.3
4	53.1	53.7	50.0	55.9	52.3	50.0	55.1
5	17.2	17.3	19.1	19.9	15.3	17.4	16.4
	8.1	7.9	9.6	5.1	11.9	8.9	8.6
	0.8	0.9	0.0	2.9	0.6	1.3	0.0

表1-1 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 性別・年齢群別・所属機関別・結果一覧 (その13)

	性 別	年 齢 群				所 属 機 関					
		～ 34歳				国公立学 大 専 門 学 校					
		35～ 44歳	45～ 54歳	55歳 以上		国公立学 大	私 立 学 校	高 専	短 大 期 学		
総 計											
2. 内容が専門的である											
Q10	平	2.70	2.72	2.60	2.74	2.75	2.68	2.64	2.70	2.66	2.75
	有効回答数	965	849	95	136	328	282	218	460	256	44
1	非常に思う	9.1	8.5	14.7	10.3	9.5	6.7	11.0	8.7	8.2	9.1
2	やや思う	34.6	35.2	28.4	33.8	32.3	37.9	34.4	37.4	36.3	29.5
3	どちらでもない	36.1	35.5	42.1	33.8	34.8	38.3	36.2	32.8	38.7	43.2
4	やや思わない	17.1	17.7	11.6	16.2	20.4	14.2	16.5	17.8	14.8	13.6
5	非常に思わない	3.1	3.2	3.2	5.9	3.0	2.8	1.8	3.3	2.0	4.5
3. 単位数にふさわしい内容である											
Q10	平	2.40	2.40	2.39	2.48	2.39	2.37	2.39	2.37	2.44	2.33
	有効回答数	946	833	93	135	322	272	216	449	252	42
1	非常に思う	13.3	13.4	11.8	11.1	14.0	15.4	10.6	13.6	12.3	16.7
2	やや思う	42.2	41.8	41.9	43.7	39.4	39.0	49.5	43.9	40.1	42.9
3	どちらでもない	37.0	37.0	41.9	34.1	39.8	39.3	31.9	35.6	39.3	31.0
4	やや思わない	6.6	6.7	4.3	8.1	6.8	5.9	6.0	5.3	8.3	9.5
5	非常に思わない	1.0	1.1	0.0	3.0	0.0	0.4	1.9	1.6	0.0	0.0
4. 面白い番組である											
Q10	平	2.45	2.45	2.46	2.46	2.42	2.46	2.47	2.40	2.48	2.52
	有効回答数	963	848	95	136	327	280	219	458	256	44
1	非常に思う	14.8	15.1	11.6	17.6	15.6	15.0	11.4	19.2	10.9	6.8
2	やや思う	41.3	40.8	46.3	39.7	42.5	39.3	43.4	38.6	44.7	52.3
3	どちらでもない	29.8	29.8	29.5	25.0	27.8	32.5	32.4	27.3	28.1	25.0
4	やや思わない	12.4	12.7	9.5	14.0	12.5	11.1	12.8	12.7	9.4	13.6
5	非常に思わない	1.7	1.5	3.2	3.7	1.5	2.1	0.0	2.2	1.2	2.3
5. 役に立つ番組である											
Q10	平	2.04	2.04	2.12	2.01	2.13	2.01	1.98	2.03	2.02	2.11
	有効回答数	963	849	94	136	327	280	219	459	256	44
1	非常に思う	23.1	23.2	19.1	26.5	21.1	23.2	23.3	24.6	22.2	13.6
2	やや思う	54.2	54.5	53.2	52.2	51.1	56.4	57.5	51.9	53.0	70.5
3	どちらでもない	18.7	18.1	24.5	16.2	22.6	16.4	17.4	19.4	21.2	9.1
4	やや思わない	3.6	3.7	3.2	3.7	4.6	3.9	1.8	3.9	3.0	4.5
5	非常に思わない	0.4	0.5	0.0	1.5	0.6	0.0	0.0	0.2	0.0	2.3
6. わかりやすい番組である											
Q10	平	2.44	2.45	2.42	2.51	2.47	2.37	2.44	2.44	2.43	2.43
	有効回答数	960	845	95	136	326	279	218	457	256	44
1	非常に思う	11.9	11.8	10.5	11.0	12.0	12.9	11.0	13.3	9.0	15.9
2	やや思う	47.3	46.9	49.5	45.6	46.6	47.7	48.6	45.7	49.2	43.2
3	どちらでもない	27.4	27.5	28.4	25.7	26.1	30.1	27.1	26.7	24.4	22.7
4	やや思わない	12.0	12.3	10.5	16.2	13.5	8.2	11.9	11.8	14.2	18.2
5	非常に思わない	1.5	1.5	1.1	1.5	1.8	1.1	1.4	2.4	0.4	0.0

表1-1 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」性別・年齢群別・所属機関別・結果一覽（その14）

[illegible]

表1-1 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 性別・年齢群別・所属機関別・結果一覧（その16）

総計	性別		年	年齢群	所属機関	短期大学				
	性									
	男性	女性								
Q10 17. 視聴者への問いかけが適切である										
1 平均値	3.15	3.17	3.28	3.22	3.06	3.08	3.20	3.17	3.07	2.98
2 有効回数	954	842	135	324	276	218	452	197	255	44
3 非有効回数	2.0	2.0	0.7	1.5	1.8	3.7	2.2	1.0	2.7	0.0
4 非有効割合	15.7	15.1	11.9	11.1	22.8	16.1	15.5	16.2	14.5	22.7
5 非有効割合	50.1	49.8	50.4	54.0	45.7	49.5	46.0	49.7	56.9	56.8
6 非有効割合	29.6	30.2	32.6	30.2	26.8	30.3	32.5	31.0	24.7	20.5
7 非有効割合	2.6	3.0	4.4	3.1	2.9	0.5	3.8	2.0	1.2	0.0
Q10 18. 新しい概念の導入は適切に行なわれている										
1 平均値	2.56	2.58	2.71	2.60	2.50	2.50	2.62	2.55	2.53	2.24
2 有効回数	955	842	135	327	276	216	456	196	255	42
3 非有効回数	6.8	6.9	3.7	5.8	8.0	8.8	7.9	5.1	5.1	11.9
4 非有効割合	42.5	41.2	38.5	42.2	43.8	44.0	40.1	45.9	42.4	54.8
5 非有効割合	39.5	40.5	44.4	38.5	39.9	37.0	36.2	38.8	47.8	31.0
6 非有効割合	9.9	10.0	9.6	12.8	7.2	9.3	13.8	9.2	4.3	2.4
7 非有効割合	1.3	1.4	3.7	0.6	1.1	0.9	2.0	1.0	0.4	0.0
Q10 19. 具体例が適切に取り入れられている										
1 平均値	2.43	2.44	2.52	2.48	2.36	2.38	2.41	2.54	2.38	2.33
2 有効回数	961	846	135	327	280	218	458	198	256	43
3 非有効回数	11.5	11.1	11.9	10.4	13.2	10.1	13.1	7.1	10.2	16.3
4 非有効割合	48.7	48.6	41.5	48.3	47.9	54.6	47.2	49.5	51.6	51.2
5 非有効割合	27.2	26.7	31.1	26.3	29.6	22.9	27.1	27.3	28.5	18.6
6 非有効割合	11.4	12.1	14.1	12.8	7.9	12.4	10.7	15.2	9.4	11.6
7 非有効割合	1.4	1.5	1.5	2.1	1.4	0.0	2.0	1.0	0.4	2.3
Q10 20. 講義の流れに変化が乏しい										
1 平均値	3.08	3.07	2.91	3.03	3.17	3.13	3.07	3.03	3.08	3.42
2 有効回数	960	845	135	326	280	218	457	198	256	43
3 非有効回数	3.1	3.2	5.2	4.9	1.8	0.9	3.9	3.5	1.2	0.0
4 非有効割合	24.8	24.9	30.4	24.5	23.6	23.4	26.3	26.8	23.0	14.0
5 非有効割合	39.3	39.4	36.3	39.6	38.2	42.2	35.9	38.4	46.1	41.9
6 非有効割合	26.7	26.5	24.4	24.5	28.6	28.4	26.9	25.8	25.8	32.6
7 非有効割合	6.1	6.0	3.7	6.4	7.9	5.0	7.0	5.6	3.9	11.6
Q10 21. 必要以上に専門用語が使われている										
1 平均値	3.51	3.50	3.63	3.49	3.48	3.51	3.53	3.53	3.45	3.63
2 有効回数	958	843	135	327	277	218	456	197	256	43
3 非有効回数	0.8	0.8	0.7	0.6	0.4	1.8	0.7	2.5	0.0	0.0
4 非有効割合	4.8	5.1	3.7	4.9	4.7	5.5	4.6	3.0	5.9	7.0
5 非有効割合	46.9	47.0	39.3	49.8	50.9	41.7	47.8	44.2	49.2	34.9
6 非有効割合	37.3	37.2	44.4	34.3	34.3	41.3	34.9	39.1	38.7	46.5
7 非有効割合	10.2	9.8	11.9	10.4	9.7	9.6	12.1	11.2	6.3	11.6

表1-1 1986年度『放送大学放送教材に関する調査』性別・年齢群別・所属機関別・結果一覽（その17）

[illegible]

表1-1 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 性別・年齢群別・所属機関別・結果一覧 (その18)

	性別	性	別	年 齢	群	所 属 機 関				
						短 期 学 校	専 門 学 校	立 学 校	私 立 学 校	公 立 学 校
総 計	男 性	女 性	性 別	年 齢	群	短 期 学 校	専 門 学 校	立 学 校	私 立 学 校	公 立 学 校
Q10	27. 1回の講義時間の長さは適当である	2.41	2.49	2.46	2.40	2.30	2.39	2.41	2.49	2.25
1	有効回答数	962	95	327	280	219	458	198	256	44
2	有効回答に思う	11.9	11.6	10.4	13.9	12.8	12.4	10.1	11.3	18.2
3	有効回答に思う	47.8	46.3	46.8	45.4	52.5	49.3	45.5	47.3	45.5
4	有効回答に思う	29.0	29.5	29.6	28.6	27.9	27.3	31.3	30.5	29.5
5	有効回答に思う	10.0	16.8	12.2	11.1	5.9	8.7	11.6	10.9	6.8
	有効回答に思う	1.4	1.1	0.9	1.1	0.9	2.2	1.5	0.0	0.0
Q10	28. 中途に息抜きの時間が適度に入っている	3.27	3.39	3.27	3.24	3.17	3.29	3.21	3.30	3.07
1	有効回答数	957	94	326	277	218	454	197	256	44
2	有効回答に思う	2.6	2.8	2.5	3.6	2.8	3.5	2.5	1.2	2.3
3	有効回答に思う	15.2	15.1	14.1	17.3	17.0	13.9	13.7	16.8	25.0
4	有効回答に思う	41.9	41.9	43.6	37.9	46.8	40.3	41.1	46.5	36.4
5	有効回答に思う	33.8	37.2	34.0	33.9	28.0	34.4	30.5	30.5	36.4
	有効回答に思う	6.6	7.4	5.8	7.2	5.5	7.9	6.1	5.1	0.0
Q10	29. カリキュラムの組み方は適切である	2.46	2.50	2.41	2.47	2.43	2.46	2.44	2.48	2.41
1	有効回答数	957	94	327	276	219	456	197	254	44
2	有効回答に思う	9.3	10.6	11.9	8.0	10.5	10.5	8.1	8.3	9.1
3	有効回答に思う	44.2	41.5	44.8	43.1	45.2	43.6	45.7	44.1	40.9
4	有効回答に思う	38.6	39.4	35.5	43.1	35.2	36.2	41.1	39.4	50.0
5	有効回答に思う	7.3	12.8	7.6	5.1	8.7	9.0	4.6	7.5	0.0
	有効回答に思う	0.6	0.0	0.6	0.7	0.5	0.7	0.5	0.8	0.0
Q10	30. 興味深い番組である	2.07	2.12	2.11	2.02	2.02	2.07	2.11	2.04	2.02
1	有効回答数	966	95	327	284	219	462	198	256	44
2	有効回答に思う	26.1	25.3	27.5	27.8	22.8	29.0	22.7	24.6	15.9
3	有効回答に思う	49.0	46.3	44.0	48.9	55.3	44.6	51.5	52.0	68.2
4	有効回答に思う	17.6	20.0	19.0	16.5	18.7	17.3	18.7	18.4	13.6
5	有効回答に思う	6.8	8.4	8.6	6.7	3.2	8.7	6.1	4.7	2.3
	有効回答に思う	0.5	0.0	0.9	0.0	0.0	0.4	1.0	0.4	0.0
Q10	31. 何らかの形で利用価値のある教材である	1.78	1.79	1.86	1.73	1.68	1.79	1.82	1.70	1.82
1	有効回答数	966	95	327	283	219	462	198	256	44
2	有効回答に思う	37.5	40.0	36.4	39.2	37.4	37.7	35.9	39.1	31.8
3	有効回答に思う	51.8	52.3	48.3	51.6	57.1	51.1	51.5	52.7	59.1
4	有効回答に思う	6.9	5.3	9.2	6.0	5.0	6.7	7.6	7.4	4.5
5	有効回答に思う	3.2	4.2	5.2	2.8	0.5	3.7	4.5	0.8	4.5
	有効回答に思う	0.6	0.0	0.9	0.4	0.0	0.9	0.5	0.0	0.0

表 1-1 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 性別・年齢群別・所属機関別・結果一覧（その20）

	性別	性 別		年 齢	年 齢		所 属 機 関	期 学			
		男 性	女 性		3 4 歳	3 5 ～ 4 4 歳			4 5 ～ 5 4 歳	5 5 歳 以 上	国公立大学
総 計											
7. 講師の人は適切である											
Q10	3 均 値	2.02	2.16	2.18	2.03	1.99	2.00	2.01	2.13	1.95	2.16
1	有効回数	847	94	135	328	278	219	457	198	256	44
2	有効回数	30.7	27.7	23.0	32.9	29.9	32.9	33.9	26.8	30.1	18.2
3	有効回数	41.6	38.3	45.9	38.1	46.4	38.4	38.7	39.4	47.3	50.0
4	有効回数	22.4	25.5	22.2	23.5	19.8	25.1	20.6	28.3	20.7	29.5
5	有効回数	4.1	7.4	8.1	4.3	3.2	3.7	5.7	5.1	1.6	2.3
6	有効回数	0.7	1.1	0.7	1.2	0.7	0.0	1.1	0.5	0.4	0.0
8. 講義の進度が速い											
Q10	3 均 値	3.20	3.23	3.28	3.21	3.20	3.13	3.23	3.17	3.14	3.32
1	有効回数	846	94	134	327	280	218	458	196	256	44
2	有効回数	1.7	2.1	0.0	2.1	1.8	1.8	2.0	1.5	1.6	0.0
3	有効回数	13.4	13.8	21.6	11.9	11.1	13.3	13.5	15.3	12.5	6.8
4	有効回数	52.8	45.7	35.8	53.8	56.4	57.3	49.3	51.5	59.8	59.1
5	有効回数	27.5	35.1	35.8	26.9	26.4	24.8	29.5	27.6	23.0	29.5
6	有効回数	4.6	3.2	6.7	5.2	4.3	2.8	5.7	4.1	3.1	4.5
9. 全体の講義の分量は適当である											
Q10	3 均 値	2.59	2.62	2.68	2.64	2.58	2.43	2.57	2.63	2.62	2.36
1	有効回数	845	94	134	328	277	219	456	198	255	44
2	有効回数	7.6	9.6	6.0	7.3	9.0	9.6	9.0	8.6	5.5	11.4
3	有効回数	41.2	38.3	40.3	39.9	39.0	46.6	42.3	34.8	42.0	47.7
4	有効回数	36.2	33.0	35.8	35.1	37.9	35.6	32.9	41.9	38.8	34.1
5	有効回数	12.7	19.1	15.7	16.5	12.6	7.8	14.3	14.1	12.2	6.8
6	有効回数	1.3	0.0	2.2	1.2	1.4	0.5	1.5	0.5	1.6	0.0
10. 図表などの提示に工夫がある											
Q10	4 均 値	2.80	2.69	2.95	2.87	2.77	2.61	2.85	2.80	2.71	2.67
1	有効回数	827	90	133	321	267	215	438	197	253	43
2	有効回数	5.9	10.0	6.0	6.2	5.6	7.9	5.9	6.6	6.7	7.0
3	有効回数	34.7	32.2	22.6	32.7	33.7	46.0	34.2	35.5	34.4	39.5
4	有効回数	36.3	38.9	44.4	34.9	42.7	25.6	34.5	33.5	42.3	32.6
5	有効回数	18.6	16.7	24.8	20.2	14.2	17.7	19.9	19.8	14.6	20.9
6	有効回数	4.1	2.2	2.3	5.9	3.7	2.8	5.5	4.6	2.0	0.0
11. 印刷教材が充実している											
Q10	4 均 値	2.74	2.74	3.01	2.75	2.71	2.59	2.75	2.70	2.76	2.61
1	有効回数	842	95	135	325	278	218	453	199	255	44
2	有効回数	6.7	10.5	3.0	6.2	7.9	9.2	6.2	8.0	7.5	4.5
3	有効回数	31.1	25.3	21.5	30.5	29.5	37.2	31.1	29.6	28.2	40.9
4	有効回数	46.2	47.4	50.4	47.4	47.5	41.3	46.4	47.2	47.5	43.2
5	有効回数	14.3	13.7	21.5	14.2	14.0	10.6	14.1	14.6	14.9	11.4
6	有効回数	1.8	3.2	3.7	1.8	1.1	1.8	2.2	0.5	2.0	0.0

表 1-1 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 性別・年齢群別・所属機関別・結果一覧 (その21)

	性別	年齢	学年	所属機関	短期大学	専門学校	私立大学	国立大学	公営機関	その他
Q10 42. 改善の余地が多い番組である										
1	有効回数	961	95	135	327	280	218	457	199	255
2	有効回数	3.4	4.2	5.9	4.0	3.6	0.9	4.4	4.0	0.8
3	有効回数	20.0	19.9	22.1	22.3	15.7	17.9	20.4	19.6	21.2
4	有効回数	38.4	36.8	28.1	36.7	44.6	39.0	37.9	40.7	39.2
5	有効回数	27.3	25.3	30.4	23.9	28.6	28.9	24.5	26.1	29.8
6	有効回数	10.9	11.6	8.9	13.1	7.5	13.3	12.9	9.5	9.0
Q10 43. 印刷教材にももう少し工夫が欲しい										
1	有効回数	960	95	135	326	280	218	457	198	255
2	有効回数	2.9	5.3	5.9	4.3	1.4	0.9	2.8	4.0	2.7
3	有効回数	28.8	30.5	35.6	30.7	26.1	24.8	29.8	30.3	25.9
4	有効回数	44.7	43.2	40.0	41.7	49.3	46.3	40.5	44.4	53.7
5	有効回数	17.9	16.8	17.0	18.7	16.4	19.3	19.3	18.2	12.9
6	有効回数	5.7	4.2	1.5	4.6	6.8	8.7	7.7	3.0	4.7
Q10 44. 印刷教材に演習などが適切に含まれている										
1	有効回数	943	94	135	323	270	214	445	197	253
2	有効回数	1.4	1.5	1.5	1.2	1.9	0.9	1.3	1.5	0.8
3	有効回数	7.7	8.5	9.6	7.4	5.9	9.3	7.0	8.1	7.1
4	有効回数	39.7	43.6	40.0	38.1	41.1	40.2	40.0	40.6	37.5
5	有効回数	35.0	27.7	31.9	34.4	34.8	37.9	35.3	31.0	37.9
6	有効回数	16.2	18.1	17.0	18.9	16.3	11.7	16.4	18.8	16.6
Q10 45. 放送は学習のペース作りに役だっている										
1	有効回数	949	94	134	325	273	216	448	198	253
2	有効回数	6.8	7.4	3.7	8.3	7.3	6.0	8.0	5.6	6.3
3	有効回数	39.2	33.0	37.3	38.8	35.9	44.9	41.3	33.3	38.7
4	有効回数	46.9	47.1	50.0	46.8	48.0	44.0	41.7	55.6	49.4
5	有効回数	6.0	9.6	7.5	5.5	7.3	4.2	7.1	5.1	5.1
6	有効回数	1.1	2.1	1.5	0.6	1.5	0.9	1.8	0.5	0.4
Q10 46. 全体的に満足のいく番組である										
1	有効回数	963	95	135	327	281	219	459	199	255
2	有効回数	18.3	20.0	11.1	18.7	21.0	18.3	20.3	15.6	17.3
3	有効回数	49.8	41.1	47.4	45.6	48.4	59.8	46.0	53.8	52.9
4	有効回数	22.7	29.5	28.9	24.5	23.1	16.0	21.8	23.1	24.3
5	有効回数	8.1	8.4	11.9	10.4	5.7	5.5	10.7	6.5	5.1
6	有効回数	1.0	1.1	0.7	0.9	1.8	0.5	1.3	1.0	0.4

表1-1 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 性別・年齢群別・所属機関別・結果一覧 (その22)

	性別	年齢群	所属機関			
			国立大	公立大	私立大	短大
Q13. この放送教材に関して、どのような利用法が考えられますか (複数回答可)						
1 有効回数	977	136	219	472	199	256
2 授業の参考資料の利用	7.8	5.6	6.4	7.0	7.2	8.8
3 授業の参考資料の利用	68.5	69.7	82.2	65.1	66.7	78.7
4 自習室での利用	23.8	27.3	24.2	22.6	22.6	28.1
5 図書室での利用	54.6	51.6	53.4	55.2	55.9	50.6
6 その他	2.6	6.3	0.9	3.1	3.1	1.2
平均値	2.8	3.1	2.3	2.9	2.1	2.4
Q14. あなたの所属する機関の単位で置き換えるとしたら、何単位程度を与えようか						
0 単位	1.45	1.27	1.37	1.48	1.70	1.21
1 単位	807	102	192	373	171	225
2 単位以上	25.9	30.4	32.3	25.7	24.0	27.1
平均値	18.6	18.8	17.2	15.8	7.6	32.9
有効回答数	40.4	34.3	39.1	43.2	43.3	31.6
有効回答率 (%)	15.1	11.8	15.1	15.3	25.1	8.4

表1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧（その1）

	回答総数	大学職位				メディア		科目分類			理系・文系		
		教授	助教授	大学大講	学師	テレビ	ラジオ	基礎	本基礎	外国語	専門	理系科目	文系科目
◎ 性別	978	282	201	88	768	210	299	123	556	486	369		
1 男性	956	279	198	84	749	207	289	122	545	471	363		
2 女性	90.1 9.9	96.8 3.2	86.4 13.6	81.0 19.0	90.1 9.9	89.9 10.1	93.4 6.6	88.5 11.5	88.6 11.4	94.5 5.5	84.8 15.2		
◎ 年齢群	45.90	54.31	44.07	37.05	46.13	45.03	47.43	43.78	45.54	46.14	46.28		
1 平均値	977	282	201	88	767	210	298	123	556	485	369		
2 34歳	13.9	0.0	2.5	37.5	13.4	15.7	9.7	23.6	14.0	11.8	13.6		
3 35～44歳	33.6	8.5	61.2	56.8	33.6	33.3	31.5	25.2	36.5	36.1	33.1		
4 45～54歳	30.1	43.6	31.3	4.5	29.1	33.8	33.2	32.5	27.9	29.9	29.5		
5 55歳～	22.4	47.9	5.0	1.1	23.9	17.1	25.5	18.7	21.6	22.3	23.8		
◎ 所属機関	972	282	201	88	763	209	296	123	553	481	368		
1 国立大学	48.7	73.8	70.6	45.5	48.8	48.3	47.6	43.1	50.5	47.2	52.4		
2 公立大学	20.5	26.2	29.4	54.5	19.8	23.0	21.3	27.6	18.4	19.8	19.0		
3 専門学校	26.3	0.0	0.0	0.0	26.2	26.8	27.0	28.5	25.5	29.1	22.0		
4 短期大学	4.5	0.0	0.0	0.0	5.2	1.9	4.1	0.8	5.6	4.0	6.5		
◎ 職種	969	282	201	88	759	210	295	120	554	483	366		
1 有効回答数	40.6	100.0	0.0	0.0	41.8	36.2	45.1	35.8	39.2	41.4	41.0		
2 教授	32.8	0.0	100.0	0.0	33.2	31.4	29.8	34.2	34.1	34.6	30.1		
3 助教授	14.2	0.0	0.0	100.0	13.0	18.6	12.9	13.3	15.2	12.0	17.5		
4 その他（助手など）	12.4	0.0	0.0	0.0	12.0	13.8	12.2	16.7	11.6	12.0	11.5		
◎ メディア	978	282	201	88	768	210	299	123	556	486	369		
1 有効回答数	78.5	79.8	76.1	73.9	100.0	0.0	83.6	52.8	81.5	92.4	68.8		
2 テレビ	21.5	20.2	23.9	26.1	0.0	100.0	16.4	47.2	18.5	7.6	31.2		
◎ 理系・文系	855	244	179	76	703	152	299		556	486	369		
1 理系	56.8	56.6	57.0	47.4	63.9	24.3	53.8		58.5	100.0	0.0		
2 文系	43.2	43.4	43.0	52.6	36.1	75.7	46.2		41.5	0.0	100.0		
◎ 理系×メディア	855	244	179	76	703	152	299		556	486	369		
21 有効回答数	52.5	52.9	52.0	40.8	63.9	0.0	53.8		51.8	92.4	0.0		
22 理系×テレビ	4.3	3.7	5.0	6.6	0.0	24.3	0.0		6.7	7.6	0.0		
11 理系×ラジオ	29.7	30.7	28.5	34.2	36.1	0.0	29.8		29.7	0.0	68.8		
12 文系×ラジオ	13.5	12.7	14.5	18.4	0.0	75.7	16.4		11.9	0.0	31.2		

表1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その2)

◎ 科目分類	総計	大学職位				メディア				科目分類				理系・文系			
		大学		教授		テレビ		ラジオ		基本		外国語		理系科目		文系科目	
		大教	大助	大講	大学	テレビ	ラジオ	テレビ	ラジオ	基礎	基本	外国語	専門	理系科目	理系科目	文系科目	文系科目
◎ 科目分類	978	282	201	88		768	210			299	123	556		486	369		
有算数科目	30.6	29.8	32.8	27.3		32.6	23.3			100.0	0.0	0.0		33.1	37.4		
2 有基礎科目	12.6	13.5	10.9	13.6		8.5	27.6			0.0	100.0	0.0		0.0	0.0		
3 有外国語科目	56.9	56.7	56.2	59.1		59.0	49.0			0.0	0.0	100.0		66.9	62.6		
5 有専門科目																	
Q 0 1 . あなたの視聴された放送教材は以下のどれですか。	978	282	201	88		768	210			299	123	556		486	369		
有効回答数																	
1 地球と宇宙 (度数)	57	14	15	5		57	0			57	0	0		57	0		
2 日本と自然	41	12	9	3		41	0			41	0	0		41	0		
3 生活と環境 I	31	7	4	1		31	0			31	0	0		0	31		
4 心理学	58	15	14	10		58	0			58	0	0		0	58		
5 基礎化学 I	63	23	12	2		63	0			63	0	0		63	0		
6 英語 I	65	21	9	8		65	0			0	65	0		0	0		
7 住居と環境 I	26	11	3	2		26	0			0	0	26		0	26		
8 食物と栄養	19	8	5	2		19	0			0	0	0		0	19		
9 乳児生活と健康と心理	33	10	6	7		33	0			0	0	33		0	33		
10 日本経済と歴史	31	9	5	2		31	0			0	0	0		0	31		
11 経営と管理	30	7	8	0		30	0			0	0	30		0	30		
12 日経と経済	25	10	3	1		25	0			0	0	25		25	0		
13 統計と理論	73	15	12	4		73	0			0	0	73		73	0		
14 宗教と歴史	26	8	6	2		26	0			0	0	26		0	26		
15 宗教学	92	32	19	10		92	0			0	0	92		92	0		
16 脳と行動	98	23	23	6		98	0			0	0	98		98	0		
17 歴史	10	3	4	0		0	10			10	0	0		0	10		
18 社会	10	2	3	2		0	10			10	0	0		0	10		
19 法と政治	20	4	3	0		0	20			20	0	0		0	20		
20 国語 I	9	4	2	1		0	9			9	18	0		0	9		
21 英語 I	18	6	4	3		0	18			0	0	0		0	0		
22 英語 II	14	4	3	1		0	14			0	14	0		0	0		
23 英語 III	13	5	3	0		0	13			0	13	0		0	0		
24 英語 IV	13	2	3	0		0	13			0	13	0		0	0		
25 英語 V	13	2	2	2		0	13			0	13	0		0	13		
26 英語 VI	14	3	2	6		0	14			0	14	0		0	14		
27 英語 VII	12	2	3	2		0	12			0	12	0		0	12		
28 英語 VIII	5	2	2	0		0	5			0	0	0		0	5		
29 英語 IX	10	4	2	1		0	10			0	0	0		0	10		
30 英語 X	7	1	1	2		0	7			0	0	0		0	7		
31 英語 XI	12	5	3	0		0	12			0	0	0		0	12		
32 英語 XII	30	8	8	3		0	30			0	0	0		30	0		

表1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その3)

	総計	大 学 職 位			メ デ ィ ア		科 目 分 類		理 系 ・ 文 系		
		大 教 授	大 学 助 教 授	大 学 講 師	テ レ ビ	ラ ジ オ	基 礎		理 科 系 目 科 目		
							本 科	外 国 語 専 門	理 科 系 目 科 目	文 科 系 目 科 目	
Q 0 2	あなたは、その放送教材をどの程度視聴しましたか。										
平 均 値	3.14	3.11	3.14	3.09	3.11	3.26	3.04	3.57	3.10	3.04	3.13
1 有効回答数	958	277	198	86	755	203	294	118	546	480	360
2 1週間未満	30.8	29.2	33.8	32.6	31.5	28.1	33.7	21.2	31.3	33.1	30.8
3 1週間～2週間未満	7.1	8.7	6.1	4.7	7.5	5.4	6.5	7.6	7.3	7.7	6.1
4 2週間～3週間未満	13.5	14.4	9.1	18.6	13.1	14.8	12.6	15.3	13.6	12.5	14.2
5 3週間～4週間未満	21.2	22.7	22.2	16.3	20.7	23.2	23.1	15.3	21.4	20.2	24.4
6 4週間以上	20.9	19.5	21.2	20.9	20.8	21.2	17.7	30.5	20.5	21.3	17.2
	6.6	5.4	7.6	7.0	6.4	7.4	6.5	10.2	5.9	5.2	7.2
Q 0 3	あなたは、その放送教材をどのように視聴しましたか。										
平 均 値	1.82	1.80	1.70	1.89	1.80	1.88	1.82	1.81	1.82	1.81	1.85
1 有効回答数	967	280	200	87	762	205	296	120	551	484	363
2 かなり頻りに視聴	32.1	32.9	38.5	28.7	32.7	29.8	30.4	35.8	32.1	31.4	31.7
3 ある程度視聴	55.5	55.4	54.5	55.2	55.6	55.1	58.1	50.0	55.4	57.4	54.8
4 ほとんど視聴せず	10.7	10.4	5.0	14.9	10.2	12.2	10.1	11.7	10.7	10.3	10.7
	1.8	1.4	2.0	1.1	1.4	2.9	1.4	2.5	1.8	0.8	2.8
Q 0 4	(A) あなたの所属される機関では、「テレビ」がどの程度利用できますか。										
平 均 値	1.57	1.61	1.65	1.76	1.57	1.58	1.61	1.46	1.57	1.59	1.57
1 有効回答数	945	269	198	87	744	201	290	117	538	469	359
2 利用するのが容易	54.5	52.4	47.0	46.0	55.0	52.7	52.4	62.4	53.9	52.7	54.3
3 ある程度利用できる	34.1	34.6	40.9	32.2	33.3	36.8	33.8	29.1	35.3	35.2	34.3
	11.4	13.0	12.1	21.8	11.7	10.4	13.8	8.5	10.8	12.2	11.4
Q 0 4	(B) あなたの所属される機関では、「ビデオ」がどの程度利用できますか。										
平 均 値	1.43	1.53	1.45	1.61	1.43	1.45	1.46	1.35	1.43	1.44	1.45
1 有効回答数	963	277	198	87	760	203	297	119	547	480	364
2 利用するのが容易	61.2	53.8	58.6	54.0	62.4	56.7	59.3	66.4	61.1	60.2	60.7
3 ある程度利用できる	34.5	39.4	37.4	31.0	32.6	41.4	35.4	31.9	34.6	35.4	34.1
	4.4	6.9	4.0	14.9	5.0	2.0	5.4	1.7	4.4	4.4	5.2
Q 0 4	(C) あなたの所属される機関では、「ラジオ」がどの程度利用できますか。										
平 均 値	1.73	1.70	1.71	1.80	1.77	1.58	1.75	1.59	1.75	1.81	1.68
1 有効回答数	922	264	187	88	722	200	282	116	524	452	354
2 利用するのが容易	47.1	50.8	50.3	45.5	44.9	55.0	44.3	59.5	45.8	41.8	49.7
3 ある程度利用できる	32.8	28.8	28.9	29.5	33.1	31.5	36.2	22.4	33.2	35.4	32.8
	20.2	20.5	20.9	25.0	22.0	13.5	19.5	18.1	21.0	22.8	17.5
Q 0 4	(D) あなたの所属される機関では、「オーディオ・レコーダー」がどの程度利用できますか。										
平 均 値	1.61	1.65	1.65	1.64	1.65	1.47	1.71	1.21	1.64	1.72	1.60
1 有効回答数	936	269	190	87	734	202	288	117	531	462	357
2 利用するのが容易	53.8	50.6	53.2	54.0	51.0	64.4	47.6	81.2	51.2	45.7	55.5
3 ある程度利用できる	31.4	33.8	28.9	27.6	33.4	24.3	34.0	16.2	33.3	37.0	29.1
	14.7	15.6	17.9	18.4	15.7	11.4	18.4	2.6	15.4	17.3	15.4

表1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その4)

	総計	大学職位				メディア		科目分類			理系・文系			
		大教	学授	大助	学講	テレビ	ラジオ	基礎	基本	外国語	専門	理系科目	文系科目	
Q05. あなたの視聴された放送教材は、以下のどのような形式に近いと思われますか。														
1	有効回答数	923	265	187	83	725	198	275	115	533	464	344		
2	講師1人の形式	61.3	63.0	62.0	54.2	59.2	69.2	56.4	29.6	70.7	71.8	57.8		
3	聞き手形式	11.7	11.3	11.2	18.1	12.3	9.6	10.9	3.5	13.9	5.8	22.4		
4	対談形式	2.9	3.4	2.7	3.6	3.3	1.5	6.2	1.7	1.5	3.9	2.0		
5	ゲス式中心形式	8.6	9.1	8.6	6.0	7.4	12.6	11.3	27.0	3.2	5.6	6.4		
6	ドキュメント形式	6.1	6.4	4.3	4.8	7.4	1.0	5.1	13.0	5.1	6.3	3.5		
7	その他	9.4	6.8	11.2	13.3	10.3	6.1	10.2	25.2	5.6	6.7	7.8		
◎ 講義形態×メディア														
11	有効回答数	923	265	187	83	725	198	275	115	533	464	344		
21	講師1人形式×テレビ	46.5	46.8	45.5	39.8	59.2	0.0	43.3	10.4	55.9	65.5	32.8		
12	講師の他総合×テレビ	14.8	16.2	16.6	14.5	0.0	69.2	13.1	19.1	14.8	6.3	25.0		
22	その他総合×ラジオ	32.1	32.1	31.6	34.9	40.8	0.0	40.0	42.6	25.7	26.9	35.5		
23	その他総合×ラジオ	6.6	4.9	6.4	10.8	0.0	30.8	3.6	27.8	3.6	1.3	6.7		
Q06. A. 講師の登場している時間														
1	平均値	2.11	2.13	1.98	2.16	2.20	1.75	2.12	2.58	2.00	2.00	2.09		
2	有効回答数	939	259	196	86	755	184	282	120	537	476	343		
1	非常に多い	27.3	24.7	32.7	29.1	20.5	54.9	20.6	16.7	33.1	28.8	28.9		
2	多い	38.0	40.2	39.3	32.6	42.8	18.5	48.9	23.3	35.6	42.6	36.7		
3	どちらともいえない	31.5	33.2	26.0	32.6	33.5	23.4	28.7	46.7	29.6	27.9	31.2		
4	少ない	2.8	1.5	1.5	4.7	2.6	3.3	1.8	11.7	1.3	0.6	2.6		
5	非常に少ない	0.4	0.4	0.5	1.2	0.5	0.0	0.0	1.7	0.4	0.0	0.6		
Q06. B. 黒板、パネルなどの利用頻度														
1	平均値	2.84	2.83	2.88	2.94	2.84		3.00	3.34	2.69	2.68	3.02		
2	有効回答数	746	215	152	65	746		247	58	441	444	244		
1	非常に多い	6.0	5.1	7.2	4.6	6.0		3.2	0.0	8.4	8.6	2.9		
2	多い	32.3	32.6	32.2	32.3	32.3		26.3	12.1	38.3	36.0	30.3		
3	どちらともいえない	37.9	40.0	33.6	35.4	37.9		42.9	50.0	33.6	37.4	36.1		
4	少ない	19.0	18.6	19.7	20.0	19.0		22.7	29.3	15.6	15.3	23.4		
5	非常に少ない	4.7	3.7	7.2	7.7	4.7		4.9	8.6	4.1	2.7	7.4		
Q06. C. コンピューター・グラフィックやアニメーションの利用頻度														
1	平均値	3.88	3.81	3.85	3.89	3.88		3.92	4.37	3.81	3.70	4.11		
2	有効回答数	680	191	138	61	680		228	41	411	420	219		
1	非常に多い	0.7	0.0	2.9	1.6	0.7		0.9	0.0	0.7	1.2	0.0		
2	多い	6.8	10.5	7.2	1.6	6.8		3.5	4.9	8.8	9.3	2.3		
3	どちらともいえない	27.6	30.9	23.9	31.1	27.6		27.6	12.2	29.2	31.4	23.3		
4	少ない	33.8	26.2	34.1	37.7	33.8		39.0	24.4	31.9	34.0	35.2		
5	非常に少ない	31.0	32.5	31.9	27.9	31.0		28.9	58.5	29.4	24.0	39.3		

表1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その5)

大 学 職 位				メ デ ィ ア		科 目 分 類			理 系 ・ 文 系					
大 学 教 授		大 学 助 教 授		学 大 講 師		テ レ ビ		ラ ジ オ	基 礎	本 質	外 国 語	専 門	理 科 系	文 科 系
総 計		大 学 教 授		大 学 助 教 授		学 大 講 師		学 大 講 師	基 礎	本 質	外 国 語	専 門	理 科 系	文 科 系
D 図版 (フリップ) の利用頻度														
Q 0 6	平 均 値	2.93	2.82	2.72	2.93	3.57	2.88	2.87	3.57	2.88	2.82	2.98		
1	有効回数が多い	734	146	65	734	49	441	244	49	441	441	244		
2	有効回数が多い	3.1	5.5	6.2	3.1	0.0	4.3	1.6	0.0	4.3	4.5	1.2		
3	どちらともいえない	30.5	32.9	41.5	30.5	20.4	30.8	32.0	20.4	30.8	31.5	30.7		
4	どちらともいえない	42.6	41.7	39.0	42.6	30.6	41.7	46.7	30.6	41.7	44.9	41.0		
5	非常に少ない	18.1	19.9	13.8	18.1	18.6	15.4	16.8	20.4	18.6	15.4	22.5		
	非常に少ない	5.6	2.7	6.2	5.6	28.6	4.5	2.9	28.6	4.5	3.6	4.5		
E ビデオ、オーディオ・テープ等の教材視聴教材の利用頻度														
Q 0 6	平 均 値	3.34	3.47	3.08	3.19	3.99	3.46	3.43	2.57	3.46	3.50	3.37		
1	有効回数が多い	914	188	83	750	164	521	277	116	521	470	328		
2	有効回数が多い	7.0	8.0	7.2	7.5	4.9	4.4	2.9	28.4	4.4	2.6	5.8		
3	どちらともいえない	16.6	13.3	22.9	18.9	6.1	15.4	17.0	21.6	15.4	14.0	18.6		
4	どちらともいえない	33.0	30.9	38.6	34.9	24.4	33.4	33.9	29.3	33.4	33.4	33.8		
5	非常に少ない	22.4	19.7	16.9	24.3	14.0	23.8	26.7	6.0	23.8	30.6	16.5		
	非常に少ない	20.9	28.2	14.5	14.4	50.6	23.0	19.5	14.7	23.0	19.4	25.3		
F 実験等のデモンストレーションの導入頻度														
Q 0 6	平 均 値	3.45	3.51	3.20	3.45	3.58	3.46	3.40	3.58	3.46	3.40	3.51		
1	有効回数が多い	680	134	61	680	45	403	232	45	403	420	215		
2	有効回数が多い	2.8	4.5	1.6	2.8	4.4	2.2	3.4	4.4	2.2	3.3	1.4		
3	どちらともいえない	18.1	15.7	26.2	18.1	17.8	16.9	20.3	17.8	16.9	17.9	18.6		
4	どちらともいえない	30.9	27.6	36.1	30.9	28.9	33.7	26.3	28.9	33.7	30.5	32.1		
5	非常に少ない	27.8	28.4	23.0	27.8	13.3	26.6	32.8	13.3	26.6	31.7	23.3		
	非常に少ない	20.4	23.9	13.1	20.4	35.6	20.6	17.2	35.6	20.6	16.7	24.7		
G 寸劇などの利用頻度														
Q 0 6	平 均 値	4.21	4.43	3.95	4.14	4.45	4.37	4.36	3.20	4.37	4.37	4.36		
1	有効回数が多い	867	179	84	689	178	488	258	121	488	425	321		
2	有効回数が多い	2.0	2.2	3.6	2.3	0.6	0.0	0.0	14.0	0.0	0.0	0.0		
3	どちらともいえない	3.8	0.6	6.0	4.8	0.0	0.8	0.8	22.3	0.8	0.5	1.2		
4	どちらともいえない	19.6	12.3	26.2	19.9	18.5	18.2	20.2	24.0	18.2	18.8	19.0		
5	非常に少ない	21.0	21.8	20.2	22.4	15.7	23.8	21.3	9.1	23.8	23.5	22.1		
	非常に少ない	53.6	63.1	44.0	50.7	65.2	57.2	57.8	30.6	57.2	57.2	57.6		
H 講師以外のゲストの登場時間														
Q 0 6	平 均 値	3.59	3.71	3.41	3.54	3.77	3.85	3.43	2.81	3.85	3.88	3.46		
1	有効回数が多い	918	189	85	738	180	516	283	119	516	457	342		
2	有効回数が多い	2.2	2.6	2.4	1.2	6.1	2.6	2.8	6.7	2.6	0.7	2.6		
3	どちらともいえない	15.1	14.8	20.0	16.5	9.4	11.2	16.3	29.4	11.2	7.4	20.5		
4	どちらともいえない	30.1	21.2	34.1	31.0	26.1	23.6	35.7	44.5	23.6	27.8	28.1		
5	非常に少ない	27.0	31.2	21.2	29.1	18.3	30.8	25.1	15.1	30.8	31.1	25.7		
	非常に少ない	25.6	30.2	22.4	22.1	40.0	33.5	20.1	4.2	33.5	33.0	23.1		

表1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その6)

	総計	大 学 職 位				メディア		科 目 分 類			理系・文系		
		大 教	学 授	大 助 教 授	学 大 講 師	学 師	ラジヲ	テレビ	基 礎	本 科	外 国 語 専 門	理 科 系 目 録	文 科 系 目 録
Q 0 6 I 印刷教材を参照する頻度													
Q 0 6	平 均 値	3.43	3.39	3.46	3.54	2.85	3.50	2.98	3.44	3.45	3.46		
1	有効回数多い	260	196	85	742	195	289	121	527	469	347		
2	非常に多い	4.2	4.1	2.4	1.9	11.8	1.7	12.4	3.2	2.3	3.2		
3	多量に多い	13.1	16.8	10.6	11.6	26.2	12.1	19.0	15.0	14.5	13.3		
4	多量に多い	34.6	32.7	40.0	34.6	34.0	34.9	36.4	34.0	33.9	34.9		
5	少ないうち少ない	32.7	29.1	32.9	34.5	20.5	37.0	23.1	30.6	33.9	31.4		
	非常に少ない	15.8	17.3	14.1	17.4	7.2	14.2	9.1	17.3	15.4	17.3		
Q 0 6 J 演習問題など利用頻度													
Q 0 6	平 均 値	4.10	4.12	4.13	4.11	4.01	4.37	3.43	4.10	4.13	4.28		
1	有効回数多い	246	185	83	724	178	271	121	510	453	328		
2	非常に多い	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0		
3	多量に多い	6.9	3.2	0.0	4.0	4.5	0.4	13.2	3.9	4.0	0.9		
4	多量に多い	22.0	24.9	28.9	22.5	32.0	16.2	42.1	24.5	21.4	22.0		
5	少ないうち少ない	25.6	28.6	28.9	31.4	21.3	29.2	33.1	28.6	31.1	25.6		
	非常に少ない	45.5	43.2	42.2	42.0	42.1	54.2	11.6	42.7	43.3	51.5		
Q 0 6 K 講義内容の分量													
Q 0 6	平 均 値	2.56	2.67	2.70	2.69	2.67	2.75	2.63	2.66	2.67	2.73		
1	有効回数多い	267	197	86	757	195	292	121	539	480	351		
2	非常に多い	4.5	5.1	1.2	3.0	4.6	1.7	2.5	4.5	4.2	2.6		
3	多量に多い	38.2	28.4	31.4	30.1	28.2	27.1	34.7	30.1	29.4	28.5		
4	多量に多い	53.9	60.9	64.0	62.1	63.6	66.1	60.3	60.9	62.3	63.2		
5	少ないうち少ない	3.4	5.6	3.5	4.6	2.6	4.5	2.5	4.5	4.0	5.1		
	非常に少ない	0.0	0.0	0.0	0.1	1.0	0.7	0.0	0.2	0.2	0.6		
Q 0 6 L 内容を説明する時間													
Q 0 6	平 均 値	2.56	2.48	2.49	2.60	2.46	2.65	2.73	2.50	2.55	2.55		
1	有効回数多い	262	195	86	754	194	292	122	534	473	353		
2	非常に多い	6.1	9.2	5.8	4.9	13.4	4.8	6.6	7.7	7.0	6.2		
3	多量に多い	44.3	43.6	47.7	40.3	40.7	38.4	32.8	43.3	40.8	42.5		
4	多量に多い	38.5	39.0	38.4	45.4	33.0	45.5	42.6	41.4	43.8	41.6		
5	少ないうち少ない	9.5	6.7	8.1	8.4	11.9	9.9	17.2	6.7	7.0	9.1		
	非常に少ない	1.5	1.5	0.0	1.1	1.0	1.4	0.8	0.9	1.5	0.6		
Q 0 6 M 視聴者に考えさせる時間													
Q 0 6	平 均 値	3.62	3.63	3.67	3.61	3.60	3.70	3.45	3.60	3.68	3.58		
1	有効回数多い	272	197	86	760	199	295	122	542	477	360		
2	非常に多い	1.1	0.5	0.0	0.8	0.5	0.3	1.6	0.7	0.8	0.3		
3	多量に多い	10.3	7.1	11.6	6.7	10.6	3.7	10.7	8.9	5.7	8.9		
4	多量に多い	24.6	36.5	48.8	33.7	29.1	32.5	36.9	31.9	31.0	33.6		
5	少ないうち少ない	53.3	40.1	48.0	48.0	47.7	52.5	42.6	46.7	50.1	46.9		
	非常に少ない	10.7	15.7	15.1	10.8	12.1	10.8	8.2	11.8	12.4	10.3		

表1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その7)

	総計	大学職位				メディア		科目分類				理系・文系			
		大教授		大助教授		大学講師		テレビ	ラジオ	基礎	本基礎	外国語	専門		
		教	授	教	授	講	師								
Q06 N 息抜きの時間															
平値	3.67	3.67	3.77	3.55	3.62	3.88	3.47	3.70	3.77	3.62	3.73				
有効回数	941	254	197	86	750	191	288	122	531	472	347				
1 非常に多い	0.3	0.4	0.5	1.2	0.4	0.0	0.7	0.8	0.0	0.4	0.0				
2 多い	3.7	3.9	3.0	7.0	4.4	1.0	6.3	1.6	2.8	4.9	2.9				
3 どちらともいえない	40.7	40.6	35.0	40.7	42.3	34.6	50.0	40.2	35.8	42.6	38.3				
4 少ない	39.2	38.6	42.1	38.4	39.1	39.8	31.9	41.8	42.6	36.9	41.5				
5 非常に少ない	16.0	16.5	19.3	12.8	13.9	24.6	11.1	15.6	18.8	15.3	17.3				
Q06 O 1回の講義時間															
平値	2.92	2.89	2.94	2.91	2.93	2.89	2.93	2.79	2.95	2.96	2.92				
有効回数	945	259	196	85	750	195	290	122	533	472	351				
1 非常に多い	1.1	0.4	2.6	1.2	1.2	0.5	1.0	3.3	0.6	0.8	0.6				
2 多い	12.1	12.0	9.7	17.6	10.9	16.4	11.0	19.7	10.9	10.0	12.3				
3 どちらともいえない	80.8	85.7	79.1	70.6	81.6	77.9	81.7	72.1	82.4	82.2	82.1				
4 少ない	5.5	1.9	8.2	10.6	5.9	4.1	5.9	4.9	5.4	6.4	4.6				
5 非常に少ない	0.5	0.0	0.5	0.0	0.4	1.0	0.3	0.0	0.8	0.6	0.6				
Q06 P 視聴者に問いかけをする頻度															
平値	3.78	3.80	3.91	3.65	3.77	3.80	3.89	3.56	3.77	3.85	3.76				
有効回数	954	268	197	86	757	197	292	121	541	476	357				
1 非常に多い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
2 多い	4.8	5.6	5.1	7.0	4.4	6.6	2.1	11.6	4.8	2.5	5.6				
3 どちらともいえない	29.5	27.2	18.8	37.2	29.6	28.9	25.7	34.7	30.3	27.9	29.7				
4 少ない	48.7	48.9	56.3	39.5	50.3	42.6	53.4	39.7	48.2	51.7	47.9				
5 非常に少ない	17.0	18.3	19.8	16.3	15.7	21.8	18.8	14.0	16.6	17.9	16.8				
Q06 Q 実物資料等の提示頻度															
平値	2.97	2.87	3.02	2.82	2.97	3.03	2.82	3.26	3.03	2.99	2.88				
有効回数	715	208	145	61	715	145	244	47	424	426	242				
1 非常に多い	4.9	7.7	4.1	3.3	4.9	3.8	6.1	8.5	3.8	4.2	5.4				
2 多い	31.0	28.8	30.3	42.6	31.0	29.7	36.5	14.9	29.7	31.2	33.9				
3 どちらともいえない	33.3	37.5	34.5	24.6	33.3	34.7	30.3	36.2	34.7	32.4	34.3				
4 少ない	23.5	20.7	21.4	27.9	23.5	23.5	23.0	23.4	23.8	25.6	19.8				
5 非常に少ない	7.3	5.3	9.7	1.6	7.3	8.0	4.1	17.0	8.0	6.6	6.6				
Q06 R 事実を証言する証人の登場頻度															
平値	3.86	3.86	4.01	3.71	3.79	4.13	3.82	3.80	3.89	3.95	3.77				
有効回数	888	243	184	83	707	181	272	110	506	440	338				
1 非常に多い	0.9	0.0	1.6	2.4	0.8	1.1	1.1	0.9	0.8	0.7	1.2				
2 多い	5.9	5.3	4.9	8.4	6.4	3.9	5.5	2.7	6.7	4.1	9.2				
3 どちらともいえない	34.3	35.8	25.5	37.3	35.9	28.2	35.7	45.5	31.2	31.6	34.3				
4 少ない	24.2	26.3	27.2	19.3	26.6	14.9	25.7	17.3	24.9	27.3	22.5				
5 非常に少ない	34.7	32.5	40.8	32.5	30.3	51.9	32.0	33.6	36.4	36.4	32.8				

表1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その8)

	総計	大学職位				メディア		科目分類		理系・文系			
		大学教員		大学助教授		大学講師		基礎		理系科目		文系科目	
		大教	助教	大助	大講	大講	大講	テレビ	ラジオ	基礎	理系科目	理系科目	文系科目
Q06	S. 実地見学のシーンの導入頻度	3.37	3.37	3.44	3.14	3.37	3.37	3.28	3.70	3.40	3.45	3.20	
	平均値	3.37	188	133	57	667	667	228	37	402	395	235	
1	非常に多い	3.6	3.7	3.8	5.3	3.6	3.6	5.3	0.0	3.0	3.8	3.8	
2	多い	17.4	16.5	18.0	24.6	17.4	17.4	18.9	8.1	17.4	14.4	23.8	
3	どちらともいえない	35.1	36.7	29.3	35.1	35.1	35.1	34.6	45.9	34.3	34.9	33.6	
4	少ない	25.8	25.5	27.8	21.1	25.8	25.8	25.4	13.5	27.1	26.6	26.4	
5	非常に少ない	18.1	17.6	21.1	14.0	18.1	18.1	15.8	32.4	18.2	20.3	12.3	
Q07	以上のA～Sの中で、放送教材を改善するために重要と思われる点を選んで下さい (複数回答可)。												
	有効回数	626	176	127	56	452	452	174	61	495	316	249	
A.	講義の回数 (A)	10.5	13.6	10.2	8.9	11.7	11.7	12.9	11.5	10.1	9.8	11.2	
B.	黒板の利用率 (B)	855	252	167	79	681	681	234	109	512	409	337	
C.	図版等の利用頻度	17.2	18.7	15.6	12.7	21.3	21.3	20.9	3.7	18.4	9.0	7.4	
D.	VTR等の導入頻度	13.5	9.5	16.2	13.9	16.2	16.2	14.1	4.6	15.0	14.7	14.8	
E.	実験等の利用頻度	13.9	12.3	13.8	17.7	17.2	17.2	17.5	4.6	14.3	16.4	13.9	
F.	寸劇等の利用頻度	17.9	16.7	20.4	16.5	22.2	22.2	26.5	0.9	17.6	25.9	13.6	
G.	トイズ教材の参入頻度	4.3	2.8	5.4	1.3	3.5	3.5	2.6	14.7	2.9	1.5	4.5	
H.	印刷教材の参入頻度	15.8	21.8	11.4	7.6	14.7	14.7	16.7	20.2	14.5	12.0	19.0	
I.	演習問題の分量	15.2	18.7	11.4	15.2	14.1	14.1	16.7	9.2	15.8	16.6	15.4	
J.	演習問題の分量	18.0	23.0	13.8	10.1	18.5	18.5	12.4	32.1	17.6	21.5	9.2	
K.	演習問題の分量	14.5	15.9	16.2	16.5	13.7	13.7	13.2	14.7	15.0	13.9	15.1	
L.	演習問題の分量	18.0	18.7	12.0	20.3	17.6	17.6	16.7	26.6	16.8	16.6	16.9	
M.	演習問題の分量	28.0	32.9	28.7	26.6	27.6	27.6	25.6	33.9	27.7	26.4	27.9	
N.	演習問題の分量	21.6	25.0	22.2	22.8	20.1	20.1	20.5	29.4	20.5	19.8	21.4	
O.	演習問題の分量	9.0	6.7	9.0	16.5	9.4	9.4	9.8	13.8	7.6	9.3	7.1	
P.	演習問題の分量	31.3	36.5	38.9	27.8	28.6	28.6	32.9	44.0	27.9	26.7	32.9	
Q.	演習問題の分量	16.4	15.1	22.2	17.7	19.7	19.7	20.9	1.8	17.4	20.3	16.3	
R.	演習問題の分量	5.0	7.5	2.4	2.5	5.1	5.1	4.3	1.8	6.1	3.2	8.3	
S.	演習問題の分量	12.9	10.3	10.2	13.9	16.2	16.2	15.8	0.9	14.1	15.9	13.1	
X.	その他	22.9	23.0	24.6	16.5	21.9	21.9	20.1	29.4	22.9	23.2	20.5	
Q08	A. 講師は、派手な印象が												
	平均値	3.51	3.48	3.71	3.62	3.48	3.48	3.63	3.68	3.50	3.42	3.58	
	有効回数	963	277	198	87	757	757	206	122	548	481	360	
1	非常に強い	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	
2	強い	2.6	1.4	2.5	5.7	2.8	2.8	1.9	0.0	4.0	4.6	0.8	
3	どちらともいえない	52.8	56.7	38.9	40.2	54.2	54.2	47.6	50.0	50.7	55.9	49.4	
4	弱い	34.9	34.3	43.9	40.2	34.5	34.5	36.4	32.0	36.1	31.6	40.3	
5	非常に弱い	9.7	7.6	14.6	13.8	8.5	8.5	14.1	18.0	8.9	7.7	9.4	
Q08	B. 講師は、清潔な印象が												
	平均値	2.27	2.23	2.26	2.29	2.27	2.27	2.27	2.28	2.26	2.28	2.26	
	有効回数	970	281	198	87	763	763	207	123	551	483	364	
1	非常に強い	9.3	7.1	13.6	10.3	7.6	7.6	15.5	10.6	9.8	7.2	11.5	
2	強い	55.8	62.6	49.5	51.7	59.2	59.2	43.0	51.2	56.1	59.4	52.5	
3	どちらともいえない	33.9	29.9	34.8	36.8	32.0	32.0	41.1	38.2	32.8	33.3	34.6	
4	弱い	0.8	0.4	1.0	1.1	1.0	1.0	0.0	0.0	0.9	0.6	1.4	
5	非常に弱い	0.2	0.0	1.0	0.0	0.1	0.1	0.5	0.0	0.4	0.4	0.0	

表1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その9)

	総計	大 学 職 位				メ デ ィ ア		科 目 分 類		理 系 ・ 文 系	
		大 教 授	大 学 助 教 授	大 学 講 師	テ レ ビ	ラ ジ オ	基 礎		理 科 系 目 録		
							基 礎	専 門	理 科 系 目 録	文 科 系 目 録	
Q 0 8 C 講師は、活動的な印象が											
平均	2.86	2.76	2.99	3.02	2.83	2.95	2.94	2.99	2.78	2.71	3.00
有効回数	967	279	198	87	761	206	294	122	551	482	363
1 非常に強い	3.4	3.9	2.5	3.4	4.1	1.0	1.7	3.3	4.4	5.2	1.1
2 強い	26.6	30.8	23.7	20.7	27.5	23.3	23.8	19.7	29.6	33.4	19.8
3 どちらともいえない	53.2	51.3	49.5	52.9	51.8	58.3	56.5	57.4	50.5	47.5	59.2
4 弱い	14.8	13.3	20.7	16.1	14.8	14.6	15.3	13.9	14.7	12.9	17.6
5 非常に弱い	2.1	0.7	3.5	6.9	1.8	2.9	2.7	5.7	0.9	1.0	2.2
Q 0 8 D 講師は、親しみやすいという印象が											
平均	2.55	2.49	2.59	2.67	2.57	2.48	2.64	2.69	2.48	2.57	2.49
有効回数	969	281	198	87	761	208	296	122	551	483	364
1 非常に強い	7.3	7.1	10.6	9.2	7.2	7.7	5.7	4.1	8.9	7.2	8.5
2 強い	44.5	50.2	37.4	37.9	43.8	47.1	41.6	41.0	46.8	44.3	45.9
3 どちらともいえない	35.0	29.5	35.9	36.8	34.7	36.1	38.2	38.5	32.5	33.7	35.4
4 弱い	11.9	12.5	15.2	9.2	13.0	7.7	12.5	14.8	10.9	13.9	8.2
5 非常に弱い	1.3	0.7	1.0	6.9	1.3	1.4	2.0	1.6	0.9	0.8	1.9
Q 0 8 E 講師は、暖かいという印象が											
平均	2.51	2.46	2.52	2.57	2.52	2.48	2.57	2.65	2.45	2.53	2.43
有効回数	968	280	198	87	760	208	295	122	551	482	364
1 非常に強い	7.4	6.8	10.6	10.3	7.0	9.1	6.8	2.5	8.9	6.2	10.7
2 強い	44.0	48.6	38.9	37.9	44.3	42.8	40.3	42.6	46.3	44.4	44.0
3 どちらともいえない	39.7	36.1	39.4	40.2	39.5	40.4	43.4	44.3	36.7	39.8	37.9
4 弱い	8.1	8.6	10.1	6.9	8.4	6.7	8.5	9.0	7.6	9.1	6.3
5 非常に弱い	0.8	0.0	1.0	4.6	0.8	1.0	1.0	1.6	0.5	0.4	1.1
Q 0 8 F 講師は、厳しいという印象が											
平均	3.15	3.19	3.25	3.16	3.13	3.24	3.16	3.25	3.13	3.05	3.25
有効回数	965	278	198	87	758	207	293	122	550	482	361
1 非常に強い	1.2	1.1	0.5	1.1	1.6	0.0	0.7	0.0	1.8	1.9	0.8
2 強い	11.4	10.8	10.6	14.9	12.1	8.7	8.9	9.0	13.3	15.4	6.9
3 どちらともいえない	61.7	58.6	59.1	52.9	60.9	64.3	65.5	65.6	58.7	60.4	62.0
4 弱い	22.3	26.6	22.7	28.7	22.6	21.3	23.5	17.2	22.7	20.5	26.3
5 非常に弱い	3.4	2.9	7.1	2.3	2.8	5.8	1.4	8.2	3.5	1.9	3.9
Q 0 8 G 講師は、緊張しているという印象が											
平均	3.18	3.10	3.28	3.26	3.14	3.30	3.05	3.07	3.27	3.15	3.24
有効回数	965	279	198	87	759	206	295	120	550	482	363
1 非常に強い	1.2	1.8	1.5	2.3	1.4	0.5	1.7	2.5	0.7	1.2	0.8
2 強い	16.3	19.7	14.1	10.3	17.4	12.1	19.3	19.2	14.0	16.8	14.6
3 どちらともいえない	51.7	49.1	47.0	54.0	51.3	53.4	54.2	52.5	50.2	52.3	50.7
4 弱い	25.3	25.1	29.3	25.3	25.4	24.8	21.7	20.8	28.2	24.9	27.3
5 非常に弱い	5.5	4.3	8.1	8.0	4.5	9.2	3.1	5.0	6.9	4.8	6.6

表1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その10)

	総計	大 学 職 位				メ デ ィ ア		科 目 分 類				理 系 ・ 文 系			
		大 学 教 授		大 学 助 教 授		大 講 師	ラ ジ オ	テ レ ビ	外 国 語	専 門 科 目	基 礎 科 目	理 科 系 目 科	文 科 系 目 科		
		大 教	助 教	大 授	助 授										
H 講師の講義の進め方は、話すスピードが速いという印象が															
Q 0 8	平 均 値	3.22	3.16	3.27	3.39	3.20	3.32	3.23	3.31	3.20	3.16	3.29			
1	有 効 回 答 数	968	280	199	87	760	208	295	122	551	482	364			
2	有 効 回 答 率	0.8	0.7	2.5	0.0	0.8	1.0	0.7	0.8	0.9	0.8	0.8			
3	有 効 回 答 率	8.8	10.7	6.0	3.4	8.7	9.1	7.1	5.7	10.3	10.8	7.1			
4	有 効 回 答 率	60.0	62.5	56.8	58.6	61.8	53.4	62.7	57.4	59.2	62.0	58.2			
5	有 効 回 答 率	27.9	24.3	31.7	33.3	27.2	30.3	27.8	33.6	26.7	24.7	30.2			
	有 効 回 答 率	2.5	1.8	3.0	4.6	1.4	6.3	1.7	2.5	2.9	1.7	3.6			
I 講師の講義の進め方は、話し方が明瞭であるという印象が															
Q 0 8	平 均 値	2.41	2.38	2.38	2.52	2.45	2.28	2.46	2.35	2.40	2.39	2.47			
1	有 効 回 答 数	969	281	199	87	761	208	295	121	553	481	367			
2	有 効 回 答 率	7.4	7.5	11.1	6.9	5.9	13.0	6.4	7.4	8.0	7.7	7.1			
3	有 効 回 答 率	51.0	54.1	47.7	44.8	50.9	51.4	48.8	57.0	50.8	52.4	47.1			
4	有 効 回 答 率	34.5	32.0	33.7	37.9	35.6	30.3	36.6	28.9	34.5	33.5	37.6			
5	有 効 回 答 率	7.0	6.0	7.5	10.3	7.5	5.3	8.1	6.6	6.5	6.2	8.2			
	有 効 回 答 率	0.1	0.4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0			
J 講師の講義の進め方は、言葉遣いが堅いという印象が															
Q 0 8	平 均 値	3.03	3.00	3.06	3.03	3.01	3.09	2.93	2.92	3.10	3.02	3.07			
1	有 効 回 答 数	971	281	200	87	762	209	296	122	553	483	366			
2	有 効 回 答 率	1.4	2.1	1.0	1.1	1.4	1.4	1.4	2.5	1.3	0.8	1.9			
3	有 効 回 答 率	21.7	22.8	25.5	19.5	22.6	18.7	27.4	23.0	18.4	22.2	20.8			
4	有 効 回 答 率	52.3	51.2	44.5	56.3	51.8	54.1	50.7	58.2	51.9	52.8	49.7			
5	有 効 回 答 率	21.8	21.0	24.5	20.7	22.0	21.1	18.6	13.1	25.5	22.6	23.8			
	有 効 回 答 率	2.7	2.8	4.5	2.3	2.1	4.8	2.0	3.3	2.9	1.7	3.8			
K 講師の講義の進め方は、問の取り方がよいという印象が															
Q 0 8	平 均 値	2.77	2.83	2.74	2.71	2.79	2.69	2.77	2.76	2.77	2.77	2.76			
1	有 効 回 答 数	972	281	200	87	763	209	296	122	554	482	368			
2	有 効 回 答 率	3.9	1.8	5.0	6.9	3.0	7.2	4.4	3.3	3.8	3.5	4.6			
3	有 効 回 答 率	30.3	28.8	33.0	32.2	28.8	35.9	27.7	35.2	30.7	28.6	31.0			
4	有 効 回 答 率	51.4	54.4	45.0	46.0	55.0	38.3	55.1	45.1	50.9	55.4	48.4			
5	有 効 回 答 率	13.8	14.6	16.5	12.6	12.6	18.2	12.5	14.8	14.3	12.2	15.5			
	有 効 回 答 率	0.5	0.4	0.5	2.3	0.5	0.5	0.3	1.6	0.4	0.2	0.5			
L 講師の講義の進め方は、表現力が豊かであるという印象が															
Q 0 8	平 均 値	2.82	2.74	2.86	2.91	2.85	2.75	2.84	2.98	2.78	2.79	2.81			
1	有 効 回 答 数	971	281	199	86	762	209	296	123	552	481	367			
2	有 効 回 答 率	3.9	2.5	6.5	2.3	3.4	5.7	3.7	1.6	4.5	4.0	4.6			
3	有 効 回 答 率	28.1	32.0	25.6	27.9	27.4	30.6	26.4	22.0	30.4	29.1	28.9			
4	有 効 回 答 率	51.1	54.1	46.7	48.8	51.4	49.8	53.7	56.1	48.6	51.8	48.5			
5	有 効 回 答 率	15.3	11.4	17.6	18.6	16.5	11.0	14.2	17.1	15.6	14.1	16.3			
	有 効 回 答 率	1.5	0.0	3.5	2.3	1.2	2.9	2.0	3.3	0.9	1.0	1.6			

表1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その11)

	総計	大 学 職 位				メ デ ィ ア		科 目 分 類				理 系 ・ 文 系			
		大 学 教 授		大 学 助 教 授		学 生 講 師	ラ ジ オ	基 礎	本 科	外 国 語	専 門	理 科 系	文 科 系		
		大	学	大	学	学	テ レ ビ	基	本	科	目	科	目		
Q 0 8 M 講師の講義の進め方は、ユーモアがあるという印象が															
平 均 値	3.40	3.36	3.47	3.53	3.38	3.45	3.42	3.53	3.35	3.36	3.40	3.36	3.40		
有 効 回 数	971	281	199	87	762	209	296	123	552	481	367	481	367		
1 非常に強い	0.9	0.7	2.0	0.0	1.0	0.5	0.7	0.0	1.3	0.8	1.4	0.8	1.4		
2 強い	8.9	10.0	10.1	5.7	9.2	7.7	6.8	3.3	11.2	10.8	8.2	10.8	8.2		
3 どちらともいえない	46.7	47.0	36.7	46.0	47.1	45.0	49.0	50.4	44.6	46.2	46.0	46.2	46.0		
4 弱い	36.8	37.0	41.7	37.9	36.0	39.7	36.8	36.6	36.8	36.0	37.9	36.0	37.9		
5 非常に弱い	6.8	5.3	9.5	10.3	6.7	7.2	6.8	9.8	6.2	6.2	6.5	6.2	6.5		
Q 0 8 N 講師の講義の進め方は、説得力があるという印象が															
平 均 値	2.55	2.45	2.61	2.62	2.55	2.55	2.62	2.73	2.47	2.49	2.56	2.49	2.56		
有 効 回 数	972	281	199	87	764	208	295	123	554	482	367	482	367		
1 非常に強い	5.5	5.7	8.0	4.6	5.5	5.3	5.1	1.6	6.5	6.4	5.4	6.4	5.4		
2 強い	45.4	49.5	41.2	46.0	44.6	48.1	41.7	40.7	48.4	46.3	45.8	46.3	45.8		
3 どちらともいえない	38.8	39.1	33.7	34.5	39.8	35.1	40.7	43.9	36.6	39.2	36.5	39.2	36.5		
4 弱い	9.7	5.7	15.6	12.6	9.8	9.1	11.5	10.6	8.5	8.1	11.4	8.1	11.4		
5 非常に弱い	0.7	0.0	1.5	2.3	0.3	2.4	1.0	3.3	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8		
Q 0 8 O 講師の講義の進め方は、わかりやすいという印象が															
平 均 値	2.44	2.40	2.48	2.43	2.46	2.35	2.43	2.51	2.43	2.46	2.39	2.46	2.39		
有 効 回 数	972	281	200	87	763	209	295	123	554	481	368	481	368		
1 非常に強い	6.8	5.3	12.0	6.9	6.0	9.6	7.1	2.4	7.6	7.3	7.6	7.3	7.6		
2 強い	51.9	56.9	44.5	55.2	50.6	56.5	49.8	54.5	52.3	49.5	54.1	49.5	54.1		
3 どちらともいえない	32.5	30.6	28.5	26.4	34.9	23.9	35.9	33.3	30.5	34.3	29.9	34.3	29.9		
4 弱い	8.3	7.1	13.0	11.5	8.0	9.6	6.8	8.9	9.0	8.3	8.2	8.3	8.2		
5 非常に弱い	0.5	0.0	2.0	0.0	0.5	0.5	0.3	0.8	0.5	0.6	0.3	0.6	0.3		
Q 0 8 P 講師の講義の進め方は、話術が巧みであるという印象が															
平 均 値	2.90	2.84	2.94	2.99	2.92	2.83	2.93	3.05	2.86	2.88	2.88	2.88	2.88		
有 効 回 数	972	281	200	87	763	209	295	123	554	481	368	481	368		
1 非常に強い	4.1	3.2	7.0	2.3	3.3	7.2	5.1	1.6	4.2	4.8	4.1	4.8	4.1		
2 強い	21.2	22.8	21.5	23.0	21.0	22.0	18.6	14.6	24.0	20.2	24.7	20.2	24.7		
3 どちらともいえない	56.3	60.5	45.5	51.7	57.1	53.1	56.6	63.4	54.5	57.6	52.2	57.6	52.2		
4 弱い	17.3	13.5	22.5	19.5	17.6	16.3	18.0	17.9	16.8	16.8	17.7	16.8	17.7		
5 非常に弱い	1.1	0.0	3.5	3.4	1.0	1.4	1.7	2.4	0.5	0.6	1.4	0.6	1.4		
Q 0 8 Q 講師の講義の進め方は、まわりくどい話し方という印象が															
平 均 値	3.45	3.47	3.54	3.39	3.46	3.42	3.42	3.54	3.44	3.44	3.42	3.44	3.42		
有 効 回 数	970	280	200	87	761	209	294	123	553	482	365	482	365		
1 非常に強い	0.5	0.0	1.0	0.0	0.5	0.5	0.3	0.0	0.7	0.4	0.8	0.4	0.8		
2 強い	6.7	6.8	5.0	11.5	5.7	10.5	6.5	7.3	6.7	5.6	7.9	5.6	7.9		
3 どちらともいえない	47.7	46.1	42.0	46.0	47.8	47.4	51.4	43.9	46.7	50.2	45.8	50.2	45.8		
4 弱い	37.5	40.4	42.5	34.5	39.7	29.7	34.7	36.6	39.2	36.7	38.9	36.7	38.9		
5 非常に弱い	7.5	6.8	9.5	8.0	6.3	12.0	7.1	12.2	6.7	7.1	6.6	7.1	6.6		

表1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その12)

	総計	大 学 職 位				メ デ ィ ア		科 目 分 類				理 系 ・ 文 系	
		大 学 教 授		大 学 助 教 授		大 学 講 師		基 礎	本 科	外 国 語	専 門	理 科 系	文 科 系
		大 教	大 授	大 助	大 授	テ レ ビ	ラ ジ オ						
Q08 R 講師の講義の進め方は、すっきりとした話し方という印象が													
Q08	平 均 値	2.54	2.51	2.54	2.54	2.54	2.52	2.56	2.56	2.50	2.53	2.53	2.56
1	有効回答数	972	280	200	87	763	209	295	295	123	554	482	367
2	非常に強い	6.7	6.4	10.5	5.7	5.9	9.6	6.8	6.8	6.5	6.7	6.4	7.1
3	強ちともいえない	43.7	45.0	40.5	47.1	44.7	40.2	40.7	40.7	48.8	44.2	45.0	40.3
4	弱	39.4	40.0	34.5	34.5	39.4	39.2	42.7	42.7	33.3	39.0	38.4	42.8
5	非常に弱い	9.7	8.2	13.5	12.6	9.4	10.5	9.2	9.2	11.4	9.6	9.3	9.5
	非 常 に 弱 い	0.5	0.4	1.0	0.0	0.5	0.5	0.7	0.7	0.0	0.5	0.8	0.3
Q08 S 講師の講義の進め方は、素材の提示の仕方が適切という印象が													
Q08	平 均 値	2.55	2.52	2.55	2.56	2.50	2.73	2.52	2.52	2.61	2.55	2.50	2.59
1	有効回答数	971	281	199	87	763	208	295	295	123	553	480	368
2	非常に強い	6.3	7.1	9.0	1.1	6.7	4.8	5.4	5.4	4.1	7.2	7.3	5.7
3	強ちともいえない	42.9	43.8	42.2	50.6	46.3	30.8	47.1	47.1	40.7	41.2	44.8	41.3
4	弱	40.9	38.8	35.7	39.1	38.0	51.4	38.3	38.3	46.3	41.0	39.0	41.6
5	非常に弱い	9.3	10.3	11.1	9.2	8.4	12.5	8.1	8.1	8.1	10.1	8.1	11.1
	非 常 に 弱 い	0.6	0.0	2.0	0.0	0.7	0.5	1.0	1.0	0.8	0.4	0.8	0.3
Q09 以上のA～Sの中で、視聴された放送教材を改善するために重要と思われる点を選んで下さい (複数回答可)。													
Q09	平 均 値	595	174	123	55	421	174	68	68	58	469	297	240
A.	有効回答数	1.5	1.1	0.8	1.8	1.4	1.7	0.0	0.0	0.0	1.9	1.7	1.7
B.	講師の回答数	813	243	162	78	639	174	222	222	105	486	381	327
C.	講師の回答数	3.8	6.6	1.9	1.3	3.6	4.6	3.6	3.6	7.6	3.1	2.4	4.3
D.	講師の回答数	12.7	11.1	14.8	17.9	13.6	9.2	15.3	15.3	19.0	10.1	8.1	15.9
E.	講師の回答数	23.2	27.6	19.1	25.6	24.1	20.1	25.2	25.2	29.5	21.0	23.6	20.8
F.	講師の回答数	8.2	10.7	6.8	10.3	8.5	7.5	7.2	7.2	14.3	7.4	7.6	7.0
G.	講師の回答数	2.3	2.1	2.5	3.8	2.5	1.7	2.3	2.3	2.9	2.3	2.4	2.1
H.	講師の回答数	9.6	11.5	8.6	16.7	10.3	6.9	14.0	14.0	9.5	7.6	10.5	8.6
I.	講師の回答数	16.5	19.8	14.8	11.5	15.0	21.8	15.3	15.3	18.1	16.7	17.8	14.4
J.	講師の回答数	15.0	15.2	14.2	11.5	16.1	10.9	15.8	15.8	16.2	14.4	13.9	15.9
K.	講師の回答数	11.3	14.8	13.6	2.6	11.3	11.5	11.7	11.7	14.3	10.5	11.3	10.4
L.	講師の回答数	17.7	17.7	16.0	11.5	17.2	19.5	18.0	18.0	21.9	16.7	17.3	16.8
M.	講師の回答数	19.3	19.8	19.8	19.2	20.3	15.5	23.4	23.4	22.9	16.7	17.3	20.5
N.	講師の回答数	38.4	42.8	34.6	42.3	40.1	32.2	43.2	43.2	38.1	36.2	38.6	38.2
O.	講師の回答数	17.0	15.6	21.6	17.9	17.7	14.4	18.0	18.0	16.2	16.7	14.2	20.5
P.	講師の回答数	21.2	23.5	21.6	10.3	21.4	20.1	18.0	18.0	23.8	22.0	19.9	21.7
Q.	講師の回答数	17.0	16.9	16.0	14.1	16.6	18.4	21.6	21.6	18.1	14.6	16.3	17.4
R.	講師の回答数	5.9	4.9	6.8	3.8	5.5	7.5	4.5	4.5	6.7	6.4	6.6	4.9
S.	講師の回答数	8.7	7.4	8.6	7.7	8.5	9.8	10.4	10.4	7.6	8.2	9.7	8.0
X.	講師の回答数	21.8	25.9	21.0	16.7	22.7	18.4	21.6	21.6	18.1	22.6	24.7	19.6
	非 常 に 弱 い	14.5	13.6	19.1	15.4	13.9	16.7	16.2	16.2	19.0	12.8	12.9	15.0
Q10 1. 扱っている内容の範囲は適切である													
Q10	平 均 値	2.15	2.09	2.19	2.07	2.18	2.04	2.19	2.19	2.28	2.10	2.14	2.13
1	有効回答数	963	268	200	88	758	205	292	292	123	548	480	360
2	非常に思う (%)	20.8	21.3	22.5	25.0	19.7	24.9	18.2	18.2	15.4	23.4	20.8	22.5
3	やや思う (%)	53.1	56.3	48.5	51.1	53.4	51.7	56.5	56.5	52.0	51.5	53.5	52.8
4	やや思う (%)	17.2	14.6	18.0	17.0	16.8	19.0	14.7	14.7	22.0	17.5	17.3	15.6
5	非常に思う (%)	8.1	7.5	9.5	5.7	9.4	3.4	9.6	9.6	9.8	6.9	7.7	8.1
	非 常 に 弱 い	0.8	0.4	1.5	1.1	0.8	1.0	1.0	1.0	0.8	0.7	0.6	1.1

表1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その13)

	総計	大 学 職 位			メ デ ィ ア		科 目 分 類			理 系 ・ 文 系		
		大 教 授	大 助 教 授	大 講 師	テ レ ビ	ラ ジ オ	基 礎	本 質	外 国 語	専 門	理 科 系	文 科 系
											科 目	科 目
Q 1 0	2 均 容 が 専 門 的 で あ る	2.70	2.72	2.68	2.84	2.71	2.67	2.97	3.11	2.47	2.56	2.76
1	有 効 回 に そ ら そ う 思 う	965	269	201	88	761	204	296	123	546	481	361
2	非 常 や ち ょ う 思 う	9.1	6.7	12.4	8.0	9.7	6.9	3.4	2.4	13.7	13.3	5.8
3	ど や ど や 思 う	34.6	37.5	33.8	31.8	33.6	38.2	27.7	25.2	40.5	37.6	33.8
4	え ない	36.1	36.1	31.3	33.0	35.5	38.2	41.6	43.1	31.5	31.2	40.2
5	わ ない	17.1	16.7	18.4	22.7	17.9	14.2	23.6	17.1	13.6	15.6	19.1
6	常 に そ う 思 う	3.1	3.0	4.0	4.5	3.3	2.5	3.7	12.2	0.7	2.3	1.1
Q 1 0	3 単 位 数 に ふ さ わ し い 内 容 で あ る	2.40	2.37	2.31	2.39	2.42	2.32	2.42	2.49	2.36	2.40	2.36
1	有 効 回 に そ ら そ う 思 う	946	263	198	88	744	202	286	122	538	470	354
2	非 常 や ち ょ う 思 う	13.3	11.4	18.2	12.5	12.9	14.9	12.2	16.4	13.2	14.5	10.7
3	ど や ど や 思 う	42.2	48.3	38.9	46.6	42.3	41.6	41.3	30.3	45.4	40.9	48.0
4	え ない	37.0	34.2	37.4	33.0	36.2	40.1	39.9	41.8	34.4	36.4	36.2
5	わ ない	6.6	4.6	5.1	5.7	7.4	3.5	5.9	10.7	5.9	7.2	4.2
6	常 に そ う 思 う	1.0	1.5	0.5	2.3	1.2	0.0	0.7	0.8	1.1	1.1	0.8
Q 1 0	4 面 数 に ふ さ わ し い 番 組 で あ る	2.45	2.41	2.39	2.40	2.42	2.53	2.52	2.29	2.44	2.43	2.52
1	有 効 回 に そ ら そ う 思 う	963	268	200	88	759	204	294	123	546	481	359
2	非 常 や ち ょ う 思 う	14.8	14.9	19.5	18.2	14.9	14.7	11.2	20.3	15.6	15.2	12.5
3	ど や ど や 思 う	41.3	42.9	40.0	40.9	42.6	36.8	42.5	45.5	39.7	40.7	40.7
4	え ない	29.8	28.4	24.5	27.3	29.2	31.9	30.6	22.8	31.0	30.8	30.9
5	わ ない	12.4	13.8	13.5	10.2	12.0	13.7	14.3	7.3	12.5	12.1	14.5
6	常 に そ う 思 う	1.7	0.0	2.5	3.4	1.3	2.9	1.4	4.1	1.3	1.2	1.4
Q 1 0	5 役 に 立 つ 番 組 で あ る	2.04	2.01	2.04	2.02	2.00	2.20	2.22	2.02	1.95	1.97	2.14
1	有 効 回 に そ ら そ う 思 う	963	269	199	88	758	205	294	123	546	481	359
2	非 常 や ち ょ う 思 う	23.1	24.5	25.1	21.6	24.4	18.0	14.3	24.4	27.5	25.4	19.5
3	ど や ど や 思 う	54.2	53.5	50.3	56.8	55.3	50.2	55.4	55.3	53.3	55.7	51.8
4	え ない	18.7	17.8	20.1	19.3	16.8	25.9	25.2	14.6	16.1	15.4	24.5
5	わ ない	3.6	4.1	4.5	2.3	3.2	5.4	3.7	5.7	3.1	3.3	3.3
6	常 に そ う 思 う	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.5	1.4	0.0	0.0	0.2	0.8
Q 1 0	6 わ かり や す い 番 組 で あ る	2.44	2.43	2.44	2.30	2.44	2.44	2.27	2.63	2.49	2.52	2.27
1	有 効 回 に そ ら そ う 思 う	960	266	200	87	756	204	292	123	545	480	357
2	非 常 や ち ょ う 思 う	11.9	12.8	14.5	14.9	11.8	12.3	13.7	7.3	11.9	11.9	13.4
3	ど や ど や 思 う	47.3	45.5	47.5	51.7	47.5	46.6	52.7	43.9	45.1	42.7	54.6
4	え ない	27.4	28.9	20.0	23.0	27.6	26.5	26.7	30.1	27.2	29.2	24.1
5	わ ない	12.0	11.3	15.0	9.2	11.2	14.7	6.5	16.3	13.9	14.2	7.6
6	常 に そ う 思 う	1.5	1.5	3.0	1.1	1.9	0.0	0.3	2.4	1.8	2.1	0.3

表1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その14)

		大 学 職 位				メ デ ィ ア		科 目 分 類				理 系 ・ 文 系	
		大 教 授	大 学 助 教 授	大 学 大 講 師	学 師	テ レ ビ	ラ ジ オ	基 礎	本 科	外 国 語	専 門	理 科 系	文 科 系
総 計		2.40	2.45	2.51	2.39	2.38	2.49	2.40	2.34	2.42	2.37	2.47	
Q10	7. 講義の概要が最初に適切に示されている	2.40	2.45	2.51	2.39	2.38	2.49	2.40	2.34	2.42	2.37	2.47	
1	平 均 値	2.40	2.45	2.51	2.39	2.38	2.49	2.40	2.34	2.42	2.37	2.47	
2	有効回数にそう思う	959	265	199	88	755	204	292	123	544	478	358	
3	非常回数にそう思う	14.2	13.2	13.6	14.8	12.7	13.7	15.4	17.9	12.7	13.6	13.7	
4	どちらやそう思う	43.6	41.1	41.2	43.2	44.8	39.2	40.8	43.9	45.0	45.4	41.1	
5	どちらやそう思わない	30.8	32.8	28.1	31.8	30.5	31.9	32.9	24.4	31.1	32.2	31.0	
	非常にそう思わない	10.7	12.8	14.6	9.1	9.5	15.2	10.3	13.8	10.3	8.2	13.1	
	非常にそう思わない	0.7	0.0	2.5	1.1	0.9	0.0	0.7	0.0	0.9	0.6	1.1	
Q10	8. まとめが要所で適切になされている	2.44	2.43	2.47	2.48	2.41	2.52	2.47	2.30	2.45	2.38	2.56	
1	平 均 値	2.44	2.43	2.47	2.48	2.41	2.52	2.47	2.30	2.45	2.38	2.56	
2	有効回数にそう思う	960	267	199	88	756	204	292	123	545	480	357	
3	非常回数にそう思う	12.1	11.6	15.1	12.5	11.9	12.7	11.6	15.4	11.6	12.1	10.9	
4	どちらやそう思う	43.8	45.7	38.7	39.8	45.8	36.3	42.5	48.0	43.5	47.7	37.0	
5	どちらやそう思わない	33.6	31.1	32.7	37.5	32.4	38.2	34.6	28.0	34.5	31.5	38.7	
	非常にそう思わない	9.6	11.6	11.6	8.0	9.1	11.3	9.9	8.9	9.5	8.1	11.8	
	非常にそう思わない	0.9	0.0	2.0	2.3	0.8	1.5	1.4	0.0	0.9	0.6	1.7	
Q10	9. どこ値が重要なポイントかがよくわかる	2.48	2.50	2.47	2.51	2.47	2.53	2.58	2.41	2.44	2.41	2.60	
1	平 均 値	2.48	2.50	2.47	2.51	2.47	2.53	2.58	2.41	2.44	2.41	2.60	
2	有効回数にそう思う	963	267	201	88	759	204	294	123	546	480	360	
3	非常回数にそう思う	12.5	11.6	15.4	13.6	13.0	10.3	11.2	15.4	12.5	13.3	10.3	
4	どちらやそう思う	40.9	41.2	38.8	35.2	41.4	39.2	37.4	41.5	42.7	44.2	36.4	
5	どちらやそう思わない	34.0	34.5	30.3	38.6	32.9	37.7	35.0	30.1	34.2	31.9	38.1	
	非常にそう思わない	11.6	10.9	13.9	11.4	11.3	12.7	15.0	12.2	9.7	9.8	13.9	
	非常にそう思わない	1.0	1.9	1.5	1.1	1.3	0.0	1.4	0.8	0.9	0.8	1.4	
Q10	10. 講義の流れに適切な緩急のリズムがある	2.96	2.97	3.03	3.07	2.93	3.07	2.95	3.06	2.95	2.89	3.03	
1	平 均 値	2.96	2.97	3.03	3.07	2.93	3.07	2.95	3.06	2.95	2.89	3.03	
2	有効回数にそう思う	963	269	201	88	757	206	293	123	547	480	360	
3	非常回数にそう思う	5.1	4.1	8.0	2.3	5.0	5.3	5.1	4.1	5.3	6.5	3.6	
4	どちらやそう思う	22.6	21.2	18.9	26.1	23.8	18.4	22.5	20.5	23.2	24.0	21.7	
5	どちらやそう思わない	45.9	50.6	40.8	36.4	46.6	43.2	47.4	48.8	44.4	45.6	45.3	
	非常にそう思わない	23.7	22.3	26.9	33.0	21.9	30.1	22.5	19.5	25.2	22.1	27.2	
	非常にそう思わない	2.7	1.9	5.5	2.3	2.6	2.9	2.4	7.3	1.8	1.9	2.2	
Q10	11. 1 回分の講義の情報量は適切である	2.53	2.48	2.60	2.56	2.54	2.53	2.51	2.76	2.50	2.50	2.51	
1	平 均 値	2.53	2.48	2.60	2.56	2.54	2.53	2.51	2.76	2.50	2.50	2.51	
2	有効回数にそう思う	961	267	201	88	756	205	291	123	547	479	359	
3	非常回数にそう思う	8.4	7.5	10.9	8.0	8.3	8.8	9.3	5.7	8.6	9.0	8.6	
4	どちらやそう思う	46.5	50.9	40.8	45.5	47.9	41.5	46.7	35.8	48.8	49.1	46.8	
5	どちらやそう思わない	29.6	28.8	28.4	30.7	27.0	39.0	29.2	37.4	28.0	26.9	30.4	
	非常にそう思わない	14.2	11.2	17.4	14.8	15.3	9.8	13.1	19.5	13.5	13.4	13.4	
	非常にそう思わない	1.4	1.5	2.5	1.1	1.5	1.0	1.7	1.6	1.1	1.7	0.8	

表1-2 1986年度『放送大学放送教材に関する調査』 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その15)

	総計	大 学 職 位			メ デ ィ ア		科 目 分 類			理 系 ・ 文 系				
		大 教	大 学 授	大 講	学 師	テ レ ビ	ラ ジ オ	基 礎	本 質	外 語 目	専 門 目	理 科 系 目	文 科 系 目	
Q10 1 2. 視聴者の動機づけを高める工夫がある														
1 平均値	2.85	2.76	2.97	2.88	2.81	3.00	2.83	2.90	2.85	2.80	2.91			
2 有効回答数	959	266	200	88	755	204	292	123	544	479	357			
3 非常やどちらでもない	5.6	5.6	8.0	4.5	5.7	5.4	4.8	5.7	6.1	6.5	4.5			
4 どちらでもない	30.4	35.3	24.0	28.4	32.5	23.0	33.2	30.1	29.0	31.5	29.1			
5 非常に思わない	39.7	39.1	36.0	44.3	39.1	42.2	38.4	38.2	40.8	39.7	40.3			
6 非常に思わない	21.4	17.7	26.5	20.5	20.4	25.0	21.2	20.3	21.7	20.7	22.7			
7 非常に思わない	2.8	2.3	5.5	2.3	2.4	4.4	2.4	5.7	2.4	1.7	3.4			
Q10 1 3. 視聴者自身に考えさせる工夫がある														
1 平均値	3.19	3.17	3.28	3.23	3.18	3.21	3.23	3.15	3.17	3.20	3.18			
2 有効回答数	962	268	201	88	759	203	292	123	547	480	359			
3 非常やどちらでもない	2.3	3.0	2.0	2.3	2.5	1.5	1.7	0.8	2.9	2.7	2.2			
4 どちらでもない	18.8	18.7	17.9	21.6	18.3	20.7	17.8	23.6	18.3	18.3	17.8			
5 非常に思わない	41.6	39.9	37.3	33.0	42.3	38.9	40.1	41.5	42.4	39.4	44.6			
6 非常に思わない	32.7	35.4	35.8	37.5	32.7	33.0	36.6	27.6	31.8	35.6	30.6			
7 非常に思わない	4.6	3.0	7.0	5.7	4.2	5.9	3.8	6.5	4.6	4.0	4.7			
Q10 1 4. 視聴者が抱きそうな疑問への説明がある														
1 平均値	2.92	2.92	3.02	2.91	2.92	2.94	2.99	2.98	2.88	2.94	2.89			
2 有効回答数	962	268	201	88	758	204	292	123	547	479	360			
3 非常やどちらでもない	3.3	3.7	2.5	2.3	3.8	1.5	1.4	2.4	4.6	2.9	4.2			
4 どちらでもない	28.3	26.1	30.3	34.1	27.6	30.9	27.4	29.3	28.5	28.1	28.1			
5 非常に思わない	43.9	46.3	35.8	36.4	43.9	43.6	44.2	42.3	44.1	43.0	45.6			
6 非常に思わない	21.7	22.0	25.4	25.0	22.2	20.1	25.3	19.5	20.3	24.2	19.2			
7 非常に思わない	2.8	1.9	6.0	2.3	2.5	3.9	1.7	6.5	2.6	1.7	3.1			
Q10 1 5. 内容が盛りだくさんである														
1 平均値	2.63	2.56	2.54	2.64	2.61	2.68	2.68	2.60	2.60	2.54	2.74			
2 有効回答数	959	268	201	88	754	205	291	121	547	481	357			
3 非常やどちらでもない	7.8	7.5	12.9	4.5	8.2	6.3	5.5	7.4	9.1	8.9	6.4			
4 どちらでもない	36.6	41.8	33.8	43.2	37.7	32.7	36.4	36.4	36.7	39.5	32.8			
5 非常に思わない	41.9	38.8	40.8	36.4	39.8	49.8	44.3	46.3	39.7	39.9	43.1			
6 非常に思わない	12.5	11.6	11.4	15.9	13.4	9.3	12.0	8.3	13.7	11.4	15.4			
7 非常に思わない	1.1	0.4	1.0	0.0	0.9	2.0	1.7	1.7	0.7	0.2	2.2			
Q10 1 6. 利用メディアの特性が活かされている														
1 平均値	2.74	2.68	2.85	2.77	2.63	3.15	2.73	2.60	2.78	2.74	2.79			
2 有効回答数	961	271	200	88	754	207	295	121	545	477	363			
3 非常やどちらでもない	8.8	7.4	11.5	6.8	10.5	2.9	7.8	11.6	8.8	8.4	8.5			
4 どちらでもない	36.7	41.0	30.5	36.4	41.9	17.9	39.0	38.0	35.2	38.2	34.4			
5 非常に思わない	31.1	31.0	28.5	38.6	26.4	48.3	30.2	33.9	31.0	30.0	31.7			
6 非常に思わない	18.0	17.7	20.5	9.1	16.7	22.7	18.3	12.4	19.1	18.0	19.8			
7 非常に思わない	5.3	3.0	9.0	9.1	4.5	8.2	4.7	4.1	5.9	5.5	5.5			

表1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その16)

	総計	大学職位			メディア		科目分類				理系・文系		
		大教授	大助教授	大講師	テレビ	ラジオ	基礎	本基礎	外国語	専門	理系科目	文系科目	
Q10 1 7. 視聴者への問いかけが適切である													
Q10	1	平均値	3.15	3.12	3.31	3.14	3.14	3.19	3.17	3.06	3.16	3.16	3.17
	1	有効回数	954	267	197	88	750	204	289	121	544	474	359
	2	有効回数に思う	2.0	2.2	1.5	1.1	2.3	1.0	2.1	1.7	2.0	2.1	1.9
	3	有効回数に思う	15.7	19.9	11.2	14.8	16.4	13.2	15.2	18.2	15.4	15.0	15.9
	4	有効回数に思う	50.1	42.7	47.7	58.0	48.9	54.4	48.4	56.2	49.6	50.2	47.9
	5	有効回数に思う	29.6	34.1	34.0	21.6	29.7	28.9	32.2	20.7	30.1	30.4	31.5
	6	有効回数に思う	2.6	1.1	5.6	4.5	2.7	2.5	2.1	3.3	2.8	2.3	2.5
Q10 1 8. 新しい概念の導入は適切に行なわれている													
Q10	1	平均値	2.56	2.58	2.59	2.56	2.53	2.69	2.63	2.64	2.51	2.45	2.69
	1	有効回数	955	266	200	88	750	205	292	121	542	478	356
	2	有効回数に思う	6.8	7.1	9.5	2.3	7.5	4.4	6.2	3.3	7.9	9.4	4.5
	3	有効回数に思う	42.5	41.4	41.0	52.3	43.7	38.0	39.4	38.8	45.0	44.8	40.7
	4	有効回数に思う	39.5	38.7	33.0	35.2	38.4	43.4	41.1	49.6	36.3	38.5	37.4
	5	有効回数に思う	9.9	12.0	14.0	8.0	9.2	12.7	12.3	6.6	9.4	6.3	16.0
	6	有効回数に思う	1.3	0.8	2.5	2.3	1.2	1.5	1.0	1.7	1.3	1.0	1.4
Q10 1 9. 具体例が適切に取り入れられている													
Q10	1	平均値	2.43	2.43	2.49	2.31	2.37	2.64	2.36	2.61	2.42	2.42	2.37
	1	有効回数	961	268	201	88	755	206	294	121	546	480	360
	2	有効回数に思う	11.3	11.2	12.4	9.1	12.3	7.8	12.2	5.8	12.1	12.1	12.2
	3	有効回数に思う	48.7	48.9	43.8	61.4	51.5	38.3	52.7	39.7	48.5	48.5	51.9
	4	有効回数に思う	27.2	26.5	28.9	20.5	24.5	36.9	22.4	43.8	26.0	26.5	22.5
	5	有効回数に思う	11.4	12.7	11.9	8.0	10.2	16.0	11.9	9.1	11.7	10.8	13.1
	6	有効回数に思う	1.4	0.7	3.0	1.1	1.5	1.0	0.7	1.7	1.6	2.1	0.3
Q10 2 0. 講義の流れに変化が乏しい													
Q10	2	平均値	3.08	3.13	3.04	3.09	3.12	2.92	3.09	2.98	3.10	3.10	3.09
	1	有効回数	960	268	201	87	755	205	294	120	546	479	361
	2	有効回数に思う	3.1	1.1	5.5	2.3	3.0	3.4	2.0	6.7	2.9	2.5	2.8
	3	有効回数に思う	24.8	26.5	26.9	28.7	22.4	33.7	25.9	26.7	23.8	24.2	24.9
	4	有効回数に思う	39.3	36.9	33.8	34.5	40.0	36.6	38.8	34.2	40.7	40.3	39.6
	5	有効回数に思う	26.7	29.5	25.9	26.4	28.3	20.5	27.9	26.7	26.0	26.9	26.3
	6	有効回数に思う	6.1	6.0	8.0	8.0	6.2	5.9	5.4	5.8	6.6	6.1	6.4
Q10 2 1. 必要以上に専門用語が使われている													
Q10	2	平均値	3.51	3.49	3.58	3.63	3.50	3.54	3.54	3.73	3.45	3.44	3.54
	1	有効回数	958	265	201	88	755	203	293	120	545	479	359
	2	有効回数に思う	0.8	1.9	1.0	0.0	0.4	2.5	0.0	1.7	1.1	0.8	0.6
	3	有効回数に思う	4.8	3.0	6.5	2.3	5.7	1.5	4.1	1.7	5.9	6.3	3.9
	4	有効回数に思う	46.9	49.4	39.8	44.3	46.1	49.8	47.8	39.2	48.1	49.5	46.0
	5	有効回数に思う	37.3	35.8	38.8	42.0	38.7	32.0	37.9	36.7	37.1	35.3	40.1
	6	有効回数に思う	10.2	9.8	13.9	11.4	9.1	14.3	10.2	20.8	7.9	8.1	9.5

表1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その17)

	総計	大学職位				メディア		科目分類			理系・文系		
		大教授	大助教授	大学講師	テレビ	ラジオ	基礎	本	外国語	専門	理系科目	文系科目	
印刷教材と適切に関連している													
Q10	2.48	2.50	2.42	2.41	2.51	2.36	2.44	2.53	2.49	2.43	2.54		
1	954	266	200	87	752	202	290	121	543	475	358		
2	10.9	8.3	15.5	10.3	10.0	14.4	13.4	8.3	10.1	12.4	9.8		
3	43.5	46.2	41.0	48.3	42.6	47.0	41.7	42.1	44.8	44.0	43.3		
4	33.4	33.8	30.5	32.2	34.8	28.2	32.8	38.0	32.8	32.8	32.7		
5	10.9	10.5	12.0	8.0	11.3	9.4	11.0	11.6	10.7	10.1	11.7		
	1.3	1.1	1.0	1.1	1.3	1.0	1.0	0.0	1.7	0.6	2.5		
図表などが適切に利用されている													
Q10	2.63	2.64	2.66	2.61	2.42	3.41	2.58	3.15	2.53	2.37	2.79		
1	947	264	194	87	753	194	293	117	537	476	354		
2	8.6	9.1	11.3	4.6	10.4	1.5	9.9	1.7	9.3	11.8	6.5		
3	43.4	44.3	39.7	50.6	51.3	12.9	45.1	18.8	47.9	53.2	38.4		
4	29.3	25.8	26.8	26.4	25.2	44.8	25.9	53.8	25.7	23.1	29.4		
5	14.6	14.8	16.0	16.1	12.1	24.2	15.0	14.5	14.3	10.1	20.6		
	4.2	6.1	6.2	2.3	1.1	16.5	4.1	11.1	2.8	1.9	5.1		
内容が実用的である													
Q10	2.91	2.87	3.05	2.86	2.80	3.33	3.10	2.60	2.88	2.90	3.04		
1	960	267	201	88	756	204	293	121	546	480	359		
2	6.0	7.1	7.0	6.8	6.7	3.4	2.7	14.9	5.9	4.6	5.0		
3	27.1	27.3	23.9	27.3	30.6	14.2	22.2	30.6	28.9	27.9	24.8		
4	40.9	40.8	36.3	43.2	41.7	38.2	43.3	38.8	40.1	44.0	37.6		
5	21.4	21.3	22.9	18.2	18.0	33.8	25.6	11.6	21.2	19.8	26.7		
	4.6	3.4	10.0	4.5	3.0	10.3	6.1	4.1	3.8	3.8	5.8		
内容のレベルは適切である													
Q10	2.46	2.47	2.49	2.47	2.48	2.42	2.39	2.64	2.47	2.49	2.37		
1	960	266	201	88	756	204	293	121	546	480	359		
2	10.6	10.9	11.9	6.8	10.7	10.3	12.6	9.1	9.9	10.8	10.9		
3	46.0	44.7	44.8	54.5	45.8	47.1	48.8	39.7	46.0	44.4	50.4		
4	30.5	31.2	26.9	26.1	29.6	33.8	25.9	33.1	32.4	30.2	30.1		
5	11.9	12.8	14.9	10.2	12.8	8.3	12.3	14.9	11.0	13.8	8.4		
	0.9	0.4	1.5	2.3	1.1	0.5	0.3	3.3	0.7	0.8	0.3		
講義の進度は適当である													
Q10	2.47	2.45	2.48	2.42	2.47	2.47	2.41	2.64	2.47	2.47	2.41		
1	959	267	201	88	754	205	293	120	546	480	359		
2	8.6	7.1	10.4	6.8	8.1	10.2	9.6	9.2	7.9	7.9	9.2		
3	47.4	49.8	44.8	53.4	48.3	44.4	48.5	37.5	49.1	47.1	51.3		
4	33.4	34.1	32.8	31.8	32.9	35.1	34.5	35.8	32.2	35.2	30.1		
5	9.7	8.6	10.4	6.8	9.9	8.8	6.8	15.0	10.1	9.2	8.6		
	0.9	0.4	1.5	1.1	0.8	1.5	0.7	2.5	0.7	0.6	0.8		

表1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その18)

		総 計	大 学 職 位				メ デ ィ ア		科 目 分 類				理 系 ・ 文 系	
			大 学 教 授	大 学 助 教 授	大 学 講 師	テ レ ビ	ラ ジ オ	基 礎	本 科 目	外 国 語	専 門	理 科 目	文 科 目	
Q10	7. 1 回の講義時間の長さは適当である	2.41	2.30	2.44	2.51	2.41	2.40	2.41	2.60	2.37	2.41	2.36		
1	平均値	962	201	88	757	205	294	121	121	547	481	360		
2	有効回数	11.9	12.3	11.9	6.8	12.2	10.7	13.6	10.7	11.2	11.9	12.2		
3	非常にそう思う	47.8	52.6	49.8	48.9	47.3	49.8	45.2	41.3	50.6	47.6	50.3		
4	ややそう思う	29.0	28.7	23.4	31.8	28.9	29.3	28.6	28.1	29.4	29.9	28.1		
5	どちらでもない	10.0	5.6	12.4	11.4	10.2	9.3	11.6	16.5	7.7	9.4	8.6		
	非常に思う	1.4	0.7	2.5	1.1	1.5	1.0	1.0	3.3	1.1	1.2	0.8		
Q10	2. 8. 中途に息抜きの時間が適度に入っている	3.27	3.22	3.31	3.24	3.20	3.49	2.99	3.43	3.38	3.15	3.37		
1	平均値	957	200	88	754	203	291	120	120	546	479	358		
2	有効回数	2.6	3.0	5.5	2.3	3.1	1.0	6.2	0.8	1.1	1.4	1.4		
3	非常にそう思う	15.2	16.2	13.5	14.8	17.5	6.4	26.8	9.2	10.3	19.6	11.2		
4	ややそう思う	41.9	43.0	34.5	43.2	41.4	43.8	34.0	42.5	46.0	40.5	43.6		
5	どちらでもない	33.8	31.7	37.5	36.4	32.1	39.9	28.2	40.8	35.2	29.6	36.9		
	非常に思う	6.6	6.0	9.0	3.4	6.0	8.9	4.8	6.7	7.5	6.3	7.0		
Q10	2. 9. カリキュラムの組み方は適切である	2.46	2.41	2.47	2.40	2.45	2.47	2.45	2.54	2.44	2.42	2.48		
1	平均値	957	201	88	754	203	291	121	121	545	478	358		
2	有効回数	9.3	8.6	13.9	8.0	9.2	9.9	10.7	6.6	9.2	10.0	9.2		
3	非常にそう思う	44.2	47.7	38.8	53.4	45.1	40.9	43.3	43.0	45.0	44.1	44.7		
4	ややそう思う	38.6	37.6	34.8	30.7	37.4	42.9	36.8	42.1	38.7	39.7	35.8		
5	どちらでもない	7.3	5.6	11.4	6.8	7.8	5.4	8.9	6.6	6.6	5.9	9.5		
	非常に思う	0.6	0.4	1.0	1.1	0.5	1.0	0.3	1.7	0.6	0.2	0.8		
Q10	3. 0. 興味深い番組である	2.07	2.06	2.05	2.01	2.02	2.22	2.15	2.13	2.01	1.99	2.14		
1	平均値	966	201	88	760	206	296	121	121	549	482	363		
2	有効回数	26.1	24.3	34.3	26.1	26.7	23.8	21.6	24.8	28.8	28.2	23.7		
3	非常にそう思う	49.0	51.5	36.8	56.8	50.9	41.7	51.0	47.1	48.3	49.6	48.8		
4	ややそう思う	17.6	18.0	18.9	8.0	16.1	23.3	18.9	19.0	16.6	17.0	17.9		
5	どちらでもない	6.8	6.3	9.5	8.0	5.8	10.7	7.4	8.3	6.2	5.0	8.8		
	非常に思う	0.5	0.0	0.5	1.1	0.5	0.5	1.0	0.8	0.2	0.2	0.8		
Q10	3. 1. 何らかの形で利用価値のある教材である	1.78	1.73	1.78	1.86	1.73	1.97	1.93	1.80	1.69	1.70	1.88		
1	平均値	966	201	87	761	205	293	123	123	550	482	361		
2	有効回数	37.5	36.9	40.8	36.8	40.2	27.3	29.7	34.1	42.4	42.5	31.9		
3	非常にそう思う	51.8	55.4	47.3	48.3	50.6	56.1	56.0	55.3	48.7	49.0	54.3		
4	ややそう思う	6.9	5.5	6.5	6.9	6.2	9.8	7.8	7.3	6.4	5.4	8.9		
5	どちらでもない	3.2	2.2	4.5	8.0	2.4	6.3	4.8	3.3	2.4	2.7	3.9		
	非常に思う	0.6	0.0	1.0	0.0	0.7	0.5	1.7	0.0	0.2	0.4	1.1		

表1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その20)

	総計	大学職位	メディア		科目分類		理系・文系			
			ラジオ		基礎		理系科目			
			テレビ	ラジオ	基礎	専門	理系科目	文系科目		
Q10 7. 講師の人選は適切である										
10	2.03	1.95	2.07	2.01	2.04	1.98	2.13	2.17	1.94	2.09
1	有効回数	266	201	88	757	204	293	122	546	359
2	有効回数	34.2	36.8	26.1	30.9	29.9	27.0	19.7	35.2	28.1
3	有効回数	40.6	30.8	52.3	40.3	46.6	40.3	50.8	40.3	40.9
4	有効回数	21.4	22.4	17.0	23.4	19.6	26.6	23.8	20.1	24.8
5	有効回数	3.4	8.0	3.4	4.5	3.9	5.1	4.1	4.0	5.6
6	有効回数	0.4	2.0	1.1	0.9	0.0	1.0	1.6	0.4	0.6
Q10 8. 講義の進度が速い										
10	3.20	3.17	3.21	3.37	3.19	3.24	3.27	3.05	3.19	3.28
1	有効回数	267	201	86	757	203	293	121	546	359
2	有効回数	1.7	1.5	1.2	1.6	2.0	1.7	1.7	1.6	1.4
3	有効回数	13.4	14.2	11.9	13.5	13.3	11.6	18.2	13.4	10.9
4	有効回数	52.8	53.2	47.7	53.4	50.7	51.2	57.0	52.7	51.5
5	有効回数	27.5	30.0	24.9	38.4	27.1	28.7	19.8	28.6	30.4
6	有効回数	4.6	2.2	7.0	4.7	4.0	6.9	3.3	3.7	5.8
Q10 9. 全体の講義の分量は適当である										
10	2.58	2.47	2.60	2.74	2.59	2.56	2.57	2.80	2.54	2.53
1	有効回数	266	201	88	755	204	291	122	546	359
2	有効回数	8.1	8.3	5.7	7.5	10.3	9.3	6.6	7.9	7.1
3	有効回数	41.2	46.2	38.8	41.9	38.7	39.5	31.1	44.3	40.7
4	有効回数	36.2	36.5	30.3	35.2	35.9	37.3	41.0	34.4	37.0
5	有効回数	13.2	8.6	17.4	20.5	13.5	12.3	18.9	12.3	11.1
6	有効回数	1.3	0.4	2.0	1.1	1.2	1.5	2.5	1.1	1.1
Q10 10. 図表などの提示に工夫がある										
10	2.79	2.69	2.96	2.86	2.62	3.49	2.74	3.09	2.75	2.98
1	有効回数	259	192	87	753	184	289	116	532	344
2	有効回数	6.4	5.8	4.6	7.8	0.5	5.9	0.9	7.9	8.6
3	有効回数	34.7	42.5	33.3	41.8	5.4	40.1	18.1	35.3	28.8
4	有効回数	36.3	32.0	39.1	32.4	52.2	32.5	57.8	33.6	35.2
5	有効回数	18.6	16.6	24.0	17.2	16.3	17.0	17.2	19.7	24.7
6	有効回数	4.1	3.1	8.3	5.7	1.6	4.5	6.0	3.4	6.1
Q10 11. 印刷教材が充実している										
10	2.74	2.66	2.72	2.77	2.74	2.73	2.75	2.75	2.73	2.75
1	有効回数	265	200	88	756	201	291	123	543	356
2	有効回数	6.9	7.2	4.5	6.3	9.0	5.2	6.5	7.9	7.3
3	有効回数	30.4	36.2	29.0	30.7	29.4	32.0	30.9	29.5	30.1
4	有効回数	46.5	41.5	48.5	51.1	47.6	47.4	46.3	46.0	44.9
5	有効回数	14.3	13.6	14.0	13.6	13.2	14.1	13.8	14.5	15.7
6	有効回数	1.9	1.5	1.5	2.1	1.0	1.4	2.4	2.0	2.0

表1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その21)

大 学 職 位				メ デ ィ ア		科 目 分 類			理 系 ・ 文 系						
大 学 教 授		大 学 助 教 授		大 学 大 講 師		テ レ ビ		ラ ジ オ		基 礎	本 科	外 国 語	専 門 科 目	理 科 系 目 科	文 科 系 目 科
総 計															
Q 1 0 4 2. 改善の余地が多い番組である															
	平 均	3.22	267	3.21	3.17	3.19	3.34	3.13	3.22	3.27	3.20	3.25			
1	有効回数	961	201	88	757	204	291	123	547	477	361				
2	非有効回数	3.4	2.2	6.8	3.7	2.5	3.4	2.3	5.7	2.9	2.3	4.2			
3	どちや	20.0	18.0	22.4	21.1	15.7	23.0	17.9	18.8	21.4	18.8	35.7			
4	どちや	38.4	45.3	29.4	35.2	37.9	40.2	38.1	37.4	38.8	40.7	30.5			
5	非有効回数	27.3	24.0	24.9	26.8	28.9	28.2	26.8	26.8	26.9	24.9	30.5			
	平 均	10.9	10.5	16.4	9.1	10.4	12.7	7.2	12.2	12.6	10.7	10.8			
Q 1 0 4 3. 印刷教材にもう少し工夫が欲しい															
	平 均	2.95	3.00	3.01	2.81	2.94	2.98	2.94	2.90	2.97	2.95	2.97			
1	有効回数	960	268	200	88	755	205	293	123	544	478	359			
2	非有効回数	2.9	1.1	5.0	4.5	2.4	4.9	2.4	4.9	2.8	2.3	3.1			
3	どちや	28.8	29.1	29.0	31.8	29.3	26.8	29.4	26.0	29.0	28.9	29.5			
4	どちや	44.7	44.8	36.0	43.2	45.4	42.0	46.1	50.4	42.6	46.0	40.9			
5	非有効回数	17.9	18.7	20.0	19.3	17.9	18.0	16.7	11.4	20.0	17.6	20.6			
	平 均	5.7	6.3	10.0	1.1	5.0	8.3	5.5	7.3	5.5	5.2	5.8			
Q 1 0 4 4. 印刷教材に演習などが適切に含まれている															
	平 均	3.57	3.55	3.66	3.64	3.54	3.69	3.75	3.28	3.54	3.63	3.60			
1	有効回数	943	261	197	88	747	196	286	123	534	472	348			
2	非有効回数	1.4	1.1	2.0	0.0	1.3	1.5	0.3	2.4	1.7	1.1	1.4			
3	どちや	7.7	8.8	5.1	6.8	7.6	8.2	2.8	19.5	7.7	6.6	5.2			
4	どちや	39.7	39.5	38.6	42.0	41.5	32.7	37.8	37.4	41.2	38.1	42.5			
5	非有効回数	35.0	35.2	33.5	31.8	35.1	34.7	39.9	29.3	33.7	37.3	33.9			
	平 均	16.2	15.3	20.8	19.3	14.5	23.0	19.2	11.4	15.7	16.9	17.0			
Q 1 0 4 5. 放送は学習のペース作りに役だっている															
	平 均	2.55	2.57	2.50	2.52	2.53	2.64	2.55	2.70	2.52	2.49	2.59			
1	有効回数	949	263	200	88	747	202	288	122	539	472	355			
2	非有効回数	6.8	5.7	12.0	8.0	6.7	7.4	6.3	4.9	7.6	7.4	6.8			
3	どちや	39.2	41.8	34.5	37.5	41.8	29.7	38.9	31.1	41.2	43.2	36.6			
4	どちや	46.9	43.7	46.5	48.9	44.6	55.4	49.3	53.3	44.2	43.6	49.0			
5	非有効回数	6.0	7.6	5.0	5.7	5.9	6.4	4.5	9.8	5.9	4.7	6.5			
	平 均	1.1	1.1	2.0	0.0	1.1	1.0	1.0	0.8	1.1	1.1	1.1			
Q 1 0 4 6. 全体的に満足いく番組である															
	平 均	2.24	2.13	2.34	2.26	2.23	2.25	2.32	2.33	2.18	2.17	2.30			
1	有効回数	963	269	201	88	758	205	292	123	548	480	360			
2	非有効回数	18.3	19.0	22.9	13.6	18.1	19.0	15.8	13.8	20.6	20.6	16.7			
3	どちや	49.8	56.1	38.3	61.4	50.7	46.8	49.7	53.7	49.1	49.6	48.9			
4	どちや	22.7	18.2	22.9	11.4	22.2	24.9	23.3	19.5	23.2	22.7	23.9			
5	非有効回数	8.1	5.9	13.9	12.5	7.9	8.8	9.9	11.4	6.4	6.5	9.2			
	平 均	1.0	0.7	2.0	1.1	1.2	0.5	1.4	1.6	0.7	0.6	1.4			

表 1-2 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧 (その22)

	総 計	大 学 職 位				メ デ ィ ア		科 目 分 類			理 系 ・ 文 系	
		大 学 教 授	大 学 助 教 授	大 学 講 師	テ レ ビ	ラ ジ オ	基 礎	本 科 基 礎	外 国 語 科 目	専 門 科 目	理 科 系 目	文 科 系 目
		教	助	講							理 科 系 目	文 科 系 目
Q 1 3	この放送教材に関して、どのような利用法が考えられますか (複数回答可)	977	282	201	88	767	210	299	122	556	486	369
1	有効回数	7.8	6.9	10.6	3.5	8.7	4.5	7.3	7.8	8.1	9.1	6.1
2	授業での利用	68.5	72.2	65.7	68.2	71.1	58.7	70.6	56.5	69.9	72.2	67.5
3	授業で参考資料の利用	23.8	19.9	18.2	27.1	22.9	27.4	15.9	30.4	26.6	22.8	23.1
4	図書等の研究資料の利用	54.6	59.9	49.0	51.8	55.3	51.7	57.8	61.7	51.4	54.6	52.2
5	分送したいと思う	2.6	1.4	3.0	9.4	2.8	2.0	2.1	2.6	2.9	1.7	3.9
6	その他	2.8	1.4	3.5	1.2	2.8	3.0	3.1	5.2	2.2	3.0	1.9
Q 1 4	あなたの所属する機関の単位で置き換えるとすれば、何単位程度を与えられますか。	145	146	171	147	141	157	148	143	143	147	143
	平均値	1.45	1.46	1.71	1.47	1.41	1.57	1.48	1.43	1.43	1.47	1.43
	有効回数	807	241	177	70	631	176	248	106	453	407	294
0	0単位	25.9	27.8	20.3	30.0	26.0	25.6	25.4	31.1	24.9	23.6	27.2
1	1単位	18.6	14.1	10.2	12.9	20.4	11.9	15.3	12.3	21.9	21.6	16.7
2	2単位	40.4	42.7	47.5	37.1	39.8	42.6	45.6	38.7	38.0	39.3	42.5
3	3単位以上	15.1	15.4	22.0	20.0	13.8	19.9	13.7	17.9	15.2	15.5	13.6

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メディア別・講義形態別・講義形態×メディア別・結果一覧（その1）

	回 答 総 数	理文×メディア				講義形態				講義形態×メディア			
		理科×テレビ		文科×テレビ		講 師		その他		1人×テレビ		1人×ラジオ	
		総 計	978	449	37	254	115	566	357	429	137	296	61
◎ 性別													
1 有効回答数 (%)		956		436	35	249	114	550	351	415	135	291	60
2 1 男		90.1		94.5	94.3	83.1	88.6	90.4	90.3	89.4	93.3	91.8	83.3
2 女		9.9		5.5	5.7	16.9	11.4	9.6	9.7	10.6	6.7	8.2	16.7
◎ 年齢群													
1 平均値		45.90		46.16	45.89	46.82	45.09	45.73	45.71	45.49	46.49	46.39	42.39
2 有効回答数		977		468	37	254	115	565	357	428	137	296	61
3 3 4 4 歳		13.9		12.1	8.1	13.0	14.8	14.3	14.6	15.2	11.7	12.2	26.2
4 3 5 5 歳		33.6		35.5	43.2	32.3	34.8	33.3	34.7	33.9	31.4	35.1	32.8
5 4 5 5 歳		30.1		29.5	35.1	28.3	32.2	29.6	30.0	27.6	35.8	30.1	29.5
6 5 5 歳		22.4		23.0	13.5	26.4	18.3	22.8	20.7	23.4	21.2	22.6	11.5
◎ 所属機関													
1 有効回答数		972		445	36	253	115	562	356	426	136	295	61
2 国立大学		48.7		48.1	36.1	52.2	53.0	50.0	46.3	50.7	47.8	46.4	45.9
3 私立大学		20.5		18.9	30.6	19.0	19.1	20.1	20.2	19.5	22.1	19.0	26.2
4 高等学校		26.3		28.8	33.3	20.9	24.3	26.3	27.2	25.8	27.9	27.5	26.2
5 専門学校		4.5		4.3	0.0	7.9	3.5	3.6	6.2	4.0	2.2	7.1	1.6
◎ 職種													
1 有効回答数		969		446	37	251	115	563	354	426	137	293	61
2 教授		40.6		41.9	35.1	41.8	39.1	40.5	39.5	39.2	44.5	43.0	23.0
3 助教授		32.8		34.3	37.8	31.5	27.0	31.6	34.7	32.2	29.9	35.5	31.1
4 講師		14.2		11.7	16.2	15.1	22.6	14.2	14.7	13.6	16.1	12.6	24.6
5 その他 (助手など)		12.4		12.1	10.8	11.6	11.3	13.7	11.0	15.0	9.5	8.9	21.3
◎ メディア													
1 有効回答数		978		449	37	254	115	566	357	429	137	296	61
2 テレビ		78.5		100.0	0.0	100.0	0.0	75.8	82.9	100.0	0.0	100.0	0.0
3 ラジオ		21.5		0.0	100.0	0.0	100.0	24.2	17.1	0.0	100.0	0.0	100.0
◎ 理科系・文科系													
1 有効回答数		855		449	37	254	115	532	276	417	115	247	29
2 理科系		56.8		100.0	100.0	0.0	0.0	62.6	47.5	72.9	25.2	50.6	20.7
3 文科系		43.2		0.0	0.0	100.0	100.0	37.4	52.5	27.1	74.8	49.4	79.3
◎ 理文×メディア													
1 有効回答数		855		449	37	254	115	532	276	417	115	247	29
2 理科系×テレビ		52.5		100.0	0.0	0.0	0.0	57.1	45.3	72.9	0.0	50.6	0.0
3 理科系×ラジオ		4.3		0.0	100.0	0.0	0.0	5.5	2.2	0.0	25.2	0.0	20.7
4 文科系×テレビ		29.7		0.0	0.0	100.0	0.0	21.2	44.2	27.1	0.0	49.4	0.0
5 文科系×ラジオ		13.5		0.0	0.0	0.0	100.0	16.2	8.3	0.0	74.8	0.0	79.3

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メディア別・講義形態別・講義形態×メディア別・結果一覧 (その2)

科目分類 有効回答数	科目 有効回答数	理文×メディア				講義形態				講義形態×メディア			
		総計	理科×テレビ	理科×ラジオ	文科×テレビ	文科×ラジオ	講師	その形態	その他	1人×テレビ	1人×ラジオ	その他テレビ	その他ラジオ
◎	科目分類 有効回答数	978	449	37	254	115	566	357		429	137	296	61
1	基礎科目	30.6	35.9	0.0	35.0	42.6	27.4	33.6		27.7	26.3	37.2	16.4
2	外国語科目	12.6	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	22.7		2.8	16.1	16.6	52.5
3	専門科目	56.9	64.1	100.0	65.0	57.4	66.6	43.7		69.5	57.7	46.3	31.1
Q01	あなたの視聴された放送教材は以下のどれですか。	978	449	37	254	115	566	357		429	137	296	61
1	宇宙 (度数)	57	57	0	0	0	43	11		43	0	11	0
2	地球と自然	41	41	0	0	0	19	14		19	0	14	0
3	日本と文化	31	0	0	31	0	23	7		23	0	7	0
4	生活と健康	58	0	0	58	0	17	37		17	0	37	0
5	基礎言語 I	63	63	0	0	0	17	41		17	0	41	0
6	基礎言語 II	65	0	0	0	0	12	49		12	0	49	0
7	英語 I	26	0	0	0	0	12	13		12	0	13	0
8	英語 II	19	0	0	19	0	5	13		5	0	13	0
9	食物と健康	33	0	0	33	0	10	21		10	0	21	0
10	動物と健康	31	0	0	31	0	22	7		22	0	7	0
11	日本経済史	30	0	0	30	0	21	6		21	0	6	0
12	日本経済史 II	25	25	0	0	0	23	2		23	0	2	0
13	日本経済史 III	73	73	0	0	0	17	53		17	0	53	0
14	宗教史	26	0	0	26	0	3	18		3	0	18	0
15	宗教学	92	92	0	0	0	88	3		88	0	3	0
16	宗教学 II	98	98	0	0	0	97	1		97	0	1	0
17	歴史	10	0	0	0	10	7	3		0	7	0	3
18	社会史	10	0	0	0	10	2	6		0	2	0	6
19	基礎法 I	20	0	0	0	20	19	0		0	19	0	0
20	基礎法 II	9	0	0	0	9	8	1		0	8	0	1
21	基礎法 III	18	0	0	0	0	13	4		0	13	0	4
22	基礎法 IV	14	0	0	0	0	4	10		0	4	0	10
23	基礎法 V	13	0	0	0	0	2	9		0	2	0	9
24	基礎法 VI	13	0	0	0	0	3	9		0	3	0	9
25	基礎法 VII	13	0	0	0	13	8	3		0	8	0	3
26	基礎法 VIII	14	0	0	0	0	12	1		0	12	0	1
27	基礎法 IX	12	0	0	0	12	12	0		0	12	0	0
28	基礎法 X	5	0	0	0	5	5	0		0	5	0	0
29	基礎法 XI	10	0	0	0	10	2	8		0	2	0	8
30	基礎法 XII	7	0	0	0	7	1	6		0	1	0	6
31	基礎法 XIII	12	0	0	0	12	11	1		0	11	0	1
32	基礎法 XIV	30	0	30	0	0	28	0		0	28	0	0

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メディア別・講義形態別・講義形態×メディア別・結果一覧（その3）

		理文×メディア				講義形態		講義形態×メディア			
		理科×テレビ	理科×ラジオ	文科×テレビ	文科×ラジオ	講師	その他	1人×テレビ	1人×ラジオ	その他テレビ	その他ラジオ
総計											
Q02	あなたは、その放送教材をどの程度視聴しましたか。										
	平均値	3.14	3.03	3.19	3.16	3.05	3.20	3.20	3.21	2.99	3.23
	有効回答数	958	443	37	250	110	553	421	132	291	61
1	1～5週すべて視聴	30.8	32.7	37.8	30.4	31.8	28.9	28.3	31.1	34.7	24.6
2	1～4週分くらい	7.1	8.4	0.0	7.2	3.6	6.5	8.3	0.8	7.6	14.8
3	1～3週分くらい	13.5	12.4	13.5	13.6	15.5	14.6	13.8	17.4	12.4	9.8
4	1～2週分くらい	21.2	20.8	13.5	21.6	30.9	22.1	21.4	24.2	19.9	21.3
5	3～5週分くらい	20.9	21.0	24.3	19.2	12.7	20.8	21.1	19.7	20.3	23.0
6	2週以下	6.6	4.7	10.8	8.0	5.5	7.1	7.1	6.8	5.2	6.6
Q03	あなたは、その放送教材をどのように視聴しましたか。										
	平均値	1.82	1.81	1.76	1.83	1.88	1.82	1.82	1.88	1.80	1.92
	有効回答数	967	447	37	251	112	559	425	134	294	61
1	かなり頻りに視聴	32.1	30.9	37.8	33.1	28.6	32.7	33.6	29.9	32.3	26.2
2	ある程度視聴	55.5	57.7	54.1	53.8	57.1	54.4	54.1	55.2	57.1	57.4
3	じっくり視聴せず	10.7	11.0	2.7	10.0	12.5	11.4	11.3	11.9	8.5	14.8
4	ほとんど表面的に流す	1.8	0.4	5.4	3.2	1.8	1.4	0.9	3.0	2.0	1.6
Q04	(A) あなたの所属される機関では、「テレビ」がどの程度利用できますか。										
	平均値	1.57	1.59	1.71	1.55	1.62	1.56	1.55	1.60	1.59	1.53
	有効回答数	945	434	35	246	113	553	419	134	288	59
1	利用するが容易	54.5	53.7	40.0	56.5	49.6	54.8	56.1	50.7	53.8	57.6
2	ある程度利用できない	34.1	34.1	48.6	32.1	38.9	34.0	32.7	38.1	33.7	32.2
3	利用するが難しい	11.4	12.2	11.4	11.4	11.5	11.2	11.2	11.2	12.5	10.2
Q04	(B) あなたの所属される機関では、「ビデオ」がどの程度利用できますか。										
	平均値	1.43	1.44	1.46	1.42	1.51	1.42	1.42	1.45	1.43	1.47
	有効回答数	963	445	35	250	114	560	425	135	294	60
1	利用するが容易	61.2	60.7	54.3	64.4	52.6	61.6	63.5	56.5	62.6	56.7
2	ある程度利用できない	34.5	34.6	45.7	29.6	43.9	34.3	31.8	42.2	31.6	40.0
3	利用するが難しい	4.4	4.7	0.0	6.0	3.5	4.1	4.9	1.5	5.8	3.3
Q04	(C) あなたの所属される機関では、「ラジオ」がどの程度利用できますか。										
	平均値	1.73	1.82	1.63	1.71	1.60	1.70	1.75	1.57	1.81	1.64
	有効回答数	922	417	35	242	112	540	407	133	281	59
1	利用するが容易	47.1	41.0	51.4	47.9	53.6	48.0	45.2	56.4	43.8	50.8
2	ある程度利用できない	32.8	35.5	34.3	32.6	33.0	33.7	34.9	30.1	31.3	33.9
3	利用するが難しい	20.2	23.5	14.3	19.4	13.4	18.3	19.9	13.5	24.9	15.3
Q04	(D) あなたの所属される機関では、「オーディオ・テープ・レコーダー」がどの程度利用できますか。										
	平均値	1.61	1.72	1.62	1.60	1.59	1.63	1.59	1.53	1.64	1.39
	有効回答数	936	428	34	243	114	544	410	134	285	61
1	利用するが容易	53.8	44.9	55.9	55.1	56.1	51.8	49.3	59.7	53.7	70.5
2	ある程度利用できない	31.4	37.9	26.5	29.2	28.9	33.8	35.9	27.6	29.1	19.7
3	利用するが難しい	14.7	17.3	17.6	15.6	14.9	14.3	14.9	12.7	17.2	9.8

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メディア別・講義形態別・講義形態×メディア別・結果一覧（その4）

Q 0 5	総 計	理 文 × メ デ ィ ア				講 義 形 態		講 義 形 態 × メ デ ィ ア				
		理 科 × テ レ ビ	理 科 × ラ ジ オ	文 科 × テ レ ビ	文 科 × ラ ジ オ	講 師	そ の 他 の 形 態	1 人 × テ レ ビ	1 人 × ラ ジ オ	そ の 他 テ レ ビ	そ の 他 ラ ジ オ	
あなたの視聴された放送教材は、以下のどのような形式に近いと思われますか。												
1	有効回数	923	429	35	235	109	566	357	429	137	296	61
2	講師1人の形式	61.3	70.9	82.9	48.1	78.9	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
3	講師1人に講師が答える	11.7	4.9	17.1	28.5	9.2	0.0	30.3	0.0	0.0	30.1	31.1
4	対談形式	2.9	4.2	0.0	2.1	1.8	0.0	7.6	0.0	0.0	8.1	4.9
5	対談形式	8.6	6.1	0.0	6.4	6.4	0.0	22.1	0.0	0.0	18.2	41.0
6	対談形式	6.1	6.8	0.0	5.1	0.0	0.0	15.7	0.0	0.0	18.2	3.3
7	対談形式	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8	対談形式	9.4	7.2	0.0	9.8	3.7	0.0	24.4	0.0	0.0	25.3	19.7
◎ 講 義 形 態 × メ デ ィ ア												
11	有効回数	923	429	35	235	109	566	357	429	137	296	61
21	講師1人の形式	46.5	70.9	0.0	48.1	0.0	75.8	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
12	講師1人に講師が答える	14.8	0.0	82.9	0.0	78.9	24.2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
22	対談形式	32.1	29.1	0.0	51.9	0.0	0.0	82.9	0.0	0.0	100.0	0.0
23	対談形式	6.6	0.0	17.1	0.0	21.1	0.0	17.1	0.0	0.0	0.0	100.0
Q 0 6 A. 講師の登場している時間												
1	平均値	2.11	2.04	1.50	2.29	1.59	1.87	2.44	2.00	1.44	2.46	2.34
2	有効回数	939	442	34	248	95	538	352	419	119	294	58
3	有効回数	27.3	25.6	70.6	16.5	61.1	39.2	11.4	29.8	72.3	9.2	22.4
4	有効回数	38.0	45.0	11.8	43.1	20.0	35.9	40.3	42.5	12.6	42.5	29.3
5	有効回数	31.5	29.0	14.7	36.3	17.9	23.4	42.3	26.0	14.3	42.9	39.7
6	有効回数	2.8	0.5	2.9	3.2	1.1	1.3	5.1	1.4	0.8	4.4	8.6
7	有効回数	0.4	0.0	0.0	0.8	0.0	0.2	0.9	0.2	0.0	1.0	0.0
Q 0 6 B. 黒板、パネルなどの利用頻度												
1	平均値	2.84	2.68	3.02	2.72	2.99	2.72	2.99	2.72	2.99	2.99	2.99
2	有効回数	746	444	244	419	288	419	288	419	119	288	288
3	有効回数	32.3	36.0	30.3	35.1	30.6	35.1	30.6	35.1	12.6	30.6	29.3
4	有効回数	37.9	37.4	36.1	35.3	38.5	35.3	38.5	35.3	14.3	38.5	39.7
5	有効回数	19.0	15.3	23.4	17.2	22.2	17.2	22.2	17.2	0.8	22.2	8.6
6	有効回数	4.7	2.7	7.4	3.6	6.3	3.6	6.3	3.6	0.0	6.3	0.0
Q 0 6 C. コンピュータ・グラフィックやアニメーションの利用頻度												
1	平均値	3.88	3.70	4.11	3.87	3.91	3.87	3.91	3.87	3.91	3.91	3.91
2	有効回数	680	420	219	384	263	384	263	384	119	288	263
3	有効回数	0.7	1.2	0.0	1.0	0.4	1.0	0.4	1.0	0.0	0.4	0.4
4	有効回数	6.8	9.3	2.3	7.0	6.5	7.0	6.5	7.0	0.0	6.5	6.5
5	有効回数	27.6	31.4	23.3	27.1	27.4	27.1	27.4	27.1	0.0	27.4	27.4
6	有効回数	33.8	34.0	35.2	33.9	33.1	33.9	33.1	33.9	0.0	33.1	33.1
7	有効回数	31.0	24.0	39.3	31.0	32.7	31.0	32.7	31.0	0.0	32.7	32.7

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メディア別・講義形態別・講義形態×メディア別・結果一覧（その5）

理文×メディア				講義形態		講義形態×メディア						
		理科×テレビ		理科×ラジオ	文科×テレビ	文科×ラジオ	講師	その他の形態	1人×テレビ	1人×ラジオ	その他のテレビ	その他のラジオ
総計		D 図版（フリップ）の利用頻度										
Q06	平均値	2.93	2.82		2.98		2.86	3.00	2.86	4.15	3.00	
1	有効回数多い	734	441		244		415	280	415	4.15	280	
2	非常に多い	3.1	4.5		1.2		4.3	1.8	4.3	4.3	1.8	
3	どちらともいえない	30.5	31.5		30.7		32.3	28.6	32.3	4.3	28.6	
4	少ない	42.6	44.9		41.0		40.7	44.6	40.7	44.6	44.6	
5	非常に少ない	18.1	15.4		22.5		18.3	17.9	18.3	17.9	17.9	
		5.6	3.6		4.5		4.3	7.1	4.3	7.1	7.1	
Q06 E ビデオ、オーディオ・テープ等の取材視聴教材の利用頻度												
Q06	平均値	3.34	3.45	4.31	3.07	4.28	3.59	2.94	3.45	4.15	2.79	3.70
1	有効回数多い	914	441	29	246	82	521	346	417	104	292	54
2	非常に多い	7.0	2.5	3.4	7.3	1.2	3.5	12.4	3.1	4.8	13.7	5.6
3	どちらともいえない	16.6	15.0	0.0	23.2	4.9	13.2	22.0	15.3	4.8	24.7	7.4
4	少ない	33.0	34.7	13.8	38.2	20.7	31.7	35.8	34.8	19.2	36.3	33.3
5	非常に少ない	22.4	30.8	27.6	18.3	11.0	24.0	19.1	26.9	12.5	19.2	18.5
		20.9	17.0	55.2	13.0	62.2	27.6	10.7	19.9	58.7	6.2	35.2
Q06 F 実験等のデモンストレーションの導入頻度												
Q06	平均値	3.45	3.40		3.51		3.54	3.32	3.54		3.32	
1	有効回数多い	680	420		215		382	265	382		265	
2	非常に多い	2.8	3.3		1.4		3.1	2.6	3.1		2.6	
3	どちらともいえない	18.1	17.9		18.6		15.2	22.3	15.2		22.3	
4	少ない	30.9	30.5		32.1		28.3	34.7	28.3		34.7	
5	非常に少ない	27.8	31.7		23.3		31.7	21.1	31.7		21.1	
		20.4	16.7		24.7		21.7	19.2	21.7		19.2	
Q06 G 寸劇などの利用頻度												
Q06	平均値	4.21	4.37	4.43	4.29	4.54	4.35	3.98	4.31	4.50	3.89	4.41
1	有効回数多い	867	395	30	230	91	502	320	390	112	264	56
2	非常に多い	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	4.1	1.0	0.0	4.5	1.8
3	どちらともいえない	3.8	0.5	0.0	1.7	0.0	1.8	6.9	2.3	0.0	8.3	0.0
4	少ない	19.6	19.0	16.7	19.6	17.6	17.3	23.1	17.2	17.9	24.2	17.9
5	非常に少ない	21.0	23.5	23.3	26.5	11.0	21.5	19.1	23.6	14.3	19.7	16.1
		53.6	57.0	60.0	52.2	71.4	58.6	46.9	55.9	67.9	43.2	64.3
Q06 H 講師以外のゲストの登場時間												
Q06	平均値	3.59	3.84	4.50	3.23	4.05	4.01	3.04	3.92	4.31	3.07	2.88
1	有効回数多い	918	427	30	247	95	518	350	405	113	294	56
2	非常に多い	2.2	0.7	0.0	1.6	5.3	0.2	5.1	0.0	0.9	3.1	16.1
3	どちらともいえない	15.1	8.0	0.0	25.9	6.3	6.2	27.4	7.4	1.8	28.6	21.4
4	少ない	30.1	28.8	13.3	32.0	17.9	22.8	38.3	24.0	18.6	38.4	37.5
5	非常に少ない	27.0	31.6	23.3	28.3	18.9	34.4	16.9	37.5	23.0	18.4	8.9
		25.6	30.9	63.3	12.1	51.6	36.5	12.3	31.1	55.8	11.6	16.1

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メディア別・講義形態別・講義形態×メディア別・結果一覧（その6）

Q06	総計	印刷教材を参照する頻度 3.40 937 3.9 14.6 31.6 15.3	理文×メディア				講義形態				講義形態×メディア			
			理科×テレビ		文科×テレビ		講義形態		講義形態×メディア					
			理科×テレビ	理科×ラジオ	文科×テレビ	文科×ラジオ	講義形態	講義形態×メディア						
1	1	有効回数多い	3.45	3.45	3.68	2.96	3.28	3.53	3.37	2.96	3.73	2.53		
2	2	有効回数多い	4.36	3.3	242	105	536	349	411	125	290	59		
3	3	有効回数多い	2.3	3.0	0.8	8.6	4.5	3.7	2.9	9.6	0.7	18.6		
4	4	有効回数多い	14.2	18.2	7.4	26.7	17.4	12.3	14.8	25.6	8.6	30.5		
5	5	有効回数多い	34.4	27.3	36.0	32.4	36.4	31.2	37.2	33.6	31.0	32.2		
6	6	有効回数多い	33.9	33.3	34.3	24.8	29.5	32.7	31.9	21.6	35.9	16.9		
7	7	有効回数多い	15.1	18.2	21.5	7.6	12.3	20.1	13.1	9.6	23.8	1.7		
8	8	有効回数多い	4.12	4.35	4.25	4.36	4.12	4.07	4.07	4.26	4.16	3.56		
9	9	有効回数多い	4.22	3.1	238	90	517	335	403	114	281	54		
10	10	有効回数多い	4.3	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0		
11	11	有効回数多い	4.3	0.0	0.8	1.1	4.1	4.8	4.7	1.8	3.6	11.1		
12	12	有効回数多い	21.6	19.4	22.3	21.1	24.2	23.9	24.1	24.6	19.9	44.4		
13	13	有効回数多い	31.5	25.8	28.2	18.9	27.1	31.3	29.3	19.3	33.1	22.2		
14	14	有効回数多い	42.4	54.8	48.7	58.9	44.5	40.0	41.7	54.4	43.4	22.2		
15	15	有効回数多い	2.66	2.77	2.75	2.68	2.62	2.75	2.62	2.65	2.76	2.68		
16	16	有効回数多い	445	35	248	103	544	354	419	125	295	59		
17	17	有効回数多い	4.0	5.7	1.6	4.9	4.8	1.4	4.5	5.6	1.4	1.7		
18	18	有効回数多い	30.3	17.1	28.6	28.2	32.2	27.4	33.2	28.8	26.8	30.5		
19	19	有効回数多い	61.3	74.3	63.7	62.1	59.4	66.4	58.5	62.4	66.4	66.1		
20	20	有効回数多い	4.3	0.0	5.6	3.9	3.3	4.5	3.8	1.6	5.1	1.7		
21	21	有効回数多い	0.0	2.9	0.4	1.0	0.4	0.3	0.0	1.6	0.3	0.0		
22	22	有効回数多い	2.58	2.16	2.58	2.49	2.51	2.65	2.57	2.34	2.64	2.69		
23	23	有効回数多い	441	32	248	105	542	352	417	125	294	58		
24	24	有効回数多い	5.9	21.9	3.6	12.4	7.7	5.1	5.5	15.2	4.1	10.3		
25	25	有効回数多い	40.4	46.9	43.1	41.0	42.6	38.4	41.7	45.6	39.5	32.8		
26	26	有効回数多い	44.9	28.1	45.2	33.3	41.5	43.8	44.6	31.2	45.6	34.5		
27	27	有効回数多い	7.5	0.0	7.7	12.4	6.8	11.9	7.0	6.4	9.9	22.4		
28	28	有効回数多い	1.4	3.1	0.4	1.0	1.3	0.9	1.2	1.6	1.0	0.0		
29	29	有効回数多い	3.68	3.63	3.53	3.69	3.65	3.55	3.67	3.60	3.55	3.58		
30	30	有効回数多い	442	35	253	107	551	354	422	129	295	59		
31	31	有効回数多い	0.9	0.0	0.4	0.0	0.7	0.8	0.9	0.0	0.7	1.7		
32	32	有効回数多い	5.0	14.3	9.1	8.4	6.9	8.8	5.0	13.2	9.2	6.8		
33	33	有効回数多い	31.7	22.9	36.8	26.2	31.6	34.2	33.4	25.6	34.2	33.9		
34	34	有効回数多い	50.2	48.6	44.3	53.3	47.9	46.9	47.6	48.8	46.8	47.5		
35	35	有効回数多い	12.2	14.3	9.5	12.1	12.9	9.3	13.0	12.4	9.2	10.2		

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メディア別・講義形態別・講義形態×メディア別・結果一覧（その8）

			理文×メディア				講義形態				講義形態×メディア							
			理科×テレビ		理科×ラジオ		文科×テレビ		文科×ラジオ		講師		その他の形態		その他のテレビ		その他のラジオ	
総計			理科×テレビ		理科×ラジオ		文科×テレビ		文科×ラジオ		講 師		その 他		1人×テレビ		1人×ラジオ	
S			3.45		3.20		3.53		3.18		3.53		3.18		3.53		3.18	
平均値			3.37		3.20		3.53		3.18		3.53		3.18		3.53		3.18	
有効回数が多い			667		235		370		262		370		262		370		262	
有効回数が多い			3.6		3.8		1.9		4.6		1.9		4.6		1.9		4.6	
有効回数が多い			17.4		23.8		16.5		19.5		16.5		19.5		16.5		19.5	
有効回数が多い			35.1		33.6		31.9		40.5		31.9		40.5		31.9		40.5	
有効回数が多い			25.8		26.4		25.9		24.4		25.9		24.4		25.9		24.4	
有効回数が多い			18.1		12.3		23.8		11.1		23.8		11.1		23.8		11.1	
S			287		152		402		196		287		144		287		144	
有効回数が多い			10.5		13.8		9.5		10.2		10.5		11.8		10.5		11.8	
有効回数が多い			855		240		483		328		483		276		483		276	
有効回数が多い			7.4		10.0		8.1		6.4		10.3		7.6		10.3		7.6	
有効回数が多い			17.2		17.1		16.6		18.3		21.5		21.4		21.5		21.4	
有効回数が多い			13.5		20.4		15.7		10.7		20.1		11.6		20.1		11.6	
有効回数が多い			13.9		18.8		13.7		14.6		17.7		17.0		17.7		17.0	
有効回数が多い			17.9		18.8		16.6		20.1		21.2		23.9		21.2		23.9	
有効回数が多い			4.3		4.6		3.7		5.5		3.8		3.6		3.8		3.6	
有効回数が多い			15.8		17.9		16.6		14.6		14.7		15.4		14.7		15.4	
有効回数が多い			15.2		12.5		14.7		15.5		13.0		14.5		13.0		14.5	
有効回数が多い			18.0		9.2		15.7		22.3		17.1		21.4		17.1		21.4	
有効回数が多い			14.5		14.2		14.9		14.3		14.1		13.4		14.1		13.4	
有効回数が多い			18.0		17.5		15.9		20.4		16.3		30.8		16.3		30.8	
有効回数が多い			28.0		27.9		29.4		26.2		28.0		27.2		28.0		27.2	
有効回数が多い			21.6		19.6		23.0		20.1		21.5		30.8		21.5		30.8	
有効回数が多い			9.0		7.5		7.7		10.7		7.9		9.6		7.9		9.6	
有効回数が多い			31.3		29.6		28.2		35.7		23.1		40.4		23.1		40.4	
有効回数が多い			16.4		21.7		17.0		14.3		20.9		16.7		20.9		16.7	
有効回数が多い			5.0		8.8		6.0		4.0		6.3		3.8		6.3		3.8	
有効回数が多い			12.9		18.3		12.6		13.1		16.6		0.0		16.6		0.0	
有効回数が多い			22.9		18.8		21.5		24.4		20.1		23.9		20.1		23.9	
A. 講師は、派手な印象が			3.51		3.58		3.53		3.46		3.51		3.42		3.51		3.42	
有効回数が多い			963		113		559		351		424		291		424		291	
有効回数が多い			0.1		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
有効回数が多い			2.6		1.8		2.3		3.4		2.1		4.1		2.1		4.1	
有効回数が多い			52.8		48.7		53.1		55.0		55.0		55.7		55.0		55.7	
有効回数が多い			34.9		38.9		33.8		33.9		32.8		34.0		32.8		34.0	
有効回数が多い			9.7		10.6		10.7		7.7		10.1		6.2		10.1		6.2	
B. 講師は、清潔な印象が			2.27		2.26		2.26		2.26		2.27		2.24		2.27		2.24	
有効回数が多い			970		113		562		355		426		295		426		295	
有効回数が多い			9.3		16.8		10.0		8.7		8.1		8.1		8.1		8.1	
有効回数が多い			55.8		40.7		54.4		58.3		57.3		61.7		57.3		61.7	
有効回数が多い			33.9		42.5		35.4		31.0		34.5		27.8		34.5		27.8	
有効回数が多い			0.8		0.0		0.0		2.0		0.0		2.4		0.0		2.4	
有効回数が多い			0.2		0.0		0.2		0.0		0.2		0.0		0.2		0.0	

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メディア別・講義形態別・講義形態×メディア別・結果一覧（その9）

理文×メディア															講義形態					講義形態×メディア																																																																					
理科×テレビ															文科×テレビ															文科×ラジオ															講義形態															講義形態×メディア																													
総計															理科×テレビ															文科×テレビ															文科×ラジオ															講義形態															講義形態×メディア														
C 講師は、活動的な印象が															D 講師は、親しみやすいという印象が															E 講師は、暖かいという印象が															F 講師は、厳しいという印象が															G 講師は、緊張しているという印象が																													
Q08	平均値	2.86	2.69	3.03	3.02	2.95	2.84	2.85	2.84	2.82	2.95	2.83	2.90		Q08	平均値	2.55	2.51	2.45	2.44	2.47	2.67	2.46	2.45	2.55		Q08	平均値	2.51	2.44	2.41	2.44	2.56	2.44	2.60	2.42	2.41	2.60		Q08	平均値	3.15	3.02	3.39	3.29	3.19	3.27	3.00	3.21	3.28	3.23		Q08	平均値	3.18	3.13	3.44	3.22	3.29	3.20	3.12	3.26	3.17	3.32																									
1	有効回答数	967	446	36	251	112	353	561	353	426	135	293	60		1	有効回答数	969	447	114	250	563	353	426	137	293	60		1	有効回答数	968	446	36	250	562	353	425	137	293	60		1	有効回答数	965	446	36	248	562	350	426	136	290	60		1	有効回答数	965	446	36	250	560	352	424	136	293	59																								
2	非常に強い	3.4	5.6	0.0	1.6	0.0	3.7	3.6	3.7	4.7	0.0	3.8	3.3		2	非常に強い	7.3	6.9	7.9	8.8	5.9	5.6	6.6	10.2	6.7		2	非常に強い	7.4	6.1	8.3	10.0	6.2	8.8	5.4	8.8	9.2	6.7		2	非常に強い	1.2	2.0	0.0	1.2	1.4	0.9	1.9	0.0	1.0	0.0		2	非常に強い	1.2	1.3	0.0	1.2	1.3	1.4	0.7	1.7	0.0	0.0																									
3	強い	26.6	34.1	25.0	18.7	22.3	27.2	26.7	27.2	27.7	23.7	27.6	25.0		3	強い	44.5	43.6	48.2	44.8	42.5	40.1	49.6	46.4	46.7		3	強い	44.0	43.9	50.0	44.8	41.3	47.6	40.2	44.5	48.5	43.3		3	強い	11.4	16.1	5.6	5.6	14.9	7.1	17.4	7.4	5.9	13.3		3	強い	16.3	17.7	5.6	14.8	16.3	17.0	18.2	10.3	17.1	16.9																									
4	どちらともいえない	53.2	47.5	47.2	57.8	62.5	52.4	52.8	52.4	50.5	60.0	52.2	53.3		4	どちらともいえない	35.0	34.5	36.8	34.8	36.8	36.9	36.5	32.4	33.3		4	どちらともいえない	39.7	40.6	30.6	37.6	43.4	35.1	43.8	42.3	34.8	36.7		4	どちらともいえない	61.7	60.8	66.4	60.1	63.2	60.0	61.5	68.4	60.7	56.7		4	どちらともいえない	51.7	52.0	55.6	50.8	53.6	48.0	52.1	58.1	48.5	45.8																									
5	弱い	14.8	11.7	27.8	19.5	13.4	15.0	15.0	15.0	15.3	14.1	15.0	15.0		5	弱い	11.9	14.1	5.3	9.6	13.5	9.9	16.0	5.8	9.6	11.7		5	弱い	8.1	9.0	11.1	6.4	8.4	7.4	9.6	4.4	6.8	10.0		5	弱い	22.3	19.5	33.3	29.4	17.8	28.3	16.9	20.6	29.3	23.3		5	弱い	25.3	24.7	27.8	27.2	23.9	27.3	24.1	23.5	27.6	25.4																								
	非常に弱い	2.1	1.1	0.0	2.4	1.8	1.7	2.0	1.7	1.9	2.2	1.4	3.3			非常に弱い	1.3	0.9	1.8	2.0	1.4	1.4	1.5	1.4	1.7			非常に弱い	0.8	0.4	0.0	1.2	0.7	1.1	0.9	0.0	0.7	3.3			非常に弱い	3.4	1.6	5.6	3.6	2.7	3.7	2.3	3.7	3.1	6.7			非常に弱い	5.5	4.3	11.1	6.0	5.0	7.4	4.2	7.4	5.1	11.9																									

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メディア別・講義形態別・講義形態×メディア別・結果一覧 (その10)

		理文×メディア				講義形態				講義形態×メディア							
		理科×テレビ		理科×ラジオ		文科×テレビ		文科×ラジオ		1人×テレビ		1人×ラジオ		その他テレビ		その他ラジオ	
総計										講		師		その		形態	
										1		人					
Q08	H 講師の講義の進め方は、話すスピードが速いという印象が	3.22	3.14	3.39	3.28	3.30	3.17	3.28	3.13	3.31	3.28	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30
	平均値	968	446	36	250	114	563	352	427	136	291	61	61	61	61	61	61
	有効回数	0.8	0.9	0.0	0.8	0.9	1.2	0.3	1.4	0.7	0.0	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
	1 非常に強い	8.8	10.8	11.1	5.6	10.5	11.4	5.1	11.5	11.0	4.8	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6
	2 強い	60.0	63.2	47.2	60.0	54.4	59.1	62.2	61.1	52.9	63.6	55.7	55.7	55.7	55.7	55.7	55.7
	3 どちらともいえない	27.9	24.0	33.3	32.0	26.3	25.2	30.7	24.6	27.2	30.2	32.8	32.8	32.8	32.8	32.8	32.8
Q08	I 講師の講義の進め方は、話し方が明瞭であるという印象が	2.5	1.1	8.3	1.6	7.9	3.0	1.7	1.4	8.1	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
	平均値	969	445	36	252	115	563	354	426	137	294	60	60	60	60	60	60
	有効回数	7.4	6.7	19.4	4.8	12.2	6.9	7.6	5.4	11.7	6.5	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3
	1 非常に強い	51.0	52.4	22.8	46.0	49.6	51.7	49.2	50.7	54.7	50.7	41.7	41.7	41.7	41.7	41.7	41.7
	2 強い	34.5	34.4	22.2	39.3	33.9	35.5	33.1	37.6	29.2	32.3	36.7	36.7	36.7	36.7	36.7	36.7
	3 どちらともいえない	7.0	6.3	5.6	9.9	4.3	5.7	10.2	6.1	4.4	10.5	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3
Q08	J 講師の講義の進め方は、言葉遣いが堅いという印象が	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平均値	971	447	36	251	115	564	354	427	137	293	61	61	61	61	61	61
	有効回数	1.4	0.9	0.0	2.0	1.7	1.2	1.7	1.2	1.5	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
	1 非常に強い	21.7	23.0	11.1	20.7	20.9	22.7	21.2	24.6	16.8	20.5	24.6	24.6	24.6	24.6	24.6	24.6
	2 強い	52.3	53.2	47.2	48.6	52.2	54.8	49.7	50.0	51.1	47.4	60.7	60.7	60.7	60.7	60.7	60.7
	3 どちらともいえない	21.8	21.5	36.1	25.1	20.9	18.6	24.9	15.9	27.0	28.3	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
Q08	K 講師の講義の進め方は、間の取り方がよいという印象が	2.7	1.3	5.6	3.6	4.3	2.7	2.5	2.3	3.6	2.0	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9
	平均値	972	446	36	253	115	564	356	427	137	295	61	61	61	61	61	61
	有効回数	3.9	2.9	11.1	3.2	7.8	3.7	3.7	2.6	7.3	3.7	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
	1 非常に強い	30.3	28.0	36.1	29.2	34.8	27.5	34.0	25.1	35.0	33.2	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7
	2 強い	51.4	57.0	36.1	53.4	37.4	54.4	47.8	59.0	40.1	49.5	39.3	39.3	39.3	39.3	39.3	39.3
	3 どちらともいえない	13.8	11.9	16.7	13.4	20.0	14.2	13.5	13.1	17.5	12.5	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0
Q08	L 講師の講義の進め方は、表現力が豊かなという印象が	0.5	0.2	0.0	0.8	0.0	0.2	1.1	0.2	0.0	1.0	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
	平均値	971	445	36	252	115	562	356	425	137	295	61	61	61	61	61	61
	有効回数	3.9	3.6	8.3	4.0	6.1	2.8	5.6	1.9	5.8	5.8	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9
	1 非常に強い	28.1	28.8	33.3	27.0	33.0	28.6	27.0	26.1	36.5	28.5	19.7	19.7	19.7	19.7	19.7	19.7
	2 強い	51.1	51.9	50.0	49.6	46.1	50.9	50.6	47.4	49.8	49.8	54.1	54.1	54.1	54.1	54.1	54.1
	3 どちらともいえない	15.3	14.8	5.6	17.5	13.9	16.4	15.2	18.6	9.5	14.9	16.4	16.4	16.4	16.4	16.4	16.4
Q08	講師の講義の進め方は、表現力が豊かなという印象が	1.5	0.9	2.8	2.0	0.9	1.2	1.7	1.4	0.7	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	平均値	972	446	36	253	115	564	356	427	137	295	61	61	61	61	61	61
	有効回数	3.9	2.9	11.1	3.2	7.8	3.7	3.7	2.6	7.3	3.7	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
	1 非常に強い	30.3	28.0	36.1	29.2	34.8	27.5	34.0	25.1	35.0	33.2	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7
	2 強い	51.4	57.0	36.1	53.4	37.4	54.4	47.8	59.0	40.1	49.5	39.3	39.3	39.3	39.3	39.3	39.3
	3 どちらともいえない	13.8	11.9	16.7	13.4	20.0	14.2	13.5	13.1	17.5	12.5	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メメディア別・講義形態別・講義形態×メメディア別・結果一覧（その11）

Q08	M	講師の講義の進め方は、 平均値 有効回数 非常に強い 2 強い 3 どちらともいえない 4 弱い 5 非常に弱い	理文×メメディア				講義形態				講義形態×メメディア			
			総計	理科× テレビ	理科× ラジオ	文科× テレビ	文科× ラジオ	講 1	師 人	その他 の形態	1人× テレビ	1人× ラジオ	その他 テレビ	その他 ラジオ
Q08	M	講師の講義の進め方は、 平均値 有効回数 非常に強い 2 強い 3 どちらともいえない 4 弱い 5 非常に弱い	3.40 971 0.9 8.9 46.7 36.8 6.8	3.36 445 0.9 11.0 45.6 36.2 6.3	3.36 36 0.0 8.3 52.8 33.3 5.6	3.40 252 1.6 7.1 48.8 34.5 7.9	3.40 115 0.9 10.4 40.0 45.2 3.5	3.47 564 0.4 6.9 44.9 41.1 6.7	3.28 354 2.0 12.4 47.7 31.6 6.2	3.39 137 0.0 10.2 44.5 41.6 3.6	3.50 427 0.5 5.9 45.0 41.0 7.7	3.22 293 2.0 14.7 48.1 30.0 5.1	3.57 61 1.6 1.6 45.9 39.3 11.5	
Q08	N	講師の講義の進め方は、 平均値 有効回数 非常に強い 2 強い 3 どちらともいえない 4 弱い 5 非常に弱い	2.55 972 5.5 45.4 38.8 9.7 0.7	2.51 446 6.3 45.5 39.5 8.7 0.0	2.28 36 8.3 55.6 36.1 0.0 0.0	2.60 253 5.1 43.5 38.3 12.3 0.8	2.48 114 6.1 50.9 32.5 9.6 0.9	2.50 563 5.0 48.3 38.4 8.0 0.4	2.63 356 5.3 41.0 40.4 12.1 1.1	2.42 136 4.4 53.7 38.2 2.9 0.7	2.53 427 5.2 46.6 38.4 9.6 0.2	2.58 295 6.1 41.0 42.4 10.2 0.3	2.87 61 1.6 41.0 31.1 21.3 4.9	
Q08	O	講師の講義の進め方は、 平均値 有効回数 非常に強い 2 強い 3 どちらともいえない 4 弱い 5 非常に弱い	2.44 972 6.8 51.9 32.5 8.3 0.5	2.49 445 6.5 48.3 36.0 8.5 0.7	2.08 36 16.7 63.9 13.9 5.6 0.0	2.43 253 6.3 52.6 23.8 7.9 0.4	2.30 115 10.4 57.4 23.5 8.7 0.0	2.49 564 5.0 50.0 36.7 7.8 0.5	2.39 356 8.7 53.9 27.5 9.3 0.6	2.28 137 8.8 61.3 23.4 6.6 0.0	2.56 427 3.7 46.4 41.0 8.2 0.7	2.36 295 9.2 54.9 27.5 8.1 0.3	2.56 61 6.6 49.2 27.9 14.8 1.6	
Q08	P	講師の講義の進め方は、 平均値 有効回数 非常に強い 2 強い 3 どちらともいえない 4 弱い 5 非常に弱い	2.90 972 4.1 21.2 56.3 17.3 1.1	2.91 445 3.8 20.2 57.8 17.5 0.7	2.56 36 16.7 19.4 55.6 8.3 0.0	2.91 253 3.2 24.1 53.4 17.8 1.6	2.81 115 26.1 49.6 17.4 0.9 0.9	2.93 564 3.2 20.2 57.1 19.0 0.5	2.87 356 5.1 22.8 54.2 16.3 1.7	2.77 137 5.8 26.3 53.3 14.6 0.0	2.99 427 2.3 18.3 58.3 20.4 0.7	2.84 295 4.7 24.1 54.6 15.3 1.4	2.98 61 6.6 16.4 52.5 21.3 3.3	
Q08	Q	講師の講義の進め方は、 平均値 有効回数 非常に強い 2 強い 3 どちらともいえない 4 弱い 5 非常に弱い	3.45 970 0.5 6.7 47.7 37.5 7.5	3.45 446 0.4 4.7 50.4 37.9 6.5	3.33 36 0.0 16.7 47.2 22.2 13.9	3.46 250 0.8 6.4 45.2 41.6 6.0	3.36 115 0.9 11.3 47.0 33.0 7.8	3.41 564 0.5 7.1 50.9 33.7 7.8	3.49 353 0.3 6.5 44.2 41.9 7.1	3.36 137 0.7 12.4 42.7 29.9 10.2	3.43 427 0.5 5.4 52.2 34.9 7.0	3.49 292 0.3 6.2 42.8 45.2 5.5	3.48 61 0.0 50.8 26.2 14.8	

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メデァ別・講義形態別・講義形態×メデァ別・結果一覧 (その12)

	総計	理文×メメディア				講義形態				講義形態×メメディア										
		理科×テレビ		理科×ラジオ		文科×テレビ		文科×ラジオ		講師の形態		1人×テレビ		1人×ラジオ		その他のテレビ		その他のラジオ		
		均値	有効回答数	均値	有効回答数	均値	有効回答数	均値	有効回答数	均値	有効回答数	均値	有効回答数	均値	有効回答数	均値	有効回答数	均値	有効回答数	
Q08 R. 講師の講義の進め方は、すっきりとした話し方という印象が		2.54	972	2.53	446	2.53	36	2.58	115	2.51	564	2.52	427	2.53	137	2.55	294	2.61	61	
1 非常に強い		6.7	6.3	8.3	6.3	8.7	6.2	6.5	6.2	6.5	6.2	6.6	6.1	6.6	6.1	6.6	5.1	5.1	13.1	13.1
2 強い		43.7	45.3	41.7	39.3	42.6	44.9	42.5	44.9	42.5	44.5	46.0	45.6	44.5	46.0	45.6	45.6	27.9	27.9	
3 どちらともいえない		39.4	38.1	41.7	45.2	37.4	39.9	39.4	39.9	39.4	40.7	37.2	38.4	40.7	37.2	38.4	38.4	44.3	44.3	
4 弱い		9.7	9.6	5.6	8.7	11.3	8.3	11.3	8.3	11.3	8.0	9.5	10.5	8.0	9.5	10.5	10.5	14.8	14.8	
5 非常に弱い		0.5	0.7	2.8	0.4	0.0	0.7	0.3	0.7	0.3	0.7	0.7	0.3	0.7	0.7	0.3	0.3	0.0	0.0	
Q08 S. 講師の講義の進め方は、素材の提示の仕方が適切という印象が		2.55	971	2.49	445	2.69	35	2.53	115	2.72	563	2.58	427	2.54	136	2.69	295	2.84	61	
1 非常に強い		6.3	7.4	5.7	5.9	5.2	6.4	5.9	6.4	5.9	6.4	5.9	6.4	6.8	5.1	6.4	6.4	3.3	3.3	
2 強い		42.9	45.8	31.4	45.8	31.3	39.8	48.0	42.4	48.0	42.4	31.6	52.2	42.4	31.6	52.2	52.2	27.9	27.9	
3 どちらともいえない		40.9	38.0	51.4	37.9	49.6	44.0	36.2	41.5	36.2	41.5	52.2	33.2	41.5	52.2	33.2	33.2	50.8	50.8	
4 弱い		9.3	7.9	11.4	9.9	13.9	9.2	9.3	8.7	9.3	8.7	11.0	7.5	8.7	11.0	7.5	7.5	18.0	18.0	
5 非常に弱い		0.6	0.9	0.0	0.4	0.0	0.5	0.6	0.7	0.6	0.7	0.0	0.7	0.7	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0	
Q09. 以上のA～Sの中で、視聴された放送教材を改善するために重要と思われる点を選んで下さい (複数回答可)。		595	264	33	144	96	393	177	276	117	126	51	3.9	1.6	0.9	1.6	0.9	1.6	0.9	
A. 有効回答数		1.5	1.1	6.1	2.1	1.0	1.3	2.3	1.4	2.3	1.4	0.9	1.6	0.9	1.6	0.9	1.6	0.9	1.6	
B. 有効回答割合 (%)		813	348	33	231	96	473	299	356	117	248	51	3.9	1.6	0.9	1.6	0.9	1.6	0.9	
C. 講師の活動性		12.7	8.3	6.1	19.0	8.3	10.4	16.7	11.2	16.7	11.2	7.7	17.7	11.2	7.7	17.7	11.2	7.7	11.8	
D. 講師の話しやすさ		23.2	25.0	9.1	21.2	19.8	24.5	22.7	25.8	20.5	23.0	21.6	7.8	9.7	6.8	9.7	6.8	9.7	7.8	
E. 講師の暖かみ		8.2	8.0	3.0	6.9	7.3	7.6	9.4	7.9	6.8	9.7	7.8	9.7	7.9	6.8	9.7	7.9	6.8	9.7	
F. 講師の厳しさ		2.3	2.6	0.0	1.7	3.1	2.3	2.0	2.2	2.6	2.4	0.0	2.4	2.2	2.6	2.4	2.4	0.0	0.0	
G. 講師の緊張度		9.6	11.5	0.0	8.2	9.4	9.1	11.0	9.8	6.8	11.7	7.8	11.7	9.8	6.8	11.7	9.8	6.8	11.7	
H. 話し方		16.5	17.0	27.3	11.7	20.8	18.8	11.7	16.6	25.6	11.3	13.7	13.7	16.6	25.6	11.3	13.7	13.7	13.7	
I. 言葉遣い		15.0	14.9	3.0	18.2	10.4	15.4	15.1	17.1	10.3	15.3	13.7	13.7	17.1	10.3	15.3	13.7	13.7	13.7	
J. 聞き取りやすさ		11.3	11.8	6.1	9.1	13.5	11.2	11.7	10.1	14.5	12.9	5.9	5.9	10.1	14.5	12.9	5.9	5.9	5.9	
K. 表現力		17.7	17.8	12.1	16.5	17.7	20.9	13.0	19.9	23.9	13.3	11.8	11.8	19.9	23.9	13.3	11.8	11.8	11.8	
L. 現モテ		19.3	17.8	12.1	22.9	14.6	19.7	17.7	20.5	17.1	19.4	9.8	9.8	20.5	17.1	19.4	9.8	9.8	9.8	
M. ユーモア		38.4	39.4	30.3	40.7	32.3	39.7	36.5	41.9	33.3	37.9	29.4	29.4	41.9	33.3	37.9	29.4	29.4	29.4	
N. 説得力		17.0	14.7	9.1	22.5	15.6	14.8	18.7	15.7	12.0	18.5	19.6	19.6	15.7	12.0	18.5	19.6	19.6	19.6	
O. わかりやすさ		21.2	20.7	12.1	22.9	18.8	23.0	18.1	23.6	21.4	17.7	19.6	19.6	23.6	21.4	17.7	19.6	19.6	19.6	
P. 巧みさ		17.0	16.7	12.1	16.5	19.8	16.9	16.7	15.2	22.2	18.1	9.8	9.8	15.2	22.2	18.1	9.8	9.8	9.8	
Q. 巧みさ		5.9	6.3	9.1	3.9	7.3	5.9	6.0	4.8	9.4	6.5	3.9	3.9	4.8	9.4	6.5	3.9	3.9	3.9	
R. 巧みさ		8.7	9.2	15.2	8.7	6.3	7.0	11.7	5.9	10.3	12.1	9.8	9.8	5.9	10.3	12.1	9.8	9.8	9.8	
S. 提示の適切性		21.8	25.9	12.1	19.0	20.8	20.7	22.7	22.7	16.2	22.6	23.5	23.5	22.7	16.2	22.6	23.5	23.5	23.5	
X. その他		14.5	12.4	18.2	15.2	14.6	12.3	16.7	12.1	12.8	16.1	19.6	19.6	12.1	12.8	16.1	19.6	19.6	19.6	
Q10. 扱っている内容の範囲は適切である		2.15	963	2.16	444	1.92	36	2.20	111	1.96	2.14	2.16	2.21	2.21	1.94	2.13	2.28	2.28	2.28	
1 非常に強い		20.8	20.0	30.6	20.1	27.9	21.3	19.4	19.5	27.1	19.7	18.3	18.3	19.5	27.1	19.7	18.3	18.3	18.3	
2 やや強すぎる		53.1	53.8	50.0	51.8	55.0	52.6	54.4	51.0	57.9	57.3	40.0	40.0	51.0	57.9	57.3	40.0	40.0	40.0	
3 どちらともいえない		17.2	17.3	16.7	17.3	11.7	17.4	17.7	19.5	10.5	13.9	36.7	36.7	19.5	10.5	13.9	36.7	36.7	36.7	
4 やや弱い		8.1	8.1	2.8	10.0	3.6	7.6	7.9	9.0	3.0	8.5	5.0	5.0	9.0	3.0	8.5	5.0	5.0	5.0	
5 非常に弱い		0.8	0.7	0.0	0.8	1.8	1.1	0.6	1.0	1.8	0.7	0.0	0.0	1.0	1.5	0.7	0.0	0.0	0.0	

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メディア別・講義形態別・講義形態×メディア別・結果一覧 (その13)

	総計	理文×メディア					講義形態					講義形態×メディア				
		理科×テレビ	理科×ラジオ	文科×テレビ	文科×ラジオ	講義形態別	講義形態別	講義形態別	講義形態別	講義形態別	講義形態別	講義形態別	講義形態別	講義形態別	講義形態別	講義形態別
Q10 平	2.70	2.56	2.57	2.84	2.59	2.49	2.97	2.46	2.58	3.02	2.73	2.46	2.58	3.02	2.73	2.73
1 有効回数	965	446	35	250	111	555	355	423	132	295	60	423	132	295	60	60
2 有効回数	9.1	13.7	8.6	4.8	8.1	13.7	3.1	15.4	8.3	3.1	3.3	15.4	8.3	3.1	3.3	3.3
3 どやちや	34.6	37.2	42.9	30.8	40.5	40.7	28.2	40.0	43.2	26.8	35.0	40.0	43.2	26.8	35.0	35.0
4 どやちや	36.1	31.2	31.4	42.0	36.0	30.5	42.3	30.0	31.8	40.3	51.7	30.0	31.8	40.3	51.7	51.7
5 非常に	17.1	15.5	17.1	20.8	15.3	13.5	21.4	12.8	15.9	24.7	5.0	12.8	15.9	24.7	5.0	5.0
6 非常に	3.1	2.5	0.0	1.6	0.0	1.6	5.1	1.9	0.8	5.1	5.0	1.9	0.8	5.1	5.0	5.0
Q10 平	2.40	2.41	2.26	2.41	2.27	2.38	2.42	2.41	2.30	2.42	2.38	2.41	2.30	2.42	2.38	2.38
1 有効回数	946	436	34	244	110	540	351	410	130	291	60	410	130	291	60	60
2 有効回数	13.3	14.4	14.7	9.0	14.5	13.1	13.7	12.9	13.8	13.1	16.7	12.9	13.8	13.1	16.7	16.7
3 どやちや	42.2	40.4	47.1	49.2	45.5	42.6	41.6	41.7	45.4	43.3	33.3	41.7	45.4	43.3	33.3	33.3
4 どやちや	37.0	36.5	35.3	35.2	38.2	37.8	35.6	37.8	37.7	33.7	45.0	37.8	37.7	33.7	45.0	45.0
5 非常に	6.6	7.6	2.9	5.3	1.8	5.7	7.7	6.6	3.1	8.2	5.0	6.6	3.1	8.2	5.0	5.0
6 非常に	1.0	1.1	0.0	1.2	0.0	0.7	1.4	1.0	0.0	1.7	0.0	1.0	0.0	1.7	0.0	0.0
Q10 平	2.45	2.46	2.17	2.47	2.62	2.52	2.36	2.53	2.48	2.28	2.72	2.53	2.48	2.28	2.72	2.72
1 有効回数	963	446	35	248	111	553	355	421	132	295	60	421	132	295	60	60
2 有効回数	14.8	14.1	28.6	12.9	11.7	14.6	14.6	14.7	14.4	15.3	11.7	14.7	14.4	15.3	11.7	11.7
3 どやちや	41.3	41.3	34.3	42.7	36.0	35.4	49.6	35.2	36.4	52.2	36.7	35.2	36.4	52.2	36.7	36.7
4 どやちや	29.8	30.9	28.6	30.2	32.4	34.5	23.1	34.0	36.4	22.4	26.7	34.0	36.4	22.4	26.7	26.7
5 非常に	12.4	12.3	8.6	12.9	18.0	13.9	10.7	14.5	12.1	9.2	18.3	14.5	12.1	9.2	18.3	18.3
6 非常に	1.7	1.3	0.0	1.2	1.8	1.4	2.0	1.7	0.8	1.0	6.7	1.7	0.8	1.0	6.7	6.7
Q10 平	2.04	1.96	2.09	2.10	2.23	2.03	2.05	1.99	2.17	2.00	2.28	1.99	2.17	2.00	2.28	2.28
1 有効回数	963	446	35	247	112	553	355	420	133	295	60	420	133	295	60	60
2 有効回数	23.1	25.3	25.7	20.2	17.9	23.0	23.1	24.5	18.0	24.4	16.7	24.5	18.0	24.4	16.7	16.7
3 どやちや	54.2	56.5	45.7	53.8	47.3	54.6	54.1	55.5	51.9	55.6	46.7	55.5	51.9	55.6	46.7	46.7
4 どやちや	18.7	14.8	22.9	22.3	29.5	18.6	18.6	16.7	24.8	16.3	30.0	16.7	24.8	16.3	30.0	30.0
5 非常に	3.6	3.1	5.7	2.8	4.5	3.6	3.4	3.1	5.3	3.1	5.0	3.1	5.3	3.1	5.0	5.0
6 非常に	0.4	0.2	0.0	0.8	0.9	0.2	0.8	0.2	0.0	0.7	1.7	0.2	0.0	0.7	1.7	1.7
Q10 平	2.44	2.56	2.06	2.27	2.25	2.55	2.31	2.60	2.39	2.25	2.62	2.60	2.39	2.25	2.62	2.62
1 有効回数	960	445	35	246	111	551	354	419	132	294	60	419	132	294	60	60
2 有効回数	11.9	11.2	20.0	12.2	16.2	10.0	13.6	9.3	12.1	14.6	8.3	9.3	12.1	14.6	8.3	8.3
3 どやちや	47.3	41.3	60.0	55.7	52.3	43.9	52.3	42.2	49.2	54.1	43.3	42.2	49.2	54.1	43.3	43.3
4 どやちや	27.4	30.3	14.3	25.2	21.6	23.4	23.3	30.5	25.8	23.8	26.7	30.5	25.8	23.8	26.7	26.7
5 非常に	12.0	14.8	5.7	6.5	9.9	14.7	9.3	15.3	12.9	6.8	21.7	15.3	12.9	6.8	21.7	21.7
6 非常に	1.5	2.2	0.0	0.4	0.0	2.0	0.6	2.6	0.0	0.7	0.0	2.6	0.0	0.7	0.0	0.0

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メディア別・講義形態別・講義形態×メディア別・結果一覧（その14）

講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											
講義形態											
講義形態×メディア											

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メディア別・講義形態別・講義形態×メディア別・結果一覧 (その15)

		理文×メディア				講義形態				講義形態×メディア			
		理科×テレビ		文科×テレビ		講義形態		講義形態		講義形態×メディア		講義形態×メディア	
		総計	理科×テレビ	文科×テレビ	文科×ラジオ	講義形態	講義形態	講義形態	講義形態	講義形態×メディア	講義形態×メディア	講義形態×メディア	講義形態×メディア
Q10 1 2. 視聴者の動機づけを高める工夫がある													
1 0 . 平	値	2.85	2.80	2.74	2.89	2.95	2.92	2.76	2.92	2.91	2.66	3.25	
1	有効回数	959	444	35	246	111	549	355	417	132	295	60	
2	非常に思う	5.6	6.1	11.4	4.1	5.4	5.1	6.5	4.8	6.1	7.5	1.7	
3	やや思う	30.4	31.8	28.6	31.7	23.4	27.5	34.9	27.6	27.3	39.3	13.3	
4	どちらでもない	39.7	40.1	34.3	38.2	45.0	40.4	38.0	40.8	39.4	35.6	50.0	
5	非常に思う	21.4	20.3	25.7	22.8	22.5	24.6	17.2	24.7	24.2	14.9	28.3	
5	非常に思う	2.8	1.8	0.0	3.3	3.6	2.4	3.4	2.2	3.0	2.7	6.7	
Q10 1 3. 視聴者自身に考えさせる工夫がある													
1 0 . 平	値	3.19	3.21	3.00	3.17	3.20	3.26	3.08	3.29	3.15	3.01	3.42	
1	有効回数	962	446	34	248	111	552	355	421	131	295	60	
2	非常に思う	2.3	2.7	2.9	2.4	1.8	1.8	3.1	1.9	1.5	3.7	0.0	
3	やや思う	18.8	17.5	29.4	16.9	19.8	17.4	21.4	15.7	22.9	23.1	13.3	
4	どちらでもない	41.6	39.7	35.3	46.4	40.5	39.3	43.4	39.2	39.7	44.4	38.3	
5	非常に思う	32.7	36.1	29.4	29.8	32.4	36.1	28.7	37.8	30.5	26.1	41.7	
5	非常に思う	4.6	4.0	2.9	4.4	5.4	5.4	3.4	5.5	5.3	2.7	6.7	
Q10 1 4. 視聴者が抱きそうな疑問への説明がある													
1 0 . 平	値	2.92	2.95	2.71	2.86	2.95	2.97	2.83	3.00	2.90	2.79	3.02	
1	有効回数	962	444	35	249	111	552	355	420	132	295	60	
2	非常に思う	3.3	2.7	5.7	5.6	0.9	2.7	4.8	3.1	1.5	5.4	1.7	
3	やや思う	28.3	28.2	28.6	26.5	31.5	27.0	30.4	25.5	31.8	30.8	28.3	
4	どちらでもない	43.9	42.1	54.3	47.4	41.4	42.9	44.5	42.6	43.9	44.7	43.3	
5	非常に思う	21.7	25.2	11.4	16.9	24.3	24.8	17.5	26.2	20.5	16.9	20.0	
5	非常に思う	2.8	1.8	0.0	3.6	1.8	2.5	2.8	2.6	2.3	2.0	6.7	
Q10 1 5. 内容が盛りだくさんである													
1 0 . 平	値	2.63	2.54	2.64	2.75	2.73	2.57	2.72	2.52	2.71	2.73	2.65	
1	有効回数	959	445	36	246	111	551	353	418	133	293	60	
2	非常に思う	7.8	9.4	2.8	6.1	7.2	9.1	5.9	10.5	4.5	5.8	6.7	
3	やや思う	36.6	39.6	38.9	35.0	27.9	37.0	35.4	38.5	32.3	35.2	36.7	
4	どちらでもない	41.9	39.1	50.0	39.0	52.3	42.6	41.4	39.5	52.6	41.0	43.3	
5	非常に思う	12.5	11.7	8.3	17.9	9.9	10.3	15.6	11.0	8.3	16.4	11.7	
5	非常に思う	1.1	0.2	0.0	2.0	2.7	0.9	1.7	0.5	2.3	1.7	1.7	
Q10 1 6. 利用メディアの特性が活かされている													
1 0 . 平	値	2.74	2.71	3.17	2.63	3.16	2.89	2.51	2.78	3.24	2.40	3.05	
1	有効回数	961	442	35	249	114	553	353	419	134	292	61	
2	非常に思う	8.8	8.8	2.9	10.8	3.5	6.1	13.3	7.6	1.5	15.1	4.9	
3	やや思う	36.7	39.8	17.1	42.2	17.5	33.5	42.5	38.9	16.4	47.6	18.0	
4	どちらでもない	31.1	28.5	48.6	28.5	47.4	32.5	27.5	27.4	48.5	22.6	50.8	
5	非常に思う	18.0	17.6	22.9	18.5	22.8	20.8	13.3	19.8	23.9	12.0	19.7	
5	非常に思う	5.3	5.2	8.6	4.0	8.8	7.1	3.4	6.2	9.7	2.7	6.6	

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メディア別・講義形態別・講義形態×メディア別・結果一覧 (その17)

		理文×メディア										講義形態										講義形態×メディア																			
		理科×テレビ					理科×ラジオ					文科×テレビ					文科×ラジオ					講師					その他形態					その他テレビ					その他ラジオ				
		総計	1人×テレビ	1人×ラジオ	1人×文系×テレビ	1人×文系×ラジオ	2人×理科×テレビ	2人×理科×ラジオ	2人×文系×テレビ	2人×文系×ラジオ	2人×文系×テレビ	2人×文系×ラジオ	2人×理科×テレビ	2人×理科×ラジオ	2人×文系×テレビ	2人×文系×ラジオ	2人×理科×テレビ	2人×理科×ラジオ	2人×文系×テレビ	2人×文系×ラジオ	2人×理科×テレビ	2人×理科×ラジオ	2人×文系×テレビ	2人×文系×ラジオ	2人×理科×テレビ	2人×理科×ラジオ	2人×文系×テレビ	2人×文系×ラジオ	2人×理科×テレビ	2人×理科×ラジオ	2人×文系×テレビ	2人×文系×ラジオ									
Q10	2.10	2.20	2.30	2.40	2.50	2.60	2.70	2.80	2.90	3.00	3.10	3.20	3.30	3.40	3.50	3.60	3.70	3.80	3.90	4.00	4.10	4.20	4.30	4.40	4.50	4.60	4.70	4.80	4.90	5.00											
印刷教材と適切に関連している																																									
1	有効回数	954	443	32	246	112	548	353	418	130	292	61	418	130	292	61	418	130	292	61	418	130	292	61	418	130	292	61	418	130	292	61									
2	有効回数	10.9	12.6	9.4	5.7	18.8	11.3	8.8	10.8	13.1	7.5	14.8	10.8	13.1	7.5	14.8	10.8	13.1	7.5	14.8	10.8	13.1	7.5	14.8	10.8	13.1	7.5	14.8	10.8	13.1	7.5										
3	有効回数	43.5	43.6	50.0	41.1	48.2	44.7	43.9	42.6	51.5	44.2	42.6	42.6	51.5	44.2	42.6	42.6	51.5	44.2	42.6	42.6	51.5	44.2	42.6	42.6	51.5	44.2	42.6	42.6	51.5	44.2										
4	有効回数	33.4	32.7	34.4	37.4	22.3	32.8	33.1	35.4	24.6	33.2	32.8	35.4	24.6	33.2	32.8	35.4	24.6	33.2	32.8	35.4	24.6	33.2	32.8	35.4	24.6	33.2	32.8	35.4	24.6	33.2										
5	有効回数	10.9	10.4	6.3	13.0	8.9	9.9	12.7	10.0	9.2	13.4	9.8	10.0	9.2	13.4	9.8	10.0	9.2	13.4	9.8	10.0	9.2	13.4	9.8	10.0	9.2	13.4	9.8	10.0	9.2	13.4										
	有効回数	1.3	0.7	0.0	2.8	1.8	1.3	1.4	1.2	1.5	1.7	0.0	1.2	1.5	1.7	0.0	1.2	1.5	1.7	0.0	1.2	1.5	1.7	0.0	1.2	1.5	1.7	0.0	1.2	1.5	1.7										
図表などが適切に利用されている																																									
1	有効回数	947	443	33	249	105	543	351	418	125	293	58	418	125	293	58	418	125	293	58	418	125	293	58	418	125	293	58	418	125	293	58									
2	有効回数	8.6	12.4	3.0	8.4	1.9	9.4	7.4	11.7	1.6	8.5	1.7	11.7	1.6	8.5	1.7	11.7	1.6	8.5	1.7	11.7	1.6	8.5	1.7	11.7	1.6	8.5	1.7	11.7	1.6	8.5										
3	有効回数	43.4	56.0	15.2	47.8	16.2	42.7	45.0	52.6	9.6	50.2	19.0	52.6	9.6	50.2	19.0	52.6	9.6	50.2	19.0	52.6	9.6	50.2	19.0	52.6	9.6	50.2	19.0	52.6	9.6	50.2										
4	有効回数	29.3	21.4	45.5	26.9	35.2	28.2	29.1	23.9	42.4	25.6	46.6	23.9	42.4	25.6	46.6	23.9	42.4	25.6	46.6	23.9	42.4	25.6	46.6	23.9	42.4	25.6	46.6	23.9	42.4	25.6										
5	有効回数	14.6	9.0	24.2	16.5	30.5	14.4	15.7	10.5	27.2	14.7	20.7	10.5	27.2	14.7	20.7	10.5	27.2	14.7	20.7	10.5	27.2	14.7	20.7	10.5	27.2	14.7	20.7	10.5	27.2	14.7										
	有効回数	4.2	1.1	12.1	0.4	16.2	5.3	2.8	1.2	19.2	1.0	12.1	1.2	19.2	1.0	12.1	1.2	19.2	1.0	12.1	1.2	19.2	1.0	12.1	1.2	19.2	1.0	12.1	1.2	19.2	1.0	12.1									
内容が実用的である																																									
1	有効回数	960	445	35	248	111	552	353	420	132	293	60	420	132	293	60	420	132	293	60	420	132	293	60	420	132	293	60	420	132	293	60									
2	有効回数	6.0	4.7	2.9	6.0	2.7	5.1	7.6	5.7	3.0	8.5	3.3	5.7	3.0	8.5	3.3	5.7	3.0	8.5	3.3	5.7	3.0	8.5	3.3	5.7	3.0	8.5	3.3	5.7	3.0	8.5										
3	有効回数	27.1	29.2	11.4	28.6	16.2	23.2	32.9	27.1	10.6	35.2	21.7	27.1	10.6	35.2	21.7	27.1	10.6	35.2	21.7	27.1	10.6	35.2	21.7	27.1	10.6	35.2	21.7	27.1	10.6	35.2										
4	有効回数	40.9	44.7	34.3	41.1	29.7	40.9	39.7	43.8	31.8	37.5	50.0	43.8	31.8	37.5	50.0	43.8	31.8	37.5	50.0	43.8	31.8	37.5	50.0	43.8	31.8	37.5	50.0	43.8	31.8	37.5										
5	有効回数	21.4	18.4	37.1	21.0	39.6	24.8	17.0	19.5	41.7	16.7	18.3	19.5	41.7	16.7	18.3	19.5	41.7	16.7	18.3	19.5	41.7	16.7	18.3	19.5	41.7	16.7	18.3	19.5	41.7	16.7										
	有効回数	4.6	2.9	14.3	3.2	11.7	6.0	2.8	3.8	12.9	2.0	6.7	3.8	12.9	2.0	6.7	3.8	12.9	2.0	6.7	3.8	12.9	2.0	6.7	3.8	12.9	2.0	6.7	3.8	12.9	2.0										
内容のレベルは適切である																																									
1	有効回数	960	445	35	248	111	552	353	420	132	293	60	420	132	293	60	420	132	293	60	420	132	293	60	420	132	293	60	420	132	293	60									
2	有効回数	10.6	10.8	11.4	10.1	12.6	9.6	11.9	9.3	10.6	13.0	6.7	9.3	10.6	13.0	6.7	9.3	10.6	13.0	6.7	9.3	10.6	13.0	6.7	9.3	10.6	13.0	6.7	9.3	10.6	13.0										
3	有効回数	46.0	44.7	40.0	48.4	55.0	44.7	48.2	43.3	49.2	48.8	45.0	43.3	49.2	48.8	45.0	43.3	49.2	48.8	45.0	43.3	49.2	48.8	45.0	43.3	49.2	48.8	45.0	43.3	49.2	48.8										
4	有効回数	30.5	29.2	42.9	32.3	25.2	31.7	28.9	31.4	32.6	27.3	36.7	31.4	32.6	27.3	36.7	31.4	32.6	27.3	36.7	31.4	32.6	27.3	36.7	31.4	32.6	27.3	36.7	31.4	32.6	27.3										
5	有効回数	11.9	14.4	5.7	9.3	6.3	13.0	10.2	14.8	7.6	10.2	10.0	14.8	7.6	10.2	10.0	14.8	7.6	10.2	10.0	14.8	7.6	10.2	10.0	14.8	7.6	10.2	10.0	14.8	7.6	10.2										
	有効回数	0.9	0.9	0.0	0.0	0.9	0.9	0.8	1.2	0.0	0.7	1.7	1.2	0.0	0.7	1.7	1.2	0.0	0.7	1.7	1.2	0.0	0.7	1.7	1.2	0.0	0.7	1.7	1.2	0.0	0.7										
講義の進度は適当である																																									
1	有効回数	959	444	36	248	111	552	352	419	133	292	60	419	133	292	60	419	133	292	60	419	133	292	60	419	133	292	60	419	133	292	60									
2	有効回数	8.6	7.4	13.9	8.1	11.7	8.3	8.5	7.9	9.8	8.6	8.3	7.9	9.8	8.6	8.3	7.9	9.8	8.6	8.3	7.9	9.8	8.6	8.3	7.9	9.8	8.6	8.3	7.9	9.8	8.6										
3	有効回数	47.4	47.3	44.4	51.2	51.4	46.0	49.1	45.6	47.4	51.0	40.0	45.6	47.4	51.0	40.0	45.6	47.4	51.0	40.0	45.6	47.4	51.0	40.0	45.6	47.4	51.0	40.0	45.6	47.4	51.0										
4	有効回数	33.4	35.1	36.1	30.6	28.8	35.0	32.1	35.3	33.8	30.5	40.0	35.3	33.8	30.5	40.0	35.3	33.8	30.5	40.0	35.3	33.8	30.5	40.0	35.3	33.8	30.5	40.0	35.3	33.8	30.5										
5	有効回数	9.7	9.5	5.6	9.7	6.3	9.6	9.4	10.3	7.5	9.2	10.0	10.3	7.5	9.2	10.0	10.3	7.5	9.2	10.0	10.3	7.5	9.2	10.0	10.3	7.5	9.2	10.0	10.3	7.5	9.2										
	有効回数	0.9	0.7	0.0	0.4	1.8	1.1	0.9	1.0	1.5	0.7	1.7	1.0	1.5	0.7	1.7	1.0	1.5	0.7	1.7	1.0	1.5	0.7	1.7	1.0	1.5	0.7	1.7	1.0	1.5	0.7										

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メディア別・講義形態別・講義形態×メディア別・結果一覧（その18）

理文×メディア				講義形態				講義形態×メディア			
総計		理科×テレビ	理科×ラジオ	文科×テレビ	文科×ラジオ	講師1人	その他の形態	1人×テレビ	1人×ラジオ	その他のテレビ	その他のラジオ
Q10	7. 1回の講義時間の長さは適当である	2.41	2.41	2.37	2.38	2.29	2.41	2.40	2.43	2.34	2.37
	平均値	962	446	35	248	112	554	353	421	133	293
1	有効回数に思う	11.9	12.1	8.6	11.7	13.4	11.4	13.3	11.6	10.5	14.3
2	やや有効に思う	47.8	47.1	54.3	49.6	51.8	48.6	47.0	47.0	53.4	47.8
3	どちらともいえない	29.0	30.0	28.6	28.6	26.8	29.8	26.9	30.2	28.6	25.3
4	どちらともいえない	10.0	9.4	8.6	8.9	8.0	8.5	11.9	9.0	6.8	11.9
5	非常に思わない	1.4	1.3	0.0	1.2	0.0	1.8	0.8	2.1	0.8	0.7
Q10	28. 中途に息抜きの時間が適度にしている	3.27	3.13	3.40	3.29	3.54	3.37	3.12	3.32	3.52	3.04
	平均値	957	444	35	247	111	550	352	419	131	292
1	有効回数に思う	2.6	4.3	0.0	1.6	0.9	2.4	3.4	2.6	1.5	4.1
2	やや有効に思う	15.2	20.5	8.6	12.6	8.1	11.1	21.3	12.4	6.9	24.7
3	どちらともいえない	41.9	40.1	45.7	45.7	38.7	41.3	41.2	42.0	38.9	39.4
4	どちらともいえない	33.8	28.6	42.9	35.2	40.5	37.6	28.4	35.8	43.5	26.7
5	非常に思わない	6.6	6.5	2.9	4.9	11.7	7.6	5.7	7.2	9.2	5.1
Q10	29. カリキュラムの組み方は適切である	2.46	2.42	2.46	2.50	2.44	2.44	2.48	2.44	2.43	2.45
	平均値	957	443	35	248	110	550	353	419	131	293
1	有効回数に思う	9.3	9.7	14.3	8.5	10.9	10.2	7.4	10.0	10.7	7.8
2	やや有効に思う	44.2	45.1	31.4	45.2	43.6	43.3	46.2	43.2	43.5	48.5
3	どちらともいえない	38.6	38.8	51.4	35.1	37.3	39.5	38.2	39.4	39.7	35.2
4	どちらともいえない	7.3	6.3	0.0	10.5	7.3	6.5	7.4	7.2	4.6	7.5
5	非常に思わない	0.6	0.0	2.9	0.8	0.9	0.5	0.8	0.2	1.5	1.0
Q10	30. 興味深い番組である	2.07	2.00	1.91	2.11	2.22	2.07	2.06	2.05	2.13	1.99
	平均値	966	447	35	250	113	556	355	423	133	294
1	有効回数に思う	26.1	27.5	37.1	24.0	23.0	25.0	27.9	24.8	25.6	29.6
2	やや有効に思う	49.0	50.3	40.0	50.8	44.2	49.3	47.9	51.1	43.6	50.3
3	どちらともいえない	17.6	17.0	17.1	16.4	21.2	19.2	15.8	18.0	23.3	13.3
4	どちらともいえない	6.8	4.9	5.7	8.0	10.6	6.5	7.0	6.1	7.5	5.4
5	非常に思わない	0.5	0.2	0.0	0.8	0.9	0.0	1.4	0.0	0.0	1.4
Q10	31. 何らかの形で利用価値のある教材である	1.78	1.68	1.86	1.84	1.97	1.80	1.76	1.76	1.91	1.69
	平均値	966	446	36	250	111	555	356	422	133	296
1	有効回数に思う	37.5	42.8	38.9	34.0	27.0	35.1	40.4	36.7	30.1	44.3
2	やや有効に思う	51.8	49.1	47.2	54.0	55.0	54.6	48.3	54.5	54.9	45.9
3	どちらともいえない	6.9	5.6	2.8	7.2	12.6	6.5	7.0	5.7	6.0	6.4
4	どちらともいえない	3.2	2.0	11.1	3.6	4.5	3.1	3.7	2.1	9.0	3.0
5	非常に思わない	0.6	0.4	0.0	1.2	0.9	0.7	0.6	0.9	0.0	0.3

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メディア別・講義形態別・講義形態×メディア別・結果一覽 (その19)

Q	No	問題文	理文×メディア		講義形態		講義形態×メディア						
			理科×テレビ	理科×ラジオ	講1	師人	その他形態	1人×テレビ	1人×ラジオ	その他テレビ	その他ラジオ		
												文教科×テレビ	文教科×ラジオ
Q10	3	生活に密着した題材を扱っている	2.66	2.76	3.23	2.29	3.02	2.85	2.37	2.75	3.18	2.31	2.70
	1	平均値	959	442	35	248	111	550	354	418	132	294	60
	2	有効回数	10.0	7.2	2.9	18.1	3.6	7.1	15.5	8.4	3.0	16.3	11.7
	3	有常やそれらそう思う	36.0	33.0	22.9	45.2	27.0	28.9	44.9	31.3	21.2	48.0	30.0
	4	どやちやそれらえない	35.1	35.6	34.3	26.6	38.7	40.0	27.4	40.7	37.9	25.2	38.3
	5	非常に思う	16.0	17.2	28.6	9.3	25.2	19.6	11.0	16.3	30.3	9.9	16.7
		平均値	2.9	2.9	11.4	0.8	5.4	4.4	1.1	3.3	7.6	0.7	3.3
Q10	3	時宜を得た素材を利用している	2.58	2.51	2.77	2.53	2.98	2.65	2.48	2.56	2.92	2.43	2.77
	1	平均値	958	442	35	248	110	549	354	418	131	294	60
	2	有効回数	9.1	8.4	8.6	11.3	4.5	7.7	11.3	8.6	4.6	11.2	11.7
	3	有常やそれらそう思う	38.2	43.9	25.7	36.7	18.2	35.2	42.4	38.3	25.2	45.9	25.0
	4	どやちやそれらえない	40.1	37.3	51.4	41.1	53.6	43.7	34.2	42.6	47.3	32.3	43.3
	5	非常に思う	11.2	9.5	8.6	9.7	21.8	11.7	11.0	9.1	10.2	15.0	15.0
		平均値	1.5	0.9	5.7	1.2	1.8	1.8	1.1	1.4	3.1	0.3	5.0
Q10	3	実社会での実務に応用できる内容である	2.86	2.79	3.51	2.80	3.41	2.94	2.75	2.78	3.45	2.71	2.90
	1	平均値	958	444	35	247	111	549	354	417	132	294	60
	2	有効回数	7.7	7.7	2.9	10.1	2.7	7.8	8.2	9.8	1.5	8.2	8.3
	3	有常やそれらそう思う	30.4	33.6	14.3	27.5	15.3	28.2	33.9	31.7	17.4	35.4	26.7
	4	どやちやそれらえない	35.5	35.4	34.3	38.9	33.3	33.7	36.2	35.0	29.5	35.7	38.3
	5	非常に思う	20.7	18.9	25.7	19.0	36.0	22.4	18.6	17.7	37.1	18.4	20.0
		平均値	5.7	4.5	22.9	4.5	12.6	7.8	3.1	5.8	14.4	2.4	6.7
Q10	3	基本が身につく講義である	2.26	2.18	2.23	2.20	2.22	2.24	2.29	2.22	2.30	2.24	2.52
	1	平均値	965	445	35	251	111	555	355	423	132	295	60
	2	有効回数	16.5	18.2	28.6	14.3	21.6	17.8	14.6	17.3	19.7	14.9	13.3
	3	有常やそれらそう思う	50.9	52.4	34.3	58.6	45.0	50.1	51.8	52.0	43.9	54.2	40.0
	4	どやちやそれらえない	24.2	23.8	25.7	21.1	23.4	24.1	24.8	24.1	23.4	25.4	31.7
	5	非常に思う	7.0	4.7	8.6	5.2	9.9	6.5	7.3	5.2	10.6	6.4	11.7
		平均値	1.3	0.9	2.9	0.8	0.0	1.4	1.4	1.4	1.5	1.0	3.3
Q10	3	一般の大学にはない内容が含まれている	2.70	2.62	2.26	2.79	3.10	2.70	2.70	2.59	3.02	2.69	2.70
	1	平均値	962	444	35	249	111	552	355	420	132	295	60
	2	有効回数	10.2	10.6	17.1	7.6	7.2	10.1	10.1	11.7	5.3	9.5	13.3
	3	有常やそれらそう思う	31.1	33.3	48.6	28.9	16.2	31.5	30.4	33.6	25.0	31.5	25.0
	4	どやちやそれらえない	40.6	41.9	25.7	44.2	40.5	40.0	42.3	44.2	36.4	42.0	43.3
	5	非常に思う	15.1	11.9	8.6	15.3	31.5	15.2	14.1	11.0	28.8	13.9	15.0
		平均値	3.0	2.3	0.0	4.0	4.5	3.1	2.6	4.5	3.1	3.3	

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メディア別・講義形態別・講義形態×メディア別・結果一覧 (その20)

		理文×メディア				講義形態				講義形態×メディア			
		理科×テレビ	理科×ラジオ	文科×テレビ	文科×ラジオ	講師	その他	1人×テレビ	1人×ラジオ	その他×テレビ	その他×ラジオ		
総計													
Q10 37. 講師の人は適切である													
平		2.03											
1	有効回数	961	1.96	1.66	2.15	1.98	1.97	2.09	2.01	1.85	2.07	2.20	
2	有効回数	30.7	445	35	248	111	551	355	419	132	295	60	
3	有効回数	41.6	34.6	45.7	27.0	30.6	33.4	27.3	33.4	33.3	28.1	23.3	
4	有効回数	22.6	39.6	42.9	39.1	45.0	41.0	42.8	38.2	50.0	43.4	40.0	
5	有効回数	4.4	21.3	11.4	27.0	19.8	21.1	24.5	22.9	15.2	33.4	30.0	
	有効回数	0.7	3.8	0.0	6.0	4.5	4.2	4.2	5.0	1.5	3.7	6.7	
	有効回数	0.7	0.7	0.0	0.8	0.0	0.4	1.1	0.5	0.0	1.4	0.0	
Q10 38. 講義の進度が速い													
平		3.20											
1	有効回数	960	3.15	3.43	3.29	3.28	3.12	3.31	3.10	3.20	3.32	3.25	
2	有効回数	13.4	445	35	249	110	550	355	418	132	296	59	
3	有効回数	52.8	14.6	8.6	10.8	10.9	14.9	12.1	15.3	13.6	11.5	15.3	
4	有効回数	27.5	53.3	45.7	52.2	50.0	54.7	48.5	55.7	51.5	48.3	49.2	
5	有効回数	4.6	26.3	40.0	31.3	28.2	23.5	33.8	23.2	24.2	34.5	30.5	
	有効回数	3.8	5.7	5.7	4.8	8.2	4.4	5.1	3.3	7.6	5.1	5.1	
Q10 39. 全体の講義の分量は適当である													
平		2.58											
1	有効回数	959	2.46	2.55	2.48	2.57	2.59	2.57	2.60	2.55	2.57	2.60	
2	有効回数	8.1	443	35	248	111	549	355	417	132	295	60	
3	有効回数	41.2	7.0	8.6	9.3	11.7	7.7	8.5	7.2	9.1	8.1	10.0	
4	有効回数	36.2	43.8	48.6	39.9	42.3	41.0	42.5	41.2	40.2	43.7	36.7	
5	有効回数	13.2	34.5	31.4	38.3	34.2	37.7	33.5	37.2	39.4	32.5	38.3	
	有効回数	1.3	13.5	11.4	11.7	9.9	12.4	14.1	13.2	9.8	14.2	13.3	
	有効回数	1.1	0.0	0.0	0.8	1.8	1.3	1.4	1.2	1.5	1.4	1.7	
Q10 40. 図表などの提示に工夫がある													
平		2.53											
1	有効回数	937	2.53	3.38	2.72	3.62	2.85	2.71	2.63	3.63	2.60	3.25	
2	有効回数	6.4	445	32	245	99	535	349	418	117	293	56	
3	有効回数	34.7	45.2	12.5	38.4	5.1	32.9	38.7	8.4	0.9	7.2	0.0	
4	有効回数	36.3	30.6	50.0	32.7	41.4	34.8	35.8	32.1	44.4	30.7	62.5	
5	有効回数	18.6	13.7	25.0	20.0	36.4	20.0	17.5	16.7	31.6	16.4	23.2	
	有効回数	4.1	1.3	12.5	2.0	16.2	5.6	2.0	1.9	18.8	1.4	5.4	
Q10 41. 印刷教材が充実している													
平		2.74											
1	有効回数	957	2.73	2.76	2.78	2.67	2.70	2.79	2.70	2.69	2.78	2.87	
2	有効回数	6.9	445	33	246	110	547	355	418	129	295	60	
3	有効回数	30.4	30.6	30.3	28.9	32.7	32.2	28.5	32.1	32.6	29.5	23.3	
4	有効回数	46.5	47.9	45.5	46.7	40.9	44.4	49.0	45.5	41.1	50.2	43.3	
5	有効回数	14.3	13.0	18.2	15.4	16.4	13.9	14.9	12.9	17.1	13.2	23.3	
	有効回数	1.9	1.8	0.0	2.4	0.9	1.8	2.0	2.2	0.8	2.0	1.7	

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メディア別・講義形態別・講義形態×メディア別・結果一覧（その21）

		理文×メディア				講義形態				講義形態×メディア			
		理科×テレビ		文科×テレビ		講義形態		講義形態		講義形態×メディア		講義形態×メディア	
		総計	理科×テレビ	文科×テレビ	文科×ラジオ	講義形態	講義形態	講義形態	講義形態	講義形態×メディア	講義形態×メディア	講義形態×メディア	講義形態×メディア
		改善の余地が多い番組である	3.19	3.43	3.16	3.45	3.22	3.21	3.16	3.43	3.23	3.12	3.12
Q10	4.2. 改善の余地が多い番組である	3.22	442	35	111	552	552	355	420	132	295	60	60
1	有効回数思う	961	442	35	111	552	552	355	420	132	295	60	60
2	有効回数思う	3.4	2.5	0.0	5.6	0.9	2.9	4.8	3.3	1.5	4.7	5.0	5.0
3	有効回数思う	20.0	21.9	14.3	20.8	14.4	19.7	20.3	21.7	13.6	20.3	20.0	20.0
4	有効回数思う	38.4	40.5	42.9	34.8	37.8	40.8	34.4	41.4	38.6	32.5	43.3	43.3
5	有効回数思う	27.3	24.7	28.6	29.6	32.4	25.4	30.1	23.1	32.6	31.9	21.7	21.7
6	有効回数思う	10.9	10.4	14.3	9.2	14.4	11.2	10.4	10.5	13.6	10.5	10.0	10.0
Q10	4.3. 印刷教材にもう少し工夫が欲しい	2.95	2.94	3.06	2.92	3.07	2.97	2.90	2.96	3.02	2.91	2.90	2.90
1	有効回数思う	960	443	35	247	112	550	355	417	133	295	60	60
2	有効回数思う	2.9	2.3	2.9	2.4	4.5	2.9	2.8	2.6	3.8	2.0	6.7	6.7
3	有効回数思う	28.8	29.1	25.7	31.6	25.0	28.7	28.5	29.3	27.1	28.8	26.7	26.7
4	有効回数思う	44.7	46.3	42.9	42.1	38.4	43.3	48.2	44.1	40.6	48.8	45.0	45.0
5	有効回数思う	17.9	17.4	20.0	19.4	23.2	18.4	16.6	17.7	20.3	17.3	13.3	13.3
6	有効回数思う	5.7	5.0	8.6	4.5	8.9	6.7	3.9	6.2	8.3	3.1	8.3	8.3
Q10	4.4. 印刷教材に演習などが適切に含まれている	3.57	3.60	4.00	3.46	3.92	3.62	3.51	3.53	3.92	3.55	3.29	3.29
1	有効回数思う	943	439	33	243	105	539	349	414	125	290	59	59
2	有効回数思う	1.4	1.1	0.0	2.1	0.0	1.3	1.7	1.7	0.0	1.0	5.1	5.1
3	有効回数思う	7.7	7.1	0.0	6.6	1.9	6.5	9.7	7.7	2.4	7.9	18.6	18.6
4	有効回数思う	39.7	38.5	33.3	48.1	29.5	38.6	39.5	41.1	30.4	40.3	35.6	35.6
5	有効回数思う	35.0	37.6	33.3	30.0	42.9	36.0	34.1	34.8	40.0	36.2	23.7	23.7
6	有効回数思う	16.2	15.7	33.3	13.2	25.7	17.6	14.9	14.7	27.2	14.5	16.9	16.9
Q10	4.5. 放送は学習のペース作りに役だっている	2.55	2.48	2.57	2.58	2.60	2.56	2.53	2.53	2.65	2.51	2.63	2.63
1	有効回数思う	949	437	35	246	109	544	351	414	130	291	60	60
2	有効回数思う	6.8	7.6	5.7	5.7	9.2	6.8	6.6	7.0	6.2	6.2	8.3	8.3
3	有効回数思う	39.2	43.7	37.1	39.8	29.4	38.4	41.9	40.6	31.5	44.3	30.0	30.0
4	有効回数思う	46.9	43.0	51.4	46.3	55.0	47.6	44.7	45.2	55.4	43.3	51.7	51.7
5	有効回数思う	6.0	4.6	5.7	6.9	5.5	6.3	5.7	6.5	5.4	4.8	10.0	10.0
6	有効回数思う	1.1	1.1	0.0	1.2	0.9	0.9	1.1	0.7	1.5	1.4	0.0	0.0
Q10	4.6. 全体的に満足している番組である	2.24	2.18	1.97	2.33	2.22	2.25	2.23	2.26	2.19	2.19	2.40	2.40
1	有効回数思う	963	444	36	249	111	554	355	421	133	295	60	60
2	有効回数思う	18.3	19.8	30.6	14.9	20.7	18.1	18.3	17.3	20.3	19.0	15.0	15.0
3	有効回数思う	49.8	50.0	44.4	50.6	45.0	48.4	52.7	48.5	48.1	54.2	45.0	45.0
4	有効回数思う	22.7	22.7	22.2	26.1	26.1	25.4	19.2	25.4	17.6	17.6	26.7	26.7
5	有効回数思う	8.1	6.8	2.8	9.6	8.1	7.9	7.9	8.1	7.5	7.1	11.7	11.7
6	有効回数思う	1.0	0.7	0.0	2.0	0.0	0.5	2.0	0.7	0.0	2.0	1.7	1.7

表1-3 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」理文×メメディア別・講義形態別・講義形態×メメディア別・結果一覧 (その22)

	総計	理文×メメディア				講義形態		講義形態×メメディア			
		理科×テレビ	理科×ラジオ	文科×テレビ	文科×ラジオ	講師	その他形態	1人×テレビ	1人×ラジオ	その他テレビ	その他ラジオ
Q13 この放送教材に関して、どのような利用法が考えられますか (複数回答可)。											
1	977	449	37	254	115	566	356	429	137	295	61
2	7.8	9.3	5.7	7.3	3.6	6.9	9.2	7.9	3.7	10.0	5.4
3	68.5	72.2	71.4	70.2	61.6	69.6	65.9	71.5	63.4	69.7	46.4
4	23.8	22.6	25.7	21.4	26.8	27.2	18.5	26.8	28.4	17.2	25.0
5	54.6	54.4	57.1	54.8	46.4	51.8	59.2	52.6	49.3	59.0	60.7
6	2.6	1.6	2.9	4.8	1.8	2.5	3.2	3.1	0.7	2.8	5.4
	2.8	3.2	0.0	1.2	3.6	2.4	3.8	1.9	3.7	4.1	1.8
Q14 あなたの所属する機関の単位で置き換えるとすれば、何単位程度を与えることができますか。											
0	1.45	1.45	1.63	1.35	1.60	1.42	1.49	1.37	1.57	1.47	1.60
1	807	377	30	202	92	469	296	354	115	244	52
2	25.9	23.9	20.0	29.7	21.7	27.3	23.6	28.2	24.3	23.0	26.9
3	18.6	21.8	20.0	17.8	14.1	19.4	17.9	21.2	13.9	20.1	7.7
	40.4	39.5	36.7	40.6	46.7	37.5	43.9	36.2	41.7	43.9	44.2
	15.1	14.9	23.3	11.9	17.4	15.8	14.5	14.4	20.0	13.1	21.2

表1-4 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧（その1）

	総計	視 聴 量				視 聴 質		利用希望形態				想定相当単位数			
		5週以下		6～11		視聴率	視聴質	全面利用	参考資料	研究室材料	図書で	0 単位	1 単位	2 単位	3 以上
		363	332	263	12										
◎ 性別	978	363	332	263	310	537	120	74	650	226	518	209	150	326	122
1 有効回答数 (%)	956	351	327	259	298	529	119	73	637	222	506	206	147	318	119
2 男女	90.1	90.9	91.7	86.5	87.9	91.3	89.1	93.2	90.3	90.5	91.3	89.8	91.2	90.6	95.8
	9.9	9.1	8.3	13.5	12.1	8.7	10.9	6.8	9.7	9.5	8.7	10.2	8.8	9.4	4.2
◎ 年齢群	45.9	47.32	45.86	44.12	46.59	46.08	43.43	46.23	47.33	45.10	46.34	47.44	45.60	46.58	46.03
1 有効回答数	977	363	331	263	309	537	120	74	650	225	518	209	150	325	122
2 30～39歳	13.9	9.1	13.0	21.3	14.6	12.3	18.3	8.1	11.7	15.6	12.7	14.8	16.0	10.8	9.8
3 40～49歳	33.6	33.9	35.3	30.4	25.9	37.4	36.7	40.5	31.2	32.4	33.0	25.8	30.0	34.2	42.6
4 50～59歳	30.1	29.5	31.7	29.7	36.6	25.3	35.8	32.4	29.4	28.4	31.7	29.7	36.7	32.0	23.8
5 60歳以上	22.4	27.5	19.9	18.6	23.0	25.0	9.2	18.9	27.7	23.6	22.6	29.7	17.3	23.1	23.8
◎ 所属機関	972	360	331	261	306	535	120	73	646	224	514	209	150	321	121
1 国立大学	48.7	46.1	50.2	49.8	52.9	45.8	52.5	43.8	45.8	46.0	48.8	45.9	39.3	50.2	47.1
2 私立大学	20.5	19.4	19.3	24.5	19.9	22.4	14.2	19.2	20.1	19.6	21.2	19.6	8.7	23.1	35.5
3 専門学校	26.3	29.2	24.2	24.1	23.5	26.4	30.0	30.1	30.3	31.3	24.5	29.2	49.3	22.1	15.7
4 短期大学	4.5	5.3	6.3	1.5	3.6	5.4	3.3	6.8	3.7	3.1	5.4	5.3	2.7	4.7	1.7
◎ 職種	969	363	329	257	308	532	118	74	649	225	515	209	150	325	122
1 有効回答数	40.6	42.7	42.6	35.4	40.3	41.0	39.8	41.9	44.5	36.9	43.3	44.5	38.7	42.8	36.9
2 助教	32.8	33.6	32.2	32.7	37.7	32.9	20.3	40.5	33.4	33.8	31.5	27.3	38.0	37.5	41.0
3 講師	14.2	14.6	14.0	14.4	11.4	14.8	19.5	9.5	13.4	14.7	12.8	16.3	12.0	12.0	12.3
4 その他 (助手など)	12.4	9.1	11.2	17.5	10.7	11.3	20.3	8.1	8.6	14.7	12.6	12.0	11.3	7.7	9.8
◎ メディア	978	363	332	263	310	537	120	74	650	226	518	209	150	326	122
1 有効回答数	78.5	81.3	76.8	77.9	80.3	79.0	74.2	87.8	81.8	75.7	79.9	78.5	86.0	77.0	71.3
2 テレビ	21.5	18.7	23.2	22.1	19.7	21.0	25.8	12.2	18.2	24.3	20.1	21.5	14.0	23.0	28.7
◎ 理系・文系	855	329	296	215	267	477	103	65	585	191	447	176	137	285	103
1 有効回答数	56.8	59.6	53.0	59.1	56.9	58.3	52.4	66.2	58.5	56.5	57.9	54.5	64.2	56.1	61.2
2 理科系	43.2	40.4	47.0	40.9	43.1	41.7	47.6	33.8	41.5	43.5	42.1	45.5	35.8	43.9	38.8
◎ 文系・メディア	855	329	296	215	267	477	103	65	585	191	447	176	137	285	103
1 有効回答数	52.5	55.3	49.7	53.0	51.7	54.1	49.5	63.1	54.2	51.8	53.5	51.1	59.9	52.3	54.4
2 文科系	4.3	4.3	3.4	6.0	5.2	4.2	2.9	3.1	4.3	4.7	4.5	3.4	4.4	3.9	6.8
11 理科系×テレビ	29.7	28.6	29.7	31.6	31.1	28.3	32.0	27.7	29.7	27.7	30.4	34.1	26.3	28.8	23.5
12 文科系×テレビ	13.5	11.9	17.2	9.3	12.0	13.4	15.5	6.2	11.8	15.7	11.6	11.4	9.5	15.1	15.5

表1-4 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧 (その2)

科目分類 ① 基礎科目 ② 専門科目 ③ 外国語科目 ④ 専門科目	総計	視聴量			視聴質			利用希望形態			想定相当単位数				
		5週以下	6～11	12以上	じっくり	ある程度	表面的	全面利用	参考資料	研究材料	図書で	0単位	1単位	2単位	3以上
◎ 科目分類	978	363	332	263	310	537	120	74	650	226	518	209	150	326	122
1 有効回答数	30.6	32.5	31.6	27.0	29.0	32.0	28.3	28.4	31.4	20.4	32.2	30.1	25.3	34.7	27.9
2 基本科目	12.6	9.4	10.8	18.3	13.9	11.2	14.2	12.2	10.0	15.5	13.7	15.8	8.7	12.6	15.6
3 専門科目	56.9	58.1	57.5	54.8	57.1	56.8	57.5	59.5	58.6	64.2	54.1	54.1	66.0	52.8	56.6
Q 0 2 あなたは、その放送教材をどの程度視聴しましたか。	3.14	1.19	3.61	5.24	2.72	3.13	4.27	2.79	3.02	3.05	3.01	3.39	2.82	2.99	2.98
1 有効回答数	958	363	332	263	306	533	118	70	640	221	511	206	145	318	121
2 1～5週分	30.8	81.3	0.0	0.0	45.1	27.4	9.3	41.4	33.8	33.0	33.7	27.7	40.7	33.3	31.4
3 6～11週分	7.1	18.7	0.0	0.0	6.2	8.6	2.5	5.7	5.9	6.8	6.1	4.9	4.8	5.7	11.6
4 12～18週分	13.5	0.0	38.9	0.0	9.5	10.5	10.2	11.4	14.1	14.5	15.1	10.2	11.7	16.7	14.0
5 19～25週分	21.2	0.0	61.1	0.0	15.4	23.3	26.3	18.6	22.0	19.9	20.7	24.3	21.4	21.4	17.4
6 26～32週分	20.9	0.0	0.0	76.0	19.0	19.3	33.1	20.0	19.5	19.5	19.6	24.3	17.2	19.2	21.5
7 33～40週分	6.6	0.0	0.0	24.0	4.9	4.9	18.6	2.9	4.7	6.3	4.9	8.7	4.1	3.8	4.1
Q 0 3 あなたは、その放送教材をどのように視聴しましたか。	1.82	1.61	1.90	2.01	1.00	2.00	3.14	1.53	1.76	1.84	1.81	1.79	1.85	1.74	1.81
1 有効回答数	967	363	331	263	310	537	120	70	642	222	516	207	145	323	122
2 ある程度視聴	32.1	43.3	23.0	27.8	100.0	0.0	0.0	57.1	33.8	31.1	32.9	35.7	31.7	35.9	28.7
3 ほとんど表面的に流す	55.5	52.9	64.0	49.0	0.0	100.0	0.0	34.3	57.2	57.2	54.7	51.7	55.2	55.1	63.1
4 ほとんど表面的に流す	10.7	3.6	12.7	17.5	0.0	0.0	85.8	7.1	7.8	8.6	11.2	10.1	9.7	8.4	6.6
5 ほとんど表面的に流す	1.8	0.3	0.3	5.7	0.0	0.0	14.2	1.4	1.2	3.2	1.2	2.4	3.4	0.6	1.6
Q 0 4 (A) あなたは、あなたの所属される機関では、「テレビ」がどの程度利用できますか。	1.57	1.55	1.58	1.57	1.51	1.58	1.68	1.51	1.56	1.54	1.57	1.55	1.53	1.55	1.58
1 有効回答数	945	356	326	248	299	526	113	71	634	221	505	201	147	317	121
2 有効回答率	54.5	54.8	54.9	54.8	59.2	52.7	50.4	60.6	53.6	55.2	54.7	56.7	54.4	56.5	47.1
3 ある程度利用できる	34.1	35.1	32.2	33.5	30.8	36.5	31.0	28.2	36.4	35.3	34.1	31.8	38.1	31.9	47.9
4 利用するのが難しい	11.4	10.1	12.9	11.7	10.0	10.8	18.6	11.3	9.9	9.5	11.3	11.4	7.5	11.7	5.0
Q 0 4 (B) あなたは、あなたの所属される機関では、「ビデオ」がどの程度利用できますか。	1.43	1.43	1.44	1.41	1.37	1.45	1.50	1.37	1.43	1.44	1.43	1.42	1.42	1.42	1.45
1 有効回答数	963	361	328	258	305	533	117	73	642	224	512	204	149	323	121
2 有効回答率	61.2	61.2	61.3	62.0	67.5	59.1	53.8	68.5	60.6	61.6	61.1	60.8	63.1	63.2	56.2
3 ある程度利用できる	34.5	34.6	33.2	34.5	27.9	36.6	41.9	26.0	35.4	32.6	35.2	36.3	32.2	31.6	42.1
4 利用するのが難しい	4.4	4.2	5.5	3.5	4.6	4.3	4.3	5.5	4.0	5.8	3.7	2.9	4.7	5.3	1.7
Q 0 4 (C) あなたは、あなたの所属される機関では、「ラジオ」がどの程度利用できますか。	1.73	1.72	1.71	1.77	1.57	1.77	1.93	1.59	1.73	1.68	1.71	1.70	1.62	1.82	1.63
1 有効回答数	922	348	317	243	293	509	113	69	617	219	492	199	143	309	115
2 有効回答率	47.1	48.9	48.6	44.4	57.3	44.6	34.5	56.5	45.7	50.2	48.8	50.3	47.6	43.7	51.3
3 ある程度利用できる	32.8	30.7	31.5	34.6	28.0	33.4	38.1	27.5	35.2	32.0	31.1	29.6	42.7	31.1	34.8
4 利用するのが難しい	20.2	20.4	19.9	21.0	14.7	22.0	27.4	15.9	19.1	17.8	20.1	20.1	9.8	25.2	13.9

表1-4 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧 (その3)

	総計	視 聴 量			視 聴 質	利用希望形態			想定相当単位数		
		5週以下	6～11	12以上		全面利用	参考資料	図書・図画	0単位	1単位	2単位
Q04 (D) あなたの所属される機関では、「オーディオ・テープ・レコーダー」がどの程度利用できますか。											
1 有効回数	1.61	1.62	1.59	1.61	1.47	1.67	1.70	1.56	1.63	1.61	1.58
2 有効回数	936	350	323	247	294	518	116	71	624	220	501
3 有効回数	53.8	53.7	53.6	55.1	63.9	50.0	44.0	62.0	51.6	55.5	55.3
4 有効回数	31.4	30.3	33.7	29.1	25.2	33.0	42.2	19.7	34.3	28.2	31.7
5 有効回数	14.7	16.0	12.7	15.8	10.9	17.0	13.8	18.3	14.1	16.4	13.0
Q05 あなたの視聴された放送教材は、以下のどのような形式に近々と思われませんか。											
1 有効回数	923	343	316	246	294	507	113	70	612	214	491
2 有効回数	61.3	57.1	64.2	62.6	62.2	60.0	63.7	54.3	62.7	70.1	58.2
3 有効回数	11.7	12.5	11.7	11.4	10.2	12.6	12.4	12.9	11.4	7.5	12.0
4 有効回数	2.9	2.0	2.2	4.9	3.1	3.2	0.9	7.1	3.3	1.9	2.9
5 有効回数	8.6	8.7	8.5	8.9	7.8	8.9	9.7	5.7	7.4	6.5	10.8
6 有効回数	6.1	7.0	5.7	5.3	4.8	6.3	8.0	5.7	6.4	4.7	5.7
7 有効回数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8 有効回数	9.4	12.5	7.6	6.9	11.9	9.1	5.3	14.3	8.8	9.3	10.4
◎ 講義形態×メディア											
11 有効回数	923	343	316	246	294	507	113	70	612	214	491
21 有効回数	46.5	44.9	46.8	48.4	48.6	45.4	46.0	47.1	48.9	52.3	44.8
12 有効回数	14.8	12.2	17.4	14.2	13.6	14.6	17.7	7.1	13.9	17.8	13.4
22 有効回数	32.1	35.9	29.7	30.1	32.3	33.1	27.4	41.4	33.0	23.4	34.8
23 有効回数	6.6	7.0	6.0	7.3	5.4	6.9	8.8	4.3	4.2	6.5	6.9
Q06 A 講師の登場している時間											
1 有効回数	2.11	2.04	2.12	2.22	2.11	2.09	2.26	2.11	2.13	2.00	2.10
2 有効回数	939	344	324	252	294	518	117	70	633	219	496
3 有効回数	27.3	29.7	26.5	23.4	30.6	25.7	23.1	24.3	25.8	32.9	27.2
4 有効回数	38.0	39.8	37.7	37.3	33.0	42.3	34.2	41.4	39.2	39.3	39.3
5 有効回数	31.5	27.9	33.3	34.5	32.0	29.9	37.6	32.9	32.1	23.3	30.2
6 有効回数	2.8	2.3	2.5	3.6	3.7	1.9	4.3	1.4	2.7	4.1	3.0
7 有効回数	0.4	0.3	0.0	1.2	0.7	0.2	0.9	0.0	0.3	0.5	0.2
Q06 B 黒板、パネルなどの利用頻度											
1 有効回数	2.84	2.81	2.78	2.96	2.86	2.82	2.84	2.83	2.87	2.54	2.85
2 有効回数	746	282	250	201	241	413	86	63	518	167	399
3 有効回数	6.0	8.2	4.4	5.0	7.5	5.8	3.5	1.6	5.6	13.2	6.3
4 有効回数	32.3	31.2	38.4	27.4	29.5	35.1	29.1	34.9	31.7	39.5	31.6
5 有効回数	37.9	36.5	36.4	40.8	36.9	35.8	48.8	44.4	37.5	31.1	38.3
6 有効回数	19.0	19.5	16.8	20.9	21.6	17.7	17.4	17.5	20.7	12.6	18.3
7 有効回数	4.7	4.6	4.0	6.0	4.6	5.6	1.2	1.6	4.6	3.6	5.5

表1-4 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧 (その4)

	総計	視聴量			視聴質	利用希望形態			想定相当単位数			
		5週以下	6～11	12以上		全面利用	参考資料	研究室図書	0単位	1単位	2単位	3以上
Q 0 6 C. コンピュータ・グラフィックやアニメーションの利用頻度												
平均値	3.88	3.90	3.93	3.79	3.96	3.89	3.59	3.58	3.88	3.89	3.92	3.89
有効回数	680	259	235	175	214	377	83	60	475	153	370	140
1 非常に多い	0.7	0.4	0.4	1.7	1.4	0.5	0.0	3.3	0.6	0.7	1.4	1.4
2 多い	6.8	7.7	6.0	6.3	6.1	6.4	10.8	11.7	6.5	6.5	7.3	5.0
3 どちらともいえない	27.6	27.4	25.5	29.7	23.8	26.8	39.8	36.7	28.4	28.8	23.5	30.7
4 少ない	33.8	30.9	36.6	35.4	32.7	35.8	28.9	20.0	33.3	31.4	33.8	28.6
5 非常に少ない	31.0	33.6	31.5	26.9	36.0	30.5	20.5	28.3	31.2	32.7	34.1	34.3
Q 0 6 D. 図版(フリップ)の利用頻度												
平均値	2.93	2.86	2.92	3.04	2.91	2.92	2.99	2.87	2.93	2.83	2.89	3.01
有効回数	734	278	249	195	239	404	85	62	509	163	393	157
1 非常に多い	3.1	3.2	2.8	2.6	3.3	3.2	2.4	3.2	3.1	4.9	4.6	3.8
2 多い	30.5	35.6	30.5	23.1	33.9	28.7	28.2	32.3	30.6	37.4	31.0	24.8
3 どちらともいえない	42.6	38.1	43.4	48.7	38.1	45.3	44.7	45.2	42.0	35.0	41.5	45.9
4 少ない	18.1	18.0	18.1	19.0	18.0	18.1	17.6	12.9	18.5	15.3	16.8	17.2
5 非常に少ない	5.6	5.0	5.2	6.7	6.7	4.7	7.1	6.5	5.7	7.4	6.1	8.3
Q 0 6 E. ビデオ、オーディオ・テープ等の取材視聴教材の利用頻度												
平均値	3.34	3.26	3.40	3.36	3.20	3.42	3.29	3.17	3.31	3.28	3.27	3.39
有効回数	914	335	316	244	287	505	112	69	618	212	482	202
1 非常に多い	7.0	8.4	5.7	6.1	13.2	4.6	1.8	11.6	6.5	8.5	8.3	7.4
2 多い	16.6	17.9	17.1	14.3	16.4	17.4	14.3	15.9	18.0	17.5	17.2	15.3
3 どちらともいえない	33.0	32.5	31.6	36.1	28.9	31.1	51.8	34.8	32.7	33.5	33.4	28.2
4 少ない	22.4	21.5	23.1	24.2	20.2	25.1	17.0	18.8	24.3	18.4	21.4	29.2
5 非常に少ない	20.9	19.7	22.5	19.3	21.3	21.8	15.2	18.8	18.6	22.2	19.7	19.8
Q 0 6 F. 実験等のデモンストレーションの導入頻度												
平均値	3.45	3.42	3.52	3.41	3.52	3.45	3.31	3.21	3.45	3.41	3.43	3.66
有効回数	680	267	226	174	215	377	83	63	470	150	364	143
1 非常に多い	2.8	3.0	2.2	3.4	4.7	1.9	2.4	4.8	3.0	4.0	4.4	1.4
2 多い	18.1	22.5	17.3	12.6	19.1	18.3	13.3	25.4	18.7	19.3	17.9	16.1
3 どちらともいえない	30.9	25.5	30.1	39.7	22.3	32.4	47.0	31.7	28.3	29.3	30.8	21.0
4 少ない	27.8	28.1	27.0	28.2	27.4	28.4	25.3	20.6	30.6	26.7	24.7	38.5
5 非常に少ない	20.4	21.0	23.5	16.1	26.5	19.1	12.0	17.5	19.4	20.7	22.3	23.1
Q 0 6 G. 寸劇などの利用頻度												
平均値	4.21	4.31	4.22	4.09	4.26	4.24	3.97	4.05	4.23	4.13	4.18	4.27
有効回数	867	302	306	241	264	480	114	64	585	198	461	190
1 非常に多い	2.0	1.3	2.0	2.5	3.8	1.0	1.8	1.6	1.4	3.0	2.2	2.1
2 多い	3.8	3.6	2.9	5.0	3.8	4.6	0.0	7.8	4.1	6.1	3.9	3.7
3 どちらともいえない	19.6	16.6	20.9	21.6	13.3	19.2	35.1	21.9	18.8	17.2	20.8	16.8
4 少ない	21.0	19.9	19.9	23.2	21.2	19.6	25.4	21.9	22.1	22.7	19.7	20.0
5 非常に少ない	53.6	58.6	54.2	47.7	58.0	55.6	37.7	46.9	53.7	51.0	53.4	57.4

表1-4 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧 (その5)

	総計	視 聴 量				視 聴 質		利用希望形態				想定相当単位数			
		5週以下		6～11		じっくり	ある程度	全面利用	参考資料	研究材料	図書室で	0単位	1単位	2単位	3以上
		12以上	11	10	9										
Q 0 6 H 講師以外のゲストの登場時間															
平均値	3.59	3.60	3.54	3.65	3.60	3.61	3.54	3.29	3.61	3.62	3.54	3.60	3.58	3.60	3.70
有効回数	918	332	319	248	284	511	113	69	616	209	486	201	147	298	116
1 非常に多い	2.2	3.3	1.6	1.2	2.5	2.2	0.9	2.9	2.1	1.9	2.3	3.0	2.0	1.0	5.2
2 多	15.1	14.5	17.9	12.5	15.5	15.7	11.5	21.7	14.0	16.3	16.7	12.4	12.2	18.5	10.3
3 どちらともいえない	30.1	29.8	28.8	31.0	27.8	28.2	41.6	31.9	29.9	28.2	30.2	30.8	34.7	26.8	25.9
4 少ない	27.0	23.8	28.2	31.0	28.2	27.4	24.8	30.4	29.1	25.4	26.7	29.4	27.9	26.8	26.7
5 非常に少ない	25.6	28.6	23.5	24.2	26.1	26.6	21.2	13.0	25.0	28.2	24.1	24.4	23.1	26.8	31.9
Q 0 6 I 印刷教材を参照する頻度															
平均値	3.40	3.51	3.31	3.35	3.49	3.36	3.26	3.43	3.46	3.08	3.40	3.46	3.58	3.40	3.26
有効回数	937	339	325	253	293	517	116	72	630	219	493	199	150	314	117
1 非常に多い	3.9	5.3	3.1	3.2	5.5	3.7	1.7	1.4	3.3	7.8	4.3	4.0	1.3	4.1	6.0
2 多	14.6	12.4	18.8	12.6	13.0	15.5	16.4	16.7	13.0	22.4	14.8	14.1	7.3	15.0	17.9
3 どちらともいえない	34.6	29.8	32.9	43.1	27.6	36.2	45.7	33.3	34.4	33.8	34.1	32.7	42.0	32.8	29.9
4 少ない	31.6	31.0	34.2	28.1	34.5	30.2	26.7	34.7	32.9	26.0	30.8	30.7	30.7	33.1	35.9
5 非常に少ない	15.3	21.5	11.1	13.0	19.5	14.5	9.5	13.9	16.3	10.0	16.0	18.6	18.7	15.0	10.3
Q 0 6 J 演習問題など利用頻度															
平均値	4.09	4.29	4.08	3.87	4.27	4.05	3.88	3.93	4.15	3.91	4.13	4.17	4.27	4.16	3.91
有効回数	902	324	314	246	270	507	115	68	607	203	474	198	146	295	112
1 非常に多い	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.9
2 多	4.1	3.4	4.1	4.9	3.0	5.1	2.6	4.4	3.3	5.9	4.4	4.0	1.4	3.7	6.3
3 どちらともいえない	24.4	17.6	24.2	32.1	15.9	25.6	37.4	32.4	22.1	29.1	21.5	20.2	21.9	21.0	26.8
4 少ない	29.4	24.4	31.5	33.7	31.9	27.8	29.6	29.4	30.0	31.5	29.5	30.8	24.7	30.8	33.0
5 非常に少ない	42.0	54.3	40.1	29.3	49.3	41.2	30.4	33.8	44.5	33.0	44.3	44.9	52.1	44.4	33.0
Q 0 6 K 講義内容の分量															
平均値	2.68	2.64	2.67	2.76	2.63	2.68	2.79	2.59	2.69	2.57	2.69	2.68	2.75	2.68	2.51
有効回数	952	351	324	258	305	521	116	70	638	221	504	206	149	316	118
1 非常に多い	3.4	5.1	2.5	1.9	3.9	3.1	3.4	7.1	2.4	4.5	2.6	2.9	4.0	2.2	6.8
2 多	29.7	29.9	33.0	26.0	31.1	31.5	20.7	34.3	29.9	37.1	30.8	31.1	22.1	32.3	36.4
3 どちらともいえない	62.4	61.0	59.6	67.4	62.6	60.3	69.0	51.4	63.9	54.8	61.5	61.7	68.5	61.1	55.9
4 少ない	4.2	4.0	4.6	3.9	2.3	4.6	6.9	7.1	3.6	3.6	5.0	3.9	5.4	4.1	0.8
5 非常に少ない	0.3	0.0	0.3	0.8	0.0	0.6	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.5	0.0	0.3	0.0
Q 0 6 L 内容を説明する時間															
平均値	2.57	2.56	2.54	2.62	2.60	2.52	2.72	2.61	2.59	2.54	2.52	2.58	2.67	2.60	2.41
有効回数	948	344	327	257	301	520	116	71	635	220	498	205	150	312	118
1 非常に多い	6.6	9.0	4.9	5.8	9.3	6.2	2.6	9.9	5.4	7.3	8.2	7.8	6.0	2.9	12.7
2 多	40.4	36.3	45.6	39.3	36.2	44.2	35.3	40.8	40.5	43.2	41.6	38.5	32.0	45.2	46.6
3 どちらともいえない	42.8	46.2	40.7	42.0	42.2	41.5	50.0	32.4	44.7	39.5	40.8	42.9	52.0	41.7	30.5
4 少ない	9.1	6.1	8.6	12.5	10.0	7.5	12.1	12.7	8.3	8.6	8.6	9.8	8.7	9.6	7.6
5 非常に少ない	1.1	2.3	0.3	0.4	2.3	0.6	0.0	4.2	1.1	1.4	0.8	1.0	1.3	0.6	2.5

表 1-4 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧 (その6)

総計			視 聴 量			視 聴 質		利用希望形態				想定相当単位数				
			5 週 以下	6 ~ 1 1	1 2 以上	じ ゃ る 程 度	表 面 的	全 面 利 用	参 考 資 料	研 究 材 料	図 書 室 で	0 単 位	1 単 位	2 単 位	3 以上	
Q 0 6	M	視聴者に考えさせる時間	3.66	3.59	3.59	3.61	3.62	3.57	3.67	3.66	3.52	3.61	3.74	3.69	3.66	3.49
1	平 均 値	959	355	326	258	307	525	116	72	639	221	508	206	150	319	120
2	有 効 回 数	0.7	0.8	0.0	0.8	0.7	0.8	0.9	1.4	0.0	1.8	0.8	0.5	0.0	0.3	1.7
3	非 常 に 多 い	7.5	8.5	7.7	6.6	11.1	6.7	2.6	4.2	6.4	11.3	8.3	6.3	4.0	6.6	10.0
4	多 少 ち ら と も い え ない	32.7	27.3	35.0	36.8	26.7	33.1	44.0	36.1	31.9	33.0	31.7	25.7	34.0	30.1	36.7
5	少 ない	48.0	50.1	48.5	44.6	49.8	48.2	44.0	43.1	51.3	41.2	48.0	53.4	50.7	53.0	40.8
	非 常 に 少 ない	11.1	13.2	8.9	11.2	11.7	11.2	8.6	15.3	10.3	12.7	11.2	14.1	11.3	10.0	10.8
Q 0 6	N	息抜き時間	3.67	3.65	3.64	3.68	3.68	3.59	3.66	3.65	3.82	3.60	3.75	3.55	3.73	3.76
1	平 均 値	941	343	321	257	297	517	116	70	630	222	496	204	148	311	115
2	有 効 回 数	0.3	0.6	0.0	0.4	0.7	0.2	0.0	1.4	0.3	0.0	0.4	0.0	0.0	0.3	0.9
3	非 常 に 多 い	3.7	5.0	2.8	3.5	4.0	3.9	2.6	4.3	3.5	0.9	4.4	2.9	3.4	2.3	5.2
4	多 少 ち ら と も い え ない	40.7	39.7	41.4	41.6	41.1	38.9	45.7	41.4	41.4	40.1	44.2	38.7	50.0	38.3	32.2
5	少 ない	39.2	33.8	43.9	40.5	34.7	41.8	41.4	32.9	40.0	35.6	36.3	38.2	35.1	42.8	40.9
	非 常 に 少 ない	16.0	21.0	11.8	14.0	19.5	15.3	10.3	20.0	14.8	23.4	14.7	20.1	11.5	16.4	20.9
Q 0 6	O	1 回の講義時間	2.92	2.89	2.87	2.93	2.92	2.90	2.97	2.94	2.95	2.93	2.84	2.95	2.92	3.01
1	平 均 値	945	346	322	257	300	519	115	70	634	219	498	203	150	313	117
2	有 効 回 数	1.1	0.9	0.9	1.2	1.7	1.0	0.0	1.4	0.5	0.5	0.8	2.0	1.3	1.0	0.0
3	非 常 に 多 い	12.1	7.2	14.3	15.6	11.0	12.3	13.9	11.4	11.4	11.9	11.6	16.3	9.3	12.1	11.1
4	多 少 ち ら と も い え ない	80.8	83.8	79.5	79.0	80.3	80.9	81.7	75.7	82.6	81.3	82.1	77.8	83.3	81.5	77.8
5	少 ない	5.5	7.5	5.0	3.5	6.3	5.2	4.3	11.4	4.9	5.5	5.0	3.4	5.3	5.1	10.3
	非 常 に 少 ない	0.5	0.6	0.3	0.8	0.7	0.6	0.0	0.0	0.6	0.9	0.4	0.5	0.7	0.3	0.9
Q 0 6	P	視聴者に問いかけをする頻度	3.78	3.83	3.74	3.84	3.79	3.59	3.86	3.82	3.75	3.80	3.90	3.84	3.81	3.74
1	平 均 値	954	351	325	258	304	523	116	73	634	221	505	204	148	318	121
2	有 効 回 数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	非 常 に 多 い	4.8	6.6	4.0	3.1	6.6	4.2	3.4	4.1	3.8	5.4	5.5	2.5	2.7	4.7	9.1
4	多 少 ち ら と も い え ない	29.5	25.1	29.2	34.9	24.3	29.4	40.5	27.4	27.6	33.5	25.9	27.9	26.4	26.4	24.0
5	少 ない	48.7	47.0	52.3	46.9	47.4	49.7	49.1	46.6	51.7	42.1	51.1	46.6	54.7	52.5	51.2
	非 常 に 少 ない	17.0	21.4	14.5	15.1	21.7	16.6	6.9	21.9	16.9	19.0	17.4	23.0	16.2	16.4	15.7
Q 0 6	Q	実物資料等の提示頻度	2.97	2.92	2.99	2.89	3.02	2.96	2.92	2.92	2.96	2.94	3.06	2.94	2.97	2.91
1	平 均 値	715	266	245	194	229	397	85	60	497	155	384	159	120	237	76
2	有 効 回 数	4.9	5.6	3.3	5.7	8.7	2.5	5.9	1.7	4.6	7.1	7.0	4.4	3.3	5.9	5.3
3	非 常 に 多 い	31.0	33.8	33.5	25.3	29.7	33.0	27.1	30.0	33.2	34.2	29.9	25.8	31.7	32.1	35.5
4	多 少 ち ら と も い え ない	33.3	31.2	30.6	38.7	34.1	31.7	36.5	48.3	33.4	23.2	32.0	35.2	38.3	30.0	31.6
5	少 ない	23.5	21.4	24.9	24.7	19.2	25.4	25.9	15.0	23.1	26.5	24.0	28.9	20.8	23.2	18.4
	非 常 に 少 ない	7.3	7.9	7.8	5.7	8.3	7.3	4.7	5.0	5.6	9.0	7.0	5.7	5.8	8.9	9.2

表1-4 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧 (その7)

	総計	視 聴 量			視 聴 質	利用希望形態			想定相当単位数							
		5週以下	6～11	12以上		じっくりある程度	全面的利用	参考資料	研究室材料	図書室で	0単位	1単位	2単位	3以上		
Q06 R	事実を証言する証人の登場頻度	3.86	3.92	3.84	3.82	3.91	3.89	3.65	3.69	3.88	3.86	3.82	4.00	3.77	3.92	3.95
1	平均値	888	325	310	234	276	492	110	64	594	203	470	195	143	290	113
2	有効回数	0.9	0.3	1.0	1.3	1.8	0.4	0.0	4.7	0.8	1.0	0.6	0.5	1.4	1.7	0.0
3	非常に多い	5.9	7.1	6.5	3.4	6.5	5.5	5.5	6.3	5.7	7.9	6.8	4.6	3.5	4.5	8.0
4	多い	34.3	32.3	33.2	37.2	29.3	33.9	47.3	34.4	32.2	33.5	34.9	27.7	42.7	30.7	28.3
5	どちらともいえない	24.2	21.2	26.1	27.8	23.2	25.0	24.5	25.0	26.9	19.2	25.1	28.7	21.7	25.9	24.8
6	少ない	34.7	39.1	33.2	30.3	39.1	35.2	22.7	29.7	34.3	38.4	32.6	38.5	30.8	37.2	38.9
7	非常に少ない															
Q06 S	実地見学のシーンの導入頻度	3.37	3.32	3.43	3.38	3.32	3.41	3.38	3.30	3.37	3.47	3.34	3.54	3.38	3.38	3.32
1	平均値	667	257	229	171	209	374	80	60	463	147	361	143	114	224	73
2	有効回数	3.6	4.3	2.6	3.5	4.8	3.2	1.3	3.3	2.8	3.4	5.0	4.2	3.3	4.0	4.1
3	非常に多い	17.4	19.5	16.2	15.8	21.1	15.5	17.5	15.0	18.4	17.7	16.1	9.8	15.8	18.8	23.3
4	多い	35.1	34.2	36.2	35.7	28.7	38.2	36.3	41.7	35.4	31.3	36.3	36.4	34.2	32.6	31.5
5	どちらともいえない	25.8	23.7	25.3	29.2	28.7	22.7	32.5	28.3	25.7	23.8	25.8	27.3	32.5	24.1	19.2
6	少ない	18.1	18.3	19.7	15.8	16.7	20.3	12.5	11.7	17.7	23.8	16.9	22.4	14.0	20.5	21.9
7	非常に少ない															
Q07	上のA～Sの中で、放送教材を改善するために重要と思われる点を選んで下さい (複数回答可)	626	233	216	164	200	342	76	47	413	157	314	137	105	202	82
A.	有効回数 (A) (%)	10.5	6.4	13.0	12.8	7.5	10.5	17.1	2.1	10.9	10.8	9.9	11.7	15.2	10.9	4.9
B.	黒板等の利用 (B) (%)	855	324	291	224	276	467	103	66	575	193	455	184	139	284	109
C.	図版等の利用 (C) (%)	7.4	5.9	8.2	8.5	6.9	7.7	7.8	4.5	7.1	6.7	8.4	6.5	7.9	6.3	9.2
D.	図版等の利用 (D) (%)	17.2	18.8	17.2	14.7	15.9	18.2	15.5	18.2	18.1	14.0	18.5	16.3	23.7	15.8	11.0
E.	図版等の利用 (E) (%)	13.5	10.5	14.8	16.5	14.5	13.1	12.6	9.1	14.6	12.4	13.6	15.2	14.4	10.9	11.9
F.	図版等の利用 (F) (%)	13.9	15.7	12.7	12.5	15.6	13.1	12.6	12.1	15.7	8.8	13.6	15.2	23.7	13.4	8.3
G.	図版等の利用 (G) (%)	17.9	19.4	16.8	16.5	15.6	19.1	18.4	15.2	21.0	11.9	17.8	19.6	19.4	17.6	12.8
H.	図版等の利用 (H) (%)	4.3	2.8	3.1	6.7	3.3	3.9	7.8	4.5	3.0	3.6	4.8	4.3	5.8	2.8	2.8
I.	図版等の利用 (I) (%)	15.8	13.6	18.9	14.7	14.9	16.1	17.5	16.7	16.7	13.0	17.1	11.4	15.1	18.3	20.2
J.	図版等の利用 (J) (%)	15.2	19.1	14.1	9.4	17.8	13.1	18.4	21.2	15.1	15.0	15.4	15.2	12.9	15.8	17.4
K.	図版等の利用 (K) (%)	18.0	17.6	17.2	19.6	20.3	16.9	16.5	13.6	19.5	20.2	17.6	16.3	20.9	16.9	22.0
L.	図版等の利用 (L) (%)	14.5	17.3	13.7	11.2	13.0	16.1	12.6	12.1	14.4	13.0	14.9	16.3	18.0	14.1	16.5
M.	図版等の利用 (M) (%)	18.0	18.5	15.8	20.1	18.8	16.9	21.4	25.8	17.0	16.6	16.9	18.5	23.7	17.6	15.6
N.	図版等の利用 (N) (%)	28.0	25.9	30.9	27.2	30.1	26.6	28.2	33.3	27.3	31.1	29.9	26.6	32.4	31.0	26.6
O.	図版等の利用 (O) (%)	21.6	19.4	21.6	25.0	20.3	23.1	19.4	27.3	19.8	25.9	18.9	25.5	21.6	21.5	22.9
P.	図版等の利用 (P) (%)	9.0	9.3	8.9	8.5	13.4	7.5	4.9	10.6	8.3	10.9	7.5	10.3	8.6	10.2	8.3
Q.	図版等の利用 (Q) (%)	31.3	30.9	34.4	29.0	32.2	30.2	35.9	33.3	31.8	25.4	34.7	25.5	33.1	36.6	31.2
R.	図版等の利用 (R) (%)	16.4	17.0	15.8	17.0	16.3	17.6	12.6	16.7	17.6	11.4	16.7	19.0	13.7	16.2	12.8
S.	図版等の利用 (S) (%)	5.0	4.6	7.2	2.7	3.6	6.0	3.9	7.6	5.2	4.1	4.4	5.4	5.8	5.3	4.6
その他	図版等の利用 (%)	12.9	13.6	13.1	12.1	12.0	13.5	13.6	16.7	13.9	8.3	14.7	10.3	14.4	16.5	11.9
その他	図版等の利用 (%)	22.9	33.0	18.2	13.8	27.2	23.3	8.7	25.8	23.1	25.4	25.5	28.3	23.0	22.5	24.8
Q08	講師は、派手な印象が	3.51	3.48	3.51	3.55	3.52	3.51	3.47	3.58	3.48	3.61	3.50	3.44	3.51	3.54	3.59
1	平均値	963	359	329	255	304	531	117	73	641	226	512	206	149	323	121
2	有効回数	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	0.0	0.0	0.0
3	非常に強い	2.6	3.3	2.1	2.0	3.0	2.8	0.9	0.0	3.1	1.8	2.5	1.9	4.0	2.5	1.7
4	強い	52.8	55.2	51.1	53.3	51.6	52.7	58.1	52.1	53.7	49.1	53.5	59.2	49.0	49.5	52.1
5	どちらともいえない	34.9	31.8	39.2	32.5	35.5	34.8	30.8	38.4	35.1	35.8	34.4	29.6	38.9	39.3	32.2
6	弱い	9.7	9.7	7.3	12.2	9.9	9.6	9.4	9.6	8.1	13.3	9.4	8.7	8.1	8.7	14.0
7	非常に弱い															

表1-4 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧（その8）

	総計	視 聴 量			視 聴 質		利用希望形態					想定相当単位数				
		5週以下	6～11	12以上	じっくりある程度	表面的	全面利用	参考資料	研究材料	図書で望む	0単位	1単位	2単位	3以上		
Q 0 8 B 講師は、清潔な印象が																
1	平均値	2.27	2.20	2.27	2.37	2.15	2.31	2.42	2.16	2.26	2.19	2.23	2.36	2.25	2.22	2.22
2	有効回数に強い	970	362	330	258	308	534	117	74	665	226	517	208	150	325	121
3	非常に強い	9.3	12.4	8.8	6.2	13.6	7.9	5.1	10.8	8.4	12.8	9.9	7.7	7.3	10.8	11.6
4	強い	55.8	56.4	56.4	53.1	59.4	54.7	49.6	66.2	58.0	55.8	58.6	51.9	62.0	56.9	56.2
5	どちらともいえない	33.9	30.4	33.9	39.1	25.6	36.7	43.6	20.3	33.3	31.0	30.2	38.0	29.3	31.7	31.4
6	弱い	0.8	0.8	0.9	0.8	1.0	0.6	1.7	1.4	0.3	0.4	1.0	1.9	1.3	0.6	0.0
7	非常に弱い	0.2	0.0	0.0	0.8	0.3	0.2	0.0	1.4	0.0	0.0	0.4	0.5	0.0	0.0	0.8
Q 0 8 C 講師は、活動的な印象が																
1	平均値	2.86	2.77	2.88	2.95	2.77	2.87	2.98	2.59	2.84	2.75	2.82	2.90	2.85	2.90	2.75
2	有効回数に強い	967	360	330	257	306	533	117	74	643	225	515	208	150	323	120
3	非常に強い	3.4	4.2	1.8	4.7	5.2	2.6	2.6	9.5	2.8	5.8	4.7	1.0	2.7	1.9	7.5
4	強い	26.6	29.2	27.6	20.2	28.8	27.2	16.2	36.5	28.5	29.8	27.8	28.4	30.0	26.0	30.0
5	どちらともいえない	53.2	53.9	53.6	52.9	51.3	52.7	62.4	41.9	52.1	49.3	50.3	54.3	48.7	54.2	43.3
6	弱い	14.8	11.4	14.8	19.5	13.1	15.0	17.9	9.5	15.1	14.2	15.5	12.5	16.7	16.1	18.3
7	非常に弱い	2.1	1.4	2.1	2.7	1.6	2.4	0.9	2.7	1.6	0.9	1.7	3.8	2.0	1.9	0.8
Q 0 8 D 講師は、親しみやすいという印象が																
1	平均値	2.55	2.43	2.58	2.69	2.40	2.63	2.64	2.27	2.52	2.53	2.53	2.70	2.51	2.50	2.52
2	有効回数に強い	969	360	330	259	307	534	117	74	644	225	516	207	150	325	120
3	非常に強い	7.3	8.1	6.4	7.7	11.1	5.8	4.3	16.2	6.8	9.3	7.0	4.8	4.7	9.2	10.0
4	強い	44.5	50.8	43.6	36.7	48.9	42.7	40.2	52.7	47.7	41.3	47.1	39.6	53.3	46.5	41.7
5	どちらともいえない	35.0	31.9	36.1	37.1	29.6	36.1	44.4	18.9	32.8	36.4	33.3	39.1	29.3	30.5	35.0
6	弱い	11.9	8.6	13.0	15.4	9.8	13.7	9.4	12.2	11.8	12.4	11.4	14.0	11.3	12.9	12.5
7	非常に弱い	1.3	0.6	0.9	3.1	0.7	1.7	1.7	0.0	0.9	0.4	1.2	2.4	1.3	0.9	0.8
Q 0 8 E 講師は、暖かいという印象が																
1	平均値	2.51	2.38	2.51	2.68	2.37	2.56	2.62	2.42	2.46	2.53	2.49	2.63	2.42	2.46	2.54
2	有効回数に強い	968	360	330	258	307	533	117	74	644	225	516	208	150	323	120
3	非常に強い	7.4	9.2	7.0	6.2	12.1	5.6	4.3	10.8	6.5	10.2	7.0	3.8	7.3	8.7	10.0
4	強い	44.0	50.3	42.4	37.2	46.9	43.5	38.5	48.6	48.1	36.4	47.1	39.9	50.0	47.4	37.5
5	どちらともいえない	39.7	35.0	43.0	41.1	33.6	40.9	48.7	29.7	38.2	44.4	37.2	47.1	36.0	34.4	40.8
6	弱い	8.1	4.7	7.6	13.6	6.8	9.0	7.7	9.5	6.7	8.0	7.8	7.2	6.7	8.7	11.7
7	非常に弱い	0.8	0.8	0.0	1.9	0.7	0.9	0.9	1.4	0.5	0.9	1.0	1.9	0.0	0.9	0.0
Q 0 8 F 講師は、厳しいという印象が																
1	平均値	3.15	3.13	3.18	3.13	3.13	3.16	3.13	3.12	3.18	3.07	3.16	3.21	3.15	3.19	3.08
2	有効回数に強い	965	360	330	255	304	533	117	74	641	225	514	207	150	324	119
3	非常に強い	1.2	2.2	0.3	1.2	3.0	0.6	0.0	1.4	0.8	1.3	1.6	0.5	0.0	0.3	2.5
4	強い	11.4	12.2	10.9	11.0	10.2	12.9	8.5	18.9	11.7	16.4	10.5	10.1	10.0	9.3	21.0
5	どちらともいえない	61.7	57.2	63.0	66.7	61.8	58.9	73.5	55.4	59.0	60.0	61.5	61.8	66.7	64.5	45.4
6	弱い	22.3	26.7	22.4	15.7	20.4	20.5	14.5	14.9	26.1	18.7	23.2	22.7	21.3	22.5	27.7
7	非常に弱い	3.4	1.7	3.3	5.5	4.6	2.6	3.4	9.5	2.5	3.6	3.3	4.4	2.0	3.4	3.4

表1-4 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧 (その9)

	総計	視 聴 量			視 聴 質	利用希望形態			想定相当単位数					
		5週 以下	6～ 11	12 以上		全面 利用	参考 資料	研究 材料	図書 図書で	0 単位	1 単位	2 単位	3 以上	
Q08	G 講師は、緊張しているという印象が強い	3.18 965 1.2 16.3 51.7 25.3 5.5	3.16 359 1.4 15.0 53.8 25.3 4.5	3.22 330 1.2 19.5 49.1 28.8 5.5	3.13 256 1.2 15.5 51.6 7.0	3.19 304 2.0 19.4 45.1 25.0 8.6	3.18 533 0.9 14.8 53.8 26.3 4.1	3.11 117 0.9 15.4 59.8 19.7 4.3	3.23 73 0.0 23.3 41.1 24.7 11.0	3.25 224 0.4 13.8 54.9 21.9 8.9	3.17 208 1.4 13.9 54.8 26.0 3.8	3.28 150 0.0 11.3 56.0 26.0 6.7	3.12 324 1.2 19.1 50.0 25.3 4.3	3.22 120 2.5 17.5 44.2 26.7 9.2
Q08	H 講師の講義の進め方は、話すスピードが速いという印象が強い	3.22 968 8.8 60.0 27.9 2.5	3.20 359 10.0 58.8 26.7 3.1	3.26 330 0.6 7.9 58.2 31.2 2.1	3.21 259 0.4 8.1 63.7 25.9 1.9	3.21 306 1.3 10.1 58.2 26.8 3.6	3.23 533 0.6 8.3 60.6 28.7 1.9	3.21 118 0.8 8.5 61.0 28.0 1.7	3.20 74 2.7 8.1 58.1 28.4 2.7	3.25 206 0.5 7.8 60.7 28.6 2.4	3.26 150 0.7 4.7 65.3 26.7 2.7	3.23 324 1.2 10.2 54.6 32.1 1.9	3.15 120 0.8 12.5 60.8 22.3 3.3	
Q08	I 講師の講義の進め方は、話し方が明瞭であるという印象が強い	2.41 969 7.4 51.0 34.5 7.0 0.1	2.44 360 10.8 49.7 33.9 5.3 0.3	2.45 331 5.4 52.3 34.4 7.9 0.0	2.47 258 5.8 50.0 36.0 8.1 0.0	2.35 307 11.7 48.2 33.6 6.2 0.3	2.42 533 6.2 53.7 35.3 7.9 0.0	2.54 118 2.5 45.8 46.6 5.1 0.0	2.42 73 9.6 47.9 32.9 9.6 0.0	2.42 208 5.8 44.7 41.3 8.2 0.0	2.46 150 5.3 52.7 32.7 9.3 0.0	2.40 325 7.1 52.0 34.5 6.5 0.0	2.38 118 12.7 48.3 28.0 10.2 0.8	
Q08	J 講師の講義の進め方は、言葉遣いが堅いという印象が強い	3.03 971 1.4 21.7 52.3 21.8 2.7	3.11 360 1.1 19.2 51.1 25.3 3.3	3.00 331 2.1 20.5 55.0 19.9 2.4	2.95 260 1.2 26.9 50.4 19.2 2.3	3.11 307 1.6 18.9 50.5 25.1 3.9	3.01 535 1.3 23.0 51.8 21.7 2.2	2.92 118 0.8 24.6 58.5 14.4 1.7	2.93 74 2.7 18.9 62.2 14.9 1.4	3.04 644 1.7 20.8 51.6 23.8 2.2	3.05 207 1.4 23.2 53.1 22.7 1.9	3.03 325 1.2 22.2 51.4 22.8 3.3	3.02 121 1.7 23.1 49.6 22.3 3.3	
Q08	K 講師の講義の進め方は、間の取り方がよいという印象が強い	2.77 972 3.9 30.3 51.4 13.8 0.5	2.70 361 5.8 32.1 47.9 13.0 1.1	2.77 331 2.7 30.5 54.4 12.1 0.3	2.84 260 2.7 27.7 52.7 16.9 0.0	2.70 309 8.4 28.5 48.9 13.6 0.6	2.78 534 1.9 32.4 52.1 13.3 0.4	2.91 118 1.7 24.6 55.9 16.9 0.8	2.78 74 5.4 25.7 55.4 12.2 1.4	2.73 646 4.2 32.0 50.9 10.4 0.5	2.77 208 2.9 24.5 60.1 12.0 0.5	2.77 325 4.0 26.7 57.3 48.6 0.0	2.73 121 38.8 36.4 18.2 1.7	

表1-4 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧 (その10)

視 聴 量				視 聴 質		利用希望形態			想定相当単位数					
総計		5週以下	6～11	12以上	じっくり	ある程度	全面的利用	参考資料	研究材料	図書で	0単位	1単位	2単位	3以上
Q 0 8 L 講師の講義の進め方は、表現力が豊かであるという印象が														
Q 0 8	2.82	2.75	2.82	2.93	2.74	2.85	2.90	2.77	2.79	2.69	2.77	2.89	2.77	2.84
平	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均
有	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効
1	3.9	3.9	3.3	3.1	3.10	3.0	0.9	5.4	4.5	5.3	4.3	2.4	3.3	4.9
2	28.1	30.4	28.7	24.7	30.0	28.3	23.3	29.7	29.2	35.4	31.9	27.5	30.0	28.4
3	51.1	49.2	52.3	51.7	46.8	51.3	62.1	48.6	50.4	46.0	47.6	50.7	53.3	46.3
4	15.3	14.9	14.5	17.4	15.8	15.4	12.9	14.9	15.1	11.9	14.9	16.9	13.3	18.8
5	1.5	0.3	1.2	3.1	0.6	2.1	0.9	1.4	0.8	1.3	1.4	2.4	0.0	1.5
Q 0 8 M 講師の講義の進め方は、ユーモアがあるという印象が														
Q 0 8	3.40	3.32	3.39	3.51	3.37	3.41	3.42	3.32	3.38	3.36	3.39	3.43	3.31	3.40
平	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均
有	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効
1	8.9	8.9	9.4	7.7	9.7	9.0	5.1	12.2	9.1	8.8	9.1	6.8	10.0	9.6
2	46.7	52.6	44.5	41.5	45.3	46.2	53.4	50.0	47.1	49.6	46.4	46.9	48.0	43.2
3	36.8	32.7	40.0	38.5	37.2	36.8	35.6	25.7	37.2	33.2	35.7	39.1	37.3	38.3
4	6.8	5.0	5.2	11.2	6.1	7.3	5.9	10.8	5.7	7.1	7.6	6.3	3.3	7.4
5														
Q 0 8 N 講師の講義の進め方は、説得力があるという印象が														
Q 0 8	2.55	2.51	2.52	2.62	2.41	2.58	2.70	2.45	2.52	2.41	2.51	2.71	2.58	2.51
平	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均
有	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効
1	5.5	6.6	4.5	5.0	10.6	3.4	1.7	10.8	6.2	6.2	6.2	3.8	3.3	7.4
2	45.4	44.2	48.8	43.5	44.2	47.5	39.8	39.2	45.2	55.8	46.5	36.5	46.0	43.7
3	38.8	40.9	36.7	38.5	38.4	37.7	44.9	44.6	39.9	30.1	37.6	46.2	40.0	50.0
4	9.7	8.0	10.0	11.2	6.8	10.3	13.6	5.4	8.2	7.1	9.3	11.5	10.7	8.0
5	0.7	0.3	0.0	1.9	0.0	1.1	0.0	0.0	0.5	0.9	0.4	1.9	0.0	0.6
Q 0 8 O 講師の講義の進め方は、わかりやすいという印象が														
Q 0 8	2.44	2.40	2.44	2.49	2.33	2.46	2.60	2.35	2.40	2.39	2.40	2.59	2.49	2.38
平	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均
有	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効
1	972	362	331	259	310	533	118	74	647	225	517	208	150	324
2	51.9	52.5	53.8	49.4	49.4	54.8	46.6	45.9	53.9	53.8	53.2	47.1	48.7	52.8
3	32.5	31.2	32.3	33.2	30.0	31.3	42.4	36.5	32.1	32.9	31.1	35.6	38.0	30.9
4	8.3	8.0	8.5	8.9	7.4	8.8	8.5	5.4	6.8	5.8	7.2	11.5	8.0	7.4
5	0.5	0.3	0.0	1.5	0.3	0.6	0.8	0.0	0.5	0.4	0.8	1.4	0.0	0.3
Q 0 8 P 講師の講義の進め方は、話術が巧みであるという印象が														
Q 0 8	2.90	2.89	2.85	2.98	2.85	2.90	3.00	2.76	2.88	2.85	2.90	2.98	2.90	2.86
平	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均
有	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効	効
1	972	362	331	259	310	533	118	74	647	225	517	208	150	324
2	4.1	3.9	3.9	4.6	6.8	3.0	2.5	8.1	4.3	4.0	4.3	4.3	4.0	5.6
3	21.2	22.9	24.5	15.1	20.6	22.5	16.9	24.3	21.9	22.7	21.1	16.3	18.7	23.1
4	56.3	54.4	55.0	59.8	54.2	56.7	59.3	52.7	56.0	58.2	56.3	58.2	61.3	57.2
5	17.3	17.7	16.0	18.9	17.1	16.9	20.3	13.5	16.7	14.7	17.2	19.2	15.3	17.9
	1.1	1.1	0.6	1.5	1.3	0.9	0.8	1.4	1.1	0.4	1.2	1.9	0.7	1.2

表1-4 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧 (その11)

	総計	視 聴 量			視 聴 質		利用希望形態			想定相当単位数					
		5週以下	6～11	12以上	じっくり	ある程度	全面的	参考資料	研究材料	図書で	0単位	1単位	2単位	3以上	
Q08 Q 講師の講義の進め方は、まわりくどい話し方という印象が															
1 有効回数強い	3.45	3.51	3.43	3.40	3.52	3.46	3.23	3.53	3.47	3.60	3.49	3.44	3.50	3.44	3.48
2 有効回数強い	970	361	331	258	308	533	118	74	644	226	515	207	150	324	121
3 有効回数強い	0.5	0.3	0.6	0.4	1.0	0.2	0.8	0.0	0.5	0.0	0.4	0.5	0.0	0.3	1.7
4 有効回数強い	6.7	6.4	7.3	6.6	7.1	6.4	6.8	9.5	6.1	4.4	6.4	4.8	6.7	7.7	8.3
5 有効回数強い	47.7	43.5	46.2	55.0	41.6	47.7	63.6	36.5	46.7	44.7	45.4	52.7	46.0	45.7	40.5
6 有効回数強い	37.5	41.6	40.5	28.7	39.6	39.0	26.3	45.9	39.3	37.2	39.8	34.3	38.0	40.1	39.7
7 有効回数強い	7.5	8.3	5.4	9.3	10.7	6.8	2.5	8.1	7.5	13.7	8.0	7.7	9.3	6.2	9.9
Q08 R 講師の講義の進め方は、すっきりした話し方という印象が															
1 有効回数強い	2.54	2.49	2.51	2.63	2.45	2.54	2.75	2.41	2.51	2.37	2.50	2.63	2.62	2.52	2.45
2 有効回数強い	972	362	331	259	310	533	118	74	646	226	517	208	150	324	121
3 有効回数強い	6.7	7.5	6.6	5.8	10.3	5.8	1.7	9.5	6.7	7.5	7.4	5.3	6.0	6.8	11.6
4 有効回数強い	43.7	46.1	44.7	39.4	44.5	45.2	34.7	48.6	46.0	54.9	45.6	38.9	39.3	44.8	44.6
5 有効回数強い	39.4	36.5	39.9	42.5	35.8	39.0	50.0	33.8	37.5	31.0	36.8	45.2	41.3	38.9	31.4
6 有効回数強い	9.7	9.4	8.8	11.2	8.7	9.4	13.6	8.1	9.8	6.6	9.7	9.1	13.3	9.3	11.6
7 有効回数強い	0.5	0.6	0.0	1.2	0.6	0.6	0.0	0.0	0.2	0.0	0.6	1.4	0.0	0.3	0.8
Q08 S 講師の講義の進め方は、素材の提示の仕方が適切という印象が															
1 有効回数強い	2.55	2.50	2.55	2.60	2.40	2.59	2.73	2.30	2.49	2.46	2.53	2.70	2.65	2.49	2.46
2 有効回数強い	971	362	331	258	310	533	117	74	647	224	516	207	150	324	122
3 有効回数強い	6.3	7.7	4.5	7.0	11.9	3.9	2.6	10.8	4.8	9.8	7.4	5.3	4.0	6.5	8.2
4 有効回数強い	42.9	46.1	44.1	37.6	46.5	43.9	30.8	58.1	45.4	42.0	42.4	34.8	38.0	49.1	42.6
5 有効回数強い	40.9	35.1	43.5	44.6	31.9	42.0	58.1	23.0	40.0	41.5	40.9	45.9	47.3	34.0	44.3
6 有効回数強い	9.3	10.2	7.6	10.5	9.4	9.4	8.5	6.8	7.7	6.3	8.7	13.0	10.0	9.9	4.9
7 有効回数強い	0.6	0.8	0.3	0.4	0.3	0.8	0.0	1.4	0.0	0.4	0.6	1.0	0.7	0.6	0.0
Q09 視聴された放送教材を改善するために重要と思われる点を下さい (複数回答可)。															
A. 有効回数強い	595	214	204	163	190	324	72	40	389	146	296	135	95	189	81
B. 有効回数強い	1.5	0.9	2.5	1.2	2.6	1.2	0.0	0.0	2.1	2.7	1.7	2.2	1.1	1.1	0.0
C. 有効回数強い	813	301	274	221	263	442	98	59	545	181	426	181	126	269	106
D. 有効回数強い	3.8	4.0	2.9	4.5	5.3	3.4	1.0	5.1	4.0	3.9	4.0	5.0	4.8	4.1	0.0
E. 有効回数強い	12.7	9.3	14.6	14.9	11.8	12.4	16.3	8.5	13.6	11.6	14.8	13.8	19.0	12.3	8.5
F. 有効回数強い	23.2	19.9	24.8	26.7	19.4	24.7	28.6	27.1	22.6	24.3	23.2	24.3	20.6	24.2	25.5
G. 有効回数強い	8.2	7.3	5.8	11.3	9.9	5.4	14.3	13.6	9.2	8.8	8.5	8.8	11.9	8.6	6.6
H. 有効回数強い	2.3	2.7	1.8	2.3	2.3	1.6	5.1	10.2	2.4	2.2	1.2	1.1	4.0	2.2	2.8
I. 有効回数強い	9.6	12.6	9.1	6.3	9.5	9.3	11.2	10.2	9.9	10.5	8.5	6.1	7.9	10.4	14.2
J. 有効回数強い	16.5	15.3	16.1	18.1	14.8	17.4	16.3	11.9	15.4	17.1	17.4	13.8	17.5	17.1	19.8
K. 有効回数強い	15.0	12.3	12.4	22.2	16.3	13.3	18.4	18.6	16.7	15.5	15.5	13.3	19.0	15.2	15.1
L. 有効回数強い	11.3	12.6	10.9	10.4	9.9	12.0	12.2	15.3	13.2	9.9	12.7	9.4	14.3	12.3	13.2
M. 有効回数強い	17.7	18.3	16.4	19.0	17.9	18.3	16.3	6.8	17.2	24.3	18.5	17.1	14.3	17.1	25.5
N. 有効回数強い	19.3	22.3	17.2	18.1	21.7	17.6	18.4	25.4	19.3	18.8	19.7	18.8	22.2	20.1	17.9
O. 有効回数強い	38.4	33.9	44.9	34.8	33.1	38.7	49.0	42.4	37.1	39.2	41.3	33.7	38.1	40.9	35.8
P. 有効回数強い	17.0	16.3	16.1	19.0	16.0	15.8	25.5	22.0	17.4	12.7	16.7	20.4	19.8	15.2	14.2
Q. 有効回数強い	21.2	19.9	19.3	26.2	20.5	21.3	24.5	15.3	21.1	23.8	20.4	27.6	20.6	20.1	14.2
R. 有効回数強い	17.0	16.6	19.3	14.5	16.0	17.2	18.4	11.9	17.4	14.9	18.8	18.2	18.3	17.5	15.1
S. 有効回数強い	5.9	7.0	6.6	3.6	8.0	4.5	7.1	5.1	6.6	2.2	5.6	5.0	6.3	4.8	11.3
X. 有効回数強い	8.7	10.3	7.3	9.0	10.3	8.4	6.1	8.5	8.8	7.2	8.7	10.5	8.7	8.6	7.5
適切性	21.8	23.9	20.1	22.2	23.6	21.3	19.4	18.6	23.1	19.3	21.6	22.7	23.8	21.9	16.0
適切性	14.5	20.3	12.0	8.6	18.3	13.3	8.2	15.3	15.0	16.6	13.4	17.1	16.7	14.9	10.4

表1-4 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧 (その12)

	総計	視 聴 量			視 聴 質	利用希望形態				想定相当単位数					
		5週以下	6～11	12以上		全面利用	参考資料	研究材料	図書で	0単位	1単位	2単位	3以上		
Q10 1 扱っている内容の範囲は適切である															
1 平均値	2.15	2.14	2.13	2.20	1.98	2.20	2.39	1.86	2.10	1.98	2.11	2.35	2.32	2.03	1.92
2 有効回数	963	356	326	261	304	529	119	72	644	226	506	207	150	319	119
3 有効回数に思う (%)	20.8	26.1	19.0	16.9	33.9	15.3	12.6	36.1	22.0	30.5	22.1	14.0	14.7	25.4	29.4
4 どちやそちやと思う	53.1	47.5	57.7	53.3	45.4	59.4	42.9	50.0	55.1	50.4	53.0	51.7	51.3	56.1	52.1
5 どちやそちやと思うでもない	17.2	13.8	15.6	24.1	10.9	16.4	37.0	5.6	14.4	11.1	17.2	20.8	21.3	10.7	15.1
6 非常に思う	8.1	11.8	6.7	5.0	8.6	8.1	7.6	8.3	7.9	6.2	7.5	12.6	12.7	6.3	3.4
7 非常に思うでもない	0.8	0.8	0.9	0.8	1.3	0.8	0.0	0.0	0.5	1.8	0.2	1.0	0.0	1.6	0.0
Q10 2 内容が専門的である															
1 平均値	2.70	2.68	2.73	2.71	2.70	2.70	2.75	2.49	2.73	2.42	2.73	2.61	2.81	2.78	2.58
2 有効回数	965	355	328	262	302	533	119	71	646	226	508	208	150	319	119
3 有効回数に思う (%)	9.1	9.9	7.9	9.9	10.3	9.4	5.9	16.9	8.2	18.6	9.3	10.1	6.0	7.5	14.3
4 どちやそちやと思う	34.6	35.8	34.8	32.4	37.4	33.8	31.1	36.6	34.8	38.9	34.3	38.0	34.7	36.1	33.6
5 どちやそちやと思うでもない	36.1	34.4	35.7	38.5	30.1	37.0	47.1	29.6	35.8	27.0	34.6	36.1	35.3	32.3	33.6
6 非常に思う	17.1	16.9	19.2	14.9	16.9	17.6	14.3	14.1	18.1	12.8	18.1	13.0	24.7	19.1	16.8
7 非常に思うでもない	3.1	3.1	2.4	4.2	5.3	2.3	1.7	2.8	3.1	2.7	3.7	2.9	1.3	5.0	1.7
Q10 3 単位数にふさわしい内容である															
1 平均値	2.40	2.38	2.48	2.35	2.27	2.43	2.58	2.09	2.35	2.23	2.33	2.64	2.52	2.22	2.22
2 有効回数	946	325	256	235	295	524	116	69	636	223	497	207	148	312	116
3 有効回数に思う (%)	13.3	18.2	12.3	8.6	19.0	12.2	5.2	26.1	12.9	21.5	15.5	6.8	11.5	17.6	20.7
4 どちやそちやと思う	42.2	39.9	44.3	41.8	43.7	42.4	36.2	46.4	46.7	40.8	42.5	36.7	37.2	47.1	47.7
5 どちやそちやと思うでもない	37.0	31.8	36.9	43.8	30.2	36.6	55.2	21.7	33.5	32.3	35.6	44.9	39.9	31.4	25.9
6 非常に思う	6.6	8.7	5.8	5.1	5.4	8.2	2.6	4.3	6.4	4.0	6.2	9.2	10.8	3.2	6.9
7 非常に思うでもない	1.0	1.4	0.6	0.8	1.7	0.6	0.9	1.4	0.5	1.3	0.2	2.4	0.7	0.6	0.9
Q10 4 面白い番組である															
1 平均値	2.45	2.31	2.47	2.58	2.17	2.55	2.66	1.94	2.40	2.31	2.40	2.57	2.47	2.37	2.36
2 有効回数	963	353	327	263	300	533	119	71	646	226	507	207	150	318	119
3 有効回数に思う (%)	14.8	21.0	13.1	9.5	25.0	10.9	8.4	33.8	14.6	18.1	16.6	9.7	15.3	19.5	15.1
4 どちやそちやと思う	41.3	39.9	42.5	41.4	42.3	42.0	34.5	39.4	43.0	45.1	42.0	42.0	38.0	38.7	47.1
5 どちやそちやと思うでもない	29.8	26.6	30.3	33.1	24.0	30.2	42.0	25.4	31.1	26.5	27.2	32.4	32.7	28.9	25.2
6 非常に思う	12.4	12.2	11.9	13.7	7.7	15.0	13.4	1.4	10.5	8.4	12.8	14.0	12.7	11.0	11.8
7 非常に思うでもない	1.7	0.3	2.1	2.3	1.0	1.9	1.7	0.0	0.8	1.8	1.4	1.9	1.3	1.9	0.8
Q10 5 役に立つ番組である															
1 平均値	2.04	1.94	2.07	2.13	1.80	2.12	2.24	1.68	1.99	1.84	1.99	2.19	2.08	1.94	1.92
2 有効回数	963	353	327	263	301	532	119	72	644	226	507	207	150	318	120
3 有効回数に思う (%)	23.1	29.7	19.6	19.4	34.6	19.0	13.4	43.1	23.9	34.1	24.5	15.5	21.3	27.7	28.3
4 どちやそちやと思う	54.2	50.1	59.0	52.9	52.2	56.0	51.3	47.2	56.1	50.9	55.2	56.0	53.3	54.4	53.3
5 どちやそちやと思うでもない	18.7	17.0	16.8	24.0	11.6	19.5	32.8	8.3	16.8	12.4	17.8	22.2	21.3	14.8	16.7
6 非常に思う	3.6	2.8	4.3	3.0	1.7	4.7	2.5	1.4	3.3	2.2	2.4	6.3	4.0	2.5	1.7
7 非常に思うでもない	0.4	0.3	0.3	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2	0.0	0.0	0.6	0.0

表1-4 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧（その13）

		総計	視 聴 量			視 聴 質	利用希望形態				想定相当単位数				
			5週 以下	6～ 11	12 以上		全 面 利 用	参 考 資 料	研 究 材 料	図 書 室 で	0 単 位	1 単 位	2 単 位	3 以 上	
Q10	6. わかりやすい番組である	2.44	2.39	2.39	2.54	2.31	2.46	2.66	2.38	2.52	2.39	2.57	2.51	2.33	2.50
1	有効回数	960	352	326	262	299	531	119	72	225	505	206	150	317	118
2	有効回数	11.9	14.5	12.3	8.8	19.7	8.5	8.4	18.1	12.1	12.5	7.8	12.0	15.8	10.2
3	有効回数	47.3	46.3	50.3	44.7	45.2	51.0	34.5	45.8	43.6	45.9	47.1	41.3	47.0	48.3
4	有効回数	27.4	25.9	25.2	31.7	21.7	27.5	41.2	22.2	25.9	26.2	27.7	32.0	27.4	24.6
5	有効回数	12.0	12.2	10.7	13.4	11.4	11.7	15.1	8.3	10.5	14.7	15.5	13.3	8.2	15.3
6	有効回数	1.5	1.1	1.5	1.5	2.0	1.3	0.8	5.6	0.9	3.1	1.9	1.3	1.6	1.7
Q10	7. 講義の概要が最初に適切に示されている	2.40	2.33	2.44	2.44	2.32	2.42	2.53	2.17	2.38	2.34	2.59	2.41	2.33	2.30
1	有効回数	959	350	327	262	298	531	119	71	226	504	206	150	316	118
2	有効回数	14.2	17.7	12.8	11.8	23.2	10.4	10.1	26.8	16.6	16.1	10.2	11.3	16.8	20.3
3	有効回数	43.6	43.7	42.2	44.7	36.2	48.6	37.8	36.6	44.2	44.7	41.3	46.7	43.7	41.5
4	有効回数	30.8	27.1	33.3	33.2	26.8	30.7	41.2	29.6	30.3	27.9	30.1	31.3	30.4	26.3
5	有効回数	10.7	11.1	11.3	8.8	13.1	9.4	10.9	7.0	10.6	9.3	16.0	10.7	8.5	11.9
6	有効回数	0.7	0.3	0.3	1.5	0.7	0.9	0.0	0.0	0.3	1.3	2.4	0.0	0.6	0.0
Q10	8. まとめが要所で適切になされている	2.44	2.28	2.49	2.56	2.30	2.46	2.61	2.17	2.42	2.31	2.56	2.39	2.45	2.28
1	有効回数	960	351	327	262	299	531	119	71	226	505	207	150	316	118
2	有効回数	12.1	17.4	9.2	9.2	20.1	8.9	7.6	23.9	11.8	14.6	9.2	9.3	12.7	20.3
3	有効回数	43.8	46.7	43.7	40.1	40.8	47.1	37.8	40.8	44.3	48.7	41.5	51.3	41.5	43.2
4	有効回数	33.6	27.4	37.0	38.2	28.8	34.1	42.0	29.6	34.2	27.9	35.3	30.0	34.8	25.4
5	有効回数	9.6	7.7	9.5	11.1	9.4	9.0	11.8	5.6	9.2	8.8	12.1	9.3	10.1	10.2
6	有効回数	0.9	0.9	0.6	1.5	1.0	0.9	0.8	0.0	0.5	0.0	1.9	0.0	0.9	0.8
Q10	9. 重要なポイントがよくわかる	2.48	2.40	2.47	2.57	2.38	2.50	2.64	2.18	2.48	2.34	2.63	2.47	2.44	2.35
1	有効回数	963	353	327	263	300	533	119	71	226	506	208	150	318	118
2	有効回数	12.5	16.1	10.1	11.4	20.0	9.4	8.4	23.9	11.8	16.8	9.1	12.0	13.5	16.9
3	有効回数	40.9	42.5	43.4	35.4	40.0	43.5	31.9	42.3	41.1	43.8	42.3	40.0	40.3	41.5
4	有効回数	34.0	28.3	36.1	38.8	23.7	36.2	47.9	26.8	35.3	29.2	29.3	37.3	34.9	31.4
5	有効回数	11.6	11.3	10.1	13.3	15.0	9.9	10.9	5.6	11.2	9.3	15.4	10.7	11.0	10.2
6	有効回数	1.0	1.7	0.3	1.1	1.3	0.9	0.8	1.4	0.6	0.9	3.8	0.0	0.3	0.0
Q10	10. 講義の流れに適切な緩急のリズムがある	2.96	2.85	3.00	3.05	2.89	2.99	3.00	2.69	2.95	2.92	3.11	2.85	2.95	2.99
1	有効回数	963	352	329	262	302	531	119	71	226	507	207	150	317	120
2	有効回数	5.1	8.0	2.7	4.6	8.9	3.6	2.5	9.9	5.6	6.2	2.4	6.7	5.0	6.7
3	有効回数	22.6	24.4	24.0	18.3	22.5	23.5	18.5	35.2	22.0	24.3	20.8	25.3	24.6	22.5
4	有効回数	45.9	45.7	45.6	47.3	42.1	46.0	56.3	35.2	47.3	42.5	43.5	45.3	45.1	38.3
5	有効回数	23.7	18.8	25.8	26.7	23.5	23.9	21.8	15.5	22.5	24.8	30.0	22.0	20.8	30.0
6	有効回数	2.7	3.1	1.8	3.1	3.0	3.0	0.8	4.2	2.6	2.2	3.4	0.7	4.4	2.5

表1-4 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧 (その15)

	総計	視 聴 量			視 聴 質	利用希望形態			想定相当単位数						
		5週以下	6～11	12以上		全面利用	参考資料	研究室図書	0単位	1単位	2単位	3以上			
Q10 16. 利用メディアの特性が活かされている															
1 平均値	2.74	2.67	2.74	2.85	2.61	2.81	2.79	2.44	2.71	2.68	2.69	2.84	2.78	2.70	2.90
2 有効回答数	961	355	329	257	301	530	119	72	642	224	508	206	150	321	118
3 有効に思う	8.8	11.3	8.2	6.6	15.6	6.2	4.2	19.4	9.5	8.5	9.4	5.3	6.0	11.8	7.6
4 有効に思う	36.7	38.9	36.5	33.1	35.9	37.5	33.6	40.3	35.8	40.2	40.6	35.9	39.3	35.8	32.2
5 有効に思う	31.1	26.2	33.1	35.4	25.2	32.3	42.0	20.8	33.0	29.9	26.8	33.0	30.0	28.3	31.4
6 有効に思う	18.0	18.9	17.3	18.3	18.3	17.4	19.3	15.3	17.3	17.9	17.7	20.9	20.0	18.1	20.3
7 有効に思う	5.3	4.8	4.9	6.6	5.0	6.6	0.8	4.2	4.4	3.6	5.5	4.9	4.7	5.9	8.3
Q10 17. 視聴者への問いかけが適切である															
1 平均値	3.15	3.10	3.17	3.19	3.11	3.18	3.13	3.08	3.16	3.05	3.11	3.29	3.17	3.16	3.08
2 有効回答数	954	348	328	258	296	529	118	71	639	226	502	205	147	317	117
3 有効に思う	2.0	3.2	0.9	1.9	3.7	1.1	1.7	2.8	2.0	2.7	2.2	2.4	0.7	2.2	0.9
4 有効に思う	15.7	17.8	15.9	13.2	15.9	16.4	12.7	18.3	15.0	20.4	18.5	9.8	17.7	16.4	21.4
5 有効に思う	50.1	48.0	50.0	51.9	49.7	48.2	57.6	49.3	50.2	49.6	47.8	48.3	46.9	47.6	49.6
6 有効に思う	29.6	27.6	31.7	30.2	27.0	31.8	27.1	26.8	30.5	24.3	28.7	35.1	33.3	30.3	25.6
7 有効に思う	2.6	3.4	1.5	2.7	3.7	2.5	0.8	2.8	2.2	3.1	2.8	4.4	1.4	3.5	2.6
Q10 18. 新しい概念の導入は適切に行なわれている															
1 平均値	2.56	2.50	2.53	2.67	2.49	2.56	2.73	2.41	2.50	2.40	2.50	2.74	2.47	2.51	2.53
2 有効回答数	955	349	326	260	300	526	118	71	641	225	503	208	149	315	118
3 有効に思う	6.8	8.0	7.1	5.4	9.7	5.9	4.2	9.9	6.4	10.7	8.2	3.8	7.4	7.6	7.6
4 有効に思う	42.5	46.7	43.6	36.5	44.0	44.1	33.1	50.7	46.2	47.1	44.1	38.9	45.6	44.8	44.1
5 有効に思う	39.5	33.8	39.6	45.4	35.7	38.8	50.0	31.0	38.7	34.2	37.8	39.4	40.9	36.8	38.1
6 有効に思う	9.9	10.0	9.2	10.8	9.0	10.3	11.0	5.6	8.1	7.6	8.9	15.4	4.7	10.5	8.5
7 有効に思う	1.3	1.4	0.6	1.9	1.7	1.0	1.7	2.8	0.6	0.4	1.0	2.4	1.3	0.3	1.7
Q10 19. 具体例が適切に取り入れられている															
1 平均値	2.43	2.36	2.41	2.53	2.28	2.48	2.52	2.23	2.38	2.32	2.36	2.56	2.37	2.40	2.45
2 有効回答数	961	352	328	261	302	530	118	71	645	226	507	208	150	318	119
3 有効に思う	11.3	14.5	10.7	8.0	18.5	8.5	6.8	19.7	11.6	12.4	13.6	8.2	12.0	14.2	9.2
4 有効に思う	48.7	48.3	51.2	46.7	46.7	50.4	46.6	49.3	51.6	53.1	48.9	43.8	48.0	47.2	56.3
5 有効に思う	27.2	24.7	25.3	31.4	23.8	26.8	35.6	19.7	25.1	26.1	26.4	33.2	30.7	24.8	19.3
6 有効に思う	11.4	11.4	11.6	11.9	9.6	12.8	10.2	11.3	10.7	7.1	9.5	13.5	9.3	12.3	10.9
7 有効に思う	1.4	1.1	1.2	1.9	1.3	1.5	0.8	0.0	0.9	1.3	1.6	1.4	0.0	1.6	4.2
Q10 20. 講義の流れに変化が乏しい															
1 平均値	3.08	3.18	3.06	2.98	3.16	3.07	2.96	3.31	3.08	3.12	3.11	2.95	3.07	3.19	2.96
2 有効回答数	960	351	328	261	301	530	118	71	644	226	506	208	150	318	118
3 有効に思う	3.1	3.1	2.7	3.1	4.0	3.2	0.8	5.6	2.8	3.1	2.8	1.9	1.3	4.7	5.9
4 有効に思う	24.8	21.1	25.3	28.4	23.6	24.9	25.4	15.5	25.0	24.8	24.9	30.8	28.7	19.8	27.1
5 有効に思う	39.3	38.5	39.9	41.0	34.9	39.2	51.7	35.2	38.8	36.7	38.1	41.8	37.3	35.5	37.3
6 有効に思う	26.7	29.6	26.8	22.2	27.9	27.4	21.2	29.6	27.8	27.4	27.3	21.2	26.7	31.8	24.6
7 有効に思う	6.1	7.7	5.2	5.4	9.6	5.3	0.8	14.1	5.6	8.0	6.9	4.3	6.0	8.2	5.1

表1-4 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 視聴率別・視聴態別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧 (その16)

	総計	視 聴 量			視 聴 質	利用希望形態				想定相当単位数					
		5週以下	6～11	12以上		じっくりある程度	全面的利用	参考資料	研究材料	図書で	0 単位	1 単位	2 単位	3 以上	
Q10 21. 必要以上に専門用語が使われている															
1	有効回数思う	958	351	327	260	300	530	117	71	643	225	504	316	118	
2	有効回数思う	0.8	0.6	0.9	1.2	0.3	1.3	0.0	0.0	0.9	1.3	0.6	1.4	0.8	
3	有効回数思う	4.8	4.0	4.9	5.4	4.0	5.3	4.3	7.0	5.0	2.2	4.2	7.7	5.3	
4	有効回数思う	46.9	47.3	42.8	50.8	42.7	46.0	60.7	46.5	45.6	49.8	43.7	50.0	46.6	
5	有効回数思う	37.3	35.0	43.4	32.7	34.3	40.8	29.1	35.2	38.9	33.8	39.3	33.2	38.1	
6	有効回数思う	10.2	13.1	8.0	10.0	18.7	6.6	6.0	11.3	9.6	12.9	12.3	7.7	10.2	
Q10 22. 印刷教材と適切に関連している															
1	有効回数思う	954	351	324	259	301	525	117	71	640	225	503	208	118	
2	有効回数思う	10.9	13.1	9.9	8.9	15.6	9.3	6.8	21.1	10.3	15.6	11.7	9.8	16.9	
3	有効回数思う	43.5	48.1	44.4	36.7	44.2	46.5	29.9	40.8	44.7	45.8	43.7	32.7	54.2	
4	有効回数思う	33.4	25.4	34.0	43.2	26.6	33.0	50.4	29.6	32.7	26.2	34.0	44.4	18.6	
5	有効回数思う	10.9	11.7	10.5	10.4	11.6	10.3	12.0	8.5	11.1	12.0	9.1	12.2	9.3	
6	有効回数思う	1.3	1.7	1.2	0.8	2.0	1.0	0.9	0.0	1.3	0.4	1.4	1.0	0.8	
Q10 23. 図表などが適切に利用されている															
1	有効回数思う	947	351	322	255	300	521	116	70	640	221	500	204	119	
2	有効回数思う	8.6	11.4	7.1	6.3	14.0	6.7	3.4	14.3	9.5	9.0	9.4	6.0	9.2	
3	有効回数思う	43.4	43.0	46.0	42.0	40.0	46.3	40.5	58.6	45.5	43.9	44.2	38.7	35.5	
4	有効回数思う	29.3	26.2	26.7	35.7	27.0	27.6	41.4	14.3	27.5	34.4	28.2	34.3	19.3	
5	有効回数思う	14.6	16.0	15.2	11.8	14.7	14.6	13.8	8.6	13.3	9.5	13.6	16.2	20.2	
6	有効回数思う	4.2	3.4	5.0	4.3	4.3	4.8	0.9	4.3	4.2	3.2	4.6	3.4	11.8	
Q10 24. 内容が実用的である															
1	有効回数思う	960	352	327	261	300	531	118	71	644	226	506	208	118	
2	有効回数思う	6.0	6.5	5.2	6.5	11.3	3.6	3.4	15.5	5.0	11.5	6.7	4.8	9.3	
3	有効回数思う	27.1	27.3	27.3	21.8	28.0	27.7	22.9	22.5	30.4	28.8	32.2	21.2	28.0	
4	有効回数思う	40.9	40.1	38.8	44.4	36.0	41.4	50.8	42.3	41.5	40.7	35.0	44.2	36.4	
5	有効回数思う	21.4	21.3	21.4	22.2	19.3	22.4	22.0	18.3	19.1	15.5	21.3	25.5	16.1	
6	有効回数思う	4.6	4.8	4.0	5.0	5.3	4.9	0.8	1.4	4.0	3.5	4.7	4.3	10.2	
Q10 25. 内容のレベルは適切である															
1	有効回数思う	960	352	327	261	300	531	118	71	645	226	505	208	118	
2	有効回数思う	10.6	15.3	8.0	7.7	20.0	6.8	5.1	19.7	9.9	13.3	14.1	3.4	14.4	
3	有効回数思う	46.0	45.2	50.5	42.5	40.0	50.1	43.2	40.8	50.1	51.8	44.8	41.3	50.8	
4	有効回数思う	30.5	25.3	30.6	36.4	27.7	29.2	41.5	25.4	28.2	20.8	30.7	38.5	22.0	
5	有効回数思う	11.9	13.1	10.4	12.6	10.7	13.2	10.2	12.7	10.7	12.4	10.1	15.9	11.9	
6	有効回数思う	0.9	1.1	0.6	0.8	1.7	0.8	0.0	1.4	1.1	1.8	0.4	1.0	0.8	

表1-4 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧 (その17)

	総計	視 聴 量			視 聴 質		利用希望形態				想定相当単位数					
		5週以下	6～11	12以上	じっくりある程度	表面的	全面利用	参考資料	研究材料	図書で	図室で	0単位	1単位	2単位	3以上	
Q10 26. 講義の進度は適当である																
10	2.47	2.41	2.47	2.55	2.33	2.50	2.67	2.37	2.44	2.41	2.40	2.63	2.57	2.35	2.41	
平均値	959	353	326	260	300	530	118	71	645	226	506	208	150	318	118	
1 有効回数	8.6	13.3	5.5	5.8	16.7	5.3	3.4	16.9	7.4	9.3	11.5	3.4	6.7	10.4	12.7	
2 非常によく	47.4	46.2	52.8	43.8	46.7	50.8	34.7	46.5	50.9	54.9	47.6	42.3	43.3	55.3	49.2	
3 ややよく	33.4	28.3	31.6	41.2	25.3	32.8	54.2	22.5	32.1	23.9	31.2	43.8	37.3	23.6	24.6	
4 どやどや	9.7	11.0	9.5	8.5	9.7	10.6	6.8	11.3	9.0	9.7	9.3	9.6	11.3	10.1	11.9	
5 非常に	0.9	1.1	0.6	0.8	1.7	0.6	0.8	2.8	0.6	2.2	0.4	1.0	1.3	0.6	1.7	
Q10 27. 1回の講義時間の長さは適当である																
10	2.41	2.30	2.42	2.52	2.26	2.45	2.61	2.29	2.36	2.27	2.32	2.61	2.41	2.31	2.39	
平均値	962	353	328	261	302	531	118	72	645	226	506	208	150	318	119	
1 有効回数	11.9	15.0	10.1	10.0	21.2	8.1	5.9	22.2	11.0	15.5	15.2	6.7	10.0	15.1	12.6	
2 非常によく	47.8	51.3	50.0	41.4	45.7	51.8	35.6	45.8	52.2	52.2	48.4	42.3	48.7	53.1	51.3	
3 ややよく	29.0	24.1	28.0	36.8	21.2	28.4	50.0	16.7	27.1	23.0	26.7	37.5	32.0	18.9	23.5	
4 どやどや	10.0	7.9	11.3	10.0	9.9	10.4	8.5	11.1	8.7	8.0	8.9	10.6	8.7	11.9	10.1	
5 非常に	1.4	1.7	0.6	1.9	2.0	1.3	0.0	4.2	0.9	1.3	0.8	2.9	0.7	0.9	2.5	
Q10 28. 中途に息抜の時間が適度に入っている																
10	3.27	3.22	3.25	3.34	3.27	3.28	3.17	3.23	3.23	3.37	3.21	3.35	3.15	3.27	3.37	
平均値	957	352	326	259	299	529	118	71	642	226	502	207	150	316	117	
1 有効回数	2.6	4.5	0.9	2.3	4.7	1.7	1.7	5.6	3.0	1.8	3.0	1.0	2.7	3.5	2.6	
2 非常によく	15.2	16.8	16.0	12.4	17.1	14.7	11.9	16.9	16.2	11.1	17.3	15.5	17.3	14.9	14.5	
3 ややよく	41.9	38.6	45.1	42.5	36.5	41.4	57.6	36.6	42.2	44.2	42.2	37.2	46.0	40.8	36.8	
4 どやどや	33.8	32.1	33.7	35.1	29.8	37.8	25.4	31.0	32.4	34.5	30.7	40.1	30.7	32.9	35.9	
5 非常に	6.6	8.0	4.3	7.7	12.0	4.3	3.4	9.9	6.2	8.4	6.8	6.3	3.3	7.9	10.3	
Q10 29. カリキュラムの組み方は適切である																
10	2.46	2.40	2.41	2.58	2.30	2.51	2.60	2.18	2.41	2.35	2.39	2.64	2.52	2.33	2.24	
平均値	957	350	327	260	299	529	118	71	643	223	505	208	150	317	118	
1 有効回数	9.3	11.4	8.9	7.3	16.4	6.8	3.4	19.7	9.2	13.0	9.9	5.3	6.7	13.2	14.4	
2 非常によく	44.2	47.4	47.1	36.2	48.2	43.3	38.1	50.7	47.3	48.0	47.7	38.5	43.3	48.6	50.0	
3 ややよく	38.6	32.3	38.2	47.7	25.8	42.3	53.4	21.1	36.9	31.4	35.8	44.2	42.7	30.0	33.1	
4 どやどや	7.3	7.7	5.8	8.5	8.0	7.4	5.1	8.5	6.5	6.3	6.5	10.6	6.0	7.9	2.5	
5 非常に	0.6	1.1	0.0	0.4	1.7	0.2	0.0	0.0	0.2	1.3	0.0	1.4	1.3	0.3	0.0	
Q10 30. 興味深い番組である																
10	2.07	1.92	2.04	2.29	1.78	2.15	2.42	1.70	2.01	1.81	2.02	2.25	2.03	1.96	1.87	
平均値	966	357	328	261	304	533	118	73	647	226	510	208	150	321	119	
1 有効回数	26.1	33.9	25.0	17.6	42.1	21.0	10.2	43.8	26.0	38.5	29.0	16.3	28.0	30.5	36.1	
2 非常によく	49.0	45.9	52.4	47.9	42.1	52.2	50.0	42.5	52.1	47.3	47.5	53.4	48.0	48.6	46.2	
3 ややよく	17.6	14.8	16.5	23.4	12.2	18.4	28.0	13.7	17.2	9.7	16.7	19.7	17.3	15.9	12.6	
4 どやどや	6.8	5.0	5.8	10.3	3.3	7.9	11.0	0.0	4.8	4.0	6.7	10.1	6.0	4.4	5.0	
5 非常に	0.5	0.3	0.3	0.8	0.3	0.6	0.8	0.0	0.0	0.4	0.2	0.5	0.7	0.6	0.0	

表1-4 1986年度『放送大学放送教材に関する調査』 視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧 (その18)

	総計	視 聴 量			視 聴 質	利用希望形態				想定相当単位数						
		5週以下	6～11	12以上		じりある程度	全面的利用	参考資料	研究材料	図書室で	0単位	1単位	2単位	3以上		
		1.78	1.65	1.80	1.91											
Q10. 3 1. 何らかの形で利用価値のある教材である																
1 平均有効回数	966	303	355	328	263	1.59	1.83	2.01	1.36	1.68	1.62	1.73	1.96	1.74	1.66	1.62
2 有効回数	37.5	46.8	34.5	28.9	51.5	33.3	21.7	60.0	69.9	40.2	49.1	38.5	27.3	36.7	31.8	11.9
3 やや有効回数	51.8	44.5	55.2	57.8	40.9	56.2	60.0	60.0	24.7	53.3	43.8	53.1	56.5	54.7	46.9	44.5
4 どやちや有効回数	6.9	5.4	7.0	8.0	5.0	6.0	14.2	5.9	5.5	4.8	4.0	5.9	10.0	6.7	5.7	2.5
5 非常に有効回数	3.2	3.4	2.7	3.8	2.3	3.6	4.2	2.2	0.0	1.4	2.7	2.2	5.3	2.0	1.9	0.8
	0.6	0.0	0.6	1.5	0.3	0.9	0.0	0.4	0.0	0.3	0.4	0.4	1.0	0.0	0.6	0.8
Q10. 3 2. 生活に密着した題材を扱っている																
1 平均有効回数	959	298	350	327	262	2.55	2.70	2.75	2.51	2.61	2.56	2.59	2.79	2.59	2.61	2.68
2 有効回数	10.0	10.9	11.0	8.0	16.1	7.9	5.0	5.0	15.5	10.1	11.6	11.3	6.3	9.5	12.6	11.0
3 やや有効回数	36.0	38.9	38.5	28.2	27.9	35.7	33.3	33.3	38.0	38.5	39.1	39.2	34.6	41.2	34.4	36.4
4 どやちや有効回数	35.1	34.3	31.8	40.1	27.9	37.4	45.0	45.0	31.0	33.9	32.4	32.0	36.1	34.9	31.4	31.4
5 非常に有効回数	16.0	13.7	15.9	19.5	15.4	16.4	15.0	15.0	11.3	15.4	15.1	14.5	19.7	13.5	15.1	16.1
	2.9	2.3	2.8	4.2	4.0	2.6	1.7	1.7	4.2	2.0	1.8	3.0	3.4	2.7	2.5	5.1
Q10. 3 3. 時宜を得た素材を利用している																
1 平均有効回数	958	299	350	326	262	2.42	2.61	2.79	2.27	2.53	2.45	2.52	2.75	2.47	2.55	2.56
2 有効回数	9.1	11.7	8.0	7.3	16.1	7.2	0.8	0.8	20.0	9.5	12.1	10.0	5.8	10.1	9.8	9.3
3 やや有効回数	38.2	41.1	40.2	32.8	38.5	38.9	34.5	34.5	41.4	40.3	42.0	40.4	32.0	44.3	38.8	42.4
4 どやちや有効回数	40.1	37.4	38.3	44.7	34.1	41.2	50.4	50.4	30.0	39.8	35.7	38.2	46.1	34.9	39.1	33.9
5 非常に有効回数	11.2	8.0	12.6	13.4	9.7	11.2	13.4	10.2	8.6	9.0	9.8	10.2	13.6	10.1	11.4	11.9
	1.5	1.7	0.9	1.9	1.7	1.5	0.8	0.8	0.0	1.4	0.4	1.2	2.4	0.7	0.9	2.5
Q10. 3 4. 実社会での実務に応用できる内容である																
1 平均有効回数	958	284	351	326	261	2.84	2.87	2.89	2.72	2.84	2.58	2.78	3.08	2.80	2.82	2.83
2 有効回数	7.7	10.0	7.1	5.4	12.8	5.6	4.2	4.2	11.3	7.2	14.2	7.9	2.05	14.9	31.7	11.8
3 やや有効回数	30.4	26.5	33.1	32.2	27.3	32.2	30.3	30.3	35.2	31.5	37.6	34.1	23.4	32.9	30.6	37.3
4 どやちや有効回数	35.5	35.9	34.7	34.9	31.0	36.7	39.5	39.5	33.8	36.3	29.2	34.3	34.6	34.9	37.9	28.8
5 非常に有効回数	20.7	21.4	20.6	21.1	20.9	20.2	24.4	24.4	9.9	19.7	14.2	18.8	29.3	19.5	18.0	16.9
	5.7	6.3	4.6	6.5	8.1	5.3	1.7	1.7	9.9	5.3	4.9	4.8	6.8	4.7	5.4	9.3
Q10. 3 5. 基本が身につく講義である																
1 平均有効回数	965	302	355	327	263	2.16	2.28	2.42	2.00	2.21	2.09	2.21	2.44	2.25	2.12	2.15
2 有効回数	16.5	20.0	17.7	9.9	22.8	14.6	9.2	9.2	28.2	16.1	23.5	19.1	12.5	17.3	31.8	11.9
3 やや有効回数	50.9	48.5	55.4	49.4	48.7	52.7	47.1	47.1	54.9	54.3	52.2	50.4	46.2	50.0	55.7	60.5
4 どやちや有効回数	24.2	24.8	19.6	28.5	20.9	23.5	36.1	36.1	9.9	22.9	18.1	21.9	28.4	24.7	22.3	10.9
5 非常に有効回数	7.0	5.9	6.7	9.5	5.3	8.1	7.6	7.6	2.8	5.9	4.4	7.7	10.6	6.0	3.5	7.6
	1.3	0.8	0.6	2.7	2.3	1.1	0.0	0.0	4.2	0.9	1.8	1.0	2.4	2.0	0.3	2.5

表1-4 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧 (その19)

	総計	視 聴 量			視 聴 質	利用希望形態			想定相当単位数							
		5週以下	6～11	12以上		じっくり	ある程度	表面的	全面利用	参考資料	研究材料	図書	窓で			
Q.10 36. 一般の大学にはない内容が含まれている																
10	平均値	2.70	2.66	2.75	2.68	2.63	2.73	2.68	2.46	2.73	2.56	2.66	2.72	2.62	2.71	2.70
1	有効回数	962	352	327	263	301	531	119	70	645	225	505	208	150	317	119
2	非有効回数	10.2	13.1	8.6	8.4	13.6	8.1	11.8	14.3	8.7	17.3	10.1	11.5	9.3	10.4	9.2
3	どややちそう思う	31.1	30.4	30.3	32.3	31.6	31.8	25.2	40.0	30.9	31.6	33.1	27.4	36.7	32.2	31.1
4	どややちそう思えない	40.6	37.5	42.2	44.5	36.9	41.4	48.7	34.3	41.9	32.9	40.8	42.8	38.7	36.6	41.2
5	どややちそう思わない	15.1	15.9	15.6	12.2	14.3	16.0	11.8	8.6	15.8	14.2	13.3	13.9	13.3	17.4	17.6
6	非常にそう思う	3.0	3.1	3.4	2.7	3.7	2.6	2.5	2.9	2.8	4.0	2.8	4.3	2.0	3.5	0.8
Q.10 37. 講師の人選は適切である																
10	平均値	2.03	1.92	2.00	2.19	1.89	2.04	2.26	1.73	1.99	1.81	2.01	2.15	1.99	1.93	2.01
1	有効回数	961	352	327	262	299	532	119	71	645	226	505	208	150	317	118
2	非有効回数	30.7	39.8	29.4	20.6	41.5	28.6	15.1	46.5	31.9	42.9	32.5	24.0	32.7	36.9	33.1
3	どややちそう思う	41.6	35.2	44.3	46.6	34.8	44.0	47.9	36.6	42.5	38.1	40.2	43.8	40.7	38.2	40.7
4	どややちそう思えない	22.6	19.0	23.2	26.7	18.1	22.6	32.8	15.5	20.8	15.0	22.0	25.5	23.3	20.5	19.5
5	どややちそう思わない	4.4	4.8	3.1	5.3	4.3	4.3	4.2	0.0	4.3	3.5	4.6	6.3	2.0	3.8	5.9
6	非常にそう思う	0.7	1.1	0.0	0.8	1.3	0.6	0.0	1.4	0.5	0.4	0.8	0.5	1.3	0.6	0.8
Q.10 38. 講義の進度が速い																
10	平均値	3.20	3.20	3.20	3.21	3.26	3.17	3.15	3.08	3.23	3.13	3.22	3.09	3.25	3.31	3.09
1	有効回数	960	353	327	260	299	531	119	72	643	226	507	206	150	318	117
2	非有効回数	1.7	2.5	1.5	0.0	2.0	1.7	0.8	2.8	1.4	3.5	2.0	1.0	1.3	1.9	4.3
3	どややちそう思う	13.4	15.0	13.1	11.9	15.1	14.3	6.7	20.8	11.7	16.4	12.4	15.5	12.7	11.3	16.2
4	どややちそう思えない	52.8	47.6	52.3	60.4	45.5	52.4	71.4	47.2	54.0	50.0	51.5	61.2	50.7	47.5	48.7
5	どややちそう思わない	27.5	29.7	29.4	22.3	29.8	28.2	18.5	23.6	28.6	23.9	30.0	18.4	30.7	33.0	28.2
6	非常にそう思う	4.6	5.1	3.7	5.4	7.7	3.4	2.5	5.6	4.4	6.2	4.1	3.9	4.7	6.3	2.6
Q.10 39. 全体の講義の分量は適当である																
10	平均値	2.58	2.55	2.56	2.65	2.48	2.61	2.71	2.56	2.56	2.47	2.55	2.72	2.75	2.43	2.57
1	有効回数	959	352	326	261	298	531	119	71	643	224	503	207	149	317	118
2	非有効回数	8.1	11.9	5.8	5.7	15.1	5.5	3.4	11.3	7.6	8.5	9.1	5.8	6.7	11.0	9.3
3	どややちそう思う	41.2	40.6	45.7	36.4	39.9	43.9	31.9	45.1	43.4	51.8	41.6	31.9	34.9	48.9	44.1
4	どややちそう思えない	36.2	29.8	35.3	46.0	29.2	35.6	55.5	22.5	35.3	26.8	34.8	47.8	36.9	27.4	28.8
5	どややちそう思わない	13.2	15.6	12.9	11.1	13.4	14.1	9.2	18.3	12.9	9.8	13.7	13.0	19.5	11.7	16.1
6	非常にそう思う	1.3	2.0	0.3	0.8	2.3	0.9	0.0	2.8	0.8	3.1	0.8	1.4	2.0	0.9	1.7
Q.10 40. 図表などの提示に工夫がある																
10	平均値	2.79	2.72	2.84	2.82	2.71	2.81	2.89	2.47	2.74	2.64	2.78	2.81	2.74	2.77	2.97
1	有効回数	937	347	317	254	292	518	117	70	629	217	494	198	149	315	115
2	非有効回数	6.4	8.9	4.7	5.1	9.9	5.2	3.4	14.3	6.5	8.3	7.5	4.5	6.0	7.3	5.2
3	どややちそう思う	34.7	33.7	36.0	32.7	35.3	37.3	23.9	44.3	37.2	37.8	34.8	34.3	37.6	35.2	33.9
4	どややちそう思えない	36.3	33.7	34.4	41.3	32.2	33.8	55.6	24.3	36.4	37.8	33.8	39.4	36.2	34.6	32.2
5	どややちそう思わない	18.6	17.9	20.2	16.9	18.8	19.1	14.5	14.3	15.9	14.3	20.0	19.2	16.8	19.0	16.5
6	非常にそう思う	4.1	5.7	4.7	3.9	3.8	4.6	2.6	2.9	4.0	1.8	3.8	2.5	3.4	3.8	12.2

表1-4 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧 (その20)

				視 聴 量			視 聴 質	利用希望形態			想定相当単位数					
				5週 以下	6～ 11	12 以上		全 面 利 用	参 考 資 料	研 究 材 料	図 書 室 で	0 単 位	1 単 位	2 単 位	3 以 上	
Q10	印刷教材が充実している	2.74	2.64	2.77	2.84	2.65	2.74	2.96	2.42	2.71	2.59	2.71	2.82	2.78	2.68	2.62
1	平均回数	957	350	325	262	300	527	119	71	642	224	504	205	149	317	118
2	有効回数	6.9	9.4	5.5	5.7	11.7	5.1	3.4	9.9	6.9	10.3	7.5	6.8	6.0	6.9	8.5
3	どやちや	30.4	35.1	28.0	25.6	31.3	32.4	18.5	49.3	31.6	34.4	31.5	25.4	26.8	34.1	38.1
4	やちや	46.5	38.9	52.0	50.8	40.7	47.4	57.1	31.0	46.7	42.4	45.0	48.8	51.0	45.1	37.3
5	非常に	14.3	15.1	12.6	15.3	13.3	13.3	21.0	8.5	13.1	12.1	14.1	16.6	15.4	12.0	15.3
		1.9	1.4	1.8	2.7	3.0	1.7	0.0	1.4	1.7	0.9	1.8	2.4	0.7	1.9	0.8
Q10	改善の余地が多い番組である	3.22	3.27	3.26	3.12	3.36	3.18	3.05	3.48	3.26	3.39	3.27	2.99	3.13	3.34	3.35
1	平均回数	961	353	326	262	300	530	120	71	643	225	504	207	149	317	119
2	有効回数	3.4	4.0	2.8	3.1	4.0	3.6	1.7	2.8	1.4	3.6	2.8	5.8	2.0	3.8	2.5
3	どやちや	20.0	19.5	19.6	21.4	17.7	21.3	19.2	16.9	20.8	15.1	19.8	23.2	26.2	16.7	21.0
4	やちや	38.4	36.5	36.8	43.5	34.0	37.4	55.0	29.6	38.6	36.0	36.7	45.9	38.3	32.5	30.3
5	非常に	27.3	25.8	30.1	24.8	27.0	28.7	20.8	31.0	29.1	29.3	28.6	16.9	24.2	35.3	31.1
		10.9	14.2	10.7	7.3	17.3	9.1	3.3	19.7	10.1	16.0	12.1	8.2	9.4	11.7	15.1
Q10	印刷教材にもう少し工夫が欲しい	2.95	2.99	2.94	2.92	3.07	2.91	2.82	3.11	2.95	2.99	3.00	2.86	2.93	2.91	3.12
1	平均回数	960	353	326	261	301	529	119	72	640	225	506	205	149	318	119
2	有効回数	2.9	2.8	2.8	3.1	4.7	2.6	0.0	4.2	2.7	3.1	2.6	2.9	2.0	3.1	3.4
3	どやちや	28.8	30.3	26.7	28.0	24.9	29.9	31.9	22.2	28.6	26.7	26.9	28.3	32.2	30.8	25.2
4	やちや	44.7	39.9	48.2	47.1	39.9	44.8	55.5	38.9	44.8	48.0	46.0	51.2	43.6	43.7	37.8
5	非常に	17.9	18.7	18.1	17.2	19.6	18.9	10.9	27.8	18.8	12.9	17.4	15.1	14.8	17.0	23.5
		5.7	8.2	4.3	4.6	11.0	3.8	1.7	6.9	5.2	9.3	7.1	2.4	7.4	5.3	10.1
Q10	印刷教材に演習などが適切に含まれている	3.57	3.67	3.57	3.45	3.68	3.56	3.42	3.41	3.59	3.46	3.57	3.69	3.61	3.57	3.57
1	平均回数	943	341	323	259	290	523	119	70	634	220	497	202	148	315	115
2	有効回数	1.4	2.1	1.5	0.4	2.4	1.1	0.0	2.9	1.4	1.8	1.4	1.5	0.7	1.3	2.6
3	どやちや	7.7	7.3	5.9	10.0	6.9	8.0	6.7	12.9	7.3	10.0	7.4	3.5	4.7	9.5	13.0
4	やちや	39.7	32.8	41.2	46.7	32.8	40.3	52.9	37.1	38.8	41.4	40.8	37.1	42.6	38.1	28.7
5	非常に	35.0	36.7	37.2	30.1	36.6	35.0	31.9	34.3	36.0	34.1	33.2	40.6	37.2	33.3	36.5
		16.2	21.1	14.2	12.7	21.4	15.5	8.4	12.9	16.6	12.7	17.1	17.3	14.9	17.8	19.1
Q10	放送は学習のペース作りに役だっている	2.55	2.48	2.57	2.62	2.44	2.56	2.76	2.17	2.52	2.43	2.48	2.68	2.56	2.44	2.44
1	平均回数	949	347	323	259	292	528	118	70	638	223	498	206	149	315	117
2	有効回数	6.8	10.4	4.0	6.2	12.0	4.7	4.2	15.7	5.6	7.2	7.6	6.3	5.4	8.6	8.5
3	どやちや	39.2	40.3	42.1	34.4	40.1	42.0	25.4	55.7	43.4	48.9	43.0	30.1	41.6	44.4	47.0
4	やちや	46.9	41.8	48.0	51.7	41.1	46.4	61.0	25.7	45.0	39.0	43.6	54.9	45.0	41.6	36.8
5	非常に	6.0	6.3	4.6	6.9	5.5	5.9	8.5	1.4	4.9	3.6	5.6	6.3	7.4	5.1	6.8
		1.1	1.2	1.2	0.8	1.4	0.9	0.8	1.4	1.1	1.3	0.2	2.4	0.7	0.3	0.9

表 1-4 1986年度「放送大学放送教材に関する調査」 視聴率別・視聴質別・利用希望形態別・想定単位数別・結果一覧 (その21)

	総計	視 聴 量			視 聴 質	利用希望形態			想定相当単位数						
		5週以下	6～11	12以上		全面利用	参考資料	研究室で	0 単位	1 単位	2 単位	3 以上			
Q 1 0 . 4 6 . 全体的に満足いく番組である															
1 平均値	2.24	2.12	2.24	2.40	2.06	2.28	2.49	1.86	2.16	2.04	2.19	2.45	2.34	2.11	2.12
2 有効回数にそう思う	963	354	326	263	302	531	119	71	645	225	506	207	149	318	120
3 非常やそう思う	18.3	25.4	15.6	11.8	27.8	15.4	7.6	32.4	17.7	26.7	19.6	12.6	17.4	21.7	19.2
4 どの程度でもない	49.8	47.5	52.8	49.0	47.0	52.2	45.4	52.1	55.2	49.3	49.0	46.4	43.0	54.1	57.5
5 どちらでもない	22.7	17.8	24.5	27.8	17.9	21.8	38.7	12.7	20.6	17.3	24.5	26.1	28.2	17.0	15.8
6 非常にそう思う	8.1	8.2	6.4	10.3	5.6	9.8	7.6	2.8	6.0	6.2	6.5	13.0	10.7	6.0	7.5
7 非常にそう思う	1.0	1.1	0.6	1.1	1.7	0.8	0.8	0.0	0.5	0.4	0.4	1.9	0.7	1.3	0.0
Q 1 3 . この放送教材に関して、どのような利用法が考えられますか (複数回答可)															
1 有効回数にそう思う	977	363	332	262	310	537	119	74	650	226	518	209	150	326	122
2 授業の参考資料利用	7.8	9.3	6.5	6.3	13.2	4.6	5.4	100.0	5.1	7.5	6.0	1.5	9.3	12.9	8.3
3 授業の参考資料利用	68.5	71.5	71.3	61.5	71.6	70.0	51.8	44.6	100.0	63.3	61.6	68.3	79.3	71.1	71.1
4 自習用の研究等利用	23.8	24.8	23.5	22.6	22.8	24.2	23.2	23.0	22.0	100.0	20.7	24.4	22.7	20.6	25.6
5 図利利用したいと思う	54.6	57.2	56.5	49.6	56.1	53.8	57.1	41.9	49.1	47.3	100.0	51.2	59.3	54.2	54.5
6 図利利用しない	2.6	1.4	1.9	5.6	1.0	2.7	7.1	0.0	0.2	0.4	0.2	5.9	1.3	1.5	1.7
7 図利利用しない	2.8	3.1	2.5	2.8	4.0	2.5	1.8	2.7	1.5	1.3	2.3	3.9	2.7	3.1	2.5
Q 1 4 . あなたの所属する機関の単位で置き換えるとしたら、何単位程度を与えることができますか。															
1 平均値	1.45	1.52	1.45	1.33	1.41	1.51	1.27	1.86	1.46	1.43	1.47	0.00	1.00	2.00	3.00
2 有効回数にそう思う	807	309	278	203	271	442	84	69	576	182	436	209	150	326	122
3 非常やそう思う	25.9	21.7	25.5	33.5	27.3	24.2	31.0	4.3	24.3	27.5	24.1	100.0	0.0	0.0	0.0
4 どの程度でもない	18.6	21.4	17.3	15.3	17.0	18.1	22.6	20.3	20.7	18.7	20.4	0.0	100.0	0.0	0.0
5 どちらでもない	40.4	40.1	43.5	36.0	42.8	40.3	34.5	60.9	40.1	36.8	40.4	0.0	0.0	100.0	0.0
6 非常にそう思う	15.1	16.8	13.7	15.3	12.9	17.4	11.9	14.5	14.9	17.0	15.1	0.0	0.0	0.0	100.0

2. 1986年度『放送大学放送教材に関する調査』の 質問項目群別の因子分析結果

表 2-1-1 Q 0 6 「放送教材の量的評定 (共通項目)」主成分分析

項 目	平均値	標準 偏差	主成分分析因子負荷量				共通性
			FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	FACTOR4	
Q6E.VTR等の利用頻度	3.37	1.16	0.604**	-0.284	0.338*	0.084	0.568
Q6H.ゲストの登場頻度	3.59	1.09	0.633**	-0.122	0.284	0.026	0.497
Q6G.寸劇等の利用頻度	4.21	1.00	0.669**	0.016	0.194	-0.269	0.558
Q6R.証人の登場頻度	3.87	0.99	0.688**	-0.084	0.083	0.183	0.520
Q6A.講師の登場頻度	2.13	0.85	-0.569**	0.419*	-0.196	0.077	0.544
Q6M.視聴者の考慮時間	3.60	0.81	0.584**	0.433*	-0.220	0.308*	0.671
Q6P.問いかけの頻度	3.75	0.77	0.631**	0.333*	-0.199	0.230	0.601
Q6N.息抜きの時間	3.66	0.78	0.540**	-0.303*	-0.360#	0.305*	0.517
Q6I.印刷教材の参照頻度	3.40	1.02	0.149	0.666**	-0.164	-0.415#	0.665
Q6J.演習の頻度	4.07	0.92	0.528**	0.490*	0.015	-0.467#	0.737
Q6O.1回の講義の時間	2.92	0.47	-0.102	0.266	0.678**	0.190	0.577
Q6K.講義の分量	2.70	0.61	-0.230	0.440*	0.531**	-0.002	0.528
Q6L.内容の説明時間	2.59	0.77	-0.257	0.531**	0.100	0.514**	0.622
因子寄与			3.471	1.807	1.275	1.052	7.606

(注:有効データ数= 789 ; ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 2-1-2 Q 0 6 「放送教材の量的評定 (共通項目)」プロマックス回転

項 目	平均値	標準 偏差	プロマックス回転因子負荷量				共通性
			FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	FACTOR4	
Q6E.VTR等の利用頻度	3.37	1.16	0.759**	0.081	-0.142	0.125	0.619
Q6H.ゲストの登場頻度	3.59	1.09	0.674**	0.136	0.015	0.127	0.490
Q6G.寸劇等の利用頻度	4.21	1.00	0.606**	0.030	0.351*	0.014	0.491
Q6R.証人の登場頻度	3.87	0.99	0.546**	0.383*	-0.056	0.009	0.448
Q6A.講師の登場頻度	2.13	0.85	-0.719**	0.040	0.091	0.103	0.538
Q6M.視聴者の考慮時間	3.60	0.81	0.026	0.758**	0.168	0.021	0.604
Q6P.問いかけの頻度	3.75	0.77	0.126	0.675**	0.178	-0.034	0.504
Q6N.息抜きの時間	3.66	0.78	0.121	0.623**	-0.115	-0.303#	0.507
Q6I.印刷教材の参照頻度	3.40	1.02	-0.271	0.089	0.788**	0.002	0.702
Q6J.演習の頻度	4.07	0.92	0.193	0.078	0.786**	0.020	0.662
Q6O.1回の講義の時間	2.92	0.47	0.237	-0.116	-0.075	0.780**	0.684
Q6K.講義の分量	2.70	0.61	-0.009	-0.184	0.171	0.684**	0.531
Q6L.内容の説明時間	2.59	0.77	-0.405#	0.412*	-0.149	0.508**	0.614
因子寄与			2.575	1.823	1.524	1.471	7.394

(注:有効データ数= 789 ; ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 2-2-1 Q06「放送教材の量的評定（テレビ独自項目）」主成分分析

項	目	平均値	標準偏差	主成分分析因子負荷量			共通性
				FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	
Q6S.実地見学の頻度	3.40	1.05	0.530**	-0.707##	0.065	0.785	
Q6Q.実物資料の提示頻度	2.98	1.00	0.703**	-0.474#	0.238	0.776	
Q6B.黒板等の利用頻度	2.79	0.93	0.473*	0.629**	0.450*	0.821	
Q6D.図版の利用頻度	2.88	0.90	0.702**	0.330*	0.186	0.636	
Q6C.アニメ等の利用頻度	3.85	0.96	0.624**	0.283	-0.651##	0.893	
Q6F.実験等の導入頻度	3.46	1.09	0.787**	0.003	-0.176	0.650	
因子寄与			2.499	1.309	0.753	4.561	

(注：有効データ数 = 579； 0.5 > λ \geq 0.3, -0.3 \geq β > -0.5, -0.5 \geq γ > -0.5)

(注：有効データ数 = 579； ** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 \geq # $>$ -0.5, -0.5 \geq ##)

表 2-2-2 Q06「放送教材の量的評定（テレビ独自項目）」プロマックス回転

項目	平均値	標準偏差	プロマックス回転因子負荷量			共通性
			FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	
Q6S.実地見学の頻度	3.40	1.05	0.907**	-0.200	-0.017	0.864
Q6Q.実物資料の提示頻度	2.98	1.00	0.857**	0.156	-0.057	0.763
Q6B.黒板等の利用頻度	2.79	0.93	-0.137	0.951**	-0.092	0.931
Q6D.図版の利用頻度	2.88	0.90	0.151	0.645**	0.199	0.478
Q6C.アニメ等の利用頻度	3.85	0.96	-0.135	-0.060	1.002**	1.026
Q6F.実験等の導入頻度	3.46	1.09	0.352*	0.187	0.520**	0.429
因子寄与			1.742	1.423	1.325	4.491

(注:有効データ数 = 579 ; ** ≥ 0.5 ; $0.5 > * \geq 0.3$; $-0.3 \geq \Delta > -0.5$; $-0.5 \geq \Delta \Delta$)

(注：有効データ数 = 579； ** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 \geq # $>$ -0.5, -0.5 \geq ##)

表 2-3-1 Q07「放送教材の改善点評定（共通項目）」主成分分析

項 目	平均値	標準偏差	主成分分析因子負荷量					共通性
			FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	FACTOR4	FACTOR5	
Q7K. 講義内容の分量	0.15	0.36	0.698**	-0.108	0.089	-0.208	-0.215	0.597
Q70. 1回の講義時間	0.08	0.28	0.616**	-0.136	0.275	-0.007	-0.020	0.474
Q7L. 内容の説明時間	0.18	0.38	0.580**	0.011	-0.043	0.085	0.163	0.372
Q7H. ゲスの登場時間	0.15	0.36	-0.125	0.499*	0.384*	-0.134	0.322*	0.534
Q7R. 証人の登場頻度	0.06	0.23	-0.325#	0.355*	0.356*	-0.262	0.002	0.426
Q7E. VTR等の利用頻度	0.13	0.33	0.129	0.091	0.586**	-0.195	0.117	0.420
Q7N. 息抜きの時間	0.23	0.42	0.077	0.411*	0.017	0.254	-0.642##	0.652
Q7M. 視聴者の考慮時間	0.29	0.45	0.206	0.640**	-0.170	-0.039	-0.257	0.548
Q7P. 問いかけの頻度	0.31	0.46	0.072	0.551**	-0.399#	-0.191	0.134	0.522
Q7I. 印刷教材の参照頻度	0.15	0.36	0.309*	0.137	-0.310#	-0.271	0.154	0.308
Q7G. 寸劇等の利用頻度	0.05	0.21	-0.044	0.096	0.304*	0.605**	-0.153	0.493
Q7J. 演習問題の利用頻度	0.18	0.39	0.094	0.170	-0.351#	0.494*	0.429*	0.590
Q7A. 講師の登場時間	0.11	0.31	0.275	0.226	0.312*	0.325*	0.333*	0.441
因子寄与			1.575	1.404	1.301	1.067	1.029	6.376

(注：有効データ数 = 626； ** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 \geq # $>$ -0.5, -0.5 \geq ##)

表 2-3-2 Q07「放送教材の改善点評定（共通項目）」プロマックス回転

項 目	平均値	標準偏差	プロマックス回転因子負荷量					共通性
			FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	FACTOR4	FACTOR5	
Q7K. 講義内容の分量	0.15	0.36	0.739**	-0.089	0.139	0.156	-0.184	0.632
Q70. 1回の講義時間	0.08	0.28	0.679**	0.040	-0.010	-0.058	0.032	0.467
Q7L. 内容の説明時間	0.18	0.38	0.519**	-0.072	-0.013	0.152	0.289	0.381
Q7H. ゲスの登場時間	0.15	0.36	-0.097	0.701**	-0.010	0.103	0.137	0.530
Q7R. 証人の登場頻度	0.06	0.23	-0.239	0.564**	0.088	0.019	-0.225	0.434
Q7E. VTR等の利用頻度	0.13	0.33	0.276	0.551**	-0.108	-0.104	-0.110	0.415
Q7N. 息抜きの時間	0.23	0.42	0.032	-0.103	0.806**	-0.215	-0.113	0.721
Q7P. 問いかけの考慮時間	0.29	0.45	0.080	0.101	0.632**	0.307*	0.023	0.511
Q7M. 視聴者の考慮頻度	0.31	0.46	-0.103	0.102	0.250	0.592**	0.147	0.456
Q7I. 印刷教材の参照頻度	0.15	0.36	0.212	-0.043	-0.017	0.521**	0.041	0.321
Q7G. 寸劇等の利用頻度	0.05	0.21	-0.032	0.010	0.271	-0.606##	0.308*	0.536
Q7J. 演習問題の利用頻度	0.18	0.39	-0.108	-0.189	-0.068	0.065	0.738**	0.601
Q7A. 講師の登場時間	0.11	0.31	0.253	0.308*	-0.030	-0.162	0.504**	0.440
因子寄与			1.559	1.292	1.231	1.232	1.129	6.444

(注：有効データ数 = 626； ** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 \geq # $>$ -0.5, -0.5 \geq ##)

表 2-4-1 Q07「放送教材の改善点評定（テレビ独自項目）」主成分分析

項 目	平均値	標準偏差	主成分分析因子負荷量			共通性
			FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	
Q70.実物資料の提示頻度	0.16	0.37	0.685**	-0.180	-0.405#	0.666
Q75.実地見学の頻度	0.13	0.33	0.523**	-0.272	-0.251	0.411
Q76.実験等の導入頻度	0.18	0.38	0.627**	-0.303#	0.156	0.509
Q78.黒板等の利用頻度	0.07	0.26	0.250	0.798**	0.079	0.706
Q7D.図版の利用頻度	0.13	0.34	0.539**	0.557**	-0.134	0.618
Q7C.アニメ等の利用頻度	0.17	0.38	0.442*	-0.100	0.823**	0.883
因子寄与			1.683	1.156	0.954	3.793

(注：有効データ数 = 855； ** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 \geq # $>$ -0.5, -0.5 \geq ##)

表 2-4-2 Q07「放送教材の改善点評定（テレビ独自項目）」プロマックス回転

項 目	平均値	標準偏差	プロマックス回転因子負荷量			共通性
			FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	
Q70.実物資料の提示頻度	0.16	0.37	0.809**	0.093	-0.092	0.671
Q75.実地見学の頻度	0.13	0.33	0.643**	-0.057	0.005	0.417
Q76.実験等の導入頻度	0.18	0.38	0.522**	-0.062	0.426*	0.458
Q78.黒板等の利用頻度	0.07	0.26	-0.186	0.837**	0.037	0.737
Q7D.図版の利用頻度	0.13	0.34	0.247	0.723**	-0.014	0.583
Q7C.アニメ等の利用頻度	0.17	0.38	-0.052	0.038	0.943**	0.893
因子寄与			1.439	1.240	1.080	3.759

(注：有効データ数 = 855； ** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 \geq # $>$ -0.5, -0.5 \geq ##)

表2-5-1 Q08「講師の印象評定」主成分分析

項	目	平均値	標準偏差	主成分分析因子負荷量 FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	共通性
Q8E.	講師の暖かさ	2.51	0.78	0.860**	-0.039	0.065	0.746
Q8D.	講師の親しみやすさ	2.55	0.84	0.883**	0.030	-0.078	0.787
Q8B.	講師の清潔感	2.27	0.64	0.580**	-0.108	0.565**	0.668
Q8C.	講師の活動性	2.86	0.78	0.610**	0.546**	-0.032	0.671
Q8F.	講師の厳しさ	3.15	0.71	-0.159	0.704**	0.514**	0.786
Q8G.	講師の緊張の度合	3.18	0.81	-0.529##	0.407*	0.293	0.531
Q8A.	講師の派手さ	3.51	0.71	0.098	0.658**	-0.605##	0.808
因子寄与				2.543	1.406	1.047	4.996

(注：有効データ数 = 956； ** ≥ 0.5 ， * ≥ 0.3 ， -0.3 \geq # > -0.5 ， -0.5 \geq ##)

表2-5-2 Q08「講師の印象評定」プロマックス回転

項	目	平均値	標準偏差	プロマックス回転因子負荷量 FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	共通性
Q8E.	講師の暖かさ	2.51	0.78	0.839**	-0.164	-0.039	0.733
Q8D.	講師の親しみやすさ	2.55	0.84	0.833**	-0.218	0.118	0.756
Q8B.	講師の清潔感	2.27	0.64	0.693**	0.189	-0.488#	0.754
Q8C.	講師の活動性	2.86	0.78	0.648**	0.236	0.394*	0.631
Q8F.	講師の厳しさ	3.15	0.71	0.072	0.884**	0.031	0.788
Q8G.	講師の緊張の度合	3.18	0.81	-0.380#	0.599**	0.003	0.503
Q8A.	講師の派手さ	3.51	0.71	0.020	0.029	0.894**	0.801
因子寄与				2.449	1.308	1.209	4.965

(注：有効データ数 = 956； ** ≥ 0.5 ， * ≥ 0.3 ， -0.3 \geq # > -0.5 ， -0.5 \geq ##)

表 2-6-1 Q08「講師の講義の進め方の印象評定」主成分分析

項 目	平均値	標準偏差	主成分分析因子負荷量				共通性
			FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	FACTOR4	
Q8I.話し方の明瞭さ	2.41	0.73	0.677**	-0.028	0.283	0.217	0.586
Q8N.説得力	2.55	0.77	0.766**	0.185	0.144	0.102	0.653
Q8R.すっきりさ	2.53	0.77	0.764**	-0.052	0.333*	-0.107	0.709
Q80.わかりやすさ	2.44	0.75	0.771**	-0.065	0.015	0.182	0.632
Q8P.技術の巧みさ	2.90	0.76	0.791**	0.245	-0.092	0.038	0.696
Q8L.表現力の豊さ	2.82	0.79	0.748**	0.338*	-0.149	0.101	0.707
Q8K.間の取り方の適切性	2.77	0.75	0.691**	-0.178	0.007	0.159	0.534
Q8S.素材提示の適切性	2.55	0.77	0.657**	-0.011	0.178	-0.093	0.472
Q8M.ユーモア	3.39	0.78	0.591**	0.296	-0.565##	-0.015	0.756
Q8J.言葉遣いの堅さ	3.03	0.77	-0.517##	0.289	0.518**	0.422**	0.798
Q8Q.まわくどさ	3.45	0.75	-0.566##	0.385*	-0.255	0.524**	0.808
Q8H.話すスピード	3.22	0.67	-0.199	0.797**	0.239	-0.430#	0.916
因子 寄与			5.294	1.203	0.984	0.786	8.267

(注：有効データ数 = 958； ** ≥ 0.5 ， * ≥ 0.3 ， -0.3 \geq # > -0.5 ， -0.5 \geq ##)

表 2-6-2 Q08「講師の講義の進め方の印象評定」プロマックス回転

項 目	平均値	標準偏差	プロマックス回転因子負荷量				共通性
			FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	FACTOR4	
Q8I.話し方の明瞭さ	2.41	0.73	0.800**	-0.132	0.016	-0.119	0.671
Q8N.説得力	2.55	0.77	0.754**	0.123	0.006	0.073	0.589
Q8R.すっきりさ	2.53	0.77	0.725**	-0.102	-0.332#	0.077	0.652
Q80.わかりやすさ	2.44	0.75	0.672**	0.154	-0.011	-0.207	0.519
Q8P.技術の巧みさ	2.90	0.76	0.597**	0.395**	0.004	0.092	0.521
Q8L.表現力の豊さ	2.82	0.79	0.577**	0.457**	0.124	0.110	0.569
Q8K.間の取り方の適切性	2.77	0.75	0.575**	0.107	-0.066	-0.278	0.423
Q8S.素材提示の適切性	2.55	0.77	0.558**	0.030	-0.254	0.062	0.381
Q8M.ユーモア	3.39	0.78	0.122	0.830**	0.091	0.041	0.714
Q8J.言葉遣いの堅さ	3.03	0.77	0.217	-0.650##	0.556**	0.136	0.798
Q8Q.まわくどさ	3.45	0.75	-0.249	0.111	0.830**	-0.073	0.769
Q8H.話すスピード	3.22	0.67	-0.080	0.049	-0.052	0.968**	0.948
因子 寄与			3.648	1.570	1.204	1.131	7.554

(注：有効データ数 = 958； ** ≥ 0.5 ， * ≥ 0.3 ， -0.3 \geq # > -0.5 ， -0.5 \geq ##)

表 2-7-1 Q09「放送教材講師の改善点評定」主成分分析

項	目	平均値	標準偏差	主成分分析因子負荷量			共通性
				FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	
Q9E・講師の暖かさ		0.08	0.27	0.736**	-0.182	0.005	0.575
Q9B・講師の清潔感		0.04	0.19	0.625**	-0.314#	0.055	0.492
Q9D・講師の親しみやすさ		0.22	0.41	0.683**	0.001	0.042	0.469
Q9G・講師の緊張の度合		0.08	0.27	0.141	0.738**	-0.284	0.644
Q9F・講師の厳しさ		0.02	0.15	0.336*	0.417*	-0.555##	0.595
Q9A・講師の派手さ		0.02	0.12	-0.019	0.475*	0.602**	0.588
Q9C・講師の活動性		0.11	0.31	0.306*	0.310*	0.559**	0.502
因子寄与				1.626	1.171	1.068	3.865

(注：有効データ数 = 595； ** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 \geq # $>$ -0.5, -0.5 \geq ##)

表 2-7-2 Q09「放送教材講師の改善点評定」プロマックス回転

項	目	平均値	標準偏差	プロマックス回転因子負荷量			共通性
				FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	
Q9E・講師の暖かさ		0.08	0.27	0.756**	0.025	0.003	0.572
Q9B・講師の清潔感		0.04	0.19	0.697**	-0.131	-0.039	0.505
Q9D・講師の親しみやすさ		0.22	0.41	0.650**	0.131	0.124	0.456
Q9G・講師の緊張の度合		0.08	0.27	-0.124	0.772**	0.168	0.639
Q9F・講師の厳しさ		0.02	0.15	0.143	0.734**	-0.204	0.600
Q9A・講師の派手さ		0.02	0.12	-0.123	-0.002	0.755**	0.586
Q9C・講師の活動性		0.11	0.31	0.233	-0.029	0.674**	0.510
因子寄与				1.586	1.170	1.112	3.868

(注：有効データ数 = 595； ** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 \geq # $>$ -0.5, -0.5 \geq ##)

表 2-8-1 Q09「講師の講義の進め方の改善点評定」主成分分析

項 目	平均値	標準偏差	主成分分析因子負荷量				共通性
			FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	FACTOR4	
Q9N. 説得力	0.17	0.38	0.435*	-0.205	-0.380#	0.146	0.397
Q9S. 素材提示の適切性	0.22	0.41	0.294	-0.205	-0.467#	-0.049	0.349
Q9O. わかりやすさ	0.21	0.41	0.562**	-0.067	-0.129	-0.123	0.352
Q9I. 話し方の明瞭さ	0.15	0.36	0.610**	-0.095	-0.033	0.123	0.397
Q9K. 聞き取りの取っつき	0.18	0.38	0.380*	-0.014	0.511**	-0.442#	0.601
Q9H. 話し方の巧みさ	0.16	0.37	0.459*	-0.121	0.324*	-0.491#	0.572
Q9P. 話し方の巧みさ	0.17	0.38	0.414*	0.565**	-0.060	-0.038	0.495
Q9M. コーア	0.38	0.49	-0.191	0.623**	-0.159	-0.180	0.482
Q9L. 表現力の豊かさ	0.19	0.39	0.395*	0.436*	-0.351#	0.065	0.474
Q9J. 言葉遣いの堅さ	0.11	0.32	0.016	0.544**	0.214	0.038	0.343
Q9Q. まわりのきりきり	0.06	0.24	0.178	0.077	0.424*	0.587**	0.562
Q9R. すっきり	0.09	0.28	0.377*	-0.007	0.281	0.501**	0.472
因子寄与			1.857	1.311	1.204	1.125	5.496

(注:有効データ数= 813 ; ** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 $\geq \# >$ -0.5, -0.5 $\geq \#$)

表 2-8-2 Q09「講師の講義の進め方の改善点評定」プロマックス回転

項 目	平均値	標準偏差	プロマックス回転因子負荷量				共通性
			FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	FACTOR4	
Q9N. 説得力	0.17	0.38	0.631**	-0.114	-0.049	0.050	0.416
Q9S. 素材提示の適切性	0.22	0.41	0.583**	-0.087	-0.056	-0.199	0.390
Q9O. わかりやすさ	0.21	0.41	0.477*	0.268	0.090	-0.007	0.307
Q9I. 話し方の明瞭さ	0.15	0.36	0.469*	0.171	0.043	0.262	0.320
Q9K. 聞き取りの取っつき	0.18	0.38	-0.135	0.783**	0.019	0.000	0.632
Q9H. 話し方の巧みさ	0.16	0.37	0.078	0.756**	-0.034	-0.116	0.592
Q9P. 話し方の巧みさ	0.17	0.38	0.142	0.120	0.649**	0.069	0.460
Q9M. コーア	0.38	0.49	-0.222	-0.108	0.593**	-0.275	0.488
Q9L. 表現力の豊かさ	0.19	0.39	0.380*	-0.119	0.560**	-0.002	0.472
Q9J. 言葉遣いの堅さ	0.11	0.32	-0.304#	0.052	0.492*	0.157	0.361
Q9Q. まわりのきりきり	0.06	0.24	-0.155	-0.103	0.012	0.762**	0.616
Q9R. すっきり	0.09	0.28	0.097	-0.029	0.003	0.673**	0.463
因子寄与			1.550	1.361	1.345	1.263	5.518

(注:有効データ数= 813 ; ** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 $\geq \# >$ -0.5, -0.5 $\geq \#$)

表 2-9-1 Q10 「放送教材の総合的評定」主成分分析 (その1)

項	目	平均値	標準偏差	主成分				因子	負荷量	共通性		
				FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	FACTOR4	FACTOR5	FACTOR6	FACTOR7	FACTOR8	
(39)	全体の講義分量は適当	2.58	0.86	0.581**	-0.478#	0.087	0.020	0.258	-0.015	-0.014	0.004	0.641
(26)	講義の進捗量は適切	2.49	0.81	0.601**	-0.519##	0.008	-0.043	0.223	0.021	-0.034	0.024	0.685
(11)	1回の講義情報は適切	2.54	0.88	0.574**	-0.433#	-0.066	0.048	0.260	-0.007	-0.023	0.001	0.592
(27)	1回の講義時間は適切	2.42	0.86	0.529**	-0.425#	0.071	0.032	0.214	-0.061	-0.058	-0.021	0.519
(25)	内容のレベルは適切	2.47	0.85	0.599**	-0.392#	0.130	-0.137	0.147	0.037	-0.044	0.022	0.573
(3)	単位数は適切	2.40	0.83	0.535**	-0.288	0.356*	-0.008	0.137	0.066	-0.038	0.011	0.521
(1)	内容の範囲は適切	2.15	0.85	0.574**	-0.247	0.317*	-0.021	0.108	0.076	0.056	0.070	0.517
(29)	カリキュラムは適切	2.46	0.77	0.637**	-0.252	0.210	0.072	0.047	0.016	-0.012	0.048	0.524
(35)	基本が身につく	2.26	0.87	0.547**	-0.109	0.231	-0.033	0.114	-0.000	0.095	0.235	0.442
(45)	学習に役立つ	2.55	0.74	0.499*	-0.081	0.204	0.041	0.082	0.087	-0.101	0.004	0.523
(13)	視聴者が考慮する工夫	3.18	0.86	0.562**	0.131	-0.316#	0.179	0.108	0.370*	0.135	-0.121	0.646
(17)	視聴者への問いかけ適切	3.15	0.79	0.547**	0.182	-0.359#	0.172	0.142	0.265	0.044	-0.117	0.597
(12)	視聴者の動機づけ適切	2.84	0.91	0.642**	0.099	-0.272	0.160	-0.062	0.289	0.012	0.031	0.609
(10)	流れに適切な疑問へ	2.96	0.87	0.623**	0.071	-0.359#	0.220	-0.007	0.065	0.027	0.090	0.583
(14)	視聴者の疑問への配慮	2.92	0.85	0.599**	0.020	-0.165	0.092	0.132	0.218	0.198	-0.022	0.499
(28)	中途の息抜きが適度	3.26	0.88	0.343*	-0.080	-0.498#	0.064	0.122	0.005	-0.031	0.079	0.399
(18)	新しい概念の導入適切	2.56	0.80	0.550**	0.156	0.040	0.228	0.026	0.124	0.156	-0.030	0.422
(20)	講義の流れに変化小	3.09	0.94	-0.476#	0.056	0.326*	-0.064	0.142	-0.003	0.174	0.052	0.393
(4)	面白味ある番組	2.45	0.94	0.648**	0.094	0.039	-0.170	-0.287	0.234	-0.239	0.013	0.653
(30)	興味深い番組	2.08	0.87	0.696**	0.127	0.261	-0.114	-0.228	0.137	-0.198	0.004	0.692
(5)	役に立つ番組	2.04	0.77	0.626**	0.192	0.303*	-0.278	-0.163	0.069	0.029	0.006	0.630
(31)	何らかの活用が期待できる番組	1.77	0.76	0.583**	0.215	0.346*	-0.277	-0.125	-0.024	-0.013	0.074	0.605
(46)	全体的に満足は適切	2.25	0.86	0.786**	-0.001	0.228	0.021	-0.115	0.121	-0.144	-0.007	0.718
(37)	講師の人は適切な番組	2.03	0.88	0.639**	0.048	0.241	0.123	-0.212	0.135	-0.028	0.023	0.548
(6)	わかりやすい番組	2.45	0.90	0.608**	-0.249	-0.180	-0.216	-0.233	0.134	0.032	0.082	0.591
(19)	具体例が適切に多い番組	2.43	0.88	0.627**	0.088	-0.168	-0.035	-0.118	-0.044	-0.123	0.122	0.477
(42)	改善の余地が期待できる番組	3.20	0.98	-0.668#	0.106	0.036	-0.068	0.197	0.008	0.180	0.128	0.551
(34)	実社会で応用可能な番組	2.85	1.02	0.443**	0.425*	0.082	-0.423#	0.327*	-0.124	0.183	-0.091	0.726
(24)	内容が実用的な番組	2.91	0.95	0.543**	0.383*	-0.042	-0.384#	0.178	-0.156	0.099	-0.076	0.663
(32)	生活に密着した題材がある番組	2.64	0.95	0.525**	0.310*	-0.148	-0.475#	0.142	-0.155	0.026	-0.039	0.666
(44)	印刷教材の演習が適切	3.57	0.90	0.158	0.276	-0.134	-0.025	0.556**	0.043	-0.039	-0.362#	0.563
(33)	時宜を演習で活用	2.58	0.85	0.620**	0.307*	0.026	-0.261	0.106	-0.072	-0.033	-0.015	0.565
(8)	主要な要素が適切	2.43	0.84	0.599**	0.122	-0.009	0.165	-0.216	-0.137	0.506**	0.014	0.722
(7)	講義概要が最初から明確	2.40	0.87	0.524**	0.101	0.004	0.159	-0.157	0.492*	0.492*	0.030	0.599
(9)	重要なポイントが明確	2.48	0.87	0.675**	0.080	0.050	0.110	-0.136	-0.033	0.442*	-0.036	0.692

表 2-9-2 Q10「放送教材の総合的評定」プロマックス回転 (その1)

項 目	平均値	標準偏差	FACTOR1	FACTOR2	プロマックス	FACTOR3	FACTOR4	FACTOR5	因子負荷	FACTOR7	FACTOR8	共通性
(39) 全体の講義分量は適当	2.58	0.86	0.792**	0.043	-0.058	-0.012	-0.012	-0.040	-0.081	-0.002	-0.058	0.644
(26) 講義の進捗は適切	2.49	0.81	0.786**	0.085	-0.012	-0.017	-0.087	-0.087	-0.175	0.001	-0.009	0.664
(11) 1回の講義時間は適切	2.54	0.88	0.692**	0.176	-0.120	-0.013	-0.050	-0.050	-0.122	0.047	-0.063	0.547
(27) 1回の講義ペースは適切	2.42	0.86	0.690**	-0.042	-0.016	-0.016	-0.061	-0.079	0.027	0.027	-0.121	0.504
(25) 内容のレベルは適切	2.47	0.85	0.687**	-0.022	0.170	0.064	-0.085	-0.085	-0.130	-0.036	0.019	0.531
(3) 単位数は適切	2.40	0.83	0.668**	-0.103	0.231	-0.002	-0.026	-0.026	0.115	-0.090	-0.011	0.532
(1) 内容の範囲は適切	2.15	0.85	0.613**	-0.058	0.221	0.014	0.084	0.084	0.086	-0.062	0.067	0.451
(35) カリキュラムは適切	2.46	0.77	0.547**	0.014	0.215	-0.069	0.082	0.053	0.025	0.025	-0.051	0.363
(45) 学習者が身につけやすい	2.26	0.87	0.474*	-0.057	0.158	0.065	0.141	0.102	0.148	0.148	0.171	0.338
(13) 視聴者が考慮する工夫	2.55	0.74	0.394*	0.053	0.260	0.010	-0.058	0.152	-0.005	-0.005	-0.036	0.254
(17) 視聴者の疑問が適切	3.18	0.86	0.030	0.791**	0.022	0.040	0.158	0.051	-0.148	0.080	0.080	0.685
(12) 視聴者の動機は適切	3.15	0.79	-0.013	0.743**	-0.014	0.093	0.075	0.054	-0.028	-0.001	-0.001	0.570
(10) 流れは適切	2.84	0.91	0.014	0.645**	0.242	-0.082	0.109	0.042	0.042	0.086	0.086	0.502
(14) 視聴者の疑問への配慮	2.96	0.87	0.011	0.562**	0.021	-0.073	0.172	-0.029	0.247	-0.015	-0.015	0.413
(28) 中途の息抜きが適切	2.92	0.85	0.205	0.524**	-0.004	0.089	0.230	0.009	-0.069	0.105	0.105	0.393
(18) 新しい概念の導入が適切	3.26	0.88	0.069	0.467*	-0.200	0.007	-0.039	-0.211	0.252	0.020	0.020	0.373
(20) 講義の面白さ	2.56	0.80	0.082	0.358*	0.099	0.005	0.309*	0.207	-0.024	-0.029	-0.029	0.284
(4) 面白さ	3.09	0.94	0.019	-0.338#	-0.195	0.090	0.062	0.202	-0.149	0.173	0.173	0.257
(30) 興味深い番組	2.45	0.94	0.021	0.177	0.786**	0.011	-0.153	-0.056	-0.008	0.042	0.042	0.678
(5) 役に立つ番組	2.08	0.87	0.126	0.008	0.767**	0.055	-0.059	-0.098	-0.004	-0.034	-0.034	0.621
(31) 何らかの価値がある番組	2.04	0.77	0.084	-0.113	0.630**	0.282	0.123	0.018	-0.072	0.066	0.066	0.522
(46) 全体的に満足な番組	1.77	0.76	0.100	-0.225	0.593**	0.301*	0.087	0.066	0.045	0.055	0.055	0.520
(37) 講師の人選は適切	2.25	0.86	0.310*	0.104	0.582**	-0.013	0.006	0.123	0.005	-0.081	-0.081	0.468
(6) わかりやすい番組	2.03	0.88	0.153	0.112	0.528**	-0.129	0.172	0.167	-0.023	-0.044	-0.044	0.391
(19) 具体例が適切	2.45	0.90	0.203	0.198	0.402*	-0.037	0.069	-0.398#	-0.009	0.142	0.142	0.427
(42) 改善の余地が多い番組	2.43	0.88	0.016	0.201	0.324*	0.053	0.011	-0.097	0.292	-0.033	-0.033	0.244
(34) 実社会で応用可能な番組	3.20	0.98	-0.157	-0.166	-0.407#	0.095	0.001	0.107	-0.030	0.274	0.274	0.315
(32) 生活に密着した題材が適切	2.85	1.02	0.025	-0.050	0.014	0.825**	0.110	0.008	0.009	0.053	0.053	0.699
(44) 印刷教材の演習が適切	2.91	0.95	-0.055	0.013	0.122	0.704**	0.095	-0.098	0.100	-0.021	-0.021	0.543
(33) 得た素養が適切	2.64	0.95	-0.055	0.012	0.162	0.694**	-0.018	-0.232	0.148	0.016	0.016	0.587
(8) まめ観が適切	3.57	0.90	0.104	0.347*	-0.357#	0.545**	-0.192	0.185	-0.152	-0.200	-0.200	0.690
(7) 講義の要約が適切	2.58	0.85	0.042	0.051	0.286	0.493*	0.005	0.004	0.138	-0.024	-0.024	0.349
(9) 重要なポイントが明確	2.43	0.84	-0.115	0.172	-0.008	0.025	0.811**	-0.083	0.022	-0.059	-0.059	0.712
	2.40	0.87	-0.076	0.136	-0.072	0.035	0.763**	-0.063	0.033	-0.043	-0.043	0.620
	2.48	0.87	0.034	0.209	0.074	0.077	0.684**	-0.048	-0.074	-0.034	-0.034	0.533

表 2-9-2 Q10「放送教材の総合的評定」プログラックス回転 (その2)

項 目	平均値	標準偏差	FACTOR1	FACTOR2	プログラックス	FACTOR3	FACTOR4	回転	因子	FACTOR6	荷 量	FACTOR7	FACTOR8	共通性
(2)内容が専門的	2.72	0.96	0.201	-0.149	-0.052	-0.049	0.066	0.066	0.721**	0.169	-0.017	-0.017	0.620	
(21)必要以上に専門用語有	3.51	0.78	0.045	0.203	-0.275	-0.047	-0.152	-0.152	0.625**	0.201	0.373*	0.373*	0.715	
(38)講義の進捗が速い	3.21	0.79	-0.328#	-0.010	0.195	0.009	-0.083	-0.083	0.589**	-0.016	0.010	0.010	0.500	
(15)内容が盛りだくさん	2.61	0.83	-0.137	0.102	0.275	-0.086	-0.014	-0.014	0.587**	-0.049	-0.137	-0.137	0.478	
(23)図表などが適切に利用	2.62	0.97	0.038	-0.090	-0.079	0.076	0.067	0.067	0.118	0.881**	-0.046	-0.046	0.818	
(40)図表などの提示に工夫	2.79	0.95	-0.018	0.111	0.026	0.078	-0.012	-0.012	0.120	0.796**	-0.046	-0.046	0.670	
(16)利用メディア特性に活用	2.73	1.02	-0.157	0.360*	0.339*	-0.001	-0.155	-0.155	-0.010	0.453*	-0.035	-0.035	0.499	
(43)印刷教材も少	2.94	0.88	-0.037	0.023	-0.005	-0.038	0.008	0.008	0.098	-0.016	0.805**	0.805**	0.662	
(22)印刷教材と適切に関連	2.48	0.87	0.065	-0.158	-0.132	-0.071	0.478*	0.478*	0.098	0.053	-0.553##	-0.553##	0.599	
(41)印刷教材が充実	2.74	0.84	0.070	0.012	0.049	0.042	0.073	0.073	0.143	0.130	-0.656##	-0.656##	0.482	
(36)一般大学にない内容有	2.69	0.95	-0.139	0.245	0.274	0.248	-0.160	-0.160	0.168	-0.148	-0.156	-0.156	0.316	
因子 寄与			4.710	3.458	4.111	2.556	2.461	2.461	2.316	2.118	1.855	1.855	23.584	

(注：有効データ数 = 864； ** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 \geq # $>$ -0.5, -0.5 \geq ##)

3. 1986年度『放送大学放送教材に関する調査』の下位集団別の 因子尺度偏差値に関する基礎統計量

表 3 - 1 性別・年齢群別・所属機関別・尺度偏差値基礎統計量一覧 (その 1)

	性別	年齢群	所属機関	短期大学	専門学校	国公立大学	私立大学	関係
06.メデイア特性の活用度(FACTOR1)	総計	男性	女性	34歳以下	35歳~44歳	45歳~54歳	55歳以上	
	数値	789	708	70	120	287	217	164
	平均値	50.00	49.79	51.48	50.89	49.45	50.09	50.12
	標準偏差	10.00	10.10	9.10	10.42	10.04	10.30	9.11
	最大値	-0.015	0.038	-0.507	0.101	-0.116	-0.055	0.173
06.視聴者考慮の頻度(FACTOR2)	総計	789	708	70	120	287	217	164
	数値	789	708	70	120	287	217	164
	平均値	50.00	50.13	48.51	48.53	50.28	50.26	50.19
	標準偏差	10.00	10.02	9.45	10.31	10.24	9.38	10.06
	最大値	-0.007	0.005	0.166	-0.107	0.101	0.140	-0.249
06.印刷教材利用の頻度(FACTOR3)	総計	789	708	70	120	287	217	164
	数値	789	708	70	120	287	217	164
	平均値	50.00	50.05	49.15	51.14	49.86	50.31	49.03
	標準偏差	10.00	10.05	9.81	10.72	9.98	9.29	10.31
	最大値	0.198	0.187	0.302	0.290	-0.096	0.179	0.615
06.講義内容の多さ(FACTOR4)	総計	789	708	70	120	287	217	164
	数値	789	708	70	120	287	217	164
	平均値	50.00	50.21	48.87	47.96	49.68	50.66	51.19
	標準偏差	10.00	9.95	10.12	9.66	9.63	9.79	10.89
	最大値	0.419	0.495	-0.090	0.272	0.385	0.639	0.283
06.実資料素材利用の頻度(FACTOR1)	総計	789	708	70	120	287	217	164
	数値	789	708	70	120	287	217	164
	平均値	50.00	50.21	48.87	47.96	49.68	50.66	51.19
	標準偏差	10.00	9.95	10.12	9.66	9.63	9.79	10.89
	最大値	0.419	0.495	-0.090	0.272	0.385	0.639	0.283
06.黒板・図版利用の頻度(FACTOR2)	総計	789	708	70	120	287	217	164
	数値	789	708	70	120	287	217	164
	平均値	50.00	50.21	48.87	47.96	49.68	50.66	51.19
	標準偏差	10.00	9.95	10.12	9.66	9.63	9.79	10.89
	最大値	0.419	0.495	-0.090	0.272	0.385	0.639	0.283

表 3 - 1 性別・年齢群別・所属機関別・尺度偏差値基礎統計量一覧 (その 2)

	性別		年齢群				所属機関			
	性 別		年 齢				所 属 機 関			
	男	女	3 歳 以下	4 歳	5 歳	5 歳 以上	国公立 大学	私立 大学	高 専	期 短大
06. アニメ・実験導入頻度(視覚素材: FACTOR3)										
総 計	513	52	75	205	166	132	275	115	154	31
有効数	579	50.91	48.21	49.74	50.53	50.74	50.22	51.25	49.51	46.78
平均値	50.00	9.81	8.55	10.72	9.31	10.33	10.06	10.77	9.26	9.01
標準偏差	10.00	0.295	0.240	0.389	0.379	0.045	0.272	0.464	0.073	0.135
最小値	0.295	0.121	0.319	30.26	32.22	32.56	32.02	32.95	32.02	30.26
最大値	30.26	34.81	72.04	84.06	80.49	73.03	80.49	84.06	72.92	68.49
07. 講義内容の多さ改善(FACTOR1)										
総 計	548	65	98	211	185	131	309	126	159	29
有効数	626	50.77	49.24	50.76	49.74	49.70	49.84	52.04	49.04	47.24
平均値	50.00	9.53	7.78	10.60	9.87	10.61	9.87	11.04	9.15	8.98
標準偏差	10.00	1.412	1.061	1.539	1.234	1.732	1.536	1.172	1.701	2.192
最小値	1.486	32.00	34.92	34.84	32.00	37.70	32.00	37.96	34.92	36.66
最大値	89.35	89.35	74.88	89.35	83.05	89.35	89.35	83.10	89.35	77.32
07. ゲスト等登場時間改善(FACTOR2)										
総 計	548	65	98	211	185	131	309	126	159	29
有効数	626	50.77	49.46	49.69	50.11	50.70	50.25	48.82	49.75	52.96
平均値	50.00	10.05	9.34	9.03	10.40	11.28	10.54	8.30	9.87	9.93
標準偏差	10.00	1.527	1.594	1.309	1.472	1.692	1.701	1.266	1.362	0.893
最小値	1.527	38.36	38.42	38.36	38.43	40.12	38.36	38.43	39.02	41.12
最大値	99.21	99.21	85.02	79.05	83.37	99.21	99.21	75.81	81.22	77.77
07. 息抜き・考慮機会改善(FACTOR3)										
総 計	548	65	98	211	185	131	309	126	159	29
有効数	626	50.90	50.15	49.34	51.17	49.39	50.12	51.47	49.02	47.60
平均値	50.00	9.99	9.84	9.25	10.80	9.95	10.08	10.68	9.21	8.61
標準偏差	10.00	0.898	0.759	0.796	0.854	1.006	0.914	0.758	0.786	1.127
最小値	0.869	37.60	38.40	37.60	38.40	37.60	37.60	38.59	37.60	38.59
最大値	83.64	83.64	75.95	72.98	83.64	80.10	83.64	80.10	75.00	68.44
07. 問い・印刷教材参照改善(FACTOR4)										
総 計	548	65	98	211	185	131	309	126	159	29
有効数	626	50.13	48.88	49.43	51.12	49.88	50.72	49.42	49.21	47.91
平均値	50.00	10.19	7.92	10.69	10.51	8.41	9.83	11.22	9.30	8.56
標準偏差	10.00	-0.291	-0.661	-0.433	0.085	0.009	-0.048	-0.382	-0.501	-0.989
最小値	-0.258	9.30	21.98	9.30	18.42	21.98	18.51	15.38	9.30	18.42
最大値	76.90	76.90	69.14	76.90	76.90	69.88	76.90	76.90	76.81	61.94
07. 講師登場時間・演習問題利用の改善(FACTOR5)										
総 計	548	65	98	211	185	131	309	126	159	29
有効数	626	49.96	51.42	48.97	50.39	50.13	50.13	49.83	50.16	47.37
平均値	50.00	9.82	11.41	9.55	10.48	9.33	10.27	8.98	10.04	9.47
標準偏差	10.00	1.085	1.331	1.180	1.253	0.690	1.477	0.782	0.820	1.445
最小値	1.147	31.27	34.34	32.88	31.27	34.72	32.88	34.72	31.27	36.16
最大値	101.09	101.09	100.35	81.18	101.09	79.64	101.09	79.64	76.80	74.66

表 3-1 性別・年齢群別・所属機関別・尺度偏差値基礎統計量一覧 (その 3)

総計	性別		年齢群	所属機関							
	性			国立大学	私立大学	高等学校	短期大学				
	男性	女性									
Q7. 実資料素材利用度改善数値 (視覚素材: FACTOR1)											
有平標準量	855	753	84	127	270	261	196	420	171	219	41
偏差値	50.00	49.93	50.33	48.49	50.48	49.43	51.05	49.62	50.60	50.53	49.11
均偏	10.00	10.03	9.92	7.75	10.38	9.39	11.31	9.43	9.93	11.00	10.37
小	1.588	1.601	1.596	1.788	1.340	1.788	1.509	1.601	1.601	1.693	1.886
大	36.37	36.37	38.84	38.84	36.37	36.37	38.84	36.37	38.84	36.37	38.84
最	86.85	86.85	86.85	82.07	86.85	86.85	86.85	84.38	86.85	86.85	79.61
Q7. 黒板・図版利用度改善数値 (視覚素材: FACTOR2)											
有平標準量	855	753	84	127	270	261	196	420	171	219	41
偏差値	50.00	50.15	49.32	50.14	50.01	49.90	50.05	49.52	51.57	49.45	51.75
均偏	10.00	10.26	8.23	9.47	10.40	9.72	10.16	9.26	11.65	9.32	12.59
小	2.472	2.426	2.558	2.131	2.616	2.423	2.574	2.597	2.075	2.682	2.194
大	42.64	42.64	44.28	42.64	42.64	43.10	43.10	42.64	42.64	42.64	44.28
最	90.62	90.62	88.87	88.87	90.62	89.33	90.62	90.62	90.62	89.33	88.87
Q7. アニメ・実験頻度改善数値 (視覚素材: FACTOR3)											
有平標準量	855	753	84	127	270	261	196	420	171	219	41
偏差値	50.00	50.21	47.56	49.18	50.39	50.19	49.77	49.80	49.81	50.44	50.45
均偏	10.00	10.14	7.74	9.27	10.36	9.75	10.25	9.41	10.55	10.47	10.81
小	1.565	1.506	2.782	1.960	1.449	1.476	1.679	1.613	1.611	1.495	1.536
大	39.33	39.33	40.29	40.29	39.33	39.33	39.33	40.29	39.33	39.33	39.33
最	79.23	78.11	79.23	77.95	77.95	79.23	78.11	79.23	78.11	77.95	77.95
Q8. 講師の親しやすさ (講師: FACTOR1)											
有平標準量	956	847	89	135	326	284	210	466	191	252	41
偏差値	50.00	50.02	49.31	48.23	49.68	51.26	49.93	50.42	48.71	50.48	49.23
均偏	10.00	9.96	9.94	12.12	10.42	9.10	8.72	10.51	10.46	8.57	8.57
小	-0.137	-0.146	0.147	-0.146	0.147	-0.487	0.052	-0.172	0.070	-0.308	0.496
大	9.05	9.05	20.84	15.95	20.10	9.05	29.31	9.05	15.95	18.37	28.94
最	79.08	79.08	76.40	77.73	79.08	78.82	74.07	79.08	77.73	73.98	76.40
Q8. 講師の堅さ (講師: FACTOR2)											
有平標準量	956	847	89	135	326	284	210	466	191	252	41
偏差値	50.00	49.80	50.99	49.98	49.87	50.91	48.98	49.77	50.53	49.94	50.39
均偏	10.00	10.04	8.92	10.90	9.84	10.04	9.48	10.19	11.04	8.40	10.37
小	-0.166	-0.269	0.873	0.023	-0.476	-0.206	0.197	-0.144	-0.434	-0.433	1.408
大	10.94	10.94	31.02	18.46	10.94	18.55	20.89	15.72	10.94	18.52	34.25
最	87.62	78.42	87.62	75.30	78.24	87.62	78.42	78.42	75.67	74.75	87.62
Q8. 講師の派手さ (講師: FACTOR3)											
有平標準量	956	847	89	135	326	284	210	466	191	252	41
偏差値	50.00	50.22	47.97	48.39	49.66	50.27	51.19	49.02	49.62	52.09	49.84
均偏	10.00	10.02	10.02	10.47	10.30	10.05	8.95	9.84	10.41	9.59	10.82
小	-0.365	-0.370	-0.295	-0.163	-0.361	-0.328	-0.534	-0.381	-0.308	-0.695	1.006
大	17.29	17.29	25.17	22.22	22.79	17.29	29.13	17.29	25.03	21.77	26.55
最	90.56	90.56	70.34	79.38	74.92	90.56	70.33	74.47	74.92	79.38	90.56

表 3-1 性別・年齢群別・所属機関別・尺度偏差値基礎統計量一覧 (その 4)

	性別		年齢群				所属機関			短期大学
	性 別		年 齢				所 属 機 関			
	男	女	性 別	3 歳 ~ 4 歳	4 歳 ~ 5 歳	5 歳 ~ 6 歳	国公立大学	私立大学	高 専	
Q8. 明解な話し方(話し方: FACTOR1)										
数値	846	90	134	321	288	214	465	193	254	41
平均	49.89	50.19	47.55	49.35	51.08	51.02	50.20	49.39	49.97	50.08
標準偏差	9.95	10.39	10.55	10.41	9.21	9.69	10.33	9.95	9.37	9.63
最小値	-0.072	0.536	0.238	-0.022	-0.157	0.109	-0.148	0.145	0.085	-0.169
最大値	21.45	26.33	21.49	25.26	21.45	26.25	21.45	24.97	26.25	25.41
総計	79.00	78.65	77.38	77.62	76.98	79.00	77.76	78.65	79.00	74.04
Q8. 面白味のある話し方(話し方: FACTOR2)										
数値	846	90	134	321	288	214	465	193	254	41
平均	50.02	49.26	47.41	49.86	50.52	51.16	49.67	48.95	51.74	47.82
標準偏差	10.03	9.63	11.53	10.10	9.54	9.08	10.50	10.13	8.64	9.32
最小値	-0.078	0.052	0.212	-0.067	-0.116	-0.073	-0.135	0.120	0.068	0.096
最大値	19.70	26.19	23.94	20.27	19.70	28.67	19.70	26.72	22.96	28.32
総計	80.63	77.16	78.51	77.30	80.63	77.98	80.63	77.30	78.51	68.26
Q8. 話し方の堅さ(話し方: FACTOR3)										
数値	846	90	134	321	288	214	465	193	254	41
平均	50.07	49.87	49.34	50.14	50.74	49.16	49.59	50.69	50.23	49.33
標準偏差	9.95	10.14	10.24	9.98	9.69	10.19	10.56	10.25	9.01	7.23
最小値	-0.310	-0.102	-0.431	-0.357	-0.415	-0.026	-0.268	-0.393	-0.384	0.384
最大値	13.56	26.80	13.56	17.30	23.25	20.43	17.30	13.56	20.43	38.11
総計	80.56	77.45	77.45	80.56	74.41	80.00	80.56	80.00	72.08	64.87
Q8. 話す速さ(話し方: FACTOR4)										
数値	846	90	134	321	288	214	465	193	254	41
平均	50.15	48.50	46.75	49.56	51.49	50.67	49.66	50.59	50.31	49.39
標準偏差	10.10	9.30	10.78	10.26	9.65	9.01	10.38	10.93	8.58	9.38
最小値	-0.014	-0.233	-0.420	0.282	0.182	-0.245	0.041	-0.117	-0.117	0.488
最大値	19.09	27.69	19.09	20.97	19.11	24.25	19.09	20.07	21.76	34.29
総計	92.55	70.02	70.02	92.55	85.97	72.96	92.55	81.63	78.30	72.27
Q9. 講師の親近感改善(講師: FACTOR1)										
数値	517	64	96	200	175	124	299	126	142	26
平均	49.99	50.88	49.56	49.18	50.39	51.13	50.47	49.38	49.19	52.40
標準偏差	9.84	11.92	9.06	8.94	9.74	12.28	9.84	10.24	9.17	13.88
最小値	2.596	2.377	2.821	2.904	2.404	2.325	2.220	2.980	3.094	2.675
最大値	33.16	36.54	36.54	40.41	36.54	33.16	36.54	33.16	36.54	42.04
総計	99.96	96.09	96.09	96.09	99.96	99.96	99.96	99.96	99.96	96.09
Q9. 講師の堅さ改善(講師: FACTOR2)										
数値	517	64	96	200	175	124	299	126	142	26
平均	50.00	49.95	49.27	50.80	50.02	49.24	49.86	51.09	49.81	47.64
標準偏差	10.00	10.15	7.51	12.19	9.41	8.33	9.59	10.76	10.75	5.04
最小値	3.738	2.813	3.643	3.597	3.716	3.023	3.857	2.841	4.258	4.203
最大値	40.55	40.55	43.72	40.55	40.55	40.55	40.55	40.55	40.55	40.55
総計	114.81	90.47	90.47	114.81	114.81	90.44	114.81	112.20	114.81	71.10

表 3 - 1 性別・年齢群別・所属機関別・尺度偏差値基礎統計量一覧 (その 5)

	性別		年齢群				所属機関			
	性		年 齢				所 属 機 関			
	男	女	3 歳 以下	4 歳	5 歳	5 歳以上	国立大学	私立大学	高等学校	短期大学
Q9. 講師の活動性改善の度 (講師 : FACTOR3)										
有効数	517	64	96	200	175	124	299	126	142	26
平均値	49.68	52.53	50.83	49.82	50.06	49.57	50.31	50.36	49.24	49.13
標準偏差	10.00	9.06	10.21	9.86	8.82	11.48	9.70	11.42	9.80	6.50
最小値	4.193	4.107	3.528	4.446	3.294	4.965	3.912	4.797	3.972	2.392
最大値	30.43	43.20	44.31	30.43	34.81	33.55	34.81	33.55	30.43	43.20
	130.32	130.32	104.92	121.99	102.80	130.32	121.99	130.32	104.92	67.87
Q9. 話し方の明解さの改善の度 (話し方 : FACTOR1)										
有効数	711	83	122	260	247	184	401	171	201	37
平均値	49.76	51.96	50.28	50.12	49.51	50.30	50.66	49.82	49.14	49.19
標準偏差	9.72	12.09	9.17	10.04	10.19	10.18	10.39	10.02	9.07	9.97
最小値	0.969	1.195	0.611	1.168	1.166	0.883	0.986	0.920	1.109	1.402
最大値	32.02	37.63	34.27	34.60	34.60	32.02	34.60	32.02	34.27	38.35
	89.34	89.34	75.07	89.34	88.57	83.72	89.34	79.86	83.72	75.07
Q9. 話し方の豊かさ・間の改善の度 (話し方 : FACTOR2)										
有効数	711	83	122	260	247	184	401	171	201	37
平均値	50.02	50.65	49.68	49.74	49.86	50.77	50.25	50.12	49.94	46.83
標準偏差	9.97	11.04	10.27	9.67	10.08	10.13	10.38	10.56	8.78	8.29
最小値	1.348	1.439	1.722	1.392	1.401	1.191	1.416	1.392	1.132	2.184
最大値	36.14	39.04	38.00	36.14	36.14	36.14	36.14	36.14	38.00	38.00
	83.23	83.23	83.23	81.33	83.23	80.51	83.23	81.23	76.93	79.73
Q9. 話し方の豊かさの改善の度 (話し方 : FACTOR3)										
有効数	711	83	122	260	247	184	401	171	201	37
平均値	49.95	50.65	50.92	49.41	49.77	50.54	50.05	50.47	49.77	48.21
標準偏差	9.99	10.64	10.28	9.91	9.40	10.63	9.85	10.59	10.01	8.52
最小値	0.988	0.922	0.851	1.135	0.856	1.032	0.911	1.163	0.956	1.181
最大値	38.41	38.75	38.75	38.75	38.75	38.41	38.75	38.75	38.41	38.75
	86.42	84.11	76.07	86.42	74.80	85.92	86.42	85.92	77.16	74.42
Q9. 話し方の簡潔性の改善の度 (話し方 : FACTOR4)										
有効数	711	83	122	260	247	184	401	171	201	37
平均値	49.92	50.05	49.79	50.98	49.02	50.06	50.14	49.37	50.79	46.82
標準偏差	10.15	8.44	9.02	11.11	9.08	9.99	10.18	8.68	10.99	5.74
最小値	2.430	1.592	1.805	2.180	2.737	2.377	2.134	2.224	2.580	2.455
最大値	37.60	37.70	37.70	37.60	38.72	37.91	38.72	37.60	37.70	39.08
	103.93	103.93	83.22	99.28	103.93	98.15	98.15	90.59	103.93	68.50

表 3-1 性別・年齢群別・所属機関別・尺度偏差値基礎統計量一覧 (その 6)

	性別		年齢群				所属機関			
	性		年 齢				所 属 機 関			
	男	女	3 4 歳	3 5 歳	4 5 歳	5 5 歳以上	国公立大学	私立大学	高等学校	短期大学
Q10. 講義内容質量の適切性 (FACTOR1)										
総計	769	81	129	297	241	196	404	175	239	40
有効数	50.04	49.07	48.57	49.86	49.88	51.29	49.82	49.54	50.12	52.67
平均値	10.00	9.35	10.84	10.02	9.71	9.61	10.38	9.81	9.66	8.76
標準偏差	-0.373	0.270	-0.689	-0.127	-0.268	-0.403	-0.349	-0.434	-0.266	0.233
最小値	6.90	29.98	6.90	16.20	11.21	17.32	11.21	6.90	16.20	37.35
最大値	75.75	74.48	69.43	75.75	74.87	74.12	75.75	74.63	74.12	74.48
Q10. 視聴者理解の配慮工夫 (FACTOR2)										
総計	769	81	129	297	241	196	404	175	239	40
有効数	49.92	49.74	47.07	49.17	51.69	51.10	49.11	49.59	51.19	53.83
平均値	10.00	10.02	9.87	10.30	9.50	9.66	10.49	9.88	9.01	8.90
標準偏差	-0.149	-0.022	0.024	-0.287	-0.184	0.182	-0.174	0.185	-0.077	-0.379
最小値	15.06	29.41	21.61	15.06	21.40	27.22	15.06	24.35	20.94	33.19
最大値	83.20	71.36	71.54	77.98	77.81	83.20	83.20	76.21	77.98	70.88
Q10. 番組への満足度 (FACTOR3)										
総計	769	81	129	297	241	196	404	175	239	40
有効数	49.96	49.87	49.09	49.53	50.58	50.51	50.07	49.73	50.31	49.00
平均値	10.00	10.03	11.31	10.66	9.52	8.34	10.68	9.84	8.91	8.82
標準偏差	-0.395	-0.147	-0.423	-0.404	-0.230	-0.238	-0.390	-0.386	-0.203	-0.645
最小値	9.82	23.20	18.79	9.82	20.94	29.64	9.82	18.79	22.00	22.69
最大値	71.64	70.20	71.64	70.82	70.03	68.45	70.82	70.33	71.64	65.62
Q10. 番組の実用性 (FACTOR4)										
総計	769	81	129	297	241	196	404	175	239	40
有効数	49.74	52.34	50.28	48.36	50.62	51.56	49.37	49.61	50.94	53.28
平均値	10.00	10.31	10.25	10.49	9.44	9.39	10.06	11.19	8.72	8.08
標準偏差	-0.292	0.171	0.104	-0.393	-0.314	-0.131	-0.179	-0.333	-0.228	0.365
最小値	18.06	22.60	23.06	17.00	24.93	18.06	20.31	17.00	25.23	34.73
最大値	76.62	76.62	76.62	73.63	74.63	73.29	74.63	75.51	71.50	76.62
Q10. 要点提示の適切性 (FACTOR5)										
総計	769	81	129	297	241	196	404	175	239	40
有効数	49.94	50.03	49.02	49.55	51.06	50.04	49.52	49.40	51.01	51.69
平均値	10.00	10.54	10.17	9.93	10.14	9.73	10.50	10.15	9.02	8.74
標準偏差	-0.124	-0.208	-0.492	0.173	-0.371	-0.098	-0.285	-0.218	0.362	0.589
最小値	3.96	24.56	9.74	24.04	3.96	21.82	3.96	18.38	31.36	37.03
最大値	77.40	70.58	73.90	77.40	74.00	73.91	77.40	70.58	74.00	72.67
Q10. 難解性・専門性・進歩性 (FACTOR6)										
総計	769	81	129	297	241	196	404	175	239	40
有効数	50.00	49.82	49.28	50.16	49.57	50.71	49.57	50.64	50.31	49.61
平均値	10.00	10.02	9.89	10.20	9.44	10.37	10.46	10.16	9.13	8.68
標準偏差	0.083	0.088	0.109	-0.103	0.057	0.339	-0.035	0.434	0.048	0.094
最小値	15.71	15.71	26.64	15.71	17.79	24.06	15.71	28.24	21.80	32.07
最大値	83.83	83.83	72.77	80.22	75.09	83.83	80.94	83.83	75.26	67.22

表 3 - 1 性別・年齢群別・所属機関別・尺度偏差値基礎統計量一覧 (その 7)

	性別		年 齡		群		所 属 機 関			
	性 男	性 女	3 4 歳 ~	3 5 ~ 4 4 歳	4 5 ~ 5 4 歳	5 5 歳 以 上	国 立 大 学	私 立 大 学	高 専	短 期 学 校
Q10. 図表提示の適切性 (FACTOR7)										
総 計	864	81	129	297	241	196	404	175	239	40
有効数	50.00	51.71	47.79	49.53	50.67	51.32	49.83	49.14	50.68	51.48
平均値	10.00	9.05	9.71	10.48	9.52	9.76	10.23	10.43	9.34	8.65
標準偏差	-0.337	0.046	-0.111	-0.262	-0.352	-0.598	-0.493	-0.239	-0.066	-0.494
最小値	17.31	32.39	18.60	17.31	20.18	20.76	17.31	21.52	23.91	34.14
最大値	76.77	72.51	74.62	75.61	76.77	71.80	75.61	73.10	76.77	69.04
Q10. 印刷教材の適切性 (FACTOR8)										
総 計	864	81	129	297	241	196	404	175	239	40
有効数	50.00	49.55	47.79	49.44	50.38	51.90	50.14	50.32	49.15	52.76
平均値	10.00	9.96	9.55	10.28	9.99	9.46	10.34	10.12	8.85	9.56
標準偏差	0.205	-0.044	0.089	0.213	0.298	0.206	0.267	0.351	-0.125	0.141
最小値	14.40	21.49	21.26	20.37	14.40	28.13	14.40	23.94	20.37	36.12
最大値	84.32	76.53	82.46	82.12	84.32	79.77	84.32	82.12	75.60	75.81

表 3-2 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・尺度偏差基礎統計量一覧 (その 1)

	総計	大学職位				メディア		科目分類			理系・文系				
		大学		教授		テレビ	ラジオ	基礎	本 科	外国語	専門	理系科目	文系科目		
		教授	助教授	大学	学										
Q6. メディア特性の活用度(FACTOR1)															
有効標準最	789	205	161	80	642	147	237	101	451	396	292				
平均値	50.00	50.24	47.93	51.84	51.03	45.51	49.91	58.19	48.21	47.71	50.27				
偏差	10.00	9.83	9.69	9.80	9.48	10.94	8.37	10.96	9.64	8.73	9.74				
最大値	-0.015	-0.095	0.194	-0.271	0.033	0.219	-0.373	-0.497	-0.046	-0.179	-0.244				
最小値	25.43	27.16	25.43	28.18	27.51	25.43	25.43	28.74	27.24	27.24	25.43				
標準偏差	80.26	80.26	79.67	73.32	80.26	79.67	71.85	80.26	74.19	64.55	74.19				
Q6. 視聴者考慮の頻度(FACTOR2)															
有効標準最	789	205	161	80	642	147	237	101	451	396	292				
平均値	50.00	49.93	48.94	51.22	50.07	49.70	49.81	50.27	50.04	49.63	50.41				
偏差	10.00	10.25	9.80	11.21	9.71	11.18	9.40	9.87	10.33	9.56	10.59				
最大値	-0.007	0.087	0.363	-0.382	0.049	-0.149	-0.052	-0.258	0.055	0.145	-0.114				
最小値	88.73	25.17	19.51	20.74	19.51	21.28	21.28	20.74	19.51	19.51	21.28				
標準偏差	77.09	77.09	88.73	74.07	88.73	76.43	88.73	74.15	76.66	88.73	76.66				
Q6. 印刷教材利用頻度(FACTOR3)															
有効標準最	789	205	161	80	642	147	237	101	451	396	292				
平均値	50.00	50.35	49.03	49.25	49.09	53.97	47.11	57.97	49.73	49.55	47.85				
偏差	10.00	10.31	9.74	9.42	9.97	9.12	8.45	8.48	10.13	9.80	9.39				
最大値	0.198	0.427	-0.014	-0.038	0.303	-0.149	0.231	0.184	0.165	0.277	0.158				
最小値	26.72	30.94	29.67	29.60	26.72	33.67	26.72	34.12	28.01	29.60	26.72				
標準偏差	84.97	77.79	68.56	68.05	84.97	73.53	73.53	84.97	77.79	77.29	77.79				
Q6. 講義内容の多さ(FACTOR4)															
有効標準最	789	205	161	80	642	147	237	101	451	396	292				
平均値	50.00	51.36	50.65	50.50	49.88	50.53	48.43	51.47	50.50	49.64	49.98				
偏差	10.00	10.12	10.28	11.22	9.52	11.84	9.03	11.63	9.99	9.89	9.47				
最大値	0.419	1.009	0.430	0.503	0.654	-0.180	-0.009	0.779	0.393	0.279	0.351				
最小値	-1.26	27.26	17.02	23.89	17.02	-1.26	12.17	32.14	-1.26	-1.26	12.17				
標準偏差	93.19	93.19	92.46	88.25	93.19	88.25	80.09	88.25	93.19	93.19	83.96				
Q6. 実資料素材利用頻度(視覚素材: FACTOR1)															
有効標準最	579	167	111	52	579		206	26	347	366	187				
平均値	50.00	50.77	49.71	53.25	50.00		50.98	44.37	49.84	49.58	51.60				
偏差	10.00	10.07	10.22	9.48	10.00		9.56	10.56	10.06	10.09	9.36				
最大値	-0.098	-0.267	-0.023	-0.268	-0.098		-0.035	0.019	-0.102	-0.008	-0.218				
最小値	26.93	27.85	26.97	32.99	26.93		29.36	28.52	26.93	29.32	26.93				
標準偏差	76.36	72.71	74.56	76.36	76.36		76.36	65.46	76.14	76.36	72.71				
Q6. 黒板・図版利用頻度(視覚素材: FACTOR2)															
有効標準最	579	167	111	52	579		206	26	347	366	187				
平均値	50.00	50.46	50.13	51.06	50.00		48.79	42.18	51.30	51.40	48.34				
偏差	10.00	9.41	10.64	10.36	10.00		9.35	8.50	10.12	9.61	10.18				
最大値	-0.121	-0.248	-0.093	-0.123	-0.121		0.011	0.633	-0.275	-0.141	-0.116				
最小値	20.93	26.01	22.67	29.41	20.93		28.34	29.41	20.93	22.67	20.93				
標準偏差	77.08	72.51	74.75	71.45	77.08		74.11	59.94	77.08	77.08	73.37				

表3-2 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・尺度偏差基礎統計量一覧 (その2)

	大学職位別・メディア別										科目分類			理系・文系	
	大学職位					メディア					基礎			理科学科	文科学科
	総計	大学教員	大学助教授	大学講師	大学学術	テレビ	ラジオ	外国語	専門	基礎	基礎	基礎	基礎	理科学科	文科学科
Q6. アニメ・実験導入頻度(視覚素材: FACTOR3)															
有効数	579	167	111	52		579		206	26	347		366	187		
平均値	50.00	50.76	50.69	51.34		50.00		49.83	43.89	50.56		51.53	47.86		
標準偏差	10.00	10.41	11.48	8.65		10.00		9.08	10.26	10.34		9.94	9.35		
最小値	0.295	0.086	0.701	-0.095		0.295		0.443	0.746	0.228		0.319	0.224		
最大値	30.26	32.56	33.20	33.19		30.26		32.60	32.22	32.26		30.26	32.56		
	84.06	73.03	84.06	72.04		84.06		84.06	67.63	81.32		84.06	72.92		
Q7. 講義内容の多さ改善(FACTOR1)															
有効数	626	176	127	56		452	174	70	61	495		316	249		
平均値	50.00	49.38	49.63	52.85		50.25	49.35	50.52	49.74	49.96		50.18	49.84		
標準偏差	10.00	10.27	8.76	11.76		10.18	9.48	10.67	8.68	10.05		10.02	10.26		
最小値	1.486	1.519	1.030	1.325		1.556	1.257	1.192	0.977	1.579		1.709	1.312		
最大値	32.00	32.00	34.84	39.66		32.00	34.84	35.13	34.84	32.00		36.61	32.00		
	89.35	83.05	74.88	83.10		89.35	78.73	81.45	74.99	89.35		89.35	89.35		
Q7. ゲスト等登壇時間改善(FACTOR2)															
有効数	626	176	127	56		452	174	70	61	495		316	249		
平均値	50.00	51.52	48.76	49.20		50.45	48.82	51.16	48.15	50.06		48.97	51.76		
標準偏差	10.00	12.01	8.06	9.31		10.39	8.80	10.25	8.03	10.15		9.36	10.92		
最小値	1.527	1.405	1.551	2.044		1.468	1.663	1.273	1.592	1.551		1.840	1.191		
最大値	38.36	38.36	40.02	40.25		38.42	38.36	39.02	38.43	38.36		38.42	38.36		
	99.21	99.21	77.36	85.02		99.21	80.22	80.22	76.30	99.21		99.21	90.66		
Q7. 息抜き・考慮機会改善(FACTOR3)															
有効数	626	176	127	56		452	174	70	61	495		316	249		
平均値	50.00	51.17	50.74	49.28		49.23	52.00	52.08	53.62	49.26		49.04	50.33		
標準偏差	10.00	10.87	9.29	10.57		9.59	10.74	9.99	11.48	9.66		9.43	10.09		
最小値	0.869	0.962	0.579	0.991		0.906	0.742	0.441	0.623	0.959		0.914	0.841		
最大値	37.60	38.40	37.60	38.40		37.60	38.59	37.60	39.82	37.60		37.60	37.60		
	83.64	83.64	73.21	72.98		83.41	83.64	76.52	83.64	83.41		80.10	83.41		
Q7. 問い・印刷教材参照改善(FACTOR4)															
有効数	626	176	127	56		452	174	70	61	495		316	249		
平均値	50.00	52.22	49.57	49.70		49.41	51.54	51.46	47.72	50.07		50.19	50.32		
標準偏差	10.00	9.85	10.44	8.99		9.58	10.86	11.24	12.30	9.44		9.07	10.41		
最小値	-0.258	0.249	-0.211	0.003		-0.203	-0.464	-0.391	-0.678	-0.085		0.324	-0.504		
最大値	22.63	22.63	21.98	18.51		22.63	21.98	17.39	15.38	17.39		18.51	9.30		
	76.90	76.90	74.40	76.90		76.90	76.90	76.90	67.46	76.90		76.90	76.90		
Q7. 講師登壇時間・演習問題利用の改善(FACTOR5)															
有効数	626	176	127	56		452	174	70	61	495		316	249		
平均値	50.00	51.14	49.09	47.57		49.80	50.52	49.43	55.28	49.43		49.90	48.84		
標準偏差	10.00	10.67	9.16	8.03		9.78	10.53	8.68	12.99	9.55		9.65	9.15		
最小値	1.147	1.206	1.071	1.304		0.815	1.845	0.822	1.610	0.906		0.786	1.056		
最大値	31.27	34.72	32.88	34.72		31.27	36.16	34.72	36.17	31.27		31.27	32.88		
	101.09	101.09	79.64	71.81		81.18	101.09	74.66	101.09	81.18		81.18	79.64		

表3-2 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・尺度偏差基礎統計量一覧 (その3)

	総計	大学職位			メディア		科目分類			理系・文系			
		大学職位			メディア		科目分類			理系・文系			
		大学教授	大学助教授	大学講師	テレビ	ラジオ	基礎	外国語	専門	理系科目	文系科目		
Q7. 実資料素材利用度改善(視覚素材: FACTOR1)													
有効度	855	252	167	79	681	174	109	234	512	409	337		
標準値	50.00	49.03	51.09	50.41	51.26	45.06	44.91	51.76	50.28	51.51	49.81		
偏差	10.00	9.07	10.56	9.98	10.73	3.22	3.33	11.39	9.92	10.92	9.70		
最大値	1.588	1.667	1.317	1.552	1.286	4.497	6.778	1.234	1.479	1.236	1.641		
最小値	36.37	36.37	38.84	38.84	36.37	38.84	41.15	36.37	38.84	36.37	38.84		
	86.85	82.07	86.85	82.07	86.85	64.51	73.19	86.85	86.85	86.85	86.85		
Q7. 黒板・図版利用度改善(視覚素材: FACTOR2)													
有効度	855	252	167	79	681	174	109	234	512	409	337		
標準値	50.00	49.84	49.73	49.82	50.86	46.63	46.98	50.21	50.55	50.56	50.29		
偏差	10.00	10.43	8.48	9.05	10.89	3.55	5.20	9.87	10.70	10.73	10.09		
最大値	2.472	2.655	2.254	2.202	2.149	5.592	2.305	2.234	2.305	2.226	2.381		
最小値	42.64	43.10	43.10	42.64	42.64	44.28	42.64	42.64	42.64	42.64	42.64		
	90.62	90.62	89.33	88.87	90.62	71.88	89.33	89.44	90.62	90.62	90.62		
Q7. アニメ・実験頻度改善(視覚素材: FACTOR3)													
有効度	855	252	167	79	681	174	109	234	512	409	337		
標準値	50.00	50.36	49.60	48.73	51.21	45.28	45.88	51.50	50.19	52.30	48.54		
偏差	10.00	10.20	9.54	8.99	10.77	3.02	4.48	10.75	10.26	11.32	8.82		
最大値	1.565	1.473	1.652	2.031	1.233	8.777	1.492	1.221	1.492	1.043	2.005		
最小値	39.33	40.29	40.29	39.33	39.33	40.29	40.45	39.33	39.33	39.33	39.33		
	79.23	78.11	77.95	77.95	79.23	77.95	68.55	78.11	79.23	78.11	79.23		
Q8. 講師の親しやすさ(講師: FACTOR1)													
有効度	956	275	197	87	752	204	119	291	546	480	357		
標準値	50.00	50.78	49.47	48.71	49.93	50.27	48.12	48.88	51.01	50.42	50.06		
偏差	10.00	9.33	11.13	12.11	10.01	9.95	10.35	10.07	9.76	9.78	10.11		
最大値	-0.137	0.061	-0.121	-0.515	-0.116	-0.218	-0.150	-0.139	-0.110	-0.008	-0.273		
最小値	9.05	29.31	9.05	15.95	9.05	19.86	15.95	17.16	9.05	9.05	17.16		
	79.08	78.82	77.73	76.89	79.08	74.27	77.73	77.87	79.08	79.08	77.87		
Q8. 講師の堅さ(講師: FACTOR2)													
有効度	956	275	197	87	752	204	119	291	546	480	357		
標準値	50.00	50.18	48.13	49.18	50.54	48.03	49.72	50.46	49.82	51.52	48.04		
偏差	10.00	10.01	11.03	10.02	9.90	10.13	9.78	8.64	10.69	10.10	9.58		
最大値	-0.166	-0.022	-0.481	0.237	0.015	-0.775	-0.472	0.020	-0.147	-0.126	-0.214		
最小値	10.94	20.89	10.94	29.42	18.46	10.94	20.89	22.04	10.94	10.94	18.46		
	87.62	78.42	74.26	75.30	87.62	72.69	74.26	78.24	87.62	87.62	75.68		
Q8. 講師の派手さ(講師: FACTOR3)													
有効度	956	275	197	87	752	204	119	291	546	480	357		
標準値	50.00	50.61	47.31	48.21	50.43	48.43	47.72	50.02	50.49	51.60	48.60		
偏差	10.00	9.20	10.21	11.13	9.61	11.17	11.38	9.12	10.06	9.63	9.64		
最大値	-0.365	-0.482	-0.209	0.071	-0.287	-0.447	-0.680	-0.605	-0.135	-0.176	-0.398		
最小値	17.29	17.29	22.49	26.93	22.22	17.29	17.29	21.77	25.03	25.03	21.77		
	90.56	70.33	74.47	74.92	90.56	70.33	64.34	69.60	90.56	90.56	70.34		

表3-2 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・尺度偏差値基礎統計量一覧 (その4)

	総計	大 学 職 位				メディア		科 目 分 類		理系・文系			
		大 学 授 教		大 学 授 教		テレビ	ラジオ	基 礎	本 科	外 国 語	専 門		
		大 教	助 授	大 講	学 師								
Q8. 明解な話し方(話し方: FACTOR1)													
数値	958	278	195	86	753	205	291	121	546	476	361		
平均	50.00	50.88	49.71	49.20	49.84	50.59	49.77	49.22	50.30	50.49	49.62		
標準偏差	10.00	9.00	11.69	10.72	9.76	10.81	10.39	9.46	9.89	9.99	10.16		
最小	-0.024	0.207	-0.089	-0.281	-0.020	-0.068	0.101	-0.333	-0.043	0.036	-0.021		
最大	21.45	26.42	21.45	26.11	21.45	22.87	21.49	22.87	21.45	21.45	21.49		
	79.00	78.65	77.62	73.10	79.00	78.65	78.65	73.10	79.00	79.00	78.65		
Q8. 面白味のある話し方(話し方: FACTOR2)													
数値	958	278	195	86	753	205	291	121	546	476	361		
平均	50.00	50.30	49.24	48.97	49.91	50.34	49.27	47.23	51.00	50.27	50.57		
標準偏差	10.00	9.65	11.33	10.31	10.15	9.43	9.54	9.22	10.25	10.07	10.02		
最小	-0.075	-0.070	0.052	-0.057	-0.033	-0.254	-0.352	-0.416	0.048	0.017	-0.152		
最大	19.70	19.70	22.28	23.94	19.70	23.13	19.70	22.28	23.65	22.96	19.70		
	80.63	77.98	80.63	73.74	80.63	70.78	77.06	67.32	80.63	80.63	78.51		
Q8. 話し方の堅さ(話し方: FACTOR3)													
数値	958	278	195	86	753	205	291	121	546	476	361		
平均	50.00	50.32	48.58	49.90	49.81	50.71	50.67	49.20	49.82	50.17	50.04		
標準偏差	10.00	10.20	10.52	10.48	9.67	11.10	9.76	10.68	9.95	9.43	10.47		
最小	-0.310	-0.125	-0.209	-0.360	-0.168	-0.708	-0.435	-0.610	-0.160	-0.232	-0.268		
最大	13.56	20.72	17.30	15.34	15.34	13.56	13.56	15.34	17.30	22.20	13.56		
	80.56	80.00	80.56	77.45	80.56	77.45	80.00	69.02	80.56	80.00	80.56		
Q8. 話す速さ(話し方: FACTOR4)													
数値	958	278	195	86	753	205	291	121	546	476	361		
平均	50.00	51.40	49.12	47.42	50.52	48.10	50.00	48.66	50.30	51.11	48.99		
標準偏差	10.00	9.66	11.16	9.42	9.51	11.43	9.24	9.47	10.47	9.69	10.40		
最小	-0.014	-0.050	0.517	-0.582	0.110	-0.122	0.038	0.141	-0.074	0.101	-0.144		
最大	19.09	24.25	19.11	21.21	19.09	19.11	20.07	23.72	19.09	21.76	19.09		
	92.55	84.22	92.55	72.91	92.55	85.97	85.97	79.51	92.55	92.55	85.97		
Q9. 講師の親近感改善(講師: FACTOR1)													
数値	595	174	123	55	421	174	68	58	469	297	240		
平均	50.00	51.64	48.74	49.99	50.06	49.85	49.00	53.82	49.67	49.37	49.86		
標準偏差	10.00	11.74	7.35	10.73	9.81	10.45	8.70	12.93	9.65	8.42	10.76		
最小	2.600	2.129	2.562	2.499	2.488	2.866	3.847	1.825	2.629	2.098	3.020		
最大	33.16	36.54	40.41	36.54	33.16	36.54	42.04	42.04	33.16	33.16	36.54		
	99.96	99.96	82.07	96.09	99.96	99.96	99.96	99.96	99.96	86.31	99.96		
Q9. 講師の堅さ改善(講師: FACTOR2)													
数値	595	174	123	55	421	174	68	58	469	297	240		
平均	50.00	50.34	49.39	52.67	50.26	49.37	50.12	50.42	49.93	50.41	49.40		
標準偏差	10.00	9.86	9.48	12.93	10.40	8.93	10.48	9.60	9.98	10.47	9.46		
最小	3.738	3.241	4.473	2.689	3.635	4.063	4.079	2.525	3.858	3.703	4.160		
最大	40.55	40.55	40.55	43.72	40.55	40.55	43.17	40.55	40.55	41.10	40.55		
	114.81	114.81	114.81	112.20	114.81	112.75	112.75	87.82	114.81	114.81	114.81		

表3-2 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・尺度偏差基礎統計量一覧 (その5)

	総計	大 学 職 位		メ デ ィ ア		科 目 分 類		理 系 ・ 文 系			
		大 学 教 授		大 学 大 講 師		基 本 基 礎		理 科 系 目 文 科 系 目			
		大 教	計	テ レ ビ	ラ ジ オ	基 本 基 礎	専 門 目 目	理 科 系 目	文 科 系 目		
09. 講師の活動性改善(講師：FACTOR3)											
有効性改善 効 均 偏 平 標 差 最 大	数値	174	595	123	55	421	174	58	469	297	240
	度	49.71	50.00	49.96	51.26	50.11	49.73	49.84	50.04	49.57	50.56
	度	9.56	10.00	9.41	10.15	10.15	9.63	6.95	10.57	9.65	10.78
	度	4.193	4.193	4.291	3.129	4.001	4.802	2.037	4.362	4.366	4.326
	度	30.43	30.43	34.81	41.02	30.43	40.01	40.01	33.55	33.55	40.01
度	130.32	130.32	121.99	102.80	130.32	121.99	74.09	130.32	121.99	130.32	
09. 話し方の明解さの改善(話し方：FACTOR1)											
有効性改善 効 均 偏 平 標 差 最 大	数値	243	813	162	78	639	174	105	486	381	327
	度	50.14	50.00	50.36	49.07	50.29	48.93	50.19	49.79	49.96	50.47
	度	10.41	10.00	10.37	8.06	10.17	9.27	10.07	10.19	9.93	10.61
	度	0.882	1.022	1.022	0.818	0.967	1.260	1.101	0.951	1.015	1.080
	度	32.02	32.02	34.60	38.35	32.02	34.60	34.60	32.02	32.02	34.60
度	88.57	89.34	86.01	70.71	89.34	82.66	88.57	80.59	89.34	86.01	
09. 話し方の間の改善(話し方：FACTOR2)											
有効性改善 効 均 偏 平 標 差 最 大	数値	243	813	162	78	639	174	105	486	381	327
	度	50.52	50.00	49.45	47.52	49.67	51.23	49.69	49.90	50.08	49.55
	度	10.55	10.00	10.11	8.23	9.65	11.11	9.81	10.57	10.12	9.63
	度	1.384	1.384	1.604	2.146	1.466	1.125	1.428	1.319	1.394	1.438
	度	36.14	36.14	38.00	40.38	36.14	38.00	36.14	38.00	36.14	36.14
度	83.23	83.23	81.23	79.53	83.23	83.23	83.23	83.23	81.33	81.33	83.23
09. 話し方の豊かさの改善(話し方：FACTOR3)											
有効性改善 効 均 偏 平 標 差 最 大	数値	243	813	162	78	639	174	105	486	381	327
	度	50.81	50.00	49.81	48.81	50.21	49.24	51.47	49.13	49.68	50.07
	度	10.15	10.00	10.58	9.63	10.08	9.68	10.64	11.62	9.72	9.73
	度	0.988	0.988	1.256	1.052	0.947	1.167	0.693	0.988	0.935	0.870
	度	38.41	38.41	38.75	38.75	38.41	38.75	38.75	39.12	38.41	38.75
度	86.42	86.42	86.42	74.37	86.42	84.74	85.92	86.42	85.07	85.07	85.92
09. 話し方の簡潔性の改善(話し方：FACTOR4)											
有効性改善 効 均 偏 平 標 差 最 大	数値	243	813	162	78	639	174	105	486	381	327
	度	49.24	50.00	50.49	48.68	49.81	50.71	49.90	49.97	50.10	49.77
	度	8.94	10.00	9.99	9.02	9.89	10.36	9.94	10.12	10.81	9.11
	度	2.332	2.332	2.190	2.190	2.423	2.073	2.276	1.993	2.360	2.366
	度	37.60	37.60	39.19	37.60	37.60	38.72	37.60	37.91	37.70	37.60
度	103.93	103.93	98.15	83.22	103.93	98.06	103.93	90.59	99.28	103.93	99.28

表3-2 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・尺度偏差値基礎統計量一覧 (その6)

総計	大学職位				メディア		科目分類			理系・文系		
	大教	学授	大助教授	学師	ラジオリ	デレピ	基礎	基本	外国語科目	専門科目	理科学科	文科学科
Q10.講義内容質量の適切性(FACTOR1)												
数値	864	241	173	81	170	694	258	109	497	436	319	
有効均偏	50.00	50.47	50.03	50.12	50.70	49.83	50.15	46.18	50.76	50.50	50.63	
標準差	10.00	9.22	11.18	10.16	11.55	10.08	10.11	11.55	9.37	9.70	9.54	
偏差値	-0.338	-0.176	-1.246	-0.379	-0.131	-0.379	0.002	-0.493	-0.369	-0.100	-0.415	
最小	6.90	17.32	11.21	6.90	24.01	6.90	16.19	6.90	11.21	17.32	11.21	
最大	75.75	74.87	75.75	69.43	74.48	75.75	74.48	70.78	75.75	75.75	74.48	
Q10.視聴者理解の配慮工夫(FACTOR2)												
数値	864	241	173	81	170	694	258	109	497	436	319	
有効均偏	50.00	50.53	48.43	49.66	48.81	50.29	50.46	50.89	49.57	50.14	49.51	
標準差	10.00	9.61	11.12	10.22	9.52	10.09	9.08	10.24	10.37	10.02	9.86	
偏差値	-0.134	0.138	-0.139	-0.169	-0.252	-0.121	-0.047	-0.406	-0.092	-0.183	0.025	
最小	15.06	25.67	15.06	23.92	20.94	15.06	24.06	20.94	15.06	15.06	23.92	
最大	83.20	83.20	77.03	71.54	77.03	83.20	74.83	77.98	83.20	77.81	83.20	
Q10.番組への満足度(FACTOR3)												
数値	864	241	173	81	170	694	258	109	497	436	319	
有効均偏	50.00	50.47	50.18	50.96	48.78	50.30	48.84	50.73	50.44	50.49	49.08	
標準差	10.00	9.31	11.16	10.44	9.62	9.93	10.59	10.03	9.62	9.78	10.22	
偏差値	-0.373	-0.229	-0.334	-0.713	-0.117	-0.439	-0.452	-0.400	-0.285	-0.314	-0.428	
最小	9.82	23.77	20.94	19.82	18.79	9.82	9.82	22.00	19.82	20.94	9.82	
最大	71.64	70.78	70.08	70.82	70.08	71.64	70.09	69.91	71.64	71.64	70.82	
Q10.番組の実用性(FACTOR4)												
数値	864	241	173	81	170	694	258	109	497	436	319	
有効均偏	50.00	50.59	48.37	49.02	44.94	51.24	46.95	53.57	50.80	49.76	49.11	
標準差	10.00	9.73	10.63	11.46	10.81	9.38	9.88	10.30	9.58	9.35	10.49	
偏差値	-0.270	-0.177	-0.218	-0.311	-0.122	-0.285	-0.223	-0.914	-0.167	-0.289	-0.086	
最小	17.00	18.06	20.31	17.00	17.00	20.31	20.31	18.06	17.00	17.00	20.31	
最大	76.62	73.29	72.36	75.51	75.51	76.62	73.29	75.51	76.62	73.63	76.62	
Q10.要点提示の適切性(FACTOR5)												
数値	864	241	173	81	170	694	258	109	497	436	319	
有効均偏	50.00	49.19	49.99	50.29	49.46	50.13	49.22	49.79	50.45	51.22	48.40	
標準差	10.00	9.45	11.23	9.76	9.55	10.10	10.15	9.23	10.06	9.71	10.40	
偏差値	-0.143	-0.038	-0.448	-0.425	-0.003	-0.176	-0.064	-0.045	-0.203	0.063	-0.346	
最小	3.96	21.82	3.96	18.38	24.04	3.96	9.74	25.13	3.96	12.70	3.96	
最大	77.40	73.65	73.51	70.58	73.90	77.40	74.00	70.17	77.40	77.40	73.51	
Q10.難解性・専門性・進捗度(FACTOR6)												
数値	864	241	173	81	170	694	258	109	497	436	319	
有効均偏	50.00	50.34	49.59	48.41	49.98	50.00	47.16	48.69	51.76	51.70	48.13	
標準差	10.00	10.46	10.55	9.02	9.01	10.23	9.28	9.57	10.07	10.51	8.97	
偏差値	0.083	0.201	0.178	0.173	0.205	0.062	-0.349	-0.134	0.239	0.101	-0.126	
最小	15.71	24.06	17.79	28.66	23.12	15.71	15.71	25.73	23.12	17.79	15.71	
最大	83.83	83.83	80.22	72.62	78.97	83.83	69.66	72.23	83.83	83.83	74.30	

表 3-2 大学職位別・メディア別・科目分類別・理文別・尺度偏差基礎統計量一覧 (その 7)

Q10. 図表提示の適切性 (FACTOR7)	大 学 職 位				メ デ ィ ア		科 目 分 類			理 系 ・ 文 系				
	総 計	大 学 教 授	大 学 助 教 授	大 学 講 師	テ レ ビ	ラ ジ オ	基 礎	本 科	外 国 語	専 門	理 科 系 目		文 科 系 目	
											理 科 系 目	文 科 系 目		
数 値	864	241	173	81	694	170	258	109	497	436	319			
有 効 偏 差	50.00	50.68	48.89	49.57	51.88	42.34	51.27	44.67	50.51	52.19	48.82			
平 均 値	10.00	10.03	11.23	9.33	9.29	9.12	10.17	8.25	9.90	9.72	10.03			
最 小 値	-0.337	-0.473	-0.311	-0.558	-0.362	-0.237	-0.392	-0.402	-0.423	-0.511	-0.280			
最 大 値	17.31	20.76	17.31	21.52	20.18	17.31	22.84	18.60	17.31	17.31	20.76			
	76.77	72.73	75.61	68.40	76.77	65.79	73.10	63.38	76.77	76.77	75.46			
Q10. 印刷教材の適切性 (FACTOR8)	864	241	173	81	694	170	258	109	497	436	319			
数 値	864	241	173	81	694	170	258	109	497	436	319			
有 効 偏 差	50.00	50.82	50.51	49.44	49.86	50.56	49.92	51.30	49.76	50.18	49.31			
平 均 値	10.00	9.67	11.83	8.41	9.98	10.07	10.30	9.31	9.97	9.86	10.36			
最 小 値	0.205	0.153	0.415	-0.171	0.187	0.277	0.273	0.240	0.175	0.272	0.154			
最 大 値	14.40	14.40	21.26	29.28	14.40	23.94	14.40	29.28	20.37	21.65	14.40			
	84.32	79.77	84.32	68.17	84.32	82.46	82.12	82.46	84.32	82.12	84.32			

表 3-3 理文×メデア別・講義形態別・講義形態×メデア別・尺度偏差値基礎統計一覧 (その1)

	総計	理文×メデア				講義形態		講義形態×メデア					
		理科×テレビ	理科×ラジオ	文科×テレビ	文科×ラジオ	講師	その他形態	1人×テレビ	1人×ラジオ	その他テレビ	その他ラジオ		
Q6.メデア利用度(FACTOR1)													
特性の活用数	789	371	25	218	74	455	295	366	89	243	52		
有効標準偏差	50.00	48.14	41.30	52.63	43.32	46.70	54.82	47.98	41.43	55.54	51.43		
平均値	10.00	8.53	9.16	8.22	10.52	9.55	8.86	9.11	9.51	8.31	10.42		
標準偏差	-0.015	-0.170	0.225	-0.040	0.340	0.139	-0.063	0.138	0.534	0.159	-0.210		
最大値	25.43	27.51	27.24	34.13	25.43	25.43	27.24	27.51	25.43	34.29	27.24		
最小値	80.26	64.55	57.50	74.19	63.17	79.74	80.26	79.74	61.63	80.26	79.67		
Q6.視聴者利用度(FACTOR2)													
特性の活用数	789	371	25	218	74	455	295	366	89	243	52		
有効標準偏差	50.00	49.46	52.07	51.23	48.01	49.09	51.23	48.87	49.99	51.66	49.26		
平均値	10.00	9.31	12.48	10.34	10.95	9.89	10.09	9.51	11.27	9.83	11.00		
標準偏差	-0.007	0.133	-0.064	-0.035	-0.246	-0.187	0.191	-0.248	-0.109	0.360	-0.256		
最大値	19.51	19.51	23.92	23.79	21.28	19.51	21.28	19.51	23.92	27.99	21.28		
最小値	88.73	88.73	76.43	76.66	71.37	76.43	88.73	75.39	76.43	88.73	74.15		
Q6.印刷教材利用度(FACTOR3)													
特性の活用数	789	371	25	218	74	455	295	366	89	243	52		
有効標準偏差	50.00	49.54	49.72	46.68	51.31	50.62	49.40	50.23	52.24	47.71	57.29		
平均値	10.00	9.90	8.19	9.41	8.43	9.81	10.47	9.99	8.82	9.96	9.06		
標準偏差	0.198	0.286	0.057	0.281	-0.044	0.224	0.178	0.294	-0.030	0.327	-0.585		
最大値	26.72	29.60	34.48	26.72	33.67	26.72	28.01	26.72	33.67	28.01	36.18		
最小値	84.97	77.29	65.82	77.79	73.53	77.29	84.97	77.29	73.53	84.97	73.18		
Q6.講義内容の多さ(FACTOR4)													
特性の活用数	789	371	25	218	74	455	295	366	89	243	52		
有効標準偏差	50.00	49.70	48.70	50.08	49.70	50.46	49.71	50.32	51.05	49.56	50.42		
平均値	10.00	9.71	12.21	9.04	10.64	10.35	9.69	9.95	11.87	9.13	11.93		
標準偏差	0.419	0.631	-2.562	0.758	-0.376	0.168	0.806	0.605	-0.963	0.650	1.064		
最大値	-1.26	17.02	-1.26	26.08	12.17	-1.26	23.54	17.02	-1.26	23.54	32.14		
最小値	93.19	93.19	75.64	83.96	74.06	93.19	88.25	93.19	78.62	80.09	88.25		
Q6.実資料素材利用度(視覚素材:FACTOR1)													
特性の活用数	579	366		187		323	229	323		229			
有効標準偏差	50.00	49.58		51.60		48.89	51.48	48.89		51.48			
平均値	10.00	10.09		9.36		10.52	9.03	10.52		9.03			
標準偏差	-0.098	-0.008		-0.218		0.043	-0.275	0.043		-0.275			
最大値	26.93	26.93		29.32		26.93	28.52	26.93		28.52			
最小値	76.36	76.36		72.71		76.14	76.36	76.14		76.36			
Q6.黒板・図版利用度(視覚素材:FACTOR2)													
特性の活用数	579	366		187		323	229	323		229			
有効標準偏差	50.00	51.40		48.34		51.06	48.78	51.06		48.78			
平均値	10.00	9.61		10.18		9.77	10.44	9.77		10.44			
標準偏差	-0.121	-0.141		-0.116		-0.056	-0.189	-0.056		-0.189			
最大値	20.93	22.67		20.93		22.67	20.93	22.67		20.93			
最小値	77.08	77.08		73.37		77.08	74.11	77.08		74.11			

表3-3 理文×メメディア別・講義形態別・講義形態×メメディア別・尺度偏差値基礎統計量一覧 (その2)

	総計	理文×メメディア				講義形態				講義形態×メメディア					
		理科×テレビ		文科×テレビ		講1		その他の形態		1人×テレビ		1人×ラジオ		その他のラジオ	
		数値	偏差値	数値	偏差値	数値	偏差値	数値	偏差値	数値	偏差値	数値	偏差値	数値	偏差値
Q6. アニメ・実験導入頻度(視聴素材: FACTOR3)															
有平標準量最	579	366		187		323		229		323		229		229	
効均偏	50.00	51.53		47.86		49.73		50.26		49.73		50.26		50.26	
準	10.00	9.94		9.35		10.14		10.04		10.14		10.04		10.04	
小	0.295	0.319		0.224		0.422		0.155		0.422		0.155		0.155	
大	30.26	30.26		32.56		30.26		32.22		30.26		32.22		32.22	
	84.06	84.06		72.92		84.06		80.49		84.06		80.49		80.49	
Q7. 講義内容の多さ改善(FACTOR1)															
有平標準量最	626	287		152		402		196		287		115		144	
効均偏	50.00	50.18		50.42		49.85		50.00		50.27		48.78		49.76	
準	10.00	9.92		10.95		9.99		9.77		10.13		9.52		9.87	
小	1.486	1.764		1.436		1.534		1.442		1.586		1.409		1.617	
大	32.00	36.61		39.66		32.00		34.92		32.00		34.84		34.92	
	89.35	89.35		75.15		89.35		89.35		89.35		78.73		89.35	
Q7. ゲスト等登場時間改善(FACTOR2)															
有平標準量最	626	287		152		402		196		287		115		144	
効均偏	50.00	49.15		53.02		50.28		49.16		50.60		49.49		49.82	
準	10.00	9.60		11.50		10.36		9.28		10.82		9.06		9.50	
小	1.527	1.816		1.321		1.550		1.520		1.516		1.612		1.429	
大	38.36	38.42		40.12		38.36		38.36		38.42		39.02		40.12	
	99.21	99.21		61.92		80.22		81.22		99.21		80.22		81.22	
Q7. 息抜き・考慮機会改善(FACTOR3)															
有平標準量最	626	287		152		402		196		287		115		144	
効均偏	50.00	49.06		49.75		50.34		49.56		49.56		52.28		48.58	
準	10.00	9.41		9.89		10.31		9.23		9.70		11.44		9.04	
小	0.869	0.833		0.945		0.714		0.781		0.822		0.821		1.033	
大	37.60	37.60		37.60		38.59		38.06		37.60		38.59		38.06	
	83.64	73.35		83.41		76.52		75.95		83.41		83.64		75.95	
Q7. 問い・印刷教材参照改善(FACTOR4)															
有平標準量最	626	287		152		402		196		287		115		144	
効均偏	50.00	49.92		48.98		49.94		50.28		48.76		52.88		50.54	
準	10.00	8.89		10.35		9.54		10.92		9.30		9.51		10.12	
小	-0.258	0.388		-0.302		-0.099		-0.521		-0.021		-0.374		-0.610	
大	76.90	18.51		22.63		17.39		9.30		18.42		21.98		9.30	
	76.90	76.90		75.11		76.90		76.90		76.90		75.85		76.81	
Q7. 講師登場時間・演習問題利用の改善(FACTOR5)															
有平標準量最	626	287		152		402		196		287		115		144	
効均偏	50.00	49.96		49.27		49.29		51.24		49.38		49.08		50.48	
準	10.00	9.80		8.03		9.88		10.15		10.06		9.42		9.26	
小	1.147	0.783		0.774		1.189		1.139		0.849		2.257		0.791	
大	31.27	31.27		36.17		36.16		36.16		31.27		36.16		36.16	
	101.09	81.18		65.44		74.66		100.35		81.18		101.09		79.64	

表3-3 理文×メメディア別・講義形態別・講義形態×メメディア別・尺度偏差値基礎統計量一覧 (その3)

	理文×メメディア				講義形態				講義形態×メメディア					
	理科×テレビ		文科×テレビ		講師1人		その他の形態		1人×テレビ		1人×ラジオ		その他のテレビ	
	利用度改善数	利用度改善率	利用度改善数	利用度改善率	利用度改善数	利用度改善率	利用度改善数	利用度改善率	利用度改善数	利用度改善率	利用度改善数	利用度改善率	利用度改善数	利用度改善率
Q7. 実資料素材利用度改善(視覚素材: FACTOR1)														
有効標準差	855	380	29	240	97	483	328	368	115	368	115	368	115	52
平均値	50.00	51.90	46.43	51.82	44.86	50.03	49.81	51.54	45.18	50.74	45.18	50.74	45.18	44.87
標準差	10.00	11.14	5.25	10.71	2.93	9.98	9.70	10.83	3.55	10.25	3.55	10.25	3.55	2.57
最大値	1.588	1.588	2.765	1.186	4.919	1.588	1.581	1.241	3.999	1.339	3.999	1.339	3.999	6.232
最小値	36.37	36.37	44.35	38.84	38.84	36.37	36.37	36.37	38.84	36.37	38.84	36.37	38.84	44.35
最大値	86.85	86.85	64.51	86.85	62.05	86.85	86.85	86.85	64.51	86.85	64.51	86.85	64.51	62.05
Q7. 黒板・図版利用度改善(視覚素材: FACTOR2)														
有効標準差	855	380	29	240	97	483	328	368	115	368	115	368	115	52
平均値	50.00	50.76	47.89	51.85	46.44	50.61	49.21	51.88	46.52	49.63	46.52	49.63	46.52	46.97
標準差	10.00	11.01	5.34	11.41	3.25	10.26	9.49	11.30	3.35	10.13	3.35	10.13	3.35	4.14
最大値	2.472	2.156	2.875	1.885	7.119	2.199	2.903	1.813	6.336	2.686	6.336	2.686	6.336	4.049
最小値	42.64	42.64	45.95	42.64	44.74	42.64	42.64	42.64	44.28	42.64	44.28	42.64	44.28	45.95
最大値	90.62	90.62	64.69	90.62	71.88	90.62	90.62	90.62	71.88	90.62	71.88	90.62	71.88	65.15
Q7. アニメ・実験頻度改善(視覚素材: FACTOR3)														
有効標準差	855	380	29	240	97	483	328	368	115	368	115	368	115	52
平均値	50.00	52.89	44.56	49.77	45.52	49.69	50.56	51.07	45.26	51.54	45.26	51.54	45.26	45.37
標準差	10.00	11.52	1.24	9.90	3.85	9.90	10.15	10.83	3.29	10.73	3.29	10.73	3.29	2.57
最大値	1.565	0.933	-2.767	1.515	7.463	1.630	1.483	1.231	8.848	1.236	8.848	1.236	8.848	7.340
最小値	39.33	39.33	40.29	39.33	41.41	39.33	40.29	39.33	40.29	40.29	40.29	40.29	40.29	43.93
最大値	79.23	78.11	45.05	79.23	77.95	77.95	79.23	77.95	77.95	79.23	77.95	79.23	77.95	63.63
Q8. 講師の親しやすさ(講師: FACTOR1)														
有効標準差	956	444	36	245	112	555	348	421	134	421	134	289	59	59
平均値	50.00	50.40	50.62	49.75	50.74	49.66	50.59	49.30	50.80	49.30	50.80	50.83	49.38	49.38
標準差	10.00	9.85	8.82	10.20	9.87	9.74	10.45	9.99	8.80	10.23	8.80	10.23	11.37	11.37
最大値	-0.137	-0.001	-0.113	-0.282	-0.247	-0.119	-0.184	-0.111	-0.047	-0.104	-0.047	-0.104	-0.428	-0.428
最小値	9.05	9.05	29.20	17.16	20.10	9.05	17.16	9.05	25.76	17.16	25.76	17.16	19.86	19.86
最大値	79.08	79.08	70.35	77.87	74.27	79.08	77.87	79.08	74.27	77.87	74.27	77.87	69.58	69.58
Q8. 講師の堅さ(講師: FACTOR2)														
有効標準差	956	444	36	245	112	555	348	421	134	421	134	289	59	59
平均値	50.00	52.01	45.52	47.80	48.58	51.34	48.54	52.19	48.66	48.66	48.66	48.63	48.11	48.11
標準差	10.00	9.81	11.63	9.68	9.33	9.90	9.61	10.03	8.95	9.30	8.95	9.30	10.97	10.97
最大値	-0.166	0.065	-1.078	-0.025	-0.674	-0.196	-0.013	-0.074	-0.990	0.029	-0.990	0.029	-0.107	-0.107
最小値	10.94	18.55	10.94	18.46	22.04	15.72	18.46	18.52	15.72	18.46	15.72	18.46	26.65	26.65
最大値	87.62	87.62	66.58	75.68	68.46	87.62	75.68	87.62	66.58	75.68	66.58	75.68	72.69	72.69
Q8. 講師の派手さ(講師: FACTOR3)														
有効標準差	956	444	36	245	112	555	348	421	134	421	134	289	59	59
平均値	50.00	51.84	48.67	48.48	48.87	49.73	50.70	50.12	48.50	51.04	48.50	51.04	48.98	48.98
標準差	10.00	9.58	9.73	9.01	10.87	10.01	9.74	9.49	11.43	9.53	11.43	9.53	10.53	10.53
最大値	-0.365	-0.182	-0.076	-0.441	-0.366	-0.467	-0.333	-0.455	-0.390	-0.621	-0.390	-0.621	-0.621	-0.621
最小値	17.29	25.03	28.61	25.56	21.77	17.29	25.17	25.03	17.29	25.17	25.03	17.29	25.70	25.70
最大値	90.56	90.56	67.28	70.34	70.33	74.99	73.38	74.99	70.33	79.38	70.33	79.38	62.76	62.76

表 3-3 理文×メデア別・講義形態別・講義形態×メデア別・尺度偏差値基礎統計一覧 (その 4)

		理文×メデア				講義形態				講義形態×メデア			
		理科×メデア		文科×メデア		講 師		その他		1人×メデア		1人×メデア	
		理科×メデア	理科×メデア	文科×メデア	文科×メデア	講 師	講 師	その他	その他	1人×メデア	1人×メデア	1人×メデア	1人×メデア
総 計		理科×メデア	理科×メデア	文科×メデア	文科×メデア	講 師	講 師	その他	その他	1人×メデア	1人×メデア	1人×メデア	1人×メデア
Q8. 明解な話し方(話し方: FACTOR1)		441	35	248	113	558	348			424	134	288	60
効 度	数	50.32	52.61	48.93	51.14	50.02	49.71			49.54	51.51	50.08	47.93
均 偏	差	10.00	9.94	10.36	10.90	9.44	10.67			9.39	9.44	10.27	12.22
準	度	-0.024	0.021	-0.029	-0.100	-0.038	-0.016			-0.038	-0.052	-0.032	0.171
小	値	21.45	31.51	24.49	24.97	21.45	22.87			21.45	28.17	22.40	22.87
大	値	79.00	75.51	77.38	78.65	76.98	79.00			76.98	73.10	79.00	78.65
Q8. 面白味のある話し方(話し方: FACTOR2)		441	35	248	113	558	348			424	134	288	60
効 度	数	50.00	53.43	50.42	50.91	49.14	51.24			48.33	51.73	51.99	47.63
均 偏	差	10.00	8.62	10.48	8.91	9.46	10.67			9.46	9.01	10.84	9.01
準	度	-0.075	0.035	-0.160	-0.075	-0.054	-0.096			-0.021	-0.122	-0.124	-0.385
小	値	19.70	32.47	19.70	29.09	23.13	19.70			23.65	23.13	19.70	23.71
大	値	80.63	70.78	78.51	70.32	80.63	77.98			80.63	70.78	77.98	63.79
Q8. 話し方の堅さ(話し方: FACTOR3)		441	35	248	113	558	348			424	134	288	60
効 度	数	50.07	51.46	49.34	51.59	50.40	49.65			50.09	51.38	49.45	50.60
均 偏	差	10.00	11.69	10.23	10.83	9.90	10.09			9.69	10.47	9.66	11.90
準	度	-0.310	-0.190	-0.060	-0.726	-0.374	-0.285			-0.358	-0.468	0.011	-1.168
小	値	22.20	23.28	17.30	13.56	20.43	13.56			20.43	23.26	15.34	13.56
大	値	80.56	74.41	80.56	77.45	80.56	80.00			80.56	77.45	80.00	69.02
Q8. 話す速さ(話し方: FACTOR4)		441	35	248	113	558	348			424	134	288	60
効 度	数	51.48	46.42	49.25	48.44	50.84	49.05			51.66	48.23	49.12	48.70
均 偏	差	10.00	11.27	9.52	12.10	10.58	8.97			9.94	12.01	8.66	10.33
準	度	-0.014	-0.195	0.023	-0.269	0.004	-0.251			0.248	-0.223	-0.356	0.086
小	値	19.09	21.76	19.09	19.11	19.11	19.09			21.76	19.11	19.09	20.07
大	値	92.55	70.58	79.63	85.97	92.55	79.51			92.55	85.97	72.27	79.51
Q9. 講師の親近感(講師: FACTOR1)		264	33	144	96	393	177			276	117	126	51
効 度	数	49.64	47.24	50.27	49.24	50.24	49.71			50.35	49.97	49.72	49.67
均 偏	差	10.00	8.55	11.14	10.12	10.07	10.15			10.12	9.95	9.39	11.84
準	度	2.600	3.280	2.858	3.421	2.427	2.999			2.383	2.602	2.773	3.319
小	値	33.16	36.54	40.41	36.54	33.16	36.54			33.16	36.54	36.54	36.54
大	値	99.96	86.31	99.96	99.96	99.96	99.96			99.96	99.96	96.09	99.96
Q9. 講師の堅さ(講師: FACTOR2)		264	33	144	96	393	177			276	117	126	51
効 度	数	50.85	46.82	48.53	50.69	49.92	50.08			50.03	49.68	50.53	48.98
均 偏	差	10.00	11.01	8.19	10.97	10.10	9.68			10.16	9.96	10.67	6.58
準	度	3.738	3.460	5.085	3.428	3.997	3.518			4.060	3.944	3.158	3.108
小	値	40.55	41.10	43.17	43.19	40.55	40.55			40.55	40.55	40.55	43.19
大	値	114.81	114.81	114.81	112.75	114.81	112.20			114.81	112.75	112.20	71.10

表 3 - 3 理文×メメディア別・講義形態別・講義形態×メメディア別・尺度偏差基礎統計量一覧 (その 5)

	総計	理文×メメディア				講義形態				講義形態×メメディア			
		理科×テレビ		文科×テレビ		講義形態		講義形態		理科×テレビ		文科×テレビ	
		講義形態	講義形態	講義形態	講義形態	講義形態	講義形態	講義形態	講義形態	講義形態	講義形態	講義形態	講義形態
Q9.講師の活動性改善(講師：FACTOR3)													
有効性	595	264	33	144	96	393	177	276	117	126	51		
改善度	50.00	49.37	51.20	51.44	49.25	49.50	51.36	49.77	48.84	51.20	51.77		
均偏	10.00	8.49	16.07	12.42	7.49	8.90	12.35	9.51	7.23	11.81	13.59		
標準差	4.193	3.949	3.945	3.928	4.734	4.445	3.629	4.313	4.681	3.456	4.038		
最小	30.43	33.55	45.32	42.20	40.01	33.55	30.43	33.55	40.01	30.43	45.57		
最大	130.32	109.02	121.99	130.32	102.80	121.99	130.32	121.99	102.80	130.32	121.99		
Q9.話し方の明解さの改善(話し方：FACTOR1)													
有効性	813	348	33	231	96	473	299	356	117	248	51		
改善度	50.00	49.92	46.88	51.10	48.95	49.73	50.12	50.19	48.32	50.07	50.32		
均偏	10.00	9.51	7.22	10.91	9.66	9.91	9.99	10.04	9.35	10.19	8.93		
標準差	1.022	1.050	1.298	0.855	1.362	1.100	0.969	0.998	1.497	1.007	0.743		
最小	32.02	32.02	37.85	34.60	34.60	32.02	34.27	32.02	34.60	34.27	39.80		
最大	89.34	89.34	67.02	86.01	82.66	89.34	88.57	89.34	82.66	88.57	75.10		
Q9.話し方・間の改善(話し方：FACTOR2)													
有効性	813	348	33	231	96	473	299	356	117	248	51		
改善度	50.00	50.05	50.37	49.07	50.71	50.97	48.46	50.42	52.65	48.42	48.64		
均偏	10.00	9.97	11.59	9.40	10.08	10.53	8.82	10.16	11.43	8.54	10.04		
標準差	1.384	1.385	1.368	1.644	1.056	1.207	1.745	1.345	0.871	1.695	1.940		
最小	36.14	36.14	40.38	36.14	38.52	38.00	36.14	38.00	40.38	36.14	38.00		
最大	83.23	81.33	77.25	83.23	78.79	81.23	83.23	81.23	79.17	81.33	83.23		
Q9.話し方の豊かさの改善(話し方：FACTOR3)													
有効性	813	348	33	231	96	473	299	356	117	248	51		
改善度	50.00	49.92	47.17	50.31	49.50	50.20	49.62	50.13	50.42	50.25	46.54		
均偏	10.00	9.77	8.80	10.10	8.76	9.83	10.08	9.72	10.15	10.43	7.44		
標準差	0.988	0.886	1.740	0.906	0.687	0.945	1.045	0.924	1.017	0.942	1.580		
最小	38.41	38.41	38.75	38.75	38.75	38.75	38.41	38.75	38.75	38.41	38.75		
最大	86.42	85.07	73.81	85.92	76.45	85.92	84.11	85.92	84.74	84.11	74.25		
Q9.話し方の簡潔性の改善(話し方：FACTOR4)													
有効性	813	348	33	231	96	473	299	356	117	248	51		
改善度	50.00	49.97	51.45	49.68	49.98	49.65	50.69	49.06	51.44	50.91	49.63		
均偏	10.00	10.77	11.22	8.90	9.58	9.32	11.13	8.62	10.97	11.49	9.16		
標準差	2.332	2.414	2.057	2.376	2.397	2.258	2.360	2.299	2.048	2.388	1.901		
最小	37.60	37.60	43.01	39.19	38.72	37.60	37.70	37.60	38.72	37.70	41.63		
最大	103.93	103.93	91.60	99.28	98.06	98.06	103.93	95.15	98.06	103.93	76.30		

表3-3 理文×メメディア別・講義形態別・講義形態×メメディア別・尺度偏差値基礎統計量一覧 (その6)

総計	理文×メディア				講義形態				講義形態×メディア			
	理科×テレビ	理科×ラジオ	文科×テレビ	文科×ラジオ	講師1人	その他の形態	1人×テレビ	1人×ラジオ	その他テレビ	その他ラジオ		
Q10. 講義内容質量の適切性 (FACTOR1)												
864	409	27	227	92	488	328	382	106	274	54		
50.00	50.37	52.38	50.06	52.04	50.08	49.85	49.81	51.07	49.95	49.33		
10.00	9.75	8.71	9.43	9.67	9.79	10.23	10.02	8.82	10.24	10.15		
-0.338	-0.095	-0.061	-0.434	-0.427	-0.314	-0.433	-0.307	-0.262	-0.500	-0.101		
6.90	17.32	32.00	11.21	24.01	6.90	11.21	6.90	26.23	11.21	24.01		
75.75	75.75	70.96	71.90	74.48	75.75	74.15	75.75	74.48	74.15	69.34		
Q10. 視聴者理解の配慮工夫 (FACTOR2)												
864	409	27	227	92	488	328	382	106	274	54		
50.00	49.97	52.75	50.19	47.81	48.51	51.97	48.60	48.21	52.58	48.83		
10.00	10.10	8.24	10.01	9.28	10.07	9.77	10.24	9.46	9.71	9.52		
-0.134	-0.167	-0.216	-0.009	0.046	-0.057	-0.183	-0.053	-0.096	-0.122	-0.582		
15.06	15.06	36.88	25.98	23.92	15.06	20.94	15.06	23.92	24.06	20.94		
83.20	77.81	67.31	83.20	77.03	77.81	83.20	77.81	77.03	83.20	67.59		
Q10. 番組への満足度 (FACTOR3)												
864	409	27	227	92	488	328	382	106	274	54		
50.00	50.34	52.75	49.24	48.68	49.29	50.87	49.27	49.36	51.63	47.02		
10.00	9.71	10.46	10.28	10.06	9.56	10.65	9.55	9.60	10.46	10.75		
-0.373	-0.332	-0.231	-0.504	-0.247	-0.118	-0.722	-0.113	-0.141	-0.885	-0.032		
9.82	20.94	31.71	18.82	18.79	20.94	9.82	20.94	25.94	9.82	18.79		
71.64	71.64	68.26	70.82	70.08	71.64	70.33	71.64	67.86	70.33	70.08		
Q10. 番組の実用性 (FACTOR4)												
864	409	27	227	92	488	328	382	106	274	54		
50.00	50.31	41.46	51.59	42.98	48.66	51.85	50.52	41.95	52.17	50.21		
10.00	9.01	10.39	9.86	9.42	10.46	9.25	9.80	10.02	8.88	10.75		
-0.270	-0.187	-0.494	-0.264	0.385	-0.181	-0.295	-0.207	0.114	-0.350	0.010		
17.00	21.08	17.00	20.31	24.93	17.00	22.60	20.31	17.00	22.60	26.01		
76.62	73.63	60.57	76.62	67.73	74.63	76.62	74.63	66.15	76.62	75.51		
Q10. 要点提示の適切性 (FACTOR5)												
864	409	27	227	92	488	328	382	106	274	54		
50.00	51.24	50.96	47.87	49.71	49.95	49.96	50.01	49.71	50.26	48.45		
10.00	9.61	11.10	10.67	9.58	9.85	10.21	10.01	9.26	10.27	9.76		
-0.143	0.066	0.062	-0.387	-0.127	-0.094	-0.267	-0.110	-0.034	-0.333	0.066		
3.96	12.70	26.12	3.96	24.04	9.74	3.96	9.74	24.56	3.96	24.04		
77.40	77.40	73.90	73.51	69.37	77.40	74.00	77.40	69.37	74.00	73.90		
Q10. 難解性・専門性・進捗度 (FACTOR6)												
864	409	27	227	92	488	328	382	106	274	54		
50.00	51.90	48.59	47.69	49.21	52.26	47.06	52.81	50.26	46.37	50.57		
10.00	10.54	9.53	9.18	8.32	10.24	9.01	10.44	9.20	8.90	8.71		
0.083	0.048	1.130	-0.184	0.148	0.044	-0.125	-0.032	0.273	-0.140	-0.096		
15.71	17.79	33.69	15.71	23.12	17.79	15.71	17.79	23.12	15.71	28.22		
83.83	83.83	78.97	73.15	74.30	83.83	70.87	83.83	78.97	70.87	69.31		

表 3 - 3 理文×メデア別・講義形態別・講義形態×メデア別・尺度偏差値基礎統計量一覧 (その 7)

Q10. 図表提示の適切性 (FACTOR7)	総計	理文×メデア				講義形態				講義形態×メデア			
		理科×メデア		理文×メデア		講義形態		講義形態×メデア		講義形態×メデア		講義形態×メデア	
		理科×メデア	理文×メデア	理科×メデア	理文×メデア	講義形態	講義形態×メデア	講義形態×メデア	講義形態×メデア	講義形態×メデア	講義形態×メデア	講義形態×メデア	講義形態×メデア
数値	864	409	27	227	92	488	328	382	106	274	54	54	54
平均	50.00	52.75	43.69	51.58	42.53	49.20	51.12	51.43	41.16	52.49	44.18	44.18	44.18
標準偏差	10.00	9.33	11.47	9.29	8.98	10.27	9.69	9.47	8.94	9.18	9.24	9.24	9.24
最小値	-0.337	-0.426	-0.432	-0.428	-0.049	-0.348	-0.297	-0.448	-0.172	-0.281	-0.255	-0.255	-0.255
最大値	17.31	20.18	17.31	20.76	24.70	17.31	18.60	20.18	17.31	24.11	18.60	18.60	18.60
	76.77	76.77	63.99	75.46	65.79	76.77	75.46	76.77	65.79	75.46	63.99	63.99	63.99
Q10. 印刷教材の適切性 (FACTOR8)	864	409	27	227	92	488	328	382	106	274	54	54	54
数値	864	409	27	227	92	488	328	382	106	274	54	54	54
平均	50.00	50.11	51.21	48.86	50.44	50.08	49.77	50.18	49.76	49.41	51.56	51.56	51.56
標準偏差	10.00	9.86	9.81	10.43	10.10	9.97	10.01	9.99	9.88	9.92	10.25	10.25	10.25
最小値	0.205	0.286	0.056	0.143	0.216	0.186	0.152	0.199	0.142	0.079	0.480	0.480	0.480
最大値	14.40	21.65	29.53	14.40	23.94	21.65	14.40	21.65	23.94	14.40	29.28	29.28	29.28
	84.32	82.12	67.60	84.32	76.19	82.12	84.32	82.12	76.19	84.32	82.46	82.46	82.46

表3-4 視聴量別・視聴質別・利用希望形態別・想定相当単位数別・尺度偏差値基礎統計量一覧 (その1)

	視聴量				視聴質				利用希望形態				想定相当単位数			
	5週以下		6～11		12以上		じっくり		ある程度		表面的		全面利用		参考資料	
	総計	789	280	287	207	233	446	103	52.1	50.1	49.4	417	59	534	178	417
Q6.メディア特性の活用度(FACTOR1)	有効度	50.0	49.4	50.0	50.7	50.3	49.3	52.0	52.1	50.1	49.4	417	59	534	178	417
	平均値	10.0	9.2	10.4	10.0	10.8	9.6	9.1	10.3	9.6	10.9	10.0	10.3	9.6	10.9	10.0
	標準偏差	-0.02	-0.03	-0.15	0.13	0.06	-0.02	-0.31	0.42	-0.06	0.08	-0.12	0.07	-0.21	0.09	0.32
	最小値	25.4	27.2	25.4	29.2	27.2	25.4	30.8	33.5	27.2	25.4	25.4	25.4	27.2	29.2	27.2
	最大値	80.3	71.5	79.7	80.3	80.3	79.7	79.5	79.7	80.3	79.7	79.7	80.3	74.2	79.7	79.7
Q6.視聴者考慮機会の頻度(FACTOR2)	有効度	789	280	287	207	233	446	103	59	534	178	417	59	534	178	417
	平均値	50.0	49.4	50.4	50.2	49.2	50.2	50.9	49.0	49.7	50.5	50.6	47.9	49.9	49.5	50.9
	標準偏差	10.0	10.6	9.3	10.1	11.0	9.7	8.9	11.9	9.5	10.8	9.8	9.7	9.2	9.7	10.5
	最小値	-0.01	0.02	-0.01	0.02	0.20	-0.04	-0.39	0.20	-0.01	-0.16	0.20	-0.01	-0.22	0.18	0.02
	最大値	88.7	76.5	77.1	88.7	88.7	77.1	69.5	88.7	77.1	76.4	88.7	88.7	76.4	88.7	76.5
Q6.印刷教材利用頻度(FACTOR3)	有効度	789	280	287	207	233	446	103	59	534	178	417	59	534	178	417
	平均値	50.0	48.2	50.3	51.7	47.8	50.6	52.4	50.8	49.3	53.3	49.7	49.3	48.0	49.6	52.1
	標準偏差	10.0	10.1	9.8	9.5	10.2	9.5	9.6	10.4	9.6	9.9	10.0	10.0	9.2	9.6	9.7
	最小値	0.20	0.48	0.08	-0.11	0.38	0.16	-0.02	0.11	0.20	0.33	0.27	0.22	0.16	0.12	0.09
	最大値	26.7	29.7	26.7	28.6	26.7	28.0	31.5	29.6	26.7	33.0	28.0	29.6	30.9	26.7	28.0
Q6.講義内容量の多さ(FACTOR4)	有効度	789	280	287	207	233	446	103	59	534	178	417	59	534	178	417
	平均値	50.0	49.8	50.5	49.4	50.1	50.4	48.7	50.6	49.7	50.9	50.2	51.1	49.0	50.2	51.2
	標準偏差	10.0	9.4	10.0	10.5	10.3	10.0	9.4	10.4	9.2	9.4	10.1	10.7	9.6	9.4	10.4
	最小値	0.42	0.76	0.37	0.11	0.38	0.33	0.97	0.06	0.18	0.26	0.45	-0.10	0.93	0.46	0.57
	最大値	-1.3	17.0	19.5	-1.3	17.0	-1.3	23.5	19.5	-1.3	20.2	12.2	-1.3	20.2	19.5	23.5
Q6.実資料素材利用頻度(視覚素材:FACTOR1)	有効度	579	224	200	147	179	323	75	54	398	123	316	54	398	123	316
	平均値	50.0	50.6	48.9	50.7	50.5	49.8	49.7	50.6	50.4	49.9	50.4	47.8	50.5	50.0	51.0
	標準偏差	10.0	10.4	10.1	9.1	10.9	9.7	9.1	8.5	9.4	10.6	10.2	9.6	9.3	10.4	10.4
	最小値	-0.10	-0.08	-0.10	-0.10	0.02	-0.18	-0.59	-0.34	-0.07	-0.12	-0.00	0.10	-0.12	-0.06	-0.33
	最大値	26.9	27.0	26.9	29.3	28.0	26.9	26.9	29.6	26.9	26.9	28.5	28.0	26.9	27.0	26.9
Q6.黒板・図版利用頻度(視覚素材:FACTOR2)	有効度	579	224	200	147	179	323	75	54	398	123	316	54	398	123	316
	平均値	50.0	50.7	50.1	48.6	49.9	50.1	49.6	50.7	49.7	53.6	50.1	49.4	51.2	49.7	50.0
	標準偏差	10.0	10.5	9.5	9.7	10.8	9.9	8.4	8.8	10.1	10.3	10.4	10.1	9.9	10.2	9.4
	最小値	-0.12	-0.17	-0.23	0.02	-0.13	-0.13	-0.01	-0.08	-0.07	-0.48	-0.08	0.10	-0.02	-0.22	-0.34
	最大値	20.9	20.9	26.5	22.7	24.1	22.7	30.6	30.9	20.9	21.2	21.2	22.7	20.9	21.2	26.5
Q6.黒板・図版利用頻度(聴覚素材:FACTOR3)	有効度	77.1	75.4	77.1	74.7	74.1	77.1	72.0	74.1	77.1	75.4	77.1	74.1	77.1	74.7	72.0
	平均値	77.1	75.4	77.1	74.7	74.1	77.1	72.0	74.1	77.1	75.4	77.1	74.1	77.1	74.7	72.0
	標準偏差	10.0	10.5	9.5	9.7	10.8	9.9	8.4	8.8	10.1	10.3	10.4	10.1	9.9	10.2	9.4
	最小値	-0.12	-0.17	-0.23	0.02	-0.13	-0.13	-0.01	-0.08	-0.07	-0.48	-0.08	0.10	-0.02	-0.22	-0.34
	最大値	20.9	20.9	26.5	22.7	24.1	22.7	30.6	30.9	20.9	21.2	21.2	22.7	20.9	21.2	26.5

表 3-4 視聴量別・視聴質別・利用希望形態別・想定相当単位数別・尺度偏差値基礎統計量一覽 (その 2)

	視 聴 量				視 聴 質		利用希望形態			想定相当単位数					
	5週以下		6～11		じっくり	ある程度	全面利用	参考資料	研究材料	図書で	単位				
	総計	12以上	11	10							0	1	2	3	
Q6.了ニメ・実験導入頻度(視聴素材: FACTOR3)															
有効平均値	579	224	200	147	179	323	75	54	398	123	316	119	98	195	65
標準偏差	50.0	50.2	49.0	50.9	48.6	50.0	52.8	53.5	50.1	50.1	49.9	48.5	51.5	49.7	50.1
最小値	10.0	10.1	10.2	9.4	10.7	9.7	8.9	12.2	9.9	10.0	10.4	10.0	9.4	10.3	9.1
最大値	0.30	0.26	0.28	0.54	0.66	0.28	-0.51	0.14	0.29	0.18	0.46	0.36	0.09	0.56	-0.16
有効平均値	30.3	32.6	30.3	32.9	32.2	30.3	32.0	32.9	30.3	30.3	32.2	33.6	32.0	30.3	32.0
標準偏差	84.1	73.0	84.1	81.3	84.1	80.5	70.6	84.1	84.1	80.5	84.1	80.5	72.9	84.1	72.8
Q7.講義内容量の多さ改善(FACTOR1)															
有効平均値	626	233	216	164	200	342	76	47	413	157	314	137	105	202	82
標準偏差	50.0	50.8	49.3	49.7	50.2	49.8	50.3	49.2	49.8	50.0	49.6	51.0	51.6	49.3	50.3
最小値	10.0	10.5	9.9	9.3	10.7	9.8	9.2	9.6	10.0	10.1	10.1	10.2	11.7	9.2	10.6
最大値	1.49	1.36	1.73	1.40	1.59	1.41	1.51	1.71	1.64	1.61	1.65	1.48	1.40	1.40	1.35
有効平均値	32.0	32.0	34.9	37.7	32.0	34.8	37.8	36.6	34.8	34.8	32.0	37.9	34.9	35.1	32.0
標準偏差	89.3	85.4	89.3	83.1	89.3	85.4	83.1	83.1	89.3	89.3	89.3	89.3	89.3	83.1	83.1
Q7.ゲスト等登場時間改善(FACTOR2)															
有効平均値	626	233	216	164	200	342	76	47	413	157	314	137	105	202	82
標準偏差	50.0	49.1	51.4	49.3	49.7	50.0	50.6	49.3	50.6	48.7	50.3	49.6	52.1	50.7	48.5
最小値	10.0	9.6	10.8	9.4	10.7	10.2	9.6	9.6	10.5	8.8	9.9	9.6	10.4	10.7	10.0
最大値	1.53	1.54	1.30	2.00	1.56	1.65	1.06	1.56	1.45	1.51	1.34	1.60	1.09	1.57	1.70
有効平均値	38.4	39.0	38.4	39.4	38.4	38.4	38.4	40.1	38.4	38.4	38.4	38.4	39.0	38.4	40.0
標準偏差	99.2	83.4	90.7	99.2	83.4	99.2	79.6	77.8	99.2	81.2	83.4	85.0	90.7	99.2	77.9
Q7.息抜き・考慮機会改善(FACTOR3)															
有効平均値	626	233	216	164	200	342	76	47	413	157	314	137	105	202	82
標準偏差	50.0	49.3	51.0	49.8	49.7	50.1	50.3	50.4	49.5	51.0	50.1	50.2	50.0	50.0	51.3
最小値	10.0	10.3	10.3	9.1	10.3	10.0	9.2	10.3	9.9	10.4	9.7	11.0	9.6	9.7	10.6
最大値	0.87	1.01	0.73	0.89	0.89	0.92	0.62	0.90	0.94	0.72	0.92	1.02	0.65	0.85	0.61
有効平均値	37.6	37.6	37.6	38.4	37.6	37.6	38.6	37.8	37.6	38.4	38.4	37.6	37.8	37.6	38.1
標準偏差	83.6	83.4	83.6	80.1	83.4	83.6	73.0	76.0	83.6	83.4	83.6	83.6	73.0	76.5	76.0
Q7.問い・印刷教材参照改善(FACTOR4)															
有効平均値	626	233	216	164	200	342	76	47	413	157	314	137	105	202	82
標準偏差	50.0	51.0	50.5	48.2	50.9	49.3	51.2	51.5	50.1	49.1	50.5	48.6	49.2	51.0	51.4
最小値	10.0	9.8	9.5	10.4	10.5	9.3	11.3	11.0	9.7	9.4	10.3	9.9	9.5	9.7	10.5
最大値	-0.26	0.04	0.01	-0.79	-0.00	-0.36	-0.76	-0.50	-0.13	-0.80	-0.31	-0.31	0.18	-0.04	-0.57
有効平均値	9.3	20.0	18.4	9.3	18.4	15.4	9.3	15.4	18.4	9.3	18.4	18.4	22.0	9.3	15.4
標準偏差	76.9	76.9	76.9	71.3	76.8	76.9	76.9	72.7	76.9	69.9	76.8	74.4	76.8	75.9	75.1
Q7.講師登場時間・演習問題利用の改善(FACTOR5)															
有効平均値	626	233	216	164	200	342	76	47	413	157	314	137	105	202	82
標準偏差	50.0	49.3	49.7	51.3	50.2	49.3	52.4	49.4	50.0	50.0	50.1	49.4	50.8	49.5	50.0
最小値	10.0	9.5	10.2	10.4	9.5	9.7	11.9	8.7	10.3	10.3	9.9	10.3	11.9	9.2	9.9
最大値	1.15	0.86	1.42	1.15	0.79	1.22	1.41	1.07	1.09	1.40	1.23	1.54	1.24	0.96	1.05
有効平均値	31.3	32.9	31.3	33.1	34.7	31.3	36.2	36.2	31.3	36.2	32.9	34.7	31.3	33.1	36.2
標準偏差	101.1	81.2	101.1	100.4	81.2	101.1	100.4	71.5	101.1	100.4	101.1	101.1	100.4	79.6	81.2

表 3-4 視聴量別・視聴質別・利用希望形態別・想定相当単位数別・尺度偏差値基礎統計量一覧 (その 3)

	総計	視 聴 量			視 聴 質		利用希望形態			想定相当単位数						
		5週以下	6～11	12以上	じっくり	ある程度	表面的	全面利用	参考資料	研究材料	図書で	0単位	1単位	2単位	3以上	
Q7.実資料素材利用度改善(視覚素材: FACTOR1)																
有効標準最	855	324	291	224	276	467	103	66	575	193	455	184	139	284	109	
平均偏差値	50.0	50.2	49.9	50.0	49.8	50.3	49.5	50.2	50.7	48.2	50.2	50.4	49.8	50.4	48.9	
標準偏差	10.0	10.1	10.4	9.4	10.3	10.0	9.2	10.5	10.6	7.8	10.2	10.6	8.9	10.9	8.4	
最小値	1.59	1.48	1.75	1.50	1.70	1.50	1.64	1.44	1.53	2.12	1.51	1.67	1.51	1.57	1.62	
最大値	36.4	36.4	38.8	36.4	36.4	36.4	36.4	38.8	36.4	38.8	36.4	38.8	41.1	36.4	38.8	
尺度偏差値	86.8	84.4	86.8	86.8	86.8	86.8	82.1	82.1	86.8	82.1	86.8	86.8	82.1	86.8	82.1	
Q7.黒板・図版利用度改善(視覚素材: FACTOR2)																
有効標準最	855	324	291	224	276	467	103	66	575	193	455	184	139	284	109	
平均偏差値	50.0	49.1	50.5	50.8	50.1	50.0	49.9	48.5	50.1	49.7	50.3	50.1	50.2	49.2	50.2	
標準偏差	10.0	8.7	10.7	10.6	9.6	10.3	9.9	7.8	9.8	9.5	10.6	10.0	10.6	9.0	10.2	
最小値	2.47	2.77	2.39	2.17	2.36	2.53	2.51	3.37	2.35	2.62	2.44	2.53	2.48	2.71	2.31	
最大値	42.6	42.6	42.6	42.6	42.6	42.6	43.1	44.3	42.6	44.3	42.6	44.3	43.1	42.6	42.6	
尺度偏差値	90.6	88.9	90.6	90.6	89.3	90.6	90.6	88.9	90.6	90.6	90.6	90.6	89.3	90.6	89.4	
Q7.了ニメ・実験頻度改善(視覚素材: FACTOR3)																
有効標準最	855	324	291	224	276	467	103	66	575	193	455	184	139	284	109	
平均偏差値	50.0	50.5	49.9	49.3	49.5	50.3	49.8	49.9	50.4	48.9	50.3	49.8	51.8	49.6	48.3	
標準偏差	10.0	10.7	9.6	9.3	9.7	10.2	9.9	10.1	10.3	9.0	10.3	10.1	11.3	9.7	7.6	
最小値	1.56	1.50	1.50	1.77	1.69	1.48	1.75	1.60	1.47	1.93	1.48	1.65	1.14	1.69	1.98	
最大値	39.3	39.3	39.3	39.3	39.3	39.3	40.3	40.4	39.3	39.3	39.3	39.3	39.3	39.3	40.3	
尺度偏差値	79.2	78.0	78.1	79.2	78.0	78.1	79.2	78.0	79.2	78.0	79.2	78.0	78.0	78.1	75.6	
Q8.講師の親しみやすさ(講師: FACTOR1)																
有効標準最	956	354	329	253	301	527	117	72	636	224	510	206	149	320	119	
平均偏差値	50.0	51.7	49.9	47.8	52.1	49.3	48.0	52.9	50.5	50.9	50.5	48.2	50.9	50.5	50.7	
標準偏差	10.0	9.5	9.4	11.1	10.5	9.8	8.9	11.4	9.3	10.3	10.0	10.0	9.2	10.0	10.5	
最小値	-0.14	-0.13	0.09	-0.18	-0.12	-0.27	0.09	-0.31	-0.16	-0.02	-0.19	-0.51	-0.26	-0.24	0.01	
最大値	9.0	17.2	27.1	9.0	15.9	9.0	23.6	23.6	17.2	15.9	9.0	9.0	20.8	17.2	28.4	
尺度偏差値	79.1	79.1	77.9	77.9	78.8	79.1	77.9	77.9	76.5	79.1	78.8	74.3	76.4	77.9	76.9	
Q8.講師の堅さ(講師: FACTOR2)																
有効標準最	956	354	329	253	301	527	117	72	636	224	510	206	149	320	119	
平均偏差値	50.0	50.4	49.6	50.2	50.4	49.9	50.0	50.2	49.7	50.9	50.1	49.4	49.4	49.8	50.8	
標準偏差	10.0	10.1	9.7	10.1	10.7	9.9	8.4	12.3	9.7	10.4	10.1	9.7	9.0	9.5	12.0	
最小値	-0.17	-0.06	-0.07	-0.41	-0.16	-0.16	-0.24	-0.88	-0.03	-0.21	-0.12	-0.12	-0.30	-0.08	-0.28	
最大値	10.9	15.7	18.5	10.9	10.9	15.7	26.3	10.9	18.5	21.7	10.9	21.7	18.5	18.5	10.9	
尺度偏差値	87.6	75.7	87.6	78.4	78.4	87.6	75.3	74.7	78.4	87.6	87.6	74.7	74.3	78.2	87.6	
Q8.講師の派手さ(講師: FACTOR3)																
有効標準最	956	354	329	253	301	527	117	72	636	224	510	206	149	320	119	
平均偏差値	50.0	50.4	49.9	49.8	49.7	50.1	50.8	50.1	50.3	49.1	50.0	51.0	49.9	49.2	49.6	
標準偏差	10.0	10.2	9.6	10.0	9.8	10.0	10.2	9.3	9.8	10.2	10.0	10.1	9.3	10.2	10.4	
最小値	-0.37	-0.40	-0.28	-0.46	-0.32	-0.44	-0.16	-0.60	-0.42	-0.40	-0.29	-0.39	-0.34	-0.30	-0.37	
最大値	17.3	21.8	17.3	25.2	21.8	17.3	25.7	22.8	17.3	21.8	17.3	17.3	21.8	22.2	25.2	
尺度偏差値	90.6	75.0	90.6	79.4	79.4	75.0	90.6	65.7	79.4	74.9	90.6	90.6	74.9	74.5	75.0	

表3-4 視聴量別・視聴質別・利用希望形態別・想定相当単位数別・尺度偏差値基礎統計量一覧(その4)

	視 聴 量				視 聴 質		利用希望形態				想定相当単位数				
	5週以下		6～11		じつ く	ある 程度	全面 利用	参考 資料	研究 材料	図書 室で	0 単位	1 単位	2 単位	3 以上	
	1	2	1	2											
08. 明解な話し方(話し方: FACTOR1)															
有効数	358	328	253	253	304	528	115	73	638	222	510	204	150	322	116
平均偏差値	50.7	50.3	48.9	48.9	51.5	49.8	47.4	51.8	50.5	51.7	50.5	47.9	49.3	50.5	51.1
標準偏差	10.1	9.5	10.3	10.3	10.8	9.6	8.6	10.4	9.9	9.9	9.8	10.0	9.6	10.3	11.0
最小値	-0.02	-0.06	-0.05	-0.05	0.06	-0.20	0.03	0.16	0.10	-0.27	-0.02	-0.06	-0.12	0.15	-0.10
最大値	21.5	25.3	25.4	21.5	25.3	21.5	26.3	29.9	25.3	25.0	21.5	21.5	26.2	25.4	25.3
最良値	79.0	77.4	77.8	77.8	78.7	79.0	77.0	77.6	79.0	77.8	79.0	75.4	75.5	79.0	77.8
08. 面白味のある話し方(話し方: FACTOR2)															
有効数	358	328	253	253	304	528	115	73	638	222	510	204	150	322	116
平均偏差値	50.0	50.1	48.5	48.5	50.8	49.6	49.7	50.3	50.3	50.3	50.1	49.3	51.0	50.0	49.0
標準偏差	10.0	9.6	10.4	10.4	10.2	10.0	9.1	10.3	9.8	9.8	10.3	10.1	9.7	10.2	9.9
最小値	-0.07	0.04	0.05	0.05	0.02	-0.06	-0.42	-0.11	-0.09	0.10	-0.05	0.07	0.19	-0.09	0.03
最大値	19.7	20.3	23.1	23.1	19.7	20.3	23.0	22.3	19.7	26.0	23.0	23.1	27.5	20.3	26.0
最良値	80.6	77.3	80.6	80.6	78.5	80.6	71.9	77.1	78.5	80.6	80.6	80.6	78.5	78.0	74.8
08. 話し方の堅さ(話し方: FACTOR3)															
有効数	358	328	253	253	304	528	115	73	638	222	510	204	150	322	116
平均偏差値	49.0	50.4	50.8	50.8	48.8	50.0	53.2	49.8	49.7	48.5	49.7	50.3	50.0	49.9	49.1
標準偏差	10.0	9.7	10.3	10.3	10.1	10.1	8.7	10.2	9.8	11.1	9.8	9.2	10.2	9.9	10.9
最小値	-0.31	-0.24	-0.51	-0.51	-0.25	-0.31	-0.29	-0.27	-0.19	-0.46	-0.13	-0.32	-0.40	-0.20	-0.18
最大値	13.6	20.4	15.3	13.6	22.2	13.6	23.4	23.2	15.3	13.6	15.3	24.4	20.4	15.3	20.7
最良値	80.6	76.2	80.0	80.6	73.3	80.0	80.6	73.3	80.0	76.2	80.0	76.2	77.4	80.0	74.4
08. 話す速さ(話し方: FACTOR4)															
有効数	358	328	253	253	304	528	115	73	638	222	510	204	150	322	116
平均偏差値	50.0	49.6	50.3	50.3	50.1	49.9	50.5	51.4	49.7	51.2	49.8	49.7	49.6	49.9	50.9
標準偏差	10.0	9.8	9.1	9.1	10.6	9.7	9.6	10.6	9.5	11.2	9.8	9.7	8.7	10.4	11.1
最小値	-0.01	-0.03	-0.26	-0.26	-0.03	0.01	0.04	0.01	-0.06	0.12	0.01	-0.12	-0.27	0.19	0.22
最大値	19.1	19.1	20.1	20.1	19.1	19.1	21.8	21.8	19.1	19.1	21.0	21.0	23.4	19.1	21.8
最良値	92.6	80.7	78.3	78.3	86.0	92.6	80.7	80.7	92.6	92.6	81.6	84.2	78.3	86.0	92.6
09. 講師の親近感改善(講師: FACTOR1)															
有効数	214	204	163	163	190	324	72	40	389	146	296	135	95	189	81
平均偏差値	49.1	49.4	51.8	51.8	49.4	49.8	51.7	50.6	50.0	50.2	50.2	51.1	50.5	50.0	48.9
標準偏差	10.0	8.4	11.2	11.2	10.4	9.5	10.3	11.4	10.3	10.6	10.3	11.3	10.9	10.0	7.4
最小値	2.60	2.62	1.95	1.95	2.88	2.87	1.35	2.76	2.52	2.54	2.77	2.34	2.90	2.59	2.04
最大値	33.2	36.5	36.5	36.5	33.2	36.5	42.0	42.0	33.2	36.5	36.5	36.5	42.0	36.5	42.0
最良値	100.0	96.1	100.0	100.0	100.0	100.0	77.0	96.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	73.1
09. 講師の堅さ改善(講師: FACTOR2)															
有効数	214	204	163	163	190	324	72	40	389	146	296	135	95	189	81
平均偏差値	50.9	49.5	49.3	49.3	50.0	49.5	51.8	53.8	50.1	50.4	48.9	49.0	50.7	50.0	50.7
標準偏差	10.0	8.9	8.9	8.9	10.0	8.4	13.6	16.9	9.9	10.2	7.9	7.4	13.3	9.0	10.7
最小値	3.74	4.06	4.49	4.49	3.42	3.65	3.46	2.73	3.31	3.34	4.36	3.65	3.83	2.79	3.86
最大値	40.5	40.5	40.5	40.5	40.5	40.5	40.5	41.1	40.5	40.5	40.5	40.5	41.1	40.5	46.2
最良値	114.8	114.8	114.8	114.8	114.8	112.2	114.8	114.8	114.8	112.2	112.2	90.5	114.8	90.4	114.8

表 3 - 4 視聴量別・視聴質別・利用希望形態別・想定相当単位数別・尺度偏差値基礎統計量一覧 (その 5)

	総計	視 聴 量			視 聴 質		利用希望形態				想定相当単位数				
		5週 以下	6～ 11	12 以上	じゅ りく	あ る 程 度	全 面 利 用	参 考 資 料	研 究 材 料	図 書 室 で	0 単 位	1 単 位	2 単 位	3 以 上	
Q9.講師の活動性改善(講師：FACTOR3)															
有平標準最良	595	214	204	163	190	324	72	40	389	146	296	135	95	189	81
数値	50.0	49.1	51.1	50.1	50.3	50.0	49.9	47.3	50.4	50.5	50.6	50.4	50.8	49.8	48.2
偏差値	10.0	8.8	12.1	8.6	11.5	9.6	7.5	4.9	11.2	11.3	11.1	11.0	9.6	9.3	4.4
度	4.19	4.82	3.85	3.53	3.86	4.57	1.95	3.21	4.05	4.10	4.21	4.06	2.61	4.04	3.89
小	30.4	30.4	33.6	36.9	34.8	30.4	36.9	36.9	30.4	33.6	34.8	30.4	34.8	33.6	43.1
大	130.3	122.0	130.3	102.8	122.0	130.3	74.1	72.0	130.3	122.0	130.3	122.0	104.9	122.0	72.0
Q9.話し方の明解さの改善(話し方：FACTOR1)															
有平標準最良	813	301	274	221	263	442	98	59	545	181	426	181	126	269	106
数値	50.0	50.0	49.1	51.4	50.4	49.6	50.8	50.3	50.2	49.5	49.8	51.1	50.9	49.8	48.1
偏差値	10.0	9.7	10.0	10.5	11.3	9.1	10.5	8.9	10.4	10.2	10.6	10.0	10.4	10.1	8.9
度	1.02	1.04	1.09	0.96	1.23	0.84	0.65	0.84	1.05	1.54	1.09	0.72	1.14	1.13	1.14
小	32.0	34.6	34.6	32.0	34.6	34.3	32.0	34.6	32.0	34.6	32.0	34.6	34.6	32.0	34.6
大	89.3	83.7	89.3	88.6	89.3	81.9	74.6	77.9	89.3	89.3	89.3	79.9	89.3	88.6	77.9
Q9.話す速さ・間の改善(話し方：FACTOR2)															
有平標準最良	813	301	274	221	263	442	98	59	545	181	426	181	126	269	106
数値	50.0	49.7	49.6	50.9	49.8	50.3	49.7	47.2	49.8	51.4	50.3	49.8	49.6	50.0	51.5
偏差値	10.0	9.9	9.7	10.4	9.5	10.3	10.2	7.5	9.6	10.7	10.0	9.5	9.7	10.2	11.1
度	1.38	1.47	1.46	1.22	1.44	1.35	1.41	1.91	1.43	1.18	1.28	1.41	1.41	1.50	1.04
小	36.1	36.1	36.1	36.1	36.1	36.1	36.1	38.6	36.1	38.0	36.1	36.1	38.0	36.1	36.1
大	83.2	81.3	81.2	83.2	83.2	83.2	81.3	74.9	83.2	81.0	83.2	81.2	81.3	83.2	79.5
Q9.話し方の豊かさの改善(話し方：FACTOR3)															
有平標準最良	813	301	274	221	263	442	98	59	545	181	426	181	126	269	106
数値	50.0	50.0	50.6	49.2	49.5	50.0	51.2	50.7	50.2	49.7	50.7	49.5	50.7	50.5	49.6
偏差値	10.0	10.4	9.9	9.6	9.9	10.0	9.6	11.2	10.4	9.6	10.3	9.5	9.7	10.7	9.7
度	0.99	1.10	0.86	1.04	1.17	0.98	0.68	1.14	1.00	1.01	0.89	0.79	0.55	1.16	1.24
小	38.4	38.4	38.8	38.8	38.4	38.8	38.8	38.8	38.4	39.1	38.4	38.8	38.4	38.8	38.8
大	86.4	86.4	85.1	85.9	86.4	85.9	75.0	86.4	86.4	85.1	85.9	74.5	77.2	86.4	84.7
Q9.話し方の簡潔性の改善(話し方：FACTOR4)															
有平標準最良	813	301	274	221	263	442	98	59	545	181	426	181	126	269	106
数値	50.0	50.6	49.5	50.0	51.0	49.5	49.8	50.0	50.4	48.8	49.9	50.2	50.4	49.6	51.5
偏差値	10.0	11.1	9.7	8.9	11.0	9.1	11.2	11.0	10.5	7.7	9.8	10.1	10.4	9.1	12.6
度	2.33	2.24	2.41	2.27	2.03	2.34	2.86	2.98	2.29	2.72	2.36	2.35	2.27	2.27	2.29
小	37.6	37.6	37.9	37.7	37.6	37.9	39.4	39.1	37.6	39.2	37.6	37.7	37.9	37.6	39.2
大	103.9	103.9	98.1	99.3	99.3	98.1	103.9	99.3	103.9	98.1	103.9	103.9	92.1	99.3	98.1

表 3 - 4 視聴量別・視聴質別・利用希望形態別・想定相当単位数別・尺度偏差値基礎統計量一覽 (その 6)

	視 聴 量				視 聴 質		利用希望形態				想定相当単位数			
	5 週 以下				じ ゃ り		全 面 利 用				0 単 位			
	6 ~ 12 以上				あ る 程 度		図 書 室 で				1 単 位			
総 計	321	297	228	269	475	110	67	582	200	454	182	140	294	107
Q10. 講義内容質量の適切性 (FACTOR1)	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864
有効度	50.0	50.3	48.6	51.6	49.6	47.6	52.8	50.7	51.6	50.8	47.0	48.7	52.4	51.3
標準偏差	10.0	10.9	9.2	11.6	9.4	7.8	11.6	9.3	10.7	9.8	10.3	10.3	9.6	9.6
最小値	-0.34	-0.38	-0.41	-0.60	-0.35	0.31	-0.71	-0.28	-1.03	-0.03	-0.63	-0.23	-0.33	-0.39
最大値	6.9	11.2	20.0	6.9	16.2	31.1	17.3	20.0	6.9	25.9	6.9	16.2	20.0	23.8
最 大	75.7	74.9	73.2	75.7	74.1	70.2	74.1	75.7	73.9	74.9	70.8	75.7	74.9	71.8
Q10. 視聴者理解の配慮工夫 (FACTOR2)	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864
有効度	321	297	228	269	475	110	67	582	200	454	182	140	294	107
標準偏差	50.5	49.9	49.5	50.4	49.6	50.3	52.0	50.0	50.2	50.3	48.1	50.5	50.4	48.7
最小値	10.0	10.8	9.3	11.0	9.7	8.8	10.7	9.8	10.5	10.2	9.7	8.6	10.5	11.4
最大値	-0.13	-0.10	-0.22	0.00	-0.26	-0.12	-0.60	-0.11	-0.47	-0.16	0.13	-0.08	-0.25	-0.21
最 大	83.2	81.4	75.4	83.2	78.0	71.5	71.6	83.2	77.0	77.8	78.0	67.8	83.2	76.2
Q10. 番組への満足度 (FACTOR3)	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864
有効度	321	297	228	269	475	110	67	582	200	454	182	140	294	107
標準偏差	51.9	49.9	47.6	53.3	49.1	46.1	55.3	50.8	52.5	50.5	48.1	50.1	51.5	51.6
最小値	10.0	10.1	9.6	9.9	9.8	9.0	9.4	9.0	9.2	10.1	9.7	10.1	10.1	9.4
最大値	-0.37	-0.49	-0.33	-0.45	-0.56	0.14	-0.20	-0.19	-0.52	-0.33	-0.33	-0.13	-0.64	-0.23
最 大	71.6	71.6	70.8	71.6	70.8	66.3	71.6	71.6	70.1	70.8	71.6	70.8	70.8	70.3
Q10. 番組の実用性 (FACTOR4)	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864
有効度	321	297	228	269	475	110	67	582	200	454	182	140	294	107
標準偏差	50.1	50.0	49.7	50.8	49.6	49.6	52.7	50.3	52.9	50.8	48.3	51.0	50.3	50.1
最小値	10.0	10.2	9.8	11.1	9.7	8.0	9.8	9.7	9.9	9.9	9.5	9.1	10.4	10.8
最大値	-0.27	-0.20	-0.29	-0.32	-0.29	-0.05	-0.35	-0.34	-0.23	-0.43	0.08	-0.34	-0.31	-0.48
最 大	76.6	76.6	73.3	74.6	76.6	69.6	73.3	75.5	73.6	76.6	74.6	72.8	75.5	73.3
Q10. 要点提示の適切性 (FACTOR5)	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864
有効度	321	297	228	269	475	110	67	582	200	454	182	140	294	107
標準偏差	51.2	49.8	48.8	51.3	49.9	47.4	52.7	50.3	52.0	50.3	48.3	49.9	50.9	52.0
最小値	10.0	10.5	9.0	11.1	9.4	9.5	9.7	9.5	10.6	10.0	11.5	9.1	9.3	9.8
最大値	-0.14	-0.33	0.18	-0.33	-0.15	0.15	0.42	0.07	-0.31	-0.15	-0.67	0.12	0.19	-0.06
最 大	77.4	77.4	74.0	73.9	77.4	74.0	73.3	73.9	77.4	74.0	73.5	73.9	74.0	73.9
Q10. 難解性・専門性・進歩 (FACTOR6)	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864
有効度	321	297	228	269	475	110	67	582	200	454	182	140	294	107
標準偏差	50.0	50.0	50.3	49.2	50.5	49.8	53.0	49.8	52.7	49.5	50.8	49.2	49.2	52.2
最小値	10.0	10.3	9.7	10.5	9.9	9.2	9.3	9.9	11.4	9.9	10.0	10.0	9.8	10.8
最大値	0.08	0.19	0.09	0.13	0.14	-0.32	0.14	0.17	0.01	-0.06	-0.13	-0.01	0.24	0.27
最 大	83.8	83.8	80.2	79.0	83.8	80.9	73.2	83.8	83.8	80.2	79.0	75.1	83.8	80.9

表 3 - 4 視聴量別・視聴質別・利用希望形態別・想定相当単位数別・尺度偏差値基礎統計量一覧 (その 7)

	總計	視 聴 量			視 聴 質		利用希望形態				想定相当単位数					
		5週以下	6～11	12以上	じっくり	ある程度	表面的	全面利用	参考資料	研究材料	図書で	0単位	1単位	2単位	3以上	
Q10.図表提示の適切性 (FACTOR7)																
有効数	864	321	297	228	269	475	110	67	582	200	454	182	140	294	107	
平均値	50.0	50.9	50.0	48.9	49.8	49.4	49.4	53.6	50.6	50.7	50.3	49.6	50.9	50.5	46.9	
標準偏差	10.0	10.3	9.7	9.9	10.9	9.9	7.8	10.5	10.0	8.9	10.2	9.5	9.3	10.3	11.5	
最大値	-0.34	-0.33	-0.46	-0.27	-0.34	-0.40	-0.18	-0.97	-0.36	-0.28	-0.32	-0.19	-0.53	-0.28	-0.35	
最小値	17.3	21.5	18.6	17.3	18.6	17.3	23.9	18.6	17.3	18.6	18.6	20.2	20.8	17.3	18.6	
最大値	76.8	76.8	75.5	75.6	75.5	76.8	68.6	74.6	76.8	76.8	76.8	74.6	76.8	75.6	69.8	
Q10.印刷教材の適切性 (FACTOR8)																
有効数	864	321	297	228	269	475	110	67	582	200	454	182	140	294	107	
平均値	50.0	50.9	49.5	49.5	51.3	49.7	48.2	53.6	49.8	51.5	50.5	48.5	49.1	50.4	52.1	
標準偏差	10.0	10.6	9.8	9.5	11.8	9.3	7.8	10.5	10.0	10.2	10.0	9.4	9.1	10.4	11.7	
最大値	0.20	0.05	0.32	0.28	0.15	0.05	0.38	0.33	0.17	0.41	0.18	0.13	0.55	0.19	0.15	
最小値	14.4	14.4	20.4	21.6	14.4	20.4	30.5	29.5	14.4	24.5	20.4	20.4	29.0	21.5	22.1	
最大値	84.3	84.3	82.5	81.3	84.3	81.3	73.9	82.5	82.5	84.3	82.5	84.3	79.8	82.1	82.5	

4 . 1986年度『放送大学放送教材に関する調査』の 因子尺度偏差値・質問項目間の相関係数

表 4 - 1 - 1 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 1)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 6. 放送教材量の評定因子尺度			Q 6. 視覚素材利用度因子尺度		
				メディア活用度	視聴者考慮機会	印刷教材利用頻度	講義内容量の多さ	実資料・図板・黒板・利用度	ア・ニ・メ・実験利用
Q6. メディアの特性の活用度	50.00	10.00	789	1.000	0.220	0.135	-0.223	0.488*	-0.098
Q6. 視聴者考慮頻度	50.00	10.00	789	0.220	1.000	0.222	0.023	0.444*	0.115
Q6. 印刷教材利用頻度	50.00	10.00	789	0.135	0.222	1.000	0.060	-0.078	0.272
Q6. 講義内容量の多さ	50.00	10.00	789	-0.223	0.023	0.060	1.000	-0.006	-0.039
Q6. 実資料・図板・黒板・利用頻度	50.00	10.00	579	0.488*	0.444*	-0.078	-0.006	1.000	0.328*
Q6. ア・ニ・メ・実験導入頻度	50.00	10.00	579	-0.098	0.115	0.135	0.162	0.195	0.391*
Q6. ア・ニ・メ・実験頻度	50.00	10.00	579	0.283	0.243	0.272	-0.039	0.328*	1.000
Q7. 講義内容量の多さ改善	50.00	10.00	626	0.084	-0.054	-0.004	0.043	0.047	-0.057
Q7. 学習場・時間改善	50.00	10.00	626	-0.039	-0.053	-0.097	0.011	-0.119	-0.182
Q7. 息抜き・教場改善	50.00	10.00	626	-0.147	-0.262	0.110	0.143	-0.218	0.026
Q7. 講師登壇時間等の改善	50.00	10.00	626	-0.025	-0.118	-0.075	0.040	0.017	-0.043
Q7. 講師登壇時間等の改善	50.00	10.00	626	-0.038	-0.113	0.049	-0.069	-0.077	-0.101
Q7. 実資料・図板・黒板・利用頻度改善	50.00	10.00	855	-0.046	0.018	-0.098	-0.001	-0.114	0.002
Q7. ア・ニ・メ・実験頻度改善	50.00	10.00	855	0.022	0.036	-0.010	-0.028	-0.025	-0.171
Q7. ア・ニ・メ・実験頻度改善	50.00	10.00	855	0.011	0.011	-0.018	-0.017	-0.053	0.032
Q8. 講師の親しみやすさ	50.00	10.00	956	0.004	0.322*	0.004	0.022	0.298	0.213
Q8. 講師の堅さ	50.00	10.00	956	-0.068	0.036	0.228	0.054	-0.146	0.113
Q8. 講師の派手さ	50.00	10.00	956	0.179	0.141	0.099	-0.094	0.055	0.024
Q8. 明解な話し方	50.00	10.00	958	0.006	0.349*	0.117	0.080	0.259	0.206
Q8. 面白味のある話し方	50.00	10.00	958	0.115	0.384*	-0.007	-0.011	0.302*	0.056
Q8. 話し方の堅さ	50.00	10.00	958	0.043	-0.060	0.044	0.017	-0.114	-0.038
Q8. 話し方の速さ	50.00	10.00	958	0.019	-0.120	0.165	0.077	-0.177	0.001
Q9. 講師の親近感改善	50.00	10.00	595	0.037	-0.005	0.135	-0.038	-0.097	-0.147
Q9. 講師の堅さ改善	50.00	10.00	595	0.032	0.038	0.052	-0.044	-0.092	-0.053
Q9. 講師の活動性	50.00	10.00	595	0.014	0.015	-0.073	-0.028	-0.009	-0.055
Q9. 話し方の改善	50.00	10.00	813	0.094	-0.056	0.002	-0.082	-0.028	-0.092
Q9. 話し方の改善	50.00	10.00	813	-0.078	-0.104	0.076	0.029	-0.046	0.021
Q9. 話し方の改善	50.00	10.00	813	-0.044	-0.136	-0.050	0.033	-0.091	-0.011
Q9. 話し方の清潔性の改善	50.00	10.00	813	0.026	-0.075	-0.097	0.002	-0.016	-0.066
Q10. 講義内容量の適切性	50.00	10.00	864	-0.065	0.265	0.009	0.007	0.130	0.172
Q10. 視聴者の理解の配工夫	50.00	10.00	864	0.365*	0.529**	0.134	-0.076	0.418*	0.324*
Q10. 番組組への満足度	50.00	10.00	864	0.085	0.166	0.010	0.075	0.292	0.204
Q10. 番組組への実用性	50.00	10.00	864	0.273	0.212	0.276	0.060	0.144	0.072
Q10. 要点的提示の適切性	50.00	10.00	864	-0.166	0.108	0.120	0.079	0.016	0.103
Q10. 難解性・草の進度	50.00	10.00	864	-0.188	-0.113	0.348*	0.282	-0.129	0.043
Q10. 難解性・草の進度	50.00	10.00	864	-0.196	0.184	-0.113	-0.076	0.414*	0.367*
Q10. 印刷教材の適切性	50.00	10.00	864	-0.013	0.178	0.103	0.050	0.223	0.136

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-1-1 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 2)

因子尺度・項目				平均値	標準偏差	有効数	Q 6. 放送教材量の評定因子尺度				Q 6. 視覚素材利用度因子尺度			
因子尺度・項目				平均値	標準偏差	有効数	メディア活用度	視聴者考慮機会	印刷教材利用頻度	講義内容量の多さ	実資料素材利用度	黒板・図利用度	アニメ・実験利用	
評定者：年齢	45.90	10.36	977	-0.017	0.037	-0.071	0.092	0.038	0.016	0.072				
評定者：職位 (教授<講師>)	1.98	1.02	969	0.019	-0.017	0.074	-0.149	-0.069	-0.051	-0.005				
評定者：性別 (男<女>)	1.10	0.30	956	0.048	-0.046	-0.026	-0.039	0.009	-0.050	0.032				
メタ分析 (T F M)	1.21	0.41	978	-0.215	-0.014	0.190	0.025	0.000	0.000	0.000				
理系・文系 (文<理>)	1.57	0.50	855	-0.137	-0.039	0.087	-0.018	-0.097	0.146	0.176				
Q2. 視聴分量 (多<少)	3.14	1.71	958	0.055	0.027	0.133	-0.012	-0.013	-0.087	0.003				
Q3. 視聴質 (高<低)	1.82	0.68	967	0.027	0.052	0.139	-0.029	-0.030	-0.016	0.115				
Q4A. テレレ設備 (利<難)	1.57	0.69	945	0.015	-0.012	-0.063	0.043	0.005	0.002	0.039				
Q4B. ビデオ設備 (利<難)	1.43	0.58	963	-0.009	0.004	-0.024	0.060	0.005	0.038	0.084				
Q4C. ラジオ設備 (利<難)	1.73	0.77	922	0.054	-0.007	-0.018	-0.069	0.012	-0.079	-0.013				
Q4D. テーブ設備 (利<難)	1.61	0.73	936	-0.062	-0.013	-0.005	0.019	-0.068	-0.022	0.061				
Q5. 講義形式 (1 人<他)	1.39	0.49	923	0.393*	0.104	-0.059	-0.036	0.127	-0.111	0.026				
Q13.1. 授業で全面的に利用	0.08	0.27	949	0.063	-0.023	0.026	0.016	0.022	0.019	0.118				
Q13.2. 授業資料として利用	0.68	0.46	949	0.032	-0.022	-0.094	-0.059	0.064	-0.061	0.032				
Q13.3. 研究室等での利用	0.24	0.43	949	-0.027	0.036	0.187	0.046	-0.002	0.185	0.010				
Q13.4. 図書室等での利用	0.55	0.50	949	0.050	0.087	-0.019	0.012	0.047	0.005	0.000				
Q13.5. 図用したと思わず	0.03	0.16	949	-0.010	-0.078	0.021	0.026	-0.062	-0.078	-0.097				
Q14. 想定単位数 (0 ~ 3)	1.45	1.03	807	-0.039	0.086	0.084	-0.000	0.095	0.004	0.035				
Q6A. 講師の登場時間	2.11	0.85	939	0.721**	0.096	-0.009	-0.270	0.273	-0.163	0.121				
Q6B. 黒板等の利用頻度	2.84	0.96	746	0.196	-0.073	-0.208	-0.201	-0.019	-0.888##	-0.235				
Q6C. テメ等の利用頻度	3.88	0.95	680	-0.190	-0.201	-0.300#	0.020	-0.182	-0.305#	-0.934##				
Q6D. 図版等の利用頻度	2.93	0.91	734	-0.035	-0.137	-0.063	-0.078	-0.342#	-0.752##	-0.500##				
Q6E. V T R 等の利用頻度	3.34	1.18	914	-0.730##	-0.219	0.015	0.051	-0.531##	-0.063	-0.229				
Q6F. 実験等の導入頻度	3.45	1.09	680	-0.373#	-0.246	-0.090	0.007	-0.559##	-0.458#	-0.708##				
Q6G. 寸劇等の登場時間	4.21	1.01	867	-0.657##	-0.241	-0.440#	0.099	-0.158	-0.044	-0.294				
Q6H. テメ等の登場頻度	3.59	1.09	918	-0.678##	-0.291	-0.144	0.019	-0.342#	0.059	-0.174				
Q6I. テメ等の登場頻度	3.40	1.04	937	0.146	-0.205	-0.771##	-0.112	0.067	-0.168	-0.147				
Q6J. 印刷教材の活用頻度	4.09	0.91	902	-0.311#	-0.296	-0.831##	-0.027	-0.028	-0.108	-0.300#				
Q6K. 講義内容の分量	2.68	0.62	952	0.179	0.132	-0.170	-0.692##	0.051	-0.093	0.029				
Q6L. 内容の明瞭時間	2.57	0.79	948	0.448*	-0.302#	0.082	-0.599##	-0.016	-0.183	0.004				
Q6M. 視聴者の考慮時間	3.61	0.81	959	-0.211	-0.802##	-0.341#	-0.043	-0.310#	-0.124	-0.200				
Q6N. 視聴者の考慮時間	3.67	0.80	941	-0.310#	-0.617##	-0.022	0.323*	-0.265	0.055	-0.124				
Q6O. 1 回の講義時間	2.92	0.48	945	-0.027	0.063	0.022	-0.720##	0.014	0.006	0.063				
Q6P. 問いかけの頻度	3.78	0.78	954	-0.306#	-0.742##	-0.343#	0.036	-0.256	-0.018	-0.211				
Q6Q. 実物の提示頻度	2.97	1.02	715	-0.327#	-0.336#	0.070	-0.034	-0.869##	-0.301#	-0.284				
Q6R. 証人の登場頻度	3.86	0.99	888	-0.621##	-0.491#	-0.104	0.108	-0.563##	0.007	-0.280				
Q6S. 実地見学の頻度	3.37	1.08	667	-0.521##	-0.423#	0.046	0.067	-0.863##	0.030	-0.202				

(注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq ##$)

表 4-1-1-1 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 3)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 6. 放送教材量の評定因子尺度				Q 6. 視覚素材利用度因子尺度			
				メディア活用度	視聴者考慮機会	印刷教材利用頻度	講義内容量の多さ	実資料素材利用度	黒板・図利用度	アニメ・実験利用度	
Q7A. 講師の登場時間度	0.11	0.31	626	-0.056	-0.042	-0.053	0.139	-0.035	-0.155	-0.131	
Q7B. 黒板等の利用頻度	0.07	0.26	855	-0.005	0.003	-0.006	-0.013	-0.071	-0.099	-0.055	
Q7C. アニメ等の利用頻度	0.17	0.38	855	0.018	0.022	0.007	-0.010	-0.050	0.007	-0.028	
Q7D. 図版等の利用頻度	0.13	0.34	855	0.048	0.058	-0.022	-0.036	0.043	-0.171	-0.086	
Q7E. VTR等の利用頻度	0.14	0.35	855	-0.007	-0.039	-0.087	-0.013	-0.125	-0.090	-0.020	
Q7F. 実験等の導入頻度	0.18	0.38	855	-0.035	-0.012	-0.092	-0.021	-0.068	0.061	0.051	
Q7G. 寸劇等の利用頻度	0.04	0.20	855	0.051	-0.053	0.072	-0.108	-0.118	-0.043	-0.032	
Q7H. スライド等の登場頻度	0.16	0.36	855	-0.082	-0.024	-0.031	-0.001	-0.055	-0.101	-0.031	
Q7I. 印刷教材の参照頻度	0.15	0.36	855	0.038	-0.052	-0.069	-0.075	-0.010	-0.066	-0.024	
Q7J. 演習問題の利用頻度	0.18	0.38	855	-0.001	-0.065	0.089	-0.042	-0.097	0.038	0.082	
Q7K. 講義内容の分量	0.15	0.35	855	0.021	-0.045	0.070	0.131	0.006	-0.016	0.021	
Q7L. 内容の説明時間	0.18	0.38	855	0.060	-0.165	0.060	-0.035	-0.048	-0.061	0.078	
Q7M. 視聴者の考慮時間	0.28	0.45	855	-0.035	-0.205	0.035	0.069	-0.089	-0.007	-0.009	
Q7N. 息抜きの時間	0.41	0.41	855	-0.092	-0.141	0.099	0.172	-0.086	0.078	0.031	
Q7O. 1 回の講義時間	0.09	0.29	855	0.070	-0.033	-0.020	-0.007	0.037	-0.068	0.035	
Q7P. 問いかけの頻度	0.31	0.46	855	-0.011	-0.136	-0.028	0.069	-0.053	0.000	0.037	
Q7Q. 実物の提示頻度	0.16	0.37	855	-0.080	0.002	-0.058	0.012	-0.142	0.010	-0.071	
Q7R. 証人の登場頻度	0.05	0.22	855	-0.011	-0.047	0.008	-0.035	-0.028	-0.095	-0.123	
Q7S. 実地見学頻度	0.13	0.33	855	0.007	0.031	-0.069	0.005	-0.067	-0.024	-0.011	
Q7X. その他	0.23	0.42	855	-0.042	-0.006	-0.054	0.108	-0.040	0.039	-0.043	
Q8A. 講師の派遣感	3.51	0.71	963	-0.151	-0.115	-0.048	0.085	-0.017	0.000	-0.114	
Q8B. 講師の活動性	2.27	0.64	970	0.098	-0.137	0.041	-0.066	-0.132	-0.151	-0.045	
Q8C. 講師の話しやすさ	2.86	0.78	967	-0.052	-0.279	-0.143	-0.010	-0.219	-0.216	-0.257	
Q8D. 講師の親しみさ	2.55	0.84	969	-0.059	-0.284	0.030	0.041	-0.283	-0.147	-0.186	
Q8E. 講師の暖かさ	2.51	0.78	968	-0.046	-0.302#	0.081	-0.022	-0.298	-0.128	-0.150	
Q8F. 講師の厳しさ	3.15	0.71	965	0.111	-0.047	-0.224	-0.055	0.151	-0.116	-0.017	
Q8G. 講師の緊張感	3.18	0.81	965	-0.061	0.066	-0.066	0.006	0.125	0.039	0.061	
Q8H. 話し方の明瞭さ	3.22	0.67	968	-0.018	0.118	-0.140	-0.054	0.180	0.024	0.020	
Q8I. 言葉遣いの硬さ	2.41	0.73	969	0.079	-0.209	-0.104	-0.063	-0.097	-0.087	-0.092	
Q8J. 言葉遣いのやさしさ	3.03	0.77	971	0.009	0.229	-0.081	-0.038	0.234	0.049	0.082	
Q8K. 問の取り方	2.77	0.75	972	-0.023	-0.306#	-0.019	-0.010	-0.207	-0.134	-0.152	
Q8L. 表現力の豊かさ	2.82	0.79	971	-0.016	-0.345#	-0.060	-0.066	-0.243	-0.124	-0.235	
Q8M. エーゼン	3.40	0.78	971	-0.154	-0.355#	-0.058	0.021	-0.261	-0.098	-0.271	
Q8N. 説得力	2.55	0.77	972	0.032	-0.296	-0.106	-0.104	-0.226	-0.203	-0.193	
Q8O. わかりやすさ	2.44	0.76	972	-0.054	-0.321#	-0.002	0.003	-0.294	-0.121	-0.193	
Q8P. 講師の巧みさ	2.90	0.76	972	-0.035	-0.339#	-0.062	-0.030	-0.239	-0.092	-0.196	
Q8Q. まわりのくどさ	3.45	0.75	970	-0.066	0.068	0.006	0.008	0.075	0.169	0.067	
Q8R. すききり	2.54	0.78	972	-0.017	-0.241	-0.131	-0.017	-0.157	-0.187	-0.141	
Q8S. 教材提示の適切性	2.55	0.77	971	-0.108	-0.255	-0.016	-0.073	-0.317#	-0.277	-0.242	

(注: ** ≥ 0.5 , 0.5 $> *$ ≥ 0.3 , -0.3 $\geq \# > -0.5$, -0.5 $\geq \#\#$)

表 4-1-1 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 4)

Q 6. 放送教材量の評定因子尺度				Q 6. 視覚素材利用度因子尺度						
因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	メディア活用度	視聴者考慮機会	印刷教材利用頻度	講義内容量の多さ	実資料素材利用度	黑板报・図利・用度	アニメ・実験利用度
Q9A. 講師の派遣感	0.02	0.12	595	-0.010	0.075	-0.040	-0.024	0.015	-0.028	-0.064
Q9B. 講師の清潔感	0.04	0.19	813	0.068	0.079	0.085	-0.063	0.021	-0.079	-0.008
Q9C. 講師の活動性	0.13	0.33	813	0.080	-0.030	-0.024	-0.015	-0.060	-0.100	-0.033
Q9D. 講師の親しみやすさ	0.23	0.42	813	-0.008	-0.073	0.101	0.036	-0.096	-0.048	0.031
Q9E. 講師の暖かさ	0.08	0.27	813	0.054	-0.034	0.134	-0.010	-0.085	-0.057	0.063
Q9F. 講師の厳しさ	0.02	0.15	813	0.038	0.068	0.062	-0.063	-0.060	-0.046	0.020
Q9G. 講師の緊張度	0.10	0.29	813	0.033	-0.031	-0.041	-0.026	0.010	-0.058	0.011
Q9H. 話し方の明瞭さ	0.16	0.37	813	-0.069	-0.087	0.059	0.004	-0.115	-0.022	0.016
Q9I. 話し方の明瞭さ	0.15	0.36	813	0.090	-0.006	0.037	-0.095	0.035	0.015	0.066
Q9J. 言葉遣いの硬さ	0.11	0.32	813	-0.048	-0.076	-0.017	-0.006	-0.052	-0.068	0.015
Q9K. 間の取り方	0.18	0.38	813	-0.075	-0.082	0.061	0.030	0.016	0.035	0.029
Q9L. 表現力の豊かさ	0.19	0.39	813	0.012	-0.089	-0.045	-0.024	-0.047	-0.028	0.003
Q9M. コーモア	0.38	0.49	813	-0.054	-0.051	0.032	0.066	-0.050	0.091	-0.003
Q9N. 説得力	0.17	0.38	813	0.103	-0.045	-0.003	-0.062	-0.012	-0.131	-0.049
Q9O. わかりやすさ	0.21	0.41	813	-0.016	-0.090	0.046	0.067	-0.044	0.001	-0.020
Q9P. 技術の巧みさ	0.17	0.38	813	-0.014	-0.098	-0.086	0.016	-0.068	-0.054	-0.067
Q9Q. まわりのくさ	0.06	0.24	813	-0.056	-0.070	-0.086	0.029	-0.083	-0.089	-0.093
Q9R. 素材提示の適切性	0.09	0.28	813	0.055	-0.058	-0.073	0.015	0.014	-0.001	0.037
Q9S. その他	0.22	0.41	813	-0.005	-0.029	-0.005	-0.084	-0.068	-0.102	-0.013
Q9X. その他	0.15	0.35	813	0.011	0.037	-0.105	0.049	0.058	0.121	0.016
(1) 内容の範囲は適切	2.15	0.87	963	0.044	-0.180	-0.015	-0.075	-0.087	-0.152	-0.145
(2) 内容が専門的だった	2.70	0.96	965	0.239	0.047	-0.170	-0.211	0.066	-0.221	-0.055
(3) 単位の組み合わせ	2.40	0.83	946	0.071	-0.178	-0.076	-0.085	-0.052	-0.189	-0.123
(4) 面白い番組	2.45	0.94	963	-0.198	-0.251	-0.037	0.013	-0.305#	-0.198	-0.251
(5) 役に立つ番組	2.04	0.77	963	-0.021	-0.092	-0.061	-0.071	-0.079	-0.181	-0.097
(6) わかりやすい番組	2.44	0.90	960	-0.138	-0.300#	0.091	0.085	-0.266	-0.018	-0.147
(7) 講義概要が最初で適切	2.40	0.88	959	-0.007	-0.143	-0.086	-0.026	-0.070	-0.125	-0.111
(8) まよめが要所で適切	2.44	0.86	960	-0.029	-0.192	-0.094	-0.056	-0.145	-0.186	-0.154
(9) 重要なポイントが適切	2.48	0.89	963	0.002	-0.241	-0.136	-0.009	-0.116	-0.187	-0.188
(10) 流れに適切な緩急	2.96	0.88	963	-0.210	-0.356#	-0.064	0.072	-0.324#	-0.155	-0.236
(11) 1 回の講義情報量適切	2.53	0.88	961	-0.016	-0.204	0.060	0.076	-0.159	-0.130	-0.163
(12) 視聴者の動機づけ配慮	2.85	0.91	959	-0.180	-0.326#	-0.054	0.039	-0.292	-0.124	-0.299
(13) 視聴者の疑問への配慮	3.19	0.87	962	-0.191	-0.453#	-0.199	0.016	-0.267	-0.057	-0.266
(14) 視聴者の疑問への配慮	2.92	0.86	962	-0.105	-0.353#	-0.095	-0.050	-0.218	-0.133	-0.183
(15) 内容が盛りだくさん	2.63	0.84	959	0.030	0.051	-0.198	-0.241	-0.031	-0.143	-0.033

(注: ** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 \geq # $>$ -0.5, -0.5 \geq ##)

表 4-1-1-1 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 5)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 6. 放送教材量の評定因子尺度				Q 6. 視覚素材利用度因子尺度			
				メディア活用度	視聴者考慮機会	印刷教材利用頻度	講義内容量の多さ	実資料素材利用度	黒板・図利用度	アニメ・実験利用度	
(16) 利用メディアの特性が適切	2.74	1.02	961	-0.388#	-0.243	0.025	-0.005	-0.439#	-0.209	-0.318#	
(17) 視聴者が適切な導入が適切	3.15	0.78	954	-0.233	-0.437#	-0.140	0.018	-0.283	-0.064	-0.233	
(18) 新事例の適切な導入が適切	2.56	0.81	955	-0.022	-0.193	-0.082	-0.021	-0.166	-0.138	-0.191	
(19) 講義の適切な流れが適切	2.43	0.88	961	-0.234	-0.234	0.075	-0.030	-0.464#	-0.178	-0.260	
(20) 講義の適切な変化が適切	3.08	0.94	960	0.153	0.216	-0.034	-0.023	0.272	0.112	0.149	
(21) 必要以上に専門用語が適切	3.51	0.77	958	-0.012	0.041	-0.125	-0.053	0.057	-0.009	-0.044	
(22) 印刷教材と適切な関連が適切	2.48	0.87	954	0.200	-0.042	-0.098	-0.076	0.012	-0.134	-0.009	
(23) 図表などが適切な利用が適切	2.63	0.97	947	-0.100	-0.107	0.023	0.019	-0.285	-0.484#	-0.362#	
(24) 内容が実用的なレベルが適切	2.91	0.95	960	-0.260	-0.207	-0.219	0.013	-0.211	-0.166	-0.233	
(25) 内容のレベルは適切	2.46	0.87	960	-0.049	-0.210	0.054	-0.020	-0.175	-0.038	-0.125	
(26) 講義の進捗は適切な範囲が適切	2.47	0.82	959	-0.053	-0.272	0.057	0.015	-0.136	-0.058	-0.125	
(27) 1 回の講義は適切な範囲が適切	2.41	0.87	962	0.045	-0.158	0.059	0.087	-0.096	-0.122	-0.073	
(28) 中途の講義は適切な範囲が適切	3.27	0.89	957	-0.216	-0.357#	0.065	0.223	-0.176	-0.025	-0.141	
(29) カリキュラムは適切な範囲が適切	2.46	0.79	957	0.027	-0.179	-0.029	-0.031	-0.134	-0.212	-0.141	
(30) 興味深い番組が適切	2.07	0.87	966	-0.016	-0.188	-0.030	-0.055	-0.209	-0.193	-0.144	
(31) 何らかの価値を利用した教材は適切	1.78	0.76	966	-0.028	-0.116	-0.086	-0.060	-0.150	-0.164	-0.130	
(32) 生活に密着した教材は適切	2.66	0.96	959	-0.279	-0.220	0.028	-0.025	-0.295	-0.038	-0.094	
(33) 時宜を考慮した教材は適切	2.58	0.86	958	-0.179	-0.239	-0.065	-0.047	-0.256	-0.122	-0.228	
(34) 実社会のニーズを反映した教材は適切	2.86	1.02	958	-0.154	-0.134	-0.295	-0.070	-0.035	-0.129	-0.124	
(35) 基本的な知識を身につけるための教材は適切	2.26	0.86	955	0.059	-0.163	-0.014	-0.043	-0.100	-0.234	-0.181	
(36) 一般大衆に分かりやすい内容の教材は適切	2.70	0.95	962	-0.153	-0.101	-0.082	-0.071	-0.149	-0.026	-0.095	
(37) 講師の進捗は適切な範囲が適切	2.03	0.88	961	0.080	-0.207	-0.091	-0.042	-0.181	-0.213	-0.181	
(38) 講義の進捗は適切な範囲が適切	3.20	0.79	960	0.023	0.154	-0.213	-0.140	0.118	0.031	0.054	
(39) 全体としての進捗は適切な範囲が適切	2.58	0.86	959	-0.008	-0.222	-0.004	0.014	-0.130	-0.137	-0.140	
(40) 図表などの提示は適切な範囲が適切	2.79	0.95	937	-0.196	-0.237	-0.033	0.024	-0.361#	-0.405#	-0.377#	
(41) 印刷教材が充実している番組が適切	2.74	0.85	957	0.022	-0.227	-0.116	-0.056	-0.214	-0.135	-0.164	
(42) 改善の余地が大きい番組が適切	3.22	1.00	961	0.083	0.281	0.048	-0.035	0.266	0.200	0.218	
(43) 印刷教材の量が適切な範囲が適切	2.95	0.90	960	0.003	0.182	0.029	0.015	0.219	0.132	0.172	
(44) 印刷教材の演習が適切な範囲が適切	3.57	0.90	943	-0.284	-0.269	-0.355#	-0.051	-0.108	0.017	-0.180	
(45) 学習ペースが適切な範囲が適切	2.55	0.75	949	-0.000	-0.162	-0.053	-0.067	-0.099	-0.144	-0.108	
(46) 全体的に満足している番組が適切	2.24	0.88	963	-0.041	-0.230	-0.064	-0.002	-0.225	-0.194	-0.223	

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4-1-2 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 1)

因子尺度・項目	平均	標準 偏差	有効 度数	Q 7. 放送教材量の改善点因子尺度				Q 7. 視覚素材利用度改善尺度			
				内容量 の改善	GESTO利 用度改善	息抜き時 間の改善	問いかけ 頻度改善	講師登壇 時間改善	実資料素 材利用度	黒板・図 版利用度	了ニメ・ 実験利用
Q6. メディア特性の活用度	50.00	10.00	789	0.084	-0.039	-0.147	-0.025	-0.038	-0.046	0.022	0.011
Q6. 視聴者考慮機会の頻度	50.00	10.00	789	-0.054	-0.053	-0.053	-0.118	-0.113	0.018	0.036	0.011
Q6. 印刷教材利用頻度	50.00	10.00	789	-0.004	-0.097	0.110	-0.075	0.049	-0.098	-0.010	-0.018
Q6. 講義内容量の多さ	50.00	10.00	789	0.043	0.011	0.143	0.040	-0.069	-0.001	-0.028	-0.017
Q6. 実資料素材利用頻度	50.00	10.00	579	0.047	-0.119	-0.218	0.017	-0.077	-0.114	-0.025	-0.053
Q6. 黒板・図版導入頻度	50.00	10.00	579	-0.057	-0.182	0.026	-0.043	-0.101	0.002	-0.171	-0.032
Q6. 了ニメ・実験頻度	50.00	10.00	579	0.057	-0.106	-0.014	0.065	0.017	-0.030	-0.097	0.006
Q7. 講義内容量の多さ改善	50.00	10.00	626	1.000	-0.000	-0.050	-0.085	-0.013	0.060	0.086	-0.030
Q7. ゲスト利用度改善	50.00	10.00	626	-0.000	1.000	0.101	-0.059	0.045	0.153	0.101	0.075
Q7. 息抜き考慮機会の頻度改善	50.00	10.00	626	-0.050	0.101	1.000	0.082	0.144	-0.133	-0.137	-0.075
Q7. 問い・教科書利用度改善	50.00	10.00	626	-0.085	-0.059	0.082	1.000	0.106	-0.106	-0.043	-0.131
Q7. 講師登壇時間等の改善	50.00	10.00	626	-0.013	0.045	0.144	0.106	1.000	-0.073	0.016	-0.028
Q7. 実資料素材利用度改善	50.00	10.00	855	0.060	0.133	-0.133	-0.106	-0.073	1.000	0.104	0.136
Q7. 黒板・図版利用度改善	50.00	10.00	855	0.086	0.101	-0.137	-0.043	0.016	0.104	1.000	0.061
Q7. 了ニメ・実験頻度改善	50.00	10.00	855	-0.030	0.075	-0.075	-0.131	-0.028	0.136	0.061	1.000
Q8. 講師の親しみやすさ	50.00	10.00	956	-0.101	-0.011	-0.042	0.035	-0.087	0.004	-0.060	-0.043
Q8. 講師の堅さ	50.00	10.00	956	-0.002	-0.005	0.106	0.011	0.007	0.006	0.115	0.114
Q8. 講師の派手さ	50.00	10.00	956	0.032	-0.046	-0.114	0.023	-0.030	0.060	0.003	-0.005
Q8. 明解な話し方	50.00	10.00	958	-0.141	-0.048	-0.067	-0.023	-0.110	-0.052	-0.030	-0.049
Q8. 面白味のある話し方	50.00	10.00	958	-0.060	-0.040	-0.192	0.084	-0.030	0.043	-0.046	-0.064
Q8. 話し方の堅さ	50.00	10.00	958	0.124	0.108	0.060	0.116	0.076	0.011	0.092	0.071
Q8. 話す速さ	50.00	10.00	958	0.082	-0.030	0.080	0.061	0.064	-0.040	0.082	-0.029
Q9. 講師の親近感改善	50.00	10.00	595	0.113	0.111	0.095	0.019	0.124	0.043	0.008	0.008
Q9. 講師の堅さ改善	50.00	10.00	595	-0.001	-0.046	0.115	0.013	0.068	0.038	-0.031	0.069
Q9. 講師の活動性改善	50.00	10.00	595	0.030	0.037	0.006	-0.035	0.061	0.072	0.009	0.118
Q9. 話し方の改善	50.00	10.00	813	0.216	0.067	-0.090	0.029	0.071	0.164	0.124	-0.017
Q9. 話し方の改善	50.00	10.00	813	0.218	0.011	0.211	0.112	0.124	-0.050	0.086	0.034
Q9. 話し方の改善	50.00	10.00	813	0.079	0.140	0.147	-0.016	0.114	0.100	0.001	0.091
Q9. 話し方の簡潔性の改善	50.00	10.00	813	0.147	0.010	0.006	0.133	0.092	-0.040	0.006	0.021
Q10. 講義内容量の適切性	50.00	10.00	864	-0.335#	0.049	-0.095	-0.013	-0.061	0.028	0.019	0.004
Q10. 視聴者の配慮工夫	50.00	10.00	864	-0.086	-0.102	-0.238	-0.002	-0.138	-0.015	0.013	-0.062
Q10. 視聴者の満足度	50.00	10.00	864	-0.049	-0.081	-0.071	0.030	-0.207	-0.082	-0.099	-0.117
Q10. 番組組の實用性	50.00	10.00	864	-0.030	0.011	-0.096	-0.089	0.019	0.013	0.044	0.030
Q10. 番組提示の適切性	50.00	10.00	864	-0.071	-0.084	-0.011	-0.139	-0.064	-0.027	-0.057	-0.035
Q10. 要点提示・専門性の適切性	50.00	10.00	864	0.099	-0.004	0.172	-0.006	-0.051	-0.023	0.039	0.094
Q10. 図表提示の適切性	50.00	10.00	864	-0.019	-0.070	-0.146	-0.053	-0.079	0.067	-0.086	0.039
Q10. 印刷教材の適切性	50.00	10.00	864	-0.098	-0.137	-0.000	-0.102	-0.133	-0.085	-0.067	-0.117

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-1-2 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 2)

因子尺度・項目				Q 7. 放送教材量の改善点因子尺度					Q 7. 視覚素材利用度改善尺度				
評定者：年齢 評定者：性別 評定者：文系（V<F M） メタ分析（V<F M） 理系・文系（文<理）	平均	標準偏差	有効度数	内容量の改善	ゲスト利用度改善	息抜き時間の改善	問いかけ頻度改善	講師登壇時間改善	実資料要素 材利用度	黒板・図版 利用度	アニメ・ 実験利用		
評定者：年齢 評定者：性別 評定者：文系（V<F M） メタ分析（V<F M） 理系・文系（文<理）	45.90 1.98 1.10 1.21 1.57	10.36 1.02 0.30 0.41 0.50	977 969 956 978 855	-0.016 0.064 0.050 -0.040 0.017	0.061 -0.093 0.028 -0.073 -0.136	-0.009 -0.033 0.055 0.124 -0.066	0.075 -0.122 -0.039 0.096 -0.007	0.013 -0.038 0.035 0.032 0.055	-0.076 -0.050 0.012 -0.250 0.081	-0.008 0.040 -0.025 -0.170 0.013	0.011 -0.018 -0.003 -0.239 0.179		
Q2. 視聴分量（多<少） Q3. 視聴質（高<低） Q4A. テレビ設備（利<難） Q4B. ビデオ設備（利<難） Q4C. ラジオ設備（利<難） Q4D. テレプー設備（利<難） Q5. 講義形式（1人<他）	3.14 1.82 1.57 1.43 1.73 1.61 1.39	1.71 0.68 0.69 0.58 0.77 0.73 0.49	958 967 945 963 922 936 923	-0.033 0.004 0.026 0.025 0.038 0.058 0.008	0.039 0.037 -0.099 -0.079 -0.048 -0.029 -0.052	0.033 0.022 -0.052 0.007 -0.023 -0.032 -0.037	-0.105 -0.018 0.062 0.016 0.017 0.025 0.016	0.086 0.043 0.028 0.021 -0.023 0.004 0.092	-0.006 0.007 -0.019 -0.091 0.026 0.011 -0.011	0.070 -0.008 -0.001 -0.021 0.045 0.069 -0.069	-0.050 0.011 -0.003 -0.002 0.033 0.070 0.043		
Q13.1. 授業で全般的に利用 Q13.2. 授業資料として利用 Q13.3. 研究資料として利用 Q13.4. 図書等から利用 Q13.5. 利用したいと思わず Q14. 想定単位数（0～3）	0.08 0.68 0.24 0.55 0.03 1.45	0.27 0.46 0.43 0.50 0.16 1.03	949 949 949 949 949 807	-0.020 -0.021 0.009 -0.031 0.016 -0.057	-0.024 0.064 -0.081 0.015 0.011 -0.021	0.009 -0.092 0.053 0.006 0.047 0.021	0.044 0.018 -0.047 0.060 0.028 0.110	-0.017 0.003 -0.000 0.008 0.016 0.002	0.008 0.101 0.099 0.027 0.013 -0.028	-0.043 0.015 -0.014 0.030 -0.013 -0.019	-0.004 0.052 -0.064 0.020 -0.024 -0.058		
Q6A. 講師の登場時間 Q6B. 黒板等の利用率 Q6C. アニメ等の利用頻度 Q6D. 図版等の利用頻度 Q6E. VTR等の利用頻度 Q6F. 実験等の導入頻度 Q6G. 寸法の利用頻度 Q6H. ガス等の登場頻度 Q6I. 印刷教材の参照頻度 Q6J. 演習問題の利用頻度	2.11 2.84 3.88 2.93 3.34 3.45 4.21 3.59 3.40 4.09	0.85 0.96 0.95 0.91 1.18 1.09 1.01 1.09 1.04 0.91	939 746 680 734 914 680 867 918 937 902	0.096 0.063 -0.031 -0.014 -0.049	-0.063 0.154 0.099 0.041 0.046	-0.132 -0.129 -0.029 0.038 0.076	-0.032 0.023 -0.049 0.054 -0.007	-0.021 0.004 -0.040 0.049 0.049	-0.021 0.009 0.002 -0.064 0.072	0.019 0.130 0.079 0.177 0.032	-0.056 -0.071 0.012 -0.046 0.014		
Q6K. 講義内容の分量 Q6L. 内容の説明時間 Q6M. 視聴者の時間 Q6N. 息抜きの時間 Q6O. 1回の講義時間	2.68 2.57 3.61 3.67 2.92	0.62 0.79 0.81 0.80 0.48	952 948 959 941 945	-0.133 0.089 0.013 0.003 0.038	0.055 -0.049 0.080 0.037 -0.060	-0.148 -0.065 0.197 -0.172 -0.076	-0.112 -0.001 0.122 0.070 0.092	0.056 0.038 0.111 -0.025 0.053	0.008 -0.032 0.026 0.079 0.055	0.012 0.029 -0.004 0.020 -0.003	0.003 0.036 0.008 -0.079 0.014		
Q6P. 問いかけの頻度 Q6Q. 実物資料の提示頻度 Q6R. 証人の登場頻度 Q6S. 実地見学の頻度	3.78 2.97 3.86 3.37	0.78 1.02 0.99 1.08	954 715 888 667	-0.022 0.048 -0.007 -0.052	0.090 0.128 0.001 0.084	0.214 0.149 0.146 0.137	0.128 -0.037 0.029 -0.067	0.142 0.139 0.069 0.012	0.007 0.102 0.008 0.126	-0.025 0.092 -0.058 -0.026	-0.023 -0.032 -0.079 0.050		

(注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4 - 1 - 2 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 3)

Q 7. 放送教材量の改善点因子尺度										Q 7. 視覚素材利用度改善尺度			
因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効 度数	内容量 の改善	ゲスト利 用度改善	息抜き時 間の改善	問いかけ 頻度改善	講師登壇 時間改善	実資料素 材利用度	黒板・図 版利用度	アニメ・ 実験利用		
Q7A. 講師の登壇時間	0.11	0.31	626	0.262	0.337*	0.047	-0.150	0.493*	0.053	0.142	0.049		
Q7B. 黒板等の利用頻度	0.07	0.26	855	0.053	0.067	-0.095	-0.010	0.024	-0.093	0.820**	0.063		
Q7C. アニメ等の利用頻度	0.17	0.38	855	-0.052	0.099	-0.046	-0.135	-0.041	0.080	0.090	0.938**		
Q7D. 図版等の利用頻度	0.13	0.34	855	0.092	0.098	-0.147	-0.077	0.002	0.320*	0.748**	0.064		
Q7E. VTR等の利用頻度	0.14	0.35	855	0.292	0.542**	-0.091	-0.180	-0.115	0.283	0.112	0.173		
Q7F. 実験等の導入頻度	0.18	0.38	855	0.068	0.036	-0.137	-0.070	-0.012	0.574**	0.018	0.493*		
Q7G. 寸図等の利用頻度	0.04	0.20	855	0.001	0.087	0.268	-0.549#	0.283	-0.019	-0.002	0.094		
Q7H. ゲストの登壇時間	0.16	0.36	855	-0.107	0.700**	0.093	0.083	0.179	0.005	0.046	0.014		
Q7I. 印刷教材の参照頻度	0.15	0.36	855	0.168	-0.074	0.017	0.509**	0.090	0.013	0.061	-0.001		
Q7J. 演習問題の利用頻度	0.18	0.38	855	-0.120	-0.167	0.030	0.158	0.728**	-0.043	-0.059	-0.057		
Q7K. 講義内容の分量	0.15	0.35	855	0.722**	-0.093	0.080	0.090	-0.161	-0.008	0.020	-0.056		
Q7L. 内容の説明時間	0.18	0.38	855	0.503**	-0.069	0.007	0.142	0.293	-0.050	0.084	-0.042		
Q7M. 視聴者の時間	0.28	0.45	855	0.022	0.147	0.666**	0.348*	0.150	-0.062	-0.066	-0.087		
Q7N. 息抜きの時間	0.22	0.41	855	0.011	-0.014	0.761**	-0.157	-0.025	-0.116	-0.076	-0.018		
Q7O. 1回の講義時間	0.09	0.29	855	0.684**	0.044	-0.041	-0.115	0.018	-0.032	0.015	0.005		
Q7P. 問いかけの頻度	0.31	0.46	855	-0.168	0.099	0.335*	0.631**	0.252	-0.085	-0.089	-0.047		
Q7Q. 実物の提示頻度	0.16	0.37	855	0.050	0.138	-0.057	-0.039	-0.075	0.806**	0.172	0.024		
Q7R. 証人の登壇頻度	0.05	0.22	855	-0.242	0.562**	0.126	-0.010	-0.182	0.041	0.042	-0.030		
Q7S. 実地の見学	0.13	0.33	855	-0.008	0.141	-0.110	-0.135	-0.058	0.638**	0.011	0.090		
Q7X. その他	0.23	0.42	855	-0.049	-0.105	-0.166	-0.082	-0.092	-0.104	-0.073	-0.080		
Q8A. 講師の派遣	3.51	0.71	963	-0.003	0.024	0.101	-0.028	0.045	-0.089	-0.030	-0.023		
Q8B. 講師の清潔感	2.27	0.64	970	0.097	-0.020	-0.053	-0.028	0.060	0.002	-0.005	-0.012		
Q8C. 講師の活動性	2.86	0.78	967	0.020	0.039	0.026	-0.042	0.050	0.018	0.025	0.027		
Q8D. 講師の聞きやすさ	2.55	0.84	969	0.070	-0.010	0.084	-0.015	0.072	-0.006	0.088	0.068		
Q8E. 講師の暖かさ	2.51	0.78	968	0.091	0.007	0.097	-0.030	0.099	-0.012	0.069	0.031		
Q8F. 講師の厳しさ	3.15	0.71	965	0.047	0.006	-0.088	0.009	-0.004	-0.016	-0.107	-0.092		
Q8G. 講師の緊張度	3.18	0.81	965	-0.075	-0.025	-0.058	-0.019	-0.019	0.002	-0.078	-0.100		
Q8H. 話すスピード	3.22	0.67	968	-0.071	0.014	-0.062	-0.065	-0.069	0.026	-0.074	0.036		
Q8I. 話し方の明瞭さ	2.41	0.73	969	0.120	0.038	-0.058	0.002	0.022	0.047	0.007	0.033		
Q8J. 言葉遣いの硬さ	3.03	0.77	971	-0.133	-0.086	-0.132	0.003	-0.073	0.034	-0.099	-0.083		
Q8K. 問の取り方	2.77	0.75	972	0.101	0.013	0.202	0.044	0.102	-0.025	0.028	0.064		
Q8L. 表現力の豊さ	2.82	0.79	971	0.052	0.056	0.116	-0.045	0.016	0.027	-0.023	0.014		
Q8M. 言葉の丁寧さ	3.40	0.78	971	0.031	0.036	0.171	-0.038	0.053	-0.027	0.028	0.066		
Q8N. 説得力	2.55	0.77	972	0.108	0.038	0.065	-0.027	0.148	0.028	0.055	0.067		
Q8O. わかりやすさ	2.44	0.76	972	0.187	0.024	0.101	0.028	0.121	0.016	0.073	0.047		
Q8P. 技術の巧みさ	2.90	0.76	972	0.141	0.055	0.106	-0.016	0.013	0.027	0.019	0.069		
Q8Q. まわりのきりどさ	3.45	0.75	970	-0.102	-0.091	-0.042	-0.125	-0.042	-0.031	-0.041	-0.060		
Q8R. 素材提示の適切性	2.54	0.78	972	0.154	0.085	0.059	0.069	0.118	0.058	0.040	0.085		
Q8S. 素材提示の適切性	2.55	0.77	971	0.096	0.128	0.104	0.040	0.171	0.044	0.094	0.032		

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-1-1-2 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 4)

Q 7. 放送教材量の改善点因子尺度										Q 7. 視覚素材利用度改善尺度			
因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効度数	内容量の改善	ゲスト利用度改善	息抜き時間の改善	問いかけ頻度改善	講師登壇時間改善	実資料素材利用度	黒板・図版利用度	アニメ・実験利用		
Q9A. 講師の派手さ	0.02	0.12	595	0.001	0.010	-0.026	-0.055	0.035	0.042	0.018	0.059		
Q9B. 講師の清潔感	0.04	0.19	813	0.086	0.088	-0.010	-0.018	0.042	0.024	0.000	-0.022		
Q9C. 講師の活動性	0.13	0.33	813	0.025	0.076	0.028	0.032	0.064	0.058	0.030	0.104		
Q9D. 講師の親しみやすさ	0.23	0.42	813	0.079	0.097	0.088	0.026	0.101	0.082	0.075	0.097		
Q9E. 講師の暖かさ	0.08	0.27	813	0.101	0.054	0.122	-0.011	0.121	0.034	0.034	0.085		
Q9F. 講師の厳しさ	0.02	0.15	813	-0.046	-0.041	0.076	0.072	0.062	0.037	0.013	-0.013		
Q9G. 講師の緊張度	0.10	0.29	813	0.042	-0.031	0.086	-0.053	0.035	0.003	-0.036	0.073		
Q9H. 話し方のスピード	0.16	0.37	813	0.262	0.044	0.144	0.051	0.090	-0.029	0.119	0.023		
Q9I. 話し方の明瞭さ	0.15	0.36	813	0.131	0.038	-0.036	0.071	0.070	0.050	0.064	0.023		
Q9J. 言葉遣いの硬さ	0.11	0.32	813	0.070	0.082	0.053	0.057	0.105	0.005	0.045	0.028		
Q9K. 問の取り方	0.18	0.38	813	0.086	-0.002	0.235	0.113	0.083	-0.051	0.055	0.031		
Q9L. 表現力の豊かさ	0.19	0.39	813	0.160	0.087	-0.015	-0.066	0.027	0.106	-0.002	0.005		
Q9M. エンターテインメント性	0.38	0.49	813	-0.091	0.105	0.188	-0.056	-0.018	0.055	0.021	0.117		
Q9N. 説得力	0.17	0.38	813	0.115	0.031	-0.005	0.028	0.022	0.054	0.118	-0.048		
Q9O. わかりやすさ	0.21	0.41	813	0.150	0.026	0.027	0.031	0.075	0.094	0.046	0.009		
Q9P. 術の巧みさ	0.17	0.38	813	0.056	0.056	0.082	0.027	0.138	0.072	-0.029	0.052		
Q9Q. まわりのくどさ	0.06	0.24	813	0.069	0.050	0.044	0.111	0.089	-0.015	0.048	0.005		
Q9R. すきまりの適切性	0.09	0.28	813	0.128	0.003	0.006	0.063	0.021	-0.011	-0.017	0.069		
Q9S. 素材提示の適切性	0.22	0.41	813	0.101	0.114	-0.077	0.049	0.079	0.188	0.168	0.022		
Q9X. その他	0.15	0.35	813	-0.036	-0.034	-0.030	-0.042	-0.040	-0.079	-0.070	-0.068		
(1) 内容の範囲は適切	2.15	0.87	963	0.165	0.025	0.055	0.003	0.084	0.018	0.033	0.019		
(2) 内容が専門的	2.70	0.96	965	-0.011	-0.033	-0.076	0.039	0.049	0.005	-0.074	-0.050		
(3) 単位見合った内容	2.40	0.83	946	0.172	-0.044	0.013	0.042	0.059	0.037	0.012	0.024		
(4) 面白い番組	2.45	0.94	963	0.058	0.050	0.093	-0.037	0.168	0.048	0.059	0.089		
(5) 役に立つ番組	2.04	0.77	963	0.026	0.061	0.050	0.023	0.119	0.019	0.007	0.051		
(6) わかりやすい番組	2.44	0.90	960	0.097	0.008	0.132	0.066	0.113	-0.021	0.010	0.053		
(7) 意義が最初から明確	2.40	0.88	959	0.056	0.103	0.057	0.109	0.029	0.016	0.051	0.051		
(8) まどろみと所要時間の関係	2.44	0.86	960	0.098	0.130	0.031	0.079	0.071	0.004	0.087	0.045		
(9) 重要なポイントが明確	2.48	0.89	963	0.113	0.086	0.052	0.075	0.132	0.007	0.089	0.045		
(10) 流れに合った緩急	2.96	0.88	963	0.061	0.119	0.193	0.026	0.118	-0.013	0.014	0.037		
(11) 1 回の講義情報量適切	2.53	0.88	961	0.333*	0.015	0.091	-0.033	0.015	-0.005	0.003	0.028		
(12) 視聴者の動機づけ配慮	2.85	0.91	959	0.035	0.102	0.149	-0.053	0.158	0.002	0.052	0.066		
(13) 視聴者の考慮配慮	3.19	0.87	962	0.011	0.059	0.186	0.033	0.151	0.020	0.004	0.030		
(14) 視聴者の疑問への配慮	2.92	0.86	962	0.124	0.020	0.122	0.042	0.108	0.003	-0.019	0.052		
(15) 内容が盛りだくさん	2.63	0.84	959	-0.066	0.082	-0.135	-0.049	0.072	0.006	-0.010	0.005		

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4-1-2 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 5)

因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効度数	Q 7. 放送教材量の改善点因子尺度					Q 7. 視覚素材利用度改善尺度				
				内容量の改善	ゲスト利用度改善	息抜きの時間改善	問いかけ頻度改善	講師登場時間改善	実資料素材利用度	黒板・図版利用度	アニメ・実験利用		
(16) 利用メディアの特性が適切	2.74	1.02	961	0.038	0.104	0.107	-0.013	0.093	0.057	0.074	0.087		
(17) 視聴者の意見が適切	3.15	0.78	954	0.026	0.135	0.218	0.083	0.113	-0.019	0.013	0.015		
(18) 新しい概念の導入が適切	2.56	0.81	955	0.045	0.054	0.064	0.063	0.080	-0.025	-0.015	-0.040		
(19) 具体例が適切に変化	2.43	0.88	961	0.035	0.064	0.119	-0.019	0.059	0.090	0.070	0.073		
(20) 講義の流れに適合	3.08	0.94	960	-0.050	-0.107	-0.106	0.048	-0.101	-0.049	-0.017	-0.117		
(21) 必要以上の専門用語の有	3.51	0.77	958	-0.075	-0.081	-0.015	-0.031	-0.069	-0.051	-0.055	-0.130		
(22) 印刷教材と関連する	2.48	0.87	954	0.073	0.097	-0.050	0.131	0.150	-0.004	0.072	0.022		
(23) 図表が実用的	2.63	0.97	947	0.024	0.101	0.087	0.122	0.091	-0.093	0.095	-0.077		
(24) 内容のレベルは適切	2.91	0.95	960	0.031	0.012	0.036	0.088	0.018	0.002	0.010	0.003		
(25) 内容の進捗は適切	2.46	0.87	960	0.171	0.013	0.048	0.002	0.064	-0.034	0.057	0.004		
(26) 講義の進捗は適切	2.47	0.82	959	0.282	-0.027	0.137	0.005	0.098	-0.021	-0.008	0.019		
(27) 1回の講義が適切	2.41	0.87	962	0.362*	0.039	0.066	-0.081	0.018	-0.001	-0.007	0.033		
(28) 力リキミ深い番組	3.27	0.89	957	0.060	-0.033	0.257	-0.045	0.008	-0.087	-0.007	-0.052		
(29) 興味深い番組	2.46	0.79	957	0.168	0.040	0.050	-0.039	0.046	0.047	0.027	0.019		
(30) 何らかの活用した番組	2.07	0.87	966	0.098	0.055	0.134	-0.044	0.190	0.062	0.039	0.046		
(31) 一般大学の先生が適切	1.78	0.76	966	0.085	0.072	0.093	-0.007	0.081	0.002	0.031	0.011		
(32) 講義の進捗は適切	2.66	0.96	959	0.033	-0.031	0.145	0.033	0.081	-0.038	0.015	0.034		
(33) 講義の進捗は適切	2.58	0.86	958	0.082	0.009	0.092	-0.036	0.093	0.036	0.031	-0.053		
(34) 基本が身につく	2.86	1.02	958	0.042	-0.021	0.048	0.048	-0.024	0.001	-0.049	0.005		
(35) 大学の先生が適切	2.26	0.86	965	0.057	-0.037	0.034	0.020	0.065	-0.061	-0.028	-0.007		
(36) 一般大学の先生が適切	2.70	0.95	962	0.017	0.034	0.059	0.027	0.118	0.020	0.012	0.001		
(37) 講義の進捗は適切	2.03	0.88	961	0.083	0.110	0.033	-0.043	0.184	0.034	0.098	0.039		
(38) 講義の進捗は適切	3.20	0.79	960	-0.091	0.032	-0.177	-0.085	-0.011	0.067	-0.001	0.008		
(39) 全体が適切	2.58	0.86	959	0.286	-0.036	0.070	-0.014	0.019	-0.025	-0.005	-0.026		
(40) 図表が適切	2.79	0.95	937	-0.018	0.050	0.129	0.098	0.112	-0.062	0.048	-0.042		
(41) 印刷教材が豊富	2.74	0.85	957	0.002	0.048	0.001	0.080	0.128	0.031	0.050	0.071		
(42) 改善の余地が適切	3.22	1.00	961	-0.142	-0.108	-0.077	-0.027	-0.203	-0.070	-0.080	-0.133		
(43) 印刷教材の活用が適切	2.95	0.90	960	-0.058	-0.092	-0.030	-0.115	-0.060	-0.071	-0.056	-0.067		
(44) 印刷教材の活用が適切	3.57	0.90	943	0.021	0.034	0.018	0.024	0.037	0.011	-0.082	-0.011		
(45) 学習の満足が適切	2.55	0.75	949	0.132	0.034	-0.005	0.009	0.131	0.004	0.047	-0.049		
(46) 全体的に満足が適切	2.24	0.88	963	0.160	0.023	0.060	0.003	0.179	0.069	0.088	0.055		

注：**≥0.5, 0.5>*≥0.3, -0.3>#≥-0.5, -0.5≥##

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-1-1-3 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 1)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	Q 8. 講師の印象評定因子尺度			Q 8. 講師話し方評定因子尺度				
			講師親しみやすさ	講師の堅さ	講師の派手さ	明解な話し方	面白がる話し方	話し方の堅さ	話し方の速さ	
Q6. デイミー特性の活用度	50.00	10.00	789	0.004	-0.068	0.179	0.006	0.115	0.043	0.019
Q6. 視聴者考慮機会の頻度	50.00	10.00	789	0.322*	0.036	0.141	0.349*	0.384*	-0.060	-0.120
Q6. 印刷教材利用頻度	50.00	10.00	789	0.004	0.228	0.099	0.117	-0.007	0.044	0.165
Q6. 講義内容量の多さ	50.00	10.00	789	0.022	0.054	-0.094	0.080	-0.011	0.017	0.077
Q6. 実資料素材利用頻度	50.00	10.00	579	0.298	-0.146	0.055	0.259	0.302*	-0.114	-0.177
Q6. 黒板・図版利用頻度	50.00	10.00	579	0.213	0.113	0.024	0.206	0.056	-0.154	0.011
Q6. アニメ・実験導入頻度	50.00	10.00	579	0.206	0.011	0.170	0.227	0.243	-0.038	0.001
Q7. 講義内容量の多さ改善	50.00	10.00	626	-0.101	-0.002	0.032	-0.141	-0.060	0.124	0.082
Q7. カズミ等・考場時間改善	50.00	10.00	626	-0.041	-0.005	-0.046	-0.048	-0.040	0.108	-0.030
Q7. 息抜き・教科書利用改善	50.00	10.00	626	-0.042	0.106	-0.114	-0.067	-0.192	0.060	0.080
Q7. 問い・教場時間等改善	50.00	10.00	626	0.035	0.011	0.023	-0.023	0.084	0.116	0.061
Q7. 講師登壇時間等改善	50.00	10.00	626	-0.087	0.007	-0.030	-0.110	-0.030	0.076	0.064
Q7. 実資料素材利用度改善	50.00	10.00	855	0.004	0.006	0.060	-0.052	0.043	0.011	-0.040
Q7. 黒板・図版利用度改善	50.00	10.00	855	-0.060	0.115	0.003	-0.030	-0.046	0.092	0.082
Q7. アニメ・実験頻度改善	50.00	10.00	855	-0.043	0.114	-0.005	-0.049	-0.064	0.071	-0.029
Q8. 講師の親しみやすさ	50.00	10.00	956	1.000	-0.059	0.078	0.639**	0.558**	-0.326#	-0.125
Q8. 講師の堅さ	50.00	10.00	956	-0.059	1.000	0.098	0.051	-0.204	0.271	0.271
Q8. 講師の派手さ	50.00	10.00	956	0.078	0.098	1.000	0.073	0.287	0.084	0.235
Q8. 明解な話し方	50.00	10.00	958	0.639**	0.051	0.073	1.000	0.403*	-0.309#	-0.060
Q8. 面白がる話し方	50.00	10.00	958	0.558**	-0.204	0.287	0.403*	1.000	-0.186	-0.098
Q8. 話し方の堅さ	50.00	10.00	958	-0.326#	0.271	0.084	-0.309#	-0.186	1.000	0.267
Q8. 話し方の速さ	50.00	10.00	958	-0.125	0.271	0.235	-0.060	-0.098	0.267	1.000
Q9. 講師の親近感改善	50.00	10.00	595	-0.117	0.073	-0.050	-0.037	-0.084	0.112	0.051
Q9. 講師の堅さ改善	50.00	10.00	595	-0.080	0.146	0.043	-0.048	-0.059	0.181	0.100
Q9. 講師の活動性改善	50.00	10.00	595	-0.113	0.041	-0.091	-0.072	-0.123	0.130	-0.048
Q9. 話し方の改善	50.00	10.00	813	-0.104	-0.053	0.045	-0.245	0.016	0.059	-0.005
Q9. 話し方の速さ・間の改善	50.00	10.00	813	-0.062	0.087	0.036	-0.101	-0.018	0.169	0.281
Q9. 話し方の堅さの改善	50.00	10.00	813	-0.269	0.125	-0.172	-0.226	-0.380#	0.174	-0.019
Q9. 話し方の簡潔性の改善	50.00	10.00	813	-0.059	-0.039	0.001	-0.258	0.054	0.227	-0.010
Q10. 講義内容量の適切性	50.00	10.00	864	0.369*	-0.056	-0.022	0.436*	0.201	-0.246	-0.178
Q10. 視聴者の配慮工夫	50.00	10.00	864	0.396**	-0.035	0.188	0.449*	0.450*	-0.127	-0.068
Q10. 番組への満足度	50.00	10.00	864	0.518**	-0.069	0.040	0.547**	0.383*	-0.347#	-0.026
Q10. 番組の提示の適切性	50.00	10.00	864	0.222	0.061	0.087	0.221	0.168	-0.113	0.096
Q10. 要点提示の適度・進捗	50.00	10.00	864	0.390*	0.028	-0.035	0.482*	0.179	-0.274	-0.040
Q10. 難解提示の専門性	50.00	10.00	864	-0.073	0.325*	0.052	-0.010	-0.160	0.182	0.387*
Q10. 図表提示の適切性	50.00	10.00	864	0.324*	-0.021	0.131	0.328*	0.269	-0.195	-0.038
Q10. 印刷教材の適切性	50.00	10.00	864	0.253	-0.012	0.002	0.322*	0.174	-0.275	-0.085

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-1-3 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 2)

因子尺度・項目			平均値	標準偏差	Q 8. 講師の印象評定因子尺度			Q 8. 講師話し方評定因子尺度			
					講師親しみやすさ	講師の堅さ	講師の派手さ	明解な話し方	面白がる話し方	話し方の堅さ	話し方の速さ
評定者：年齢 (教授<講師)	45.90	10.36	0.977	-0.088	-0.040	0.080	0.115	0.128	-0.020	0.099	
評定者：性別 (男<女)	1.98	1.02	969	-0.051	0.056	-0.065	-0.077	-0.061	0.021	-0.104	
評定者：性 (T V < F M)	1.10	0.30	956	-0.021	0.035	-0.066	0.009	-0.022	-0.006	-0.048	
評定者：了 (V < F M)	1.21	0.41	978	0.014	-0.103	-0.082	0.031	0.031	0.037	-0.099	
理系・文系 (文<理)	1.57	0.50	855	0.018	0.172	0.152	0.043	-0.015	0.006	0.104	
Q2. 視聴分量 (多<少)	3.14	1.71	958	-0.180	-0.017	-0.032	-0.083	-0.114	0.065	0.000	
Q3. 視聴質 (高<低)	1.82	0.68	967	-0.131	-0.023	0.026	-0.121	-0.033	0.121	0.003	
Q4A. ラビレ設備 (利<難)	1.57	0.69	945	-0.071	-0.019	0.051	-0.072	-0.014	0.026	0.017	
Q4B. ビデオ設備 (利<難)	1.43	0.58	963	-0.045	0.016	0.023	-0.040	0.031	0.013	0.046	
Q4C. ラジオ設備 (利<難)	1.73	0.77	922	-0.092	-0.006	0.074	-0.108	-0.022	0.104	0.018	
Q4D. テープレ設備 (利<難)	1.61	0.73	936	-0.094	0.035	0.111	-0.071	-0.012	0.078	0.061	
Q5. 講義形式 (1人<他)	1.39	0.49	923	0.045	-0.138	0.047	-0.015	0.102	-0.037	-0.087	
Q13.1. 授業で全体的に利用	0.08	0.27	949	0.081	0.010	0.004	0.053	0.009	-0.005	0.041	
Q13.2. 授業資料として利用	0.68	0.46	949	0.058	-0.033	0.058	0.077	0.055	-0.040	-0.044	
Q13.3. 研究室等自由利用	0.24	0.43	949	0.048	0.058	-0.045	0.098	0.021	-0.081	0.069	
Q13.4. 図書利用したいと思わず	0.55	0.50	949	0.045	0.018	0.013	0.058	0.014	-0.021	-0.021	
Q13.5. 利用し数 (0 ~ 3)	0.03	0.16	949	-0.147	-0.000	-0.037	-0.111	-0.107	0.092	0.000	
Q14. 想定単位数	1.45	1.03	807	0.085	0.040	-0.061	0.116	-0.004	-0.033	0.030	
Q6A. 講師の登場時間	2.11	0.85	939	-0.004	-0.045	0.172	-0.031	0.072	0.016	0.021	
Q6B. 黒板等の利用頻度	2.84	0.96	746	-0.198	-0.077	-0.008	-0.172	-0.057	0.138	-0.025	
Q6C. ティーム等の利用頻度	3.88	0.95	680	-0.157	-0.028	-0.169	-0.173	-0.224	-0.005	-0.063	
Q6D. 図版の利用頻度	2.93	0.91	734	-0.202	-0.037	-0.062	-0.173	-0.139	0.063	0.029	
Q6E. VTR等の利用頻度	3.34	1.18	914	-0.110	0.032	-0.071	-0.101	-0.127	0.056	0.034	
Q6F. 実験等の導入頻度	3.45	1.09	680	-0.184	0.078	-0.063	-0.221	-0.219	0.088	0.108	
Q6G. 寸劇等の登場時間	4.21	1.01	867	0.013	-0.086	-0.107	-0.073	-0.067	-0.074	-0.055	
Q6H. ゲスラの登場時間	3.59	1.09	918	-0.062	0.137	-0.078	-0.065	-0.102	0.048	0.076	
Q6I. 印刷教材の参照頻度	3.40	1.04	937	-0.092	-0.180	-0.027	-0.141	-0.004	0.017	-0.113	
Q6J. 演習問題の利用頻度	4.09	0.91	902	0.005	-0.174	-0.112	-0.103	-0.012	-0.070	-0.119	
Q6K. 講義の分量	2.68	0.62	952	-0.048	-0.112	0.023	-0.093	0.013	0.016	-0.181	
Q6L. 内容の説明時間	2.57	0.79	948	-0.168	-0.027	0.093	-0.191	-0.107	0.057	0.052	
Q6M. 視聴者の考慮時間	3.61	0.81	959	-0.228	-0.074	-0.120	-0.274	-0.250	0.074	0.092	
Q6N. 息抜き時間	3.67	0.80	941	-0.193	0.040	-0.157	-0.151	-0.296	0.027	0.124	
Q6O. 1回の講義時間	2.92	0.48	945	0.101	-0.017	0.055	0.093	0.062	-0.108	-0.043	
Q6P. 問いかけの頻度	3.78	0.78	954	-0.195	-0.042	-0.095	-0.183	-0.238	0.002	0.058	
Q6Q. 実物の提示頻度	2.97	1.02	715	-0.240	0.114	-0.052	-0.213	-0.227	0.154	0.161	
Q6R. 証人の登場頻度	3.86	0.99	888	-0.141	0.022	-0.110	-0.142	-0.185	-0.048	-0.001	
Q6S. 実地見学シートの頻度	3.37	1.08	667	-0.227	0.135	-0.089	-0.158	-0.272	0.052	0.146	

(注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4 - 1 - 3 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 3)

Q 8. 講師の印象評定因子尺度				Q 8. 講師話し方評定因子尺度						
因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	講師親しみやすさ	講師の堅さ	講師の派手さ	明解な話し方	面白がる話し方	話し方の堅さ	話し方の速さ
Q7A. 講師の登場時間	0.11	0.31	626	-0.126	-0.004	-0.031	-0.113	-0.049	0.079	0.039
Q7B. 黒板等の利用頻度	0.07	0.26	855	-0.053	0.105	-0.003	-0.029	-0.057	0.080	0.088
Q7C. メモ等の利用頻度	0.17	0.38	855	-0.026	0.123	-0.009	-0.042	-0.049	0.076	0.006
Q7D. 図版の利用頻度	0.13	0.34	855	-0.045	0.069	0.016	-0.026	-0.016	0.068	0.027
Q7E. VTR等の利用頻度	0.14	0.35	855	-0.041	-0.042	-0.010	-0.082	-0.052	0.020	-0.059
Q7F. 実験等の導入頻度	0.18	0.38	855	-0.049	0.026	0.027	-0.046	-0.035	0.012	-0.096
Q7G. 寸劇等の利用頻度	0.04	0.20	855	-0.078	0.008	-0.063	-0.098	-0.133	0.045	-0.029
Q7H. スライド等の登場頻度	0.16	0.36	855	-0.046	0.056	-0.058	-0.051	-0.056	0.116	-0.003
Q7I. 印刷教材の参照頻度	0.15	0.36	855	-0.060	0.026	0.036	-0.111	0.003	0.129	0.079
Q7J. 演習問題の利用頻度	0.18	0.38	855	0.014	0.000	-0.010	0.005	0.021	-0.016	0.091
Q7K. 講義内容の分量	0.15	0.35	855	-0.081	0.022	0.001	-0.092	-0.060	0.107	0.085
Q7L. 内容の説明時間	0.18	0.38	855	-0.138	0.024	-0.027	-0.184	-0.049	0.179	0.081
Q7M. 視聴者の考慮時間	0.28	0.45	855	-0.022	0.024	-0.076	-0.042	-0.067	0.053	0.075
Q7N. 息抜きの時間	0.22	0.41	855	-0.046	0.106	-0.048	-0.047	-0.151	0.008	0.078
Q7O. 1回の講義時間	0.09	0.29	855	-0.042	0.002	-0.006	-0.045	-0.026	0.087	0.033
Q7P. 問いかけの頻度	0.31	0.46	855	-0.008	0.027	-0.076	-0.018	-0.035	0.081	-0.044
Q7Q. 実物の提示頻度	0.16	0.37	855	0.008	0.039	0.026	-0.018	0.043	-0.005	0.004
Q7R. 実物の登場頻度	0.05	0.22	855	0.059	0.012	-0.018	0.016	-0.009	0.035	0.032
Q7S. 実地の見学	0.13	0.33	855	0.030	-0.021	0.072	-0.066	0.044	0.039	-0.001
Q7X. その他	0.23	0.42	855	0.014	-0.054	0.006	-0.010	0.021	-0.095	0.028
Q8A. 講師の派手さ	3.51	0.71	963	-0.087	-0.116	-0.898##	-0.070	-0.247	-0.120	-0.236
Q8B. 講師の清潔感	2.27	0.64	970	-0.644##	-0.100	0.416*	-0.422#	-0.192	0.201	0.100
Q8C. 講師の活動性	2.86	0.78	967	-0.665##	-0.236	-0.467#	-0.471#	-0.442#	0.192	-0.099
Q8D. 講師の親しみやすさ	2.55	0.84	969	-0.855##	0.256	-0.161	-0.533##	-0.528##	0.275	0.150
Q8E. 講師の暖かさ	2.51	0.78	968	-0.848##	0.218	-0.010	-0.486#	-0.483#	0.253	0.184
Q8F. 講師の厳しさ	3.15	0.71	965	-0.022	-0.883##	-0.123	-0.114	0.102	-0.171	-0.211
Q8G. 講師の緊張度	3.18	0.81	965	0.415*	-0.622##	-0.032	0.259	0.377*	-0.417#	-0.219
Q8H. スピード	3.22	0.67	968	0.120	-0.216	-0.245	0.102	0.069	-0.222	-0.954##
Q8I. 話し方の明瞭さ	2.41	0.73	969	-0.475#	-0.025	0.001	-0.749##	-0.199	0.238	0.150
Q8J. 言葉遣いの硬さ	3.03	0.77	971	0.439*	-0.354#	0.054	0.226	0.679**	-0.646##	-0.335#
Q8K. 問の取り方	2.77	0.75	972	-0.483#	0.085	-0.034	-0.655##	-0.378#	0.338*	0.340*
Q8L. 表現力の豊さ	2.82	0.79	971	-0.579##	-0.022	-0.154	-0.717##	-0.656##	0.110	-0.063
Q8M. エーモア	3.40	0.78	971	-0.508##	0.108	-0.321#	-0.426#	-0.858##	0.090	0.023
Q8N. 説得力	2.55	0.77	972	-0.566##	-0.069	-0.071	-0.797##	-0.419#	0.230	-0.017
Q8O. わかりやすさ	2.44	0.76	972	-0.557##	0.100	-0.067	-0.751##	-0.448#	0.303*	0.266
Q8P. 技術の巧みさ	2.90	0.76	972	-0.538##	0.075	-0.167	-0.750##	-0.626##	0.230	-0.018
Q8Q. まわくどさ	3.45	0.75	970	0.367*	-0.156	-0.048	0.457*	0.137	-0.868##	-0.153
Q8R. すっきりさ	2.54	0.78	972	-0.496#	0.006	-0.028	-0.781##	-0.244	0.516**	0.045
Q8S. 素材提示の適切性	2.55	0.77	971	-0.423#	0.034	-0.004	-0.645##	-0.296	0.416*	0.042

(注: ** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 \geq # $>$ -0.5, -0.5 \geq ##)

表 4-1-3 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 4)

因子尺度・項目			Q 8. 講師の印象評定因子尺度				Q 8. 講師話し方評定因子尺度			
平均値	標準偏差		講師親しみやすさ	講師の堅さ	講師の派手さ	明解な話し方	面白がる話し方	話し方の堅さ	話し方の速さ	
Q9A. 講師の派手さ	0.12	595	-0.016	0.051	0.009	0.031	-0.012	0.092	0.006	
Q9B. 講師の清潔感	0.04	813	0.092	0.018	0.047	0.102	0.062	-0.008	0.066	
Q9C. 講師の活動性	0.13	813	-0.147	0.003	-0.152	-0.139	-0.160	0.099	-0.071	
Q9D. 講師の親しみやすさ	0.23	813	-0.275	0.180	-0.060	-0.134	-0.227	0.191	0.085	
Q9E. 講師の暖かさ	0.08	813	-0.159	0.058	-0.047	-0.094	-0.116	0.106	0.028	
Q9F. 講師の厳しさ	0.02	813	0.003	0.047	0.039	-0.015	0.026	0.083	0.041	
Q9G. 講師の緊張度	0.10	813	-0.137	0.183	-0.012	-0.098	-0.126	0.174	0.075	
Q9H. 話し方の明瞭さ	0.16	813	-0.037	0.057	0.015	-0.043	0.006	0.131	0.222	
Q9I. 話し方の硬さ	0.15	813	-0.023	-0.015	0.041	-0.145	0.016	0.048	0.023	
Q9J. 言葉遣いの硬さ	0.11	813	-0.142	0.159	-0.085	-0.059	-0.223	0.212	0.082	
Q9K. 間の取り方	0.18	813	-0.077	0.069	0.019	-0.111	-0.062	0.149	0.204	
Q9L. 表現力の豊かさ	0.19	813	-0.208	0.019	-0.076	-0.224	-0.215	0.039	-0.062	
Q9M. ユーモア	0.38	813	-0.090	0.112	-0.146	0.020	-0.289	0.030	-0.021	
Q9N. 説得力	0.17	813	-0.139	-0.070	-0.021	-0.241	-0.029	0.080	-0.033	
Q9O. わかりやすさ	0.21	813	-0.082	0.090	0.030	-0.113	-0.052	0.080	0.133	
Q9P. 技術の巧みさ	0.17	813	-0.187	0.006	-0.094	-0.244	-0.161	0.136	-0.044	
Q9Q. まわりくどさ	0.06	813	-0.098	0.009	-0.018	-0.213	0.000	0.280	-0.043	
Q9R. すっきりとした内容	0.09	813	0.031	-0.061	-0.007	-0.133	0.060	0.069	0.006	
Q9S. 教材提示の適切性	0.22	813	-0.021	0.015	0.053	-0.063	0.021	0.121	-0.000	
Q9X. その他	0.15	813	0.139	-0.029	-0.020	0.130	0.106	-0.151	-0.060	
(1) 内容の範囲は適切	2.15	963	-0.338#	-0.000	0.015	-0.365#	-0.174	0.202	0.070	
(2) 内容が事見合った内容	2.70	965	-0.056	-0.189	-0.004	-0.112	0.043	-0.008	-0.184	
(3) 単位が適切な番組	2.40	946	-0.277	0.032	0.078	-0.317#	-0.144	0.210	0.023	
(4) 面白い番組	2.45	963	-0.421#	0.061	-0.085	-0.449#	-0.381#	0.295	0.086	
(5) 役	2.04	963	-0.340#	-0.003	0.000	-0.375#	-0.191	0.223	-0.013	
(6) わかりやすい番組	2.44	960	-0.391#	0.153	-0.043	-0.442#	-0.336#	0.220	0.239	
(7) 概要が最初で適切な番組	2.40	959	-0.300#	-0.004	-0.027	-0.365#	-0.157	0.214	0.045	
(8) まどろみが必要で明確	2.44	960	-0.360#	-0.021	-0.041	-0.482#	-0.262	0.246	0.066	
(9) 重要なポイントが明確	2.48	963	-0.392#	-0.003	-0.054	-0.506#	-0.278	0.291	0.073	
(10) 流れに適切な緊急有	2.96	963	-0.417#	0.057	-0.208	-0.465#	-0.423#	0.228	0.070	
(11) 1 回の講義情報量適切	2.53	961	-0.255	0.090	-0.038	-0.331#	-0.185	0.188	0.152	
(12) 視聴者の動機づけ配慮	2.85	959	-0.392#	0.056	-0.139	-0.414#	-0.357#	0.176	0.017	
(13) 視聴者の疑問への配慮	3.19	962	-0.336#	-0.006	-0.127	-0.356#	-0.320#	0.085	0.048	
(14) 視聴者の疑問への配慮	2.92	963	-0.323#	0.055	-0.065	-0.389#	-0.314#	0.172	0.104	
(15) 内容が盛りだくさん	2.63	959	-0.056	-0.143	-0.045	-0.124	0.002	-0.005	-0.191	

(注: ** ≥ 0.5 , 0.5 $> * \geq 0.3$, -0.3 $\geq \# > -0.5$, -0.5 $\geq \#\#$)

表 4 - 1 - 3 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 5)

Q 8. 講師の印象評定因子尺度				Q 8. 講師話し方評定因子尺度						
因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	講師親しみやすさ	講師の堅さ	講師の派手さ	明解な話し方	面白がる話し方	話し方の堅さ	話し方の速さ
(16)利用メディアの特性活用	2.74	1.02	961	-0.331#	0.060	-0.102	-0.370#	-0.295	0.177	0.063
(17)視聴しがいがある	3.15	0.78	954	-0.351#	-0.013	-0.120	-0.382#	-0.328#	0.124	0.036
(18)新しい概念の導入適切	2.56	0.81	955	-0.336#	-0.068	0.005	-0.420#	-0.216	0.134	-0.010
(19)具体例が適切に有化	2.43	0.88	961	-0.407#	0.165	-0.002	-0.429#	-0.314#	0.265	0.081
(20)講義の流れに適合	3.08	0.94	960	0.335*	-0.062	0.145	0.319*	0.332*	-0.301#	-0.055
(21)必要以上に専門用語有	3.51	0.77	958	0.182	-0.213	-0.131	0.192	0.133	-0.373#	-0.278
(22)印刷教材と適切に利用	2.48	0.87	954	-0.223	-0.081	0.069	-0.300#	-0.019	0.195	0.044
(23)図表が適切な	2.63	0.97	947	-0.216	-0.039	-0.092	-0.258	-0.141	0.162	0.009
(24)内容が実用的	2.91	0.95	960	-0.250	-0.004	-0.106	-0.294	-0.176	0.198	-0.009
(25)内容のレベルは適切	2.46	0.87	960	-0.310#	0.050	-0.015	-0.328#	-0.202	0.185	0.138
(26)講義の進捗は適切	2.47	0.82	959	-0.311#	0.055	0.001	-0.374#	-0.222	0.229	0.246
(27)1回の講義時間が適切	2.41	0.87	962	-0.309#	0.059	0.005	-0.324#	-0.179	0.193	0.122
(28)力リキョウムは適切	3.27	0.89	957	-0.201	0.027	-0.096	-0.194	-0.277	0.019	0.104
(29)興味深い番組	2.46	0.79	957	-0.330#	0.014	0.013	-0.396#	-0.160	0.279	0.092
(30)興味深い番組	2.07	0.87	966	-0.416#	-0.008	-0.041	-0.458#	-0.301#	0.287	0.008
(31)何らかの利用した題材有	1.78	0.76	966	-0.357#	-0.051	0.009	-0.359#	-0.210	0.190	-0.025
(32)生活に密着した題材有	2.66	0.96	959	-0.342#	0.075	-0.064	-0.287	-0.258	0.163	0.030
(33)時宜を考慮した題材有	2.58	0.86	958	-0.367#	0.021	-0.101	-0.362#	-0.304#	0.178	-0.030
(34)実社会が身につく講義	2.86	1.02	958	-0.240	-0.031	-0.103	-0.263	-0.171	0.165	-0.082
(35)基本	2.26	0.86	965	-0.310#	0.027	-0.012	-0.334#	-0.201	0.141	0.034
(36)一般大学の入学にたい内容	2.70	0.95	962	-0.111	-0.019	-0.080	-0.150	-0.174	0.006	-0.098
(37)講師の進捗が速い	2.03	0.88	961	-0.519#	0.032	0.006	-0.570#	-0.351#	0.324*	0.036
(38)講義の進捗が速い	3.20	0.79	960	0.084	-0.217	-0.101	0.077	0.114	-0.144	-0.411#
(39)全体が満足に授業	2.58	0.86	959	-0.264	0.069	0.018	-0.364#	-0.168	0.194	0.129
(40)図表など提示に工夫	2.79	0.95	937	-0.306#	-0.007	-0.168	-0.342#	-0.262	0.184	0.021
(41)印刷教材が充実	2.74	0.85	957	-0.325#	0.005	-0.027	-0.348#	-0.190	0.183	0.034
(42)改訂版教材が豊富	3.22	1.00	961	0.405*	-0.082	0.052	0.482*	0.330*	-0.339#	-0.173
(43)改訂版教材の演習に工夫	2.95	0.90	960	0.225	-0.044	0.012	0.285	0.217	-0.217	-0.128
(44)印刷教材の演習に工夫	3.57	0.90	943	-0.016	-0.096	-0.091	-0.016	-0.051	-0.035	-0.048
(45)習得の満足に工夫	2.55	0.75	949	-0.256	0.006	-0.006	-0.340#	-0.183	0.212	0.020
(46)全体が満足に工夫	2.24	0.88	963	-0.476#	0.005	-0.029	-0.540#	-0.343#	0.293	0.063

(注: ** ≥ 0.5 , * ≥ 0.3 , $-0.3 \leq \# < -0.5$, $-0.5 \leq \# < -0.3$)

表 4 - 1 - 4 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 1)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 9. 講師印象改善点因子尺度									
				講師親近感改善点					講師堅さ改善点				
				講師親近感改善点	講師堅さ改善点	講師活動性改善点	明解さ改善点	話す速さ改善点	話す豊かさ改善点	話し簡潔性改善点			
Q6. メディア特性の活用度	50.00	10.00	789	0.037	0.032	0.014	0.094	-0.078	-0.044	0.026			
Q6. 視聴者考慮の頻度	50.00	10.00	789	-0.005	0.038	0.015	-0.056	-0.104	-0.136	-0.075			
Q6. 印刷教材利用の頻度	50.00	10.00	789	0.135	0.052	-0.073	0.002	0.076	-0.050	-0.097			
Q6. 講義内容量の多さ	50.00	10.00	789	-0.038	-0.044	-0.028	-0.082	0.029	0.033	0.002			
Q6. 実資料・図版・図解・写真・映像・音声・動画・教材の活用頻度	50.00	10.00	579	-0.097	-0.092	-0.009	-0.028	-0.046	-0.091	-0.016			
Q6. 黒板・白板・実演・導入頻度	50.00	10.00	579	-0.147	-0.053	-0.067	-0.092	0.021	-0.011	-0.066			
Q6. アニメ・実演・導入頻度	50.00	10.00	579	0.002	0.005	-0.035	-0.008	0.036	-0.024	-0.021			
Q7. 講義内容量の多さ	50.00	10.00	626	0.113	-0.001	0.030	0.216	0.218	0.079	0.147			
Q7. スライド等の活用頻度	50.00	10.00	626	0.111	-0.046	0.037	0.067	0.011	0.140	0.010			
Q7. 黒板・白板・実演・導入頻度	50.00	10.00	626	0.095	0.115	0.006	-0.090	0.211	0.147	0.006			
Q7. 息抜き・教科書利用の頻度	50.00	10.00	626	0.019	0.013	-0.035	0.029	0.112	-0.016	0.133			
Q7. 講師登壇時間等の改善	50.00	10.00	626	0.124	0.068	0.061	0.071	0.124	0.114	0.092			
Q7. 実資料・図版・図解・写真・映像・音声・動画・教材の活用頻度	50.00	10.00	855	0.043	0.038	0.072	0.164	-0.050	0.100	-0.040			
Q7. 黒板・白板・実演・導入頻度	50.00	10.00	855	0.008	-0.031	0.009	0.008	0.086	0.001	0.006			
Q7. アニメ・実演・導入頻度	50.00	10.00	855	0.008	0.069	0.118	-0.017	0.034	0.091	0.021			
Q8. 講師の親しみやすさ	50.00	10.00	956	-0.117	-0.080	-0.113	-0.104	-0.062	-0.269	-0.059			
Q8. 講義の堅さ	50.00	10.00	956	0.073	0.146	0.041	-0.053	0.087	0.125	-0.039			
Q8. 講師の派手さ	50.00	10.00	956	-0.050	0.043	-0.091	0.045	0.036	-0.172	0.001			
Q8. 明解な話し方	50.00	10.00	958	-0.037	-0.048	-0.072	-0.245	-0.101	-0.226	-0.258			
Q8. 面白味のある話し方	50.00	10.00	958	-0.084	-0.059	-0.123	0.016	-0.018	-0.380#	0.054			
Q8. 話し方の堅さ	50.00	10.00	958	0.112	0.181	0.130	0.059	0.169	0.174	0.227			
Q8. 話す速さ	50.00	10.00	958	0.051	0.100	-0.048	-0.005	0.281	-0.019	-0.010			
Q9. 講師の親近感改善	50.00	10.00	595	1.000	0.074	-0.013	0.251	0.130	0.205	0.057			
Q9. 講師の堅さ改善	50.00	10.00	595	0.074	1.000	0.072	-0.055	-0.062	0.104	0.061			
Q9. 講師の活動性改善	50.00	10.00	595	-0.013	0.072	1.000	0.008	0.002	0.104	0.021			
Q9. 話し方の改善	50.00	10.00	813	0.251	-0.055	0.008	1.000	0.156	0.054	0.128			
Q9. 話し方の改善	50.00	10.00	813	0.130	-0.062	0.002	0.156	1.000	0.056	0.188			
Q9. 話し方の改善	50.00	10.00	813	0.205	0.104	0.104	0.054	0.056	1.000	0.060			
Q9. 話し方の簡潔性の改善	50.00	10.00	813	0.057	0.061	0.021	0.128	0.188	0.060	1.000			
Q10. 講義内容量の適切性	50.00	10.00	864	-0.020	0.030	-0.005	-0.164	-0.148	0.010	-0.092			
Q10. 視聴者の理解の促進	50.00	10.00	864	0.062	0.028	-0.046	-0.058	-0.141	-0.210	-0.121			
Q10. 黒板・白板・実演・導入頻度	50.00	10.00	864	-0.111	-0.059	-0.080	-0.204	-0.036	-0.196	-0.122			
Q10. 黒板・白板・実演・導入頻度	50.00	10.00	864	0.084	-0.007	-0.028	-0.035	-0.047	-0.012	-0.073			
Q10. 黒板・白板・実演・導入頻度	50.00	10.00	864	-0.025	-0.021	-0.064	-0.152	-0.036	-0.048	-0.121			
Q10. 黒板・白板・実演・導入頻度	50.00	10.00	864	0.086	0.028	-0.030	0.017	0.030	0.045	-0.070			
Q10. 黒板・白板・実演・導入頻度	50.00	10.00	864	-0.049	0.017	-0.007	-0.051	-0.047	-0.062	-0.035			
Q10. 黒板・白板・実演・導入頻度	50.00	10.00	864	-0.034	-0.012	-0.123	-0.100	-0.029	-0.143	-0.142			

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-1-4 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 2)

Q 9. 講師印象改善点因子尺度				Q 9. 講師の話し方改善点因子尺度						
因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	講師親近感改善点	講師堅さ改善点	講師活動性改善点	明解さ改善点	話す速さ改善点	話す豊かさ改善点	話し簡潔性改善点
評定者：年齢	45.90	10.36	977	0.061	-0.022	-0.009	0.008	0.038	0.004	-0.007
評定者：職位 (教授<講師)	1.98	1.02	969	-0.036	0.029	0.042	0.029	-0.004	-0.049	0.012
評定者：性別 (男<女)	1.10	0.30	956	0.028	-0.002	0.089	0.067	0.019	0.021	0.004
評定者：年代 (T V < F M)	1.21	0.41	978	-0.010	-0.040	-0.018	-0.056	0.064	-0.040	0.037
評定者：文系 (文<理)	1.57	0.50	855	-0.025	0.050	-0.048	-0.041	0.026	-0.020	0.016
Q2. 視聴分量 (多<少)	3.14	1.71	958	0.110	-0.057	0.060	0.050	0.039	-0.018	-0.033
Q3. 視聴質 (高<低)	1.82	0.68	967	0.053	0.047	-0.023	0.002	0.012	0.034	-0.040
Q4A. テレビ設備 (利<難)	1.57	0.69	945	-0.109	-0.020	-0.063	-0.041	-0.028	0.028	-0.017
Q4B. ビデオ設備 (利<難)	1.43	0.58	963	-0.067	0.005	-0.052	-0.093	-0.027	-0.016	-0.022
Q4C. ラジオ設備 (利<難)	1.73	0.77	922	-0.085	-0.007	-0.017	-0.037	-0.023	-0.032	-0.005
Q4D. テーブル設備 (利<難)	1.61	0.73	936	-0.021	0.065	-0.046	-0.013	-0.007	-0.024	0.017
Q5. 講義形式 (1人<他)	1.39	0.49	923	-0.024	0.008	0.085	0.019	-0.123	-0.029	0.050
Q13.1. 授業で全般的に利用	0.08	0.27	949	0.015	0.103	-0.073	0.010	-0.079	0.020	-0.002
Q13.2. 授業参考資料として利用	0.68	0.46	949	-0.002	0.018	0.053	0.043	-0.018	0.025	0.054
Q13.3. 図書等利用	0.24	0.43	949	0.011	0.025	0.028	-0.024	0.076	-0.015	-0.068
Q13.4. 図版等利用	0.55	0.50	949	0.019	-0.107	0.056	-0.011	0.031	0.076	-0.015
Q13.5. 利用したいと思わず (0 ~ 3)	0.03	0.16	949	-0.017	0.075	-0.000	0.015	-0.070	0.006	-0.022
Q14. 想定単位数 (0 ~ 3)	1.45	1.03	807	-0.069	0.051	-0.070	-0.098	0.045	0.013	0.017
Q6A. 講師の登壇時間	2.11	0.85	939	0.005	-0.043	-0.013	0.091	-0.062	-0.084	-0.016
Q6B. 黒板等の利用頻度	2.84	0.96	746	0.108	-0.015	0.046	0.082	-0.044	0.038	0.079
Q6C. 丁メスの利用頻度	3.88	0.95	680	-0.053	-0.041	0.080	-0.007	-0.052	0.045	0.020
Q6D. 図版等の利用頻度	2.93	0.91	734	0.124	0.089	0.006	0.076	0.009	0.073	0.024
Q6E. V T R 等の利用頻度	3.34	1.18	914	-0.084	0.015	0.051	-0.052	0.019	0.047	-0.061
Q6F. 実験等の導入頻度	3.45	1.09	680	0.075	-0.024	0.029	0.063	0.054	0.050	0.041
Q6G. 土劇等の登壇時間	4.21	1.01	867	-0.085	-0.092	0.027	0.002	0.031	-0.007	0.042
Q6H. フェース等の参照頻度	3.59	1.09	918	0.011	0.004	-0.024	-0.032	0.117	0.047	0.049
Q6I. 印刷教材の利用頻度	3.40	1.04	937	-0.088	0.001	0.102	0.002	-0.096	0.016	0.084
Q6J. 演習問題の利用頻度	4.09	0.91	902	-0.169	-0.057	0.033	-0.002	-0.043	0.042	0.036
Q6K. 講義内容の分量	2.68	0.62	952	-0.024	0.024	0.009	0.037	-0.107	0.000	0.013
Q6L. 内容の説明時間	2.57	0.79	948	0.080	0.071	0.020	0.131	-0.015	-0.044	-0.052
Q6M. 視聴者の考慮時間	3.61	0.81	959	-0.042	-0.011	-0.025	0.004	0.093	0.114	0.042
Q6N. 息抜きの時間	3.67	0.80	941	-0.025	-0.017	-0.054	-0.024	0.098	0.083	0.007
Q6O. 1 回の講義	2.92	0.48	945	0.003	0.015	-0.016	-0.013	-0.023	-0.051	-0.027
Q6P. 問いかけの頻度	3.78	0.78	954	-0.040	-0.097	-0.003	0.010	0.071	0.120	0.098
Q6Q. 実物資料の提示頻度	2.97	1.02	715	0.128	0.101	-0.021	0.065	0.058	0.065	0.050
Q6R. 証人の登場頻度	3.86	0.99	888	-0.003	-0.051	-0.030	0.008	0.096	0.056	0.079
Q6S. 実地見学の頻度	3.37	1.08	667	0.040	0.031	-0.009	-0.046	0.079	0.110	-0.049

(注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-1-1-4 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 3)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	Q 9. 講師印象改善点因子尺度										Q 9. 講師の話し方改善点因子尺度			
			講師親近感改善点					講師堅さ改善点					明解さ改善点			
			有効数	有効数	有効数	有効数	有効数	有効数	有効数	有効数	有効数	有効数	有効数	有効数	有効数	有効数
Q7A. 講師の登場時間頻度	0.11	0.31	626	855	0.105	-0.011	0.089	0.068	0.118	0.112	0.101	0.068	0.060	0.038	0.040	0.012
Q7B. 黒板等の利用頻度	0.07	0.26	855	855	-0.000	-0.061	0.016	0.060	0.095	-0.008	0.008	-0.030	0.073	0.034	-0.001	-0.012
Q7C. アメの利用頻度	0.17	0.38	855	855	0.012	0.062	0.117	0.030	0.038	0.023	0.001	0.146	0.040	0.023	-0.001	-0.012
Q7D. 図版等の利用頻度	0.13	0.34	855	855	0.014	0.019	-0.007	0.046	0.031	0.082	0.082	0.124	0.031	0.031	0.082	-0.012
Q7E. VTR等の利用頻度	0.14	0.35	855	855	0.095	-0.048	0.059	0.059	0.059	0.059	0.059	0.059	0.059	0.059	0.059	0.059
Q7F. 実験等の導入頻度	0.18	0.38	855	855	0.013	0.059	0.079	0.095	-0.024	0.103	-0.040	0.095	-0.044	0.021	0.072	-0.039
Q7G. 黒板等の利用頻度	0.04	0.20	855	855	0.045	0.143	0.048	0.048	0.048	0.048	0.048	0.048	0.048	0.048	0.048	0.048
Q7H. ゲス等の利用頻度	0.16	0.36	855	855	0.076	-0.038	0.054	0.029	0.060	0.178	0.028	0.029	0.060	0.038	0.040	0.012
Q7I. 印刷教材の参照頻度	0.15	0.36	855	855	0.013	0.053	0.001	0.014	0.138	0.012	0.113	0.014	0.014	0.138	0.012	0.113
Q7J. 演習問題の利用頻度	0.18	0.38	855	855	0.033	0.026	-0.004	0.058	0.105	0.065	0.028	0.058	0.105	0.065	0.028	0.028
Q7K. 講義内容の分量	0.15	0.35	855	855	0.030	0.023	0.002	0.113	0.228	0.064	0.098	0.113	0.228	0.064	0.098	0.098
Q7L. 内容の読解時間	0.18	0.38	855	855	0.146	-0.009	-0.021	0.212	0.163	0.046	0.161	0.212	0.163	0.046	0.161	0.161
Q7M. 視座等の時間	0.28	0.45	855	855	0.076	0.062	-0.033	0.010	0.136	0.080	-0.022	0.010	0.136	0.080	-0.022	0.022
Q7N. 息抜き等の時間	0.22	0.41	855	855	0.063	0.036	0.019	-0.084	0.189	0.089	0.021	-0.084	0.189	0.089	0.021	0.021
Q7O. 1 回の講義時間	0.09	0.29	855	855	0.074	0.016	0.022	0.130	0.101	0.030	0.109	0.130	0.101	0.030	0.109	0.109
Q7P. 問いかけの頻度	0.31	0.46	855	855	0.077	0.102	0.043	0.007	0.053	0.124	0.067	0.007	0.053	0.124	0.067	0.067
Q7Q. 実物資料の提示頻度	0.16	0.37	855	855	0.037	0.028	0.088	0.139	-0.054	0.053	-0.041	0.139	-0.054	0.053	-0.041	-0.041
Q7R. 実物資料の登場頻度	0.05	0.22	855	855	0.000	-0.024	-0.057	0.017	-0.033	-0.027	-0.048	0.017	-0.033	-0.027	-0.048	-0.048
Q7S. 実地の見学頻度	0.13	0.33	855	855	0.035	-0.009	0.022	0.073	0.000	0.081	0.004	0.073	0.000	0.081	0.004	0.004
Q7X. その他	0.23	0.42	855	855	-0.028	-0.060	0.035	-0.050	-0.034	-0.056	0.015	-0.050	-0.034	-0.056	0.015	0.015
Q8A. 講師の派手さ	3.51	0.71	963	963	0.043	-0.067	0.069	-0.018	-0.012	0.121	-0.002	-0.018	-0.012	0.121	-0.002	-0.002
Q8B. 講師の清潔感	2.27	0.64	970	970	0.013	0.029	0.014	0.124	0.045	0.029	0.071	0.124	0.045	0.029	0.071	0.071
Q8C. 講師の活動性	2.86	0.78	967	967	0.044	0.022	0.111	0.043	-0.034	0.224	0.089	0.043	-0.034	0.224	0.089	0.089
Q8D. 講師の話しやすさ	2.55	0.84	969	969	0.133	0.085	0.115	0.062	0.057	0.271	0.006	0.062	0.057	0.271	0.006	0.006
Q8E. 講師の暖かさ	2.51	0.78	968	968	0.133	0.064	0.090	0.066	0.101	0.231	-0.003	0.066	0.101	0.231	-0.003	-0.003
Q8F. 講師の厳しさ	3.15	0.71	965	965	-0.033	-0.076	-0.014	0.050	-0.047	-0.044	0.067	0.050	-0.047	-0.044	0.067	0.067
Q8G. 講師の緊張感	3.18	0.81	965	965	-0.089	-0.209	-0.087	-0.017	-0.093	-0.219	-0.083	-0.017	-0.093	-0.219	-0.083	-0.083
Q8H. 話し方の丁寧さ	3.22	0.67	968	968	-0.039	-0.091	0.045	-0.014	-0.233	0.033	-0.007	-0.014	-0.233	0.033	-0.007	-0.007
Q8I. 話し方の明瞭さ	2.41	0.73	969	969	-0.012	0.033	0.042	0.166	0.076	0.149	0.219	0.166	0.076	0.149	0.219	0.219
Q8J. 言葉遣いの硬さ	3.03	0.77	971	971	-0.133	-0.161	-0.141	0.035	-0.129	-0.332#	-0.054	0.035	-0.129	-0.332#	-0.054	-0.054
Q8K. 問の取り方	2.77	0.75	972	972	0.022	0.083	0.004	0.081	0.290	0.175	0.165	0.081	0.290	0.175	0.165	0.165
Q8L. 表現力の豊さ	2.82	0.79	971	971	0.012	0.036	0.069	0.117	-0.029	0.290	0.058	0.117	-0.029	0.290	0.058	0.058
Q8M. ユーモア	3.40	0.78	971	971	0.040	0.017	0.113	-0.003	0.017	0.294	0.003	-0.003	0.017	0.294	0.003	0.003
Q8N. 親身力	2.55	0.77	972	972	0.087	0.063	0.070	0.176	0.034	0.200	0.215	0.176	0.034	0.200	0.215	0.215
Q8O. わかりやすさ	2.44	0.76	972	972	0.093	0.028	0.058	0.197	0.140	0.214	0.145	0.197	0.140	0.214	0.145	0.145
Q8P. 技術の巧みさ	2.90	0.76	972	972	0.043	0.021	0.087	0.137	0.037	0.330*	0.131	0.137	0.037	0.330*	0.131	0.131
Q8Q. まわりくどさ	3.45	0.75	970	970	-0.069	-0.121	-0.088	-0.099	-0.122	-0.149	-0.243	-0.099	-0.122	-0.149	-0.243	-0.243
Q8R. すっきりさ	2.54	0.78	972	972	0.038	0.090	0.129	0.178	0.150	0.189	0.350*	0.178	0.150	0.189	0.350*	0.350*
Q8S. 素材提示の適切性	2.55	0.77	971	971	0.051	0.068	0.073	0.192	0.047	0.135	0.111	0.192	0.047	0.135	0.111	0.111

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-1-4 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 4)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 9. 講師印象改善点因子尺度				Q 9. 講師の話し方改善点因子尺度			
				講師親近感改善点	講師堅さ改善点	講師活動性改善点	明解さ改善点	話す速さ改善点	話す豊かさ改善点	話し簡潔性改善点	
Q9A. 講師の派手さ	0.02	0.12	595	-0.133	0.043	0.757**	-0.053	-0.015	-0.026	-0.021	
Q9B. 講師の薄着感	0.04	0.19	813	0.688**	-0.083	-0.057	0.225	0.118	0.030	0.055	
Q9C. 講師の活動性	0.13	0.33	813	0.223	0.036	0.669**	0.070	0.017	0.173	0.043	
Q9D. 講師の親しみやすさ	0.23	0.42	813	0.659**	0.188	0.125	0.138	0.135	0.267	-0.025	
Q9E. 講師の暖かさ	0.08	0.27	813	0.758**	0.081	-0.004	0.167	0.104	0.156	0.088	
Q9F. 講師の厳しさ	0.02	0.15	813	0.199	0.730**	-0.153	0.006	-0.052	0.059	0.040	
Q9G. 講師の緊張の度合い	0.10	0.29	813	-0.069	0.775**	0.225	-0.042	0.012	0.123	0.112	
Q9H. 講師のスピード	0.16	0.37	813	0.040	-0.083	-0.012	0.180	0.744**	0.005	0.034	
Q9I. 話し方の明瞭さ	0.15	0.36	813	0.280	-0.025	0.039	0.532**	0.296	0.093	0.356*	
Q9J. 言葉遣いの硬さ	0.11	0.32	813	0.025	0.157	0.021	-0.249	0.061	0.488*	0.157	
Q9K. 関心の取り方	0.18	0.38	813	0.083	-0.007	0.010	-0.012	0.763**	0.055	0.132	
Q9L. 表現力の豊かさ	0.19	0.39	813	0.179	0.050	0.012	0.392*	-0.029	0.574**	0.058	
Q9M. エーモテ	0.38	0.49	813	0.118	0.020	0.084	-0.243	0.162	0.558**	-0.288	
Q9N. 説得力	0.17	0.38	813	0.080	0.013	-0.012	0.617**	-0.009	-0.019	0.106	
Q9O. わかりやすさ	0.21	0.41	813	0.284	-0.060	-0.002	0.522**	0.346*	0.130	0.110	
Q9P. 話術の巧みさ	0.17	0.38	813	0.085	0.029	0.100	0.204	0.191	0.667**	0.148	
Q9Q. まわりくどさ	0.06	0.24	813	-0.024	0.074	0.033	-0.073	0.017	0.043	0.724**	
Q9R. すみずみ	0.09	0.28	813	0.039	-0.004	0.012	0.179	0.113	0.047	0.680**	
Q9S. 素早い指示	0.22	0.41	813	0.050	-0.011	0.029	0.540**	-0.037	-0.041	-0.144	
Q9X. その他	0.15	0.35	813	-0.122	-0.087	0.020	-0.135	-0.088	-0.191	-0.034	
(1) 内容の範囲は適切	2.15	0.87	963	0.004	0.028	-0.014	0.151	0.043	-0.011	0.046	
(2) 内容が専門的	2.70	0.96	965	-0.039	0.028	0.046	0.036	-0.109	0.015	0.050	
(3) 単位数合った内容	2.40	0.83	946	0.037	0.062	0.024	0.060	0.044	-0.005	0.061	
(4) 面白い番組	2.45	0.94	963	0.084	0.033	0.070	0.110	0.072	0.157	0.056	
(5) 役に立つ番組	2.04	0.77	963	0.026	0.054	0.065	0.106	-0.002	0.071	0.082	
(6) わかりやすい番組	2.44	0.90	960	0.050	0.029	-0.034	0.101	0.137	0.127	0.067	
(7) 講義概要が最初で適切	2.40	0.88	959	-0.011	0.016	0.038	0.101	0.080	0.071	0.050	
(8) まとめが適切	2.44	0.86	960	-0.021	0.005	0.076	0.112	0.050	0.059	0.088	
(9) 重要なポイントが明確	2.48	0.89	963	-0.006	0.049	0.069	0.161	0.061	0.070	0.116	
(10) 流れに適切な緩急	2.96	0.88	963	0.013	0.033	0.103	0.047	0.132	0.226	0.112	
(11) 1 回の講義情報量適切	2.53	0.88	961	0.009	-0.021	0.007	0.113	0.143	0.014	0.059	
(12) 視聴者の動機づけ配慮	2.85	0.91	959	-0.024	-0.036	0.068	0.130	0.052	0.182	0.093	
(13) 視聴者の考察への配慮	3.19	0.87	962	-0.074	-0.017	0.055	0.049	0.065	0.109	0.032	
(14) 視聴者の疑問への配慮	2.92	0.86	962	-0.009	0.003	-0.052	0.052	0.091	0.077	0.103	
(15) 内容が盛りだくさん	2.63	0.84	959	0.013	0.004	0.013	-0.005	-0.112	0.021	0.065	

(注: ** ≥ 0.5 , * ≥ 0.3 , $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4 - 1 - 4 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 5)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 9. 講師印象改善点因子尺度					Q 9. 講師の話し方改善点因子尺度				
				講師親近感改善点	講師堅さ改善点	講師活動性改善点	明解さ改善点	話す速さ改善点	話す豊かさ改善点	話し簡潔性改善点			
(16) 利用者がメディアへの問い合わせが適切	2.74	1.02	961	-0.017	-0.008	0.037	0.031	0.041	0.101	0.041			
(17) 掲載し易い教材が適切	3.15	0.78	954	-0.033	0.023	0.042	0.015	0.074	0.159	0.087			
(18) 新事例の導入が適切	2.56	0.81	955	0.040	0.000	0.028	0.095	0.003	0.101	0.095			
(19) 具体例が適切	2.43	0.88	961	0.126	0.024	0.015	0.161	0.090	0.096	0.019			
(20) 講義の流暢に変化小	3.08	0.94	960	-0.021	-0.065	-0.106	-0.010	-0.123	-0.201	-0.114			
(21) 必要以上の専門用語有	3.51	0.77	958	-0.099	-0.090	-0.061	-0.087	-0.109	-0.089	-0.029			
(22) 必須教材とが適切に利用	2.48	0.87	954	0.067	-0.004	0.060	0.077	-0.025	-0.025	0.084			
(23) 図表などが実用的	2.63	0.97	947	0.030	-0.036	-0.018	0.067	0.051	0.013	0.065			
(24) 内容がレベルは適切	2.91	0.95	960	-0.019	-0.022	0.013	0.067	0.055	0.090	0.102			
(25) 内容の当	2.46	0.87	960	0.018	-0.026	-0.005	0.122	0.090	0.015	0.004			
(26) 講義の進度は適切	2.47	0.82	959	0.049	-0.034	-0.002	0.132	0.188	-0.012	0.072			
(27) 1 回の講義時間が適切	2.41	0.87	962	0.031	-0.048	0.036	0.093	0.078	0.028	0.049			
(28) 中途の休憩が適切	3.27	0.89	957	-0.068	-0.057	-0.050	-0.037	0.103	0.070	-0.045			
(29) カリキュラムは適切	2.46	0.79	957	0.054	-0.041	0.016	0.124	0.029	0.054	0.064			
(30) 興味深い番組	2.07	0.87	966	0.090	0.039	0.008	0.139	0.012	0.143	0.098			
(31) 何らかの利用した価値有	1.78	0.76	966	0.043	-0.004	0.064	0.110	0.020	0.062	0.005			
(32) 生活に密着した題材を利用可	2.66	0.96	959	0.038	0.041	0.050	0.067	0.055	0.073	0.047			
(33) 時宜を捉えた実例が適切	2.58	0.86	958	0.016	0.037	0.046	0.083	0.037	0.091	0.036			
(34) 実社会が身につく講義	2.86	1.02	958	-0.062	0.054	0.062	0.041	0.029	0.075	0.120			
(35) 基本	2.26	0.86	965	0.004	0.008	0.033	0.104	0.043	0.010	0.047			
(36) 一般大の学に入らない内容有	2.70	0.95	962	-0.073	-0.009	-0.030	0.068	0.046	0.050	0.020			
(37) 講師の進講が適切	2.03	0.88	961	0.107	0.086	0.085	0.179	0.027	0.221	0.178			
(38) 講義の進講が適切	3.20	0.79	960	-0.060	-0.019	0.069	-0.001	-0.221	-0.001	0.042			
(39) 全表などの提示に工夫	2.58	0.86	959	0.023	0.004	-0.011	0.136	0.128	0.016	0.066			
(40) 図表などの提示に工夫	2.79	0.95	937	0.013	0.022	0.025	0.042	0.047	0.113	0.106			
(41) 印刷教材が充実	2.74	0.85	957	-0.034	0.016	0.099	0.087	-0.014	0.074	0.067			
(42) 改善の余地が少なく	3.22	1.00	961	-0.123	-0.066	-0.099	-0.203	-0.095	-0.215	-0.182			
(43) 印刷教材の活用が適切	2.95	0.90	960	-0.039	-0.022	-0.086	-0.075	-0.034	-0.158	-0.066			
(44) 印刷教材の活用が適切	3.57	0.90	943	-0.154	-0.032	0.025	-0.029	0.047	-0.019	0.044			
(45) 学習ペースに満足	2.55	0.75	949	-0.007	-0.040	0.062	0.072	0.120	0.038	0.066			
(46) 全体的に満足	2.24	0.88	963	0.029	-0.003	0.080	0.188	0.062	0.136	0.139			

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4-1-5 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 1)

因子尺度・項目		標準偏差	有効度数	Q10. 放送教材等総合的評定因子尺度									
				講義内容 適切性	視聴者 理解配慮	番組 満足度	番組 実用性	要点提示 適切性	難度・進 度・専門	図表提示 適切性	印刷教材 適切性		
Q6. メディアの活用頻度	50.00 10.00	789	789	-0.065	0.365*	0.085	0.273	-0.166	-0.188	0.196	-0.013		
Q6. 視聴者の考慮頻度	50.00 10.00	789	789	0.265	0.529**	0.166	0.212	0.108	-0.113	0.184	0.178		
Q6. 印刷教材利用頻度	50.00 10.00	789	789	0.009	0.134	0.010	0.276	0.120	0.348*	-0.113	0.103		
Q6. 講義内容量の多さ	50.00 10.00	789	789	0.007	-0.076	0.075	0.060	0.079	0.282	-0.076	0.050		
Q6. 実資料利用頻度	50.00 10.00	579	579	0.130	0.418*	0.292	0.144	0.016	-0.129	0.414*	0.223		
Q6. 黒板・図版利用頻度	50.00 10.00	579	579	0.188	0.079	0.220	0.072	0.240	0.151	0.427*	0.125		
Q6. アニメ・実験導入頻度	50.00 10.00	579	579	0.172	0.324*	0.204	0.173	0.103	0.043	0.367*	0.136		
Q7. 講義内容量の多さ改善	50.00 10.00	626	626	-0.335#	-0.086	-0.049	-0.030	-0.071	0.099	-0.019	-0.098		
Q7. ゲスト等登場頻度改善	50.00 10.00	626	626	0.049	-0.102	-0.081	0.011	-0.084	-0.004	-0.070	-0.137		
Q7. 黒板・考慮機利用頻度改善	50.00 10.00	626	626	-0.095	-0.238	-0.071	-0.096	-0.011	0.172	-0.146	-0.000		
Q7. 問拔き・教科書利用頻度改善	50.00 10.00	626	626	-0.013	-0.002	0.030	-0.089	-0.139	0.006	-0.053	-0.102		
Q7. 講師登場時間等の改善	50.00 10.00	626	626	-0.061	-0.138	-0.207	-0.019	-0.064	-0.051	-0.079	-0.133		
Q7. 実資料素材利用頻度改善	50.00 10.00	855	855	0.028	-0.015	-0.082	0.013	0.027	-0.023	0.067	-0.085		
Q7. 黒板・図版利用頻度改善	50.00 10.00	855	855	0.019	0.013	-0.099	0.044	-0.057	0.039	-0.086	-0.067		
Q7. アニメ・実験頻度改善	50.00 10.00	855	855	0.004	-0.062	-0.117	0.030	-0.035	0.094	0.039	-0.117		
Q8. 講師の親しみやすさ	50.00 10.00	956	956	0.369*	0.396*	0.518**	0.222	0.390*	-0.073	0.324*	0.253		
Q8. 講師の堅さ	50.00 10.00	956	956	-0.056	-0.035	-0.069	0.061	0.028	0.325*	-0.021	-0.012		
Q8. 講師の派手さ	50.00 10.00	956	956	-0.022	0.188	0.040	0.087	-0.035	0.052	0.131	0.002		
Q8. 明解な話し方	50.00 10.00	958	958	0.436*	0.449*	0.547**	0.221	0.482*	-0.010	0.328*	0.322*		
Q8. 面白味のある話し方	50.00 10.00	958	958	0.201	0.450*	0.383*	0.168	0.179	-0.160	0.269	0.174		
Q8. 話し方の堅さ	50.00 10.00	958	958	-0.246	-0.127	-0.347#	-0.113	-0.274	0.182	-0.195	-0.275		
Q8. 話しやすさ	50.00 10.00	958	958	-0.178	-0.068	-0.026	0.096	-0.040	0.587*	-0.038	-0.085		
Q9. 講師の親近感改善	50.00 10.00	595	595	-0.020	0.062	-0.111	0.084	-0.025	0.086	-0.049	-0.034		
Q9. 講師の堅さ改善	50.00 10.00	595	595	0.030	0.028	-0.059	-0.007	-0.021	0.028	0.017	-0.012		
Q9. 講師の活動性改善	50.00 10.00	595	595	-0.005	-0.046	-0.080	-0.028	-0.064	-0.030	-0.007	-0.123		
Q9. 話し方の明解さの改善	50.00 10.00	813	813	-0.164	-0.038	-0.204	-0.035	-0.152	0.017	-0.051	-0.100		
Q9. 話し速さの改善	50.00 10.00	813	813	-0.148	-0.141	-0.036	-0.047	-0.036	0.203	-0.047	-0.029		
Q9. 話し方の簡潔性の改善	50.00 10.00	813	813	0.010	-0.210	-0.196	-0.012	-0.048	0.045	-0.062	-0.143		
Q10. 講義内容量の適切性	50.00 10.00	864	864	1.000	0.347*	0.424*	0.205	0.424*	-0.139	0.298	0.301*		
Q10. 視聴者の理解量の配工夫	50.00 10.00	864	864	0.347*	1.000	0.372*	0.285	0.236	-0.135	0.353*	0.332*		
Q10. 番組の満足度	50.00 10.00	864	864	0.424*	0.372*	1.000	0.318*	0.477*	-0.053	0.358*	0.309*		
Q10. 番組の実用性	50.00 10.00	864	864	0.205	0.285	0.318*	1.000	0.246	0.099	0.230	0.153		
Q10. 要点提示の適切性	50.00 10.00	864	864	0.424*	0.236	0.477*	0.246	1.000	0.031	0.311*	0.197		
Q10. 難度・専門性の進	50.00 10.00	864	864	-0.139	-0.135	-0.053	0.099	0.031	1.000	-0.150	-0.025		
Q10. 図表提示の適切性	50.00 10.00	864	864	0.298	0.353*	0.358*	0.230	0.311*	-0.150	1.000	0.237		
Q10. 印刷教材の適切性	50.00 10.00	864	864	0.301*	0.332*	0.309*	0.153	0.197	-0.025	0.237	1.000		

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-1-5 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 2)

因子尺度・項目		平均	標準偏差	有効度数	講義内容 適切性	視聴者 理解配慮	番足度	番組 実用性	要点提示 適切性	難度・専門 度	図表提示 適切性	印刷教材 適切性
Q10. 放送教材等総合的評定因子尺度												
評定者：年齢		45.90	10.36	977	0.086	0.128	0.059	0.080	0.050	0.006	0.123	0.123
評定者：職位 (教授<講師>)		1.98	1.02	969	-0.084	-0.062	-0.063	-0.050	-0.049	-0.062	-0.084	-0.085
評定者：性別 (男<女>)		1.10	0.30	956	-0.028	-0.005	-0.003	0.077	0.003	-0.005	0.056	-0.015
評定者：年代 (T V<FM>)		1.21	0.41	978	0.034	-0.059	-0.060	-0.250	-0.027	-0.001	-0.379#	0.028
評定者：文系 (文<理>)		1.57	0.50	855	-0.007	0.031	0.070	0.033	0.138	0.175	0.167	0.042
Q2. 視聴分量 (多<少)		3.14	1.71	938	-0.110	-0.038	-0.193	-0.018	-0.118	0.006	-0.085	-0.059
Q3. 視聴質 (高<低)		1.82	0.68	967	-0.126	-0.013	-0.235	-0.052	-0.120	0.026	-0.048	-0.097
Q4A. テレビ設備 (利<難)		1.57	0.69	945	-0.059	-0.011	-0.012	-0.045	-0.086	0.008	-0.012	-0.025
Q4B. テレオ設備 (利<難)		1.43	0.58	963	-0.038	0.046	-0.010	-0.014	-0.034	0.036	0.019	-0.006
Q4C. ラジ設備 (利<難)		1.73	0.77	922	-0.045	-0.003	-0.027	-0.034	-0.088	-0.000	0.009	-0.058
Q4D. テープ設備 (利<難)		1.61	0.73	936	-0.036	-0.023	-0.102	-0.071	-0.069	0.073	-0.005	-0.075
Q5. 講義形式 (1人<他)		1.39	0.49	923	-0.012	0.168	0.077	0.155	0.001	-0.253	0.093	-0.016
Q13.1. 授業で全体的に利用		0.08	0.27	949	0.082	0.064	0.155	0.078	0.079	0.088	0.105	0.104
Q13.2. 授業資料に利用		0.68	0.46	949	0.101	0.022	0.107	0.043	0.031	-0.019	0.084	-0.030
Q13.3. 授業材料として利用		0.24	0.43	949	0.089	0.020	0.136	0.163	0.110	0.154	0.034	0.081
Q13.4. 図書等で利用		0.55	0.50	949	0.079	0.048	0.048	0.090	0.027	-0.052	0.029	0.050
Q13.5. 利用した回数		0.03	0.16	949	-0.149	-0.089	-0.270	-0.150	-0.105	-0.008	-0.128	-0.058
Q14. 想定単位数 (0~3)		1.45	1.03	807	0.197	0.044	0.137	0.060	0.127	0.008	-0.052	0.116
Q6A. 講師の登場時間		2.11	0.85	939	-0.058	0.257	0.053	0.157	-0.121	-0.172	0.191	0.010
Q6B. 黒板等の利用頻度		2.84	0.96	746	-0.159	-0.026	-0.157	-0.111	-0.263	-0.225	-0.250	-0.062
Q6C. アニメ等の利用頻度		3.88	0.95	680	-0.121	-0.254	-0.137	-0.158	-0.137	-0.086	-0.290	-0.085
Q6D. 図版等の利用頻度		2.93	0.91	734	-0.152	-0.112	-0.211	-0.053	-0.150	-0.091	-0.403#	-0.121
Q6E. VTR等の利用頻度		3.34	1.18	914	0.018	-0.339#	-0.218	-0.226	0.011	0.168	-0.294	-0.103
Q6F. 実験等の導入頻度		3.45	1.09	680	-0.179	-0.327#	-0.285	-0.137	-0.105	0.088	-0.417#	-0.176
Q6G. 寸劇等の利用頻度		4.21	1.01	867	0.045	-0.262	-0.097	-0.277	0.015	0.075	-0.089	-0.017
Q6H. トスの登場時間		3.59	1.09	918	-0.015	-0.303#	-0.100	-0.219	0.080	0.178	-0.109	-0.063
Q6I. 印刷教材の参照頻度		3.40	1.04	937	-0.072	-0.037	-0.021	-0.094	-0.184	-0.279	0.064	-0.150
Q6J. 演習問題の利用頻度		4.09	0.91	902	-0.044	-0.182	-0.008	-0.365#	-0.060	-0.253	0.025	-0.073
Q6K. 講義内容の分量		2.68	0.62	952	0.094	0.048	-0.156	-0.047	-0.083	-0.382#	0.069	-0.071
Q6L. 内容の説明時間		2.57	0.79	948	-0.217	0.002	-0.130	-0.000	-0.180	-0.063	-0.012	-0.120
Q6M. 視聴者の考慮時間		3.61	0.81	959	-0.207	-0.450#	-0.167	-0.227	-0.091	0.025	-0.093	-0.220
Q6N. 息抜きの時間		3.67	0.80	941	-0.108	-0.379#	-0.048	-0.124	-0.013	0.264	-0.238	-0.092
Q6O. 1回の講義時間		2.92	0.48	945	0.034	0.076	0.104	-0.020	0.064	-0.091	0.068	0.019
Q6P. 問いかけの頻度		3.78	0.78	954	-0.096	-0.448#	-0.081	-0.153	-0.018	0.011	-0.060	-0.097
Q6Q. 実物資料の提示頻度		2.97	1.02	715	-0.120	-0.330#	-0.283	-0.086	-0.044	0.105	-0.414#	-0.218
Q6R. 証人の登場頻度		3.86	0.99	888	-0.040	-0.367#	-0.074	-0.237	0.111	0.089	-0.168	-0.032
Q6S. 実地見学の頻度		3.37	1.08	667	-0.042	-0.373#	-0.177	-0.140	0.088	0.143	-0.211	-0.127

(注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4-1-5 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 3)

Q10. 放送教材等総合的評定因子尺度											
因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効度数	講義内容 適切性	視聴者 理解配慮	番組 満足度	番組 実用性	要点提示 適切性	難度・専門 度	図表提示 適切性	印刷教材 適切性
Q7A. 講師の登場時間 の利用率	0.11	0.31	626	-0.046	-0.103	-0.090	0.025	-0.072	0.045	-0.105	-0.082
Q7B. 黒板等の利用率	0.07	0.26	855	0.001	0.005	-0.083	0.033	-0.056	0.057	-0.068	-0.039
Q7C. ノート等の利用率	0.17	0.38	855	0.006	-0.049	-0.099	0.036	-0.028	0.097	0.008	-0.112
Q7D. 図版の利用率	0.13	0.34	855	0.030	0.016	-0.081	0.044	-0.037	0.002	-0.058	-0.082
Q7E. VTR等の利用率	0.14	0.35	855	-0.003	-0.100	-0.098	-0.008	-0.025	-0.009	-0.005	-0.149
Q7F. 実験等の導入 の利用率	0.18	0.38	855	0.011	-0.054	-0.109	-0.007	-0.015	0.012	0.100	-0.074
Q7G. 寸劇等の登場 人物の利用率	0.04	0.20	855	-0.102	-0.131	-0.184	-0.015	-0.024	-0.048	-0.081	-0.026
Q7H. ゲストの登場 時間の利用率	0.16	0.36	855	0.004	-0.055	-0.108	-0.012	-0.085	-0.005	-0.082	-0.062
Q7I. 印刷教材の参照 時間の利用率	0.15	0.36	855	-0.039	-0.063	-0.026	-0.034	-0.116	-0.020	-0.109	-0.092
Q7J. 演習問題の利用率	0.18	0.38	855	-0.035	-0.059	-0.043	0.020	0.029	-0.023	0.006	-0.098
Q7K. 講義内容の分量 の利用率	0.15	0.35	855	-0.311#	-0.096	-0.051	-0.050	-0.088	0.141	-0.042	-0.067
Q7L. 内容の説明時間 の利用率	0.18	0.38	855	-0.224	-0.103	-0.149	0.003	-0.079	0.053	-0.055	-0.099
Q7M. 視聴者の考慮 時間の利用率	0.28	0.45	855	-0.073	-0.152	0.034	-0.070	-0.039	0.069	-0.057	-0.078
Q7N. 息抜き時間 の利用率	0.22	0.41	855	-0.038	-0.142	-0.028	0.000	0.019	0.180	-0.103	0.047
Q7O. 1回の講義時間 の利用率	0.09	0.29	855	-0.236	-0.008	0.017	-0.002	0.008	0.026	0.012	-0.074
Q7P. 問いかけの頻度 の利用率	0.31	0.46	855	-0.040	-0.102	-0.080	-0.069	-0.119	-0.053	-0.092	-0.073
Q7Q. 実物資料の活用 時間の利用率	0.16	0.37	855	0.030	-0.015	-0.069	-0.025	0.033	-0.016	0.029	-0.028
Q7R. 証人の発言 時間の利用率	0.05	0.22	855	0.047	-0.022	0.012	0.041	-0.012	0.025	-0.024	-0.012
Q7S. その他	0.13	0.33	855	0.008	0.013	-0.030	0.068	0.020	-0.003	0.038	-0.102
Q7X. その他	0.23	0.42	855	0.043	0.021	0.085	-0.008	-0.022	-0.023	-0.060	0.049
Q8A. 講師の派手さ	3.51	0.71	963	-0.016	-0.193	-0.042	-0.052	0.010	-0.021	-0.130	0.018
Q8B. 講師の清潔感	2.27	0.64	970	-0.293	-0.196	-0.355#	-0.093	-0.339#	0.046	-0.187	-0.164
Q8C. 講師の活動性	2.86	0.78	967	-0.195	-0.302#	-0.363#	-0.205	-0.261	-0.085	-0.277	-0.206
Q8D. 講師の親しみさ	2.55	0.84	969	-0.323#	-0.387#	-0.448#	-0.204	-0.307#	0.130	-0.280	-0.200
Q8E. 講師の暖かさ	2.51	0.78	968	-0.315#	-0.343#	-0.400#	-0.175	-0.278	0.146	-0.273	-0.186
Q8F. 講師の厳しさ	3.15	0.71	965	0.037	0.031	0.035	-0.078	-0.038	-0.317#	0.036	-0.013
Q8G. 講師の緊張の度合	3.18	0.81	965	0.157	0.113	0.258	0.041	0.151	-0.152	0.085	0.143
Q8H. 講師のスピード	3.22	0.67	968	0.180	0.083	0.040	-0.081	0.060	-0.321#	0.054	0.097
Q8I. 話し方の明瞭さ	2.41	0.73	969	-0.289	-0.243	-0.292	0.097	-0.293	0.018	-0.103	-0.229
Q8J. 言葉遣いの良さ	3.03	0.77	971	0.204	0.234	0.517*	0.077	0.179	-0.257	0.158	0.231
Q8K. 間の取り方	2.77	0.75	972	-0.331#	-0.377#	-0.360#	-0.113	-0.325#	0.142	-0.261	-0.253
Q8L. 表現力の豊かさ	2.82	0.79	971	-0.282	-0.406#	-0.424#	-0.182	-0.328#	-0.008	-0.231	-0.224
Q8M. 表現力	3.40	0.78	971	-0.175	-0.468#	-0.504#	-0.200	-0.175	-0.099	-0.303#	-0.133
Q8N. 説得力	2.55	0.77	972	-0.356#	-0.369#	-0.504#	-0.206	-0.413#	-0.057	-0.267	-0.258
Q8O. わかりやすさ	2.44	0.76	972	-0.406#	-0.399#	-0.497#	-0.166	-0.401#	0.235	-0.311#	-0.262
Q8P. 技術の巧みさ	2.90	0.76	972	-0.298	-0.428#	-0.425#	-0.146	-0.307#	0.047	-0.262	-0.265
Q8Q. まったりさ	3.45	0.75	970	0.250	0.160	0.361*	0.128	0.302*	-0.110	0.183	0.263
Q8R. すっきりさ	2.54	0.78	972	-0.338#	-0.341#	-0.438#	-0.206	-0.418#	0.001	-0.236	-0.286
Q8S. 素材提示の適切性	2.55	0.77	971	-0.392#	-0.391#	-0.523#	-0.235	-0.427#	0.040	-0.502#	-0.348#

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-1-5 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 4)

因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効度数	講義内容 適切性	視聴者 理解配慮	番組 満足度	番組 実用性	要点提示 適切性	難度・進 度・専門	図表提示 適切性	印刷教材 適切性
Q9A. 講師の派手さ	0.02	0.12	595	0.012	-0.020	0.009	-0.019	0.026	0.014	0.036	-0.058
Q9B. 講師の清潔感	0.04	0.19	813	0.064	0.185	0.074	0.102	0.064	0.058	0.028	0.030
Q9C. 講師の活動性	0.13	0.33	813	-0.034	-0.030	-0.098	0.015	-0.110	-0.055	-0.085	-0.145
Q9D. 講師の親しみさ	0.23	0.42	813	-0.024	-0.080	-0.121	0.021	-0.026	0.122	-0.045	-0.052
Q9E. 講師の暖かさ	0.08	0.27	813	-0.055	-0.021	-0.117	0.063	-0.053	0.063	-0.066	-0.047
Q9F. 講師の厳しさ	0.02	0.15	813	0.025	0.088	0.009	0.044	0.002	0.019	0.009	0.009
Q9G. 講師の緊張の度合	0.10	0.29	813	0.015	-0.036	-0.075	-0.032	-0.039	-0.006	0.058	0.007
Q9H. 話すスピード	0.16	0.37	813	-0.158	-0.105	-0.066	-0.025	-0.003	0.164	-0.047	-0.020
Q9I. 話し方の明瞭さ	0.15	0.36	813	-0.035	0.018	-0.031	0.037	-0.029	-0.011	0.051	-0.015
Q9J. 言葉遣いの硬さ	0.11	0.32	813	0.015	-0.099	-0.089	0.005	0.004	0.065	-0.050	-0.131
Q9K. 問の取り方	0.18	0.38	813	-0.061	-0.143	-0.044	-0.049	-0.057	-0.145	-0.065	-0.020
Q9L. 表現力の豊さ	0.19	0.39	813	-0.018	-0.147	-0.102	-0.012	-0.065	-0.016	-0.035	-0.087
Q9M. エピソード	0.38	0.49	813	0.091	-0.072	-0.039	0.046	0.037	0.068	-0.017	-0.012
Q9N. 説得力	0.17	0.38	813	-0.131	-0.045	-0.207	-0.039	-0.152	-0.027	-0.067	-0.110
Q9O. わかりやすさ	0.21	0.41	813	-0.155	-0.086	-0.136	-0.045	-0.081	0.168	-0.020	-0.097
Q9P. 講師の巧みさ	0.17	0.38	813	-0.059	-0.169	-0.228	-0.060	-0.086	-0.017	-0.061	-0.114
Q9Q. まわりくどさ	0.06	0.24	813	-0.044	-0.132	-0.107	-0.065	-0.088	-0.083	-0.050	-0.161
Q9R. 話すきりすの適切性	0.09	0.28	813	-0.090	-0.087	-0.092	-0.056	-0.106	-0.007	-0.048	-0.060
Q9S. 素材提示	0.22	0.41	813	-0.069	-0.045	-0.148	-0.019	-0.090	0.025	-0.103	-0.082
Q9X. その他	0.15	0.35	813	0.063	0.067	0.165	-0.030	0.063	-0.088	0.060	0.041
(1) 内容の範囲は適切	2.15	0.87	963	-0.674##	-0.204	-0.456#	-0.198	-0.409#	-0.013	-0.179	-0.168
(2) 内容が専門的	2.70	0.96	965	-0.100	0.129	-0.020	-0.062	-0.157	-0.687##	-0.063	-0.039
(3) 単位が適切	2.40	0.83	946	-0.679##	-0.164	-0.428#	-0.165	-0.320#	-0.036	-0.132	-0.219
(4) 面白さ	2.45	0.94	963	-0.346#	-0.435#	-0.778##	-0.265	-0.263	0.126	-0.295	-0.238
(5) 役に立ち	2.04	0.77	963	-0.379#	-0.210	-0.725##	-0.473#	-0.488#	-0.032	-0.224	-0.167
(6) わかりやすさ	2.44	0.90	960	-0.474#	-0.428#	-0.558##	-0.143	-0.342#	0.471*	-0.305#	-0.125
(7) 講義概要が最初で適切	2.40	0.88	959	-0.303#	-0.307#	-0.350#	-0.231	-0.754##	0.045	-0.298	-0.208
(8) 重要ポイントが適切	2.44	0.86	960	-0.327#	-0.367#	-0.453#	-0.254	-0.821##	0.067	-0.330#	-0.250
(9) 重要なポイントが適切	2.48	0.89	963	-0.439#	-0.423#	-0.504##	-0.319#	-0.784##	0.046	-0.282	-0.267
(10) 流れが適切	2.96	0.88	963	-0.355#	-0.690##	-0.388#	-0.195	-0.380#	0.147	-0.501##	-0.293
(11) 1回の講義情報量が適切	2.53	0.88	961	-0.727##	-0.409#	-0.253	-0.137	-0.247	0.246	-0.287	-0.294
(12) 視聴者の動機づけが適切	2.85	0.91	959	-0.353#	-0.725##	-0.501##	-0.206	-0.359#	0.092	-0.352#	-0.225
(13) 視聴者の疑問への配慮	3.19	0.87	962	-0.314#	-0.773##	-0.338#	-0.276	-0.318#	0.028	-0.181	-0.200
(14) 視聴者の疑問への配慮	2.92	0.86	962	-0.448#	-0.613##	-0.358#	-0.304#	-0.419#	0.061	-0.242	-0.172
(15) 内容が盛りだくさん	2.63	0.84	959	0.063	-0.078	-0.214	-0.067	-0.092	-0.572##	0.036	-0.172

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq ##$)

表 4-1-5 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 5)

因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効度数	Q10. 放送教材等総合的評定因子尺度									
				講義内容 適切性	理解配慮	番組満足度	番組美用性	要点提示 適切性	難度・進 度・専門	図表提示 適切性	印刷教材 適切性		
(16)利用メディアの特性が適切	2.74	1.02	961	-0.193	-0.568##	-0.505##	-0.248	-0.173	0.129	-0.616##	-0.289		
(17)視聴しへの問いが適切	3.15	0.78	954	-0.274	-0.760##	-0.310#	-0.315#	-0.254	0.028	-0.262	-0.260		
(18)新しい概念の導入が適切	2.56	0.81	955	-0.353#	-0.471#	-0.406#	-0.251	-0.482#	-0.155	-0.236	-0.254		
(19)具体例が適切	2.43	0.88	961	-0.350#	-0.472#	-0.548##	-0.282	-0.328#	0.183	-0.522##	-0.287		
(20)講義の流れに変化小	3.08	0.94	960	0.260	0.501**	0.371*	0.089	0.154	-0.293	0.363*	0.354*		
(21)必要以上に専門用語有	3.51	0.77	958	0.214	0.070	0.344*	0.054	0.219	-0.576##	0.052	0.382*		
(22)印刷教材とが適切に利用	2.48	0.87	954	-0.311#	-0.098	-0.227	-0.080	-0.516##	-0.103	-0.218	-0.573##		
(23)図表が実用的	2.63	0.97	947	-0.278	-0.242	-0.283	-0.271	-0.330#	-0.005	-0.864##	-0.234		
(24)内容がレベルは適切	2.91	0.95	960	-0.236	-0.317#	-0.420#	-0.775##	-0.339#	0.042	-0.342#	-0.199		
(25)内容の深さは適切	2.46	0.87	960	-0.730##	-0.276	-0.421#	-0.208	-0.279	0.222	-0.225	-0.221		
(26)講義の準備は適切	2.47	0.82	959	-0.798##	-0.355#	-0.319#	-0.128	-0.254	0.300	-0.259	-0.256		
(27)1回の講義時間が適切	2.41	0.87	962	-0.703##	-0.278	-0.272	-0.118	-0.241	0.184	-0.240	-0.314#		
(28)中身の濃い番組は適切	3.27	0.89	957	-0.229	-0.520##	-0.081	-0.115	-0.074	0.310*	-0.382#	-0.153		
(29)力強い番組は適切	2.46	0.79	957	-0.678##	-0.302#	-0.491#	-0.155	-0.422#	0.045	-0.283	-0.297		
(30)興味深い番組	2.07	0.87	966	-0.436#	-0.335#	-0.816##	-0.326#	-0.384#	-0.042	-0.298	-0.305#		
(31)何らかの利用価値有	1.78	0.76	966	-0.360#	-0.125	-0.685##	-0.476#	-0.438#	-0.078	-0.281	-0.156		
(32)生活に密着した教材利用可	2.66	0.96	959	-0.224	-0.325#	-0.416#	-0.742##	-0.246	0.188	-0.378#	-0.166		
(33)時宜を会得した教材を講義	2.58	0.86	958	-0.332#	-0.369#	-0.538##	-0.644##	-0.340#	-0.004	-0.390#	-0.251		
(34)実社会の身につく講義	2.86	1.02	958	-0.215	-0.209	-0.307#	-0.842##	-0.311#	-0.096	-0.214	-0.093		
(35)基本が身につく講義	2.26	0.86	965	-0.572##	-0.200	-0.420#	-0.248	-0.435#	-0.028	-0.329#	-0.072		
(36)一般大学にない内容有	2.70	0.95	962	-0.025	-0.309#	-0.295	-0.344#	-0.021	-0.177	-0.014	-0.248		
(37)講師の人は適切	2.03	0.88	961	-0.445#	-0.349#	-0.671#	-0.162	-0.490#	-0.097	-0.260	-0.295		
(38)講義の進め方が適切	3.20	0.79	960	0.372*	0.157	0.024	-0.034	0.118	-0.626##	0.162	0.085		
(39)全体など	2.58	0.86	959	-0.791##	-0.313#	-0.292	-0.135	-0.284	0.197	-0.239	-0.285		
(40)図表などの提示に工夫	2.79	0.95	937	-0.277	-0.415#	-0.372#	-0.313#	-0.299	0.007	-0.847##	-0.280		
(41)印刷教材が充実	2.74	0.85	957	-0.351#	-0.328#	-0.373#	-0.238	-0.314#	-0.099	-0.339#	-0.744##		
(42)改善の余地が多い番組	3.22	1.00	961	0.474*	0.461*	0.606**	0.152	0.336*	-0.194	0.340*	0.498*		
(43)印刷教材の量少し	2.95	0.90	960	0.297	0.288	0.281	0.157	0.175	-0.120	0.233	0.821**		
(44)印刷教材の作りが適切	3.57	0.90	943	-0.093	-0.348#	0.104	-0.519##	0.104	-0.209	0.041	-0.242		
(45)学習ペース作りに工夫	2.55	0.75	949	-0.489#	-0.266	-0.424#	-0.194	-0.259	-0.075	-0.194	-0.238		
(46)全体的に満足な番組	2.24	0.88	963	-0.602##	-0.439#	-0.772##	-0.293	-0.459#	-0.031	-0.343#	-0.386#		

(注: ** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 \geq # $>$ -0.5, -0.5 \geq ##)

表 4-1-6 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 1)

その他の主な質問項目・分類等											
因子尺度・項目	評定者 年齢	評定者 職位	科 メ	目 ディ	理・文	Q2 視 聴分量	Q3 視 聴質	Q5 講 義形式	Q13 授 業参考	Q13 研 究材料	想 定 単 位 数
Q6. メディアの活用度	-0.017	0.019	-0.215	-0.137	0.055	0.027	0.032	0.393*	0.032	-0.027	-0.039
Q6. 視聴機会の頻度	0.037	-0.017	-0.014	-0.039	0.027	0.052	0.022	0.104	-0.022	0.036	0.086
Q6. 印刷教材利用の頻度	-0.071	0.074	0.190	0.087	0.133	0.139	-0.094	-0.059	-0.094	0.187	0.084
Q6. 講義内容量の多さ	0.092	-0.149	0.025	-0.018	-0.012	-0.029	-0.059	-0.036	-0.059	0.046	-0.000
Q6. 実資料・図版・実験導入頻度	0.038	-0.069	0.000	-0.097	-0.013	-0.030	0.064	0.127	0.064	-0.002	0.095
Q6. 黒板・実演頻度	0.016	-0.051	0.000	0.146	-0.087	-0.016	-0.111	-0.111	-0.061	0.185	0.004
Q6. アニメ・実験頻度	0.072	-0.005	0.000	0.176	0.003	0.115	0.032	0.026	0.032	0.010	0.035
Q7. 講義内容量の多さ	-0.016	0.064	-0.040	0.017	-0.033	0.004	-0.021	0.008	-0.021	0.009	-0.057
Q7. 場内・場外・場外利用頻度	0.061	-0.093	-0.073	-0.136	0.039	0.037	0.064	-0.052	0.064	-0.081	-0.021
Q7. 場内・場外・場外利用頻度	-0.009	-0.033	0.124	-0.066	0.033	0.022	-0.037	-0.037	-0.092	0.053	0.021
Q7. 場内・場外・場外利用頻度	0.075	-0.122	0.096	-0.007	-0.105	-0.018	0.016	0.016	0.018	-0.047	0.110
Q7. 講師登壇頻度	0.013	-0.038	0.032	0.055	0.086	0.043	0.092	0.092	0.003	-0.000	0.002
Q7. 実資料・図版・実験頻度	0.076	-0.050	-0.250	0.081	-0.006	0.007	-0.011	-0.011	0.101	-0.099	-0.028
Q7. 黒板・実演頻度	-0.008	0.040	-0.170	0.013	0.070	-0.008	0.069	-0.069	0.015	-0.014	-0.019
Q7. アニメ・実験頻度	0.011	-0.018	-0.239	0.179	-0.050	0.011	0.043	-0.043	0.052	-0.064	-0.058
Q8. 講師の親しみやすさ	0.088	-0.051	0.014	0.018	-0.180	-0.131	0.058	0.045	-0.033	0.048	0.085
Q8. 講師の堅さ	-0.040	0.056	-0.103	0.172	-0.017	-0.023	-0.138	-0.138	-0.033	0.058	0.040
Q8. 講師の派手さ	0.080	-0.065	-0.082	0.152	-0.032	0.026	0.047	0.047	0.058	-0.045	-0.061
Q8. 明解な話し方	0.115	-0.077	0.031	0.043	-0.083	-0.121	-0.015	-0.015	0.077	0.098	0.116
Q8. 面白味のある話し方	0.128	-0.061	0.018	-0.015	-0.114	-0.033	0.102	0.102	0.055	0.021	-0.004
Q8. 話し方の堅さ	-0.020	0.021	0.037	0.006	0.065	0.121	-0.037	-0.037	-0.040	-0.081	-0.033
Q8. 話す速さ	0.099	-0.104	-0.099	0.104	0.000	0.003	-0.087	-0.087	-0.044	0.069	0.030
Q9. 講師の親近感改善	0.061	-0.036	-0.010	-0.025	0.110	0.053	-0.024	-0.024	-0.002	0.011	-0.069
Q9. 講師の堅さ改善	-0.022	0.029	-0.040	0.050	-0.057	0.047	0.008	0.008	0.018	0.025	0.051
Q9. 講師の活動性改善	-0.009	0.042	-0.018	-0.048	0.060	-0.023	0.085	0.085	0.053	0.028	-0.070
Q9. 話し方の明解さの改善	0.008	0.029	-0.056	-0.041	0.050	0.002	0.019	0.019	0.043	-0.024	-0.098
Q9. 話し方の堅さの改善	0.038	-0.004	0.064	0.026	0.039	0.012	-0.123	-0.123	-0.018	0.076	0.045
Q9. 話し方の堅さの改善	0.004	-0.049	-0.040	-0.020	-0.018	0.034	-0.029	-0.029	0.013	-0.015	0.013
Q9. 話し方の簡潔性の改善	-0.007	0.012	0.037	0.016	-0.033	-0.040	0.050	0.050	0.054	-0.068	0.017
Q10. 講義内容量の適切性	0.086	-0.084	0.034	-0.007	-0.110	-0.126	-0.012	-0.012	0.101	0.089	0.197
Q10. 視聴者の理解の適切性	0.128	-0.062	-0.059	0.031	-0.038	-0.013	0.168	0.168	0.022	0.020	0.044
Q10. 番組の満足度	0.059	-0.063	-0.060	0.070	-0.193	0.077	0.235	0.235	0.107	0.136	0.137
Q10. 番組の活用性の適切性	0.080	-0.050	-0.250	0.033	-0.018	-0.052	0.155	0.155	0.043	0.163	0.060
Q10. 要旨提示の適切性	0.050	-0.049	-0.027	0.138	-0.118	-0.120	0.001	0.001	0.031	0.110	0.127
Q10. 難解性の専門性の進捗	0.006	-0.026	-0.001	0.175	0.006	0.026	-0.253	-0.253	-0.019	0.154	0.008
Q10. 図表提示の適切性	0.123	-0.084	-0.379#	0.167	-0.085	-0.048	0.093	0.093	0.084	0.034	-0.052
Q10. 印刷教材の適切性	0.123	-0.085	0.028	0.042	-0.059	-0.097	-0.016	-0.016	-0.030	0.081	0.116

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-1-6 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 2)

因子尺度・項目	その他の主な質問項目・分類等									
	評定者 年 齢	評定者 職 位	科 目 メ デ ィ ア	理・文	Q2 視 聴 分 量	Q3 視 聴 質	Q5 講 義 形 式	Q13 授 業 参 考	Q13 研 究 材 料	定 義 単 位 数
評定者：年齢	1.000	-0.690##	-0.044	-0.007	-0.142	-0.074	-0.001	0.179	-0.053	-0.036
評定者：性別 (男<女)	-0.690##	1.000	0.059	-0.024	0.081	-0.072	-0.018	-0.149	0.060	-0.026
評定者：性 (V<F/M)	-0.129	0.231	0.004	-0.161	0.055	-0.019	0.001	0.008	-0.002	-0.050
メデ・文系 (文<理)	-0.044	0.059	1.000	-0.305#	0.037	0.047	-0.084	-0.109	0.043	0.062
理系 (文<理)	-0.007	-0.024	-0.305#	1.000	-0.024	-0.029	-0.145	0.050	-0.003	0.020
Q2.視聴分量 (多<少)	-0.142	0.081	0.037	-0.024	1.000	0.270	-0.050	-0.095	-0.025	-0.079
Q3.視聴質 (高<低)	-0.074	0.072	0.047	-0.029	0.270	1.000	-0.005	-0.108	0.019	-0.018
Q4A.テレビ設備 (利<難)	-0.030	-0.012	0.006	0.017	0.009	0.068	0.009	0.013	-0.012	0.014
Q4B.ビデオ設備 (利<難)	-0.032	-0.033	0.019	-0.003	-0.013	0.072	0.011	0.016	0.013	0.014
Q4C.ラジオ設備 (利<難)	-0.085	0.025	-0.099	0.085	0.035	0.141	0.049	0.022	-0.034	0.020
Q4D.テープ設備 (利<難)	0.041	-0.049	-0.100	0.078	-0.016	0.114	-0.022	0.040	0.003	-0.021
Q5.講義形式 (1人<他)	-0.001	-0.018	-0.084	-0.145	-0.050	0.005	1.000	-0.038	-0.099	0.035
Q13.1.授業で全面的に利用	0.004	-0.036	-0.064	0.055	-0.057	-0.119	-0.043	-0.150	-0.006	0.120
Q13.2.授業資料として利用	0.179	-0.149	-0.109	0.050	-0.095	-0.108	-0.038	1.000	-0.063	0.007
Q13.3.研究室等で利用	-0.053	0.060	0.045	-0.003	-0.025	0.019	-0.099	-0.063	1.000	-0.009
Q13.4.図書室で利用	0.028	-0.017	-0.030	-0.074	-0.074	-0.014	0.024	-0.163	-0.081	0.014
Q13.5.図書利用 (0~3)	-0.109	0.071	-0.021	-0.068	0.112	0.113	0.019	-0.228	-0.077	-0.095
Q14.想定単位数	-0.036	-0.026	0.062	0.020	-0.079	-0.018	0.035	0.007	-0.009	1.000
Q6A.講師の登場時間	-0.066	0.026	-0.209	-0.054	0.093	0.042	0.322*	0.046	-0.067	-0.023
Q6B.黒板等の利用頻度	0.008	0.005	0.000	-0.172	0.057	-0.001	0.141	0.056	-0.169	0.010
Q6C.ア・メ等の利用頻度	-0.078	-0.012	0.000	-0.205	-0.026	-0.095	0.023	-0.015	0.001	0.013
Q6D.図版の利用頻度	0.025	-0.008	0.000	-0.089	0.083	0.037	0.075	0.008	-0.057	-0.033
Q6E.VTR等の利用頻度	-0.011	0.047	0.261	0.059	0.033	0.047	-0.271	-0.046	-0.028	0.038
Q6F.実験等の導入頻度	-0.042	0.069	0.000	-0.047	0.020	-0.051	-0.097	-0.011	-0.024	-0.074
Q6G.寸劇等の登場時間	0.094	-0.079	0.123	0.008	-0.080	-0.070	-0.180	0.013	-0.050	0.028
Q6H.スライドの登場頻度	-0.041	0.042	0.081	0.196	0.009	-0.017	-0.435#	0.016	0.010	0.023
Q6I.印刷教材の参照頻度	0.035	-0.047	-0.269	-0.005	-0.069	-0.061	0.117	0.082	-0.173	-0.064
Q6J.演習問題の利用頻度	0.055	-0.088	-0.043	-0.082	-0.179	-0.132	-0.027	0.076	-0.122	-0.076
Q6K.講義内容の分量	-0.089	0.118	-0.010	-0.047	0.075	0.071	0.099	0.024	-0.098	-0.072
Q6L.内容の説明時間	-0.044	-0.053	-0.071	-0.000	0.025	0.018	0.085	0.039	-0.026	-0.052
Q6M.視聴者の考慮時間	-0.022	-0.000	-0.005	0.059	-0.040	-0.003	-0.061	0.056	-0.075	-0.091
Q6N.息抜き時間	-0.048	-0.001	0.133	-0.071	-0.025	-0.020	-0.155	-0.049	0.096	0.014
Q6O.1回の講義時間	-0.066	0.105	-0.039	0.039	-0.110	-0.013	-0.049	0.056	0.029	0.092
Q6P.問いかけの頻度	0.063	-0.076	0.012	0.058	-0.048	-0.085	-0.124	0.046	-0.033	-0.071
Q6Q.実物の提示頻度	-0.071	0.112	0.000	0.051	0.030	0.041	-0.094	-0.080	-0.005	-0.041
Q6R.証人の登場頻度	-0.008	-0.034	0.136	0.089	-0.043	-0.065	-0.177	0.020	-0.004	-0.010
Q6S.実地見学の頻度	-0.012	0.010	0.000	0.114	0.024	0.031	-0.163	-0.018	0.043	-0.063

(注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-1-6 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 3)

その他の主な質問項目・分類等											
因子尺度・項目	評定者 年齢	評定者 職位	科目 メディア	理科・文	Q2 視聴分量	Q3 視聴質	講義形式	Q1.3 授業参考	Q1.3 研究材料	想定 単位数	
Q7A.講師の登場時間	0.083	-0.090	-0.062	-0.023	0.117	0.091	0.012	0.012	0.004	-0.066	
Q7B.黒板等の利用頻度	-0.010	0.024	-0.131	0.029	0.039	0.011	-0.031	-0.023	-0.017	0.018	
Q7C.メモ等の利用頻度	0.022	-0.019	-0.215	0.148	-0.050	-0.000	0.022	0.024	-0.050	-0.052	
Q7D.図版の利用頻度	-0.003	0.036	-0.157	-0.002	0.072	-0.019	-0.072	0.063	-0.012	-0.048	
Q7E.VTR等の利用頻度	-0.008	0.039	-0.186	0.034	-0.038	-0.026	0.014	0.081	-0.079	-0.075	
Q7F.実験等の導入頻度	0.011	-0.018	-0.221	0.152	-0.017	0.023	0.045	0.119	-0.086	-0.051	
Q7G.寸劇等の利用頻度	-0.114	0.105	0.078	-0.090	0.085	0.065	0.042	-0.099	-0.018	-0.043	
Q7H.ゲストの登場時間	0.041	-0.072	0.060	-0.097	0.016	0.028	-0.026	0.021	-0.048	0.086	
Q7I.印刷教材の参照頻度	0.073	-0.045	0.061	0.016	-0.119	-0.010	0.012	0.007	0.001	0.023	
Q7J.演習問題の利用頻度	0.052	-0.079	-0.025	0.167	0.019	-0.039	0.083	0.059	0.032	0.027	
Q7K.講義内容の分量	0.008	-0.030	0.048	-0.017	-0.058	0.010	-0.008	-0.002	-0.024	-0.016	
Q7L.内容の説明時間	-0.061	0.064	0.020	-0.004	0.006	0.006	0.058	-0.036	-0.020	-0.033	
Q7M.内容者の考慮時間	-0.028	-0.032	0.015	-0.017	0.028	-0.016	-0.035	-0.028	0.036	0.010	
Q7N.息抜きの時間	0.032	-0.030	0.073	-0.019	0.038	0.005	-0.034	-0.067	0.056	-0.027	
Q7O.1回の講義時間	-0.022	0.057	-0.027	0.039	0.003	-0.094	0.052	-0.021	0.042	-0.012	
Q7P.問いかけの頻度	0.029	-0.065	0.116	-0.069	-0.003	0.006	0.080	0.018	-0.069	0.065	
Q7Q.実物の提示頻度	0.072	-0.030	-0.177	0.051	-0.004	-0.019	-0.036	0.056	-0.071	-0.043	
Q7R.延べ人の登場シーン	0.032	-0.049	-0.010	-0.112	-0.004	0.022	-0.045	0.005	-0.025	-0.011	
Q7S.実地の他	0.072	-0.068	-0.194	0.040	-0.019	0.033	0.007	0.038	-0.078	0.039	
Q7X.その他	0.088	-0.056	0.049	0.033	-0.184	-0.108	0.033	-0.012	0.025	-0.037	
Q8A.講師の派手さ	-0.062	0.071	0.083	-0.116	0.053	-0.012	-0.049	-0.074	0.071	0.070	
Q8B.講師の清潔感	-0.017	0.025	0.001	0.013	0.126	0.127	0.002	-0.020	-0.065	-0.078	
Q8C.講師の活動性	-0.105	0.056	0.064	-0.185	0.108	0.081	-0.007	-0.026	-0.077	-0.038	
Q8D.講師の親しみやすさ	-0.102	0.060	-0.046	0.044	0.148	0.104	-0.087	-0.047	-0.011	-0.078	
Q8E.講師の暖かさ	-0.079	0.043	-0.022	0.063	0.173	0.103	-0.072	-0.077	0.017	-0.054	
Q8F.講師の厳しさ	0.053	-0.073	0.066	-0.143	0.007	0.008	0.149	0.044	-0.072	-0.041	
Q8G.講師の緊張度	-0.003	-0.017	0.081	-0.056	-0.007	-0.014	0.028	0.017	0.047	-0.007	
Q8H.話すスピード	-0.086	0.083	0.073	-0.096	0.016	0.005	0.080	0.055	-0.037	-0.039	
Q8I.話し方の明瞭さ	-0.063	0.042	-0.096	-0.054	0.078	0.070	0.035	0.012	-0.062	-0.069	
Q8J.言葉遣いの硬さ	0.035	0.006	0.044	-0.030	-0.089	-0.066	0.042	0.017	0.030	0.020	
Q8K.間の取り方	-0.037	-0.010	-0.054	0.004	0.073	0.074	-0.034	-0.075	-0.020	-0.042	
Q8L.表現力の豊さ	-0.168	0.109	-0.052	-0.014	0.112	0.062	-0.026	-0.076	-0.099	-0.030	
Q8M.ユニフォーム	-0.122	0.090	0.039	-0.026	0.110	0.023	-0.120	-0.051	-0.032	0.033	
Q8N.説得力	-0.093	0.060	0.003	-0.048	0.072	0.123	0.078	-0.076	-0.108	-0.119	
Q8O.わかりやすさ	-0.081	0.034	-0.062	0.040	0.057	0.112	-0.063	-0.074	-0.041	-0.092	
Q8P.技術の巧みさ	-0.152	0.066	-0.050	0.006	0.038	0.039	-0.043	-0.046	-0.042	-0.029	
Q8Q.まわりのくどさ	0.066	-0.052	-0.019	0.013	-0.058	-0.106	0.051	0.044	0.113	0.006	
Q8R.すっきりさ	-0.048	0.059	-0.010	-0.016	0.063	0.106	-0.024	-0.056	-0.122	-0.078	
Q8S.教材提示の適切性	-0.097	0.086	0.122	-0.055	0.059	0.138	-0.045	-0.118	-0.067	-0.122	

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-1-6 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 4)

因子尺度・項目	その他の主な質問項目・分類等									
	評定者 年齢	評定者 職位	科目 メディア	科目 理・文	Q2 視聴分量	Q3 視聴質	Q5 講義形式	Q13 授業参考	Q13 研究材料	相定 単位数
Q9A. 講師の派手さ	0.029	0.026	0.011	0.001	0.036	-0.068	0.037	0.058	0.056	-0.063
Q9B. 講師の清潔感	0.116	-0.084	0.021	-0.054	-0.005	-0.071	-0.000	0.009	-0.001	-0.069
Q9C. 講師の活動性	-0.063	0.065	-0.054	-0.120	0.064	0.028	0.093	0.036	-0.019	-0.038
Q9D. 講師の親しみやすさ	0.008	-0.020	-0.039	0.034	0.089	0.039	-0.020	-0.020	0.015	0.012
Q9E. 講師の暖かさ	0.014	-0.027	-0.015	0.011	0.056	0.006	0.031	0.045	0.010	-0.029
Q9F. 講師の厳しさ	-0.019	0.044	-0.021	0.007	-0.003	0.053	-0.011	0.011	-0.002	0.028
Q9G. 講師の緊張の度合	0.014	-0.012	-0.048	0.033	-0.087	0.015	0.032	0.015	0.016	0.091
Q9H. 話しスロースド	0.015	0.025	0.075	0.047	0.021	0.023	-0.094	-0.031	0.014	0.048
Q9I. 話し方の明瞭さ	-0.010	0.021	-0.060	-0.028	0.109	0.002	-0.005	0.086	0.012	0.011
Q9J. 言葉遣いの硬さ	0.053	-0.093	0.003	0.014	-0.028	0.029	0.008	0.080	-0.027	0.034
Q9K. 間の取り方	0.039	-0.019	0.025	0.007	-0.004	-0.010	-0.100	-0.022	0.092	0.056
Q9L. 表現力の豊さ	0.001	-0.018	-0.050	-0.040	-0.047	-0.048	-0.024	0.007	-0.004	-0.005
Q9M. エーソー	-0.035	-0.006	-0.066	0.004	0.020	0.079	-0.033	-0.038	0.010	0.035
Q9N. 説得力	-0.025	0.051	-0.036	-0.084	0.024	0.066	0.032	0.014	-0.063	-0.067
Q9O. わかりやすさ	0.025	-0.025	-0.013	-0.022	0.067	0.040	-0.059	-0.000	0.035	-0.102
Q9P. 講師の巧みさ	-0.002	-0.004	0.020	-0.015	-0.006	0.016	-0.002	0.019	-0.029	-0.024
Q9Q. まわりくどさ	-0.019	0.001	0.035	0.036	-0.055	-0.023	0.002	0.042	-0.086	0.056
Q9R. すみっ材提示の適切性	0.001	0.025	0.019	0.031	-0.034	-0.038	0.081	-0.002	-0.032	-0.034
Q9S. 素の他	0.055	-0.027	-0.043	0.061	-0.021	-0.032	0.024	0.059	-0.029	-0.043
Q9X. その他	0.076	-0.033	0.032	-0.031	-0.137	-0.075	0.063	0.016	0.029	-0.056
(1) 内容の範囲は適切	-0.059	0.059	-0.067	0.007	0.046	0.153	0.007	-0.095	-0.110	-0.186
(2) 内容が専門的	-0.043	0.040	-0.018	-0.105	0.011	0.014	0.247	0.041	-0.165	0.017
(3) 単位数に合った内容	-0.040	0.063	-0.047	0.019	0.077	0.114	0.019	-0.076	-0.110	-0.208
(4) 面白く番組	-0.003	0.009	0.048	-0.043	0.125	0.171	-0.084	-0.083	-0.087	-0.085
(5) 役に立つ番組	-0.049	0.050	0.107	-0.108	0.121	0.200	0.009	-0.090	-0.145	-0.142
(6) わかりやすい番組	-0.037	-0.007	-0.001	0.140	0.079	0.115	-0.128	-0.105	0.053	-0.069
(7) 概要が最初で適切	-0.069	0.015	0.049	-0.057	0.073	0.079	-0.104	-0.038	-0.041	-0.122
(8) 必要に応じて適切な内容	-0.082	0.051	0.054	-0.108	0.149	0.112	-0.057	-0.025	-0.083	-0.084
(9) 重要なポイントが明確	-0.028	0.039	0.030	-0.107	0.095	0.097	-0.000	-0.007	-0.092	-0.100
(10) 流れに適切な緩急	-0.105	0.037	0.062	-0.078	0.103	0.043	-0.115	-0.032	-0.025	-0.045
(11) 1回の講義情報量適切	-0.075	0.050	-0.005	-0.007	0.055	0.055	0.004	-0.070	-0.073	-0.119
(12) 視聴者の動機づけ配慮	-0.121	0.108	0.084	-0.064	0.078	0.057	-0.083	-0.020	-0.048	-0.050
(13) 視聴者の考慮配慮	-0.090	0.058	0.016	0.011	0.038	0.034	-0.101	-0.013	-0.037	-0.112
(14) 視聴者の疑問への配慮	-0.064	0.046	0.010	0.027	0.077	0.081	-0.081	-0.078	-0.066	-0.064
(15) 内容が盛りだくさん	0.021	0.044	0.032	-0.115	0.010	0.056	0.085	-0.018	-0.038	-0.077

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4-1-1-6 因子尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列 (その 5)

因子尺度・項目	その他の主な質問項目・分類等									
	評定者 年	評定者 職	メ デ ィ ア	科 理 ・ 文	Q2 視 聴 分 量	Q3 視 聴 質	Q5 講 義 形 式	Q13 授 業 参 考	Q13 研 究 材 料	定 想 単 位 数
(16)利用メディア特性活用	-0.105	0.062	0.211	-0.026	0.071	0.068	-0.180	-0.045	-0.035	-0.011
(17)新しい問いが適切	-0.084	0.018	0.024	-0.009	0.044	0.009	-0.123	-0.007	-0.082	-0.084
(18)新しい問いが適切	-0.074	0.056	0.080	-0.147	0.087	0.085	-0.114	-0.108	-0.114	-0.093
(19)新しい問いが適切	-0.058	0.036	0.126	-0.028	0.076	0.092	-0.119	-0.083	-0.068	-0.052
(20)講義の流れに変化	0.096	-0.074	-0.090	0.007	-0.083	-0.064	0.146	0.017	0.031	0.045
(21)必要以上に専門用語有	-0.018	0.001	0.020	-0.068	-0.057	-0.133	0.111	-0.011	0.020	0.095
(22)印刷教材が適切に利用	-0.017	0.056	-0.074	-0.064	0.082	0.098	0.051	0.005	-0.078	-0.150
(23)図表などが適切な利用	-0.025	0.029	0.410*	-0.217	0.047	0.055	-0.010	-0.080	-0.049	0.025
(24)図表が実用的	-0.040	0.060	0.230	-0.071	0.021	0.071	-0.148	-0.064	-0.119	-0.044
(25)内容のレベルは適切	-0.024	0.027	-0.029	0.073	0.083	0.091	-0.062	-0.061	-0.058	-0.168
(26)講義の進度は適切	-0.068	0.053	-0.001	0.042	0.086	0.136	-0.025	-0.050	-0.045	-0.127
(27)1回の講義は適切	-0.085	0.086	-0.007	0.029	0.126	0.129	-0.005	-0.076	-0.086	-0.112
(28)授業の息抜きは適切	-0.116	0.056	0.133	-0.123	0.036	-0.028	-0.138	-0.073	0.061	0.002
(29)カリキュラムは適切	-0.036	0.041	0.007	-0.038	0.090	0.129	0.026	-0.087	-0.077	-0.187
(30)興味深い番組	-0.055	0.046	0.094	-0.086	0.176	0.237	-0.006	-0.101	-0.169	-0.155
(31)何らかの価値有	-0.078	0.086	0.129	-0.120	0.168	0.179	-0.026	-0.167	-0.115	-0.167
(32)生活に密着した題材有	-0.114	0.085	0.199	-0.140	0.105	0.071	-0.241	-0.079	-0.055	-0.052
(33)時宜を得た題材有可	-0.131	0.105	0.166	-0.083	0.123	0.141	-0.094	-0.087	-0.085	-0.074
(34)実社会が身に役立つ講義	-0.053	0.013	0.208	-0.070	0.008	0.026	-0.093	-0.024	-0.156	-0.088
(35)基本が身に役立つ講義	-0.095	0.073	0.065	-0.012	0.114	0.093	0.031	-0.067	-0.107	-0.142
(36)一般大学にない内容有	-0.042	0.003	0.123	-0.155	0.024	0.032	0.000	0.035	-0.089	0.001
(37)講師の人間性は適切	-0.059	0.069	-0.031	-0.086	0.131	0.121	0.067	-0.062	-0.141	-0.077
(38)講義の進度は適切	-0.030	0.016	0.025	-0.070	0.003	-0.044	0.114	0.049	-0.053	0.043
(39)全体の話の提示は工夫	-0.107	0.086	-0.014	0.026	0.061	0.079	-0.007	-0.048	-0.073	-0.116
(40)図表などの提示は工夫	-0.121	0.080	0.365*	-0.200	0.055	0.057	-0.072	-0.090	-0.092	0.034
(41)印刷教材が充実	-0.132	0.112	-0.004	-0.013	0.100	0.103	0.052	-0.046	-0.098	-0.088
(42)教員の余白が多少ある番組	0.076	-0.029	0.060	-0.023	-0.069	-0.098	-0.006	0.051	0.095	0.148
(43)印刷教材の活用が適切	0.127	-0.072	0.019	-0.012	-0.038	-0.097	-0.037	0.009	0.025	0.070
(44)印刷教材の活用が適切	-0.013	-0.033	0.071	0.015	-0.099	-0.090	-0.062	0.014	-0.077	-0.052
(45)学習への工夫が適切	-0.039	0.034	0.060	-0.065	0.096	0.115	-0.020	-0.054	-0.090	-0.128
(46)全体的に満足な番組	-0.117	0.072	0.007	-0.073	0.142	0.153	-0.011	-0.130	-0.125	-0.159

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-2-1 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 1)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 6. 放送教材量的評定因子尺度			Q 6. 視覚素材利用度因子尺度		
				メディア活用度	視聴者考慮機会	印刷教材利用頻度	講義内容量の多さ	実資料・図板・図利利用度	アニメ・実験利用度
Q6. メディア特性の活用度	51.03	9.48	642	1.000	0.251	0.132	-0.208	0.488*	-0.098
Q6. 視聴者考慮機会の頻度	50.07	9.71	642	0.251	1.000	0.230	-0.025	0.444*	0.115
Q6. 印刷教材利用の頻度	49.09	9.97	642	0.132	0.230	1.000	0.062	-0.078	0.155
Q6. 講義内容量の多さ	49.88	9.52	642	-0.208	-0.025	0.062	1.000	-0.006	0.162
Q6. 実資料・図板・図利利用頻度	50.00	10.00	579	0.488*	0.444*	-0.078	-0.006	1.000	0.195
Q6. アニメ・実験導入頻度	50.00	10.00	579	-0.098	0.115	0.155	0.162	0.195	1.000
Q6. アニメ・実験導入頻度	50.00	10.00	579	0.283	0.243	0.272	-0.039	0.328*	0.391*
Q7. 講義内容量の多さ	50.25	10.18	452	0.053	-0.024	0.024	0.017	0.047	-0.057
Q7. 講義内容量の多さ	50.45	10.39	452	-0.039	-0.052	-0.066	0.025	-0.119	-0.182
Q7. 講義内容量の多さ	49.23	9.59	452	-0.146	-0.259	0.105	0.123	-0.218	0.026
Q7. 講義内容量の多さ	49.41	9.58	452	0.071	-0.131	-0.092	-0.077	0.017	-0.043
Q7. 講義内容量の多さ	49.80	9.78	452	-0.037	-0.074	0.063	-0.060	-0.077	-0.101
Q7. 実資料・図板・図利利用頻度	51.26	10.73	681	-0.129	0.004	-0.056	0.003	-0.114	0.002
Q7. 実資料・図板・図利利用頻度	50.86	10.89	681	-0.016	0.023	0.019	-0.027	-0.025	-0.171
Q7. 実資料・図板・図利利用頻度	51.21	10.77	681	-0.057	-0.001	0.026	-0.005	-0.053	0.032
Q8. 講師の話しやすさ	49.93	10.01	752	0.036	0.303*	0.005	0.001	0.298	0.213
Q8. 講師の話しやすさ	50.54	9.90	752	-0.123	0.013	0.276	0.071	-0.146	0.113
Q8. 講師の話しやすさ	50.43	9.61	752	0.148	0.162	0.113	-0.092	0.055	0.024
Q8. 明解な話し方	49.84	9.76	753	0.036	0.325*	0.146	0.071	0.259	0.206
Q8. 面白味のある話し方	49.91	10.15	753	0.180	0.375*	-0.006	-0.035	0.302*	0.227
Q8. 話し方の堅さ	49.81	9.67	753	0.053	-0.053	0.064	0.030	-0.114	0.056
Q8. 話し方の速さ	50.52	9.51	753	-0.066	-0.130	0.201	0.076	-0.177	-0.154
Q9. 講師の観近感改善	50.06	9.81	421	0.026	0.077	0.184	-0.057	-0.097	0.002
Q9. 講師の観近感改善	50.26	10.40	421	0.030	0.034	0.058	-0.063	-0.092	-0.053
Q9. 講師の活動性改善	50.11	10.15	421	0.041	0.016	-0.081	-0.048	-0.009	-0.067
Q9. 話し方の改善	50.29	10.17	639	0.057	-0.010	0.004	-0.090	-0.028	-0.092
Q9. 話し方の改善	49.67	9.65	639	-0.032	-0.095	0.104	0.040	-0.046	0.021
Q9. 話し方の改善	50.21	10.08	639	-0.040	-0.140	-0.042	0.023	-0.091	-0.011
Q9. 話し方の簡潔性の改善	49.81	9.89	639	0.039	-0.077	-0.109	-0.036	-0.016	-0.066
Q10. 講義内容量の適切性	49.83	10.08	694	-0.047	0.266	0.027	-0.022	0.130	0.188
Q10. 講義内容量の適切性	50.29	10.09	694	0.384*	0.537**	0.133	-0.095	0.418*	0.324*
Q10. 講義内容量の適切性	50.30	9.93	694	0.144	0.177	0.042	0.061	0.292	0.204
Q10. 要点提示の適切性	51.24	9.38	694	0.200	0.238	0.299	0.103	0.146	0.072
Q10. 要点提示の適切性	50.13	10.10	694	-0.146	0.102	0.171	0.064	0.016	0.240
Q10. 要点提示の適切性	50.00	10.23	694	-0.245	-0.129	0.363*	0.301*	-0.129	0.151
Q10. 図表提示の適切性	51.88	9.29	694	0.120	0.202	-0.073	-0.058	0.414*	0.367*
Q10. 印刷教材の適切性	49.86	9.98	694	0.014	0.177	0.103	0.027	0.223	0.125

(注: ** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 $\geq \# > -0.5$, -0.5 $\geq \#$)

表 4-2-1 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 2)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 6. 放送教材量的評定因子尺度				Q 6. 視覚素材利用度因子尺度			
				メディア活用度	視聴者考慮機会	印刷教材利用頻度	講義内容量の多さ	実資料素材利用度	黒板・図板・利用度	了ニメ・実験利用	
評定者：年齢	46.13	10.43	767	-0.008	0.036	-0.070	0.052	0.038	0.016	0.072	
評定者：性別 (男<女)	1.95	1.01	759	0.012	0.002	0.086	-0.102	-0.069	-0.051	-0.005	
評定者：性別 (男<女)	1.10	0.30	749	0.048	-0.035	-0.019	-0.042	0.009	-0.050	0.032	
メディア：V (V<F)	1.00	0.00	768								
メディア：文系 (文<理)	1.64	0.48	703	-0.249	-0.088	0.140	-0.019	-0.097	0.146	0.176	
Q2. 視聴分量 (多<少)	3.11	1.71	755	0.038	0.024	0.128	0.031	-0.013	-0.087	0.003	
Q3. 視聴質 (高<低)	1.80	0.67	742	0.018	0.067	0.119	-0.023	-0.030	-0.016	0.115	
Q4A. テレビ設備 (利<難)	1.57	0.59	744	0.024	-0.051	-0.039	0.072	0.005	0.002	0.039	
Q4B. ビデオ設備 (利<難)	1.43	0.59	760	0.004	-0.019	0.001	0.081	0.005	0.038	0.084	
Q4C. ラジオ設備 (利<難)	1.77	0.79	722	-0.003	-0.039	-0.009	-0.041	-0.012	-0.079	-0.013	
Q4D. テープ設備 (利<難)	1.65	0.74	734	-0.092	-0.040	0.046	-0.022	-0.068	-0.022	0.061	
Q5. 講義形式 (1人<他)	1.41	0.49	725	0.388*	0.140	-0.123	-0.039	0.127	-0.111	0.026	
Q13.1. 授業で全体的に利用	0.09	0.28	748	0.035	-0.031	0.016	0.014	0.022	0.019	0.118	
Q13.2. 授業資料として利用	0.71	0.45	748	0.044	-0.020	-0.085	-0.093	0.064	-0.061	0.032	
Q13.3. 研究室で利用	0.23	0.42	748	-0.033	0.005	0.197	0.054	-0.002	0.185	0.010	
Q13.4. 図書等自由利用	0.55	0.50	748	0.087	0.101	-0.026	0.017	0.047	0.005	0.000	
Q13.5. 利用しとわす	0.03	0.17	748	0.004	-0.057	0.004	-0.023	-0.062	-0.078	-0.097	
Q14. 想定単位数 (0~3)	1.41	1.02	631	-0.011	0.070	0.076	-0.035	0.095	0.004	0.035	
Q6A. 講師の登壇時間	2.20	0.81	755	0.715**	0.096	-0.018	-0.271	0.273	-0.163	0.121	
Q6B. 黒板等の利用頻度	2.84	0.96	746	0.196	-0.073	-0.208	-0.201	-0.019	-0.888##	-0.235	
Q6C. メモ等の利用頻度	3.88	0.95	680	-0.190	-0.201	-0.300#	0.020	-0.182	-0.305#	-0.934##	
Q6D. 図版等の利用頻度	2.93	0.91	734	-0.035	-0.137	-0.063	-0.078	-0.342#	-0.752##	-0.500##	
Q6E. VTR等の利用頻度	3.19	1.13	750	-0.731##	-0.247	0.031	0.038	-0.531##	-0.063	-0.229	
Q6F. 実験等の導入頻度	3.45	1.09	680	-0.373#	-0.246	-0.090	0.007	-0.559##	-0.458#	-0.708##	
Q6G. 寸法等の利用頻度	4.14	1.04	689	-0.653##	-0.243	-0.484#	0.064	-0.158	-0.294	-0.294	
Q6H. ゲストの登壇時間	3.54	1.05	738	-0.682##	-0.327#	-0.079	0.054	-0.342#	0.059	-0.174	
Q6I. 印刷教材の参照頻度	3.54	0.97	742	0.081	-0.239	-0.778##	-0.079	0.067	-0.168	-0.147	
Q6J. 演習問題の利用頻度	4.11	0.90	724	-0.235	-0.281	-0.853##	-0.043	-0.028	-0.108	-0.300#	
Q6K. 講義内容の分量	2.69	0.61	757	0.200	0.155	-0.164	-0.690##	0.051	-0.093	0.029	
Q6L. 内容の説明時間	2.60	0.75	754	0.415*	-0.260	0.056	-0.580##	-0.016	-0.183	0.004	
Q6M. 視聴者の考慮時間	3.61	0.80	760	-0.220	-0.795##	-0.351#	-0.003	-0.310#	-0.124	-0.200	
Q6N. 息抜きの時間	3.62	0.79	750	-0.288	-0.611##	0.002	0.346*	-0.265	0.055	-0.124	
Q6O. 1回の講義時間	2.93	0.48	750	-0.043	0.100	0.037	-0.706##	0.014	0.006	0.063	
Q6P. 質問の頻度	3.77	0.76	757	-0.331#	-0.729##	-0.344#	0.052	-0.256	-0.018	-0.211	
Q6Q. 実物資料の提示頻度	2.97	1.02	715	-0.327#	-0.336#	0.070	-0.034	-0.869##	-0.301#	-0.284	
Q6R. 証人の登壇頻度	3.79	0.97	707	-0.622##	-0.507##	-0.125	0.095	-0.563##	0.007	-0.280	
Q6S. 実地見学の頻度	3.37	1.08	667	-0.521##	-0.423#	0.046	0.067	-0.863##	0.030	-0.202	

(注：** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 \geq # $>$ -0.5, -0.5 \geq ##)

表 4-2-1 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 3)

因子尺度・項目				Q 6. 放送教材量の評定因子尺度			Q 6. 視覚素材利用度因子尺度			
平均値	標準偏差	有効数	メディア活用度	視聴者考慮機会	印刷教材利用頻度	講義内容量の多さ	実資料素材利用度	黒板・図利用度	アニメ・実験利用度	
Q7A. 講師の登場時間度	0.12	0.32	452	-0.091	0.002	-0.002	0.157	-0.035	-0.155	-0.131
Q7B. 黒板等の利用頻度	0.09	0.29	681	-0.032	0.003	0.015	-0.009	-0.071	-0.099	-0.055
Q7C. アニメ等の利用頻度	0.21	0.41	681	-0.046	0.009	0.050	0.001	-0.050	0.007	-0.028
Q7D. 図版の利用頻度	0.16	0.37	681	0.013	0.038	0.004	-0.038	0.043	-0.171	-0.086
Q7E. VTR等の利用頻度	0.17	0.38	681	-0.066	-0.066	-0.059	-0.015	-0.125	-0.090	-0.020
Q7F. 実験等の導入頻度	0.22	0.42	681	-0.100	-0.023	-0.062	-0.014	-0.068	0.061	0.051
Q7G. 寸劇等の利用頻度	0.04	0.18	681	0.044	-0.037	0.048	-0.019	-0.118	-0.043	-0.032
Q7H. ゲストの登場時間度	0.15	0.35	681	-0.055	-0.011	-0.018	-0.001	-0.055	-0.101	-0.031
Q7I. 印刷教材の参照頻度	0.14	0.35	681	0.040	-0.036	-0.063	-0.062	-0.010	-0.066	-0.024
Q7J. 演習問題の利用頻度	0.19	0.39	681	0.001	-0.077	0.093	-0.043	-0.097	0.038	0.082
Q7K. 講義内容の分量	0.14	0.34	681	0.017	-0.046	0.062	0.091	0.006	-0.016	0.021
Q7L. 内容の説明時	0.18	0.38	681	0.056	-0.139	0.043	-0.039	-0.048	-0.061	0.078
Q7M. 視聴者の考慮機会	0.28	0.45	681	0.016	-0.186	0.060	0.033	-0.089	-0.007	-0.009
Q7N. 息抜きの時間	0.20	0.40	681	-0.106	-0.139	0.092	0.162	-0.086	0.078	0.031
Q7O. 1 回の講義時間	0.09	0.29	681	0.075	-0.029	0.012	-0.003	0.037	-0.068	0.035
Q7P. 問いかけの頻度	0.29	0.45	681	0.060	-0.143	-0.059	0.004	-0.053	0.000	0.037
Q7Q. 実物の提示度	0.20	0.40	681	-0.152	-0.012	-0.021	0.016	-0.142	0.010	-0.071
Q7R. 証人の登場頻度	0.05	0.22	681	-0.026	-0.062	-0.006	-0.005	-0.028	-0.095	-0.123
Q7S. 実地見学	0.16	0.37	681	-0.046	0.029	-0.037	0.009	-0.067	-0.024	-0.011
Q7X. その他	0.22	0.41	681	-0.045	0.000	-0.088	0.101	-0.040	0.039	-0.043
Q8A. 講師の派遣感	3.48	0.69	757	-0.126	-0.118	-0.060	0.085	-0.017	0.000	-0.114
Q8B. 講師の清潔感	2.27	0.61	763	0.062	-0.106	0.031	-0.039	-0.132	-0.151	-0.045
Q8C. 講師の話しやすさ	2.83	0.79	761	-0.036	-0.273	-0.162	0.012	-0.219	-0.216	-0.257
Q8D. 講師の親しみやすさ	2.57	0.85	761	-0.093	-0.269	0.044	0.036	-0.283	-0.147	-0.186
Q8E. 講師の暖かさ	2.52	0.78	760	-0.095	-0.282	0.097	0.009	-0.298	-0.128	-0.150
Q8F. 講師の厳しさ	3.13	0.71	758	0.175	-0.038	-0.269	-0.085	0.151	-0.116	-0.017
Q8G. 講師の緊張度	3.14	0.80	759	-0.048	0.092	-0.072	-0.005	0.125	0.039	0.061
Q8H. 話すスピード	3.20	0.64	760	0.064	0.128	-0.166	-0.050	0.180	0.024	0.020
Q8I. 話し方の明瞭さ	2.45	0.72	761	0.056	-0.207	-0.117	-0.056	-0.097	-0.087	-0.092
Q8J. 言葉遣いの硬さ	3.01	0.77	762	0.060	0.223	-0.093	-0.066	0.234	0.049	0.082
Q8K. 間の取り方	2.79	0.71	763	-0.067	-0.279	-0.017	0.037	-0.207	-0.134	-0.152
Q8L. 表現力の豊かさ	2.85	0.77	762	-0.076	-0.330#	-0.057	-0.036	-0.243	-0.124	-0.235
Q8M. コーモア	3.38	0.79	762	-0.190	-0.353#	-0.067	0.034	-0.261	-0.098	-0.271
Q8N. 説得力	2.55	0.75	764	0.017	-0.264	-0.163	-0.093	-0.226	-0.203	-0.193
Q8O. わかりやすさ	2.46	0.75	763	-0.111	-0.330#	-0.001	-0.019	-0.294	-0.121	-0.193
Q8P. 技術の巧みさ	2.92	0.74	763	-0.082	-0.332#	-0.084	-0.020	-0.239	-0.092	-0.196
Q8Q. まわくどさ	3.46	0.72	761	-0.078	0.075	-0.015	-0.002	0.075	0.169	0.067
Q8R. すっきりさ	2.54	0.77	763	-0.024	-0.214	-0.156	0.005	-0.157	-0.187	-0.141
Q8S. 素材提示の適切性	2.50	0.77	763	-0.107	-0.225	-0.020	-0.068	-0.317#	-0.277	-0.242

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4-2-1 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 4)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 6. 放送教材量の評定因子尺度				Q 6. 視覚素材利用度因子尺度			
				メディア活用度	視聴者考慮機会	印刷教材利用頻度	講義内容量の多さ	実資料素材利用度	黒板・図利用度	了ニメ・実験利用度	
Q9A. 講師の派手さ	0.01	0.12	421	-0.011	0.044	-0.033	-0.031	0.015	-0.028	-0.064	
Q9B. 講師の清潔感	0.04	0.19	639	0.076	0.144	0.106	-0.069	0.021	-0.079	-0.008	
Q9C. 講師の活動性	0.14	0.34	639	0.116	-0.009	-0.019	-0.014	-0.060	-0.100	-0.033	
Q9D. 講師の親しみやすさ	0.24	0.43	639	-0.021	-0.049	0.134	0.011	-0.096	-0.048	0.031	
Q9E. 講師の暖かさ	0.08	0.28	639	0.038	-0.017	0.155	-0.001	-0.085	-0.057	0.063	
Q9F. 講師の厳しさ	0.03	0.16	639	0.048	0.065	0.082	-0.059	-0.060	-0.046	0.020	
Q9G. 講師の緊張度	0.10	0.30	639	0.020	-0.038	-0.057	-0.044	0.010	-0.058	0.011	
Q9H. 話し方の明瞭さ	0.15	0.36	639	-0.026	-0.088	0.095	0.009	-0.115	-0.022	0.016	
Q9I. 話し方の硬さ	0.16	0.37	639	0.092	0.029	0.046	-0.126	0.035	0.015	0.066	
Q9J. 言葉遣いの硬さ	0.11	0.32	639	-0.029	-0.081	0.002	-0.013	-0.052	-0.068	0.015	
Q9K. 間の取り方	0.17	0.38	639	-0.050	-0.065	0.064	0.053	0.016	0.035	0.039	
Q9L. 表現力の豊さ	0.20	0.40	639	-0.002	-0.059	-0.040	-0.018	-0.047	-0.028	0.003	
Q9M. ユーモア	0.40	0.49	639	-0.090	-0.077	0.037	0.070	-0.050	0.091	-0.003	
Q9N. 説得力	0.18	0.38	639	0.066	-0.011	-0.020	-0.073	-0.012	-0.131	-0.049	
Q9O. わかりやすさ	0.21	0.41	639	-0.050	-0.081	0.059	0.067	-0.044	0.001	-0.020	
Q9P. 技術の巧みさ	0.17	0.37	639	0.029	-0.102	-0.095	-0.007	-0.068	-0.054	-0.067	
Q9Q. まわりくどさ	0.05	0.23	639	-0.048	-0.094	-0.084	-0.014	-0.083	-0.089	-0.093	
Q9R. すっきりさ	0.08	0.28	639	0.036	-0.059	-0.095	0.017	0.014	-0.001	0.037	
Q9S. 教材提示の適切性	0.23	0.42	639	-0.034	-0.007	0.010	-0.075	-0.068	-0.102	-0.013	
Q9X. その他	0.14	0.35	639	0.015	0.041	-0.134	0.069	0.058	0.121	0.016	
(1) 内容の範囲は適切	2.18	0.88	758	0.015	-0.161	-0.022	-0.079	-0.087	-0.152	-0.145	
(2) 内容が専門的	2.71	0.98	761	0.264	0.080	-0.205	-0.232	0.066	-0.221	-0.055	
(3) 単位の見合った内容	2.42	0.85	744	0.031	-0.132	-0.089	-0.040	-0.052	-0.189	-0.123	
(4) 面白い番組	2.42	0.93	759	-0.249	-0.228	-0.041	0.031	-0.305#	-0.198	-0.251	
(5) 役に立つ番組	2.00	0.76	758	0.008	-0.081	-0.087	-0.067	-0.079	-0.181	-0.097	
(6) わかりやすい番組	2.44	0.90	756	-0.216	-0.317#	0.074	0.093	-0.266	-0.018	-0.147	
(7) 講義が最初で適切	2.38	0.88	755	-0.021	-0.164	-0.115	-0.038	-0.070	-0.125	-0.111	
(8) 主要なポイントが明確	2.41	0.84	756	-0.033	-0.182	-0.136	-0.045	-0.145	-0.186	-0.154	
(9) 重要な情報が適量	2.47	0.90	759	-0.002	-0.209	-0.185	0.003	-0.116	-0.187	-0.188	
(10) 慌ただしい様子	2.93	0.87	757	-0.201	-0.340#	-0.057	0.095	-0.324#	-0.155	-0.236	
(11) 1 回の講義が適切	2.54	0.90	756	-0.011	-0.218	0.053	0.063	-0.159	-0.130	-0.163	
(12) 視聴者の理解を助ける工夫	2.81	0.90	755	-0.200	-0.341#	-0.079	0.041	-0.292	-0.124	-0.299	
(13) 視聴者の疑問への配慮	3.18	0.86	759	-0.221	-0.483#	-0.226	0.029	-0.267	-0.057	-0.266	
(14) 視聴者の疑問への配慮	2.92	0.86	758	-0.130	-0.343#	-0.091	-0.033	-0.218	-0.133	-0.183	
(15) 内容が盛りだくさん	2.61	0.85	754	0.058	0.063	-0.215	-0.281	-0.031	-0.143	-0.033	

(注: ** ≥ 0.5 , 0.5 $> * \geq 0.3$, -0.3 $\geq \# > -0.5$, -0.5 $\geq \#$)

表 4-2-1 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 5)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 6. 放送教材量の評定因子尺度				Q 6. 視覚素材利用度因子尺度			
				メディア活用度	視聴者考慮機会	印刷教材利用頻度	講義内容量の多さ	実資料素材利用度	黒板・図利用度	アニメ・実験利用度	
(16) 利用メディアの特性活用	2.63	1.02	754	-0.392#	-0.249	0.002	-0.010	-0.439#	-0.209	-0.318#	
(17) 視聴者が適切な活用	3.14	0.80	750	-0.270	-0.439#	-0.154	0.024	-0.283	-0.064	-0.233	
(18) 新しい概念の導入	2.53	0.81	750	-0.030	-0.164	-0.122	-0.015	-0.166	-0.138	-0.191	
(19) 具体例が適切	2.37	0.88	755	-0.304#	-0.224	0.051	-0.021	-0.464#	-0.178	-0.260	
(20) 講義の流れが変化小	3.12	0.93	755	-0.176	0.237	-0.036	-0.059	0.272	0.112	0.149	
(21) 必要以上に専門用語有	3.50	0.76	755	0.031	0.066	-0.133	-0.058	0.057	-0.009	-0.044	
(22) 印刷教材と適切に関連	2.51	0.87	752	0.169	-0.002	-0.104	-0.036	0.012	-0.134	-0.009	
(23) 図表などが適切な利用	2.42	0.87	753	0.040	-0.121	-0.056	-0.036	-0.285	-0.484#	-0.362#	
(24) 図表が実用的	2.80	0.91	756	-0.227	-0.254	-0.256	0.001	-0.211	-0.166	-0.233	
(25) 内容のレベルは適切	2.48	0.89	756	-0.096	-0.198	0.049	-0.011	-0.175	-0.038	-0.125	
(26) 講義の進捗は適当	2.47	0.81	754	-0.071	-0.271	0.026	0.032	-0.136	-0.058	-0.125	
(27) 1回の講義時間が適切	2.41	0.88	757	0.030	-0.163	0.054	0.104	-0.096	-0.122	-0.073	
(28) 中途の息抜きが適切	3.20	0.90	754	-0.201	-0.341#	0.069	0.245	-0.176	-0.025	-0.141	
(29) カリキュラムは適切	2.45	0.79	754	-0.009	-0.168	-0.068	-0.026	-0.134	-0.212	-0.141	
(30) 興味深い番組	2.02	0.84	760	-0.060	-0.174	-0.070	-0.056	-0.209	-0.193	-0.144	
(31) 何らかの活用価値有	1.73	0.74	761	-0.018	-0.122	-0.120	-0.066	-0.150	-0.164	-0.130	
(32) 生活に密着した題材利用可	2.56	0.93	755	-0.276	-0.254	0.030	-0.039	-0.295	-0.038	-0.094	
(33) 時事を題材に底義	2.50	0.83	755	-0.167	-0.222	-0.042	-0.039	-0.256	-0.122	-0.228	
(34) 実社会が身につく講義	2.75	0.99	754	-0.077	-0.148	-0.338#	-0.109	-0.035	-0.159	-0.124	
(35) 基本	2.23	0.83	761	0.058	-0.164	-0.053	-0.035	-0.100	-0.234	-0.181	
(36) 一般大学にない内容有	2.64	0.93	758	-0.141	-0.097	-0.123	-0.127	-0.149	-0.026	-0.095	
(37) 講師の進捗は適切な	2.04	0.90	757	0.062	-0.187	-0.116	-0.028	-0.181	-0.213	-0.181	
(38) 講義の進捗は適切な	3.19	0.77	757	0.044	0.158	-0.213	-0.167	0.118	0.031	0.054	
(39) 講義の分量は適当	2.59	0.86	755	-0.019	-0.241	-0.027	0.001	-0.130	-0.137	-0.140	
(40) 図表などの提示に工夫	2.62	0.90	753	-0.097	-0.271	-0.087	-0.017	-0.361#	-0.405#	-0.377#	
(41) 印刷教材が充実	2.74	0.84	756	-0.017	-0.211	-0.124	0.003	-0.214	-0.135	-0.164	
(42) 改善の余地が大きい番組	3.19	1.00	757	0.127	0.283	0.069	-0.049	0.266	0.200	0.218	
(43) 印刷教材も少くも活用	2.94	0.87	755	0.028	0.198	0.033	0.022	0.219	0.132	0.172	
(44) 印刷教材の演習に工夫	3.54	0.88	747	-0.204	-0.279	-0.337#	-0.067	-0.108	0.017	-0.180	
(45) 学習ペースが適当	2.53	0.75	747	0.010	-0.166	-0.054	-0.019	-0.099	-0.144	-0.108	
(46) 全体的に満足な番組	2.23	0.88	758	-0.065	-0.214	-0.087	-0.009	-0.225	-0.194	-0.223	

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4-2-2 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 2)

因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効度数	Q 7. 放送教材量の改善点因子尺度				Q 7. 視覚素材利用度改善尺度			
				内容量の改善	ゲスト利用度改善	息抜き時間の改善	問いかけ頻度改善	講師登場時間改善	実資料素材利用度	黒板・図版利用度	了ニメ・実験利用
評定者：年齢	46.13	10.43	767	-0.024	0.023	-0.050	0.071	-0.002	0.082	-0.006	0.006
評定者：性別 (男 < 女)	1.95	1.01	759	0.091	-0.058	0.004	-0.143	-0.031	-0.043	0.049	-0.019
評定者：性別 (T < F M)	1.10	0.30	749	0.042	0.018	0.068	-0.050	0.017	0.018	-0.038	-0.095
メデアイア系 (V < F M)	1.00	0.00	768								
理系・文系 (文 < 理)	1.64	0.48	703	-0.011	-0.176	-0.034	0.048	0.045	0.004	-0.047	0.138
Q2. 視聴分量 (多 < 少)	3.11	1.71	755	0.030	0.046	0.081	-0.100	0.063	0.001	0.090	-0.052
Q3. 視聴質 (高 < 低)	1.80	0.67	762	0.012	0.050	0.053	-0.011	0.034	0.024	0.001	0.021
Q4A. テレビ設備 (利 < 難)	1.57	0.69	744	0.043	-0.077	0.012	0.082	0.073	-0.021	0.001	-0.004
Q4B. ビデオ設備 (利 < 難)	1.43	0.59	760	0.026	-0.045	0.035	0.042	0.036	-0.100	-0.018	-0.003
Q4C. ラジオ設備 (利 < 難)	1.77	0.79	722	0.035	-0.050	0.059	0.035	-0.019	-0.006	0.018	-0.004
Q4D. テーブ設備 (利 < 難)	1.65	0.74	734	0.080	-0.053	0.032	0.045	0.013	-0.013	0.064	0.043
Q5. 講義形式 (1 人 < 他)	1.41	0.49	725	-0.024	-0.035	-0.049	0.087	0.053	-0.037	-0.103	0.021
Q13.1. 授業で全体的に利用	0.09	0.28	748	-0.028	-0.022	0.027	0.066	-0.004	-0.016	-0.056	-0.035
Q13.2. 授業資料として利用	0.71	0.45	748	-0.018	0.067	-0.169	0.008	-0.006	0.086	-0.002	0.028
Q13.3. 研究室等での利用	0.23	0.42	748	-0.040	-0.096	0.053	-0.029	0.012	-0.109	-0.011	-0.075
Q13.4. 図書室等での利用	0.55	0.50	748	-0.066	0.040	-0.003	0.022	0.023	0.027	0.027	0.025
Q13.5. 利用したいと思う	0.03	0.17	748	-0.026	-0.022	0.054	0.020	-0.010	0.014	-0.015	-0.030
Q14. 規定単位数 (0 ~ 3)	1.41	1.02	631	-0.085	-0.020	0.025	0.078	0.044	-0.021	-0.024	-0.044
Q6A. 講師の登場時間	2.20	0.81	755	0.086	-0.119	-0.094	0.084	-0.075	-0.090	-0.019	-0.121
Q6B. 黒板等の利用度	2.84	0.96	746	0.063	0.154	-0.129	0.023	0.004	0.009	0.130	-0.071
Q6C. アニメ等の利用度	3.88	0.95	680	-0.031	0.099	-0.029	-0.049	-0.040	0.002	0.079	0.012
Q6D. 図版の利用度	2.93	0.91	734	-0.014	0.041	0.038	0.054	0.049	-0.064	0.177	-0.046
Q6E. VTR 等の利用度	3.19	1.13	750	0.014	0.069	0.141	-0.047	0.077	0.170	0.088	0.093
Q6F. 実験等の導入頻度	3.45	1.09	680	0.039	0.142	0.102	-0.058	0.067	0.065	0.121	-0.026
Q6G. 寸劇等の登場頻度	4.14	1.04	689	-0.033	0.002	0.097	0.059	-0.078	0.097	0.019	0.008
Q6H. ゲストの登場時間	3.54	1.05	738	0.023	-0.007	0.103	-0.046	0.028	0.066	0.065	0.041
Q6I. 印刷教材の参照頻度	3.54	0.97	742	0.057	0.034	-0.119	0.108	-0.007	-0.003	-0.035	-0.018
Q6J. 演習問題の利用頻度	4.11	0.90	724	-0.029	0.048	-0.117	0.055	-0.060	0.055	-0.005	-0.021
Q6K. 講義内容の分量	2.69	0.61	757	-0.101	0.085	-0.107	-0.028	0.069	0.007	0.005	-0.003
Q6L. 内容の説明時間	2.60	0.75	754	0.114	-0.049	-0.049	0.087	0.020	-0.054	0.021	0.018
Q6M. 視聴者の考慮時間	3.61	0.80	760	-0.003	0.080	0.176	0.116	0.089	0.036	0.009	0.019
Q6N. 息抜きの時間	3.62	0.79	750	-0.032	0.079	0.242	-0.017	-0.009	0.051	0.003	-0.054
Q6O. 1 回の講義時間	2.93	0.48	750	0.094	-0.078	-0.097	0.051	0.082	-0.024	-0.025	-0.007
Q6P. 問いかけの頻度	3.77	0.76	757	-0.049	0.105	0.199	0.109	0.096	0.015	-0.015	-0.022
Q6Q. 実物資料の提示頻度	2.97	1.02	715	0.048	0.128	0.149	-0.037	0.128	0.139	0.092	0.076
Q6R. 証人の登場頻度	3.79	0.97	707	-0.023	-0.025	0.090	-0.034	0.065	0.062	-0.037	0.013
Q6S. 実地見学シーンの頻度	3.37	1.08	667	-0.052	0.084	0.137	-0.067	0.012	0.126	-0.026	0.050

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表4-2-2 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 3)

因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効度数	Q 7. 放送教材量的改善点因子尺度				Q 7. 視覚素材利用度改善尺度			
				内容量の改善	ゲスト利用度改善	息抜き時間の改善	問いかけ頻度改善	講師登場時間改善	実資料素材利用度	黒板・図版利用度	アニメ・実験利用
Q7A. 講師の登場時間	0.12	0.32	452	0.291	0.324*	0.039	-0.138	0.482*	0.042	0.158	0.033
Q7B. 黒板等の利用頻度	0.09	0.29	681	0.058	0.067	-0.087	0.012	0.041	-0.131	0.823**	0.033
Q7C. アニメ等の利用頻度	0.21	0.41	681	-0.065	0.091	-0.017	-0.069	-0.048	0.021	0.051	0.935**
Q7D. 図版の利用頻度	0.16	0.37	681	0.114	0.117	-0.148	-0.069	0.015	0.287	0.739**	0.025
Q7E. VTR等の利用頻度	0.17	0.38	681	0.337*	0.610**	-0.065	-0.191	-0.123	0.254	0.085	0.137
Q7F. 実験等の導入頻度	0.22	0.42	681	0.076	0.006	-0.157	-0.036	-0.042	0.555**	-0.019	0.460*
Q7G. 黒板等の利用頻度	0.04	0.18	681	0.007	0.114	0.252	-0.530**	0.194	-0.003	0.023	0.116
Q7H. アニメ等の利用頻度	0.15	0.35	681	-0.104	0.672**	0.051	0.032	0.096	0.018	0.075	0.037
Q7I. 印刷教材の参照頻度	0.14	0.35	681	0.148	-0.091	0.025	0.525**	0.139	0.019	0.091	0.025
Q7J. 演習問題の利用頻度	0.19	0.39	681	-0.098	-0.232	-0.015	0.243	0.726**	-0.057	-0.071	-0.085
Q7K. 講義内容の分量	0.14	0.34	681	0.720**	-0.050	0.029	0.067	-0.118	0.001	0.040	-0.047
Q7L. 内容の説明時間	0.18	0.38	681	0.506**	-0.078	-0.049	0.152	0.305*	-0.055	0.104	-0.042
Q7M. 視聴者の考慮時間	0.28	0.45	681	0.008	0.100	0.670**	0.368*	0.106	-0.076	-0.069	-0.093
Q7N. 息抜きの時間	0.20	0.40	681	-0.043	-0.000	0.753**	-0.199	-0.059	-0.111	-0.070	0.000
Q7O. 1回の講義時間	0.09	0.29	681	0.895**	0.043	-0.114	-0.155	0.014	-0.040	0.016	-0.000
Q7P. 問いかけの頻度	0.29	0.45	681	-0.184	0.118	0.301*	0.618**	0.294	-0.069	-0.073	-0.024
Q7Q. 実物資料の提示頻度	0.20	0.40	681	-0.231	0.145	-0.032	0.063	-0.077	0.797**	0.138	-0.019
Q7R. 証人の登場シーン	0.05	0.22	681	-0.008	0.552**	0.129	-0.020	-0.218	0.044	0.050	-0.057
Q7S. 実地の見学	0.16	0.37	681	-0.020	0.144	-0.102	-0.143	-0.062	0.628**	-0.023	0.046
Q7X. その他	0.22	0.41	681	-0.047	-0.096	-0.159	-0.044	-0.103	-0.105	-0.071	-0.075
Q8A. 講師の派手さ	3.48	0.69	757	-0.026	0.073	0.094	-0.028	0.030	-0.089	-0.028	-0.008
Q8B. 講師の清聴感	2.27	0.61	763	0.123	-0.037	-0.094	-0.022	0.082	-0.008	-0.018	-0.021
Q8C. 講師の活動性	2.83	0.79	761	0.015	0.102	0.029	-0.027	0.031	0.037	0.039	0.048
Q8D. 講師の親しみさ	2.57	0.85	761	0.061	-0.015	0.042	-0.013	0.069	-0.024	0.097	0.065
Q8E. 講師の暖かさ	2.52	0.78	760	0.070	-0.020	0.056	-0.007	0.090	-0.024	0.079	0.023
Q8F. 講師の厳しさ	3.13	0.71	758	0.069	0.039	-0.090	0.003	0.007	0.015	-0.102	-0.081
Q8G. 講師の緊張の度合	3.14	0.80	759	-0.070	0.010	-0.023	-0.019	0.026	0.032	-0.077	-0.093
Q8H. 話し方の丁寧さ	3.20	0.64	760	-0.041	0.072	-0.088	-0.028	-0.119	0.061	-0.085	0.061
Q8I. 話し方の明瞭さ	2.45	0.72	761	0.137	0.035	-0.091	0.026	0.028	0.026	-0.003	0.012
Q8J. 言葉遣いの硬さ	3.01	0.77	762	-0.134	-0.056	-0.058	0.062	-0.061	0.055	-0.113	-0.082
Q8K. 問の取り方	2.79	0.71	763	0.084	-0.010	0.156	0.067	0.089	-0.047	0.037	0.069
Q8L. 表現力の豊さ	2.85	0.77	762	0.054	0.078	0.120	-0.009	-0.014	0.021	-0.030	-0.002
Q8M. エッセイ	3.58	0.79	762	0.039	0.060	0.153	-0.075	0.025	-0.017	0.052	0.092
Q8N. 説得力	2.55	0.75	764	0.105	0.012	0.012	0.032	0.129	0.039	0.074	0.080
Q8O. わかりやすさ	2.46	0.75	763	0.160	0.000	0.073	0.037	0.106	0.001	0.081	0.036
Q8P. 技術の巧みさ	2.92	0.74	763	0.132	0.060	0.037	-0.014	-0.029	0.012	0.020	0.070
Q8Q. まわりのくどさ	3.46	0.72	761	-0.127	-0.077	0.010	-0.084	-0.054	-0.031	-0.053	-0.075
Q8R. すっきりさ	2.54	0.77	763	0.164	0.081	-0.006	0.043	0.088	0.055	0.047	0.097
Q8S. 素材提示の適切性	2.50	0.77	763	0.105	0.126	0.076	0.025	0.185	0.088	0.133	0.080

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4-2-2 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 4)

因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効度数	Q 7. 放送教材量的改善点因子尺度				Q 7. 視覚素材利用度改善尺度			
				内容量の改善	ゲスト利用度改善	息抜き時間の改善	問いかけ頻度改善	講師登場時間改善	実資料素材利用度	黒板・図版利用度	了ニメ・実験利用
Q9A. 講師の派手さ	0.01	0.12	421	-0.042	0.006	-0.022	-0.065	0.085	0.052	0.022	0.070
Q9B. 講師の清潔感	0.04	0.19	639	0.098	0.007	-0.079	-0.006	-0.001	0.039	0.008	-0.019
Q9C. 講師の活動性	0.14	0.34	639	0.051	0.051	-0.009	0.058	0.044	0.054	0.024	0.105
Q9D. 講師の親しみやすさ	0.24	0.43	639	0.059	0.093	0.033	0.017	0.071	0.077	0.080	0.103
Q9E. 講師の暖かさ	0.08	0.28	639	0.114	0.061	0.129	0.018	0.125	0.033	0.044	0.085
Q9F. 講師の厳しさ	0.03	0.16	639	-0.049	-0.059	0.080	0.092	0.081	0.034	0.015	-0.049
Q9G. 講師の緊張度	0.10	0.30	639	0.064	-0.040	0.094	-0.051	0.021	-0.025	-0.054	0.048
Q9H. 講師のスピード	0.15	0.36	639	0.270	0.007	0.091	0.043	0.051	-0.015	0.170	0.055
Q9I. 話し方の明瞭さ	0.16	0.37	639	0.128	0.039	-0.103	0.078	0.065	0.044	0.065	0.011
Q9J. 言葉遣いの硬さ	0.11	0.32	639	0.018	0.048	0.018	0.041	0.076	-0.009	0.055	0.032
Q9K. 間の取り方	0.17	0.38	639	0.071	-0.060	0.147	0.083	0.033	-0.052	0.078	0.046
Q9L. 表現力の豊さ	0.20	0.40	639	0.206	0.103	-0.035	-0.023	0.041	0.115	-0.004	-0.005
Q9M. エンタメ性	0.40	0.49	639	-0.108	0.089	0.186	-0.065	-0.021	0.049	0.020	0.112
Q9N. 説得力	0.18	0.38	639	0.073	0.074	-0.061	0.004	0.038	0.054	0.129	-0.059
Q9O. わかりやすさ	0.21	0.41	639	0.172	-0.001	-0.021	0.040	0.057	0.113	0.053	0.010
Q9P. 技術の巧みさ	0.17	0.37	639	0.047	0.038	-0.000	0.038	0.095	0.086	-0.022	0.053
Q9Q. まわりのきこえ	0.05	0.23	639	0.101	0.055	-0.026	0.047	0.156	-0.012	0.069	0.021
Q9R. 素材提示の適切性	0.08	0.28	639	0.107	-0.016	-0.082	0.071	0.026	-0.008	-0.011	0.092
Q9S. その他	0.23	0.42	639	0.114	0.060	-0.126	0.056	0.075	0.191	0.179	0.018
Q9X. その他	0.14	0.35	639	0.003	-0.009	-0.014	0.016	-0.086	-0.076	-0.086	-0.068
(1) 内容の範囲は適切	2.18	0.88	758	0.197	-0.009	0.014	0.037	0.032	-0.002	0.028	-0.000
(2) 内容が専門的だった内容	2.71	0.98	761	-0.002	-0.015	-0.074	0.069	0.055	-0.001	-0.089	-0.059
(3) 内容が面白かった内容	2.42	0.85	744	0.179	-0.036	-0.013	0.095	0.059	0.023	0.010	0.005
(4) 面白い番組	2.42	0.93	759	0.060	0.060	0.042	-0.029	0.150	0.073	0.087	0.122
(5) 役に立ちたい番組	2.00	0.76	758	0.028	0.053	0.025	0.070	0.087	0.044	0.027	0.078
(6) わかりやすい番組	2.44	0.90	756	0.104	-0.023	0.108	0.046	0.108	-0.021	0.024	0.059
(7) 講義が最初で適切	2.38	0.88	755	0.108	0.102	0.042	0.142	-0.005	0.032	0.070	0.065
(8) 講義が最初で適切	2.41	0.84	756	0.138	0.131	0.003	0.072	0.062	0.022	0.109	0.064
(9) 重要なポイントが適切	2.47	0.90	759	0.137	0.083	0.038	0.094	0.092	0.015	0.106	0.058
(10) 流れに適切な緩急	2.93	0.87	757	0.069	0.131	0.164	0.033	0.087	0.007	0.039	0.066
(11) 1 回の講義情報量適切	2.54	0.90	756	0.345*	0.022	-0.003	-0.049	-0.008	-0.006	0.015	0.031
(12) 視聴者の動きが適切	2.81	0.90	755	0.047	0.147	0.110	-0.038	0.038	0.029	0.088	0.096
(13) 視聴者の動きが適切	3.18	0.86	759	0.009	0.072	0.174	0.035	0.115	0.031	0.016	0.036
(14) 視聴者の動きが適切	2.92	0.86	758	0.126	0.033	0.110	0.066	0.081	0.009	-0.010	0.064
(15) 内容が盛りだくさん	2.61	0.85	754	-0.033	0.120	-0.140	-0.041	0.104	0.008	-0.014	0.006

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-2-2 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 5)

因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効度数	Q 7. 放送教材量の改善点因子尺度				Q 7. 視覚素材利用度改善尺度			
				内容量の改善	ゲスト利用度改善	息抜き時間の改善	問いかけ頻度改善	講師登場時間改善	実資料素材利用度	黒板・図版利用度	アニメ・実験利用度
(16) 利用メディアの特性が適切	2.63	1.02	754	0.028	0.164	0.067	-0.057	0.115	0.122	0.121	0.161
(17) 視聴者の問いが適切	3.14	0.80	750	0.021	0.186	0.210	0.084	0.097	-0.007	0.035	0.027
(18) 新しい概念の導入が適切	2.53	0.81	750	0.035	0.083	0.080	0.078	0.051	-0.009	-0.001	-0.028
(19) 具体例が適切	2.37	0.88	755	0.046	0.052	0.046	-0.060	0.096	0.142	0.113	0.117
(20) 講義の流れに変化が適切	3.12	0.93	755	-0.065	-0.123	-0.057	0.051	-0.054	-0.077	-0.037	-0.154
(21) 必要以上に専門用語が適切	3.50	0.76	755	-0.067	-0.058	0.026	-0.037	-0.035	-0.055	-0.073	-0.143
(22) 図表などが適切	2.51	0.87	752	0.093	0.074	-0.039	0.171	0.160	-0.037	0.056	-0.002
(23) 図表が実用的	2.42	0.87	753	0.053	0.079	-0.018	0.051	0.145	0.011	0.204	0.033
(24) 内容が適切	2.80	0.91	756	0.039	0.045	-0.028	0.082	0.009	0.070	0.053	0.072
(25) 内容のレベルが適切	2.48	0.89	756	0.195	0.009	-0.006	-0.002	0.037	-0.048	0.072	-0.005
(26) 講義の進度は適切	2.47	0.81	754	0.296	-0.049	0.099	0.001	0.087	-0.024	0.009	0.024
(27) 1回の講義時間が適切	2.41	0.88	757	0.402*	0.037	0.039	-0.087	0.007	-0.001	0.002	0.036
(28) 中途の息抜きが適切	3.20	0.90	754	0.065	0.008	0.268	-0.078	0.014	-0.063	0.022	-0.021
(29) カリキュラムが適切	2.45	0.79	754	0.154	0.047	0.009	-0.018	0.034	0.043	0.033	0.014
(30) 興味深い番組	2.02	0.84	760	0.110	0.062	0.084	0.004	0.162	0.102	0.073	0.072
(31) 何らかの利用価値が適切	1.73	0.74	761	0.121	0.056	0.057	-0.007	0.061	0.039	0.071	0.038
(32) 生活に密着した題材が適切	2.56	0.93	755	0.017	-0.041	0.098	0.038	0.081	0.018	0.054	0.104
(33) 時宜を考慮した題材が適切	2.50	0.83	755	0.065	-0.002	0.029	-0.033	0.045	0.094	0.069	-0.019
(34) 実社会が適切	2.75	0.99	754	0.008	-0.001	-0.070	0.047	-0.042	0.067	-0.018	0.068
(35) 基本	2.23	0.83	761	0.105	-0.081	0.013	0.032	0.049	-0.066	-0.017	-0.003
(36) 一般大学にない内容が適切	2.64	0.93	758	0.040	0.051	0.001	-0.005	0.114	0.064	0.055	0.045
(37) 講師の進捗が適切	2.04	0.90	757	0.108	0.126	0.014	-0.024	0.140	0.025	0.109	0.029
(38) 講義の進捗が適切	3.19	0.77	757	-0.061	0.099	-0.139	-0.098	0.020	0.083	-0.008	0.012
(39) 全体が適切	2.59	0.86	755	0.331*	-0.059	0.001	-0.004	0.029	-0.031	0.002	-0.024
(40) 図表などが適切	2.62	0.90	753	0.024	0.094	0.067	0.026	0.179	0.027	0.118	0.053
(41) 印刷教材が豊富	2.74	0.84	756	-0.001	0.068	-0.026	0.094	0.128	0.026	0.031	0.090
(42) 改善の余地が適切	3.19	1.00	757	-0.144	-0.128	-0.031	-0.064	-0.188	-0.055	-0.079	-0.131
(43) 印刷教材の演習が適切	2.94	0.87	755	-0.043	-0.136	0.038	-0.117	-0.053	-0.075	-0.067	-0.080
(44) 印刷教材の演習が適切	3.54	0.88	747	0.034	0.042	-0.035	-0.036	0.004	0.040	-0.073	0.014
(45) 学習ペースが適切	2.53	0.75	747	0.155	0.014	-0.053	0.039	0.097	0.008	0.066	-0.051
(46) 全体的に満足が適切	2.23	0.88	758	0.171	0.029	0.006	0.009	0.159	0.079	0.108	0.063

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-2-3 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 1)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q.8. 講師の印象評定因子尺度			Q.8. 講師話し方評定因子尺度		
				講師親しみやすさ	講師の堅さ	講師の派手さ	明解な話し方	面白がる話し方	話し方の速さ
Q6. メディアの特性の活用度	51.03	9.48	642	0.036	-0.123	0.148	0.036	0.180	-0.066
Q6. 視聴者の考慮機会の頻度	50.07	9.71	642	0.303*	0.013	0.162	0.325*	0.375*	-0.130
Q6. 印刷教材利用度	49.09	9.97	642	0.005	0.276	0.113	0.146	-0.006	0.201
Q6. 講義内容量の多さ	49.88	9.52	642	0.001	0.071	-0.092	0.071	-0.035	0.076
Q6. 実資料・図版利用頻度	50.00	10.00	579	0.298	-0.146	0.055	0.259	0.302*	-0.177
Q6. 黒板・図版利用頻度	50.00	10.00	579	0.213	0.113	0.024	0.206	0.056	0.011
Q6. アニメ・実験導入頻度	50.00	10.00	579	0.206	0.011	0.170	0.227	0.243	0.001
Q7. 講義内容量の多さ改善	50.25	10.18	452	-0.096	-0.025	0.061	-0.139	-0.049	0.143
Q7. フォト等の活用改善	50.45	10.39	452	-0.009	-0.052	-0.105	-0.049	-0.043	0.072
Q7. 黒板・図版利用改善	49.23	9.59	452	-0.004	0.092	-0.123	-0.013	-0.150	-0.101
Q7. 黒板・図版利用改善	49.41	9.58	452	0.020	0.013	0.021	-0.043	0.102	0.094
Q7. 講師登場時間の改善	49.80	9.78	452	-0.087	-0.019	0.000	-0.089	0.010	0.016
Q7. 実資料・図版利用改善	51.26	10.73	681	0.015	-0.034	0.051	-0.052	0.050	0.085
Q7. 黒板・図版利用改善	50.86	10.89	681	-0.066	0.112	-0.011	-0.038	-0.060	0.091
Q7. アニメ・実験導入改善	51.21	10.77	681	-0.041	0.100	-0.029	-0.051	-0.070	-0.060
Q8. 講師の親しみやすさ	49.93	10.01	752	1.000	-0.075	0.133	0.632**	0.571**	-0.126
Q8. 講師の堅さ	50.54	9.90	752	-0.075	1.000	0.046	0.077	-0.251	0.234
Q8. 講師の派手さ	50.43	9.61	752	0.133	0.046	1.000	0.079	0.311*	0.213
Q8. 明解な話し方	49.84	9.76	753	0.632**	0.077	0.079	1.000	0.381*	-0.028
Q8. 面白がる話し方	49.91	10.15	753	0.571**	-0.251	0.311*	0.381*	1.000	-0.098
Q8. 話し方の堅さ	49.81	9.67	753	-0.329#	0.275	0.063	-0.310#	-0.197	0.228
Q8. 話し方の速さ	50.52	9.51	753	-0.126	0.234	0.213	-0.028	-0.098	1.000
Q9. 講師の親近感改善	50.06	9.81	421	-0.137	0.067	-0.047	-0.031	-0.067	0.015
Q9. 講師の堅さ改善	50.26	10.40	421	-0.089	0.139	0.044	-0.034	-0.041	0.063
Q9. 講師の活動性改善	50.11	10.15	421	-0.146	0.032	-0.105	-0.101	-0.109	-0.101
Q9. 話し方の改善	50.29	10.17	639	-0.084	-0.066	0.053	-0.231	0.073	-0.065
Q9. 話し方の改善	49.67	9.65	639	-0.081	0.065	0.053	-0.114	-0.040	0.302*
Q9. 話し方の改善	50.21	10.08	639	-0.279	0.136	-0.198	-0.216	-0.401#	-0.051
Q9. 話し方の改善	49.81	9.89	639	-0.084	-0.038	0.017	-0.292	0.073	-0.033
Q10. 講義内容量の適切性	49.83	10.08	694	0.357*	-0.023	0.016	0.416**	0.190	-0.144
Q10. 視聴者の配慮工夫	50.29	10.09	694	0.427*	-0.024	0.200	0.443**	0.459*	-0.082
Q10. 番組の満足度	50.30	9.93	694	0.502**	-0.065	0.094	0.527**	-0.365#	-0.009
Q10. 番組の活用性	51.24	9.38	694	0.246	0.077	0.052	0.273	0.194	0.088
Q10. 番組提示の適切性	50.13	10.10	694	0.401*	0.053	-0.005	0.487*	0.175	0.002
Q10. 番組提示の適切性	50.00	10.23	694	-0.072	0.323*	0.022	0.008	-0.173	0.383*
Q10. 図表提示の適切性	51.88	9.29	694	0.404*	-0.081	0.093	0.432*	0.289	-0.122
Q10. 印刷教材の適切性	49.86	9.98	694	0.254	0.002	0.008	0.321*	0.173	-0.025

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq ##$)

表 4-2-3 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 2)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 8. 講師の印象評定因子尺度			Q 8. 講師話し方評定因子尺度		
				講師親し みややすさ	講師の 堅さ	講師の 派手さ	明解な 話し方	面白 な話し方	話し方 の速さ
評定者：年齢 (教授<講師)	46.13	10.43	767	0.100	-0.040	0.089	0.113	0.144	-0.024
評定者：性別 (男<女)	1.95	1.01	759	-0.065	0.061	-0.080	-0.086	-0.069	0.038
メデタイ (T<V<FM)	1.10	0.30	749	-0.025	0.020	-0.089	0.003	-0.025	-0.049
理系・文系 (文<理)	1.64	0.48	768	0.031	0.202	0.169	0.068	-0.019	0.037
Q2. 視聴分量 (多<少)	3.11	1.71	755	-0.158	-0.015	-0.083	-0.048	-0.115	0.088
Q3. 視聴質 (高<低)	1.80	0.67	762	-0.108	-0.030	0.021	-0.087	-0.032	0.109
Q4A. テレビ設備 (利<難)	1.57	0.69	744	-0.088	-0.002	0.053	-0.092	-0.027	0.040
Q4B. ビデオ設備 (利<難)	1.43	0.59	760	-0.056	0.026	0.020	-0.042	0.024	0.038
Q4C. ラジオ設備 (利<難)	1.77	0.79	722	-0.077	-0.039	0.053	-0.099	-0.019	0.088
Q4D. テープレ設備 (利<難)	1.65	0.74	734	-0.091	0.036	0.104	-0.071	-0.003	0.107
Q5. 講義形式 (1人<他)	1.41	0.49	725	0.074	-0.177	0.048	0.027	-0.176	-0.032
Q13.1. 授業で全体的に利用	0.09	0.28	748	0.081	0.026	-0.004	0.061	0.018	0.030
Q13.2. 授業資料として利用	0.71	0.45	748	0.044	-0.075	0.071	0.025	0.065	-0.058
Q13.3. 授業資料として利用	0.23	0.42	748	0.009	0.049	-0.030	0.092	0.013	-0.088
Q13.4. 図書室で利用	0.55	0.50	748	0.056	0.012	-0.008	0.076	0.007	-0.019
Q13.5. 利用した回数	0.03	0.17	748	-0.151	-0.009	-0.056	-0.099	-0.101	0.079
Q14. 想定単位数 (0~3)	1.41	1.02	631	0.052	0.077	-0.084	0.097	-0.046	-0.008
Q6A. 講師の登場時間	2.20	0.81	755	0.020	-0.115	0.165	0.007	0.124	0.043
Q6B. 黒板等の利用頻度	2.84	0.96	746	-0.198	-0.077	-0.008	-0.172	-0.057	0.138
Q6C. アメ等の利用頻度	3.88	0.95	680	-0.157	-0.028	-0.169	-0.173	-0.224	-0.005
Q6D. 図版等の利用頻度	2.93	0.91	734	-0.202	-0.037	-0.062	-0.173	-0.139	0.063
Q6E. VTR等の利用頻度	3.19	1.13	750	-0.124	0.107	-0.051	-0.111	-0.162	0.086
Q6F. 実験等の導入頻度	3.45	1.09	680	-0.184	0.078	-0.063	-0.221	-0.219	0.088
Q6G. 寸劇等の利用頻度	4.14	1.04	689	0.015	-0.093	-0.058	-0.094	-0.057	-0.009
Q6H. スライド等の利用頻度	3.54	1.05	738	-0.084	0.190	-0.078	-0.094	-0.173	0.040
Q6I. 印刷教材の参照頻度	3.54	0.97	742	-0.079	-0.221	-0.058	-0.163	-0.011	0.001
Q6J. 演習問題の利用頻度	4.11	0.90	724	-0.016	-0.221	-0.100	-0.130	-0.024	-0.088
Q6K. 講義内容の分量	2.69	0.61	757	-0.035	-0.129	0.044	-0.094	0.038	0.046
Q6L. 内容の説明時間	2.60	0.75	754	-0.141	-0.049	0.069	-0.164	-0.090	0.063
Q6M. 視聴者の考慮時間	3.61	0.80	760	-0.228	-0.070	-0.125	-0.269	-0.247	0.029
Q6N. 息抜きの時間	3.62	0.79	750	-0.189	0.067	-0.131	-0.121	-0.292	0.058
Q6O. 1回の講義時間	2.93	0.48	750	0.105	-0.030	0.077	0.100	0.068	0.011
Q6P. 問いかけの頻度	3.77	0.76	757	-0.161	-0.059	-0.124	-0.174	-0.225	-0.121
Q6Q. 実物の提示頻度	2.97	1.02	715	-0.240	0.114	-0.052	-0.213	-0.227	0.040
Q6R. 証人の登場頻度	3.79	0.97	707	-0.153	0.036	-0.075	-0.162	-0.207	0.154
Q6S. 実地見学の頻度	3.37	1.08	667	-0.227	0.135	-0.089	-0.158	-0.272	-0.087

(注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-2-3 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 3)

因子尺度・項目			平均値	標準偏差	有効数	Q 8. 講師の印象評定因子尺度			Q 8. 講師話し方評定因子尺度			
						講師親しみやすさ	講師の堅さ	講師の派手さ	明解な話し方	面白がる話し方	話し方の堅さ	話し方の速さ
Q7A.	講師の登場時間	度	0.12	0.32	452	-0.155	-0.025	-0.013	-0.151	-0.073	0.137	0.034
Q7B.	黒板等の利用頻度	度	0.09	0.29	681	-0.060	0.106	-0.014	-0.034	-0.070	0.103	0.098
Q7C.	メタ等の利用頻度	度	0.21	0.41	681	-0.021	0.111	-0.037	-0.045	-0.055	0.097	-0.019
Q7D.	図版等の利用頻度	度	0.16	0.37	681	-0.047	0.060	0.006	-0.036	-0.023	0.082	0.028
Q7E.	VTR等の利用頻度	度	0.17	0.38	681	-0.051	-0.067	-0.030	-0.106	-0.061	0.037	-0.083
Q7F.	実験等の導入頻度	度	0.22	0.42	681	-0.049	0.000	0.022	-0.044	-0.032	0.017	-0.139
Q7G.	寸劇等の利用頻度	度	0.04	0.18	681	-0.039	-0.002	-0.075	-0.033	-0.099	0.061	0.013
Q7H.	ストロボ等の利用頻度	度	0.15	0.35	681	-0.047	0.038	-0.105	-0.039	-0.047	0.066	-0.074
Q7I.	印刷教材の参照頻度	度	0.14	0.35	681	-0.065	0.026	0.037	-0.083	0.012	0.075	0.048
Q7J.	演習問題の利用頻度	度	0.19	0.39	681	0.006	-0.007	0.002	0.012	0.038	-0.029	0.116
Q7K.	講義内容の分量	量	0.14	0.34	681	-0.091	0.021	-0.001	-0.086	-0.035	0.099	0.045
Q7L.	内容の説明時間	時間	0.18	0.38	681	-0.140	0.018	-0.011	-0.169	-0.023	0.195	0.095
Q7M.	視聴者の考慮時間	時間	0.28	0.45	681	-0.008	0.001	-0.061	-0.025	-0.051	0.021	0.074
Q7N.	息抜き時の講義時間	時間	0.20	0.40	681	-0.047	0.104	-0.047	-0.039	-0.140	-0.038	0.076
Q7O.	1回の講義時間	時間	0.09	0.29	681	-0.034	-0.012	-0.006	-0.053	-0.038	0.092	0.017
Q7P.	問いかけの頻度	頻度	0.29	0.45	681	-0.013	0.025	-0.115	-0.024	-0.024	0.043	-0.060
Q7Q.	実物の提示頻度	頻度	0.20	0.40	681	0.018	0.007	0.011	-0.012	-0.043	-0.015	-0.033
Q7R.	資料の登場頻度	頻度	0.05	0.22	681	0.065	0.010	-0.045	0.032	-0.008	-0.004	0.039
Q7S.	証人登場頻度の頻度	頻度	0.16	0.37	681	0.041	-0.048	0.066	-0.072	0.054	0.055	-0.021
Q7X.	その他		0.22	0.41	681	-0.011	-0.050	0.026	-0.034	0.028	-0.079	0.005
Q8A.	講師の派手さ	さ	3.48	0.69	757	-0.124	-0.054	-0.893##	-0.072	-0.255	-0.100	-0.195
Q8B.	講師の清潔感	感	2.27	0.61	763	-0.633##	-0.104	0.364*	-0.445#	-0.189	0.207	0.120
Q8C.	講師の活動性	性	2.83	0.79	761	-0.678##	-0.211	-0.471#	-0.485#	-0.449#	0.210	-0.085
Q8D.	講師の話しやすさ	さ	2.57	0.85	761	-0.863##	0.267	-0.199	-0.507##	-0.546##	0.267	0.138
Q8E.	講師の暖かさ	さ	2.52	0.78	760	-0.840##	0.239	-0.059	-0.463#	-0.496#	0.244	0.187
Q8F.	講師の厳しさ	さ	3.13	0.71	758	-0.021	-0.883##	-0.074	-0.134	0.137	-0.177	-0.198
Q8G.	講師の緊張の度合	度	3.14	0.80	759	0.441*	-0.605##	0.027	0.259	0.416*	-0.426#	-0.170
Q8H.	話し方の明瞭さ	さ	3.20	0.64	760	0.115	-0.187	-0.228	0.075	0.063	-0.183	-0.950##
Q8I.	言葉遣いの硬さ	さ	2.45	0.72	761	-0.483#	-0.088	-0.017	-0.761##	-0.186	0.243	0.108
Q8J.	言葉遣いの硬さ	さ	3.01	0.77	762	0.449*	-0.370#	0.090	0.216	0.702**	-0.644##	-0.298
Q8K.	間の取り方	方	2.79	0.71	763	-0.486#	0.051	-0.056	-0.635##	-0.376#	0.330*	0.319*
Q8L.	表現力	力	2.85	0.77	762	-0.578##	0.005	-0.192	-0.707##	-0.654##	0.115	-0.077
Q8M.	ユーモア	ア	3.38	0.79	762	-0.548##	0.148	-0.334#	-0.423#	-0.870##	0.113	0.044
Q8N.	説得力	力	2.55	0.75	764	-0.544##	-0.074	-0.068	-0.792##	-0.389#	0.245	-0.042
Q8O.	わかりやすさ	さ	2.46	0.75	763	-0.555##	0.090	-0.066	-0.746##	-0.441#	0.286	0.250
Q8P.	話術の巧みさ	さ	2.92	0.74	763	-0.549##	0.083	-0.183	-0.737##	-0.629##	0.231	-0.049
Q8Q.	まわくどさ	さ	3.46	0.72	761	0.367*	-0.158	-0.030	0.459*	0.138	-0.867##	-0.122
Q8R.	すっきりさ	さ	2.54	0.77	763	-0.482#	-0.018	-0.038	-0.778##	-0.221	0.507**	-0.009
Q8S.	素材提示の適切性	性	2.50	0.77	763	-0.440#	0.040	0.003	-0.660##	-0.297	0.431*	0.054

(注: ** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 \geq # $>$ -0.5, -0.5 \geq ##)

表 4-2-3 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 4)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 8. 講師の印象評定因子尺度			Q 8. 講師話し方評定因子尺度		
				講師親しみやすさ	講師の堅さ	講師の派手さ	明解な話し方	面白がる話し方	話し方の速さ
Q9A. 講師の派手さ	0.01	0.12	421	-0.060	0.043	-0.015	0.001	-0.018	0.088
Q9B. 講師の活動性	0.04	0.19	639	0.077	0.011	0.056	0.089	0.065	0.030
Q9C. 講師の話しやすさ	0.14	0.34	639	-0.162	0.014	-0.152	-0.149	-0.148	0.111
Q9D. 講師の親しみやすさ	0.24	0.43	639	-0.282	0.176	-0.044	-0.135	-0.221	0.200
Q9E. 講師の暖かさ	0.08	0.28	639	-0.181	0.056	-0.061	-0.093	-0.119	0.105
Q9F. 講師の厳しさ	0.03	0.16	639	-0.005	0.055	0.038	-0.007	0.031	0.101
Q9G. 講師の緊張度	0.10	0.30	639	-0.156	0.175	-0.026	-0.115	-0.126	0.172
Q9H. 講師の二重性	0.15	0.36	639	-0.044	0.060	0.027	-0.049	-0.028	0.126
Q9I. 話し方の明瞭さ	0.16	0.37	639	-0.045	-0.046	0.041	-0.162	0.034	0.082
Q9J. 言葉遣いの硬さ	0.11	0.32	639	-0.162	0.163	-0.094	-0.047	-0.251	0.214
Q9K. 間の取り方	0.17	0.38	639	-0.091	0.043	0.025	-0.108	-0.064	0.134
Q9L. 表現力の豊さ	0.20	0.40	639	-0.199	0.037	-0.097	-0.204	-0.202	0.061
Q9M. コーモス	0.40	0.49	639	-0.100	0.108	-0.197	0.017	-0.317#	-0.017
Q9N. 読得力	0.18	0.38	639	-0.114	-0.084	-0.023	-0.221	0.022	0.048
Q9O. わかりやすさ	0.21	0.41	639	-0.086	0.063	0.025	-0.132	-0.038	0.070
Q9P. 技術の巧みさ	0.17	0.37	639	-0.188	0.021	-0.076	-0.242	-0.170	0.142
Q9Q. まわりのきこえ	0.05	0.23	639	-0.129	0.027	-0.001	-0.256	-0.005	0.277
Q9R. すっきりとした内容	0.08	0.28	639	0.031	-0.062	-0.011	-0.144	0.093	-0.015
Q9S. 教材提示の適切性	0.23	0.42	639	-0.002	0.024	0.072	-0.034	0.058	0.094
Q9X. その他	0.14	0.35	639	0.134	0.009	-0.013	0.130	0.110	-0.151
(1) 内容の範囲は適切	2.18	0.88	758	-0.316#	-0.021	-0.020	-0.334#	-0.151	0.177
(2) 内容が専門的	2.71	0.98	761	-0.039	-0.190	0.033	-0.100	0.090	0.013
(3) 単位数見合組	2.42	0.85	744	-0.239	0.013	0.038	-0.287	-0.119	0.171
(4) 単白に立つ番組	2.00	0.93	759	-0.395#	0.058	-0.116	-0.398#	-0.365#	0.273
(5) 役に	2.44	0.76	758	-0.320#	-0.034	-0.007	-0.330#	-0.185	0.214
(6) わかりやすい番組	2.44	0.90	756	-0.378#	0.142	-0.080	-0.420#	-0.328#	0.210
(7) 講義要が最初で適切	2.38	0.88	755	-0.315#	-0.019	-0.033	-0.375#	-0.157	0.190
(8) まめが不所不明確	2.41	0.84	756	-0.365#	-0.034	-0.049	-0.469#	-0.256	0.226
(9) 重要なポイントが明確	2.47	0.90	759	-0.396#	-0.026	-0.060	-0.497#	-0.252	0.273
(10) 流れに適切な緩急	2.93	0.87	757	-0.460#	0.057	-0.208	-0.461#	-0.437#	0.223
(11) 1 回の講義情報量適切	2.54	0.90	756	-0.261	0.059	-0.045	-0.329#	-0.181	0.178
(12) 視聴者の動機づけ配慮	2.81	0.90	755	-0.413#	0.059	-0.142	-0.396#	-0.335#	0.169
(13) 視聴者の疑問への配慮	3.18	0.86	759	-0.348#	-0.040	-0.172	-0.343#	-0.319#	0.050
(14) 視聴者の疑問への配慮	2.92	0.86	758	-0.328#	0.043	-0.063	-0.368#	-0.296	0.173
(15) 内容が盛りだくさん	2.61	0.85	754	-0.026	-0.171	-0.031	-0.120	0.005	-0.026

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-2-3 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 5)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 8. 講師の印象評定因子尺度				Q 8. 講師話し方評定因子尺度			
				講師親しみやすさ		講師の堅さ		明解な話し方		面白がる話し方	
				講師親しみやすさ	講師の堅さ	講師の派手さ	講師の派手さ	明解な話し方	面白がる話し方	話し方の堅さ	話し方の速さ
(16) 利用性	2.63	1.02	754	-0.352#	0.071	-0.085	-0.085	-0.392#	-0.293	0.203	0.091
(17) 特性が適切	3.14	0.80	750	-0.356#	-0.029	-0.138	-0.138	-0.375#	-0.523#	0.094	0.012
(18) 視聴し易い	2.53	0.81	750	-0.348#	-0.073	-0.009	-0.009	-0.431#	-0.208	0.131	-0.027
(19) 新事例が適切	2.37	0.88	755	-0.390#	0.177	-0.005	-0.005	-0.409#	-0.297	0.247	0.087
(20) 講義の流暢性	3.12	0.93	755	0.370*	-0.089	0.162	0.162	0.336*	0.361*	-0.300#	-0.058
(21) 必要以上に専門用語有	3.50	0.76	755	0.156	-0.198	-0.109	-0.109	0.169	0.125	-0.376#	-0.232
(22) 印刷教材と適切に利用	2.51	0.87	752	-0.241	-0.095	0.080	0.080	-0.307#	-0.013	0.186	-0.001
(23) 図表などが実用的	2.42	0.87	753	-0.293	0.010	-0.047	-0.047	-0.368#	-0.146	0.226	0.060
(24) 内容のレベルは適切	2.80	0.91	756	-0.280	-0.018	-0.095	-0.095	-0.343#	-0.200	0.188	-0.025
(25) 講義の進捗は適切	2.48	0.89	756	-0.296	0.018	-0.053	-0.053	-0.316#	-0.200	0.156	0.112
(26) 講義の進捗は適切	2.47	0.81	754	-0.297	0.032	-0.001	-0.001	-0.356#	-0.214	0.221	0.220
(27) 1回の授業時間が適切	2.41	0.88	757	-0.303#	0.045	-0.000	-0.000	-0.322#	-0.180	0.192	0.113
(28) 中身の深さ	3.20	0.90	754	-0.196	0.050	-0.073	-0.073	-0.186	-0.273	0.012	0.133
(29) カリキュラムが適切	2.45	0.79	754	-0.312#	-0.009	-0.018	-0.018	-0.380#	-0.144	0.284	0.043
(30) 興味深い番組	2.02	0.84	760	-0.369#	-0.007	-0.075	-0.075	-0.419#	-0.273	0.288	0.003
(31) 何らかの価値観を有	1.73	0.74	761	-0.365#	-0.051	0.019	0.019	-0.365#	-0.202	0.217	-0.024
(32) 生活に密着した題材を利用可	2.56	0.93	755	-0.341#	0.097	-0.045	-0.045	-0.306#	-0.270	0.163	0.054
(33) 時宜を反映し易い	2.50	0.83	755	-0.383#	0.021	-0.090	-0.090	-0.393#	-0.306#	0.174	-0.018
(34) 実社会の姿を映し出す	2.75	0.99	754	-0.258	-0.043	-0.084	-0.084	-0.311#	-0.175	0.161	-0.097
(35) 基本的な知識を有	2.23	0.83	761	-0.323#	0.011	-0.031	-0.031	-0.340#	-0.196	0.145	0.058
(36) 一般大学にない内容を有	2.64	0.93	758	-0.152	-0.019	-0.037	-0.037	-0.182	-0.205	-0.032	-0.112
(37) 講師の進歩が速い	2.04	0.90	757	-0.515#	0.043	-0.035	-0.035	-0.580#	-0.351#	0.340*	0.006
(38) 講義の進歩が速い	3.19	0.77	757	0.074	-0.213	-0.065	-0.065	0.039	0.124	-0.142	-0.394#
(39) 全体像を把握し易い	2.59	0.86	755	-0.255	0.042	0.003	0.003	-0.353#	-0.166	0.181	0.110
(40) 図表などの提示が適切	2.62	0.90	753	-0.388#	0.046	-0.136	-0.136	-0.449#	-0.291	0.234	0.065
(41) 印刷教材が充実	2.74	0.84	756	-0.303#	0.001	-0.046	-0.046	-0.342#	-0.174	0.161	0.013
(42) 改善の余地が大きい番組	3.19	1.00	757	0.409*	-0.049	0.085	0.085	0.472*	0.319*	-0.322#	-0.127
(43) 印刷教材の活用が適切	2.94	0.87	755	0.235	-0.021	0.018	0.018	0.280	0.203	-0.200	-0.092
(44) 印刷教材の演習に活用	3.54	0.88	747	-0.024	-0.118	-0.061	-0.061	-0.026	-0.067	-0.091	-0.052
(45) 学習ペースが適切	2.53	0.75	747	-0.228	-0.004	-0.023	-0.023	-0.341#	-0.172	0.172	0.040
(46) 全体的に満足な番組	2.23	0.88	758	-0.457#	-0.008	-0.055	-0.055	-0.516#	-0.335#	0.281	0.025

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-2-4 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 1)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q.9. 講師印象改善点因子尺度					Q.9. 講師の話し方改善点因子尺度				
				講師親近感改善点					明解さ改善点				
				講師親近感改善点	講師堅さ改善点	講師活動性改善点	明解さ改善点	話す速さ改善点	話す豊かさ改善点	話し簡潔性改善点			
Q6. メディア特性の活用頻度	51.03	9.48	642	0.026	0.030	0.041	0.057	-0.032	-0.040	0.039			
Q6. 視聴者の考慮頻度	50.07	9.71	642	0.077	0.034	0.016	-0.010	-0.095	-0.140	-0.077			
Q6. 印刷教材利用頻度	49.09	9.97	642	0.184	0.058	-0.081	0.004	0.104	-0.042	-0.109			
Q6. 講義内容量の多さ	49.88	9.52	642	-0.057	-0.063	-0.048	-0.090	0.040	0.023	-0.036			
Q6. 実資料・図版利用頻度	50.00	10.00	579	-0.097	-0.092	-0.009	-0.028	-0.046	-0.091	-0.016			
Q6. 黒板・実験導入頻度	50.00	10.00	579	-0.147	-0.053	-0.067	-0.092	0.021	-0.011	-0.066			
Q6. アニメ・実験頻度	50.00	10.00	579	0.002	0.005	-0.055	-0.008	0.036	-0.024	-0.021			
Q7. 講義内容量の多さ改善	50.25	10.18	452	0.123	0.008	0.019	0.230	0.215	0.071	0.148			
Q7. フォト等活用頻度改善	50.45	10.39	452	0.113	-0.062	0.040	0.070	-0.051	0.119	0.011			
Q7. 黒板・実験頻度改善	49.23	9.59	452	0.043	0.124	-0.014	-0.163	0.120	0.084	-0.103			
Q7. 黒板・実験頻度改善	49.41	9.58	452	0.042	0.024	-0.031	0.052	0.097	-0.003	0.098			
Q7. 講師登壇頻度の改善	49.80	9.78	452	0.093	0.073	0.075	0.074	0.061	0.086	0.129			
Q7. 実資料・図版利用頻度改善	51.26	10.73	681	0.052	0.013	0.076	0.176	-0.040	0.104	-0.039			
Q7. 黒板・実験頻度改善	50.86	10.89	681	0.019	-0.047	0.002	0.131	0.128	0.006	0.020			
Q7. アニメ・実験頻度改善	51.21	10.77	681	0.002	0.022	-0.136	-0.029	0.061	0.086	0.040			
Q8. 講師の親しやすさ	49.93	10.01	752	-0.137	-0.089	-0.146	-0.084	-0.081	-0.279	-0.084			
Q8. 講師の堅さ	50.54	9.90	752	0.067	0.139	0.032	-0.066	0.065	0.136	-0.038			
Q8. 講師の派手さ	50.43	9.61	752	-0.047	0.044	-0.105	0.053	0.053	-0.198	0.017			
Q8. 明解な話し方	49.84	9.76	753	-0.031	-0.034	-0.101	-0.231	-0.114	-0.216	-0.292			
Q8. 面白味の堅さ	49.91	10.15	753	-0.067	-0.041	-0.109	0.073	-0.040	-0.401#	0.073			
Q8. 話し方の堅さ	49.81	9.67	753	0.150	0.183	0.117	0.052	0.167	0.192	0.243			
Q8. 話す速さ	50.52	9.51	753	0.015	0.063	-0.101	-0.065	0.302*	-0.051	-0.033			
Q9. 講師の親近感改善	50.06	9.81	421	1.000	0.077	-0.046	0.179	0.105	0.200	-0.026			
Q9. 講師の堅さ改善	50.26	10.40	421	0.077	1.000	0.066	-0.030	-0.068	0.102	0.078			
Q9. 講師の活動性改善	50.11	10.15	421	-0.046	0.066	1.000	0.006	0.014	0.128	0.035			
Q9. 話し方の改善	50.29	10.17	639	0.179	-0.030	0.006	1.000	0.164	0.038	0.122			
Q9. 話し方の改善	49.67	9.65	639	0.105	-0.068	0.014	0.164	1.000	0.048	0.167			
Q9. 話し方の改善	50.21	10.08	639	0.200	0.102	0.128	0.038	0.048	1.000	0.063			
Q9. 話し方の改善	49.81	9.89	639	-0.026	0.078	0.035	0.122	0.167	0.063	1.000			
Q10. 講義内容量の適切性	49.83	10.08	694	0.024	0.016	-0.016	-0.138	-0.146	0.050	-0.105			
Q10. 視聴者の配慮工夫	50.29	10.09	694	0.065	0.042	-0.054	-0.047	-0.117	-0.207	-0.103			
Q10. 視聴者の満足度	50.30	9.93	694	-0.129	-0.048	-0.097	-0.194	-0.045	-0.169	-0.135			
Q10. 番組への実用性	51.24	9.38	694	0.120	-0.036	-0.083	-0.069	0.022	-0.011	-0.074			
Q10. 要点提示の適切性	50.13	10.10	694	-0.034	0.034	-0.094	-0.157	-0.040	-0.052	-0.138			
Q10. 難解提示の進捗	50.00	10.23	694	0.080	0.028	-0.059	-0.006	0.197	0.021	-0.087			
Q10. 図表提示の適切性	51.88	9.29	694	-0.103	-0.011	-0.055	-0.070	-0.026	-0.111	-0.045			
Q10. 印刷教材の適切性	49.86	9.98	694	-0.010	0.019	-0.114	-0.064	-0.025	-0.115	-0.141			

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4 - 2 - 4 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 2)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 9. 講師印象改善点因子尺度				Q 9. 講師の話し方改善点因子尺度			
				講師親近感改善点	講師堅さ改善点	講師活動性改善点	明解さ改善点	話す速さ改善点	話す豊かさ改善点	話し簡潔性改善点	
認定者：年齢	46.13	10.43	767	0.031	0.016	0.002	-0.019	0.001	-0.039	-0.037	
認定者：職位 (教授 < 講師)	1.95	1.01	759	-0.033	-0.006	0.034	0.056	0.036	-0.014	0.035	
認定者：性別 (男 < 女)	1.10	0.30	749	0.032	-0.042	0.035	0.115	0.013	0.039	0.006	
認定者：アイア (T < F < M)	1.00	0.00	768								
認定者：文系 (文 < 理)	1.64	0.48	703	-0.032	0.109	-0.098	-0.057	0.049	-0.019	0.014	
Q2. 視聴分量 (多 < 少)	3.11	1.71	755	0.153	-0.066	0.080	0.075	0.067	0.002	-0.046	
Q3. 視聴質 (高 < 低)	1.80	0.67	762	0.154	0.082	-0.015	0.011	0.025	0.039	-0.054	
Q4A. テレビ設備 (利 < 難)	1.57	0.69	744	-0.086	-0.040	-0.041	-0.015	-0.011	0.045	-0.004	
Q4B. ビデオ設備 (利 < 難)	1.43	0.59	760	-0.069	-0.021	-0.038	-0.078	-0.023	-0.005	-0.007	
Q4C. ラジオ設備 (利 < 難)	1.77	0.79	722	-0.084	-0.025	0.021	-0.025	-0.007	-0.033	0.019	
Q4D. テープ設備 (利 < 難)	1.65	0.74	734	0.008	0.043	-0.028	0.008	0.029	-0.042	0.043	
Q5. 講義形式 (1 人 < 他)	1.41	0.49	725	-0.030	0.023	0.064	-0.006	-0.103	0.006	0.091	
Q13. 1. 授業で全般的に利用	0.09	0.28	748	0.023	0.042	-0.083	-0.005	-0.080	0.036	-0.005	
Q13. 2. 授業資料として利用	0.71	0.45	748	-0.046	-0.015	0.063	0.041	-0.022	0.042	0.052	
Q13. 3. 参考文献等で利用	0.23	0.42	748	-0.055	0.013	0.041	0.011	0.058	-0.011	-0.113	
Q13. 4. 図書などで利用	0.55	0.50	748	0.046	-0.070	0.064	0.006	0.011	0.079	-0.014	
Q13. 5. 利用したいと思わず	0.03	0.17	748	-0.031	0.095	0.006	0.002	-0.071	-0.000	-0.007	
Q14. 想定単位数 (0 ~ 3)	1.41	1.02	631	-0.025	0.043	-0.109	-0.122	0.039	0.069	0.014	
Q6A. 講師の登壇時間	2.20	0.81	755	0.011	-0.021	-0.035	0.074	-0.017	-0.074	0.022	
Q6B. 黒板等の利用頻度	2.84	0.96	746	0.108	-0.015	0.046	0.082	-0.044	0.038	0.079	
Q6C. ティニメ等の利用頻度	3.88	0.95	680	-0.053	-0.041	0.080	-0.007	-0.052	0.045	0.020	
Q6D. 図版等の利用頻度	2.93	0.91	734	0.124	0.089	0.006	0.076	0.009	0.073	0.024	
Q6E. V T R 等の利用頻度	3.19	1.13	750	0.023	0.028	0.055	0.004	0.026	0.057	-0.040	
Q6F. 実験等の導入頻度	3.45	1.09	680	0.075	-0.024	0.029	0.063	0.054	0.050	0.041	
Q6G. 寸劇等の利用頻度	4.14	1.04	689	-0.152	-0.088	0.014	0.010	-0.007	-0.020	0.030	
Q6H. ギズ等の登壇時間	3.54	1.05	738	0.014	0.045	-0.049	-0.011	0.096	0.054	0.069	
Q6I. 印刷教材の参照頻度	3.54	0.97	742	-0.111	-0.027	0.145	-0.007	-0.075	0.011	0.100	
Q6J. 演習問題の利用頻度	4.11	0.90	724	-0.219	-0.039	0.058	0.006	-0.092	0.043	0.052	
Q6K. 講義内容の分量	2.69	0.61	757	0.038	0.046	0.016	0.063	-0.084	0.012	0.090	
Q6L. 内容の説明時間	2.60	0.75	754	0.028	0.065	0.066	0.108	-0.006	-0.051	-0.043	
Q6M. 視聴者の考慮時間	3.61	0.80	760	-0.064	-0.021	-0.066	-0.020	0.101	0.130	0.067	
Q6N. 息抜き時間	3.62	0.79	750	-0.035	-0.017	-0.059	-0.040	0.109	0.067	-0.040	
Q6O. 1 回の講義時間	2.93	0.48	750	0.011	-0.009	-0.012	-0.005	-0.030	-0.047	-0.027	
Q6P. 問いかけの頻度	3.77	0.76	757	-0.115	-0.114	0.007	-0.028	0.046	0.104	0.072	
Q6Q. 実人の登場頻度	2.97	1.02	715	0.128	0.101	-0.021	0.065	0.058	0.065	0.050	
Q6R. 証人の登場頻度	3.79	0.97	707	-0.021	-0.043	-0.070	0.009	0.051	0.059	0.064	
Q6S. 実地見学シートの頻度	3.37	1.08	667	0.040	0.031	-0.009	-0.046	0.079	0.110	-0.049	

(注：** ≥ 0.5, 0.5 > * ≥ 0.3, -0.3 ≥ # > -0.5, -0.5 ≥ ##)

表 4-2-4 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 3)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 9. 講師印象改善点因子尺度				Q 9. 講師の話し方改善点因子尺度			
				講師親近感改善点	講師堅さ改善点	講師活動性改善点	明解さ改善点	話す速さ改善点	話す豊かさ改善点	話し簡潔性改善点	
Q7A. 講師の登場時間度	0.12	0.32	452	0.074	0.006	0.098	0.081	0.094	0.113	0.146	
Q7B. 黒板等の利用頻度	0.09	0.29	681	0.004	-0.075	0.017	0.063	0.126	-0.011	0.016	
Q7C. ティーム等の利用頻度	0.21	0.41	681	0.012	0.018	0.136	-0.043	0.068	0.072	0.052	
Q7D. 図版等の利用頻度	0.16	0.37	681	0.028	0.009	-0.022	0.156	0.077	0.033	0.017	
Q7E. VTR等の利用頻度	0.17	0.38	681	0.120	-0.064	0.062	0.128	0.053	0.084	-0.006	
Q7F. 実験等の導入頻度	0.22	0.42	681	0.002	0.026	0.082	0.100	-0.019	0.094	-0.034	
Q7G. 寸劇等の利用頻度	0.04	0.18	681	0.074	0.121	0.068	-0.059	-0.053	0.047	-0.041	
Q7H. ゲストの登場頻度	0.15	0.35	681	0.071	-0.024	0.021	0.024	-0.012	0.169	0.004	
Q7I. 印刷教材の参照頻度	0.14	0.35	681	0.046	0.046	-0.001	0.020	0.128	0.040	0.091	
Q7J. 演習問題の利用頻度	0.19	0.39	681	-0.001	0.006	0.003	0.059	0.089	0.061	0.055	
Q7K. 講義内容の分量	0.14	0.34	681	0.085	0.004	0.006	0.136	0.238	0.051	0.093	
Q7L. 内容資料の提示頻度	0.18	0.38	681	0.160	-0.007	-0.031	0.222	0.156	0.045	0.170	
Q7M. 視聴者の発場頻度	0.28	0.45	681	0.045	0.068	-0.054	-0.011	0.079	0.065	-0.079	
Q7N. 意図の時間	0.20	0.40	681	-0.008	0.056	-0.007	-0.130	0.147	0.082	-0.030	
Q7O. 1回の講義時間	0.09	0.29	681	0.019	0.042	-0.006	0.114	0.086	0.008	0.114	
Q7P. 問いかけの頻度	0.29	0.45	681	0.096	0.114	0.076	0.025	0.033	0.125	0.037	
Q7Q. 実物の提示頻度	0.20	0.40	681	0.047	0.004	0.102	0.154	-0.050	0.037	-0.049	
Q7R. 証人の発場頻度	0.05	0.22	681	-0.002	-0.078	-0.069	0.018	-0.039	-0.039	-0.032	
Q7S. 実地見学	0.16	0.37	681	0.044	-0.019	0.019	0.072	0.016	0.083	0.012	
Q7X. その他	0.22	0.41	681	-0.032	-0.078	0.025	-0.045	-0.026	-0.027	0.024	
Q8A. 講師の派手さ	3.48	0.69	757	0.043	-0.078	0.091	-0.031	-0.019	0.141	-0.015	
Q8B. 講師の清潔感	2.27	0.61	763	0.043	0.023	0.047	0.121	0.085	0.029	0.103	
Q8C. 講師の活動性	2.83	0.79	761	0.059	0.044	0.125	0.040	-0.017	0.239	0.116	
Q8D. 講師の親しみやすさ	2.57	0.85	761	0.145	0.089	0.145	0.047	0.079	0.282	-0.011	
Q8E. 講師の暖かさ	2.52	0.78	760	0.146	0.065	0.108	0.042	0.102	0.244	0.012	
Q8F. 講師の厳しさ	3.13	0.71	758	-0.041	-0.073	-0.006	0.054	-0.050	-0.066	0.062	
Q8G. 講師の緊張の度合	3.14	0.80	759	-0.079	-0.205	-0.091	-0.001	-0.058	-0.210	-0.101	
Q8H. 話すスピード	3.20	0.64	760	-0.017	-0.068	0.093	0.028	-0.265	0.068	0.004	
Q8I. 話し方の明瞭さ	2.45	0.72	761	-0.024	0.003	0.084	0.153	0.101	0.138	0.234	
Q8J. 言葉遣いの硬さ	3.01	0.77	762	-0.139	-0.134	-0.095	0.089	-0.141	-0.357#	-0.066	
Q8K. 問の取り方	2.79	0.71	763	-0.014	0.058	0.029	0.036	0.282	0.181	0.168	
Q8L. 表現力の豊さ	2.85	0.77	762	0.033	0.028	0.071	0.099	0.005	0.309*	0.065	
Q8M. ユーモア	3.38	0.79	762	0.023	0.013	0.151	-0.041	0.039	0.330*	-0.039	
Q8N. 説得力	2.55	0.75	764	0.091	0.087	0.068	0.157	0.049	0.199	0.272	
Q8O. わかりやすさ	2.46	0.75	763	0.064	-0.010	0.022	0.155	0.137	0.185	0.151	
Q8P. 技術の巧みさ	2.92	0.74	763	0.018	-0.007	0.088	0.095	0.055	0.326*	0.159	
Q8Q. まわくどさ	3.46	0.72	761	-0.101	-0.135	-0.092	-0.105	-0.126	-0.159	-0.254	
Q8R. すっきりさ	2.54	0.77	763	0.060	0.061	0.157	0.180	0.159	0.201	0.377*	
Q8S. 素材提示の適切性	2.50	0.77	763	0.047	0.084	0.096	0.181	0.060	0.126	0.154	

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-2-4 因子尺度偏差値・調査項目等における相関係数行列 (その 4)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	Q.9. 講師印象改善点因子尺度				Q.9. 講師の話し方改善点因子尺度			
			講師親近感改善点	講師堅さ改善点	講師活動性改善点	明解さ改善点	話す速さ改善点	話す豊かさ改善点	話し簡潔性改善点	
Q9A. 講師の派手さ	0.01	0.12	-0.124	0.072	0.733**	-0.048	-0.015	0.018	-0.010	
Q9B. 講師の清潔感	0.04	0.19	0.664**	-0.046	-0.097	0.163	0.099	0.032	0.001	
Q9C. 講師の活動性	0.14	0.34	0.140	0.002	0.689**	0.055	0.025	0.163	0.038	
Q9D. 講師の親しやすさ	0.24	0.43	0.673**	0.219	0.119	0.103	0.141	0.263	-0.033	
Q9E. 講師の暖かさ	0.08	0.28	0.761**	0.028	-0.034	0.157	0.101	0.160	0.042	
Q9F. 講師の厳しさ	0.03	0.16	0.189	0.737**	-0.203	0.027	-0.060	0.053	0.045	
Q9G. 講師の緊張感	0.10	0.30	-0.073	0.773**	0.266	-0.039	0.028	0.137	0.129	
Q9H. 話し方の明瞭さ	0.15	0.36	0.052	-0.074	-0.010	0.212	0.727**	0.010	-0.000	
Q9I. 言葉遣いの硬さ	0.16	0.37	0.208	-0.007	0.056	0.519**	0.303*	0.089	0.377*	
Q9J. 言葉遣いの柔らかさ	0.11	0.32	0.043	0.170	0.019	-0.278	0.036	0.482*	0.153	
Q9K. 問の取り方	0.17	0.38	0.045	-0.027	0.014	-0.033	0.759**	0.046	0.123	
Q9L. 表現力の豊かさ	0.20	0.40	0.144	0.089	0.013	0.362*	-0.026	0.585**	0.070	
Q9M. ユーモア	0.40	0.49	0.120	-0.016	0.103	-0.242	-0.135	0.574**	-0.290	
Q9N. 説得力	0.18	0.38	0.060	0.005	-0.034	0.616**	-0.003	-0.056	0.098	
Q9O. わかりやすさ	0.21	0.41	0.216	-0.065	0.007	0.533**	0.354*	0.116	0.071	
Q9P. 話術の巧みさ	0.17	0.37	0.093	0.016	0.124	0.220	0.169	0.655**	0.153	
Q9Q. まわりのくまどさ	0.05	0.23	-0.065	0.046	0.030	-0.041	0.015	0.063	0.734**	
Q9R. すわりのくまどさ	0.08	0.28	-0.034	0.045	0.039	0.145	0.084	0.052	0.668**	
Q9S. 素材提示の適切性	0.23	0.42	0.021	-0.000	0.020	0.558**	-0.030	-0.032	-0.151	
Q9X. その他	0.14	0.35	-0.116	-0.103	0.019	-0.142	-0.092	-0.185	-0.023	
(1) 内容は適切	2.18	0.88	-0.021	0.047	-0.043	0.125	0.049	-0.047	0.055	
(2) 範囲が適切	2.71	0.98	-0.033	0.034	0.074	0.031	-0.117	0.036	0.061	
(3) 内容が専門的だった内容	2.42	0.85	-0.004	0.066	0.027	0.026	0.037	-0.037	0.051	
(4) 単位の振り組	2.42	0.93	0.080	0.021	0.088	0.090	0.088	0.115	0.060	
(5) 面白くない	2.00	0.76	0.021	0.054	0.092	0.119	-0.004	0.059	0.094	
(6) わかりやすい番組	2.44	0.90	0.019	0.028	-0.050	0.078	0.139	0.113	0.046	
(7) 講義が最初で適切	2.38	0.88	-0.002	-0.083	0.058	0.131	0.095	0.060	0.054	
(8) 必要が要所適切	2.41	0.84	-0.015	-0.073	0.083	0.119	0.069	0.063	0.123	
(9) 重要ポイントが明確	2.47	0.90	-0.024	0.010	0.079	0.162	0.083	0.068	0.146	
(10) 流れに適切な緊急	2.93	0.87	0.025	0.013	0.128	0.051	0.151	0.248	0.101	
(11) 1 回の講義情報量適切	2.54	0.90	-0.004	-0.048	-0.013	0.120	0.147	-0.019	0.066	
(12) 視聴者の動機づけ配慮	2.81	0.90	0.006	-0.060	0.074	0.146	0.058	0.182	0.111	
(13) 視聴者の疑問への配慮	3.18	0.86	-0.081	-0.057	0.058	0.050	0.057	0.113	0.052	
(14) 視聴者の疑問への配慮	2.92	0.86	-0.039	-0.001	-0.050	0.032	0.079	0.053	0.104	
(15) 内容が盛りだくさん	2.61	0.85	0.012	-0.018	0.019	-0.011	-0.113	0.008	0.083	

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-2-4 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 5)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q.9. 講師印象改善点因子尺度				Q.9. 講師の話し方改善点因子尺度			
				講師親近感改善点	講師堅さ改善点	講師活動性改善点	明解さ改善点	話す速さ改善点	話す豊かさ改善点	話し簡潔性改善点	
(16)利用メディアの特性が適切	2.63	1.02	754	0.011	-0.036	0.065	0.022	0.034	0.113	0.059	
(17)視聴者の関心が高い	3.14	0.80	750	-0.039	0.015	0.079	0.001	0.076	0.153	0.057	
(18)新しい概念の導入が適切	2.53	0.81	750	0.068	0.051	0.037	0.105	0.037	0.106	0.122	
(19)具体例が適切	2.37	0.88	755	0.098	0.023	0.028	0.153	0.076	0.063	0.018	
(20)講義の流れが適切	3.12	0.93	755	-0.004	-0.030	-0.070	0.013	-0.116	-0.209	-0.116	
(21)必要以上に専門用語が多用	3.50	0.76	755	-0.137	-0.080	-0.042	-0.058	-0.112	-0.029	-0.043	
(22)印刷教材と適切に関連	2.51	0.87	752	0.039	-0.046	0.079	0.048	-0.030	-0.021	0.105	
(23)図表などが適切な利用	2.42	0.87	753	0.077	0.019	0.053	0.095	0.012	0.025	0.074	
(24)図表が適切な利用	2.80	0.91	756	-0.014	-0.014	0.080	0.125	0.053	0.101	0.140	
(25)内容のレベルは適切	2.48	0.89	756	-0.016	-0.030	-0.011	0.120	0.111	-0.026	0.005	
(26)講義の進捗は適切	2.47	0.81	754	0.008	-0.043	0.008	0.113	0.203	-0.046	0.069	
(27)1回の講義時間が適切	2.41	0.88	757	0.030	-0.052	0.032	0.100	0.099	0.016	0.094	
(28)中絶が適切	3.20	0.90	754	-0.031	-0.042	-0.062	-0.021	0.117	0.076	-0.051	
(29)カリキュラムが適切	2.45	0.79	754	0.043	-0.060	0.033	0.107	0.033	0.020	0.096	
(30)興味深い番組	2.02	0.84	760	0.118	0.013	0.019	0.148	0.032	0.095	0.112	
(31)何らかの活用が適切	1.73	0.74	761	0.061	-0.008	0.082	0.130	0.019	0.048	0.029	
(32)生活に密着した題材が適切	2.56	0.93	755	0.005	0.073	0.085	0.065	0.021	0.057	0.071	
(33)時系列の推移が適切	2.50	0.83	755	-0.002	0.038	0.032	0.107	-0.007	0.080	0.046	
(34)実社会が適切	2.75	0.99	754	-0.090	0.073	0.123	0.057	-0.026	0.063	0.133	
(35)基本が適切	2.23	0.83	761	0.009	0.025	0.078	0.091	0.049	0.018	0.086	
(36)一般大学の授業が適切	2.64	0.93	758	-0.093	-0.015	-0.018	0.072	0.025	0.048	0.008	
(37)講師の進捗が適切	2.04	0.90	757	0.095	0.076	0.088	0.173	0.061	0.212	0.229	
(38)講義の進捗が適切	3.19	0.77	757	0.006	-0.035	0.064	0.066	-0.196	0.039	0.057	
(39)全体の講義が適切	2.59	0.86	755	-0.011	0.039	-0.003	0.114	0.140	-0.030	0.089	
(40)図表などの提示が適切	2.62	0.90	753	0.055	0.046	0.064	0.066	0.034	0.158	0.113	
(41)印刷教材が充実	2.74	0.84	756	-0.079	0.018	0.099	0.054	0.004	0.065	0.089	
(42)改善の余地が大きい	3.19	1.00	757	-0.110	-0.025	-0.077	-0.169	-0.108	-0.206	-0.192	
(43)印刷教材の活用が適切	2.94	0.87	755	-0.042	0.018	-0.076	-0.064	-0.050	-0.151	-0.068	
(44)印刷教材の活用が適切	3.54	0.88	747	-0.190	-0.029	0.031	-0.018	0.005	-0.041	0.032	
(45)学習への満足が適切	2.53	0.75	747	-0.009	-0.062	0.058	0.073	0.142	0.011	0.064	
(46)全体的に満足が適切	2.23	0.88	758	0.010	-0.030	0.104	0.181	0.064	0.118	0.159	

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4-2-5 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 1)

Q 1 0 . 放 送 教 材 等 総 合 的 評 定 因 子 尺 度												
因 子 尺 度 ・ 項 目	平 均	標 準 偏 差	有 効 度 数	講 義 内 容 適 切 性	視 聴 者 理 解 配 慮	番 組 満 足 度	番 組 実 用 性	要 点 提 示 適 切 性	難 度 ・ 専 門 性	図 表 提 示 適 切 性	印 刷 教 材 適 切 性	
Q6. メディアの活用度	51.03	9.48	642	-0.047	0.384*	0.144	0.200	-0.146	-0.245	0.120	0.014	
Q6. 視聴者の活用度	50.07	9.71	642	0.266	0.537**	0.177	0.238	0.102	-0.138	0.202	0.177	
Q6. 印刷教材の活用度	49.09	9.97	642	0.027	0.133	0.042	0.299	0.171	0.363*	-0.073	0.103	
Q6. 講義内容の多さ	49.88	9.52	642	-0.022	-0.095	0.061	0.103	0.064	0.301*	-0.058	0.027	
Q6. 実資料利用頻度	50.00	10.00	579	0.130	0.418*	0.292	0.144	0.016	-0.129	0.414*	0.223	
Q6. 黒板・図版利用頻度	50.00	10.00	579	0.188	0.079	0.220	0.072	0.240	0.151	0.427*	0.125	
Q6. アニメ・実験導入頻度	50.00	10.00	579	0.172	0.324*	0.204	0.173	0.103	0.043	0.367*	0.136	
Q7. 講義内容の多さ	50.25	10.18	452	-0.344#	-0.072	-0.046	-0.026	-0.093	0.082	-0.061	-0.081	
Q7. アニメ・実験導入頻度	50.45	10.39	452	0.065	-0.156	-0.096	-0.001	-0.072	-0.029	-0.133	-0.171	
Q7. 黒板・図版利用頻度	49.23	9.59	452	-0.032	-0.193	-0.031	0.012	-0.018	0.139	-0.074	0.071	
Q7. 講義内容の多さ	49.41	9.58	452	-0.028	0.019	0.010	-0.055	-0.169	-0.028	0.021	-0.098	
Q7. 黒板・図版利用頻度	49.80	9.78	452	-0.039	-0.095	-0.183	0.013	-0.038	-0.073	-0.120	-0.139	
Q7. 実資料利用頻度	51.26	10.73	681	0.046	-0.037	-0.102	-0.062	0.026	-0.021	-0.031	-0.084	
Q7. 黒板・図版利用頻度	50.86	10.89	681	0.014	-0.009	-0.128	0.007	-0.063	0.052	-0.165	-0.070	
Q7. アニメ・実験導入頻度	51.21	10.77	681	0.018	-0.089	-0.138	-0.042	-0.036	0.105	-0.066	-0.132	
Q8. 講師の話し方	49.93	10.01	752	0.357*	0.427*	0.502**	0.246	0.401*	-0.072	0.404*	0.254	
Q8. 黒板・図版利用頻度	50.54	9.90	752	-0.023	-0.024	-0.065	0.077	0.053	0.323*	-0.081	0.002	
Q8. 講義内容の多さ	50.43	9.61	752	0.016	0.200	0.094	0.052	-0.005	0.022	0.093	0.008	
Q8. 実資料利用頻度	49.84	9.76	753	0.416*	0.443*	0.527**	0.273	0.487*	0.008	0.432*	0.321*	
Q8. 黒板・図版利用頻度	49.91	10.15	753	0.190	0.459*	0.381*	0.194	0.175	-0.173	0.289	0.173	
Q8. 講義内容の多さ	49.81	9.67	753	-0.239	-0.104	-0.365#	-0.092	-0.277	0.184	-0.276	-0.241	
Q8. 黒板・図版利用頻度	50.52	9.51	753	-0.144	-0.062	-0.009	0.088	0.002	0.383*	-0.122	-0.025	
Q9. 講師の話し方	50.06	9.81	421	0.024	0.065	-0.129	0.120	-0.034	0.080	-0.103	-0.010	
Q9. 黒板・図版利用頻度	50.26	10.40	421	0.016	0.042	-0.048	-0.036	0.034	0.028	-0.011	0.019	
Q9. 講義内容の多さ	50.11	10.15	421	-0.016	-0.054	-0.097	-0.083	-0.094	-0.059	-0.055	-0.114	
Q9. 実資料利用頻度	50.29	10.17	639	-0.138	-0.047	-0.194	-0.069	-0.157	-0.006	-0.070	-0.064	
Q9. 黒板・図版利用頻度	49.67	9.65	639	-0.146	-0.117	-0.045	0.022	-0.040	0.197	-0.026	-0.025	
Q9. 講義内容の多さ	50.21	10.08	639	0.050	-0.207	-0.169	-0.011	-0.052	0.021	-0.111	-0.115	
Q9. 黒板・図版利用頻度	49.81	9.89	639	-0.105	-0.103	-0.135	-0.074	-0.138	-0.087	-0.045	-0.141	
Q10. 講義内容の多さ	49.83	10.08	694	1.000	0.346*	0.423*	0.252	0.441*	-0.110	0.377*	0.288	
Q10. 黒板・図版利用頻度	50.29	10.09	694	0.346*	1.000	0.393*	0.296	0.254	-0.131	0.416*	0.348*	
Q10. 講義内容の多さ	50.30	9.93	694	0.423*	0.393*	1.000	0.359*	0.483*	-0.047	0.440*	0.307*	
Q10. 黒板・図版利用頻度	51.24	9.38	694	0.252	0.296	0.359*	1.000	0.305*	0.112	0.083	0.180	
Q10. 講義内容の多さ	50.13	10.10	694	0.441*	0.254	0.483*	0.305*	1.000	0.051	0.369*	0.175	
Q10. 黒板・図版利用頻度	50.00	10.23	694	-0.110	-0.131	-0.047	0.112	0.051	1.000	-0.176	-0.011	
Q10. 講義内容の多さ	51.88	9.29	694	0.377*	0.416*	0.440*	0.083	0.369*	-0.176	1.000	0.328*	
Q10. 黒板・図版利用頻度	49.86	9.98	694	0.288	0.348*	0.307*	0.180	0.175	-0.011	0.328*	1.000	

(注: ** ≥ 0.5 , * ≥ 0.3 , ≥ 0.1 , # ≥ 0.05 , ≥ 0.01)

表 4-2-5 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 2)

因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効度数	講義内容 講義適切性	視聴者 理解配慮	番組 満足度	番組 実用性	要点提示 適切性	難度・専門 度	図表提示 適切性	印刷教材 適切性
評定者：年齢 (教授 < 講師)	46.13	10.43	767	0.087	0.119	0.049	0.101	0.022	-0.033	0.134	0.134
評定者：性別 (男 < 女)	1.95	1.01	759	-0.079	-0.048	-0.071	-0.080	-0.016	0.015	-0.093	-0.090
評定者：年代 (I < V < R < M)	1.10	0.30	749	-0.045	0.000	-0.037	0.091	0.027	-0.005	0.045	0.018
メタデータ	1.00	0.00	768								
埋系・文系 (文 < 理)	1.64	0.48	703	0.016	-0.011	0.053	-0.066	0.159	0.196	0.071	0.059
Q2. 視聴分量 (多 < 少)	3.11	1.71	755	-0.089	-0.045	-0.168	-0.047	-0.089	-0.000	-0.088	-0.062
Q3. 視聴質 (高 < 低)	1.80	0.67	762	-0.098	0.018	-0.199	-0.091	-0.101	0.035	-0.088	-0.061
Q4A. テレ設備 (利 < 難)	1.57	0.69	744	-0.079	-0.014	-0.005	-0.038	-0.005	0.022	-0.088	-0.023
Q4B. テレ設備 (利 < 難)	1.43	0.59	760	-0.045	0.047	0.004	0.011	-0.047	0.038	0.026	-0.009
Q4C. ラジオ設備 (利 < 難)	1.77	0.79	722	-0.054	-0.027	-0.011	-0.057	-0.064	0.005	-0.044	-0.035
Q4D. テーブル設備 (利 < 難)	1.65	0.74	734	-0.048	-0.042	-0.084	-0.085	-0.061	0.086	-0.035	-0.069
Q5. 講義形式 (1 人 < 他)	1.41	0.49	725	0.007	0.193	0.116	0.086	0.012	-0.308#	0.055	-0.038
Q13.1. 授業で全体的に利用	0.09	0.28	748	0.105	0.070	0.149	0.026	0.088	0.082	0.109	0.088
Q13.2. 授業資料として利用	0.71	0.45	748	0.089	-0.003	0.089	0.021	0.015	-0.015	0.036	-0.044
Q13.3. 研究室等での利用	0.23	0.42	748	0.091	0.011	0.159	0.212	0.132	0.187	0.021	0.067
Q13.4. 図書室での利用	0.55	0.50	748	0.117	0.093	0.053	0.129	0.032	-0.081	0.052	0.063
Q13.5. 利用しづらいと思う	0.03	0.17	748	-0.152	-0.100	-0.289	-0.177	-0.131	-0.018	-0.169	-0.045
Q14. 想定単位数 (0 ~ 3)	1.41	1.02	631	0.188	0.025	0.118	0.107	0.118	0.028	0.046	0.095
Q6A. 講師の登場時間	2.20	0.81	755	-0.036	0.298	0.122	0.079	-0.103	-0.198	0.142	0.024
Q6B. 黒板等の利用度	2.84	0.96	746	-0.159	-0.026	-0.157	-0.111	-0.263	-0.225	-0.250	-0.062
Q6C. プラズマ等の利用度	3.88	0.95	680	-0.121	-0.254	-0.137	-0.158	-0.084	-0.086	-0.290	-0.085
Q6D. 図版等の利用度	2.93	0.91	734	-0.152	-0.112	-0.211	-0.053	-0.150	-0.091	-0.403#	-0.121
Q6E. VTR 等の利用度	3.19	1.13	750	0.000	-0.341#	-0.256	-0.148	0.021	0.230	-0.223	-0.143
Q6F. 実験等の導入頻度	3.45	1.09	680	-0.179	-0.327#	-0.285	-0.137	-0.105	0.088	-0.417#	-0.176
Q6G. 寸劇等の登場頻度	4.14	1.04	689	0.026	-0.253	-0.129	-0.250	-0.016	0.087	0.001	-0.043
Q6H. デスボードの登場頻度	3.54	1.05	738	-0.019	-0.334#	-0.130	-0.145	0.066	0.248	-0.090	-0.052
Q6I. 印刷教材の参照頻度	3.54	0.97	742	-0.094	-0.087	-0.035	-0.178	-0.214	-0.289	-0.035	-0.149
Q6J. 演習問題の利用頻度	4.11	0.90	724	-0.054	-0.155	-0.054	-0.337#	-0.105	-0.276	0.050	-0.074
Q6K. 講義内容の分量	2.69	0.61	757	0.092	0.041	-0.158	-0.066	-0.097	-0.392#	0.038	-0.092
Q6L. 内容の説明時間	2.60	0.75	754	-0.223	-0.017	-0.113	-0.070	-0.151	-0.067	-0.094	-0.106
Q6M. 視聴者の思考時間	3.61	0.80	760	-0.201	-0.432#	-0.203	-0.264	-0.098	0.024	-0.124	-0.210
Q6N. 息抜きの時間	3.62	0.79	750	-0.106	-0.365#	-0.035	-0.067	-0.011	0.298	-0.193	-0.104
Q6O. 1 回の講義時間	2.93	0.48	750	0.056	0.089	0.102	-0.046	0.073	-0.085	0.063	0.019
Q6P. 問いかけの頻度	3.77	0.76	757	-0.094	-0.429#	-0.093	-0.144	-0.019	0.002	-0.067	-0.090
Q6Q. 実証実験の頻度	2.97	1.02	715	-0.120	-0.330#	-0.283	-0.086	-0.044	0.105	-0.414#	-0.218
Q6R. 証人の登場頻度	3.79	0.97	707	-0.061	-0.392#	-0.089	-0.220	0.117	0.087	-0.133	-0.049
Q6S. 実地見学頻度	3.37	1.08	667	-0.042	-0.373#	-0.177	-0.140	0.088	0.143	-0.211	-0.127

(注：** ≥ 0.5, 0.5 > * ≥ 0.3, -0.3 ≥ # > -0.5, -0.5 ≥ ##)

表 4-2-5 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 3)

因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効度数	講義内容適切性	視覚的配慮	番組満足度	番組実用性	要点提示適切性	難度・専門度	図表提示適切性	印刷教材適切性
Q7A.講師の登場時間	0.12	0.32	452	-0.061	-0.114	-0.129	0.015	-0.100	0.019	-0.212	-0.109
Q7B.黒板等の利用頻度	0.09	0.29	681	-0.008	-0.010	-0.110	0.004	-0.061	0.066	-0.132	-0.044
Q7C.了メ等の利用頻度	0.21	0.41	681	0.017	-0.075	-0.120	-0.028	-0.029	0.108	-0.092	-0.126
Q7D.図版の利用頻度	0.16	0.37	681	0.033	-0.006	-0.099	0.012	-0.041	0.013	-0.126	-0.085
Q7E.VTR等の利用頻度	0.17	0.38	681	-0.004	-0.132	-0.131	-0.072	-0.029	-0.003	-0.095	-0.169
Q7F.実験等の導入頻度	0.22	0.42	681	0.029	-0.073	-0.124	-0.076	-0.016	0.015	0.019	-0.077
Q7G.黒板等の利用頻度	0.04	0.18	681	-0.069	-0.094	-0.136	0.027	0.015	-0.030	-0.097	-0.033
Q7H.ゲストの登場頻度	0.15	0.35	681	0.023	-0.068	-0.094	0.024	-0.060	-0.023	-0.063	-0.056
Q7I.印刷教材の参照頻度	0.14	0.35	681	-0.034	-0.058	-0.013	0.001	-0.118	-0.004	-0.121	-0.072
Q7J.演習問題の利用頻度	0.19	0.39	681	-0.033	-0.031	-0.013	0.027	0.048	-0.038	-0.008	-0.095
Q7K.講義内容の分量	0.14	0.34	681	-0.319#	-0.056	-0.048	-0.023	-0.103	0.127	-0.022	-0.075
Q7L.内容の説明時間	0.18	0.38	681	-0.227	-0.095	-0.134	-0.008	-0.088	0.049	-0.083	-0.091
Q7M.視聴者の考慮時間	0.28	0.45	681	-0.057	-0.120	0.030	-0.034	-0.056	0.035	-0.036	-0.048
Q7N.息抜き時間	0.20	0.40	681	-0.008	-0.135	-0.008	0.064	0.000	0.153	-0.068	0.099
Q7O.1回の講義時間	0.09	0.29	681	-0.240	-0.022	0.028	0.033	0.013	0.020	0.011	-0.051
Q7P.問いかけの頻度	0.29	0.45	681	-0.030	-0.082	-0.077	-0.012	-0.122	-0.089	-0.033	-0.085
Q7Q.実物の登場頻度	0.20	0.40	681	0.041	-0.034	-0.089	-0.089	0.032	-0.014	-0.045	-0.017
Q7R.証人の登場頻度	0.05	0.22	681	0.046	-0.056	0.018	0.035	-0.013	0.025	-0.042	-0.028
Q7S.実地の見学	0.16	0.37	681	0.018	0.000	-0.044	0.022	0.018	-0.002	-0.041	-0.111
Q7X.その他	0.22	0.41	681	0.042	0.016	0.072	0.011	0.002	-0.027	-0.024	0.032
Q8A.講師の派手さ	3.48	0.69	757	-0.059	-0.201	-0.083	-0.031	-0.023	0.008	-0.090	0.018
Q8B.講師の清潔感	2.27	0.61	763	-0.305#	-0.232	-0.328#	-0.154	-0.359#	0.042	-0.257	-0.169
Q8C.講師の活動性	2.83	0.79	761	-0.211	-0.329#	-0.368#	-0.199	-0.273	-0.065	-0.295	-0.216
Q8D.講師の親しみやすさ	2.57	0.85	761	-0.300	-0.400#	-0.446#	-0.214	-0.312#	0.130	-0.362#	-0.198
Q8E.講師の暖かさ	2.52	0.78	760	-0.281	-0.367#	-0.384#	-0.186	-0.274	0.138	-0.334#	-0.187
Q8F.講師の厳しさ	3.13	0.71	758	0.008	0.026	0.031	-0.099	-0.071	-0.328#	0.065	-0.021
Q8G.講師の緊張度	3.14	0.80	759	0.149	0.116	0.244	0.054	0.159	-0.134	0.178	0.127
Q8H.話し方の明瞭さ	3.20	0.64	760	0.155	0.081	0.028	0.064	0.023	-0.317#	0.141	0.032
Q8I.話し方の丁寧さ	2.45	0.72	761	-0.269	-0.223	-0.285	-0.164	-0.298	-0.027	-0.185	-0.229
Q8J.言葉遣いの硬さ	3.01	0.77	762	0.172	0.226	0.316*	0.085	0.161	-0.246	0.214	0.201
Q8K.問の取り方	2.79	0.71	763	-0.303#	-0.388#	-0.340#	-0.128	-0.334#	0.149	-0.357#	-0.266
Q8L.表現力の豊かさ	2.85	0.77	762	-0.269	-0.426#	-0.418#	-0.254	-0.332#	-0.008	-0.306#	-0.224
Q8M.エピソード	3.38	0.79	762	-0.194	-0.481#	-0.372#	-0.223	-0.194	0.121	-0.302#	-0.163
Q8N.説得力	2.55	0.75	764	-0.338#	-0.353#	-0.482#	-0.253	-0.419#	-0.074	-0.339#	-0.263
Q8O.わかりやすさ	2.46	0.75	763	-0.386#	-0.418#	-0.476#	-0.198	-0.406#	0.233	-0.427#	-0.250
Q8P.技術の巧みさ	2.92	0.74	763	-0.278	-0.429#	-0.393#	-0.183	-0.295	0.041	-0.328#	-0.261
Q8Q.まわりのこと	3.46	0.72	761	0.252	0.145	0.377*	0.126	0.323*	-0.123	0.273	0.240
Q8R.すつきりさ	2.54	0.77	763	-0.328#	-0.328#	-0.420#	-0.233	-0.422#	-0.018	-0.323#	-0.281
Q8S.素材提示の適切性	2.50	0.77	763	-0.399#	-0.412#	-0.544#	-0.213	-0.433#	0.063	-0.579#	-0.332#

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4-2-5 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 4)

因子尺度・項目		平均	標準偏差	有効度数	講義内容 適切性	視聴者 理解度	番組 満足度	番組 実用性	要点提示 適切性	難度・専門 度	図表提示 適切性	印刷教材 適切性
Q10. 放送教材等総合的評定因子尺度												
99A. 講師の派遣感	やささ	0.01	0.12	421	-0.006	-0.039	-0.004	-0.061	0.006	-0.010	-0.008	-0.053
99B. 講師の清潔感	やささ	0.04	0.19	639	0.091	0.206	0.071	0.130	0.048	0.055	0.023	0.035
99C. 講師の話しやすさ	やささ	0.14	0.34	639	-0.022	-0.038	-0.012	-0.016	-0.114	-0.059	-0.125	-0.140
99D. 講師の親しみやすさ	やささ	0.24	0.43	639	-0.009	-0.087	-0.119	0.030	-0.035	0.126	-0.072	-0.037
99E. 講師の暖かさ	やささ	0.08	0.28	639	-0.040	-0.037	-0.120	0.074	-0.046	0.055	-0.123	-0.034
99F. 講師の厳しさ	度合	0.03	0.16	639	0.039	0.088	0.020	0.038	0.041	0.024	0.002	0.034
99G. 講師の緊張感	度合	0.10	0.30	639	-0.011	-0.030	-0.080	-0.061	-0.053	-0.010	0.036	0.017
99H. 話し方	度合	0.15	0.36	639	-0.177	-0.090	-0.027	0.031	-0.022	0.174	-0.047	-0.018
99I. 話し方の明確さ	度合	0.16	0.37	639	-0.021	0.050	-0.042	0.017	-0.043	-0.059	0.062	-0.032
99J. 言葉遣い	度合	0.11	0.32	639	0.019	-0.094	-0.061	0.026	0.017	0.047	-0.090	-0.148
99K. 間の取り方	度合	0.17	0.38	639	-0.031	-0.125	-0.041	0.005	-0.053	0.135	-0.046	-0.009
99L. 表現力	度合	0.20	0.40	639	0.029	-0.145	-0.088	-0.024	-0.069	-0.043	-0.067	-0.044
99M. ユーモア	度合	0.40	0.49	639	0.121	-0.100	-0.047	0.028	0.028	0.071	-0.056	-0.004
99N. 説得力	度合	0.18	0.38	639	-0.116	-0.029	-0.185	-0.061	-0.153	-0.053	-0.083	-0.094
99O. わかりやすさ	度合	0.21	0.41	639	-0.147	-0.102	-0.135	-0.050	-0.064	0.170	-0.030	-0.072
99P. 技術の巧みさ	度合	0.17	0.37	639	-0.046	-0.142	-0.196	-0.048	-0.097	-0.031	-0.076	-0.086
99Q. まわきり	度合	0.05	0.23	639	-0.089	-0.139	-0.145	-0.089	-0.115	-0.053	-0.084	-0.176
99R. すっきり	度合	0.08	0.28	639	-0.082	-0.084	-0.092	-0.049	-0.115	-0.032	-0.056	-0.025
99S. 教材提示の適切性	度合	0.23	0.42	639	-0.050	-0.059	-0.146	-0.054	-0.097	0.053	-0.149	-0.054
99X. その他	度合	0.14	0.35	639	0.028	0.057	0.150	-0.024	0.066	-0.080	0.062	0.027
(1) 内容の範囲は適切	度合	2.18	0.88	758	-0.678##	-0.212	-0.460#	-0.247	-0.428#	-0.037	-0.253	-0.121
(2) 内容が専門的	度合	2.71	0.98	761	-0.117	0.138	-0.023	-0.072	-0.165	-0.698##	-0.057	-0.038
(3) 単位が適切	度合	2.42	0.85	744	-0.691##	-0.156	-0.413#	-0.211	-0.318#	-0.051	-0.205	-0.195
(4) 面白	度合	2.42	0.93	759	-0.337#	-0.435#	-0.775##	-0.269	-0.266	0.124	-0.349#	-0.233
(5) 役に立つ	度合	2.00	0.76	758	-0.389#	-0.212	-0.722##	-0.492#	-0.485#	-0.056	-0.224	-0.161
(6) わかりやすい	度合	2.44	0.90	756	-0.470#	-0.453#	-0.550##	-0.178	-0.348#	0.486*	-0.365#	-0.118
(7) 講義が最初	度合	2.38	0.88	755	-0.334#	-0.343#	-0.362#	-0.242	-0.754##	0.042	-0.341#	-0.187
(8) まともな要約	度合	2.41	0.84	756	-0.338#	-0.387#	-0.449#	-0.281	-0.814##	0.059	-0.369#	-0.225
(9) 重要なポイントが明確	度合	2.47	0.90	759	-0.457#	-0.415#	-0.518##	-0.380#	-0.799##	0.024	-0.331#	-0.241
(10) 流れに合った緊急	度合	2.93	0.87	757	-0.362#	-0.886##	-0.408#	-0.180	-0.391#	0.156	-0.566##	-0.312#
(11) 1回の講義情報量	度合	2.54	0.90	756	-0.732##	-0.413#	-0.249	-0.144	-0.248	0.227	-0.341#	-0.306#
(12) 視聴者の動機づけ	度合	2.81	0.90	755	-0.364#	-0.735##	-0.512##	-0.230	-0.383#	0.101	-0.416#	-0.245
(13) 視聴者の疑問への配慮	度合	3.18	0.86	759	-0.306#	-0.780##	-0.339#	-0.321#	-0.332#	0.008	-0.252	-0.188
(14) 視聴者の疑問への配慮	度合	2.92	0.86	758	-0.453#	-0.620##	-0.385#	-0.361#	-0.452#	0.048	-0.298	-0.190
(15) 内容が盛りだくさん	度合	2.61	0.85	754	0.071	-0.098	-0.221	-0.071	-0.091	-0.585##	0.044	-0.167

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq ##$)

表 4-2-5 因子尺度偏差値・調査項目等のラレビ科目における相関係数行列 (その 5)

因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効度数	講義内容 適切性	理解配慮	視聴者 満足度	番組 実用性	要点提示 適切性	難度・専門 度	図表提示 適切性	印刷教材 適切性
(16)利用メディアの特性活用	2.63	1.02	754	-0.209	-0.592##	-0.544##	-0.186	-0.163	0.129	-0.627##	-0.305#
(17)視聴者への問いが適切	3.14	0.80	750	-0.257	-0.762##	-0.326#	-0.333#	-0.263	0.002	-0.302#	-0.268
(18)新しい概念の導入が適切	2.53	0.81	750	-0.358#	-0.469#	-0.409#	-0.287	-0.502##	-0.184	-0.273	-0.295
(19)具体例が適切に小	2.37	0.88	755	-0.501##	-0.501##	-0.539##	-0.282	-0.323#	0.186	-0.593##	-0.310#
(20)講義の流れに変化	3.12	0.93	755	0.273	0.506**	0.397*	0.057	0.152	-0.310#	0.391*	0.383*
(21)必要以上に専門用語	3.50	0.76	755	0.190	0.062	0.337*	0.084	0.197	-0.571##	0.104	0.363*
(22)印刷教材と適切に関連	2.51	0.87	752	-0.334#	-0.120	-0.240	-0.135	-0.500#	-0.107	-0.308#	-0.585##
(23)講義内容が実用的	2.42	0.87	753	-0.371#	-0.288	-0.364#	-0.128	-0.415#	-0.027	-0.835##	-0.341#
(24)内容がレベルは適切	2.80	0.91	756	-0.275	-0.344#	-0.457#	-0.759##	-0.373#	0.048	-0.243	-0.229
(25)講義の深さは適切	2.48	0.89	756	-0.719##	-0.280	-0.432#	-0.257	-0.276	0.205	-0.294	-0.204
(26)講義の準備は適切	2.47	0.81	754	-0.797##	-0.350#	-0.326#	-0.160	-0.275	0.298	-0.313#	-0.255
(27)講義の意図が適切	2.41	0.88	757	-0.691#	-0.293	-0.291	-0.144	-0.250	0.175	-0.296	-0.330#
(28)講義の意図が適切	3.20	0.90	754	-0.237	-0.518##	-0.102	-0.059	-0.104	0.333*	-0.372#	-0.188
(29)カリキュラムは適切	2.45	0.79	754	-0.672#	-0.314#	-0.482#	-0.190	-0.445#	0.017	-0.381#	-0.288
(30)興味深い番組	2.02	0.84	760	-0.444#	-0.339#	-0.806##	-0.361#	-0.391#	-0.061	-0.354#	-0.321#
(31)何らかの利用価値	1.73	0.74	761	-0.377#	-0.146	-0.699##	-0.495#	-0.465#	-0.082	-0.282	-0.161
(32)生活に密着した素材	2.56	0.93	755	-0.248	-0.352#	-0.450#	-0.710##	-0.271	0.208	-0.309#	-0.183
(33)時宜をえた素材を利用	2.50	0.83	755	-0.360#	-0.397#	-0.568##	-0.614##	-0.366#	0.021	-0.389#	-0.262
(34)実社会が身につく	2.75	0.99	754	-0.241	-0.188	-0.344#	-0.825##	-0.381#	-0.127	-0.084	-0.120
(35)基本が講義	2.23	0.83	761	-0.592##	-0.205	-0.418#	-0.280	-0.446#	-0.039	-0.341#	-0.073
(36)一般大学にない内容	2.64	0.93	758	-0.042	-0.304#	-0.315#	-0.370#	-0.013	-0.202	0.022	-0.267
(37)講師の人は適切	2.04	0.90	757	-0.449#	-0.365#	-0.664##	-0.205	-0.514##	-0.114	-0.360#	-0.306#
(38)講義の進度が適切	3.19	0.77	757	0.346*	0.163	0.006	-0.045	0.106	-0.605##	0.191	0.049
(39)全体量の提示に工夫	2.59	0.86	755	-0.789##	-0.308#	-0.293	-0.167	-0.286	0.158	-0.296	-0.270
(40)表が豊富	2.62	0.90	753	-0.364#	-0.476#	-0.465#	-0.203	-0.369#	0.014	-0.821##	-0.359#
(41)印刷教材が豊富	2.74	0.84	756	-0.325#	-0.365#	-0.360#	-0.271	-0.313#	-0.111	-0.419#	-0.750##
(42)改善の余地が大きい	3.19	1.00	757	0.464*	0.475*	0.621**	0.201	0.335*	-0.189	0.462*	0.488*
(43)印刷教材が豊富	2.94	0.87	755	0.293	0.297	0.278	0.177	0.170	-0.111	0.304*	0.826**
(44)印刷教材が豊富	3.54	0.88	747	-0.129	-0.338#	0.108	-0.473#	0.089	-0.217	0.124	-0.252
(45)学習の満足に工夫	2.53	0.75	747	-0.513##	-0.270	-0.416#	-0.198	-0.272	-0.088	-0.216	-0.225
(46)全体的に満足な番組	2.23	0.88	758	-0.597##	-0.453#	-0.777##	-0.335#	-0.476#	-0.048	-0.422#	-0.380#

(注: ** ≥ 0.5 , * ≥ 0.3 , ≥ 0.3 ≥ 0.5 , ≥ 0.5 ≥ 0.5)

表 4-2-6 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 1)

その他の主な質問項目・分類等											
因子尺度・項目	評定者 年齢	評定者 職位	科目 理・文	Q2 視聴分量	Q3 視聴質	Q5 講義形式	Q13 授業全面	Q13 授業参考	Q13 研究材料	想定 単位数	
Q6. メディアの活用頻度	-0.008	0.012	-0.249	0.038	0.018	0.388*	0.035	0.044	-0.033	-0.011	
Q6. 視聴者の考慮頻度	0.036	0.002	-0.088	0.024	0.067	0.140	-0.031	-0.020	0.005	0.070	
Q6. 印刷教材利用頻度	-0.070	0.086	0.140	0.128	0.086	-0.140	0.016	-0.085	0.197	0.076	
Q6. 講義内容量の多さ	0.052	-0.102	-0.019	0.031	-0.023	-0.039	0.014	-0.093	0.054	-0.035	
Q6. 実資料・図版・実験導入頻度	0.038	-0.069	-0.097	-0.013	-0.030	0.127	0.022	0.064	-0.002	0.095	
Q6. 黒板・図版・実験導入頻度	0.016	-0.051	0.146	-0.087	-0.016	-0.111	0.019	-0.061	0.185	0.004	
Q6. アニメ・実験導入頻度	0.072	-0.005	0.176	0.003	0.115	0.026	0.118	0.032	0.010	0.035	
Q7. 講義内容量の多さ	-0.024	0.091	-0.011	0.030	0.012	-0.024	-0.028	-0.018	-0.040	-0.085	
Q7. ゲスト等登壇頻度	0.023	-0.058	-0.176	0.046	0.050	-0.035	-0.022	0.067	-0.096	-0.020	
Q7. 息抜き・考慮機会の多さ	-0.050	0.004	-0.034	0.081	0.053	-0.049	0.027	-0.169	0.053	0.025	
Q7. 問い・教科書利用頻度	0.071	-0.143	0.048	-0.100	-0.011	0.087	0.066	0.008	-0.029	0.078	
Q7. 講師登壇頻度	-0.002	-0.031	0.045	0.063	0.034	0.053	-0.004	-0.006	0.012	0.044	
Q7. 実資料・図版・実験導入頻度	0.082	-0.043	0.004	0.001	0.024	-0.037	-0.016	0.086	-0.109	-0.021	
Q7. 黒板・図版・実験導入頻度	-0.006	0.049	-0.047	0.090	0.001	-0.103	-0.056	-0.002	-0.011	-0.024	
Q7. アニメ・実験導入頻度	0.006	-0.019	0.138	-0.052	0.021	0.021	-0.035	0.028	-0.075	-0.044	
Q8. 講師の親しみやすさ	0.100	-0.065	0.031	-0.158	-0.108	0.074	0.081	0.044	0.009	0.052	
Q8. 講師の堅さ	-0.040	0.061	0.202	-0.015	-0.030	-0.177	0.026	-0.075	0.049	0.077	
Q8. 講師の派手さ	0.089	-0.080	0.169	-0.083	0.021	0.048	-0.004	0.071	-0.030	-0.084	
Q8. 明解な話し方	0.113	-0.086	0.068	-0.048	-0.087	0.027	0.061	0.025	0.092	0.097	
Q8. 面白味のある話し方	0.144	-0.069	-0.019	-0.115	-0.032	0.176	0.018	0.065	0.013	-0.046	
Q8. 話し方の堅さ	-0.024	0.038	0.037	0.088	0.109	-0.032	0.030	-0.058	-0.088	-0.008	
Q8. 話す速さ	0.057	-0.055	0.112	0.031	0.009	-0.131	0.031	-0.052	0.088	0.027	
Q9. 講師の親近感	0.031	-0.033	-0.032	0.153	0.154	-0.030	0.023	-0.046	-0.055	-0.025	
Q9. 講師の堅さ	0.016	-0.006	0.109	-0.066	0.082	0.023	0.042	-0.015	0.013	0.043	
Q9. 講師の活動性	0.002	0.034	-0.098	0.080	-0.015	0.064	-0.083	0.063	0.041	-0.109	
Q9. 話し方の明解さ	-0.019	0.056	-0.057	0.075	0.011	-0.006	-0.005	0.041	-0.044	-0.122	
Q9. 話し方の速さ	0.001	0.036	0.049	0.067	0.025	-0.103	-0.080	-0.022	0.058	0.039	
Q9. 話し方の豊かさ	-0.039	-0.014	-0.019	0.002	0.039	0.006	0.036	0.042	-0.011	0.069	
Q9. 話し方の簡潔性	-0.037	0.035	0.014	-0.046	-0.054	0.091	-0.005	0.052	-0.113	0.014	
Q10. 講義内容量の適切性	0.087	-0.079	0.016	-0.089	-0.098	0.007	0.105	0.089	0.091	0.188	
Q10. 視聴者の理解の配工夫	0.119	-0.048	-0.011	-0.045	0.018	0.193	0.070	-0.003	0.011	0.025	
Q10. 番組への満足度	0.049	-0.071	0.053	-0.168	-0.199	0.116	0.149	0.089	0.159	0.118	
Q10. 番組への実用性	0.101	-0.080	-0.066	-0.047	-0.091	0.086	0.026	0.021	0.212	0.107	
Q10. 要点提示の適切性	0.022	-0.016	0.159	-0.089	-0.101	0.012	0.088	0.015	0.132	0.118	
Q10. 難解性・専門性・進度	-0.033	0.015	0.196	-0.000	0.035	-0.308#	0.082	-0.015	0.187	0.028	
Q10. 難解性・専門性	0.134	-0.093	0.071	-0.088	-0.068	0.055	0.109	0.056	0.021	0.046	
Q10. 印刷教材の適切性	0.134	-0.090	0.059	-0.062	-0.061	-0.038	0.088	-0.044	0.067	0.095	

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-2-6 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 2)

因子尺度・項目	その他の主な質問項目・分類等									
	評定者 年齢	評定者 職位	科目・文 理	Q2・ 視聴分量	Q3・ 視聴質	Q5・ 講義形式	Q13・ 授業全面	Q13・ 授業材料	Q13・ 研究材料	定 想 単 位 数
評定者：年齢	1.000	-0.679##	-0.031	-0.140	-0.069	0.042	0.007	0.173	-0.052	-0.051
評定者：職位 (教授<講師)	1.000	-0.012	-0.031	0.062	0.057	-0.082	-0.051	-0.151	0.064	0.019
評定者：性別 (男<女)	-0.131	0.227	-0.185	0.077	-0.021	-0.039	-0.017	0.008	0.002	-0.044
評定者：アイ・文系 (I V < F M)										
理系・文系 (文<理)	-0.031	-0.012	1.000	-0.036	-0.016	-0.225	0.036	0.022	0.014	0.050
Q2・視聴分量 (多<少)	-0.140	0.062	-0.036	1.000	0.238	-0.061	-0.067	-0.097	-0.021	-0.056
Q3・視聴質 (高<低)	-0.069	0.057	-0.016	0.238	1.000	0.005	-0.105	-0.084	0.041	0.011
Q4A・テレビ設備 (利<難)	0.000	-0.048	0.025	0.021	0.081	0.025	-0.002	0.024	-0.004	-0.005
Q4B・ビデオ設備 (利<難)	0.039	-0.054	0.020	-0.005	0.078	0.013	-0.017	0.026	0.020	0.007
Q4C・ラジオ設備 (利<難)	-0.032	-0.023	0.068	0.030	0.150	0.040	-0.042	0.008	-0.046	0.025
Q4D・テープ設備 (利<難)	0.042	-0.046	0.077	-0.013	0.143	-0.014	0.043	0.010	-0.001	-0.018
Q5・講義形式 (1人<他)	0.042	-0.082	-0.225	-0.061	0.005	1.000	0.037	-0.020	-0.112	0.050
Q13.1・授業で全般的に利用	0.007	-0.051	0.036	-0.067	-0.105	0.037	1.000	-0.191	-0.021	0.119
Q13.2・授業参考資料として利用	0.173	-0.151	0.022	-0.097	-0.084	-0.020	-0.191	1.000	-0.061	-0.005
Q13.3・研究室で利用	-0.052	0.064	0.014	-0.021	0.041	-0.112	-0.021	-0.061	1.000	0.015
Q13.4・図書利用したいと思	0.038	-0.023	-0.004	-0.071	-0.005	0.063	-0.086	-0.115	-0.081	0.006
Q13.5・利用する (0~3)	0.113	0.084	-0.095	0.134	0.138	-0.010	-0.052	-0.249	-0.073	-0.089
Q14・想定単位数	-0.051	0.019	0.050	-0.056	0.011	0.050	0.119	-0.005	0.015	1.000
Q6A・講師の登場時間	-0.022	-0.006	-0.150	0.057	0.029	0.277	-0.011	0.057	-0.069	-0.006
Q6B・黒板等の利用頻度	0.008	0.005	-0.172	0.057	-0.001	0.141	-0.003	0.056	-0.169	0.010
Q6C・丁メ等の利用頻度	-0.078	-0.012	-0.205	-0.026	-0.095	0.023	-0.100	-0.015	0.001	0.013
Q6D・図版の利用頻度	0.025	-0.008	-0.089	0.083	0.037	0.075	-0.018	0.008	-0.037	-0.033
Q6E・VTR等の利用頻度	0.027	0.031	0.173	0.023	0.038	-0.287	-0.027	-0.017	-0.009	0.007
Q6F・実験等の導入頻度	-0.042	0.069	-0.047	0.020	-0.051	-0.097	-0.074	-0.011	-0.024	-0.074
Q6G・寸劇等の登場時間	0.103	-0.077	0.046	-0.063	-0.044	-0.198	-0.021	0.018	-0.066	0.000
Q6H・ゲスの登場時間	-0.057	0.067	0.282	0.017	-0.010	-0.401#	-0.048	0.002	0.047	0.023
Q6I・印刷教材の参照頻度	0.060	-0.058	-0.113	-0.107	-0.086	0.180	-0.014	0.073	-0.170	-0.033
Q6J・演習問題の利用頻度	0.061	-0.109	-0.072	-0.165	-0.122	0.049	-0.043	0.070	-0.120	-0.106
Q6K・講義内容の分量	-0.063	0.088	-0.068	0.043	0.070	0.118	-0.026	0.035	-0.115	-0.041
Q6L・内容の説明時間	-0.026	0.020	-0.000	0.004	-0.034	0.050	-0.000	0.071	-0.030	-0.007
Q6M・視聴者の考慮時間	-0.013	-0.023	0.088	-0.039	-0.003	-0.075	0.018	0.056	-0.055	-0.090
Q6N・息抜きの時間	-0.083	0.024	-0.019	-0.010	-0.024	-0.149	0.010	-0.037	0.130	0.022
Q6O・1回の講義時間	-0.037	0.071	0.038	-0.139	-0.003	-0.042	0.014	0.054	0.005	0.129
Q6P・問いかけの頻度	0.060	-0.092	0.086	-0.038	-0.072	-0.144	0.031	0.024	0.004	-0.077
Q6Q・実例資料の提示頻度	-0.071	0.112	0.051	0.030	0.041	-0.094	-0.016	-0.080	-0.005	-0.041
Q6R・証人の登場頻度	-0.021	-0.030	0.176	-0.024	-0.071	-0.183	-0.035	0.002	-0.006	-0.035
Q6S・実地見学シートの頻度	-0.012	0.010	0.114	0.024	0.031	-0.163	-0.025	-0.018	0.043	-0.063

(注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-2-6 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 3)

因子尺度・項目		その他の主な質問項目・分類等									
		評定者 年齢	評定者 職位	科 理・文	Q2 視聴分量	Q3 視聴質	Q5 講義形式	Q13 授業全面	Q13 授業参考	Q13 研究材料	定 数 単位数
Q7A. 講師の登場時間 Q7B. 黒板等の利用頻度 Q7C. ティー等の利用頻度 Q7D. 図版等の利用頻度 Q7E. VTR等の利用頻度 Q7F. 実験等の導入頻度 Q7G. 寸劇等の利用頻度 Q7H. ゲスス等の利用頻度 Q7I. 印刷教材の参照頻度 Q7J. 演習問題の利用頻度	0.044	-0.058	-0.050	0.124	0.109	0.020	-0.089	0.005	-0.027	-0.011	-0.011
	-0.012	0.030	-0.004	0.053	0.025	-0.047	-0.044	-0.035	-0.014	0.027	0.027
	0.021	-0.021	0.107	-0.050	0.008	-0.001	-0.020	-0.003	-0.060	-0.043	-0.043
	0.001	0.044	-0.070	0.090	-0.020	-0.114	-0.046	0.048	-0.010	-0.064	-0.064
	-0.009	0.048	-0.014	-0.030	-0.019	-0.008	-0.026	0.067	-0.084	-0.071	-0.071
	0.004	-0.012	0.104	-0.017	0.035	0.032	-0.050	0.110	-0.093	-0.036	-0.036
	-0.082	0.068	-0.100	0.080	0.067	-0.005	-0.000	-0.097	-0.044	-0.031	-0.031
	-0.005	-0.028	-0.089	0.016	0.016	-0.003	0.034	0.036	-0.049	0.099	0.099
	0.112	-0.098	0.049	-0.146	-0.039	0.021	0.061	0.063	-0.000	0.020	0.020
	0.051	-0.077	0.165	0.000	-0.058	0.054	-0.036	0.045	0.057	0.036	0.036
Q7K. 講義内容の分量 Q7L. 内容の明瞭時間 Q7M. 視聴者の考慮時間 Q7N. 息抜きの時間 Q7O. 1回の講義時間	0.004	-0.018	-0.011	-0.007	0.015	-0.010	-0.030	-0.007	-0.060	-0.052	-0.052
	-0.057	0.068	-0.005	0.024	0.003	0.028	0.067	-0.028	-0.016	-0.036	-0.036
	-0.055	-0.020	-0.018	0.062	0.019	-0.009	0.035	-0.066	0.048	-0.027	-0.027
	0.003	0.010	0.008	0.063	-0.000	-0.041	0.069	-0.099	0.046	-0.006	-0.006
	-0.042	0.076	0.025	0.032	-0.107	0.051	0.033	-0.031	0.016	-0.032	-0.032
Q7P. 問いかけの頻度 Q7Q. 実物の提示頻度 Q7R. 証人の登場頻度 Q7S. 実地の見学頻度 Q7X. その他	0.035	-0.073	-0.041	0.013	0.017	0.129	0.028	-0.006	-0.084	0.067	0.067
	0.082	-0.021	-0.007	0.005	-0.002	-0.054	-0.017	0.044	-0.077	-0.049	-0.049
	0.034	-0.051	-0.114	-0.012	0.029	-0.050	0.023	0.002	-0.016	-0.026	-0.026
	0.074	-0.069	-0.016	-0.018	0.046	-0.013	0.021	0.022	-0.086	0.060	0.060
	0.093	-0.077	0.049	-0.224	-0.109	0.046	0.013	0.016	0.008	-0.064	-0.064
Q8A. 講師の準備感 Q8B. 講師の活動性 Q8C. 講師の話しやすさ Q8D. 講師の親しみやすさ Q8E. 講師の暖かさ	-0.065	0.073	-0.122	0.089	-0.011	-0.062	0.013	-0.083	0.068	0.093	0.093
	-0.019	0.020	0.014	0.083	0.112	-0.022	-0.069	-0.005	-0.019	-0.073	-0.073
	-0.116	0.077	-0.205	0.109	0.066	0.004	-0.076	-0.018	-0.063	-0.021	-0.021
	-0.095	0.067	0.040	0.139	0.091	-0.125	-0.095	-0.048	0.019	-0.036	-0.036
	-0.099	0.057	0.061	0.150	0.087	-0.121	-0.040	-0.070	0.056	-0.029	-0.029
Q8F. 講師の厳しさ Q8G. 講師の緊張度 Q8H. 話し方の明瞭さ Q8I. 言葉遣いの硬さ Q8J. 言葉遣いの柔らかさ	0.037	-0.059	-0.177	0.022	0.015	0.188	-0.024	0.101	-0.074	-0.060	-0.060
	0.022	-0.051	-0.055	-0.021	-0.001	0.035	-0.008	0.016	0.057	-0.056	-0.056
	-0.047	0.034	-0.108	-0.002	0.007	0.116	0.001	0.038	-0.053	-0.045	-0.045
	-0.077	0.047	-0.089	0.054	0.059	0.013	-0.029	0.030	-0.050	-0.067	-0.067
	0.059	-0.011	-0.052	-0.112	-0.057	0.096	-0.047	0.069	0.028	-0.011	-0.011
Q8K. 問の取り方 Q8L. 表現力の豊かさ Q8M. コーヒー Q8N. 設備 Q8O. わかりやすさ	-0.049	0.019	-0.007	0.087	0.062	-0.065	0.018	-0.079	0.017	-0.041	-0.041
	-0.169	0.105	-0.036	0.068	0.044	-0.092	-0.050	-0.036	-0.082	0.002	0.002
	-0.128	0.091	-0.025	0.106	0.048	-0.175	-0.049	-0.049	-0.032	-0.061	-0.061
	-0.085	0.057	-0.059	0.026	0.088	0.029	-0.030	-0.043	-0.106	-0.090	-0.090
	-0.091	0.051	0.032	0.043	0.095	-0.132	-0.034	-0.050	-0.036	-0.067	-0.067
Q8P. 技術の巧みさ Q8Q. まわりくどさ Q8R. すっきりさ Q8S. 教材提示の適切性	-0.175	0.093	0.003	0.045	0.017	-0.095	-0.064	-0.025	-0.030	0.005	0.005
	0.070	-0.071	-0.002	-0.070	-0.103	0.046	0.001	0.035	0.108	-0.026	-0.026
	-0.045	0.077	-0.027	0.038	0.084	0.018	-0.044	-0.029	-0.134	-0.055	-0.055
	-0.085	0.084	-0.025	0.061	0.120	-0.066	-0.076	-0.069	-0.061	-0.118	-0.118

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \# \#$)

表 4-2-6 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 4)

因子尺度・項目	評定者 年齢	評定者 職位	その他の主な質問項目・分類等							想定 単位数
			科・理・文	Q2・ 視聴分量	Q3・ 視聴質	Q5・ 講義形式	Q13・ 授業全面	Q13・ 授業参考	Q13・ 研究材料	
99A. 講師の派遣の手さ	0.041	-0.000	-0.038	0.048	-0.085	0.005	-0.035	0.080	0.068	-0.116
99B. 講師の清聴感	0.071	-0.060	-0.078	0.006	-0.047	0.010	0.035	-0.025	-0.044	-0.053
99C. 講師の活動性	-0.066	0.070	-0.158	0.066	0.048	0.092	-0.033	0.026	-0.012	-0.051
99D. 講師の親しみやすさ	-0.005	-0.017	0.044	0.114	0.089	-0.033	0.025	-0.033	0.005	0.041
99E. 講師の暖かさ	0.016	-0.049	0.021	0.062	0.055	0.032	0.056	0.042	-0.040	-0.006
99F. 講師の厳しさ	0.003	0.006	0.028	-0.023	0.077	0.006	0.144	-0.015	-0.009	0.044
99G. 講師の緊張の度合	0.024	-0.006	0.053	-0.079	0.031	0.030	-0.044	-0.003	0.005	0.085
99H. 話し方のスピード	-0.021	0.065	0.073	0.063	0.031	-0.074	-0.027	-0.041	0.012	0.027
99I. 話し方の明確さ	-0.043	0.039	-0.043	0.134	0.051	-0.024	-0.000	0.081	-0.021	-0.002
99J. 言葉遣いの硬さ	0.025	-0.068	0.043	0.021	0.037	0.043	0.040	0.073	-0.024	0.047
99K. 問の取り方	0.032	0.002	0.018	0.008	-0.002	-0.086	-0.076	-0.023	0.086	0.058
99L. 表現力の豊さ	-0.028	-0.007	-0.063	-0.048	-0.058	-0.014	0.055	0.028	-0.010	0.028
99M. エネルギー	-0.027	0.001	-0.013	0.053	0.123	-0.040	0.043	-0.022	0.024	0.072
99N. 説得力	-0.021	0.071	-0.101	0.088	0.093	0.037	0.031	0.007	-0.068	-0.105
99O. わかりやすさ	-0.001	-0.010	-0.027	0.072	0.046	-0.070	-0.041	0.021	-0.008	-0.094
99P. 技術の巧みさ	-0.047	0.035	0.003	-0.025	-0.014	0.040	-0.037	0.024	-0.020	0.012
99Q. まわりのきくさ	-0.007	-0.011	0.033	-0.082	-0.062	0.036	0.006	0.060	-0.095	0.050
99R. すっきりさ	-0.042	0.074	0.009	-0.039	-0.030	0.110	-0.007	-0.021	-0.081	-0.024
99S. 素材提示の適切性	0.054	-0.011	0.079	-0.013	-0.055	0.005	-0.018	0.042	-0.000	-0.070
99X. その他	0.071	-0.037	-0.040	-0.128	-0.038	0.058	0.013	0.045	0.025	-0.065
(1) 内容の範囲は適切	-0.062	0.070	-0.023	0.042	0.157	-0.044	-0.092	-0.087	-0.105	-0.184
(2) 内容が専門的だった内容	-0.005	0.002	-0.140	0.005	0.003	0.281	-0.069	0.047	-0.186	-0.001
(3) 単位数が見えにくい	-0.042	0.042	0.000	0.065	0.077	0.007	-0.106	-0.075	-0.110	-0.179
(4) 面白くない	0.004	0.019	-0.007	0.132	0.161	-0.130	-0.149	-0.069	-0.084	-0.078
(5) 役に立つ	-0.036	0.052	-0.087	0.082	0.191	0.006	-0.119	-0.069	-0.184	-0.128
(6) わかりやすい	-0.040	0.004	0.150	0.047	0.087	-0.189	-0.033	-0.087	0.079	-0.049
(7) 講義概要が要約で適切	-0.038	-0.021	-0.034	0.040	0.069	-0.106	-0.075	-0.016	-0.047	-0.142
(8) まとめがポイントが明確	-0.064	0.029	-0.127	0.132	0.082	-0.083	-0.073	0.006	-0.091	-0.076
(9) 重要なのに適当な緩急	0.010	0.015	-0.124	0.068	0.062	-0.016	-0.092	-0.023	-0.087	-0.072
(10) 流れに適切な緩急	-0.079	0.041	-0.046	0.108	0.040	-0.141	-0.072	-0.032	-0.000	-0.035
(11) 1回の講義情報量適切	-0.089	0.057	-0.015	0.060	0.040	-0.016	-0.116	-0.038	-0.081	-0.126
(12) 視聴者の動機づけ配慮	-0.112	0.110	-0.050	0.085	0.017	-0.139	-0.108	-0.007	-0.049	-0.052
(13) 視聴者の疑問への配慮	-0.091	0.046	0.024	0.038	0.018	-0.159	-0.049	0.008	-0.018	-0.090
(14) 視聴者の疑問への配慮	-0.060	0.031	0.050	0.056	0.072	-0.116	-0.011	-0.055	-0.083	-0.010
(15) 内容が盛りだくさん	0.031	0.024	-0.118	-0.006	0.026	0.119	-0.079	0.003	-0.046	-0.074

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-2-6 因子尺度偏差値・調査項目等のテレビ科目における相関係数行列 (その 5)

因子尺度・項目	その他の主な質問項目・分類等									
	評定者 年齢	評定者 職位	科目 理・文	Q2 短聴分量	Q3 短聴質	Q5 講義形式	Q13 授業全面	Q13 授業参考	Q13 研究材料	想定 単位数
(16)利用メディアの特性が適切	-0.091	0.056	0.037	0.061	0.077	-0.182	-0.084	-0.033	-0.029	-0.045
(17)視聴者の問いが適切	-0.087	0.023	0.019	0.043	0.011	-0.152	-0.033	-0.009	-0.059	-0.062
(18)新しい概念の導入が適切	-0.066	0.035	-0.158	0.082	0.054	0.000	-0.068	-0.076	-0.123	-0.077
(19)具体例が適切に小	-0.081	0.062	0.077	0.062	0.077	-0.156	0.035	-0.072	-0.045	-0.028
(20)講義の流れに變化小	0.089	-0.080	-0.023	-0.067	-0.037	0.174	-0.076	-0.015	0.021	-0.059
(21)必要以上に専門用語有	0.018	-0.037	-0.064	-0.052	-0.126	0.149	-0.027	0.002	0.015	0.059
(22)印刷教材と適切に利用	-0.009	0.059	-0.128	0.083	0.095	0.032	-0.091	0.021	-0.085	-0.158
(23)図表などが適切な	-0.048	0.061	-0.123	0.059	0.080	0.071	-0.092	-0.064	-0.058	-0.075
(24)内容のレベルは適切	-0.035	0.109	-0.006	0.031	0.079	-0.107	-0.012	-0.055	-0.144	-0.068
(25)内容の進捗は適切	-0.035	0.030	0.051	0.084	0.091	-0.102	-0.049	-0.057	-0.042	-0.146
(26)講義の進度は適切	-0.078	0.049	0.033	0.067	0.101	-0.051	-0.040	-0.038	-0.019	-0.123
(27)1回の講義時間が適切	-0.100	0.088	0.014	0.101	0.102	-0.034	-0.045	-0.064	-0.080	-0.089
(28)中程度の休息が適切	-0.143	0.078	-0.087	0.042	-0.021	-0.153	-0.023	-0.062	0.117	-0.008
(29)カリキュラムが適切	-0.027	0.041	-0.051	0.081	0.099	0.006	-0.110	-0.062	-0.079	-0.183
(30)興味深い番組	-0.053	0.059	-0.062	0.158	0.215	-0.040	-0.111	-0.069	-0.185	-0.128
(31)何らかの活用が適切	-0.071	0.087	-0.102	0.167	0.198	-0.045	-0.154	-0.158	-0.144	-0.198
(32)生活に密着した題材が適切	-0.149	0.140	0.236	0.121	0.104	-0.232	-0.005	-0.063	-0.078	-0.062
(33)時宜を捉えた題材が適切	-0.145	0.130	-0.012	0.155	0.145	-0.082	-0.077	-0.073	-0.106	-0.076
(34)実社会の実情が適切	-0.059	0.027	-0.005	0.013	0.043	-0.032	-0.015	-0.000	-0.211	-0.144
(35)基礎的な内容が適切	-0.069	0.050	-0.011	0.082	0.100	0.017	-0.106	-0.099	-0.098	-0.155
(36)一般大学にない内容が適切	-0.045	0.017	-0.090	0.060	0.018	0.054	-0.042	0.063	-0.144	0.020
(37)講師の進捗が適切	-0.070	0.091	-0.097	0.114	0.114	0.032	-0.089	-0.069	-0.138	-0.057
(38)講義の進捗が適切	-0.013	-0.016	-0.082	0.009	-0.018	0.138	-0.032	0.051	-0.098	0.027
(39)全体量の提示が適切	-0.111	0.084	0.018	0.047	0.080	-0.017	-0.013	-0.037	-0.076	-0.105
(40)図表などの提示が適切	-0.144	0.100	-0.100	0.055	0.059	-0.014	-0.087	-0.058	-0.095	-0.057
(41)印刷教材が充実している	-0.123	0.094	-0.033	0.076	0.079	0.043	-0.098	-0.029	-0.079	-0.077
(42)改善の余地が大きい番組	0.070	-0.013	0.012	-0.068	-0.082	0.036	0.087	0.059	0.086	0.141
(43)印刷教材の活用が適切	0.126	-0.071	0.010	-0.037	-0.099	-0.029	0.034	0.005	0.003	0.028
(44)印刷教材の演習が適切	-0.034	-0.021	0.076	-0.068	-0.091	0.011	-0.024	0.013	-0.048	-0.081
(45)学習ペースの調整が適切	-0.028	0.019	-0.064	0.073	0.085	-0.017	-0.140	-0.072	-0.057	-0.147
(46)全体的に満足な番組	-0.110	0.071	-0.081	0.125	0.134	-0.041	-0.115	-0.112	-0.118	-0.171

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-3-1 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 1)

Q 6. 放送教材量の評定因子尺度							
因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	メディア活用度	視聴者考慮機会	印刷教材利用頻度	講義内容量の多さ
Q6. メディア特性の活用度	45.51	10.94	147	1.000	0.127	0.401*	-0.268
Q6. 視聴者考慮機会の頻度	49.70	11.18	147	0.127	1.000	0.230	0.171
Q6. 印刷教材利用頻度	53.97	9.12	147	0.401*	0.230	1.000	0.036
Q6. 講義内容量の多さ	50.53	11.84	147	-0.268	0.171	0.036	1.000
Q6. 実資料素材利用頻度							
Q6. 黒板・図版・実験導入頻度							
Q7. 講義内容量の多さ改善	49.35	9.48	174	0.140	-0.153	-0.048	0.120
Q7. ゲスト等登壇時間改善	48.82	8.80	174	-0.104	-0.069	-0.149	-0.029
Q7. 黒板・図版・実験頻度改善	52.00	10.74	174	-0.100	-0.264	0.065	0.187
Q7. 教材の活用頻度改善	51.54	10.86	174	-0.214	-0.083	-0.075	0.284
Q7. 講師の活用頻度改善	50.52	10.53	174	0.000	-0.196	-0.037	-0.091
Q7. 実資料素材利用頻度改善	45.06	3.22	174	0.022	0.121	-0.045	-0.006
Q7. 黒板・図版・実験頻度改善	46.63	3.55	174	-0.006	0.124	0.029	-0.037
Q7. アニメ・実験頻度改善	45.28	3.02	174	0.077	0.066	0.038	-0.125
Q8. 講師の親しみやすさ	50.27	9.95	204	-0.107	0.394*	-0.007	0.094
Q8. 講師の堅さ	48.03	10.13	204	0.026	0.116	0.145	0.006
Q8. 講師の派手さ	48.43	11.17	204	0.211	0.074	0.154	-0.092
Q8. 明解な話し方	50.59	10.81	205	-0.071	0.429*	-0.011	0.104
Q8. 面白味のある話し方	50.34	9.43	205	-0.084	0.423*	-0.047	0.073
Q8. 話し方の堅さ	50.71	11.10	205	-0.033	-0.081	-0.055	-0.026
Q8. 話す速さ	48.10	11.43	205	0.168	-0.099	0.180	0.093
Q9. 講師の親近感改善	49.85	10.45	174	0.061	-0.214	0.001	0.002
Q9. 講師の堅さ改善	49.37	8.93	174	0.024	0.046	0.047	0.003
Q9. 講師の活動性改善	49.73	9.63	174	-0.055	0.012	-0.052	0.019
Q9. 話し方の明解さの改善	48.93	9.27	174	0.180	-0.312#	0.084	-0.049
Q9. 話す速さ・間の改善	51.23	11.11	174	-0.186	-0.121	-0.071	-0.007
Q9. 話し方の豊かさの改善	49.24	9.68	174	-0.144	-0.138	-0.036	0.077
Q9. 話し方の積極性の改善	50.71	10.36	174	0.009	-0.062	-0.070	0.125
Q10. 講義内容量の適切性	50.70	9.65	170	-0.135	0.262	-0.097	0.121
Q10. 視聴者の理解への配慮工夫	48.81	9.52	170	0.279	0.504**	0.222	0.001
Q10. 番組の満足度	48.78	10.17	170	-0.194	0.127	-0.085	0.131
Q10. 番組への実用性	44.94	10.81	170	0.378*	0.137	0.459*	-0.056
Q10. 要点的提示の適切性	49.46	9.55	170	-0.310#	0.137	-0.106	0.148
Q10. 難解性の適度・進歩	49.98	9.01	170	0.028	-0.002	0.319*	0.216
Q10. 図表提示の適切性	42.34	9.12	170	0.184	0.167	0.057	-0.137
Q10. 印刷教材の適切性	50.56	10.07	170	-0.081	0.182	0.074	0.131

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-3-1 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 2)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 6. 放送教材量の評定因子尺度			
				メディア活用度	視聴者考慮度	印刷教材利用頻度	講義内容量の多さ
評定者：年齢 (教授<講師) 評定者：性別 (男<女) メディア (T<FM) 理系・文系 (文<理)	45.03 2.10 1.10 2.00 1.24	10.08 1.04 0.30 0.00 0.43	210 210 207 210 152	-0.143 0.141 0.041 -0.086 -0.086	0.034 -0.079 -0.093 0.153 0.153	0.007 -0.073 -0.047 -0.083 -0.083	0.251 -0.313# -0.024 -0.039 -0.039
Q2.視聴分量 (多<少) Q3.視聴質 (高<低) Q4A.テレビ設備 (利<難) Q4B.ビデオ設備 (利<難) Q4C.ラジオ設備 (利<難) Q4D.テレーズ設備 (利<難) Q5.講義形式 (1人<他)	3.26 1.88 1.58 1.45 1.58 1.47 1.31	1.69 0.72 0.67 0.54 0.72 0.69 0.46	203 205 201 203 200 202 198	0.200 0.155 -0.033 -0.064 0.178 -0.094 0.440*	0.040 0.002 0.140 0.104 0.126 0.097 -0.032	0.096 0.150 -0.178 -0.159 0.069 -0.113 0.264	-0.186 -0.066 -0.064 -0.024 -0.178 0.016 -0.026
Q13.1.授業で全面的に利用 Q13.2.授業資料として利用 Q13.3.研究室等々で利用 Q13.4.図書等々で利用 Q13.5.図書等々で利用 Q14.題定回数 (0~3)	0.04 0.59 0.27 0.52 0.02 1.57	0.21 0.49 0.45 0.50 0.14 1.07	201 201 201 201 201 176	0.137 -0.104 0.015 -0.122 -0.062 -0.092	0.010 -0.036 -0.036 0.033 -0.159 0.143	0.231 -0.047 0.140 0.050 -0.144 0.079	0.043 0.063 0.015 -0.005 0.197 0.100
Q6A.講師の登場時間 Q6B.黒板等の利用頻度 Q6C.ア二版等の利用頻度 Q6D.図版等の利用頻度 Q6E.VTR等の利用頻度	1.75 3.99 3.99 3.99 3.99	0.92 1.20 1.20 1.20 1.20	184 164 164 164 164	0.713** -0.657** -0.657** -0.657** -0.657**	0.091 -0.136 -0.136 -0.136 -0.136	0.167 -0.354# -0.354# -0.354# -0.354#	-0.266 0.076 0.076 0.076 0.076
Q6F.実験等の導入頻度 Q6G.寸劇等の登場時間 Q6H.デス材の登場時間 Q6I.印刷教材の登場時間 Q6J.演習問題の登場時間	4.45 3.77 2.85 4.01 2.67	0.83 1.24 1.10 0.96 0.65	178 180 195 178 195	-0.686** -0.690** 0.128 -0.667** 0.133	-0.243 -0.179 -0.142 -0.354# 0.052	-0.388# -0.465# -0.704## -0.776## -0.224	0.244 -0.084 -0.207 0.031 -0.709##
Q6K.講義内容の分量 Q6L.内容の説明時間 Q6M.視聴者の考慮時間 Q6N.息抜きの時間 Q6O.1回の講義時間	2.46 3.60 3.88 2.89 3.80	0.90 0.85 0.79 0.50 0.85	194 199 191 195 197	0.546** -0.195 -0.342# 0.007 -0.283	-0.432# -0.829# -0.649## -0.059 -0.791##	0.236 -0.340# -0.244 -0.019 -0.348#	-0.650## -0.177 0.242 -0.763## -0.012
Q6P.問いかけの頻度 Q6Q.実物資料の提示頻度 Q6R.証人の登場頻度 Q6S.実地見学の頻度	4.13 4.13 4.13 4.13	1.02 1.02 1.02 1.02	181 181 181 181	-0.590## -0.590## -0.590## -0.590##	-0.440# -0.440# -0.440# -0.440#	-0.148 -0.148 -0.148 -0.148	0.141 0.141 0.141 0.141

(注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq ##$)

表 4-3-1 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 3)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 6. 放送教材量の評定因子尺度			
				メディア活用度	視聴者考慮機会	印刷教材利用頻度	講義内容量の多さ
Q7A. 講師の登場時間	0.07	0.26	174	0.014	-0.173	-0.207	0.098
Q7B. 黒板等の利用頻度	0.01	0.08	174	-0.086	-0.047	0.047	-0.047
Q7C. アニメ等の利用頻度	0.01	0.11	174	0.117	0.106	0.021	-0.106
Q7D. 図版の利用頻度	0.03	0.17	174	0.046	0.180	0.010	-0.019
Q7E. VTR等の利用頻度	0.01	0.11	174	0.088	0.154	-0.037	0.021
Q7F. 実験等の導入頻度	0.01	0.11	174	-0.036	0.002	0.031	-0.093
Q7G. 寸劇等の利用頻度	0.07	0.26	174	0.157	-0.086	0.083	-0.323#
Q7H. フェース等の利用頻度	0.20	0.40	174	-0.148	-0.065	-0.130	-0.001
Q7I. 印刷教材の参照頻度	0.20	0.40	174	0.072	-0.102	-0.139	-0.119
Q7J. 演習問題の利用頻度	0.16	0.37	174	-0.003	-0.021	0.074	-0.042
Q7K. 講義内容の分量	0.18	0.38	174	0.050	-0.039	0.103	0.270
Q7L. 内容の説明時間	0.20	0.40	174	0.105	-0.258	0.120	-0.025
Q7M. 視聴者の考慮時間	0.29	0.46	174	-0.239	-0.278	-0.079	0.196
Q7N. 息抜きの時間	0.28	0.45	174	0.004	-0.141	0.084	0.202
Q7O. 1回の講義時間	0.07	0.26	174	0.038	-0.052	-0.164	-0.019
Q7P. 問いかけの頻度	0.42	0.49	174	-0.174	-0.101	0.020	0.273
Q7Q. 実物資料の提示頻度	0.03	0.18	174	0.027	0.085	-0.070	0.026
Q7R. 証人の登場頻度	0.05	0.21	174	0.038	0.010	0.090	-0.144
Q7S. 実地の見学頻度	0.00	0.00	174				
Q7X. その他	0.27	0.44	174	0.020	-0.020	0.036	0.130
Q8A. 講師の派手さ	3.63	0.74	206	-0.169	-0.101	-0.101	0.077
Q8B. 講師の清潔感	2.27	0.73	207	0.202	-0.237	0.106	-0.143
Q8C. 講師の活動性	2.95	0.73	206	-0.041	-0.307#	-0.153	-0.098
Q8D. 講師の話しやすさ	2.48	0.80	208	0.029	-0.348#	0.003	0.063
Q8E. 講師の暖かさ	2.48	0.79	208	0.123	-0.376#	0.024	-0.127
Q8F. 講師の厳しさ	3.24	0.69	207	-0.043	-0.075	-0.114	0.043
Q8G. 講師の緊張度	3.30	0.82	206	-0.047	-0.023	-0.119	0.039
Q8H. 話し方の明瞭さ	3.32	0.76	208	-0.173	0.097	-0.175	-0.081
Q8I. 話し方の明瞭さ	2.28	0.75	208	0.080	-0.223	0.036	-0.079
Q8J. 言葉遣いの硬さ	3.09	0.80	209	-0.123	0.258	-0.092	0.053
Q8K. 間の取り方	2.69	0.87	209	0.061	-0.393#	0.020	-0.136
Q8L. 表現力の豊かさ	2.75	0.83	209	0.122	-0.402#	-0.019	-0.153
Q8M. ユーモア	3.45	0.76	209	-0.007	-0.370#	-0.045	-0.029
Q8N. 説得力	2.55	0.82	208	0.118	-0.396#	0.074	-0.139
Q8O. わかりやすさ	2.35	0.80	209	0.076	-0.299	0.052	0.076
Q8P. 術の巧みさ	2.83	0.84	209	0.053	-0.367#	0.085	-0.051
Q8Q. まわりのくどさ	3.42	0.85	209	-0.031	0.046	0.091	0.040
Q8R. すっきりさ	2.52	0.82	209	-0.015	-0.339#	-0.013	-0.086
Q8S. 素材提示の適切性	2.73	0.76	208	0.007	-0.386#	-0.149	-0.112

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4-3-1 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 4)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q.6. 放送教材量の評定因子尺度			
				メディア活用度	視聴者考慮機会	印刷教材利用頻度	講義内容量の多さ
Q9A. 講師の派手さ	0.02	0.13	174	-0.001	0.154	-0.069	-0.010
Q9B. 講師の清潔感	0.05	0.21	174	0.048	-0.172	-0.009	-0.042
Q9C. 講師の活動性	0.09	0.29	174	-0.088	-0.129	-0.034	-0.017
Q9D. 講師の親しみやすさ	0.20	0.40	174	0.012	-0.181	-0.032	0.132
Q9E. 講師の暖かさ	0.07	0.26	174	0.109	-0.114	0.054	-0.041
Q9F. 講師の厳しさ	0.02	0.13	174	0.006	0.081	-0.026	-0.076
Q9G. 講師の緊張の度合い	0.07	0.25	174	0.035	-0.015	0.107	0.054
Q9H. 話すスピード	0.22	0.41	174	-0.163	-0.068	-0.143	-0.017
Q9I. 話し方の明瞭さ	0.11	0.31	174	-0.023	-0.218	0.086	0.041
Q9J. 言葉遣いの硬さ	0.11	0.32	174	-0.173	-0.065	-0.094	0.023
Q9K. 間の取り方	0.20	0.40	174	-0.127	-0.136	0.014	-0.046
Q9L. 表現力の豊さ	0.16	0.36	174	0.011	-0.245	-0.027	-0.044
Q9M. ユーモア	0.32	0.47	174	0.006	0.038	0.072	0.059
Q9N. 説得力	0.14	0.35	174	0.223	-0.214	0.146	-0.017
Q9O. わかりやすさ	0.20	0.40	174	0.059	-0.146	0.032	0.080
Q9P. 話術の巧みさ	0.18	0.39	174	-0.178	-0.084	-0.057	0.096
Q9Q. まわりくどさ	0.07	0.26	174	-0.065	0.019	-0.120	0.163
Q9R. すっきりさの適切性	0.10	0.30	174	0.154	-0.052	0.002	0.008
Q9S. 素材提示の適切性	0.18	0.39	174	0.059	-0.139	-0.034	-0.116
Q9X. その他	0.17	0.37	174	0.013	0.024	0.010	-0.020
(1) 内容の範囲は適切	2.04	0.81	205	0.132	-0.266	0.066	-0.058
(2) 内容が専門的	2.67	0.89	204	0.164	-0.090	0.002	-0.136
(3) 単位数が合った内容	2.32	0.76	202	0.211	-0.285	0.013	-0.251
(4) 面白い番組	2.53	1.00	204	0.001	-0.331#	-0.062	-0.052
(5) 役に立つ番組	2.20	0.81	205	-0.030	-0.130	-0.052	-0.099
(6) わかりやすい番組	2.44	0.89	204	0.151	-0.239	0.178	0.056
(7) 講義概要が最初で適切	2.49	0.91	204	0.101	-0.066	-0.021	0.010
(8) 必要が要所で適切	2.52	0.90	204	0.055	-0.227	0.012	-0.102
(9) 重要ポイントが明確	2.53	0.84	204	0.094	-0.379#	0.021	-0.064
(10) 流れに適切な緩急	3.07	0.90	206	-0.184	-0.416#	-0.195	-0.011
(11) 1 回の講義情報量適切	2.53	0.82	205	-0.028	-0.153	0.086	0.128
(12) 視聴者の動機づけ配慮	3.00	0.93	204	-0.055	-0.274	-0.039	0.023
(13) 視聴者が考慮する工夫	3.21	0.89	203	-0.081	-0.343#	-0.120	-0.033
(14) 視聴者の疑問への配慮	2.94	0.85	204	-0.004	-0.393#	-0.143	-0.114
(15) 内容が盛りだくさん	2.68	0.80	205	-0.021	0.010	-0.195	-0.107

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq ##$)

表 4-3-1 因子尺度偏差値・調査項目等における相関係数行列 (その 5)

因子尺度・項目		平均値	標準偏差	有効数	メディア活用度	視聴者考慮度	印刷教材利用頻度	講義内容量の多さ
(16)	利用メディアの特性が適切	3.15	0.91	207	-0.257	-0.232	-0.063	-0.012
(17)	視聴者の問いが適切	3.19	0.72	204	-0.091	-0.437#	-0.103	-0.010
(18)	新しい概念の導入が適切	2.69	0.80	205	0.097	-0.298	-0.012	-0.052
(19)	具体例が適切に変化小	2.64	0.87	206	0.096	-0.269	0.089	-0.074
(20)	講義の流れに適切	2.92	0.95	205	0.024	0.135	0.044	0.107
(21)	必要以上に専門用語有	3.54	0.84	203	-0.139	-0.042	-0.129	-0.042
(22)	印刷教材と適切に利用	2.36	0.87	202	0.274	-0.202	-0.002	-0.214
(23)	図表などが適切に利用	3.41	0.96	194	-0.214	-0.094	-0.063	0.152
(24)	内容が実用的	3.33	0.96	204	-0.227	-0.039	-0.326#	0.034
(25)	内容のレベルは適切	2.42	0.80	204	0.122	-0.269	0.113	-0.052
(26)	講義の進度は適切	2.47	0.85	205	0.046	-0.273	0.168	-0.043
(27)	1 回の講義時間が適切	2.40	0.84	205	0.146	-0.139	0.051	0.024
(28)	中途の息が適切	3.49	0.78	203	-0.196	-0.452#	-0.087	0.135
(29)	カリキュラムは適切	2.47	0.78	203	0.193	-0.227	0.053	-0.053
(30)	興味深い番組	2.22	0.94	206	0.214	-0.232	0.037	-0.066
(31)	何らかの活用価値有	1.97	0.82	205	0.063	-0.095	-0.096	-0.059
(32)	生活に密着した題材利用可	3.02	0.97	204	-0.172	-0.107	-0.151	-0.000
(33)	時宜社会が適切	2.85	0.91	203	-0.089	-0.256	-0.352#	-0.096
(34)	実社会が適切	3.27	1.02	204	-0.293	-0.076	-0.343#	0.040
(35)	基本が適切	2.37	0.97	204	0.133	-0.159	0.069	-0.072
(36)	一般大学にない内容有	2.92	0.99	204	-0.095	-0.110	-0.035	0.104
(37)	講師の人は適切	1.98	0.81	204	0.142	-0.306#	0.062	-0.098
(38)	講義の進度が適切	3.24	0.84	203	-0.026	0.142	-0.264	-0.056
(39)	全体の講義分量は適当	2.56	0.89	204	0.061	-0.153	0.074	0.054
(40)	図表などの提示は適当	3.49	0.82	184	-0.294	-0.169	-0.238	0.160
(41)	印刷教材が充実	2.73	0.90	201	0.161	-0.285	-0.096	-0.252
(42)	改善の余地が大きい番組	3.34	0.97	204	-0.041	-0.097	-0.097	0.013
(43)	印刷教材の演習が適切	2.98	0.99	205	-0.065	0.128	-0.004	-0.010
(44)	印刷教材の演習が適切	3.69	0.96	196	-0.548##	-0.232	-0.514##	-0.005
(45)	学習体系的に満足な番組	2.64	0.75	202	0.050	-0.142	-0.148	-0.238
(46)	全体的に満足な番組	2.25	0.88	205	0.072	-0.293	0.007	0.019

(注：** ≥0.5, 0.5 > * ≥0.3, -0.3 ≥ # > -0.5, -0.5 ≥ ##)

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq ##$)

表 4-3-2 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 1)

因子尺度・項目	標準 偏差	平均	Q 7. 放送教材量の改善点因子尺度				Q 7. 視覚素材利用度改善尺度			
			内容量 の改善	ゲスト利 用度改善	息抜き時 間の改善	問いかけ 頻度改善	講師登壇 時間改善	実資料素 材利用度	黒板・図 版利用度	了ニメ・ 実験利用
Q6. メディア特性の活用度	45.51	10.94	0.140	-0.104	-0.100	-0.214	0.000	0.022	-0.006	0.077
Q6. 視聴者考慮機会の頻度	49.70	11.18	-0.133	-0.069	-0.264	-0.083	-0.196	0.121	0.124	0.066
Q6. 印刷教材利用頻度	53.97	9.12	-0.048	-0.149	0.065	-0.075	-0.037	-0.045	0.029	0.038
Q6. 講義内容量の多さ	50.53	11.84	0.120	-0.029	0.187	0.284	-0.091	-0.006	-0.037	-0.125
Q6. 実資料素材利用頻度										
Q6. 黒板・図版導入頻度										
Q6. アニメ・実験導入頻度										
Q7. 講義内容量の多さ改善	49.35	9.48	1.000	-0.200	0.108	0.010	-0.085	0.008	-0.063	-0.115
Q7. 分メ・ス・考・機改善	48.82	8.80	-0.200	1.000	0.182	0.103	0.287	0.048	-0.105	0.109
Q7. 息抜き・考慮機改善	52.00	10.74	0.108	1.000	1.000	0.043	0.267	0.009	-0.110	0.064
Q7. 問い・教科書利用改善	51.54	10.86	0.010	0.103	0.043	1.000	-0.090	0.110	-0.037	-0.201
Q7. 講師登壇時間等の改善	50.52	10.53	-0.085	0.287	0.267	-0.090	1.000	0.044	-0.075	0.177
Q7. 実資料素材利用度改善	45.06	3.22	0.008	0.048	0.009	0.110	0.044	1.000	0.412*	0.150
Q7. 黒板・図版利用度改善	46.83	3.55	-0.063	-0.105	-0.110	-0.037	-0.075	0.412*	1.000	0.072
Q7. アニメ・実験頻度改善	45.28	3.02	-0.115	0.109	0.064	-0.201	0.177	0.150	0.072	1.000
Q8. 講師の親しみやすさ	50.27	9.95	-0.117	-0.017	-0.127	0.067	-0.088	-0.024	0.017	-0.014
Q8. 講師の堅さ	48.03	10.13	0.044	0.107	0.191	0.045	0.081	0.143	0.024	0.074
Q8. 講師の派手さ	48.43	11.17	-0.054	0.074	-0.055	0.063	-0.087	-0.038	-0.023	-0.011
Q8. 明解な話し方	50.59	10.81	-0.147	-0.043	-0.182	0.012	-0.155	-0.037	0.077	-0.007
Q8. 面白味のある話し方	50.34	9.43	-0.094	-0.035	-0.294	0.045	-0.131	0.061	0.145	0.012
Q8. 話し方の堅さ	50.71	11.10	0.088	0.219	0.215	0.272	0.063	0.161	0.025	0.043
Q8. 話しやすさ	48.10	11.43	0.164	0.118	0.102	0.178	-0.006	0.101	-0.084	0.004
Q9. 講師の親近感改善	49.85	10.45	0.088	0.112	0.206	-0.029	0.191	0.037	-0.059	0.079
Q9. 講師の堅さ改善	49.37	8.93	-0.032	-0.002	0.113	-0.004	0.061	0.207	0.027	0.528**
Q9. 講師の活動性改善	49.73	9.63	0.060	0.106	0.072	-0.035	0.028	0.026	0.020	-0.017
Q9. 話し方の明解さの改善	48.93	9.27	0.167	0.041	0.114	-0.008	0.077	-0.025	-0.000	-0.072
Q9. 話しやすさ・問の改善	51.23	11.11	0.242	0.199	0.383*	0.124	0.247	0.007	-0.126	-0.017
Q9. 話し方の豊かさの改善	49.24	9.68	0.100	0.198	0.291	-0.042	0.178	0.012	-0.149	0.110
Q9. 話し方の簡潔性の改善	50.71	10.36	0.155	0.025	0.221	0.192	0.005	0.016	-0.078	-0.069
Q10. 講義内容量の適切性	50.70	9.65	-0.304#	0.005	-0.284	0.020	-0.125	-0.039	0.173	-0.040
Q10. 視聴者への理解工夫	48.81	9.52	-0.146	0.077	-0.350#	-0.042	-0.245	0.019	0.157	0.010
Q10. 番組の満足度	48.78	10.17	-0.068	-0.058	-0.150	0.097	-0.256	-0.096	0.066	-0.125
Q10. 番組の活用性	44.94	10.81	-0.103	-0.064	-0.238	-0.096	-0.035	-0.027	-0.019	0.061
Q10. 要点提示の適切性	49.46	9.55	-0.006	-0.149	0.026	-0.045	-0.128	-0.012	-0.060	-0.137
Q10. 難解性の専門性・進歩性	49.98	9.01	0.139	0.054	0.320*	0.086	0.027	-0.052	-0.103	0.041
Q10. 図表提示の適切性	42.34	9.12	0.014	-0.061	-0.207	-0.137	0.091	-0.034	-0.127	0.119
Q10. 印刷教材の適切性	50.56	10.07	-0.145	-0.012	-0.199	-0.123	-0.125	-0.140	-0.029	0.039

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4-3-2 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 2)

Q 7. 放送教材量の改善点因子尺度				Q 7. 視覚素材利用度改善尺度						
因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効度数	内容量の改善	ゲスト利用度	息抜き時間の改善	問いかけ頻度の改善	講師登壇時間改善	実資料・図版利用度	アニメ・実験利用
評定者：年齢	45.03	10.08	210	0.004	0.176	0.091	0.089	0.050	-0.051	-0.055
評定者：性別 (男<女)	2.10	1.04	210	-0.002	-0.187	-0.127	-0.088	-0.057	-0.028	-0.016
評定者：性別 (T V<F M)	1.10	0.30	207	0.070	0.052	0.035	-0.005	0.084	-0.105	-0.016
メ	2.00	0.00	210							
理系・文系 (文<理)	1.24	0.43	152	0.055	-0.121	-0.097	0.017	0.039	0.181	-0.117
Q2. 視聴分量 (多<少)	3.26	1.69	203	-0.218	0.020	-0.089	-0.124	0.146	-0.036	-0.018
Q3. 視聴質 (高<低)	1.88	0.72	205	-0.011	0.015	-0.062	-0.049	0.058	-0.063	0.050
Q4A. テレビ設備 (利<難)	1.58	0.67	201	-0.019	-0.165	-0.206	0.017	-0.082	0.062	0.052
Q4B. ビデオ設備 (利<難)	1.45	0.54	203	0.030	-0.178	-0.077	-0.055	-0.024	0.070	0.154
Q4C. ラジオ設備 (利<難)	1.58	0.72	200	0.030	-0.091	-0.168	0.022	-0.016	-0.000	0.119
Q4D. テープ設備 (利<難)	1.47	0.69	202	-0.018	0.011	-0.150	0.010	-0.076	0.019	0.217
Q5. 講義形式 (1人<他)	1.31	0.46	198	0.092	-0.112	-0.001	-0.143	0.189	-0.044	0.017
Q13.1. 授業で全般的に利用	0.04	0.21	201	-0.001	-0.058	-0.012	0.012	-0.048	0.137	0.249
Q13.2. 授業参考資料として利用	0.59	0.49	201	-0.040	0.029	0.107	0.070	0.037	0.072	0.090
Q13.3. 研究室等での利用	0.27	0.45	201	0.142	-0.043	0.063	-0.085	-0.026	-0.051	0.041
Q13.4. 図書室等での利用	0.52	0.50	201	0.066	-0.056	0.021	0.141	-0.029	-0.006	-0.094
Q13.5. 利用した回数 (0~3)	0.02	0.14	201	0.013	0.118	0.038	0.055	0.086	-0.035	-0.012
Q14. 想定単位数	1.57	1.07	176	0.026	-0.004	-0.022	0.154	-0.101	0.062	-0.095
Q6A. 講師の登壇時間	1.75	0.92	184	0.097	0.027	-0.162	-0.255	0.128	-0.074	-0.097
Q6B. 黒板等の利用度										
Q6C. アニメ等の利用度										
Q6D. 図版等の利用度										
Q6E. VTR等の導入頻度	3.99	1.20	164	-0.190	0.076	-0.173	0.056	-0.063	-0.049	-0.073
Q6F. 実験等の導入頻度										
Q6G. 寸劇等の利用頻度	4.45	0.83	178	0.013	0.095	0.135	0.104	0.093	-0.008	-0.083
Q6H. ゲストの登壇時間	3.77	1.24	180	-0.041	0.064	0.008	0.107	-0.032	-0.068	-0.114
Q6I. 印刷教材の参照頻度	2.85	1.10	195	0.012	0.069	-0.204	0.087	-0.081	0.156	0.004
Q6J. 演習問題の利用頻度	4.01	0.96	178	0.032	0.095	0.024	0.184	0.010	0.020	-0.063
Q6K. 講義内容の分量	2.67	0.65	195	-0.222	-0.033	-0.261	-0.314#	0.019	0.016	0.064
Q6L. 内容の検討時間	2.46	0.90	194	0.027	-0.063	-0.077	-0.164	0.081	-0.033	0.107
Q6M. 視聴者の考慮時間	3.60	0.85	199	0.058	0.091	0.240	0.129	0.160	-0.022	-0.096
Q6N. 息抜き時間	3.88	0.79	191	0.122	-0.061	0.169	0.096	-0.078	-0.015	-0.071
Q6O. 1回の講義時間	2.89	0.50	195	-0.120	-0.039	-0.139	-0.149	-0.000	0.069	0.144
Q6P. 問いかけの頻度	3.80	0.85	197	0.048	0.057	0.241	0.165	0.238	-0.031	-0.016
Q6Q. 実物資料の提示頻度										
Q6R. 証人の登場頻度	4.13	1.02	181	0.069	0.125	0.234	0.136	0.054	-0.109	-0.137
Q6S. 実地見学の頻度										

(注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4 - 3 - 2 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 3)

因子尺度・項目	Q 7. 放送教材量の改善点因子尺度				Q 7. 視覚素材利用度改善尺度						
	平均	標準偏差	有効度数	内容量の改善	ゲスト利用度改善	息抜き時間の改善	問いかけ頻度改善	講師登場時間改善	実習材料利用度 黒板・図版・利用度 了ニメ・実験利用度		
Q7A. 講師の登場時間	0.07	0.26	174	0.155	0.373*	-0.074	-0.103	0.552**	-0.002	-0.065	0.048
Q7B. 黒板等の利用頻度	0.01	0.08	174	-0.032	-0.038	-0.074	-0.103	-0.052	-0.147	0.541**	0.026
Q7C. 了ニメ等の利用頻度	0.01	0.11	174	-0.111	0.056	-0.010	-0.109	0.061	0.381*	0.252	0.910**
Q7D. 図版等の利用頻度	0.03	0.17	174	-0.062	-0.096	-0.070	-0.049	-0.031	0.520**	0.828**	0.106
Q7E. VTR等の利用頻度	0.01	0.11	174	0.027	0.104	-0.135	-0.098	-0.105	0.024	-0.021	-0.008
Q7F. 実験等の導入頻度	0.01	0.11	174	-0.059	0.184	0.179	-0.208	0.338*	0.233	-0.064	0.749**
Q7G. 寸劇等の登場頻度	0.07	0.26	174	-0.000	0.058	0.280	-0.621##	0.437*	0.041	-0.072	0.286
Q7H. ゲストの利用頻度	0.20	0.40	174	-0.105	0.836**	0.152	0.163	0.346*	0.066	-0.089	-0.027
Q7I. 印刷教材の参照頻度	0.20	0.40	174	0.233	-0.011	-0.027	0.467*	0.027	0.169	-0.066	-0.107
Q7J. 演習問題の利用頻度	0.16	0.37	174	-0.192	0.035	0.160	-0.035	0.746**	0.001	-0.022	0.181
Q7K. 講義内容の分量	0.18	0.38	174	0.746**	-0.203	0.170	0.125	-0.262	0.041	-0.075	-0.071
Q7L. 内容の説明時間	0.20	0.40	174	0.503**	-0.036	0.119	0.116	0.264	0.022	-0.025	-0.014
Q7M. 視聴者の考慮時間	0.29	0.46	174	0.061	0.294	0.675**	0.309*	0.256	0.093	-0.051	-0.059
Q7N. 息抜き時間の確保	0.28	0.45	174	0.159	-0.033	0.773**	-0.097	0.040	-0.082	-0.063	-0.011
Q7O. 1回の講義時間	0.07	0.26	174	0.652**	0.039	0.148	-0.015	0.029	-0.063	-0.055	-0.021
Q7P. 問いかけの頻度	0.42	0.49	174	-0.116	0.096	0.368*	0.644**	0.156	0.020	-0.095	0.016
Q7Q. 実物資料の登場頻度	0.03	0.18	174	0.032	0.020	-0.043	0.193	-0.057	0.932**	0.362*	-0.022
Q7R. 証人の登場頻度	0.05	0.21	174	-0.286	0.595**	0.141	0.024	-0.082	0.006	-0.052	0.282
Q7S. 実地の見学頻度	0.00	0.00	174								
Q7X. その他	0.27	0.44	174	-0.049	-0.122	-0.206	-0.181	-0.072	-0.053	-0.049	-0.066
Q8A. 講師の派手さ	3.63	0.74	206	0.071	-0.084	0.080	-0.061	0.072	0.063	0.083	0.021
Q8B. 講師の清潔感	2.27	0.73	207	0.029	0.012	0.045	-0.031	0.017	0.017	0.069	-0.015
Q8C. 講師の活動性	2.95	0.73	206	0.051	-0.046	-0.030	-0.117	0.086	0.002	0.002	-0.021
Q8D. 講師の話しやすさ	2.48	0.80	208	0.090	-0.003	0.195	-0.011	0.081	0.030	-0.066	-0.004
Q8E. 講師の暖かさ	2.48	0.79	208	0.145	0.080	0.194	-0.077	0.122	0.023	-0.038	0.079
Q8F. 講師の厳しさ	3.24	0.69	207	0.000	-0.066	-0.139	-0.013	-0.047	-0.156	-0.082	-0.072
Q8G. 講師の緊張度	3.30	0.82	206	-0.082	-0.115	-0.154	-0.032	-0.129	-0.080	0.015	-0.026
Q8H. 話すスピード	3.32	0.76	208	-0.133	-0.113	-0.049	-0.162	0.023	-0.114	0.072	0.006
Q8I. 話し方の明瞭さ	2.28	0.75	208	0.062	0.005	0.054	0.110	0.020	0.009	-0.096	0.006
Q8J. 言葉遣いの硬さ	3.09	0.80	209	-0.126	-0.165	-0.311#	-0.136	-0.106	-0.009	0.073	-0.038
Q8K. 間の取り方	2.69	0.87	209	0.134	0.056	0.308*	0.017	0.133	0.046	-0.112	-0.020
Q8L. 表現力の豊さ	2.75	0.83	209	0.041	-0.010	0.127	-0.106	0.084	-0.074	-0.100	0.008
Q8M. ユーモア	3.45	0.76	209	0.023	-0.013	0.188	0.021	0.114	-0.022	-0.134	-0.047
Q8N. 説得力	2.55	0.82	208	0.122	0.016	0.165	-0.159	0.187	-0.044	-0.071	0.044
Q8O. わかりやすさ	2.35	0.80	209	0.249	0.074	0.186	0.027	0.162	0.028	-0.058	0.066
Q8P. 技術の巧みさ	2.83	0.84	209	0.161	0.035	0.258	-0.010	0.104	0.056	-0.083	-0.015
Q8Q. まわりのくどさ	3.42	0.85	209	-0.052	-0.141	-0.131	-0.015	-0.049	-0.157	-0.041	-0.049
Q8R. すっきりとさ	2.52	0.82	209	0.127	0.096	0.204	0.126	0.188	0.112	-0.040	-0.005
Q8S. 教材提示の適切性	2.73	0.76	208	0.096	0.186	0.112	0.031	0.133	0.068	0.053	-0.039

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-3-2 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 4)

因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効度数	Q 7. 放送教材量の改善点因子尺度				Q 7. 視覚素材利用度改善尺度			
				内容量の改善	ゲスト利用度改善	息抜き時間の改善	問いかけ頻度改善	講師登場時間改善	実資料素材利用度	黒板・図版利用度	了ニメ・実験利用
Q9A. 講師の派手さ	0.02	0.13	174	0.129	0.022	-0.034	-0.030	-0.091	-0.026	-0.023	-0.009
Q9B. 講師の清潔感	0.05	0.21	174	0.063	0.092	0.122	-0.050	0.129	-0.050	-0.044	-0.017
Q9C. 講師の活動性	0.09	0.29	174	-0.058	0.148	0.133	-0.020	0.122	0.007	0.018	0.029
Q9D. 講師の親しみやすさ	0.20	0.40	174	0.134	0.100	0.240	0.058	0.182	0.091	-0.022	-0.034
Q9E. 講師の暖かさ	0.07	0.26	174	0.067	0.040	0.105	-0.077	0.111	0.080	-0.057	0.189
Q9F. 講師の厳しさ	0.02	0.13	174	-0.039	-0.015	0.075	0.029	0.014	0.056	-0.043	0.470*
Q9G. 講師の緊張度	0.07	0.25	174	-0.027	-0.011	0.084	-0.050	0.074	0.228	0.077	0.353*
Q9H. 話すスピード	0.22	0.41	174	0.262	0.169	0.222	0.041	0.159	0.052	-0.103	-0.032
Q9I. 話し方の明瞭さ	0.11	0.31	174	0.131	0.011	0.183	0.087	0.103	-0.081	-0.070	-0.027
Q9J. 言葉遣いの硬さ	0.11	0.32	174	0.215	0.187	0.129	0.090	0.171	0.160	-0.060	-0.013
Q9K. 間の取り方	0.20	0.40	174	0.129	0.173	0.422*	0.167	0.192	-0.003	-0.102	-0.010
Q9L. 表現力の豊さ	0.16	0.36	174	0.021	0.030	0.047	-0.163	-0.003	-0.101	-0.088	-0.034
Q9M. コーア	0.32	0.47	174	-0.052	0.141	0.222	-0.021	-0.000	-0.021	-0.084	0.105
Q9N. 説得力	0.14	0.35	174	0.233	-0.109	0.141	0.090	-0.016	0.007	0.003	-0.060
Q9O. わかりやすさ	0.20	0.40	174	0.082	0.104	0.155	0.017	0.125	-0.095	-0.030	-0.045
Q9P. 技術の巧みさ	0.18	0.39	174	0.089	0.122	0.243	-0.011	0.225	0.039	-0.101	0.163
Q9Q. まわりのききさ	0.07	0.26	174	0.000	0.051	0.167	0.222	-0.054	0.043	-0.047	-0.050
Q9R. すっきりした内容	0.10	0.30	174	0.186	0.065	0.178	0.038	0.005	0.018	-0.058	-0.051
Q9S. 教材提示の適切性	0.18	0.39	174	0.056	0.275	0.068	0.053	0.100	0.197	0.065	-0.057
Q9X. その他	0.17	0.37	174	-0.121	-0.080	-0.091	-0.176	0.044	-0.107	0.107	-0.034
(1) 内容の範囲は適切	2.04	0.81	205	0.057	0.118	0.189	-0.066	0.229	0.025	-0.065	0.016
(2) 内容的に合った内容	2.67	0.89	204	-0.026	-0.072	-0.109	-0.056	0.028	0.021	0.005	-0.075
(3) 単位ごとのまとめ	2.32	0.76	202	0.139	-0.098	0.104	-0.085	0.067	0.041	-0.097	0.110
(4) 面白い番組	2.53	1.00	204	0.062	0.047	0.185	-0.068	0.201	0.045	-0.066	0.001
(5) 役に立つ番組	2.20	0.81	205	0.045	0.133	0.053	-0.106	0.180	0.082	-0.012	0.088
(6) わかりやすい番組	2.44	0.89	204	0.068	0.091	0.214	0.129	0.133	-0.041	-0.151	0.036
(7) 聴き手が最初から最後まで集中する	2.49	0.91	204	-0.074	0.125	0.079	0.028	0.101	-0.027	-0.026	0.077
(8) 重要なポイントが明確	2.52	0.90	204	0.010	0.156	0.067	0.083	0.083	-0.004	0.053	0.065
(9) 重要なポイントが明確	2.53	0.84	204	0.061	0.132	0.056	0.012	0.219	0.085	0.036	0.077
(10) 流暢な発音	3.07	0.90	206	0.057	0.113	0.232	-0.048	0.177	-0.020	-0.087	-0.036
(11) 1 回の講義の量	2.53	0.82	205	0.296	-0.015	0.337*	0.007	0.075	0.006	-0.147	0.013
(12) 視聴者の理解を助ける工夫	3.00	0.93	204	0.020	0.006	0.207	-0.111	0.254	0.018	-0.105	0.084
(13) 視聴者の理解を助ける工夫	3.21	0.89	203	0.022	0.029	0.209	-0.027	0.233	-0.024	-0.091	0.068
(14) 視聴者の理解を助ける工夫	2.94	0.85	204	0.124	-0.015	0.147	-0.019	0.171	-0.052	-0.114	-0.008
(15) 内容が盛りだくさん	2.68	0.80	205	-0.158	-0.030	-0.147	-0.083	-0.015	0.002	0.043	0.005

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-3-2 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 5)

因子尺度・項目	Q 7. 放送教材量の改善点因子尺度					Q 7. 視覚素材利用度改善尺度				
	平均	標準偏差	有効度数	内容量の改善	ゲスト利用度改善	息抜き時間の改善	問いかけ頻度改善	講師登場時間改善	実資料・図板・黒板・図	了ニメ・実験利用
(16)利用メディアの特性活用	3.15	0.91	207	0.107	-0.018	0.137	0.040	0.017	0.132	-0.029
(17)視聴者の関心が高い	3.19	0.72	204	0.047	-0.035	0.237	0.075	0.152	-0.074	0.003
(18)新しい概念の導入	2.69	0.80	205	0.094	0.064	-0.010	0.002	0.139	0.066	0.035
(19)講義の流暢な表現	2.64	0.87	206	0.021	0.148	0.255	0.045	0.302*	0.031	0.047
(20)講義の流暢な表現	2.92	0.95	205	-0.025	-0.092	-0.187	0.064	-0.201	-0.122	-0.102
(21)必要以上の専門用語	3.54	0.84	203	-0.085	-0.129	-0.122	-0.031	-0.148	-0.006	-0.082
(22)印刷教材と関連する	2.36	0.87	202	0.003	0.137	-0.040	0.089	0.141	0.116	0.071
(23)図表などが適度に	3.41	0.96	194	0.019	0.101	0.134	0.178	-0.077	-0.003	-0.138
(24)内容が実用的	3.33	0.96	204	0.057	0.013	0.092	0.052	0.010	0.087	-0.045
(25)内容のレベルは適切	2.42	0.80	204	0.091	0.009	0.205	0.026	0.142	0.002	0.035
(26)講義の進捗は適切	2.47	0.85	205	0.246	0.038	0.225	0.015	0.123	0.034	0.016
(27)1回の講義時間が適切	2.40	0.84	205	0.247	0.049	0.130	-0.071	0.046	0.018	0.033
(28)中途の息抜きが適切	3.49	0.78	203	0.065	-0.140	0.203	0.013	-0.022	-0.029	-0.115
(29)カリキュラムは適切	2.47	0.78	203	0.208	0.015	0.152	-0.088	0.075	0.128	0.069
(30)興味深い番組	2.22	0.94	206	0.089	0.082	0.201	-0.167	0.241	-0.016	0.085
(31)何らかの利用価値	1.97	0.82	205	0.026	0.188	0.116	-0.043	0.110	0.001	0.119
(32)生活に密着した題材	3.02	0.97	204	0.111	0.067	0.188	-0.019	0.063	-0.007	-0.092
(33)時宜を得た実務に	2.85	0.91	203	0.169	0.112	0.159	-0.048	0.174	0.052	0.028
(34)実社会の状況に	3.27	1.02	204	0.188	0.019	0.231	-0.008	-0.013	0.040	-0.021
(35)基本事項の講義	2.37	0.97	204	-0.039	0.111	0.044	-0.021	0.090	0.110	0.110
(36)一般大生にたいし	2.92	0.99	204	-0.013	0.055	0.124	0.058	0.114	-0.041	-0.072
(37)講師の進捗は適切	1.98	0.81	204	0.002	0.054	0.084	-0.091	0.301*	0.018	0.060
(38)講義の進捗は適切	3.24	0.84	203	-0.163	-0.061	-0.278	-0.070	-0.085	0.015	0.016
(39)全体講義の提示	2.56	0.89	204	0.167	-0.047	0.226	-0.038	-0.002	0.030	-0.075
(40)図表などの提示	3.49	0.82	184	-0.086	0.098	0.140	0.198	-0.104	0.080	-0.105
(41)印刷教材が充実	2.73	0.90	201	0.009	-0.017	0.065	0.050	0.129	0.111	-0.108
(42)改善の余地が大きい	3.34	0.97	204	-0.126	-0.018	-0.219	0.050	-0.253	-0.133	-0.088
(43)印刷教材の量が少	2.98	0.99	205	-0.095	0.022	-0.172	-0.113	-0.076	-0.120	0.015
(44)印刷教材の演習に	3.69	0.96	196	0.010	0.067	0.101	0.135	0.100	-0.023	-0.054
(45)学習ペースの満足	2.64	0.75	202	0.082	0.128	0.083	-0.081	0.204	0.171	0.090
(46)全体的に満足	2.25	0.88	205	0.131	0.007	0.184	-0.014	0.226	0.010	0.010

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-3-3 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 1)

Q 8. 講師の印象評定因子尺度				Q 8. 講師話し方評定因子尺度						
因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	講師親しみやすさ	講師の堅さ	講師の派手さ	明解な話し方	面白がる話し方	話し方の堅さ	話し方の速さ
Q6. メディア特性の活用頻度	45.51	10.94	147	-0.107	0.026	0.211	-0.071	-0.084	0.033	0.168
Q6. 視聴者考慮機会の頻度	49.70	11.18	147	0.394*	0.116	0.074	0.429*	0.423*	-0.081	-0.099
Q6. 印刷教材利用頻度	53.97	9.12	147	-0.007	0.145	0.154	-0.011	-0.047	-0.055	0.180
Q6. 講義内容量の多さ	50.53	11.84	147	0.094	0.006	-0.092	0.104	0.073	-0.026	0.093
Q6. 実資料・図版・実体験導入頻度										
Q6. ティメ・実験導入頻度										
Q7. 講義内容量の多さ	49.35	9.48	174	-0.117	0.044	-0.054	-0.147	-0.094	0.088	0.164
Q7. ティメ・実験導入頻度	48.82	8.80	174	-0.017	0.107	0.074	-0.043	-0.035	0.219	0.118
Q7. 黒板・図版利用頻度	52.00	10.74	174	-0.127	0.191	-0.055	-0.182	-0.294	0.215	0.102
Q7. 黒板・図版利用頻度	51.54	10.86	174	0.067	0.045	0.063	0.012	0.045	0.272	0.178
Q7. 黒板・図版利用頻度	50.52	10.53	174	-0.088	0.081	-0.087	-0.155	-0.131	0.063	-0.006
Q7. 実資料・図版・実体験導入頻度	45.06	3.22	174	-0.024	0.143	-0.038	-0.037	0.061	0.161	0.101
Q7. 黒板・図版利用頻度	46.63	3.55	174	0.017	0.024	-0.023	0.077	0.145	0.025	-0.084
Q7. ティメ・実験導入頻度	45.28	3.02	174	-0.014	0.074	-0.011	-0.007	0.012	0.043	0.004
Q8. 講師の親しみやすさ	50.27	9.95	204	1.000	0.003	-0.093	0.663**	0.505**	-0.320#	-0.122
Q8. 講師の堅さ	48.03	10.13	204	0.003	1.000	0.228	-0.017	-0.013	0.279	0.356*
Q8. 講師の派手さ	48.43	11.17	204	-0.093	0.228	1.000	0.065	0.223	0.154	0.270
Q8. 明解な話し方	50.59	10.81	205	0.663**	-0.017	0.065	1.000	0.487*	-0.312#	-0.140
Q8. 面白がる話し方	50.34	9.43	205	0.505**	-0.013	0.223	0.487*	1.000	-0.153	-0.092
Q8. 話し方の堅さ	50.71	11.10	205	-0.320#	0.279	0.154	-0.312#	-0.153	1.000	0.389*
Q8. 話し方速さ	48.10	11.43	205	-0.122	0.356*	0.270	-0.140	-0.092	0.389*	1.000
Q9. 講師の親近感	49.85	10.45	174	-0.072	0.087	-0.061	-0.049	-0.127	0.037	0.118
Q9. 講師の堅さ	49.37	8.93	174	-0.057	0.152	0.023	-0.084	-0.118	0.189	0.177
Q9. 講師の活動性	49.73	9.63	174	-0.027	0.055	-0.075	-0.007	-0.164	0.166	0.062
Q9. 話し方の明解さ	48.93	9.27	174	-0.179	-0.031	-0.003	-0.294	-0.225	0.100	0.176
Q9. 話し方速さ	51.23	11.11	174	-0.006	0.191	0.009	-0.072	0.054	0.165	0.251
Q9. 話し方の堅さ	49.24	9.68	174	-0.228	0.064	-0.105	-0.258	-0.290	0.121	0.073
Q9. 話し方の簡潔性	50.71	10.36	174	0.023	-0.029	-0.037	-0.157	-0.018	0.166	0.069
Q10. 講義内容量の適切性	50.70	9.65	170	0.419*	-0.186	-0.147	0.512**	0.249	-0.283	-0.290
Q10. 視聴者理解の適切性	48.81	9.52	170	0.273	-0.113	0.133	0.497*	0.420*	-0.211	-0.125
Q10. 視聴者への満足度	48.78	10.17	170	0.596**	-0.110	-0.167	0.652**	0.410*	-0.279	-0.112
Q10. 番組組への実用性	44.94	10.81	170	0.200	-0.100	0.118	0.140	0.125	-0.173	0.026
Q10. 番組組への実用性	49.46	9.55	170	0.350*	-0.093	-0.160	0.474*	0.205	-0.265	-0.201
Q10. 番組組への実用性	49.98	9.01	170	-0.079	0.341*	0.173	-0.091	-0.090	0.178	0.430*
Q10. 番組組への実用性	42.34	9.12	170	0.176	0.030	0.160	0.156	0.361*	0.077	0.033
Q10. 印刷教材の適切性	50.56	10.07	170	0.243	-0.060	-0.010	0.322*	0.178	-0.403#	-0.276

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-3-3 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 2)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	Q 8. 講師の印象評定因子尺度				Q 8. 講師話し方評定因子尺度			
			有効数	講師親しみやすさ	講師の堅さ	講師の派手さ	明解な話し方	面白がる話し方	話し方の堅さ	話し方の速さ
評定者：年齢	45.03	10.08	210	0.049	-0.064	0.039	0.133	0.066	0.001	0.221
認定者：教授<講師>	2.10	1.04	210	-0.003	0.068	-0.003	-0.033	-0.033	0.042	-0.230
評定者：性別 (男<女>)	1.10	0.30	207	-0.007	0.091	0.009	0.026	-0.014	0.125	0.047
評定者：文系 (文<理>)	2.00	0.00	210	-0.006	-0.131	-0.008	0.058	0.120	-0.005	-0.072
理系	1.24	0.43	152	-0.006	-0.131	-0.008	0.058	0.120	-0.005	-0.072
Q2. 視聴分量 (多<少)	3.26	1.69	203	-0.270	-0.009	0.147	-0.213	-0.115	-0.015	-0.085
Q3. 視聴質 (高<低)	1.88	0.72	205	-0.216	0.020	0.034	-0.238	-0.041	0.152	-0.001
Q4A. テレビ設備 (利<難)	1.58	0.67	201	-0.008	-0.079	0.049	-0.005	0.036	-0.021	0.027
Q4B. ビデオ設備 (利<難)	1.45	0.54	203	-0.004	-0.031	0.040	-0.039	0.061	-0.028	0.083
Q4C. ラジオ設備 (利<難)	1.58	0.72	200	-0.141	0.086	0.120	-0.121	-0.015	0.180	0.022
Q4D. テープレ設備 (利<難)	1.47	0.69	202	-0.091	-0.018	0.104	-0.056	-0.030	0.002	0.039
Q5. 講義形式 (1人<他)	1.31	0.46	198	-0.067	-0.026	0.020	-0.158	-0.206	-0.033	0.019
Q13.1. 授業で全面的に利用	0.04	0.21	201	0.089	-0.110	0.010	0.028	-0.029	-0.149	0.048
Q13.2. 授業で参考資料として利用	0.59	0.49	201	0.115	0.046	-0.016	0.248	0.033	0.028	-0.070
Q13.3. 研究資料等として利用	0.27	0.45	201	0.182	0.115	-0.078	0.118	0.048	-0.065	0.027
Q13.4. 図書室で自由利用	0.52	0.50	201	0.057	0.027	0.068	0.004	0.044	-0.021	-0.005
Q13.5. 利用したいと思わず	0.02	0.14	201	-0.127	0.025	0.026	-0.157	-0.130	0.142	0.060
Q14. 想定単位数 (0~3)	1.57	1.07	176	0.188	-0.061	0.032	0.165	0.137	-0.116	0.062
Q6A. 講師の登場時間	1.75	0.92	184	-0.085	0.086	0.142	-0.125	-0.088	-0.045	0.004
Q6B. 黒板等の利用頻度										
Q6C. 丁度等の利用頻度										
Q6D. 図版の利用頻度	3.99	1.20	164	-0.069	-0.142	-0.043	-0.089	-0.012	-0.086	-0.176
Q6E. VTR等の利用頻度										
Q6F. 実験等の導入頻度	4.45	0.83	178	-0.001	0.008	-0.272	-0.014	-0.137	-0.084	-0.180
Q6G. 寸劇等の利用頻度	3.77	1.24	180	0.015	-0.012	-0.033	0.022	0.154	0.059	-0.055
Q6H. ゲストの登場時間	2.85	1.10	195	-0.128	-0.200	-0.037	-0.055	0.047	0.096	-0.072
Q6I. 印刷教材の参照頻度	4.01	0.96	178	0.086	-0.017	-0.156	-0.007	0.039	-0.003	-0.072
Q6J. 演習問題の利用頻度										
Q6K. 講義内容の分量	2.67	0.65	195	-0.095	-0.054	-0.044	-0.089	-0.086	-0.078	-0.287
Q6L. 内容の説明時間	2.46	0.90	194	-0.255	0.015	0.138	-0.263	-0.167	0.051	0.091
Q6M. 視聴者の考慮時間	3.60	0.85	199	-0.229	-0.093	-0.108	-0.289	0.263	0.128	0.050
Q6N. 息抜き時間	3.88	0.79	191	-0.223	0.001	-0.202	-0.283	-0.335#	0.071	0.155
Q6O. 1回の講義時間	2.89	0.50	195	0.092	0.014	-0.022	0.078	0.045	-0.061	-0.118
Q6P. 問いかけの頻度	3.80	0.85	197	-0.311#	0.019	-0.009	-0.212	-0.290	0.126	0.113
Q6Q. 実物の提示頻度										
Q6R. 証人の登場頻度	4.13	1.02	181	-0.105	0.032	-0.177	-0.102	-0.121	0.065	0.013
Q6S. 実地見学シートの頻度										

(注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \# \#$)

表 4-3-3 因子尺度偏差値・調査項目等のラジコ科目における相関係数行列 (その 3)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	Q 8. 講師の印象評定因子尺度					Q 8. 講師話し方評定因子尺度				
			講師親しみやすさ	講師の堅さ	講師の派手さ	明解な話し方	面白がる話し方	話し方の堅さ	話し方の速さ			
Q7A. 講師の登場時間	0.07	0.26	-0.042	0.029	-0.118	-0.014	0.024	-0.063	0.029			
Q7B. 黒板等の利用頻度	0.01	0.08	0.044	-0.013	-0.033	0.043	0.143	-0.045	-0.064			
Q7C. ティメ等の利用頻度	0.01	0.11	-0.018	0.107	0.051	0.014	0.062	0.048	0.078			
Q7D. 図解等の利用頻度	0.03	0.17	-0.009	0.024	-0.018	0.066	0.067	0.054	-0.078			
Q7E. VTR等の利用頻度	0.01	0.11	0.124	-0.043	-0.010	0.168	0.087	-0.058	-0.084			
Q7F. 実験等の導入頻度	0.01	0.11	-0.014	0.059	-0.149	-0.068	-0.056	0.110	-0.017			
Q7G. 寸劇等の利用頻度	0.07	0.26	-0.196	0.065	-0.015	-0.264	-0.245	-0.003	-0.104			
Q7H. グッズの登場頻度	0.20	0.40	-0.050	0.144	0.099	-0.093	-0.096	0.258	0.213			
Q7I. 印刷教材の参照頻度	0.20	0.40	-0.053	0.056	0.054	-0.201	-0.037	0.288	0.183			
Q7J. 演習問題の利用頻度	0.16	0.37	0.051	0.018	-0.061	-0.016	-0.052	0.034	0.003			
Q7K. 講義内容の分量	0.18	0.38	-0.055	0.047	0.022	-0.116	-0.157	0.123	0.215			
Q7L. 内容の読解時間	0.20	0.40	-0.132	0.053	-0.072	-0.237	-0.155	0.126	0.047			
Q7M. 視覚者の時間	0.29	0.46	-0.076	0.114	-0.124	-0.101	-0.133	0.162	0.084			
Q7N. 息抜き時間	0.28	0.45	-0.052	0.148	-0.028	-0.080	-0.203	0.139	0.113			
Q7O. 1回の講義時間	0.07	0.26	-0.073	0.045	-0.016	-0.015	0.028	0.073	0.082			
Q7P. 問いかけの頻度	0.42	0.49	-0.006	0.089	0.081	-0.009	-0.089	0.186	0.034			
Q7Q. 実物資料の提示頻度	0.03	0.18	-0.015	0.145	0.012	-0.031	0.096	0.130	0.138			
Q7R. 証人の登場頻度	0.05	0.21	0.038	0.017	0.073	-0.039	-0.011	0.176	0.008			
Q7S. 実地見学	0.00	0.00										
Q7X. その他	0.27	0.44	0.093	-0.051	-0.040	0.061	-0.014	-0.154	0.109			
Q8A. 講師の派手さ	3.63	0.74	0.033	-0.287	-0.914##	-0.077	-0.233	-0.194	-0.329#			
Q8B. 講師の清潔感	2.27	0.73	-0.685##	-0.095	0.559**	-0.357#	-0.207	0.185	0.050			
Q8C. 講師の活動性	2.95	0.73	-0.624##	-0.314#	-0.452#	-0.440#	-0.426#	0.120	-0.125			
Q8D. 講師の親しみさ	2.48	0.80	-0.828##	0.198	-0.056	-0.627##	-0.452#	0.313*	0.179			
Q8E. 講師の暖かさ	2.48	0.79	-0.867##	0.135	0.133	-0.562##	-0.435#	0.288	0.173			
Q8F. 講師の厳しさ	3.24	0.69	-0.032	-0.882##	-0.263	-0.056	-0.050	-0.165	-0.233			
Q8G. 講師の緊張度	3.30	0.82	0.321*	-0.670##	-0.190	0.256	0.222	-0.407#	-0.351#			
Q8H. スピード	3.32	0.76	0.132	-0.281	-0.272	0.172	0.085	-0.339#	-0.962##			
Q8I. 話し方の明瞭さ	2.28	0.75	-0.455#	0.147	0.022	-0.714##	-0.246	0.245	0.237			
Q8J. 言葉遣いの硬さ	3.09	0.80	0.404*	-0.286	-0.038	0.253	0.599**	-0.665##	-0.437#			
Q8K. 問の取り方	2.69	0.87	-0.482#	0.165	0.007	-0.712##	-0.395#	0.370*	0.383*			
Q8L. 表現力の豊さ	2.75	0.83	-0.587##	-0.138	-0.068	-0.746##	-0.668##	0.103	-0.045			
Q8M. ユーモア	3.45	0.76	-0.358#	-0.019	-0.274	-0.450#	-0.820##	0.010	-0.028			
Q8N. 説得力	2.55	0.82	-0.643##	-0.053	-0.080	-0.815##	-0.532##	0.188	0.053			
Q8O. わかりやすさ	2.35	0.80	-0.567##	0.109	-0.093	-0.763##	-0.478#	0.364*	0.296			
Q8P. 術の巧みさ	2.83	0.84	-0.506##	0.028	-0.144	-0.786##	-0.626##	0.234	0.048			
Q8Q. まわくくどさ	3.42	0.85	0.372*	-0.161	-0.102	0.456*	0.139	-0.869##	-0.248			
Q8R. まわくくどさの適切性	2.52	0.82	-0.545##	0.076	-0.003	-0.791##	-0.329#	0.546**	0.194			
Q8S. 素材提示	2.73	0.76	-0.382#	0.067	0.017	-0.636##	-0.316#	0.364*	0.058			

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq ##$)

表 4-3-3 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 4)

Q 8. 講師の印象評定因子尺度				Q 8. 講師話し方評定因子尺度						
因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	講師の親しみやすさ	講師の堅さ	講師の派手さ	明解な話し方	面白がる話し方	話し方の堅さ	話し方の速さ
Q9A. 講師の派手さ	0.02	0.13	174	0.081	0.077	0.058	0.090	0.003	0.099	0.045
Q9B. 講師の清潔感	0.05	0.21	174	0.136	0.054	0.032	0.137	0.053	-0.128	0.032
Q9C. 講師の活動性	0.09	0.29	174	-0.079	-0.080	-0.183	-0.099	-0.214	0.070	-0.022
Q9D. 講師の親しみやすさ	0.20	0.40	174	-0.246	0.181	-0.132	-0.130	-0.249	0.169	0.155
Q9E. 講師の暖かさ	0.07	0.26	174	-0.078	0.062	-0.005	-0.095	-0.101	0.114	0.154
Q9F. 講師の厳しさ	0.02	0.13	174	0.044	0.001	0.037	-0.043	0.003	0.019	0.016
Q9G. 講師の緊張度	0.07	0.25	174	-0.053	0.199	0.024	-0.034	-0.122	0.199	0.218
Q9H. 話し方の明瞭さ	0.22	0.41	174	-0.024	0.083	0.003	-0.035	0.118	0.093	0.131
Q9I. 話し方の明瞭さ	0.11	0.31	174	0.080	0.084	0.019	-0.079	-0.062	-0.069	0.103
Q9J. 言葉遣いの硬さ	0.11	0.32	174	-0.069	0.147	-0.056	-0.099	-0.115	0.209	0.127
Q9K. 間の取り方	0.20	0.40	174	-0.033	0.174	0.010	-0.126	-0.059	0.191	0.311*
Q9L. 表現力の豊かさ	0.16	0.36	174	-0.241	-0.079	-0.022	-0.297	-0.269	-0.031	0.090
Q9M. ユーモア	0.32	0.47	174	-0.044	0.092	-0.007	0.037	-0.174	0.013	-0.053
Q9N. 鋭得力	0.14	0.35	174	-0.233	-0.032	-0.027	-0.314#	-0.248	0.211	0.133
Q9O. わかりやすさ	0.20	0.40	174	-0.063	0.186	0.038	-0.052	-0.109	0.115	0.201
Q9P. 話術の巧みさ	0.18	0.39	174	-0.189	-0.035	-0.146	-0.254	-0.131	0.112	0.011
Q9Q. まわきりくどさ	0.07	0.26	174	-0.003	-0.036	-0.056	-0.096	0.014	0.286	-0.014
Q9R. 提示の適切性	0.10	0.30	174	0.029	-0.050	0.012	-0.104	-0.059	-0.019	0.071
Q9S. 素材の他	0.18	0.39	174	-0.091	-0.045	-0.025	-0.162	-0.134	0.235	0.123
Q9X. その他	0.17	0.37	174	0.150	-0.146	-0.034	0.128	0.088	-0.154	0.021
(1) 内容の範囲は適切	2.04	0.81	205	-0.431#	0.041	0.107	-0.475#	-0.269	0.303*	0.266
(2) 内容が専門的	2.67	0.89	204	-0.124	-0.205	-0.143	-0.155	-0.162	-0.085	-0.262
(3) 単位数が見合った内容	2.32	0.76	202	-0.430#	0.080	0.200	-0.431#	-0.248	0.358*	0.144
(4) 面白くない番組	2.53	1.00	204	-0.516##	0.094	0.023	-0.623##	-0.452#	0.359*	0.126
(5) 役に立つ番組	2.20	0.81	205	-0.423#	0.155	0.054	-0.541##	-0.232	0.244	0.095
(6) わかりやすい番組	2.44	0.89	204	-0.439#	0.195	0.073	-0.523##	-0.369#	0.256	0.304*
(7) 講義概要が最初で適切	2.49	0.91	204	-0.250	0.069	0.006	-0.343#	-0.159	0.286	0.174
(8) 主要なポイントが明確	2.52	0.90	204	-0.350#	0.048	-0.002	-0.536##	-0.295	0.303*	0.173
(9) 重要な内容が適切	2.53	0.84	204	-0.377#	0.102	-0.025	-0.556##	-0.395#	0.356*	0.182
(10) 流れがスムーズ	3.07	0.90	206	-0.271	0.088	-0.194	-0.490#	-0.381#	0.241	0.076
(11) 1 回の講義情報量が適切	2.53	0.82	205	-0.234	0.211	-0.021	-0.345#	-0.205	0.226	0.262
(12) 視聴者の疑問を適切に解消	3.00	0.93	204	-0.327#	0.088	-0.107	-0.491#	-0.454#	0.191	0.044
(13) 視聴者の疑問への配慮	3.21	0.89	203	-0.293	0.120	0.017	-0.402#	-0.329#	0.197	0.130
(14) 視聴者の疑問への配慮	2.94	0.85	204	-0.304#	0.106	-0.073	-0.466#	-0.388#	0.168	0.179
(15) 内容が盛りだくさん	2.68	0.80	205	-0.174	-0.025	-0.082	-0.147	-0.012	0.061	-0.089

(注: ** ≥ 0.5 , * ≥ 0.3 , ≥ 0.3 , ≥ 0.5 , ≥ 0.5)

表 4-3-3 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 5)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 8. 講師の印象評定因子尺度				Q 8. 講師話し方評定因子尺度			
				講師親しみやすさ	講師の堅さ	講師の派手さ	明解な話し方	面白がる話し方	話し方の堅さ	話し方の速さ	
(16) 利用メディアの特性が適切	3.15	0.91	207	-0.298	0.144	-0.100	-0.372#	-0.361#	0.074	0.077	
(17) 視聴者の概念が適切	3.19	0.72	204	-0.335#	0.065	-0.053	-0.419#	-0.354#	0.234	0.133	
(18) 新しい概念が適切	2.69	0.80	205	-0.299	-0.011	0.074	-0.403#	-0.258	0.136	0.079	
(19) 具体例が適切	2.64	0.87	206	-0.493#	0.188	0.043	-0.533#	-0.406#	0.314*	0.121	
(20) 講義の流れに変化	2.92	0.95	205	0.216	-0.007	0.070	0.286	0.235	-0.301#	-0.086	
(21) 必要以上に専門用語を有	3.54	0.84	203	0.265	-0.233	-0.187	0.259	0.161	-0.366#	-0.402#	
(22) 印刷教材と適切に利用	2.36	0.87	202	-0.152	-0.073	0.010	-0.270	-0.036	0.239	0.154	
(23) 図表などが適切な利用	3.41	0.96	194	-0.086	-0.054	-0.127	-0.071	-0.248	-0.040	0.033	
(24) 内容が実用的	3.33	0.96	204	-0.186	0.163	-0.076	-0.211	-0.131	0.225	0.138	
(25) 内容のレベルは適切	2.42	0.80	204	-0.367#	0.163	0.109	-0.377#	-0.206	0.300	0.218	
(26) 講義の進度は適切	2.47	0.85	205	-0.360#	0.134	0.007	-0.434#	-0.256	0.254	0.331*	
(27) 1回の講義時間が適切	2.40	0.84	205	-0.333#	0.109	0.020	-0.334#	-0.172	0.200	0.151	
(28) 中途の休憩が適切	3.49	0.78	203	-0.245	0.007	-0.134	-0.282	-0.319#	0.030	0.078	
(29) カリキュラムが適切	2.47	0.78	203	-0.399#	0.102	0.112	-0.453#	-0.226	0.262	0.252	
(30) 興味深い番組	2.22	0.94	206	-0.586#	0.026	0.081	-0.595#	-0.418#	0.278	0.063	
(31) 何らかの活用が適切	1.97	0.82	205	-0.351#	0.004	0.020	-0.374#	-0.261	0.105	0.027	
(32) 生活に密着した題材が適切	3.02	0.97	204	-0.385#	0.112	-0.061	-0.283	-0.259	0.153	0.052	
(33) 実社会の事例が適切	2.85	0.91	203	-0.341#	0.104	-0.085	-0.317#	-0.332#	0.180	0.007	
(34) 基本が適切	3.27	1.02	204	-0.213	0.119	-0.098	-0.171	-0.193	0.169	0.051	
(35) 一般大衆に分かりやすい内容	2.37	0.97	204	-0.274	0.106	0.058	-0.328#	-0.230	0.126	-0.003	
(36) 一般大衆に分かりやすい内容	2.92	0.99	204	0.023	0.041	-0.171	-0.075	-0.077	0.110	-0.007	
(37) 講師の進め方が適切	1.98	0.81	204	-0.539#	-0.029	0.138	-0.537#	-0.352#	0.276	0.130	
(38) 講義の進め方が適切	3.24	0.84	203	0.117	-0.227	-0.200	0.193	0.075	-0.154	-0.460#	
(39) 図表などの提示が適切	2.56	0.89	204	-0.295	0.156	0.060	-0.403#	-0.179	0.240	0.184	
(40) 図表などの提示が適切	3.49	0.82	184	-0.107	-0.032	-0.205	-0.109	-0.309#	0.009	0.069	
(41) 印刷教材が充実	2.73	0.90	201	-0.402#	0.015	0.028	-0.369#	-0.249	0.251	0.098	
(42) 講義の余白が適切	3.34	0.97	204	0.390*	-0.177	-0.034	0.514**	0.375*	-0.410#	-0.304#	
(43) 印刷教材の量少し	2.98	0.99	205	0.191	-0.107	0.002	0.300	0.269	-0.269	-0.226	
(44) 印刷教材の演習が適切	3.69	0.96	196	0.008	0.010	-0.158	0.001	0.001	0.132	-0.003	
(45) 学習ペースが適切	2.64	0.75	202	-0.363#	0.071	0.067	-0.355#	-0.234	0.338*	-0.012	
(46) 全体的に満足な番組	2.25	0.88	205	-0.550#	0.051	0.054	-0.626#	-0.375#	0.333*	0.189	

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4-3-4 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 1)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 9. 講師印象改善点因子尺度				Q 9. 講師の話し方改善点因子尺度			
				講師親近感改善点	講師堅さ改善点	講師活動性改善点	明解さ改善点	話す速さ改善点	話す豊かさ改善点	話し簡潔性改善点	
Q6. メディアの特性の活用度	45.51	10.94	147	0.061	0.024	-0.055	0.180	-0.186	-0.144	0.009	
Q6. 視聴者考慮機会の頻度	49.70	11.18	147	-0.214	0.046	0.012	-0.312#	-0.121	-0.138	-0.062	
Q6. 印刷教材利用頻度	53.97	9.12	147	0.001	0.047	-0.052	0.084	-0.071	-0.036	-0.070	
Q6. 講義内容量の多さ	50.53	11.84	147	0.002	0.003	0.019	-0.049	-0.007	0.077	0.125	
Q6. 資料素材利用頻度											
Q6. 黒板・図版導入頻度											
Q6. アニメ・実験頻度											
Q7. 講義内容量の多さ改善	49.35	9.48	174	0.088	-0.032	0.060	0.167	0.242	0.100	0.155	
Q7. 登壇時間改善	48.82	8.80	174	0.112	-0.002	0.106	0.041	0.199	0.198	0.025	
Q7. 息抜き・考慮機改善	52.00	10.74	174	0.206	0.113	0.072	0.114	0.383*	0.291	0.221	
Q7. 問い・教科書利用改善	51.54	10.86	174	-0.029	-0.004	-0.035	-0.008	0.124	-0.042	0.192	
Q7. 講師登壇時間等改善	50.52	10.53	174	0.191	0.061	0.028	0.077	0.247	0.178	0.005	
Q7. 資料素材利用度改善	45.06	3.22	174	0.037	0.207	0.026	-0.025	0.007	0.012	0.016	
Q7. 黒板・図版利用度改善	46.63	3.55	174	-0.039	0.027	0.020	-0.000	-0.126	-0.149	-0.078	
Q7. アニメ・実験頻度改善	45.28	3.02	174	0.079	0.528**	-0.017	-0.072	-0.107	0.110	-0.069	
Q8. 講師の親しみやすさ	50.27	9.95	204	-0.072	-0.057	-0.027	-0.179	-0.006	-0.228	0.023	
Q8. 講師の堅さ	48.03	10.13	204	0.087	0.152	0.055	-0.031	0.191	0.064	-0.029	
Q8. 講師の派手さ	48.43	11.17	204	-0.061	0.023	-0.075	-0.003	0.009	-0.105	-0.037	
Q8. 明解な話し方	50.59	10.81	205	-0.049	-0.084	-0.007	-0.294	-0.072	-0.258	-0.157	
Q8. 面白味のある話し方	50.34	9.43	205	-0.127	-0.118	-0.164	-0.225	0.054	-0.290	-0.018	
Q8. 話し方の堅さ	50.71	11.10	205	0.037	0.189	0.166	0.100	0.165	0.121	0.166	
Q8. 話す速さ	48.10	11.43	205	0.118	0.177	0.062	0.176	0.251	0.073	0.069	
Q9. 講師の親近感改善	49.85	10.45	174	1.000	0.066	0.067	0.427*	0.184	0.218	0.233	
Q9. 講師の堅さ改善	49.37	8.93	174	0.066	1.000	0.088	-0.143	-0.042	0.110	0.024	
Q9. 講師の活動性改善	49.73	9.63	174	0.067	0.088	1.000	0.011	-0.020	0.047	-0.008	
Q9. 話し方の改善	48.93	9.27	174	0.427*	-0.143	0.011	1.000	0.153	0.109	0.162	
Q9. 話す速さの改善	51.23	11.11	174	0.184	-0.042	-0.020	0.153	1.000	0.094	0.247	
Q9. 話し方の豊かさの改善	49.24	9.68	174	0.218	0.110	0.047	0.109	0.094	1.000	0.057	
Q9. 話し方の簡潔性の改善	50.71	10.36	174	0.233	0.024	-0.008	0.162	0.247	0.057	1.000	
Q10. 講義内容量の適切性	50.70	9.65	170	-0.132	0.080	0.027	-0.278	-0.171	-0.159	-0.037	
Q10. 視聴者理解の適切工夫	48.81	9.52	170	0.050	-0.024	-0.025	-0.142	-0.213	-0.285	-0.201	
Q10. 番組への満足度	48.78	10.17	170	-0.073	-0.097	-0.041	-0.268	0.005	-0.331#	-0.068	
Q10. 番組の活用性	44.94	10.81	170	0.004	0.026	0.082	-0.011	-0.187	-0.120	-0.069	
Q10. 要占提示の適切性	49.46	9.55	170	-0.002	-0.200	0.023	-0.132	-0.018	-0.031	-0.040	
Q10. 難解性専門度進度	49.98	9.01	170	0.096	0.015	0.032	0.130	0.230	0.168	0.006	
Q10. 図表提示の適切性	42.34	9.12	170	0.035	0.053	0.103	-0.134	-0.029	-0.028	0.012	
Q10. 印刷教材の適切性	50.56	10.07	170	-0.091	-0.100	-0.145	-0.251	-0.048	-0.255	-0.149	

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4-3-4 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 2)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 9. 講師印象改善点因子尺度			Q 9. 講師の話し方改善点因子尺度			
				講師親近感改善点	講師堅さ改善点	講師活動性改善点	明解さ改善点	話す速さ改善点	話す豊かさ改善点	話し簡潔性改善点
評定者：年齢 (教授<講師)	45.03	10.08	210	0.132	-0.129	-0.035	0.115	0.165	0.165	0.102
評定者：性別 (男<女)	2.10	1.04	210	-0.044	0.127	0.061	-0.070	-0.134	-0.173	-0.071
評定者：アイ (T V < F M)	1.10	0.30	207	0.018	0.111	0.225	-0.114	0.034	-0.041	-0.004
評定者：メ (理系・文系 (文<理))	2.00	0.00	210							
評定者：理系・文系 (文<理)	1.24	0.43	152	-0.092	-0.176	0.082	-0.099	-0.014	-0.115	0.064
Q2. 視聴分量 (多<少)	3.26	1.69	203	0.012	-0.023	0.010	-0.045	-0.059	-0.092	0.011
Q3. 視聴質 (高<低)	1.88	0.72	205	-0.158	-0.050	-0.041	-0.027	-0.034	0.023	-0.002
Q4A. テレビ設備 (利<難)	1.58	0.67	201	-0.163	0.037	-0.117	-0.139	-0.094	-0.029	-0.068
Q4B. オデオ設備 (利<難)	1.45	0.54	203	-0.062	0.089	-0.085	-0.144	-0.054	-0.050	-0.087
Q4C. ラジオ設備 (利<難)	1.58	0.72	200	-0.107	0.028	-0.120	-0.131	-0.051	-0.056	-0.085
Q4D. テーブ設備 (利<難)	1.47	0.69	202	-0.092	0.116	-0.092	-0.130	-0.109	0.024	-0.065
Q5. 講義形式 (1人<他)	1.31	0.46	198	-0.013	-0.035	0.138	0.099	-0.165	-0.186	-0.080
Q13.1. 授業で全面的に利用	0.04	0.21	201	-0.008	0.311*	-0.045	0.076	-0.066	-0.066	0.025
Q13.2. 授業資料として利用	0.59	0.49	201	0.091	0.093	0.027	0.033	0.014	-0.050	0.077
Q13.3. 参考文献等利用	0.27	0.45	201	0.162	0.059	-0.006	0.057	0.132	-0.028	0.082
Q13.4. 図書室で自由利用	0.52	0.50	201	-0.042	-0.211	0.037	-0.078	0.101	0.064	-0.016
Q13.5. 図書室で利用 (0~3)	0.02	0.14	201	0.025	-0.013	-0.025	0.077	-0.062	0.031	-0.084
Q14. 想定利用単位数	1.57	1.07	176	-0.164	0.079	0.023	0.005	0.044	-0.180	0.012
Q6A. 講師の登場時間	1.75	0.92	184	-0.026	-0.138	0.029	0.088	-0.162	-0.217	-0.118
Q6B. 黒板等の利用頻度										
Q6C. マニエ等の利用頻度										
Q6D. 図版等の利用頻度	3.99	1.20	164	-0.356#	0.002	0.064	-0.241	-0.079	0.087	-0.199
Q6E. V T R 等の導入頻度										
Q6F. 実験等の導入頻度	4.45	0.83	178	0.112	-0.097	0.070	0.036	0.169	0.115	0.085
Q6G. 寸劇等の登場時間	3.77	1.24	180	0.012	-0.096	0.037	-0.079	0.157	0.047	-0.034
Q6H. フェースの登場時間	2.85	1.10	195	-0.067	0.042	-0.001	-0.041	-0.099	-0.022	0.082
Q6I. 印刷教材の参照頻度	4.01	0.96	178	-0.038	-0.109	-0.036	-0.037	0.132	0.037	-0.028
Q6J. 演習問題の参入頻度										
Q6K. 講義内容の分量	2.67	0.65	195	-0.169	-0.036	-0.009	-0.067	-0.173	-0.045	-0.248
Q6L. 内容の説明時間	2.46	0.90	194	0.186	0.078	-0.082	0.196	-0.020	-0.038	-0.065
Q6M. 視聴者の考慮時間	3.60	0.85	199	0.016	0.024	0.085	0.107	0.060	0.060	-0.049
Q6N. 息抜きの時間	3.88	0.79	191	0.013	-0.001	-0.032	0.102	0.024	0.191	0.169
Q6O. 1 回の講義時間	2.89	0.50	195	-0.028	0.069	-0.031	-0.062	0.008	-0.077	-0.020
Q6P. 問いかけの頻度	3.80	0.85	197	0.130	-0.048	-0.023	0.170	0.133	0.192	0.170
Q6Q. 実物資料の提示頻度										
Q6R. 証人の登場頻度	4.13	1.02	181	0.059	-0.054	0.078	0.094	0.198	0.094	0.117
Q6S. 実地見学の頻度										

(注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4-3-4 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 3)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q.9. 講師印象改善点因子尺度					Q.9. 講師の話し方改善点因子尺度				
				講師親近感改善点	講師堅さ改善点	講師活動性改善点	明解さ改善点	話す速さ改善点	話す豊かさ改善点	話し簡潔性改善点			
Q7A. 講師の登場時間頻度	0.07	0.26	174	0.198	-0.082	0.055	0.012	0.204	0.111	-0.014			
Q7B. 黒板等の利用頻度	0.01	0.08	174	-0.035	-0.024	-0.027	-0.043	-0.047	-0.066	-0.023			
Q7C. ティーメ等の利用頻度	0.01	0.11	174	0.042	0.525**	-0.040	-0.066	-0.064	0.031	-0.048			
Q7D. 図版の利用頻度	0.03	0.17	174	-0.043	0.050	0.048	0.030	-0.118	-0.124	-0.091			
Q7E. VTR等の利用頻度	0.01	0.11	174	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000			
Q7F. 実験等の導入頻度	0.01	0.11	174	0.132	0.387*	0.053	-0.063	0.088	0.214	-0.065			
Q7G. 寸劇等の利用頻度	0.07	0.26	174	-0.003	0.211	0.019	0.017	0.035	0.162	-0.046			
Q7H. デスートの登場時間頻度	0.20	0.40	174	0.087	-0.067	0.144	0.065	0.257	0.228	0.098			
Q7I. 印刷教材の参照頻度	0.20	0.40	174	-0.053	0.092	0.014	0.009	0.151	-0.070	0.177			
Q7J. 演習問題の利用頻度	0.16	0.37	174	0.114	0.085	-0.027	0.056	0.162	0.079	-0.075			
Q7K. 講義内容の分量	0.18	0.38	174	-0.087	0.081	-0.003	0.043	0.187	0.120	0.107			
Q7L. 内容の説明時間	0.20	0.40	174	0.114	-0.013	0.009	0.180	0.182	0.054	0.127			
Q7M. 視聴者の考慮時間	0.29	0.46	174	0.150	0.044	0.027	0.103	0.328*	0.142	0.184			
Q7N. 息抜きの時間	0.28	0.45	174	0.214	-0.008	0.095	0.109	0.298	0.204	0.181			
Q7O. 1回の講義時間	0.07	0.26	174	0.218	-0.072	0.109	0.196	0.175	0.126	0.095			
Q7P. 問いかけの頻度	0.42	0.49	174	0.039	0.093	-0.028	-0.032	0.083	0.150	0.153			
Q7Q. 実物の提示頻度	0.03	0.18	174	0.009	0.138	-0.010	-0.029	-0.002	-0.030	0.059			
Q7R. 証人の登場頻度	0.05	0.21	174	0.005	0.164	-0.022	0.010	-0.006	0.021	-0.109			
Q7S. 寒地見学の頻度	0.00	0.00	174										
Q7X. その他	0.27	0.44	174	-0.018	-0.007	0.068	-0.063	-0.070	-0.160	-0.022			
Q8A. 講師の派手さ	3.63	0.74	206	0.049	-0.023	0.027	0.054	-0.007	0.069	0.027			
Q8B. 講師の清潔感	2.27	0.73	207	-0.048	0.042	-0.063	0.135	-0.067	0.031	-0.025			
Q8C. 講師の活動性	2.95	0.73	206	0.011	-0.026	0.083	0.074	-0.102	0.177	-0.013			
Q8D. 講師の親しさ	2.48	0.80	208	0.105	0.070	0.035	0.107	-0.001	0.221	0.018			
Q8E. 講師の暖かさ	2.48	0.79	208	0.102	0.061	0.045	0.151	0.108	0.180	-0.047			
Q8F. 講師の厳しさ	3.24	0.69	207	-0.010	-0.070	-0.029	0.058	-0.059	0.058	0.075			
Q8G. 講師の緊張度	3.30	0.82	206	-0.112	-0.217	-0.076	-0.057	-0.229	-0.243	-0.034			
Q8H. 話し方の明瞭さ	3.32	0.76	208	-0.081	-0.140	-0.054	-0.143	-0.166	-0.066	-0.044			
Q8I. 話し方の硬さ	2.28	0.75	208	0.012	0.102	-0.067	0.197	0.030	0.178	0.190			
Q8J. 言葉遣いの硬さ	3.09	0.80	209	-0.121	-0.234	-0.255	-0.170	-0.098	-0.238	-0.017			
Q8K. 問の取り方	2.69	0.87	209	0.087	0.137	-0.050	0.219	0.322*	0.159	0.165			
Q8L. 表現力の豊さ	2.75	0.83	209	-0.034	0.031	0.061	0.169	-0.112	0.218	0.042			
Q8M. ユーモア	3.45	0.76	209	0.084	0.042	0.018	0.164	-0.063	0.164	0.146			
Q8N. 説得力	2.55	0.82	208	0.081	0.008	0.076	0.252	-0.016	0.208	0.031			
Q8O. わかりやすさ	2.35	0.80	209	0.154	0.119	0.139	0.343*	0.169	0.307*	0.138			
Q8P. 話術の巧みさ	2.83	0.84	209	0.090	0.088	0.083	0.274	0.001	0.343*	0.057			
Q8Q. まわりくどさ	3.42	0.85	209	-0.007	-0.098	-0.083	-0.086	-0.107	-0.120	-0.210			
Q8R. すっきりさ	2.52	0.82	209	-0.011	0.171	0.062	0.171	0.124	0.149	0.263			
Q8S. 素材提示の適切性	2.73	0.76	208	0.066	0.045	0.023	0.283	-0.027	0.198	-0.061			

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4-3-4 因子尺度偏差値・調査項目等における相関係数行列 (その 4)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q.9. 講師印象改善点因子尺度				Q.9. 講師の話し方改善点因子尺度			
				講師親近感改善点	講師堅さ改善点	講師活動性改善点	明解さ改善点	話し速さ改善点	話す豊かさ改善点	話し簡潔性改善点	
Q9A. 講師の派手さ	0.02	0.13	174	-0.152	-0.028	0.818**	-0.066	-0.017	-0.116	-0.045	
Q9B. 講師の清潔感	0.05	0.21	174	0.173**	-0.175	0.034	0.459*	0.170	0.030	0.218	
Q9C. 講師の活動性	0.09	0.29	174	0.433*	0.138	0.614**	0.124	0.002	0.210	0.076	
Q9D. 講師の親しみやすさ	0.20	0.40	174	0.628**	0.093	0.140	0.280	0.127	0.277	0.008	
Q9E. 講師の暖かさ	0.07	0.26	174	0.753**	0.232	0.073	0.204	0.121	0.139	0.264	
Q9F. 講師の厳しさ	0.02	0.13	174	0.232	0.704**	-0.000	-0.100	-0.016	0.081	0.024	
Q9G. 講師の緊張度合	0.07	0.25	174	-0.062	0.782**	0.109	-0.072	-0.035	0.052	0.055	
Q9H. 講師のスピード	0.22	0.41	174	0.019	-0.099	-0.014	0.094	0.787**	0.003	0.129	
Q9I. 話し方の明瞭さ	0.11	0.31	174	0.477*	-0.096	-0.017	0.587**	0.303**	0.100	0.293	
Q9J. 言葉遣いの硬さ	0.11	0.32	174	-0.014	0.126	0.026	-0.135	0.142	0.510**	0.171	
Q9K. 間の取り方	0.20	0.40	174	0.167	0.032	0.002	0.077	0.781**	0.093	0.159	
Q9L. 表現力の豊さ	0.16	0.36	174	0.263	-0.071	0.009	0.517**	-0.024	0.522**	0.022	
Q9M. エンターテインメント性	0.32	0.47	174	0.112	0.117	0.032	-0.269	-0.237	0.491*	-0.274	
Q9N. 説得力	0.14	0.35	174	0.129	0.033	0.044	0.619**	0.018	0.130	0.146	
Q9O. わかりやすさ	0.20	0.40	174	0.445*	-0.050	-0.025	0.481*	0.331*	0.183	0.250	
Q9P. 話術の巧みさ	0.18	0.39	174	0.071	0.072	0.047	0.151	0.257	0.721**	0.129	
Q9Q. まわりのきくこと	0.07	0.26	174	0.055	0.149	0.042	-0.180	0.013	-0.015	0.695**	
Q9R. すみやかに進めること	0.10	0.30	174	0.250	-0.126	-0.049	0.315*	0.197	0.035	0.718**	
Q9S. 素材提示の適切性	0.18	0.39	174	0.121	-0.054	0.050	0.457*	-0.050	-0.088	-0.111	
Q9X. その他	0.17	0.37	174	-0.134	-0.042	0.025	-0.105	-0.085	-0.208	-0.074	
(1) 内容は適切	2.04	0.81	205	0.060	-0.034	0.058	0.246	0.042	0.121	0.021	
(2) 内容は専門的	2.67	0.89	204	-0.050	0.021	-0.026	0.052	-0.078	-0.081	0.010	
(3) 単位数見合った内容	2.32	0.76	202	0.143	0.037	0.011	0.200	0.091	0.119	0.114	
(4) 面白い番組	2.53	1.00	204	0.033	0.075	0.033	0.206	0.010	0.325*	0.037	
(5) 役に立つ番組	2.20	0.81	205	0.047	0.082	0.013	0.091	-0.018	0.140	0.027	
(6) わかりやすい番組	2.44	0.89	204	0.125	0.021	0.008	0.196	0.134	0.183	0.151	
(7) 講義概要が最初で適切	2.49	0.91	204	-0.030	0.276	-0.008	-0.008	0.027	0.120	0.034	
(8) 必要が要するところまで適切	2.52	0.90	204	-0.034	0.212	0.063	0.094	-0.019	0.055	-0.045	
(9) 重要なポイントが明確	2.53	0.84	204	0.038	0.170	0.050	0.166	-0.025	0.086	-0.011	
(10) 流れに適切な緩急	3.07	0.90	206	-0.009	0.096	0.050	0.052	0.061	0.167	0.141	
(11) 1回の講義情報量適切	2.53	0.82	205	0.039	0.055	0.062	0.086	0.133	0.153	0.032	
(12) 視聴者が理解しやすい	3.00	0.93	204	-0.084	0.041	0.059	0.099	0.014	0.206	0.018	
(13) 視聴者の疑問を解消	3.21	0.89	203	-0.056	0.097	0.049	0.057	0.089	0.100	-0.044	
(14) 視聴者の疑問を解消	2.94	0.85	204	0.062	0.014	-0.057	0.137	0.126	0.168	0.099	
(15) 内容が盛りだくさん	2.68	0.80	205	0.019	0.084	0.002	0.021	-0.113	0.076	-0.005	

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-3-4 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 5)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	Q 9. 講師印象改善点因子尺度				Q 9. 講師の話し方改善点因子尺度			
				講師親近感改善点	講師堅さ改善点	講師活動性改善点	明解さ改善点	話す速さ改善点	話す豊かさ改善点	話し簡潔性改善点	
(16)利用メディアの問いかけが適切	3.15	0.91	207	-0.079	0.108	-0.023	0.139	0.014	0.122	-0.055	
(17)視聴者の概念の導入が適切	3.19	0.72	204	-0.018	0.050	-0.054	0.090	0.059	0.195	0.199	
(18)新しい概念の導入が適切	2.69	0.80	205	-0.018	0.005	-0.021	0.075	-0.120	0.097	-0.008	
(19)具体例が適切に変化小	2.64	0.87	206	0.201	0.047	-0.011	0.242	0.101	0.263	0.002	
(20)講義の流れが適切	2.92	0.95	205	-0.061	-0.171	-0.200	-0.122	-0.131	-0.194	-0.099	
(21)必要以上に専門用語が多用	3.54	0.87	203	-0.020	-0.109	-0.098	-0.191	-0.103	-0.296	0.016	
(22)印刷教材が適切に利用	3.36	0.84	202	0.125	0.099	0.008	0.174	0.010	-0.056	0.015	
(23)図表などが適切に利用	3.41	0.96	194	-0.037	-0.140	-0.162	0.116	0.062	0.082	-0.015	
(24)内容が実用的	3.33	0.96	204	-0.020	-0.004	-0.129	-0.072	0.007	0.125	-0.052	
(25)内容が面白	2.42	0.80	204	0.098	-0.026	0.008	0.122	0.028	0.178	0.009	
(26)講義の進捗は適切	2.47	0.85	205	0.137	-0.014	-0.027	0.205	0.146	0.110	0.085	
(27)1回の講義は適切	2.40	0.84	205	0.098	-0.042	0.045	0.059	0.009	0.076	-0.120	
(28)中絶が適切	3.49	0.78	203	-0.151	-0.084	-0.010	-0.075	0.030	0.072	-0.030	
(29)カリキュラムが適切	2.47	0.78	203	0.078	0.007	-0.029	0.193	0.019	0.184	-0.053	
(30)興味深い番組	2.22	0.94	206	0.045	0.115	-0.006	0.135	-0.066	0.335*	0.041	
(31)何らかの活用が適切	1.97	0.82	205	0.017	0.034	0.040	0.082	-0.004	0.137	-0.088	
(32)生活に密着した題材が適切	3.02	0.97	204	0.120	-0.009	-0.015	0.142	0.117	0.185	-0.053	
(33)講義の進捗が適切	2.85	0.91	203	0.062	0.066	0.097	0.051	0.133	0.173	-0.015	
(34)実社会に役立つ講義	3.27	1.02	204	0.009	0.055	-0.062	0.054	0.152	0.186	0.055	
(35)基本が適切	2.37	0.97	204	-0.001	-0.018	-0.055	0.170	0.014	-0.006	-0.081	
(36)一般大学の授業が適切	2.92	0.99	204	-0.028	0.029	-0.047	0.090	0.087	0.090	0.049	
(37)講師の進捗が適切	1.98	0.81	204	0.136	0.116	0.077	0.199	-0.086	0.255	-0.022	
(38)講義の進捗が適切	3.24	0.84	203	-0.197	0.030	0.087	-0.247	-0.303#	-0.142	-0.011	
(39)全体的な講義の提示が適切	2.56	0.89	204	0.096	-0.092	-0.029	0.223	0.095	0.186	-0.016	
(40)図表が適切	3.49	0.82	184	-0.070	0.032	-0.053	0.103	-0.004	0.068	0.080	
(41)印刷教材が充実	2.73	0.90	201	0.060	0.008	0.099	0.203	-0.061	0.100	-0.006	
(42)多数の番組が適切	3.34	0.97	204	-0.153	-0.176	-0.155	-0.335#	-0.065	-0.242	-0.157	
(43)印刷教材の演習が適切	2.98	0.99	205	-0.034	-0.126	-0.110	-0.114	0.011	-0.183	-0.058	
(44)印刷教材の演習が適切	3.69	0.96	196	-0.077	-0.026	0.021	-0.040	0.147	0.089	0.074	
(45)学習の満足度が適切	2.64	0.75	202	0.002	0.030	0.079	0.086	0.037	0.161	0.067	
(46)全体的に満足	2.25	0.88	205	0.073	0.073	0.018	0.221	0.054	0.208	0.069	

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-3-5 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 1)

Q10. 放送教材等総合的評定因子尺度											
因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効度数	講義内容 適切性	視聴者 理解配慮	番組 満足度	番組 実用性	要点提示 適切性	難度・専門	図表提示 適切性	印刷教材 適切性
Q6. メディア特性の活用度	45.51	10.94	147	-0.135	0.279	-0.194	0.378*	-0.310#	0.028	0.184	-0.081
Q6. 視聴者考慮頻度	49.70	11.18	147	0.262	0.504**	0.127	0.137	0.137	-0.002	0.167	0.182
Q6. 印刷教材利用頻度	53.97	9.12	147	-0.097	0.222	-0.085	0.459*	-0.106	0.319*	0.057	0.074
Q6. 講義内容量の多さ	50.53	11.84	147	0.121	0.001	0.131	-0.056	0.148	0.216	-0.137	0.131
Q6. 資料・教材利用頻度											
Q6. 黒板・図版利用頻度											
Q6. アニメ・実験導入頻度											
Q7. 講義内容量の多さ	49.35	9.48	174	-0.304#	-0.146	-0.068	-0.103	-0.006	0.139	0.014	-0.145
Q7. 登壇者の多さ	48.82	8.80	174	0.005	0.077	-0.058	-0.064	-0.149	0.054	-0.061	-0.012
Q7. 会場・考査機会	52.00	10.74	174	-0.284	-0.350#	-0.150	-0.238	0.026	0.320*	-0.207	-0.199
Q7. 問い・教科書利用	51.54	10.86	174	0.020	-0.042	0.097	-0.096	-0.045	0.086	-0.137	-0.123
Q7. 講師登場時間等	50.52	10.53	174	-0.125	-0.245	-0.256	-0.035	-0.128	0.027	0.091	-0.125
Q7. 資料・教材利用頻度	45.06	3.22	174	-0.039	0.019	-0.096	-0.027	-0.012	-0.052	-0.034	-0.140
Q7. 黒板・図版利用頻度	46.63	3.55	174	0.173	0.157	0.066	-0.019	-0.060	-0.103	-0.127	-0.029
Q7. アニメ・実験頻度	45.28	3.02	174	-0.040	0.010	-0.125	0.061	-0.137	0.041	0.119	0.039
Q8. 講師の話しやすさ	50.27	9.95	204	0.419*	0.273	0.596**	0.200	0.350*	-0.079	0.176	0.243
Q8. 講師の堅さ	48.03	10.13	204	-0.186	-0.113	-0.110	-0.100	-0.093	0.341*	0.030	-0.060
Q8. 講師の派手さ	48.43	11.17	204	-0.147	0.133	-0.167	0.118	-0.160	0.173	0.160	-0.010
Q8. 明解な話し方	50.59	10.81	205	0.512**	0.497*	0.652**	0.140	0.474*	-0.091	0.156	0.322*
Q8. 面白味のある話し方	50.34	9.43	205	0.249	0.420*	0.410*	0.125	0.205	-0.090	0.361*	0.178
Q8. 話し方の堅さ	50.71	11.10	205	-0.283	-0.211	-0.279	-0.173	-0.265	0.178	0.077	-0.403#
Q8. 話す速さ	48.10	11.43	205	-0.290	-0.125	-0.112	0.026	-0.201	0.430*	0.033	-0.276
Q9. 講師の親近感	49.85	10.45	174	-0.132	0.050	-0.073	0.004	-0.002	0.096	0.035	-0.091
Q9. 講師の堅さ	49.37	8.93	174	0.080	-0.024	-0.097	0.026	-0.200	0.015	0.053	-0.100
Q9. 講師の活動性	49.73	9.63	174	0.027	-0.025	-0.041	0.082	0.023	0.052	0.103	-0.145
Q9. 話し方の明解さ	48.93	9.27	174	-0.278	-0.142	-0.268	-0.011	-0.132	0.130	-0.134	-0.251
Q9. 話し方の速さ	51.23	11.11	174	-0.171	-0.213	0.005	-0.187	-0.018	0.230	-0.029	-0.048
Q9. 話し方の豊かさ	49.24	9.68	174	-0.159	-0.263	-0.331#	-0.120	-0.031	0.168	-0.028	-0.255
Q9. 話し方の簡潔性	50.71	10.36	174	-0.037	-0.201	-0.068	-0.069	-0.040	0.006	0.012	-0.149
Q10. 講義内容量の適切性	50.70	9.65	170	1.000	0.367*	0.445*	0.110	0.356*	-0.278	0.164	0.352*
Q10. 視聴者の配慮工夫	48.81	9.52	170	0.367*	1.000	0.275	0.221	0.149	-0.155	0.106	0.276
Q10. 番組への満足度	48.78	10.17	170	0.445*	0.275	1.000	0.158	0.449*	-0.085	0.046	0.331*
Q10. 番組の実用性	44.94	10.81	170	0.110	0.221	0.158	1.000	0.036	0.065	0.395*	0.117
Q10. 要点提示の適切性	49.46	9.55	170	0.356*	0.149	0.449*	0.036	1.000	0.066	0.133	0.296
Q10. 難解性の進捗度	49.98	9.01	170	-0.278	-0.155	-0.085	0.065	-0.066	1.000	-0.100	-0.093
Q10. 図表提示の適切性	42.34	9.12	170	0.164	0.106	0.046	0.395*	0.133	-0.100	1.000	0.017
Q10. 印刷教材の適切性	50.56	10.07	170	0.352*	0.276	0.331*	0.117	0.296	-0.093	0.017	1.000

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 4-3-5 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 2)

因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効度数	講義内容 適切性	視聴者 理解配慮	番組 満足度	番組 実用性	要点提示 適切性	難度・専門	図表提示 適切性	印刷教材 適切性
評定者：年齢 (教授<講師) 評定者：性別 (男<女) 評定者：学系 (文<理)	45.03 2.10 1.10 2.00	10.08 1.04 0.30 0.00	210 210 207 210	0.098 -0.121 0.033	0.150 -0.022	0.077 -0.003 0.131	-0.065 0.149 0.060	0.160 -0.167 -0.098	0.191 -0.206 -0.009	-0.016 0.111 0.163	0.091 -0.081 -0.141
Q2. 視聴分量 (多<少) Q3. 視聴質 (高<低) Q4A. テレビ設備 (利<難) Q4B. デジタル設備 (利<難) Q4C. ラジオ設備 (利<難) Q4D. ラーナー設備 (利<難) Q5. 講義形式 (1人<他)	3.26 1.88 1.58 1.45 1.58 1.47 1.31	1.69 0.72 0.67 0.54 0.72 0.69 0.46	203 205 201 203 200 202 198	-0.203 -0.243 0.022 -0.011 0.005 0.032 -0.088	-0.002 -0.125 0.013 0.052 0.029 0.031	-0.286 -0.362# -0.028 -0.061 -0.117 -0.209 -0.110	0.115 0.114 -0.044 -0.078 -0.037 -0.133 0.355*	-0.247 -0.191 -0.071 0.033 -0.212 -0.117 -0.063	0.035 -0.010 -0.059 0.025 -0.032 0.010 0.016	-0.055 0.093 0.026 0.057 0.096 -0.062 0.156	-0.052 -0.236 -0.039 0.003 -0.149 -0.093 0.085
Q13.1. 授業で全般的に利用 Q13.2. 授業参考資料として利用 Q13.3. 研究材料等として利用 Q13.4. 図書など利用 Q13.5. 図用単位 (0~3) Q14. 想定	0.04 0.59 0.27 0.52 0.02 1.57	0.21 0.49 0.45 0.50 0.14 1.07	201 201 201 201 201 176	-0.041 0.176 0.074 -0.079 -0.132 0.220	-0.008 0.088 0.069 -0.153 -0.044 0.142	0.170 0.141 0.064 0.021 -0.198 0.223	0.263 -0.010 0.063 -0.068 -0.117 0.002	0.004 0.076 0.025 -0.001 0.047 0.166	0.133 -0.037 0.010 0.086 0.062 -0.078	-0.080 -0.004 0.178 -0.104 -0.060 -0.298	0.229 0.033 0.132 -0.003 -0.137 0.188
Q6A. 講師の登場時間 Q6B. 黒板等の利用 Q6C. 予備の利便性 Q6D. 図版等の利用 Q6E. VTR等	1.75 3.99	0.92 1.20	184 164	-0.122 0.084	0.075 -0.307#	-0.239 -0.007	0.247 -0.302#	-0.249 0.040	-0.073 -0.135	0.110 -0.208	-0.012 0.036
Q6F. 実験等の導入 Q6G. 寸劇等の登場人物 Q6H. ガス上の登場人物 Q6I. 印刷教材の参照 Q6J. 演習問題の利用	4.45 3.77 2.85 4.01	0.83 1.24 1.10 0.96	178 180 195 178	0.128 -0.017 0.051 0.002	-0.287 -0.171 0.086 -0.316#	0.097 0.027 -0.043 0.163	-0.301# -0.404# -0.149 -0.551#	0.208 0.149 -0.136 0.127	0.019 -0.101 -0.312# -0.152	-0.283 -0.068 -0.079 -0.142	0.088 -0.117 -0.136 -0.065
Q6K. 講義内容の分量 Q6L. 内容の説明時間 Q6M. 視聴者の考慮 Q6N. 息抜き Q6O. 1回の講義時間	2.67 2.46 3.60 3.88 2.89	0.65 0.90 0.85 0.79 0.50	195 194 199 191 195	0.107 -0.192 -0.229 -0.141 -0.052	0.070 0.050 -0.536## -0.419# 0.016	-0.154 -0.211 -0.033 -0.075 0.104	-0.007 0.131 -0.159 -0.225 0.039	-0.028 -0.305# -0.067 -0.008 0.025	-0.343# -0.051 0.034 0.114 -0.119	0.101 0.127 -0.057 -0.305# 0.067	0.011 -0.159 -0.257 -0.062 0.024
Q6P. 問いかけの頻度 Q6Q. 資料の提示頻度 Q6R. 証人の登場シーン Q6S. 実地見	3.80 4.13	0.85 1.02	197 181	-0.103 0.033	-0.530## -0.239	-0.039 0.016	-0.209 -0.202	-0.014 0.114	0.051 0.098	-0.067 -0.133	-0.121 0.016

(注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq ##$)

表 4-3-5 因子尺度偏差値・調査項目等のラジコ科目における相関係数行列 (その 3)

因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効度数	講義内容 適切性	視聴者 理解配慮	番組 満足度	番組 実用性	要点提示 適切性	難度・専門 性	図表提示 適切性	印刷教材 適切性
Q7A. 講師の登場時間度	0.07	0.26	174	0.013	-0.078	0.020	-0.009	0.021	0.120	0.115	0.017
Q7B. 黒板等の利用頻度	0.01	0.08	174	0.207	0.093	0.134	-0.013	-0.062	-0.036	-0.072	0.031
Q7C. アニメ等の利用頻度	0.01	0.11	174	-0.005	0.061	-0.075	0.081	-0.117	0.034	0.098	0.037
Q7D. 図版等の利用頻度	0.03	0.17	174	0.065	0.121	-0.021	-0.017	-0.039	-0.102	-0.102	-0.051
Q7E. VTR等の利用頻度	0.01	0.11	174	0.123	0.067	0.136	0.057	-0.049	-0.096	0.086	0.033
Q7F. 実験等の導入頻度	0.01	0.11	174	-0.105	-0.086	-0.200	-0.026	-0.107	0.006	0.077	-0.047
Q7G. 寸劇等の利用頻度	0.07	0.26	174	-0.227	-0.236	-0.322#	-0.054	-0.148	-0.116	0.061	-0.011
Q7H. ゲストの登場時間度	0.20	0.40	174	-0.081	0.011	-0.156	-0.088	-0.191	0.069	-0.111	-0.092
Q7I. 印刷教材の参照頻度	0.20	0.40	174	-0.070	-0.064	-0.062	-0.084	-0.105	-0.089	0.005	-0.171
Q7J. 演習問題の利用頻度	0.16	0.37	174	-0.047	-0.182	-0.164	0.006	-0.056	0.047	0.086	-0.116
Q7K. 講義内容の分量	0.18	0.38	174	-0.286	-0.251	-0.057	-0.111	-0.022	0.206	-0.073	-0.041
Q7L. 内容の説明時間	0.20	0.40	174	-0.212	-0.140	-0.211	0.044	-0.037	0.073	0.050	-0.134
Q7M. 視聴者の登場時間	0.29	0.46	174	-0.144	-0.293	0.049	-0.210	0.040	0.232	-0.172	-0.202
Q7N. 息抜き時間	0.28	0.45	174	-0.171	-0.148	-0.090	-0.127	0.103	0.301*	-0.143	-0.152
Q7O. 1回の講義時間	0.07	0.26	174	-0.216	0.053	-0.035	-0.157	-0.015	0.060	-0.018	-0.172
Q7P. 問いかけの頻度	0.42	0.49	174	-0.103	-0.152	-0.074	-0.147	-0.100	0.098	-0.153	-0.043
Q7Q. 実物資料の提示頻度	0.03	0.18	174	0.016	0.044	-0.001	-0.008	0.023	-0.032	-0.041	-0.125
Q7R. 証人の登場頻度	0.05	0.21	174	0.058	0.146	-0.023	0.039	-0.011	0.022	-0.004	0.067
Q7S. 実地見学	0.00	0.00	174								
Q7X. その他	0.27	0.44	174	0.037	0.061	0.147	-0.007	-0.119	-0.007	-0.117	0.108
Q8A. 講師の派手さ	3.63	0.74	206	0.139	-0.141	0.137	-0.030	0.156	-0.150	-0.166	0.007
Q8B. 講師の清潔感	2.27	0.73	207	-0.256	-0.080	-0.452#	0.060	-0.278	0.062	-0.039	-0.151
Q8C. 講師の活動性	2.95	0.73	206	-0.134	-0.163	-0.535#	-0.207	-0.198	-0.190	-0.204	-0.175
Q8D. 講師の親しみさ	2.48	0.80	208	-0.425#	-0.353#	-0.489#	-0.275	-0.295	0.133	-0.170	-0.201
Q8E. 講師の暖かさ	2.48	0.79	208	-0.453#	-0.254	-0.474#	-0.194	-0.302#	0.182	-0.196	-0.175
Q8F. 講師の厳しさ	3.24	0.69	207	0.162	0.075	0.065	0.052	0.119	-0.264	0.041	0.011
Q8G. 講師の緊張の度	3.30	0.82	206	0.180	0.128	0.340*	0.096	0.135	-0.237	-0.089	0.199
Q8H. 話し方の明瞭さ	3.32	0.76	208	0.262	0.117	0.104	-0.053	0.208	-0.358#	-0.064	0.306*
Q8I. 言葉遣いの硬さ	2.28	0.75	208	-0.363#	-0.374#	-0.567#	-0.011	-0.297	0.224	-0.044	-0.227
Q8J. 言葉遣いの硬さ	3.09	0.80	209	0.330*	0.288	0.342*	0.125	0.265	-0.309#	0.102	0.347*
Q8K. 間の取り方	2.69	0.87	209	-0.429#	-0.383#	-0.461#	-0.175	-0.320#	0.120	-0.197	-0.204
Q8L. 表現力の豊さ	2.75	0.83	209	-0.329#	-0.352#	-0.479#	-0.046	-0.327#	-0.010	-0.173	-0.219
Q8M. ユーモア	3.45	0.76	209	-0.095	-0.400#	-0.231	-0.103	-0.084	-0.009	-0.359#	-0.014
Q8N. 説得力	2.55	0.82	208	-0.431#	-0.438#	-0.592#	-0.084	-0.395#	0.016	-0.105	-0.238
Q8O. わかりやすさ	2.55	0.80	209	-0.479#	-0.351#	-0.610#	-0.164	-0.400#	0.253	-0.123	-0.302#
Q8P. 話術の巧みさ	2.83	0.84	209	-0.372#	-0.455#	-0.573#	-0.116	-0.367#	0.075	-0.238	-0.272
Q8Q. まわきくどさ	3.42	0.85	209	0.244	0.223	0.306*	0.144	0.226	-0.058	-0.095	0.350*
Q8R. すっきりさ	2.52	0.82	209	-0.377#	-0.408#	-0.519#	-0.176	-0.408#	0.084	-0.045	-0.302#
Q8S. 素材提示の適切性	2.73	0.76	208	-0.393#	-0.271	-0.422#	-0.234	-0.387#	-0.076	-0.139	-0.448#

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4-3-5 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 4)

Q10. 放送教材等総合的評定因子尺度										
因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効度数	講義内容 適切性	視聴者 理解配慮	番組 満足度	番組 実用性	要点提示 適切性	図表提示 適切性	印刷教材 適切性
Q9A. 講師の派遣感	0.02	0.13	174	0.054	0.034	0.040	0.081	0.079	0.175	-0.071
Q9B. 講師の清潔感	0.05	0.21	174	-0.047	0.112	0.088	0.052	0.132	0.083	0.014
Q9C. 講師の活動性	0.09	0.29	174	-0.083	-0.018	-0.099	0.069	-0.091	-0.053	-0.169
Q9D. 講師の話しやすさ	0.20	0.40	174	-0.084	0.075	-0.143	-0.082	0.015	-0.061	-0.111
Q9E. 講師の腰かさ	0.07	0.26	174	-0.121	0.048	-0.109	0.020	-0.084	0.120	-0.102
Q9F. 講師の厳しさ	0.02	0.13	174	-0.041	0.087	-0.043	0.060	-0.192	0.021	-0.097
Q9G. 講師の緊張度	0.07	0.25	174	0.168	-0.089	-0.065	0.005	-0.096	0.081	-0.037
Q9H. 話し方の明瞭さ	0.22	0.41	174	-0.107	-0.141	0.080	-0.113	0.074	0.126	-0.034
Q9I. 話し方の丁寧さ	0.11	0.31	174	-0.096	-0.173	0.004	0.034	0.042	-0.113	0.074
Q9J. 言葉遣いの硬さ	0.11	0.32	174	0.002	-0.136	-0.220	-0.109	-0.063	0.043	-0.058
Q9K. 間の取り方	0.20	0.40	174	-0.191	-0.203	-0.046	-0.190	-0.077	0.190	-0.066
Q9L. 表現力の豊かさ	0.16	0.36	174	-0.239	-0.193	-0.185	-0.066	-0.048	0.127	-0.282
Q9M. ユーモア	0.32	0.47	174	-0.025	0.019	-0.020	0.024	0.073	-0.010	-0.037
Q9N. 説得力	0.14	0.35	174	-0.189	-0.142	-0.318#	-0.034	-0.149	0.106	-0.177
Q9O. わかりやすさ	0.20	0.40	174	-0.184	-0.026	-0.151	-0.074	-0.166	0.163	-0.200
Q9P. 術の巧みさ	0.18	0.39	174	-0.116	-0.295	-0.360#	-0.126	-0.038	0.050	-0.225
Q9Q. まわりのくどさ	0.07	0.26	174	0.062	-0.103	0.037	0.009	0.030	-0.215	-0.104
Q9R. くりかえし	0.10	0.30	174	-0.124	-0.097	-0.095	-0.080	-0.065	0.102	-0.193
Q9S. 素材提示の適切性	0.18	0.39	174	-0.151	-0.002	-0.171	0.039	-0.063	-0.113	-0.198
Q9X. その他	0.17	0.37	174	0.199	0.117	0.227	-0.022	0.051	-0.126	0.091
(1) 内容の範囲は適切	2.04	0.81	205	-0.649##	-0.190	-0.466#	-0.122	-0.334#	0.109	-0.368#
(2) 内容が専門的	2.67	0.89	204	-0.021	0.082	-0.012	-0.047	-0.122	-0.143	-0.040
(3) 単位見合った内容	2.52	0.76	202	-0.621##	-0.221	-0.516##	-0.082	-0.341#	0.025	-0.325#
(4) 面白く番組	2.53	1.00	204	-0.390#	-0.433#	-0.792##	-0.251	-0.249	0.140	-0.263
(5) 役に立つ番組	2.20	0.81	205	-0.366#	-0.179	-0.732##	-0.376#	-0.392#	0.078	-0.208
(6) わかりやすい番組	2.44	0.89	204	-0.496#	-0.316#	-0.591##	-0.027	-0.313#	0.399*	-0.157
(7) 講義機が要所	2.49	0.91	204	-0.190	-0.142	-0.294	-0.165	-0.759##	0.060	-0.301#
(8) 重要ポイントが明確	2.52	0.90	204	-0.295	-0.272	-0.360#	-0.129	-0.855##	0.106	-0.360#
(9) 流れに合った緩急	2.53	0.84	204	-0.369#	-0.453#	-0.436#	-0.074	-0.713##	0.161	-0.394#
(10) 情報量適切	3.07	0.90	206	-0.342#	-0.702##	-0.298	-0.203	-0.330#	0.110	-0.233
(11) 1回の講義量適切	2.53	0.82	205	-0.711##	-0.396#	-0.273	-0.137	-0.244	0.342*	-0.244
(12) 視聴者の動機づけ配慮	3.00	0.93	204	-0.328#	-0.679##	-0.446#	-0.072	-0.251	0.055	-0.162
(13) 視聴者の疑問への配慮	3.21	0.89	203	-0.353#	-0.749##	-0.330#	-0.144	-0.256	0.119	-0.247
(14) 視聴者の盛り上がり	2.94	0.85	204	-0.426#	-0.585##	-0.251	-0.148	-0.274	0.126	-0.093
(15) 内容が盛りだくさん	2.68	0.80	205	0.028	0.016	-0.189	-0.072	-0.096	-0.506##	-0.196

(注: ** ≥ 0.5 , 0.5 $> *$ ≥ 0.3 , -0.3 $\geq \# > -0.5$, -0.5 $\geq ##$)

表 4-3-5 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 5)

因子尺度・項目	平均	標準偏差	有効度数	講義内容 適切性	視聴者 理解配慮	番組 満足度	番組 実用性	要点提示 適切性	難度・専門 度	図表提示 適切性	印刷教材 適切性
(16) 利用メディアの特性が適切	3.15	0.91	207	-0.176	-0.454#	-0.328#	-0.318#	-0.210	0.144	-0.474#	-0.278
(17) 視聴者の関心が適切	3.19	0.72	204	-0.368#	-0.755#	-0.233	-0.258	-0.208	0.168	-0.142	-0.324#
(18) 新しい概念の導入が適切	2.69	0.80	205	-0.361#	-0.464#	-0.376#	-0.050	-0.391#	-0.019	0.028	-0.101
(19) 具体例が適切	2.64	0.87	206	-0.351#	-0.331#	-0.574#	-0.208	-0.342#	0.176	-0.226	-0.216
(20) 講義の流れに変化が小	2.92	0.95	205	0.232	0.464*	0.253	0.106	0.155	-0.224	0.206	0.261
(21) 必要以上に専門用語が多用	3.54	0.84	203	0.304*	0.107	0.380*	-0.013	0.307*	-0.611#	-0.082	0.451*
(22) 印刷教材と適切に関連	2.36	0.87	202	-0.207	-0.027	-0.201	0.022	-0.605#	-0.086	-0.085	-0.522#
(23) 図表などが適切な利用	3.41	0.96	194	-0.115	-0.049	0.007	-0.398#	-0.091	0.084	-0.863#	0.000
(24) 内容が実用的	3.33	0.96	204	-0.153	-0.182	-0.268	-0.772#	0.024	-0.435#	-0.144	-0.144
(25) 内容のレベルは適切	2.42	0.80	204	-0.785#	-0.280	-0.396#	-0.101	-0.302#	0.314*	-0.096	-0.294
(26) 講義の進度は適当	2.47	0.85	205	-0.806#	-0.383#	-0.295	-0.038	-0.167	0.309*	-0.144	-0.259
(27) 1回の講義時間が適切	2.40	0.84	205	-0.755#	-0.216	-0.200	-0.062	-0.202	0.230	-0.136	-0.243
(28) 中途の息抜きが適切	3.49	0.78	203	-0.225	-0.518#	0.050	-0.214	0.090	0.206	-0.350#	-0.014
(29) カリキュラムが適切	2.47	0.78	203	-0.709#	-0.251	-0.529#	-0.046	-0.323#	0.179	0.023	-0.332#
(30) 興味深い番組	2.22	0.94	206	-0.431#	-0.305#	-0.850#	-0.168	-0.357#	0.034	-0.035	-0.269
(31) 何らかの利便性がある	1.97	0.82	205	-0.336#	-0.015	-0.632#	-0.361#	-0.342#	-0.067	-0.150	-0.161
(32) 生活に密着した題材を利用	3.02	0.97	204	-0.186	-0.191	-0.272	-0.798#	-0.142	0.127	-0.451#	-0.139
(33) 時局を題材に可	2.85	0.91	203	-0.278	-0.244	-0.422#	-0.688#	-0.165	-0.110	-0.249	-0.249
(34) 実社会の裏面に	3.27	1.02	204	-0.168	-0.260	-0.141	-0.877#	-0.026	0.032	-0.432#	-0.023
(35) 基本	2.37	0.97	204	-0.527#	-0.166	-0.418#	-0.116	-0.398#	0.014	-0.282	-0.076
(36) 一般大衆に内容が	2.92	0.99	204	0.024	-0.309#	-0.198	-0.192	-0.039	-0.075	0.059	-0.193
(37) 講師の進め方が適切	1.98	0.81	204	-0.423#	-0.287	-0.731#	-0.063	-0.380#	-0.008	0.016	-0.243
(38) 講義の進め方が速い	3.24	0.84	203	0.470*	0.219	0.099	0.024	0.167	-0.728#	0.163	0.214
(39) 全体の内容が適当	2.56	0.89	204	-0.797#	-0.344#	-0.299	-0.076	-0.281	0.378*	-0.165	-0.343#
(40) 図表などの提示が工夫	3.49	0.82	184	-0.072	-0.176	0.002	-0.411#	-0.041	-0.021	-0.827#	-0.113
(41) 印刷教材が充実	2.73	0.90	201	-0.457#	-0.184	-0.424#	-0.158	-0.316#	-0.052	-0.153	-0.726#
(42) 改善の余地が大きい	3.34	0.97	204	0.515**	0.420*	0.567**	0.041	0.351*	-0.222	0.038	0.539**
(43) 印刷教材も少し工夫	2.98	0.99	205	0.318*	0.255	0.295	0.110	0.198	-0.162	0.051	0.809**
(44) 印刷教材の演習が適切	3.69	0.96	196	0.032	-0.370#	0.117	-0.650#	0.178	-0.183	-0.082	-0.219
(45) 学習ペースが適当	2.64	0.75	202	-0.406#	-0.234	-0.443#	-0.134	-0.198	-0.017	-0.049	-0.302#
(46) 全体的に満足な番組	2.25	0.88	205	-0.627#	-0.377#	-0.758#	-0.177	-0.379#	0.050	-0.128	-0.415#

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq ##$)

表 4-3-3-6 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 1)

その他の主な質問項目・分類等										
因子尺度・項目	評定者 年齢	評定者 職位	科・理・文	Q2 視聴分量	Q3 視聴質	Q5 講義形式	Q13 授業全面	Q13 授業参考	Q13 研究材料	定 想 単 位 数
Q6.メディア特性の活用度	-0.143	0.141	-0.086	0.200	0.155	0.440*	0.137	-0.104	0.015	-0.092
Q6.視聴者の考慮機会の頻度	0.034	-0.079	0.153	0.040	0.002	-0.032	0.010	-0.036	0.154	0.143
Q6.印刷教材利用頻度	0.007	-0.073	-0.083	0.096	0.150	0.264	0.231	-0.047	0.140	0.079
Q6.講義内容量の多さ	0.251	-0.313#	-0.039	-0.186	-0.066	-0.026	0.043	0.063	0.015	0.100
Q6.実資料・教材利用頻度										
Q6.黒板・図版・実験導入頻度										
Q7.講義内容量の多さ改善	0.004	-0.002	0.055	-0.218	-0.011	0.092	-0.001	-0.040	0.142	0.026
Q7.分メ・ス・ト等登壇時間改善	0.176	-0.187	-0.121	0.020	0.015	-0.112	-0.058	0.029	-0.043	-0.004
Q7.自抜き・考慮機会の改善	0.091	-0.127	-0.097	-0.089	-0.062	-0.001	-0.012	0.107	0.063	-0.022
Q7.問い・教科書利用の改善	0.089	-0.088	0.017	-0.124	-0.049	-0.143	0.012	0.070	-0.085	0.154
Q7.講師登壇時間等の改善	0.050	-0.057	0.039	0.146	0.058	0.189	-0.048	0.037	-0.026	-0.101
Q7.実資料・教材利用頻度改善	-0.051	-0.028	0.181	-0.036	-0.063	-0.044	0.137	0.072	-0.051	0.062
Q7.黒板・図版・実験頻度改善	-0.123	0.080	0.157	-0.093	-0.034	0.058	-0.039	0.004	-0.036	0.144
Q7.分メ・ス・ト等登壇頻度改善	-0.055	0.146	-0.117	-0.018	0.050	0.017	0.249	0.090	-0.041	-0.095
Q8.講師の親しみやすさ	0.049	-0.003	-0.006	-0.270	-0.216	-0.067	0.089	0.115	0.182	0.188
Q8.講師の堅さ	-0.064	0.068	-0.131	-0.009	0.020	-0.026	-0.110	0.046	0.115	-0.061
Q8.講師の派手さ	0.039	-0.003	-0.008	0.147	0.054	0.020	0.010	-0.016	-0.078	0.032
Q8.明解な話し方	0.133	-0.059	0.058	-0.213	-0.238	-0.158	0.028	0.248	0.118	0.165
Q8.面白味のある話し方	0.066	-0.033	0.120	-0.115	-0.041	-0.206	-0.029	0.033	0.048	0.137
Q8.話し方の堅さ	0.001	-0.042	-0.005	-0.015	0.152	-0.033	-0.149	0.028	-0.065	-0.116
Q8.話す速さ	0.221	-0.230	-0.072	-0.085	-0.001	0.019	0.048	-0.070	0.027	0.062
Q9.講師の親近感改善	0.132	-0.044	-0.092	0.012	-0.158	-0.013	-0.008	0.091	0.162	-0.164
Q9.講師の堅さ改善	-0.129	0.127	-0.176	-0.023	-0.050	-0.035	0.311*	0.093	0.059	0.079
Q9.講師の活動性改善	-0.035	0.061	0.082	0.010	-0.041	0.138	-0.045	0.027	-0.006	0.023
Q9.話し速さの改善	0.115	-0.070	-0.099	-0.045	-0.027	0.099	0.076	0.033	0.057	0.005
Q9.話し方の改善	0.165	-0.134	-0.014	-0.059	-0.034	-0.165	-0.066	0.014	0.132	0.044
Q9.話し方の豊かさの改善	0.165	-0.173	-0.115	-0.092	0.023	-0.186	-0.066	-0.050	-0.028	-0.180
Q9.話し方の簡潔性の改善	0.102	-0.071	0.064	0.011	-0.002	-0.080	0.025	0.077	0.082	0.012
Q10.講義内容量の適切性	0.098	-0.121	0.015	-0.203	-0.243	-0.088	-0.041	0.176	0.074	0.220
Q10.視聴者の配慮工夫	0.150	-0.093	0.223	-0.002	-0.125	0.031	-0.008	0.088	0.069	0.142
Q10.番組への満足度	0.077	-0.003	0.165	-0.286	-0.362#	-0.110	0.170	0.141	0.064	0.223
Q10.番組の活用性	-0.065	0.149	-0.066	0.115	0.114	0.355*	0.263	-0.010	0.063	0.002
Q10.要点提示の適切性	0.160	-0.167	0.053	-0.247	-0.191	-0.063	0.004	0.076	0.025	0.166
Q10.要解提示の進捗度	0.191	-0.206	-0.030	0.035	-0.010	0.016	0.133	-0.037	0.010	-0.078
Q10.図解提示の適切性	-0.016	0.111	0.051	-0.055	0.093	0.156	-0.080	-0.004	0.178	-0.298
Q10.印刷教材の適切性	0.091	-0.081	0.032	-0.052	-0.236	0.085	0.229	0.033	0.132	0.188

(注: ** ≥ 0.5 , 0.5 $> *$ ≥ 0.3 , -0.3 $\geq \# > -0.5$, -0.5 $\geq \#$)

表 4-3-6 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 2)

因子尺度・項目	その他の主な質問項目・分類等									
	評定者 年齢	評定者 職位	科目・文 理	Q2. 視聴分量	Q3. 視聴質	Q5. 講義形式	Q13. 授業全面	Q13. 授業参考	Q13. 研究材料	定 想 単位数
評定者：年齢	1.000	-0.728##	0.035	-0.140	-0.086	-0.184	-0.027	0.185	-0.048	0.021
評定者：性別 (男<女)	-0.728##	1.000	-0.014	0.141	0.111	0.238	0.057	-0.124	0.037	-0.187
評定者：文系 (文<理)	-0.120	0.245	-0.080	-0.026	-0.016	0.156	-0.073	0.013	-0.017	-0.080
理系・文系 (文<理)	0.035	-0.014	1.000	0.035	-0.073	-0.042	0.046	0.087	-0.010	0.015
Q2. 視聴分量 (多<少)	-0.140	0.141	0.035	1.000	0.375*	0.005	0.013	-0.072	-0.049	-0.174
Q3. 視聴質 (高<低)	-0.086	0.111	-0.073	0.375*	1.000	0.024	-0.179	-0.164	-0.060	-0.128
Q4A. テレ設備 (利<難)	-0.147	0.114	0.059	-0.038	0.021	-0.054	-0.115	-0.019	-0.040	0.099
Q4B. ビデオ設備 (利<難)	0.005	0.043	-0.040	-0.047	0.049	0.013	-0.093	-0.012	-0.017	0.042
Q4C. ラジ設備 (利<難)	-0.253	0.233	0.018	0.073	0.139	0.046	-0.131	0.027	0.025	0.049
Q4D. テーブ設備 (利<難)	0.019	-0.033	0.017	-0.013	0.033	-0.091	0.084	0.099	0.036	0.012
Q5. 講義形式 (1人<他)	-0.184	0.238	-0.042	0.005	0.024	1.000	0.037	-0.157	-0.034	0.010
Q13.1. 授業で全面的に利用	-0.027	0.057	0.046	0.013	-0.179	0.037	1.000	-0.014	0.083	0.165
Q13.2. 授業資料として利用	0.185	-0.124	0.087	-0.072	-0.164	-0.157	-0.014	1.000	-0.052	0.081
Q13.3. 研究材料として利用	-0.048	0.037	-0.010	-0.049	0.060	-0.034	0.083	-0.052	1.000	-0.104
Q13.4. 図書等 (0~3)	-0.015	0.012	0.091	-0.081	-0.040	0.105	-0.032	-0.345#	-0.077	0.046
Q13.5. 利用単位数	-0.100	0.026	0.032	0.020	0.023	0.146	-0.031	-0.170	-0.087	-0.115
Q14. 想定	0.021	-0.187	0.015	-0.174	-0.128	0.010	0.165	0.081	-0.104	1.000
Q6A. 講師の登壇時間	-0.301#	0.210	-0.048	0.278	0.145	0.462*	-0.005	-0.093	-0.031	-0.035
Q6B. 黒板等の利用頻度										
Q6C. テニメの利用頻度										
Q6D. 図版等の利用頻度										
Q6E. VTR等の利用頻度	-0.072	0.010	0.013	0.003	-0.001	-0.179	-0.003	-0.041	-0.154	0.116
Q6F. 実験等の導入頻度										
Q6G. 寸劇等の利用頻度	0.097	-0.145	-0.059	-0.221	-0.241	-0.051	-0.181	0.051	-0.001	0.112
Q6H. スライドの登壇時間	0.041	-0.065	0.172	-0.044	-0.062	-0.549##	-0.224	0.097	-0.124	0.002
Q6I. 印刷教材の参照頻度	-0.022	0.067	0.192	0.092	0.046	-0.183	0.005	0.008	-0.167	-0.090
Q6J. 演習問題の利用頻度	0.022	0.004	-0.000	-0.223	-0.159	-0.341#	-0.176	0.085	-0.126	0.031
Q6K. 講義内容の分量	-0.191	0.227	0.059	0.199	0.080	0.022	-0.157	-0.020	-0.038	-0.168
Q6L. 内容の説明時間	-0.125	0.176	-0.155	0.110	0.193	0.182	0.041	-0.086	-0.000	-0.152
Q6M. 視聴者の考慮時間	-0.059	0.078	-0.033	-0.040	-0.002	-0.015	0.000	0.057	-0.143	-0.093
Q6N. 息抜き時間	0.134	-0.143	-0.071	-0.111	-0.036	-0.135	-0.048	-0.031	-0.060	-0.047
Q6O. 1回の講義時間	-0.184	0.233	0.042	0.008	-0.041	-0.091	0.100	0.046	0.119	-0.017
Q6P. 問いかけの頻度	0.076	-0.029	-0.016	-0.087	-0.129	-0.050	0.015	0.125	-0.157	-0.055
Q6Q. 実物資料の提示頻度										
Q6R. 証人の登壇頻度	0.077	-0.094	-0.016	-0.153	-0.084	-0.120	-0.088	0.148	-0.016	0.041
Q6S. 実地見学										

(注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq ##$)

表 4 - 3 - 6 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 3)

因子尺度・項目	その他の主な質問項目・分類等									
	評定者 年齢	評定者 職位	科目・文 理・文	Q2 視聴分量	Q3 視聴質	Q5 講義形式	Q13 授業全面	Q13 授業参考	Q13 研究材料	想定 単位数
Q7A. 講師の登場時間	0.207	-0.182	-0.065	0.099	0.052	-0.022	-0.064	0.009	0.096	-0.202
Q7B. 講師の登場時間	-0.073	0.069	-0.049	-0.101	-0.093	-0.052	-0.017	-0.094	-0.043	0.033
Q7C. アメ等の利用頻度	-0.079	0.150	-0.069	-0.054	0.014	0.045	0.233	0.089	0.066	-0.042
Q7D. 図版等の利用頻度	-0.098	0.058	0.224	-0.038	0.033	0.110	-0.039	0.071	-0.017	0.143
Q7E. VTR等の利用頻度	-0.114	0.098	-0.069	-0.143	-0.055	0.045	-0.024	0.089	-0.062	-0.060
Q7F. 実験等の導入頻度	-0.012	0.046	-0.049	0.039	0.014	-0.074	0.233	0.089	-0.062	-0.113
Q7G. 寸劇等の利用頻度	-0.198	0.196	-0.015	0.099	0.052	0.213	0.041	-0.081	0.045	-0.088
Q7H. ケースの登場時間	0.207	-0.232	-0.046	0.014	0.055	-0.083	-0.113	0.000	-0.049	0.031
Q7I. 印刷教材の参照頻度	-0.049	0.115	0.015	-0.029	0.074	0.013	0.031	-0.146	0.001	0.019
Q7J. 演習問題の利用頻度	0.053	-0.082	0.107	0.104	0.037	0.196	-0.024	0.104	-0.065	-0.002
Q7K. 講義内容の分量	0.028	-0.081	0.034	-0.250	-0.017	0.022	0.043	0.031	0.100	0.090
Q7L. 内容の説明時間	-0.075	0.045	-0.062	-0.067	0.012	0.186	0.031	-0.055	-0.033	-0.027
Q7M. 視聴者の考慮時間	0.077	-0.081	-0.002	-0.110	-0.148	-0.129	0.036	0.115	-0.009	0.125
Q7N. 息抜き時間	0.148	-0.179	-0.120	-0.061	0.009	0.030	-0.073	0.065	0.090	-0.116
Q7O. 1 回の講義時間	0.058	-0.014	0.118	-0.122	-0.038	0.046	-0.064	0.009	0.148	0.074
Q7P. 問いかけの頻度	0.032	-0.065	-0.028	-0.077	-0.052	-0.037	-0.017	0.146	-0.025	0.033
Q7Q. 実物資料の登場頻度	-0.045	-0.040	0.143	-0.037	-0.097	-0.060	0.108	0.026	-0.033	0.075
Q7R. 証人の登場頻度	0.023	-0.037	-0.133	0.034	-0.002	-0.030	0.082	0.011	-0.060	0.042
Q7S. 実地の他	0.079	0.007	0.028	-0.034	-0.110	0.009	0.049	-0.086	0.082	0.040
Q8A. 講師の派手さ	-0.037	0.047	-0.000	-0.082	-0.029	0.025	0.108	-0.008	0.065	-0.032
Q8B. 講師の清潔感	-0.014	0.037	-0.004	0.268	0.172	0.085	-0.050	-0.057	-0.203	-0.083
Q8C. 講師の活動性	-0.044	-0.045	0.052	0.093	0.131	-0.031	-0.187	-0.019	-0.151	-0.112
Q8D. 講師の親しみ	-0.140	0.048	-0.046	0.192	0.163	0.052	-0.127	-0.070	-0.112	-0.221
Q8E. 講師の暖かさ	-0.009	0.003	0.017	0.261	0.163	0.105	-0.007	-0.114	-0.110	-0.131
Q8F. 講師の厳しさ	0.131	-0.139	0.130	-0.039	-0.030	0.019	0.061	-0.120	-0.078	0.012
Q8G. 講師の緊張感	-0.075	0.082	0.082	0.032	-0.074	0.033	0.182	0.068	-0.007	0.129
Q8H. 話し方の明確さ	-0.199	0.213	0.049	0.061	-0.011	-0.008	-0.027	0.137	-0.006	-0.039
Q8I. 言葉遣いの硬さ	-0.032	0.049	-0.094	0.179	0.128	0.084	0.123	-0.091	-0.085	-0.050
Q8J. 言葉遣いの硬さ	-0.044	0.053	0.163	-0.014	-0.102	-0.143	0.030	-0.124	0.027	0.104
Q8K. 間の取り方	-0.010	-0.083	-0.054	0.038	0.119	0.050	-0.061	-0.090	-0.115	-0.033
Q8L. 表現力の豊さ	-0.176	0.138	-0.049	0.274	0.133	0.193	0.094	-0.229	-0.145	-0.115
Q8M. コーラス	-0.091	0.078	-0.022	0.122	-0.076	0.116	0.087	-0.040	-0.042	-0.072
Q8N. 説得力	-0.120	0.066	-0.116	0.233	0.238	0.266	-0.091	-0.176	-0.115	-0.212
Q8O. わかりやすさ	-0.058	-0.006	-0.123	0.118	0.180	0.166	-0.065	-0.182	-0.049	-0.154
Q8P. 話術の巧みさ	-0.087	-0.009	-0.128	0.026	0.118	0.124	-0.046	-0.132	-0.073	-0.118
Q8Q. まわりくどさ	0.048	0.009	-0.012	-0.020	-0.113	0.060	0.149	0.059	0.136	0.100
Q8R. すっきりさ	-0.065	0.003	0.008	0.152	0.179	0.050	-0.080	-0.147	-0.083	-0.144
Q8S. 素材提示の適切性	-0.122	0.063	-0.020	0.037	0.190	0.090	-0.147	-0.233	-0.117	-0.174

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#\#$)

表 4-3-6 因子尺度偏差値・調査項目等のラジオ科目における相関係数行列 (その 4)

因子尺度・項目			評定者 年齢	評定者 職位	科 目	Q 2、 視聴分量	Q 3、 視聴質	Q 5、 講義形式	Q 1.3、 授業全面	Q 1.3、 授業参考	Q 1.3、 研究材料	定 意 単 位 数
Q9A. 講師の来手さ	0.002	0.081	0.145	0.008	-0.034	0.106	-0.030	0.016	0.028	0.028	0.048	
Q9B. 講師の清潔感	0.266	-0.162	0.027	-0.047	-0.147	-0.026	-0.050	0.123	0.133	0.133	-0.125	
Q9C. 講師の活動性	-0.061	0.050	-0.037	0.063	-0.046	0.066	-0.073	0.053	-0.043	-0.043	-0.071	
Q9D. 講師の親しみ	0.055	-0.025	-0.124	-0.010	-0.037	0.012	0.027	0.011	0.059	0.059	-0.083	
Q9E. 講師の暖かさ	0.003	0.056	-0.077	0.035	-0.178	0.018	0.040	0.051	0.199	0.199	-0.109	
Q9F. 講師の厳しさ	-0.121	0.207	-0.090	0.114	-0.053	-0.089	0.181	0.108	0.028	0.028	-0.030	
Q9G. 講師の緊張度	-0.037	-0.028	-0.161	-0.121	-0.046	0.018	0.280	0.065	0.074	0.074	0.135	
Q9H. 話し方の丁寧さ	0.138	-0.104	0.067	-0.122	-0.011	-0.132	-0.046	0.023	0.016	0.016	0.085	
Q9I. 話し方の明瞭さ	0.128	-0.043	-0.115	0.007	-0.186	0.050	0.194	0.082	0.162	0.162	0.075	
Q9J. 言葉遣いの良さ	0.159	-0.179	-0.102	-0.212	-0.001	-0.123	0.004	0.108	-0.038	-0.038	-0.012	
Q9K. 質問の取り方	0.066	-0.094	-0.066	-0.050	-0.041	-0.139	-0.108	-0.013	0.113	0.113	0.040	
Q9L. 表現力の豊かさ	0.118	-0.055	-0.031	-0.039	-0.004	-0.094	-0.018	-0.094	0.025	0.025	-0.118	
Q9M. ユーモア	-0.073	-0.027	-0.019	-0.100	-0.071	-0.039	-0.094	-0.125	-0.035	-0.035	-0.087	
Q9N. 説得力	-0.045	-0.025	-0.082	-0.234	-0.030	0.100	0.064	0.028	-0.043	-0.043	0.094	
Q9O. わかりやすさ	0.122	-0.079	-0.077	0.051	0.023	-0.020	-0.043	-0.080	0.197	0.197	-0.130	
Q9P. 技術の巧みさ	0.161	-0.138	-0.087	0.061	0.117	-0.147	-0.037	0.018	-0.064	-0.064	-0.147	
Q9Q. まわりのくらし	-0.053	0.035	0.029	0.030	0.089	-0.094	-0.065	0.005	-0.061	-0.061	0.060	
Q9R. 提示の適切性	0.153	-0.136	0.139	-0.023	-0.068	-0.007	0.018	0.068	0.131	0.131	-0.071	
Q9S. 素材の他	0.057	-0.081	-0.098	-0.048	0.056	0.086	-0.037	0.111	-0.134	-0.134	0.073	
Q9X. その他	0.099	-0.024	0.043	-0.174	-0.200	0.088	-0.025	-0.065	0.043	0.043	-0.034	
(1) 内容の範囲は適切	-0.063	0.040	-0.025	0.074	0.159	0.195	-0.155	-0.170	-0.113	-0.113	-0.177	
(2) 内容が専門的	-0.209	0.195	-0.007	0.043	0.064	0.085	-0.038	0.008	-0.084	-0.084	0.093	
(3) 単位数見合った内容	-0.042	0.160	-0.005	0.136	0.273	0.051	-0.117	-0.113	-0.102	-0.102	-0.308#	
(4) 面白く面白い番組	-0.020	-0.040	-0.196	0.094	0.196	0.110	-0.167	-0.109	-0.111	-0.111	-0.115	
(5) 役に立ち	-0.075	0.016	-0.075	0.247	0.214	0.063	-0.177	-0.113	-0.045	-0.045	-0.216	
(6) わかりやすい番組	-0.022	-0.047	-0.101	0.201	0.220	0.117	0.043	-0.171	-0.041	-0.041	-0.135	
(7) 概要が最初で適切	-0.174	0.124	-0.048	0.184	0.100	-0.080	-0.037	-0.089	-0.033	-0.033	-0.065	
(8) 要点が要約で適切	-0.135	0.111	0.013	0.201	0.198	0.060	-0.151	-0.097	-0.071	-0.071	-0.119	
(9) 重要なポイントが明確	-0.173	0.121	-0.042	0.199	0.222	0.082	-0.104	-0.102	-0.124	-0.124	-0.212	
(10) 流れに合った適切な量	-0.188	0.095	-0.201	0.075	0.040	0.009	-0.158	-0.004	-0.124	-0.124	-0.098	
(11) 1回の講義情報量適切	-0.019	0.024	-0.068	0.032	0.113	0.093	-0.050	-0.193	-0.039	-0.039	-0.088	
(12) 視聴者の動機づけ配慮	-0.139	0.081	-0.098	0.039	0.171	0.173	-0.115	-0.022	-0.065	-0.065	-0.059	
(13) 視聴者が考慮する配慮	-0.083	0.096	-0.094	0.038	0.085	0.141	-0.086	-0.073	-0.108	-0.108	-0.186	
(14) 視聴者の疑問への配慮	-0.078	0.097	-0.123	0.157	0.114	0.063	0.045	-0.156	-0.008	-0.008	-0.250	
(15) 内容が盛りだくさん	-0.011	0.107	-0.049	0.067	0.158	-0.038	-0.145	-0.076	-0.016	-0.016	-0.094	

(注: ** ≥ 0.5 , 0.5 $> *$ ≥ 0.3 , -0.3 $\geq \# > -0.5$, -0.5 $\geq \#\#$)

表 4-3-6 因子尺度偏差値・調査項目等のラジコ科目における相関係数行列 (その 5)

因子尺度・項目	その他の主な質問項目・分類等									
	評定者 年	評定者 職	科目 理・文	Q2 視聴分量	Q3 視聴質	Q5 講義形式	Q13 授業全	Q13 授業参考	Q13 研究材料	想定 単位数
(16) ディア特殊活用	-0.127	0.022	0.006	0.077	-0.012	-0.097	-0.013	0.017	-0.113	0.052
(17) 視聴者の問いが適切	-0.066	-0.007	-0.162	0.043	-0.004	0.017	0.013	0.014	-0.176	-0.169
(18) 新しい概念の導入が適切	-0.088	0.106	-0.017	0.091	0.173	0.138	0.047	-0.184	-0.102	-0.162
(19) 具体例が適切	0.056	-0.091	-0.088	0.109	0.120	0.074	-0.177	-0.069	-0.178	-0.163
(20) 講義の流れに変化小	0.102	-0.029	0.038	-0.124	-0.134	0.004	0.020	0.084	0.084	0.024
(21) 必要以上に専門用語有	-0.137	0.117	-0.003	-0.079	-0.159	-0.019	0.110	-0.042	0.034	0.199
(22) 印刷教材とが適切に利用	-0.061	0.071	0.050	0.095	0.130	0.017	-0.026	-0.086	-0.035	-0.106
(23) 図表が実用的	0.158	-0.198	-0.067	-0.034	-0.088	-0.146	0.030	0.009	-0.118	0.215
(24) 内容がレベルは適切	0.053	-0.167	0.031	-0.057	-0.006	-0.229	-0.289	0.000	-0.100	-0.030
(25) 内容の深さは適切	0.013	0.022	0.081	0.089	0.102	0.104	0.020	-0.092	-0.114	-0.246
(26) 講義の進度は適切	-0.033	0.065	-0.009	0.153	0.254	0.072	-0.024	-0.091	-0.133	-0.138
(27) 上回の講義が適切	-0.026	0.082	0.041	0.227	0.238	0.120	-0.007	-0.125	-0.109	-0.193
(28) 力リキミは適切	0.035	-0.077	-0.075	-0.022	-0.103	-0.021	0.098	-0.053	-0.194	0.004
(29) 興味深い番組	-0.068	0.042	0.011	0.121	0.235	0.114	-0.055	-0.178	-0.070	-0.195
(30) 奥深い番組	-0.045	-0.018	-0.139	0.228	0.288	0.148	-0.156	-0.161	-0.144	-0.261
(31) 何らかの利用価値有	-0.079	0.051	-0.057	0.155	0.095	0.089	-0.150	-0.152	-0.049	-0.100
(32) 生注に密着した教材利用可	0.044	-0.153	0.093	0.018	-0.082	-0.226	-0.169	-0.052	-0.026	-0.076
(33) 時宜を会に実につく講義	-0.058	-0.021	-0.107	-0.009	0.100	-0.076	-0.167	-0.071	-0.053	-0.114
(34) 実社会が身に講義	0.012	-0.098	0.046	-0.047	-0.081	-0.249	-0.083	-0.010	-0.028	0.035
(35) 基本が身に講義	-0.172	0.127	0.006	0.211	0.057	0.103	0.031	0.050	-0.148	-0.113
(36) 一般大学にない内容有	-0.006	-0.080	-0.358#	-0.124	0.045	-0.152	-0.201	0.004	0.064	-0.092
(37) 講師の人は適切な	-0.020	-0.008	-0.172	0.212	0.159	0.206	-0.154	-0.052	-0.150	-0.142
(38) 講義の進度が速い	-0.084	0.118	0.075	-0.021	-0.136	0.031	-0.092	0.054	0.087	0.093
(39) 全体量の提示に工夫	-0.098	0.100	-0.010	0.114	0.082	0.029	0.014	-0.093	-0.064	-0.147
(40) 図表などの提示に工夫	0.060	-0.124	-0.121	0.016	-0.042	-0.216	-0.020	-0.048	-0.186	0.252
(41) 印刷教材が充実	-0.165	0.173	0.041	0.190	0.185	0.092	-0.159	-0.104	-0.162	-0.120
(42) 改善の余地が大きい番組	0.113	-0.107	-0.010	-0.084	-0.176	-0.151	0.032	0.055	0.114	0.157
(43) 印刷教材も多少活用	0.133	-0.083	-0.006	-0.045	-0.098	-0.058	0.157	0.029	0.089	0.194
(44) 印刷教材の流しに工夫	0.075	-0.098	0.041	-0.229	-0.105	-0.306#	-0.181	0.051	-0.189	0.011
(45) 学習の満足に工夫	-0.063	0.066	-0.014	0.174	0.207	-0.008	-0.145	0.036	-0.222	-0.080
(46) 全体的に満足な番組	-0.143	0.072	-0.123	0.204	0.219	0.112	-0.176	-0.190	-0.155	-0.117

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

5. 1987年度『放送大学教材についての学生調査』の
下位集団別基礎集計結果

表5-1 1987年度「放送大学教材についての学生調査」 性別・年齢群別・学生種別・結果一覧 (その1)

	性 別		年 齢	群	学 生 種 別		評価調査				
	男	女			全 科 履 修 生	選・科 履 修 生					
総 計	男	女	性	2 5 ~ 3 4 歳	3 5 ~ 4 4 歳	4 5 ~ 5 4 歳	5 5 歳 以 上	2705	561	248	978
回 答 総 数	3514	1587	1927	353	663	1135	820	543	2705	561	248
◎ 性別回答数	3514	1587	1927	353	663	1135	820	543	2705	561	248
1 有効回答率 (%)	45.2	100.0	0.0	54.4	50.4	37.4	34.1	65.6	44.4	43.9	56.9
2 男女	54.8	0.0	100.0	45.6	49.6	62.6	65.9	34.4	55.6	56.1	43.1
◎ 年齢群平均値	41.50	42.01	41.07	21.98	29.63	39.06	49.13	62.23	39.72	45.17	52.53
1 有効回答数	3514	1587	1927	353	663	1135	820	543	2705	561	248
2 25~34歳	10.0	12.1	8.4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	7.5	4.4
3 35~44歳	18.9	21.0	17.1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	19.9	17.5	10.5
4 45~54歳	32.3	26.8	36.8	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	36.1	23.0	11.7
5 55歳以上	23.3	17.6	28.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	22.9	25.7	23.0
◎ 学生種別回答数	3514	1587	1927	353	663	1135	820	543	2705	561	248
1 全履修生	77.0	75.6	78.1	85.0	81.3	86.1	75.5	49.7	100.0	0.0	0.0
2 選科履修生	13.0	12.7	13.2	9.6	10.7	9.4	14.0	23.8	0.0	81.3	0.0
3 科履修生	3.0	2.8	3.2	2.3	4.1	1.9	3.5	3.5	0.0	18.7	0.0
4 特修生	7.1	8.9	5.6	3.1	3.9	2.6	7.0	23.0	0.0	0.0	100.0
◎ 専攻科目回答数	3514	1587	1927	353	663	1135	820	543	2705	561	248
1 社会経済学	11.3	3.5	17.7	2.3	6.0	15.2	16.3	7.6	14.6	0.0	0.0
2 生活文化学	17.0	7.9	24.4	21.8	17.3	23.0	14.8	4.1	22.0	0.0	0.0
3 経済学	9.6	16.3	4.0	12.5	11.0	9.7	7.0	9.6	12.4	0.0	0.0
4 経営学	8.6	16.9	1.7	8.8	9.4	9.6	9.8	3.5	11.1	0.0	0.0
5 産業工学	20.4	15.2	24.8	17.8	16.1	21.7	23.7	19.9	26.5	0.0	0.0
6 自然環境学	10.2	15.9	5.5	21.8	21.4	6.9	4.0	5.2	13.2	0.0	0.0
◎ 科目評価分類	3514	1587	1927	353	663	1135	820	543	2705	561	248
1 有効回答率 (%)	9.8	9.6	10.0	8.2	13.9	10.8	7.6	7.0	10.6	7.7	5.2
2 80点以上	15.7	14.1	17.1	13.6	14.3	18.1	16.0	13.4	15.7	17.1	12.1
3 70~79点	20.5	17.6	22.8	14.2	18.4	21.3	22.4	22.5	20.9	19.1	19.4
4 60~69点	20.2	19.8	20.6	19.8	16.7	21.5	20.9	21.2	20.9	15.0	24.6
5 50~59点	6.2	6.5	6.0	6.2	6.0	5.4	5.9	8.7	6.2	5.3	7.7
6 40~49点	12.4	13.8	11.3	15.0	13.1	9.2	13.2	15.7	12.4	9.6	19.0
7 30~39点	8.6	10.0	7.5	10.5	8.7	8.8	8.5	6.8	8.2	11.2	7.3
8 受検資格なし	6.5	8.6	4.8	12.5	8.7	4.9	5.6	4.8	5.0	15.0	4.8

表5-1 1987年度「放送大学教材についての学生調査」 性別・年齢群別・学生種別・結果一覧 (その2)

	性別	年 齢	群	学 生 種 別			評価調査						
				全 履 修 生	選・科 履 修 生	特 修 生							
総 計	男	女	性	2 4 歳	2 5 歳 3 4 歳	3 5 歳 4 4 歳	4 5 歳 5 4 歳	5 5 歳 以 上					
	3514	1587	1927	353	663	1135	820	543	2705	561	248	978	
◎ 学 習 科 目 有 効 回 答 数													
1 地球と自然 (度数)	208	126	82	24	47	66	38	33	149	30	29	57	
2 日本と芸術	268	119	149	23	39	83	66	57	203	29	36	41	
3 生活と文化 I	208	60	148	6	28	68	56	50	145	38	25	31	
4 基礎化学 I	325	148	177	42	68	106	73	36	249	42	34	58	
5 基礎化学 II	76	61	15	16	23	21	6	10	65	8	3	63	
6 基礎化学 III	418	174	244	71	99	139	79	30	350	62	6	65	
7 居住環境と健康	108	29	79	5	13	38	36	16	93	14	1	26	
8 食生活と健康	115	28	87	8	20	36	32	19	92	21	2	19	
9 児童心理学	82	16	66	6	31	31	12	2	61	20	1	33	
10 児童心理学 II	71	49	22	3	12	27	21	8	55	16	0	31	
11 児童心理学 III	23	16	7	1	4	5	6	7	17	5	1	30	
12 児童心理学 IV	35	32	3	6	6	11	6	6	28	7	0	25	
13 児童心理学 V	43	39	4	3	11	13	13	3	33	10	0	73	
14 児童心理学 VI	57	20	37	6	8	15	18	10	44	13	0	26	
15 児童心理学 VII	56	26	30	10	16	15	11	4	48	8	0	92	
16 児童心理学 VIII	17	15	2	1	9	6	1	0	11	6	0	98	
17 人間の歴史	249	90	159	14	37	80	71	47	181	39	29	10	
18 社会と歴史	266	113	153	26	41	83	67	49	200	25	41	10	
19 国家と政治 I	160	82	78	17	21	55	38	29	112	26	22	20	
20 国家と政治 II	90	56	34	13	15	30	16	16	68	8	14	9	
21 英語 I	179	77	102	17	35	60	43	24	152	25	2	18	
22 英語 II	50	23	27	0	8	15	10	17	29	21	0	14	
23 英語 III	17	10	7	0	2	7	2	6	12	5	0	13	
24 英語 IV	27	18	9	4	3	7	6	7	21	6	0	13	
25 青年と社会	51	9	42	4	6	22	14	5	40	11	0	13	
26 青年と社会 II	50	9	41	1	12	23	12	2	39	11	0	14	
27 青年と社会 III	31	11	20	5	6	10	7	3	27	4	0	12	
28 青年と社会 IV	10	7	3	1	3	2	1	3	7	3	0	5	
29 政治思想 I	47	44	3	6	8	16	10	7	43	4	0	10	
30 政治思想 II	13	12	1	3	1	3	5	1	13	0	0	7	
31 政治思想 III	125	38	87	5	19	34	36	31	88	36	1	12	
32 政治思想 IV	39	30	9	6	12	8	8	5	30	8	1	30	
◎ 科目分類													
2 基礎科目 (%)	3514	1587	1927	353	663	1135	820	543	2705	561	248	978	
3 外国語科目	52.6	53.9	51.6	51.3	48.1	52.2	52.6	60.2	50.7	43.7	94.0	30.6	
5 専門科目	19.7	19.0	20.2	26.1	22.2	20.1	17.1	15.5	20.9	21.2	3.2	12.6	
	27.7	27.1	28.2	22.7	29.7	27.8	30.4	24.3	28.4	35.1	2.8	56.9	
◎ メディアの有効回数													
1 テレビ	3514	1587	1927	353	663	1135	820	543	2705	561	248	978	
2 ラジオ	60.0	60.4	59.8	65.4	65.5	59.9	57.8	53.6	60.7	58.6	55.6	78.5	
	40.0	39.6	40.2	34.6	34.5	40.1	42.2	46.4	39.3	41.4	44.4	21.5	
◎ 理系・文系													
2 理系	2823	1285	1538	261	516	907	680	459	2141	442	240	855	
1 文系	26.7	35.8	19.2	35.2	31.8	24.9	22.6	25.9	27.1	24.0	28.8	56.8	
	73.3	64.2	80.8	64.8	68.2	75.1	77.4	74.1	72.9	76.0	71.3	43.2	

表5-1 1987年度「放送大学教材についての学生調査」 性別・年齢群別・学生種別・結果一覧 (その3)

	性	別	年	群	学	生	種	別	評価調査		
総計	男	女	性	24歳 ～ 25歳	34歳 ～ 35歳	44歳 ～ 45歳	54歳 ～ 55歳	全履修生	選・科履修生	特修生	他大学 講師等
◎ 理文メソッド	2823	1285	1538	261	516	907	680	2141	442	240	855
21 有効回数 (%)	24.9	32.5	18.5	31.8	29.3	23.7	20.7	24.6	22.2	28.3	52.5
22 理科系 (%)	1.8	3.3	0.7	3.4	2.5	1.2	1.9	1.3	1.8	0.4	4.3
11 文科系 (%)	35.0	28.5	40.5	29.5	35.7	35.9	37.4	32.2	38.2	26.7	29.7
12 文系 (%)	38.2	35.7	40.3	35.2	32.6	39.1	40.0	41.8	37.8	44.6	13.5
(ア) わかりやすい番組である (Q10-6)	1.96	2.01	1.92	2.14	2.11	1.96	1.91	2.00	1.82	1.84	2.44
1 有効回数 (%)	34.75	15.63	19.12	35.2	65.4	1129	804	2684	559	232	960
2 有効回数 (%)	50.8	48.7	52.6	39.2	44.8	50.8	56.5	50.1	53.7	52.6	11.9
3 どちやちやと思う (%)	21.6	22.1	21.2	29.0	21.1	22.6	17.3	20.8	24.0	25.0	47.3
4 どちやちやと思う (%)	13.1	13.9	12.4	16.8	17.9	11.8	10.8	13.5	11.4	12.5	27.4
5 非常に面白い (%)	9.4	9.9	8.9	8.5	10.9	9.7	9.8	10.0	8.1	5.6	12.0
(イ) どこが重要なポイントかわかる (Q10-9)	5.0	5.3	4.8	6.5	5.4	5.1	5.6	5.6	2.9	4.3	1.5
1 有効回数 (%)	34.36	15.30	19.06	34.7	65.3	1118	803	2665	549	222	963
2 有効回数 (%)	35.8	32.6	38.3	26.8	28.2	33.0	43.5	34.9	38.3	40.5	12.5
3 どちやちやと思う (%)	29.6	30.3	29.0	32.3	29.2	30.9	25.8	29.1	31.9	29.7	40.9
4 どちやちやと思う (%)	20.0	21.1	19.0	23.1	25.6	20.0	17.7	20.2	19.5	18.5	34.0
5 非常に面白い (%)	11.1	11.8	10.6	11.5	12.7	12.7	10.6	12.0	7.7	8.6	11.6
(ウ) 講義の流れに適切な緩急のリズムがある (Q10-10)	3.6	4.2	3.1	6.3	4.3	3.3	2.5	3.8	2.7	2.7	1.0
1 有効回数 (%)	34.30	15.30	19.00	34.7	65.3	1119	799	2663	548	219	963
2 有効回数 (%)	35.5	32.0	38.3	24.5	27.7	35.0	40.8	34.4	39.4	39.3	5.1
3 どちやちやと思う (%)	28.1	28.9	27.4	32.3	28.9	27.6	25.8	28.2	26.8	30.1	22.6
4 どちやちやと思う (%)	25.5	26.2	24.9	31.4	29.7	24.8	25.2	25.9	23.9	23.7	45.9
5 非常に面白い (%)	7.8	9.3	6.5	8.4	9.2	8.6	6.5	8.3	6.0	5.5	23.7
(エ) 視聴者が抱きそうな疑問への説明がある (Q10-14)	3.2	3.5	2.9	5.5	4.4	4.0	1.8	3.2	3.8	1.4	2.7
1 有効回数 (%)	34.31	15.27	19.04	34.6	65.5	1118	800	2660	549	222	962
2 有効回数 (%)	35.8	32.0	38.3	24.5	27.7	35.0	40.8	34.4	39.4	39.3	5.1
3 どちやちやと思う (%)	28.1	28.2	28.0	30.3	25.2	29.4	26.5	27.1	23.9	25.2	28.3
4 どちやちやと思う (%)	29.4	31.0	28.2	37.3	35.9	27.6	25.9	30.2	28.6	23.0	43.9
5 非常に面白い (%)	12.8	14.4	11.6	14.5	16.8	12.6	11.1	13.2	10.9	13.5	21.7
(オ) 内容が盛りだくさんである (Q10-15)	5.8	5.5	6.1	4.9	6.1	6.4	7.1	6.1	4.0	6.8	2.8
1 有効回数 (%)	34.34	15.29	19.05	34.8	65.3	1117	801	2667	547	220	959
2 有効回数 (%)	34.2	30.2	37.4	32.8	34.0	33.2	34.7	33.8	34.7	36.8	7.8
3 どちやちやと思う (%)	27.3	28.7	26.2	33.9	27.6	26.7	25.1	27.4	26.8	28.2	36.6
4 どちやちやと思う (%)	24.9	26.6	23.5	23.5	26.6	24.3	24.3	25.5	23.9	20.0	41.9
5 非常に面白い (%)	9.9	10.7	9.2	7.5	9.2	10.5	9.9	9.7	11.7	7.7	12.5
	3.8	3.8	3.7	2.6	2.6	2.7	6.0	4.2	1.5	4.5	1.1

表5-1 1987年度「放送大学教材についての学生調査」 性別・年齢群別・学生種別・結果一覧 (その4)

	性別	年齢	年齢群	学生種別		評価調査
				男性	女性	
総計						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						
年齢群						
性別						
年齢						

表5-1 1987年度「放送大学教材についての学生調査」 性別・年齢群別・学生種別・結果一覧 (その5)

		性 別		年 齢		群		学 生 種 別		評価調査	
		男 性 女 性		2 5 ~ 3 4 歳		4 5 ~ 5 4 歳		全 履 修 生 選 修 生		他 大 学 講 師 等	
総 計		男 性 女 性		2 5 ~ 3 4 歳		4 5 ~ 5 4 歳		全 履 修 生 選 修 生		他 大 学 講 師 等	
中途に息抜きの時間が適度に入っている (Q10-28)		男 性 女 性		2 5 ~ 3 4 歳		4 5 ~ 5 4 歳		全 履 修 生 選 修 生		他 大 学 講 師 等	
(シ)	平 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-28)	2.83	2.88	2.79	2.89	2.81	2.83	2.72	2.84	2.86	2.70
1	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-28)	3417	1520	1897	650	1112	795	512	2653	545	219
2	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-28)	20.3	19.0	21.3	17.4	20.4	22.6	24.8	19.6	21.3	26.5
3	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-28)	18.1	16.9	19.1	16.0	18.4	17.2	18.9	16.1	16.1	22.8
4	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-28)	31.1	33.2	29.5	36.8	30.6	27.5	28.7	32.3	29.9	20.1
5	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-28)	19.1	18.6	19.6	19.5	20.5	19.6	14.3	19.1	20.7	15.1
6	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-28)	11.4	12.4	10.6	10.3	10.1	13.0	13.3	10.9	11.9	15.5
(ス)	興味深い番組である (Q10-30)	1.76	1.83	1.71	1.88	1.74	1.67	1.65	1.81	1.58	1.61
1	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-30)	3442	1532	1910	653	1116	807	518	2670	548	224
2	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-30)	55.4	51.3	58.7	49.3	54.7	61.0	62.7	52.5	66.1	64.7
3	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-30)	24.0	26.6	21.9	26.2	25.4	21.2	19.5	25.5	18.2	20.1
4	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-30)	12.5	13.4	11.8	15.2	12.8	10.4	10.2	13.6	9.5	7.1
5	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-30)	5.1	5.7	4.7	5.5	4.6	4.7	5.0	5.3	4.0	5.8
6	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-30)	2.9	3.0	2.9	3.8	2.4	2.7	2.5	3.1	2.2	2.2
(セ)	生活に密着した題材を扱っている (Q10-32)	2.41	2.53	2.31	2.51	2.39	2.35	2.26	2.42	2.37	2.31
1	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-32)	3427	1525	1902	653	1112	800	514	2659	547	221
2	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-32)	29.9	26.8	32.4	25.9	30.1	35.0	33.9	29.5	31.8	30.3
3	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-32)	25.3	23.3	26.9	26.0	27.1	21.3	28.2	24.9	25.0	30.8
4	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-32)	24.5	26.9	22.5	23.6	21.8	23.9	21.0	24.9	23.4	22.2
5	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-32)	14.9	16.2	13.8	15.6	15.6	13.6	11.9	15.3	14.1	11.3
6	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-32)	5.5	6.8	4.4	5.8	5.5	6.3	5.1	5.4	5.7	5.4
(ソ)	教材を利用している (Q10-33)	2.49	2.55	2.44	2.60	2.49	2.44	2.27	2.51	2.42	2.37
1	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-33)	3412	1520	1892	650	1109	795	510	2669	545	218
2	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-33)	24.8	22.0	27.1	20.2	25.2	27.8	32.4	27.3	27.3	26.6
3	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-33)	24.2	25.1	23.5	20.8	24.8	24.2	27.8	23.5	25.5	28.9
4	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-33)	33.2	34.1	32.5	42.5	30.4	30.1	24.5	34.2	29.7	28.9
5	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-33)	13.0	13.8	12.4	12.5	14.8	12.2	10.6	13.2	12.5	11.9
6	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-33)	4.9	5.1	4.7	4.2	4.8	5.8	4.7	4.9	5.0	3.7
(タ)	講義の進度が速い (Q10-38)	3.10	3.02	3.16	3.06	3.11	3.22	3.00	3.12	3.04	2.98
1	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-38)	3426	1523	1903	655	1114	797	512	2666	547	223
2	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-38)	15.3	15.2	15.3	16.0	15.0	16.7	14.5	15.1	16.6	13.5
3	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-38)	15.8	16.5	15.2	12.4	15.1	12.9	14.5	15.1	16.8	21.5
4	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-38)	28.2	31.5	25.6	32.5	28.3	23.3	29.1	28.4	25.8	32.3
5	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-38)	25.2	24.6	25.6	27.3	24.4	25.7	20.5	25.3	27.2	19.3
6	有 効 回 に そ ら そ う 思 っ て い る (Q10-38)	15.6	12.3	18.2	11.8	16.2	21.3	14.6	16.2	13.5	13.5

表5-1 1987年度『放送大学教材についての学生調査』 性別・年齢群別・学生種別・結果一覽(その6)

	性別	性	別	年	齡	群	学 生 種 別		評価調査		
							学 生	種 別			
総 計										他 大 学 講 師 等	
(チ) 印刷教材が充実している (Q10-41)	男	女	性	25歳以下	35歳以上	45歳以上	55歳以上	全 履 修 生	選 科 履 修 生	特 修 生	
印刷教材が充実している (Q10-41)	2.20	2.36	2.07	2.32	2.41	2.25	2.10	1.89	2.23	1.94	2.74
平均値	3.63	3.59	3.67	3.64	3.67	3.65	3.71	3.42	3.66	3.64	3.57
有効回数 (%)	3436	1535	1901	349	658	1115	800	514	2670	547	957
1 非常によく思う	32.9	27.7	37.1	26.9	27.4	29.3	37.6	44.4	31.4	36.2	6.9
2 ややよく思う	30.3	30.0	30.5	36.4	26.6	32.4	28.3	32.1	29.9	30.5	30.4
3 どちらとも思わない	24.6	26.0	23.5	25.7	29.3	25.7	23.5	16.0	26.3	20.5	46.5
4 とややよく思う	8.6	10.8	6.7	8.6	10.8	9.3	7.4	5.8	8.8	9.0	14.3
5 非常に思う	3.7	5.5	2.3	4.6	5.9	3.3	3.3	1.8	3.6	3.8	1.9
(ツ) 印刷教材に演習などが適切に含まれている (Q10-44)	男	女	性	25歳以下	35歳以上	45歳以上	55歳以上	全 履 修 生	選 科 履 修 生	特 修 生	他 大 学 講 師 等
印刷教材に演習などが適切に含まれている (Q10-44)	3.63	3.59	3.67	3.64	3.67	3.65	3.71	3.42	3.66	3.64	3.57
平均値	3436	1535	1871	349	655	1104	783	507	2641	541	943
1 非常によく思う	8.4	8.7	8.1	2.9	7.5	8.2	8.6	7.5	8.6	6.5	1.4
2 ややよく思う	8.3	9.1	7.7	11.2	8.5	8.3	5.7	10.1	8.6	6.5	7.7
3 どちらとも思わない	26.3	26.7	26.0	31.5	26.0	24.9	26.8	25.4	26.5	23.3	39.7
4 とややよく思う	25.6	25.3	25.9	28.4	25.2	26.7	24.0	24.5	25.2	29.8	35.0
5 非常に思う	31.4	30.1	32.4	26.1	32.8	31.8	34.9	26.8	32.1	30.5	16.2
(テ) 放送は学習のベース作り役だっている (Q10-45)	男	女	性	25歳以下	35歳以上	45歳以上	55歳以上	全 履 修 生	選 科 履 修 生	特 修 生	他 大 学 講 師 等
放送は学習のベース作り役だっている (Q10-45)	2.10	2.26	1.97	2.44	2.36	2.03	1.98	1.86	2.15	1.98	2.55
平均値	3427	1526	1901	349	653	1114	795	516	2659	547	949
1 非常によく思う	41.1	34.5	46.3	23.8	29.2	44.4	48.3	49.2	39.5	44.4	6.8
2 ややよく思う	25.9	26.5	25.4	30.4	28.0	23.9	23.4	28.3	25.1	29.1	38.2
3 どちらとも思わない	20.0	23.1	17.6	30.4	26.3	19.8	13.2	13.0	21.6	15.5	46.9
4 とややよく思う	8.3	10.3	6.7	8.6	10.6	8.2	8.1	5.8	9.3	5.7	6.0
5 非常に思う	4.7	5.6	4.0	6.9	5.8	3.7	5.0	3.7	4.6	5.3	1.1
(ト) 全体的に満足している (Q10-46)	男	女	性	25歳以下	35歳以上	45歳以上	55歳以上	全 履 修 生	選 科 履 修 生	特 修 生	他 大 学 講 師 等
全体的に満足している (Q10-46)	1.98	2.08	1.91	2.23	2.22	1.96	1.89	1.72	2.04	1.80	2.24
平均値	3428	1527	1901	348	653	1116	797	514	2664	544	963
1 非常によく思う	43.8	39.8	47.0	33.0	33.8	44.2	48.6	55.4	41.0	52.8	18.3
2 ややよく思う	28.9	30.2	27.8	31.6	29.9	28.5	27.7	28.2	25.1	26.7	49.8
3 どちらとも思わない	16.8	17.3	16.4	22.7	17.4	14.4	8.9	18.2	18.2	11.9	22.7
4 とややよく思う	6.2	7.3	5.4	7.8	8.0	6.8	4.8	4.1	6.5	5.3	8.1
5 非常に思う	4.3	5.4	3.4	6.6	5.7	3.1	4.5	3.3	4.6	3.3	1.0

表5-2 1987年度「放送大学教材についての学生調査」メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧（その1）

	メディア				科目分類				理系・文系				理文×メディア			
	テレビ		ラジオ		基礎		本質		理科系		文科系		理科×ラジオ		文科×テレビ	
	総計	視聴率	聴取率	聴取率	基礎	本質	理科系	文科系	理科×ラジオ	文科×テレビ	理科×ラジオ	文科×テレビ	理科×ラジオ	文科×テレビ		
◎ 性別	3514	2110	1404	1850	691	973	755	2068	703	52	989	1079				
1 男	3514	2110	1404	1850	691	973	755	2068	703	52	989	1079				
2 女	45.2	45.4	44.8	46.2	43.7	44.2	60.9	39.9	59.5	80.8	37.0	42.5				
	54.8	54.6	55.2	53.8	56.3	55.8	39.1	60.1	40.5	19.2	63.0	57.5				
◎ 年齢群																
1 有効回答数	41.50	40.67	42.73	42.32	39.49	41.35	40.60	42.49	40.75	38.50	42.07	42.88				
2 20～24歳	3514	2110	1404	1850	691	973	755	2068	703	52	989	1079				
3 25～29歳	10.0	10.9	8.7	9.8	13.3	8.2	12.2	8.2	11.8	17.3	7.8	8.5				
4 30～34歳	18.9	20.6	16.3	17.2	21.3	20.2	21.7	17.0	21.5	25.0	18.6	15.6				
5 35～39歳	32.3	32.2	32.4	32.0	33.0	32.4	29.9	32.9	30.6	21.2	33.0	32.9				
6 40～44歳	23.3	22.5	24.6	23.3	20.3	25.6	20.4	25.4	20.1	25.0	25.7	25.2				
7 45～49歳	15.5	13.8	17.9	17.7	12.2	13.6	15.8	16.4	16.1	11.5	15.0	17.8				
◎ 学生種別																
1 全修生	3514	2110	1404	1850	691	973	755	2068	703	52	989	1079				
2 理系	77.0	77.9	75.6	74.2	81.6	79.0	76.8	75.5	76.4	82.7	76.4	74.6				
3 文系	13.0	12.5	13.7	10.9	13.2	16.9	12.1	13.2	11.8	15.4	14.2	12.4				
4 特修	3.0	3.1	2.8	2.4	4.1	3.4	2.0	3.0	2.1	0.0	2.9	3.1				
5 専攻	7.1	6.5	7.8	12.6	1.2	0.7	9.1	8.3	9.7	1.9	6.5	9.9				
◎ 専攻																
1 有効回答数	3514	2110	1404	1850	691	973	755	2068	703	52	989	1079				
2 理系	11.3	12.0	10.2	10.2	10.3	14.0	7.4	13.0	8.0	0.0	15.6	10.7				
3 文系	17.0	16.6	17.5	15.9	16.8	19.0	10.6	19.3	11.1	3.8	19.5	19.2				
4 理系×文系	9.6	8.7	10.8	8.4	12.7	9.6	6.8	9.5	6.8	5.8	8.6	10.4				
5 理系×理文	8.6	9.1	7.8	7.4	8.1	11.2	13.4	7.0	12.4	26.9	6.7	7.2				
6 理系×理文×理文	20.4	19.5	21.9	22.5	22.4	15.1	17.1	21.0	17.8	7.7	20.2	21.7				
7 理系×理文×理文×理文	10.2	11.9	7.5	9.8	11.3	10.2	21.6	5.7	20.3	38.5	5.9	5.5				
◎ 科目評価																
1 有効回答数	3514	2110	1404	1850	691	973	755	2068	703	52	989	1079				
2 理系	9.8	13.3	4.5	9.9	9.6	9.7	14.3	8.2	15.4	0.0	12.0	4.7				
3 文系	15.7	16.2	15.0	17.6	8.4	17.4	14.0	18.8	15.1	0.0	20.2	17.4				
4 理系×文系	20.5	18.1	24.1	24.1	9.8	21.2	17.7	25.0	17.8	17.3	21.8	28.0				
5 理系×理文	20.2	19.6	21.2	21.9	17.1	19.2	20.9	21.0	20.6	25.0	20.3	21.7				
6 理系×理文×理文	6.2	5.9	6.7	5.4	6.7	7.5	7.0	5.8	6.3	17.3	5.5	6.0				
7 理系×理文×理文×理文	12.4	12.0	13.1	13.1	25.0	11.5	11.7	8.5	10.7	25.0	8.5	8.5				
8 受験資格なし	8.6	8.9	8.2	6.9	13.7	8.2	9.7	6.5	10.0	5.8	6.5	6.5				
	6.5	6.1	7.2	6.0	9.7	5.3	4.6	6.2	4.3	9.6	5.2	7.1				

表5-2 1987年度「放送大学教材についての学生調査」メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧（その2）

総計	メディア		科目分類		理系・文系		理文×メディア					
	ラジオ		基礎		理系科目		理文×メディア					
	テレビ	ラジオ	基礎	本	外国語	専門	理系科目	理文×メディア				
◎ 学習科目	有効回答数	2110	1404	1850	691	973	755	2068	703	52	989	1079
1 地球と自然 (度数)	208	208	0	208	0	0	208	0	208	0	0	0
2 日本と自然	268	268	0	268	0	0	268	0	268	0	0	0
3 生活と自然 I	208	208	0	208	0	0	0	208	0	0	208	0
4 生活と自然 II	325	325	0	325	0	0	0	325	0	0	325	0
5 基礎化学	76	76	0	76	0	0	76	0	76	0	0	0
6 基礎化学 I	418	418	0	418	0	0	0	418	0	0	0	0
7 基礎化学 II	108	108	0	108	0	108	0	108	0	0	108	0
8 基礎化学 III	115	115	0	115	0	115	0	115	0	0	115	0
9 健康と心理	82	82	0	82	0	82	0	82	0	0	82	0
10 健康と心理 I	71	71	0	71	0	71	0	71	0	0	71	0
11 健康と心理 II	23	23	0	23	0	23	0	23	0	0	23	0
12 健康と心理 III	35	35	0	35	0	35	0	35	0	0	35	0
13 健康と心理 IV	43	43	0	43	0	43	0	43	0	0	43	0
14 健康と心理 V	57	57	0	57	0	57	0	57	0	0	57	0
15 健康と心理 VI	56	56	0	56	0	56	0	56	0	0	56	0
16 健康と心理 VII	17	17	0	17	0	17	0	17	0	0	17	0
17 人間関係	249	249	0	249	0	0	0	249	0	0	0	249
18 人間関係 I	266	266	0	266	0	0	0	266	0	0	0	266
19 人間関係 II	160	160	0	160	0	0	0	160	0	0	0	160
20 人間関係 III	90	90	0	90	0	0	0	90	0	0	0	90
21 英語 I	179	179	0	179	0	179	0	179	0	0	0	0
22 英語 II	50	50	0	50	0	50	0	50	0	0	0	0
23 英語 III	17	17	0	17	0	17	0	17	0	0	0	0
24 英語 IV	27	27	0	27	0	27	0	27	0	0	0	0
25 英語 V	51	51	0	51	0	51	0	51	0	0	0	51
26 英語 VI	50	50	0	50	0	50	0	50	0	0	0	50
27 英語 VII	31	31	0	31	0	31	0	31	0	0	0	31
28 英語 VIII	10	10	0	10	0	10	0	10	0	0	0	10
29 英語 IX	47	47	0	47	0	47	0	47	0	0	0	47
30 英語 X	13	13	0	13	0	13	0	13	0	13	0	0
31 英語 XI	125	125	0	125	0	125	0	125	0	0	0	125
32 英語 XII	39	39	0	39	0	39	0	39	0	39	0	0
◎ 科目分類	有効回答数	2110	1404	1850	691	973	755	2068	703	52	989	1079
2 基礎科目 (%)	52.6	51.4	54.5	100.0	0.0	0.0	73.1	62.8	78.5	0.0	53.9	70.9
3 外国語科目 (%)	19.7	19.8	19.4	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5 専門科目 (%)	27.7	28.8	26.1	0.0	0.0	100.0	26.9	37.2	21.5	100.0	46.1	29.1
◎ メディア別	有効回答数	2110	1404	1850	691	973	755	2068	703	52	989	1079
1 テレビ	60.0	100.0	0.0	58.6	60.5	62.4	93.1	47.8	100.0	0.0	100.0	0.0
2 ラジオ	40.0	0.0	100.0	41.4	39.5	37.6	6.9	52.2	0.0	100.0	0.0	100.0
◎ 理系・文系	有効回答数	2110	1404	1850	691	973	755	2068	703	52	989	1079
2 理系科目 (%)	26.7	41.5	4.6	29.8	20.9	20.9	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
1 文系科目 (%)	73.3	58.5	95.4	70.2	79.1	79.1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0

表5-2 1987年度「放送大学教材についての学生調査」メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧(その3)

	総計	メディア		科目分類		理系・文系		理文×メディア			
		ラジオ		基礎		理系		理系		文系	
		テレビ	ラジオ	基礎	専門	理系	文系	理系	文系	理系	文系
◎ 理文×メディア											
21 有効回答数	2823	1692	1131	1850	973	755	2068	703	52	989	1079
22 有効回答率(%)	24.9	41.5	0.0	29.8	15.5	93.1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
11 理科系×ラジオ	1.8	0.0	4.6	0.0	5.3	6.9	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
12 文科系×ラジオ	35.0	58.5	0.0	28.8	46.9	0.0	47.8	0.0	0.0	100.0	0.0
12 文科系×テレビ	38.2	0.0	95.4	41.4	32.3	0.0	52.2	0.0	0.0	0.0	100.0
(ア) わかりやすい番組である(Q10-6)											
1 有効回答数	1.96	1.77	2.24	1.76	1.90	1.83	1.80	1.80	2.15	1.56	2.03
2 有効回答率(%)	34.75	20.88	13.87	18.22	9.66	74.7	20.41	69.5	52	97.8	10.3
3 どちらとも思わない	50.8	57.2	41.2	57.1	33.8	54.2	55.4	55.4	38.5	64.8	46.7
4 ややそう思う	21.6	21.0	22.5	22.0	22.7	23.3	21.9	23.0	26.9	20.1	23.4
5 非常に思う	13.1	12.0	14.9	11.0	16.3	11.8	12.5	11.2	19.2	10.3	14.6
4 ややそう思う	9.4	6.6	13.6	6.9	8.3	7.1	7.5	6.8	11.5	3.8	10.9
5 非常に思う	5.0	3.2	7.9	2.9	3.1	3.6	2.7	3.6	3.8	0.9	4.4
(イ) 重要なポイントがよくわかる(Q10-9)											
1 有効回答数	2.17	2.06	2.34	2.13	2.10	2.18	2.10	2.16	2.37	1.96	2.22
2 有効回答率(%)	34.36	20.65	13.71	17.95	9.62	73.7	20.20	68.5	52	97.0	10.50
3 どちらとも思わない	35.8	37.5	33.1	35.7	32.5	32.0	32.0	31.8	34.6	40.7	35.9
4 ややそう思う	29.6	32.1	25.7	31.3	25.2	32.7	29.9	33.6	21.2	32.7	27.3
5 非常に思う	20.0	19.6	20.5	20.7	18.8	23.1	19.0	23.1	17.5	17.5	20.3
4 ややそう思う	11.1	8.5	15.1	9.3	16.2	9.9	9.9	9.5	15.4	7.5	12.0
5 非常に思う	3.6	2.3	5.5	3.0	2.6	2.3	3.1	2.0	5.8	1.5	4.5
(ウ) 講義の流れに適切な緩急がある(Q10-10)											
1 有効回答数	2.15	2.02	2.35	2.08	2.18	2.11	2.12	2.09	2.38	2.00	2.23
2 有効回答率(%)	34.30	20.63	13.67	17.89	9.60	73.6	20.13	68.4	52	96.7	10.46
3 どちらとも思わない	35.5	38.5	30.9	37.0	33.8	35.9	35.9	36.5	26.9	38.3	33.7
4 ややそう思う	28.1	30.8	24.0	29.1	28.2	29.2	27.6	29.5	25.0	30.9	24.6
5 非常に思う	25.5	23.2	29.0	24.9	20.0	25.4	27.4	24.9	32.7	24.5	30.0
4 ややそう思う	7.8	5.5	11.2	6.9	11.0	7.1	7.0	6.6	13.5	5.2	8.6
5 非常に思う	3.2	2.0	4.9	2.1	2.5	2.4	2.1	2.5	1.9	1.1	3.1
(エ) 視聴者が抱きそうな疑問への説明がある(Q10-14)											
1 有効回答数	2.49	2.38	2.64	2.46	2.70	2.46	2.43	2.45	2.60	2.27	2.57
2 有効回答率(%)	34.31	20.62	13.69	17.91	67.9	73.5	20.17	68.3	52	96.8	10.49
3 どちらとも思わない	23.8	26.0	20.5	24.2	19.4	23.8	25.3	24.5	15.4	29.3	21.5
4 ややそう思う	28.1	29.7	25.6	28.8	24.9	28.4	29.1	28.1	32.7	31.5	26.8
5 非常に思う	29.4	28.9	30.2	29.6	30.3	30.1	28.9	30.0	30.8	26.7	31.0
4 ややそう思う	12.8	10.5	16.3	11.9	16.8	13.6	11.2	13.2	19.2	8.0	14.2
5 非常に思う	5.8	4.8	7.4	5.5	8.5	4.1	5.6	4.2	1.9	4.5	6.5
(オ) 内容が盛りだくさんである(Q10-15)											
1 有効回答数	2.22	2.11	2.38	2.20	2.11	2.04	2.32	2.00	2.46	2.23	2.41
2 有効回答率(%)	34.34	20.66	13.68	17.94	68.0	73.6	20.18	68.4	52	97.0	10.48
3 どちらとも思わない	34.2	37.4	29.2	34.3	40.4	41.0	29.5	41.8	30.8	31.8	27.5
4 ややそう思う	27.3	28.7	25.2	28.0	24.9	27.8	28.1	28.1	17.3	30.3	26.1
5 非常に思う	24.9	22.7	28.1	24.7	22.1	20.9	27.3	20.0	32.7	25.5	29.0
4 ややそう思う	9.9	7.9	12.9	9.3	8.8	8.4	10.8	8.0	13.5	8.2	13.1
5 非常に思う	3.8	3.2	4.5	3.6	3.8	2.3	4.3	2.0	5.8	4.2	4.3

表5-2 1987年度「放送大学教材についての学生調査」メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧（その4）

		メディア				科目分類				理系・文系				理文×メディア			
		総計		テレビ		ラジオ		基礎		理科学科		文科学科		理科学科		文科学科	
		ラジオ	テレビ	ラジオ	テレビ	ラジオ	テレビ	基礎	専門	理科学科	文科学科	理科学科	文科学科	理科学科	文科学科	理科学科	文科学科
(カ)	利用メディアの特性が活かされている (Q10-16)																
1	平均値	2.10	1.69	2.72	2.08	2.08	2.15	1.79	2.22	1.71	2.83	1.74	2.66				
2	有効回数	34.12	20.60	13.52	67.6	67.6	957	734	2002	682	52	966	1036				
3	有効回数 (%)	42.7	26.8	21.2	43.0	43.0	38.8	53.8	37.0	56.6	17.3	53.3	21.8				
4	有効回数 (割合)	21.1	23.5	17.5	21.1	21.1	22.8	21.9	21.6	22.4	15.4	25.3	18.1				
5	有効回数 (割合)	23.3	14.5	36.8	24.0	24.0	26.0	17.6	17.3	15.5	44.2	16.1	37.7				
	有効回数 (割合)	9.2	4.1	17.0	8.9	8.9	9.3	4.6	10.6	4.0	13.5	4.3	16.5				
	有効回数 (割合)	3.7	1.1	7.6	3.0	3.0	3.1	2.0	3.4	1.5	9.6	0.9	5.8				
(キ)	具体例が適切に取り入れられている (Q10-19)																
1	平均値	2.07	1.86	2.40	1.90	1.90	1.98	1.89	1.94	1.86	2.33	1.66	2.20				
2	有効回数	34.12	20.58	13.54	67.6	67.6	957	734	2002	682	52	966	1036				
3	有効回数 (%)	42.7	26.8	21.2	43.0	43.0	38.8	53.8	37.0	56.6	17.3	53.3	21.8				
4	有効回数 (割合)	21.1	23.5	17.5	21.1	21.1	22.8	21.9	21.6	22.4	15.4	25.3	18.1				
5	有効回数 (割合)	23.3	14.5	36.8	24.0	24.0	26.0	17.6	17.3	15.5	44.2	16.1	37.7				
	有効回数 (割合)	9.2	4.1	17.0	8.9	8.9	9.3	4.6	10.6	4.0	13.5	4.3	16.5				
	有効回数 (割合)	3.7	1.1	7.6	3.0	3.0	3.1	2.0	3.4	1.5	9.6	0.9	5.8				
(ク)	必要以上に専門用語が使われている (Q10-21)																
1	平均値	3.63	3.62	3.64	3.61	3.61	3.62	3.52	3.65	3.51	3.67	3.65	3.65				
2	有効回数	34.26	20.64	13.62	67.6	67.6	957	734	2002	682	52	966	1036				
3	有効回数 (%)	42.7	26.8	21.2	43.0	43.0	38.8	53.8	37.0	56.6	17.3	53.3	21.8				
4	有効回数 (割合)	21.1	23.5	17.5	21.1	21.1	22.8	21.9	21.6	22.4	15.4	25.3	18.1				
5	有効回数 (割合)	23.3	14.5	36.8	24.0	24.0	26.0	17.6	17.3	15.5	44.2	16.1	37.7				
	有効回数 (割合)	9.2	4.1	17.0	8.9	8.9	9.3	4.6	10.6	4.0	13.5	4.3	16.5				
	有効回数 (割合)	3.7	1.1	7.6	3.0	3.0	3.1	2.0	3.4	1.5	9.6	0.9	5.8				
(ケ)	印刷教材と適切に関連している (Q10-22)																
1	平均値	1.68	1.60	1.81	1.71	1.71	1.77	1.74	1.72	1.72	2.10	1.60	1.84				
2	有効回数	34.33	20.64	13.69	67.6	67.6	957	734	2002	682	52	966	1036				
3	有効回数 (%)	42.7	26.8	21.2	43.0	43.0	38.8	53.8	37.0	56.6	17.3	53.3	21.8				
4	有効回数 (割合)	21.1	23.5	17.5	21.1	21.1	22.8	21.9	21.6	22.4	15.4	25.3	18.1				
5	有効回数 (割合)	23.3	14.5	36.8	24.0	24.0	26.0	17.6	17.3	15.5	44.2	16.1	37.7				
	有効回数 (割合)	9.2	4.1	17.0	8.9	8.9	9.3	4.6	10.6	4.0	13.5	4.3	16.5				
	有効回数 (割合)	3.7	1.1	7.6	3.0	3.0	3.1	2.0	3.4	1.5	9.6	0.9	5.8				
(コ)	図表などが適切に利用されている (Q10-23)																
1	平均値	2.38	2.00	2.97	2.16	2.16	2.26	1.74	2.37	1.69	2.46	1.91	2.79				
2	有効回数	34.03	20.51	13.52	67.6	67.6	957	734	2002	682	52	966	1036				
3	有効回数 (%)	42.7	26.8	21.2	43.0	43.0	38.8	53.8	37.0	56.6	17.3	53.3	21.8				
4	有効回数 (割合)	21.1	23.5	17.5	21.1	21.1	22.8	21.9	21.6	22.4	15.4	25.3	18.1				
5	有効回数 (割合)	23.3	14.5	36.8	24.0	24.0	26.0	17.6	17.3	15.5	44.2	16.1	37.7				
	有効回数 (割合)	9.2	4.1	17.0	8.9	8.9	9.3	4.6	10.6	4.0	13.5	4.3	16.5				
	有効回数 (割合)	3.7	1.1	7.6	3.0	3.0	3.1	2.0	3.4	1.5	9.6	0.9	5.8				

表5-2 1987年度「放送大学教材についての学生調査」メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧(その5)

	総計	メディア				科目分類				理系・文系				理文×メディア			
		テレビ		ラジオ		基礎		専門		理系		文系		理文×ラジ		理文×テレ	
		計	割合	計	割合	科目	割合	科目	割合	科目	割合	科目	割合	科目	割合	科目	割合
(シ) 中途に息抜きの時間が適度に入っている (Q10-28)		2.83	2.56	3.25	2.77	2.95	2.87	2.47	2.92	2.41	3.25	2.61	3.21	2.41	3.25	2.61	3.21
1 有効回数 (割合)		3417	2060	1357	1782	677	958	736	2004	684	52	965	1039	31.9	23.7	20.5	14.0
2 有効回数 (割合)		18.1	21.4	13.2	18.2	17.7	18.2	21.2	17.1	21.8	13.5	20.5	14.0	13.5	13.5	20.5	14.0
3 どやちやそう思う		31.1	30.1	32.6	31.3	26.9	33.7	28.7	33.4	26.8	53.8	33.2	33.7	12.4	19.2	15.8	26.4
4 どやちやそう思う		19.1	14.4	26.2	18.4	19.5	20.3	12.9	12.3	12.4	7.2	6.8	15.2	11.2	11.5	6.8	15.2
5 非常に面白い		11.4	7.7	17.0	10.2	16.2	10.2	7.5	11.2	7.2	11.5	6.8	15.2	11.2	11.5	6.8	15.2
(ス) 興味深い番組である (Q10-30)		1.76	1.63	1.96	1.68	2.13	1.65	1.59	1.70	1.58	1.77	1.55	1.84	1.58	1.77	1.55	1.84
1 有効回数 (割合)		3442	2071	1371	1800	680	962	737	2025	685	52	974	1051	61.2	53.8	44.0	51.5
2 有効回数 (割合)		24.0	23.4	24.9	24.3	18.5	10.8	10.4	11.2	10.7	7.7	9.7	12.7	24.5	26.9	22.5	26.3
3 どやちやそう思う		12.5	11.6	13.9	11.1	9.4	4.3	3.4	4.3	2.8	11.5	2.6	6.0	10.7	11.5	2.6	6.0
4 どやちやそう思う		5.1	3.2	8.0	4.0	6.5	1.6	0.8	2.5	0.9	0.0	1.3	3.6	11.5	11.5	2.6	6.0
5 非常に面白い		2.9	1.7	4.7	2.3	6.5	1.6	0.8	2.5	0.9	0.0	1.3	3.6	11.5	11.5	2.6	6.0
(セ) 生活に密着した題材を扱っている (Q10-32)		2.41	2.13	2.83	2.45	2.57	2.21	2.39	2.36	2.35	2.96	1.93	2.75	2.35	2.96	1.93	2.75
1 有効回数 (割合)		3427	2063	1364	1788	679	960	735	2013	683	52	968	1045	28.6	21.2	19.6	28.5
2 有効回数 (割合)		29.9	37.1	19.1	26.6	22.1	23.8	29.9	24.6	30.6	21.2	27.9	21.6	21.2	21.2	27.9	21.6
3 どやちやそう思う		25.3	28.4	20.6	27.3	26.2	21.6	23.4	24.2	22.7	32.7	19.6	28.5	22.7	32.7	19.6	28.5
4 どやちやそう思う		14.9	9.4	23.2	16.3	15.3	12.0	15.0	14.7	13.9	28.8	7.2	21.6	13.9	28.8	7.2	21.6
5 非常に面白い		5.5	2.9	9.3	4.5	9.1	4.6	4.4	4.6	4.2	5.8	1.0	7.9	13.9	28.8	7.2	21.6
(ソ) 時宜を得た素材を利用している (Q10-33)		2.49	2.31	2.76	2.53	2.61	2.34	2.24	2.54	2.21	2.67	2.30	2.76	2.21	2.67	2.30	2.76
1 有効回数 (割合)		3412	2054	1358	1775	678	959	733	2001	681	52	963	1038	30.8	19.2	28.5	17.6
2 有効回数 (割合)		24.2	27.0	20.0	24.7	19.5	26.5	29.9	23.7	30.5	21.2	26.3	21.3	21.2	21.2	26.3	21.3
3 どやちやそう思う		33.2	32.3	34.5	34.1	33.2	31.5	27.8	35.1	27.3	34.6	34.1	36.1	27.3	34.6	34.1	36.1
4 どやちやそう思う		13.0	9.5	18.2	14.0	14.3	10.1	10.2	13.5	9.3	23.1	9.6	17.2	23.1	23.1	9.6	17.2
5 非常に面白い		4.9	2.7	8.2	4.4	8.1	3.4	2.0	4.8	2.1	1.9	1.7	7.7	2.1	1.9	1.7	7.7
(タ) 講義の進度が速い (Q10-38)		3.10	3.13	3.06	3.30	2.23	3.35	3.12	3.39	3.10	3.37	3.50	3.28	3.10	3.37	3.50	3.28
1 有効回数 (割合)		3426	2062	1364	1787	680	959	735	2011	683	52	967	1044	11.4	7.7	5.9	9.6
2 有効回数 (割合)		15.3	14.2	16.9	14.2	22.9	13.6	18.6	12.3	19.8	3.8	10.9	13.6	11.4	7.7	5.9	9.6
3 どやちやそう思う		28.2	27.5	29.3	31.2	15.6	31.7	30.3	31.7	29.1	46.2	31.0	32.4	29.1	46.2	31.0	32.4
4 どやちやそう思う		25.2	25.8	24.2	30.2	10.3	26.5	26.8	29.6	26.6	28.8	31.3	28.1	26.6	28.8	31.3	28.1
5 非常に面白い		15.6	15.9	15.0	15.7	9.4	19.6	13.1	18.5	13.0	13.5	20.9	16.4	13.0	13.5	20.9	16.4

表5-2 1987年度「放送大学教材についての学生調査」メディア別・科目分類別・理文別・結果一覧（その6）

	メディア				科目分類				理系・文系				理文×メディア			
	総計		テレビ		ラジオ		基礎		理科学系		文科学系		理科学系		文科学系	
	科目	外国語	専門	理科学系	文科学系	理科学系	文科学系	理科学系	文科学系	理科学系	文科学系	理科学系	文科学系	理科学系	文科学系	理科学系
(チ) 印刷教材が充実している (Q10-41)	平均値	2.20	2.11	2.33	2.20	2.15	2.23	2.17	2.23	2.15	2.44	2.31	2.14	2.31	2.31	2.31
1 有効回数	3436	2069	1367	1794	679	963	963	740	2017	688	52	970	1047	1047	1047	1047
2 有効回数 (%)	32.9	35.3	29.3	31.9	38.4	30.7	30.7	33.0	31.0	33.6	25.0	33.7	28.5	28.5	28.5	28.5
3 やや少なそう思う	30.3	30.8	29.5	31.0	26.2	31.8	31.8	31.8	31.1	32.0	28.8	30.8	31.3	31.3	31.3	31.3
4 どちや少なそう思わない	24.6	24.1	25.4	24.9	22.7	25.4	25.4	24.1	25.4	23.7	28.8	25.6	25.3	25.3	25.3	25.3
5 非常に少なそう思わない	8.6	7.0	10.9	9.3	7.4	8.0	8.0	7.3	9.4	7.0	11.5	7.8	10.9	10.9	10.9	10.9
	3.7	2.9	5.0	2.9	5.3	4.0	4.0	3.9	3.1	3.8	5.8	2.1	4.0	4.0	4.0	4.0
(ツ) 印刷教材に演習などが適切に含まれている (Q10-44)	平均値	3.63	3.55	3.76	3.79	3.13	3.70	3.74	3.77	3.73	3.88	3.66	3.86	3.86	3.86	3.86
1 有効回数	3398	2046	1352	1772	673	953	953	733	1992	681	52	958	1034	1034	1034	1034
2 有効回数 (%)	8.4	8.6	8.0	5.6	19.8	5.5	5.5	5.0	5.7	5.1	3.8	6.8	4.7	4.7	4.7	4.7
3 やや少なそう思う	8.3	10.1	5.7	6.3	14.6	7.8	7.8	8.7	6.1	8.8	7.7	7.4	4.8	4.8	4.8	4.8
4 どちや少なそう思わない	26.3	27.5	24.5	25.7	22.3	30.2	30.2	26.3	27.7	26.6	23.1	29.1	26.3	26.3	26.3	26.3
5 非常に少なそう思わない	25.6	25.3	26.1	28.2	19.9	24.9	24.9	27.1	27.0	27.2	26.9	25.9	28.0	28.0	28.0	28.0
	31.4	28.5	35.7	34.2	23.5	31.7	31.7	32.7	33.5	32.3	38.5	30.8	36.1	36.1	36.1	36.1
(テ) 放送は学習のペース作りに役だっている (Q10-45)	平均値	2.10	2.00	2.25	2.05	2.24	2.09	2.09	2.05	2.07	2.31	1.94	2.16	2.16	2.16	2.16
1 有効回数	3427	2062	1365	1788	679	960	960	734	2014	682	52	968	1046	1046	1046	1046
2 有効回数 (%)	41.1	43.6	37.2	41.8	40.5	40.0	40.0	40.7	41.4	41.2	34.6	44.6	38.3	38.3	38.3	38.3
3 やや少なそう思う	25.9	26.5	25.0	27.2	23.6	25.0	25.0	26.2	26.6	26.2	25.0	26.7	26.5	26.5	26.5	26.5
4 どちや少なそう思わない	20.0	19.7	20.5	19.2	16.8	23.9	23.9	20.6	21.0	20.4	23.1	21.0	20.9	20.9	20.9	20.9
5 非常に少なそう思わない	8.3	7.1	10.0	7.9	9.9	7.8	7.8	8.7	7.6	8.7	9.6	6.0	9.1	9.1	9.1	9.1
	4.7	3.1	7.3	3.7	9.3	3.3	3.3	3.8	3.5	3.5	7.7	1.8	5.2	5.2	5.2	5.2
(ト) 全体的に満足いく番組である (Q10-46)	平均値	1.98	1.85	2.19	1.88	2.35	1.92	1.88	1.90	1.86	2.15	1.74	2.05	2.05	2.05	2.05
1 有効回数	3428	2063	1365	1789	678	961	961	735	2015	683	52	968	1047	1047	1047	1047
2 有効回数 (%)	43.8	47.3	38.5	46.4	35.5	44.7	44.7	45.2	46.1	46.0	34.6	51.0	41.5	41.5	41.5	41.5
3 やや少なそう思う	28.9	30.4	26.4	30.1	23.9	30.1	30.1	32.4	29.2	32.2	34.6	30.4	28.2	28.2	28.2	28.2
4 どちや少なそう思わない	16.8	15.2	19.2	15.3	21.2	16.5	16.5	14.7	16.1	14.6	15.4	13.6	18.3	18.3	18.3	18.3
5 非常に少なそう思わない	6.2	4.2	9.3	5.5	9.0	5.6	5.6	5.0	5.8	4.5	11.5	3.1	8.2	8.2	8.2	8.2
	4.3	2.8	6.6	2.7	10.3	3.0	3.0	2.7	2.9	2.6	3.8	1.9	3.8	3.8	3.8	3.8

表5-3 1987年度「放送大学教材についての学生調査」 専攻別・評価群別・結果一覧 (その1)

	総計	専攻					評価					評価調査	
		専攻					評価						
		生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	80点以上	60～79点	59点以下	受験資格無資格		
◎	性別	3514	396	596	336	301	718	358	896	1431	655	532	978
1	男性	3514	396	596	336	301	718	358	896	1431	655	532	956
2	女性	45.2	13.9	21.1	76.8	89.0	33.6	70.4	41.9	41.6	49.2	55.5	90.1
◎	年齢群	54.8	86.1	78.9	23.2	11.0	66.4	29.6	58.1	58.4	50.8	44.5	9.9
1	平均値	41.50	43.58	37.79	39.57	39.54	42.25	33.90	40.66	42.47	42.30	39.29	45.90
2	有効回答数	3514	396	596	336	301	718	358	896	1431	655	532	977
3	20～24歳	10.0	2.0	12.9	13.1	10.3	8.8	21.5	8.6	8.4	11.5	15.2	0.0
4	25～34歳	18.9	10.1	19.3	21.7	20.6	14.9	39.7	20.9	16.3	19.4	21.8	13.9
5	35～44歳	32.3	43.7	43.8	32.7	36.2	34.3	21.8	36.6	34.0	25.2	29.3	33.6
6	45～54歳	23.3	33.8	20.3	17.0	26.6	27.0	9.2	21.5	24.8	23.8	21.8	30.1
7	55歳～	15.5	10.4	3.7	15.5	6.3	15.0	7.8	12.4	16.6	20.2	11.8	22.4
◎	学生種別	3514	396	596	336	301	718	358	896	1431	655	532	
1	全科目必修生	77.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	79.7	79.0	77.1	66.7	
2	選択必修生	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	11.0	10.5	22.2	
3	科目必修生	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	2.4	2.3	5.5	
4	特修生	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	7.6	10.1	5.6	
◎	専攻	3514	396	596	336	301	718	358	896	1431	655	532	
1	生活と福祉	11.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.9	11.9	12.7	6.6	
2	発達と教育	17.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.6	16.9	14.0	14.5	
3	社会と経済	9.6	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	9.4	10.1	8.9	9.2	
4	産業と技術	8.6	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	5.5	8.3	10.5	12.0	
5	人間の探究	20.4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	21.9	21.6	20.0	15.4	
6	自然の理解	10.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	10.4	10.1	11.0	9.0	
◎	科目評価分類	3514	396	596	336	301	718	358	896	1431	655	532	
1	有効回答数	9.8	10.1	11.6	9.8	8.0	11.4	11.2	38.4	0.0	0.0	0.0	
2	80点以上	15.7	16.9	19.5	15.2	8.3	15.9	14.8	61.6	0.0	0.0	0.0	
3	70～79点	20.5	22.0	20.8	23.8	15.9	22.3	18.4	0.0	50.3	0.0	0.0	
4	60～69点	20.2	21.2	19.8	19.3	23.6	20.8	22.1	0.0	49.7	0.0	0.0	
5	50～59点	6.2	7.6	5.7	5.7	6.6	6.1	6.1	0.0	0.0	33.3	0.0	
6	40～49点	12.4	13.4	9.7	11.6	16.3	12.1	14.0	0.0	0.0	66.7	0.0	
7	受験資格なし	8.6	6.6	7.6	8.6	12.6	8.1	7.0	0.0	0.0	0.0	56.8	
8	受験資格なし	6.5	2.3	5.4	6.0	8.6	3.3	6.4	0.0	0.0	0.0	43.2	
◎	科目分類	3514	396	596	336	301	718	358	896	1431	655	532	
1	基礎科目	52.6	47.7	49.5	46.1	45.2	57.9	50.6	56.8	59.5	38.3	44.7	978
2	外国語科目	19.7	17.9	19.5	26.2	18.6	21.6	21.8	13.8	13.0	33.4	30.5	30.6
3	専門科目	27.7	34.3	31.0	27.7	36.2	20.5	27.7	29.4	27.5	28.2	24.8	12.6
5	専門科目												56.9

表 5-3 1987年度「放送大学教材についての学生調査」 専攻別・評価群別・結果一覧 (その2)

	総計	専攻					評価			群		評価調査	
		生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解			59点以下	無資格		
							80点以上	60～79点	59点以下				
◎	メディア	3514	396	596	336	301	718	358	896	1431	655	532	978
1	有効回答数	60.0	63.9	58.9	54.8	63.8	57.2	70.4	69.4	55.6	57.6	59.4	78.5
2	テレオ	40.0	36.1	41.1	45.2	36.2	42.8	29.6	30.6	44.4	42.4	40.6	21.5
◎	理系・文系	2823	325	480	248	245	563	280	772	1245	436	370	855
2	有効回答数	26.7	17.2	16.7	20.6	41.2	22.9	58.2	27.7	23.5	32.3	29.2	56.8
1	理科系	75.3	82.8	83.3	79.4	58.8	77.1	41.8	72.3	76.5	67.7	70.8	43.2
◎	理系・文系	2823	325	480	248	245	563	280	772	1245	436	370	855
21	有効回答数	24.9	17.2	16.3	19.4	35.5	22.2	51.1	27.7	21.7	27.3	27.0	52.5
22	理科系	1.8	0.0	0.4	1.2	5.7	0.7	7.1	0.0	1.8	5.0	2.2	4.3
11	理科系	35.0	47.4	40.2	34.3	26.9	35.5	20.7	41.3	33.5	31.7	31.1	29.7
12	文科系	38.2	35.4	43.1	45.2	31.8	41.6	21.1	31.0	43.1	36.0	39.7	13.5
(ア)	わかりやすい番組である (Q10-6)	1.96	1.99	1.93	2.11	2.13	1.90	2.12	1.48	1.77	2.69	2.42	2.44
1	有効回答数	34.75	39.5	59.1	33.4	29.4	71.3	33.7	89.2	141.9	64.3	52.1	96.0
2	非有効回答 (%)	50.8	52.7	51.1	44.3	43.2	56.9	43.1	68.0	56.2	29.2	33.6	11.9
3	どちらでもない	21.6	18.5	23.0	21.9	22.1	17.5	24.4	21.0	23.3	17.3	23.4	47.3
4	どちらでもない	13.1	13.2	13.0	17.4	18.4	9.1	16.0	7.1	10.9	20.8	20.2	27.4
5	非常に面白い	9.4	7.8	7.8	11.4	11.6	10.9	10.4	2.9	7.1	20.2	13.2	12.0
(イ)	ところが重要なポイントがよくわかる (Q10-9)	5.0	6.8	5.1	5.1	4.8	5.5	6.2	1.0	2.5	12.4	9.6	1.5
1	有効回答数	2.17	2.15	2.10	2.36	2.37	2.12	2.36	1.73	2.03	2.78	2.57	2.48
2	非有効回答 (%)	34.36	39.3	58.7	33.1	28.9	71.1	35.4	88.6	139.5	63.5	52.0	96.3
3	どちらでもない	35.8	37.4	37.8	28.1	24.9	41.6	28.0	51.5	39.3	19.1	20.0	12.5
4	どちらでもない	29.6	29.3	30.2	33.1	34.5	24.9	31.6	30.8	31.0	24.6	29.6	40.9
5	非常に面白い	20.0	18.8	19.1	22.7	28.4	16.5	22.0	12.3	19.1	24.9	29.2	34.0
(ウ)	講義の流れに適切な緩急のリズムがある (Q10-10)	11.1	10.4	9.7	13.0	12.5	13.8	13.0	4.3	8.5	22.7	15.8	11.6
1	有効回答数	3.6	4.1	3.2	5.1	2.8	3.2	5.4	1.1	2.1	8.8	5.4	1.0
2	非有効回答 (%)	2.15	2.14	2.14	2.24	2.25	2.05	2.43	1.86	2.05	2.50	2.50	2.96
3	どちらでもない	34.30	39.2	58.3	33.2	29.0	71.2	35.4	88.6	139.2	63.4	51.8	96.3
4	どちらでもない	35.5	36.2	34.0	31.9	27.9	41.6	26.0	46.6	38.7	24.9	20.7	5.1
5	非常に面白い	28.1	26.3	29.5	28.9	32.8	26.1	27.7	28.1	27.9	27.3	29.3	22.6
(エ)	視聴者が抱きそうな疑問への説明がある (Q10-14)	25.5	28.3	27.8	27.7	26.2	20.4	29.7	19.4	25.0	27.9	34.2	45.9
1	有効回答数	7.8	6.1	6.0	6.3	12.4	9.4	11.0	4.4	6.8	12.1	11.0	23.7
2	非有効回答 (%)	3.2	3.1	2.7	5.1	0.7	2.5	5.6	1.5	1.6	7.7	4.8	2.7
3	どちらでもない	2.49	2.48	2.45	2.51	2.51	2.49	2.71	2.22	2.39	2.82	2.80	2.92
4	どちらでもない	34.31	39.3	58.4	33.0	28.9	71.0	35.4	88.5	139.5	63.6	51.5	96.2
5	非常に面白い	23.8	22.1	21.8	17.6	17.6	28.2	18.6	31.4	26.7	15.9	12.6	3.3
(オ)	視聴者が抱きそうな疑問への説明がある (Q10-14)	28.1	24.9	29.6	29.4	33.9	24.2	33.7	30.7	29.0	24.4	25.6	28.3
1	有効回答数	29.4	27.7	33.6	30.6	31.8	26.3	33.1	25.5	27.4	31.9	38.6	43.9
2	非有効回答 (%)	12.8	15.3	10.4	12.4	12.8	13.0	16.7	9.3	11.9	17.9	15.1	21.7
3	どちらでもない	5.8	5.3	4.3	5.8	3.8	8.3	7.9	3.1	4.9	9.9	8.0	2.8

表5-3 1987年度「放送大学教材についての学生調査」 専攻別・評価群別・結果一覧 (その3)

		専攻	改		評		価		群		評価調査		
			生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	80点以上	60～79点	59点以下	受験資格	他大学講師等
(オ)	総計	内容が盛りだくさんである (Q10-15)	2.22	2.20	2.19	2.35	2.26	2.20	2.17	2.27	2.11	2.29	2.63
	平均値	34.34	39.4	58.3	33.0	29.2	71.2	88.5	139.3	63.7	51.9	9.59	
	有効回数思う (%)	34.2	35.3	35.2	31.2	28.8	36.5	32.4	36.3	38.1	30.4	7.8	
	非常にそう思う (%)	27.3	25.4	27.1	24.8	30.1	26.7	27.5	26.3	28.9	28.7	36.6	
	どちらかといえばない	24.9	27.2	25.0	26.7	29.8	22.8	25.3	25.1	26.3	20.4	41.9	
	ややそう思う	9.9	8.9	9.1	12.1	8.6	8.7	12.1	8.7	10.6	8.8	11.2	
非常にそう思わない	3.8	3.3	3.6	5.2	2.7	5.3	3.9	3.6	3.9	3.8	3.5	1.1	
(カ)	総計	利用メディアの特性が活かされている (Q10-16)	2.10	2.06	2.04	2.33	2.25	1.94	1.78	2.07	2.40	2.35	2.74
	平均値	34.12	39.2	58.0	33.1	28.9	71.2	88.4	138.9	63.0	50.9	9.61	
	有効回数思う	42.7	44.6	45.5	33.5	31.8	53.2	42.4	55.9	42.7	33.8	30.8	8.8
	非常にそう思う (%)	21.1	19.4	20.3	22.4	29.8	15.4	20.8	19.0	21.9	19.8	24.2	36.7
	どちらかといえばない	23.3	25.0	22.1	26.3	23.9	18.8	24.7	18.0	23.3	26.0	29.3	31.1
	ややそう思う	9.2	7.1	8.3	13.6	10.7	8.7	8.4	5.5	9.4	12.7	10.6	18.0
非常にそう思わない	3.7	3.8	3.8	4.2	3.8	3.8	3.7	1.6	2.7	7.6	5.1	5.3	
(キ)	総計	具体例が適切に取り入れられている (Q10-19)	2.07	2.04	2.04	2.24	2.15	2.01	1.80	1.95	2.48	2.36	2.43
	平均値	34.12	39.2	58.2	33.0	28.8	71.1	88.4	138.6	63.4	50.8	9.61	
	有効回数思う	38.3	41.1	38.5	32.1	30.6	44.4	48.0	42.4	27.0	24.6	11.3	
	非常にそう思う (%)	30.0	28.8	31.8	30.6	33.7	23.3	30.3	30.1	25.9	34.3	48.7	
	どちらかといえばない	21.1	19.4	19.8	23.6	26.7	21.8	21.7	16.6	19.3	27.4	26.2	27.2
	ややそう思う	7.3	6.6	7.2	8.8	8.0	7.7	8.7	3.8	6.2	12.0	10.6	11.4
非常にそう思わない	3.2	4.1	2.7	4.8	1.0	2.7	4.2	1.2	2.0	7.7	4.3	1.4	
(ク)	総計	必要以上に専門用語が使われている (Q10-21)	3.63	3.50	3.65	3.55	3.43	3.77	3.65	3.69	3.39	3.37	3.51
	平均値	34.26	39.2	58.0	33.0	28.9	71.2	88.5	138.9	63.5	51.7	9.58	
	有効回数思う	4.5	6.9	4.0	3.6	5.9	2.9	4.5	3.8	3.0	8.2	5.0	0.8
	非常にそう思う (%)	8.8	9.2	7.2	8.8	12.1	8.7	9.6	5.4	8.4	11.2	12.6	4.8
	どちらかといえばない	29.5	32.4	31.0	38.5	33.9	25.7	23.0	22.8	29.2	33.5	36.9	46.9
	ややそう思う	33.9	30.1	35.0	26.7	29.4	33.7	38.2	37.1	35.6	28.0	31.1	37.3
非常にそう思わない	23.3	21.4	22.8	22.4	18.7	28.9	22.8	30.8	23.8	19.1	14.3	10.2	
(ケ)	総計	印刷教材と適切に関連している (Q10-22)	1.68	1.62	1.69	1.88	1.79	1.68	1.49	1.60	1.95	1.91	2.48
	平均値	34.33	39.3	58.1	33.0	29.2	71.1	88.6	139.2	63.6	51.9	9.54	
	有効回数思う	54.7	55.2	55.4	46.7	43.5	57.7	65.1	57.3	44.7	42.2	10.9	
	非常にそう思う (%)	29.1	31.8	26.7	28.5	38.0	24.9	31.9	24.5	29.9	29.6	34.3	43.5
	どちらかといえばない	11.1	9.4	12.7	17.9	14.7	11.5	9.0	7.3	9.3	15.9	16.4	33.4
	ややそう思う	3.5	2.5	3.6	4.2	3.1	3.8	4.8	2.7	2.4	6.0	4.6	10.9
非常にそう思わない	1.7	1.0	1.5	2.7	0.7	2.1	2.0	0.3	1.1	3.9	2.5	1.3	

表5-3 1987年度「放送大学教材についての学生調査」 専攻別・評価群別・結果一覧 (その4)

政 策												評価調査
専 攻												他大学 講師等
図表など が適切に 利用されて いる (Q10-23)	生活と福祉 の計画	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	評 価			群	不受検 無資格	
							80点以上	60~79点	59点以下			
(コ) 平均値	2.38	2.27	2.34	2.66	2.44	2.44	2.34	2.24	2.25	2.65	2.67	2.63
1 有効回数	3403	391	579	327	288	710	353	881	1381	628	513	947
2 非有効回数	32.5	38.9	31.1	21.4	28.5	32.8	32.9	38.9	36.3	25.3	20.1	8.6
3 どやちや	23.4	22.0	24.5	22.6	26.0	20.8	27.5	21.9	25.3	21.3	23.4	43.4
4 ええ	25.6	22.0	29.9	34.6	26.0	26.2	21.0	22.6	22.6	28.8	34.7	29.3
5 ええ	10.3	7.7	8.6	11.3	12.2	10.3	9.9	9.3	9.1	12.3	12.9	14.6
6 非常に 思わない	8.2	9.5	5.9	10.1	7.3	9.9	8.8	7.3	6.7	12.3	9.0	4.2
(シ) 中途に 息抜きの 時間が入 っている (Q10-28)	2.83	2.82	2.81	2.98	2.80	2.84	2.79	2.62	2.79	3.12	2.95	3.27
1 平均値	3417	392	578	329	290	708	356	883	1383	635	516	957
2 有効回数	20.3	20.4	20.2	15.8	14.1	21.8	21.1	25.5	21.5	13.9	16.1	2.6
3 非有効回数	18.1	18.9	17.3	14.9	21.7	17.9	19.1	19.6	18.5	15.4	17.8	15.2
4 どやちや	31.1	30.1	33.4	36.8	40.3	27.7	31.2	30.1	30.6	32.9	32.0	41.9
5 ええ	19.1	19.1	19.0	20.4	17.9	19.9	17.4	16.6	18.4	20.5	23.6	33.8
6 非常に 思わない	11.4	11.5	10.0	12.2	5.9	12.7	11.2	8.2	11.1	17.3	10.5	6.6
(ス) 興味深い 番組である (Q10-30)	1.76	1.77	1.81	1.98	1.92	1.70	1.82	1.47	1.66	2.17	2.04	2.07
1 平均値	3442	394	586	329	292	713	356	886	1398	638	520	966
2 有効回数	55.4	52.0	52.4	45.6	43.5	60.4	50.8	69.2	57.9	41.5	42.5	26.1
3 非有効回数	24.0	28.2	25.1	28.0	31.2	20.3	26.7	19.5	25.3	23.8	28.3	49.0
4 どやちや	12.5	12.2	14.2	14.0	17.5	11.4	14.9	7.7	11.8	17.4	16.5	17.6
5 ええ	5.1	5.6	5.5	7.6	5.1	4.5	4.5	2.6	3.1	10.5	8.5	6.8
6 非常に 思わない	2.9	2.0	2.9	4.9	2.7	3.4	3.1	1.0	1.9	6.7	4.2	0.5
(セ) 生活に 密着した 題材を扱 っている (Q10-32)	2.41	2.27	2.40	2.59	2.48	2.37	2.51	2.23	2.31	2.75	2.54	2.66
1 平均値	3427	394	581	328	290	710	356	882	1390	635	520	959
2 有効回数	29.9	33.0	30.8	26.5	24.5	33.1	23.3	36.3	32.3	20.6	24.2	10.0
3 非有効回数	25.3	27.4	23.6	21.6	25.9	22.4	31.2	25.2	26.5	23.3	24.4	36.0
4 どやちや	24.5	22.6	24.6	26.2	30.7	24.1	23.3	23.3	23.2	27.1	30.0	35.1
5 ええ	14.9	13.2	16.4	17.1	15.2	14.9	15.4	13.8	13.5	18.7	15.8	16.0
6 非常に 思わない	5.5	3.8	4.6	8.5	3.8	5.5	6.7	3.4	4.5	10.2	5.6	2.9
(ソ) 時宜を得 た素材を 利用して いる (Q10-33)	2.49	2.49	2.53	2.64	2.51	2.42	2.57	2.28	2.39	2.78	2.75	2.58
1 平均値	3412	392	577	329	288	707	356	884	1383	631	514	958
2 有効回数	24.8	26.5	22.5	18.2	21.9	29.4	20.8	30.3	27.5	18.1	16.3	9.1
3 非有効回数	24.2	21.9	24.4	23.4	27.8	21.8	23.9	27.1	25.6	20.6	19.6	38.2
4 どやちや	33.2	32.1	35.0	40.1	31.6	31.1	38.2	29.1	31.0	35.7	43.0	40.1
5 ええ	13.0	14.5	13.2	12.8	15.3	12.3	12.1	10.9	11.8	16.8	15.2	11.2
6 非常に 思わない	4.9	4.8	4.9	5.5	3.5	5.4	5.1	2.6	4.1	8.9	5.8	1.5

表5-3 1987年度「放送大学教材についての学生調査」 専攻別・評価群別・結果一覧 (その5)

	総計	専攻					評価			群	評価調査		
		生活と福祉					自然の理解						
		発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	80点以上	60～79点	59点以下					
(タ)	講義の進度が速い (Q10-38)	3.10	3.09	3.14	3.08	2.97	3.21	3.11	3.46	3.30	2.57	2.61	3.20
1	平均回数に思う (％)	3426	394	582	326	289	709	356	884	1390	634	518	960
2	非常によく思わない	15.3	17.3	15.1	16.6	14.2	14.5	13.5	7.8	10.1	28.5	25.5	1.7
3	よく思わない	15.8	11.7	14.3	12.3	19.4	16.2	15.9	13.2	14.3	18.5	20.8	13.4
4	よく思わない	28.2	32.2	26.6	30.7	32.5	23.3	31.7	25.1	28.8	30.1	29.5	52.8
5	非常に思わない	25.2	22.1	29.2	27.9	23.2	25.7	20.8	32.6	29.2	13.7	15.8	27.5
6	非常に思わない	15.6	16.8	14.8	12.6	10.7	20.3	17.1	21.3	17.5	9.3	8.3	4.6
(チ)	印刷教材が充実している (Q10-41)	2.20	2.09	2.19	2.37	2.43	2.10	2.44	2.00	2.09	2.47	2.49	2.74
1	平均回数に思う (％)	3436	393	581	330	298	711	357	887	1393	637	519	957
2	非常によく思わない	32.9	35.4	31.5	25.8	22.1	38.3	26.1	39.0	35.7	26.8	22.4	6.9
3	よく思わない	30.3	30.0	28.9	32.1	33.2	29.0	28.6	32.7	32.4	25.1	26.6	30.4
4	よく思わない	24.6	27.0	30.6	25.8	27.2	21.2	28.0	19.8	21.3	29.5	35.5	46.5
5	非常に思わない	8.6	5.6	6.7	11.8	14.4	8.0	10.1	6.5	7.9	11.0	10.8	14.5
6	非常に思わない	3.7	2.0	2.2	4.5	3.0	3.5	7.3	1.9	2.7	7.5	4.8	1.9
(ツ)	印刷教材に演習などが適切に含まれている (Q10-44)	3.63	3.68	3.68	3.62	3.60	3.59	3.80	3.74	3.67	3.57	3.43	3.57
1	平均回数に思う (％)	3398	383	577	328	293	703	357	882	1373	628	515	943
2	非常によく思わない	8.4	6.8	7.1	6.4	4.1	11.5	5.0	7.7	7.9	9.2	9.5	1.4
3	よく思わない	8.3	7.0	8.0	12.2	10.6	7.3	9.0	6.7	8.4	9.1	9.9	7.7
4	よく思わない	26.3	29.5	27.2	23.8	33.4	24.6	22.7	23.2	24.7	28.7	33.0	39.7
5	非常に思わない	25.6	24.5	25.0	28.0	25.3	23.5	27.2	28.2	26.7	21.3	23.7	35.0
6	非常に思わない	31.4	32.1	32.8	29.6	26.6	33.1	36.1	34.1	32.3	31.7	23.9	16.2
(テ)	放送はペース作りに役だっている (Q10-45)	2.10	2.03	2.06	2.33	2.34	2.02	2.32	1.84	1.96	2.49	2.42	2.55
1	平均回数に思う (％)	3427	390	581	329	293	709	357	886	1389	635	517	949
2	非常によく思わない	41.1	44.6	38.7	32.8	28.7	47.0	35.0	50.7	44.5	29.9	29.0	6.8
3	よく思わない	25.9	21.8	29.9	27.4	27.6	21.2	24.4	24.0	27.8	23.3	27.1	39.2
4	よく思わない	20.0	23.3	21.7	19.1	28.7	19.2	20.7	17.7	17.7	24.7	24.6	46.9
5	非常に思わない	8.3	6.9	5.5	14.9	10.6	8.5	13.2	6.0	6.8	12.1	11.4	6.0
6	非常に思わない	4.7	3.3	4.1	5.8	4.4	4.2	6.7	1.6	3.2	9.9	7.9	1.1
(ト)	全体的に満足している (Q10-46)	1.98	2.02	2.03	2.13	2.16	1.90	2.17	1.56	1.83	2.58	2.39	2.24
1	平均回数に思う (％)	3428	392	584	330	293	709	356	884	1392	632	520	963
2	非常によく思わない	43.8	38.5	39.6	37.9	33.1	51.3	34.8	61.3	46.6	27.2	26.5	18.3
3	よく思わない	28.9	34.4	31.5	31.2	32.1	21.4	34.8	25.9	31.8	25.2	30.6	49.8
4	よく思わない	16.8	17.9	19.2	17.3	23.5	17.3	15.2	9.6	15.3	22.3	26.3	22.7
5	非常に思わない	6.2	4.6	6.0	7.3	7.8	6.1	8.4	2.3	4.5	12.7	10.0	8.1
6	非常に思わない	4.3	4.6	3.8	6.4	3.4	3.8	6.7	0.9	1.9	12.7	6.5	1.0

6. 1987年度『放送大学教材についての学生調査』の因子分析結果

表 6-1-1 「放送大学教材についての学生調査」18 項目に関する全体の主成分分析

項 目	平均値	標準偏差	主成分分析因子負荷量					共通性
			FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	FACTOR4	FACTOR5	
イ. 重要なポイント明確	2.24	1.10	0.738**	-0.189	0.161	0.070	0.279	0.689
ロ. 流れに適合する	2.33	1.10	0.755**	-0.045	0.068	0.236	0.195	0.670
ハ. 視聴者の疑問の配慮	2.58	1.11	0.661**	0.094	0.042	0.207	0.285	0.572
ニ. わかりやすい番組	2.07	1.17	0.735**	-0.316#	0.008	0.061	0.198	0.683
ホ. 全体的に満足	2.05	1.08	0.826**	-0.083	0.173	-0.113	0.137	0.751
ヘ. 興味深い番組	1.84	1.02	0.723**	-0.017	0.094	-0.270	0.175	0.635
ケ. 印刷教材と適切関連	1.86	0.97	0.571**	0.064	0.402*	0.094	-0.397#	0.658
コ. 印刷教材が充実に活用	2.32	1.08	0.661**	0.185	0.301*	-0.088	-0.198	0.609
サ. 学習に密着した題材利用	2.20	1.11	0.659**	0.002	0.288	-0.065	-0.095	0.530
シ. 授業で得た素材利用	2.46	1.16	0.627**	0.153	-0.401#	-0.449#	0.017	0.779
ス. 図表などが適切利用	2.51	1.08	0.646**	0.162	-0.318#	-0.473#	-0.023	0.770
セ. 図表などが適切利用	2.43	1.21	0.558**	0.137	-0.338#	0.259	-0.425#	0.692
ソ. 中途の息抜きが適度	2.94	1.21	0.525**	0.072	-0.380#	0.363*	0.037	0.559
タ. メディアが適切に活用	2.24	1.16	0.679**	0.163	-0.114	0.164	-0.180	0.560
チ. 具体例が適切に活用	2.15	1.06	0.725**	0.016	-0.197	0.114	-0.059	0.581
リ. 講義の進捗が速い	3.13	1.19	-0.272	0.724**	0.187	-0.129	0.096	0.660
ル. 必要以上の専門語有	3.61	1.01	-0.253	0.620**	-0.120	0.243	0.336*	0.636
レ. 内容が盛りだくさん	2.31	1.08	0.290	0.625**	0.182	0.029	-0.027	0.509
因子寄与			7.100	1.593	1.061	0.954	0.834	11.542

(注: 有効データ数 = 4259 ; ** ≥ 0.5 , * ≥ 0.3 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 \geq * ≥ -0.5 , -0.5 \geq ##)

表 6-1-2 「放送大学教材についての学生調査」18 項目に関する全体のプロマックス回転

項 目	平均値	標準偏差	プロマックス回転因子負荷量					共通性
			FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	FACTOR4	FACTOR5	
イ. 重要なポイント明確	2.24	1.10	0.817**	0.073	-0.026	-0.062	-0.067	0.682
ロ. 流れに適合する	2.33	1.10	0.726**	0.094	-0.107	0.187	0.035	0.583
ハ. 視聴者の疑問の配慮	2.58	1.11	0.717**	-0.004	-0.053	0.138	0.195	0.574
ニ. わかりやすい番組	2.07	1.17	0.703**	-0.009	0.052	0.059	-0.241	0.557
ホ. 全体的に満足	2.05	1.08	0.630**	0.241	0.188	-0.085	-0.042	0.499
ヘ. 興味深い番組	1.84	1.02	0.515**	0.129	0.387*	-0.172	0.010	0.461
ケ. 印刷教材と適切関連	1.86	0.97	0.047	0.824**	-0.215	0.137	-0.037	0.748
コ. 印刷教材が充実に活用	2.32	1.08	0.175	0.623**	0.085	0.020	0.112	0.439
サ. 学習に密着した題材利用	2.20	1.11	0.332*	0.496**	0.037	-0.038	-0.019	0.359
シ. 授業で得た素材利用	2.46	1.16	0.011	-0.144	0.885**	0.131	0.013	0.822
ス. 図表などが適切利用	2.51	1.08	-0.001	-0.036	0.862**	0.084	0.018	0.752
セ. 図表などが適切利用	2.43	1.21	-0.223	0.248	0.096	0.784**	-0.085	0.742
ソ. 中途の息抜きが適度	2.94	1.21	0.286	-0.188	0.011	0.629**	0.034	0.514
タ. メディアが適切に活用	2.24	1.16	0.145	0.268	0.092	0.470*	0.054	0.325
チ. 具体例が適切に活用	2.15	1.06	0.286	0.088	0.181	0.419*	-0.057	0.301
リ. 講義の進捗が速い	3.13	1.19	-0.199	0.122	0.092	-0.215	0.736**	0.651
ル. 必要以上の専門語有	3.61	1.01	0.108	-0.342#	-0.099	0.117	0.715**	0.664
レ. 内容が盛りだくさん	2.31	1.08	0.047	0.356*	0.044	0.078	0.590**	0.485
因子寄与			3.294	1.859	1.855	1.616	1.534	10.158

(注: 有効データ数 = 4259 ; ** ≥ 0.5 , * ≥ 0.3 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 \geq * ≥ -0.5 , -0.5 \geq ##)

表 6-2-1 「放送大学教材についての学生調査」18項目に関する専門家の主成分分析

項 目	平均値	標準偏差	主成分分析因子負荷量					共通性
			FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	FACTOR4	FACTOR5	
1. 体系的に満足な番組	2.25	0.87	0.759**	0.177	-0.198	-0.161	0.168	0.701
2. 学習のペースが速い	2.55	0.75	0.497*	0.141	-0.280	0.026	0.278	0.423
3. 重要なポイントが明確	2.48	0.89	0.677**	0.047	-0.149	0.066	0.208	0.530
4. 視聴者の疑問の配慮	2.92	0.86	0.617**	-0.061	0.065	0.022	0.347*	0.509
5. 視聴者の疑問の配慮	2.08	0.87	0.682**	0.214	-0.157	-0.307#	0.047	0.632
6. 興味深い番組	2.45	0.91	0.623**	-0.320#	-0.080	-0.132	0.234	0.569
7. わかりやすい番組	2.64	0.96	0.600**	-0.065	0.283	-0.365#	-0.280	0.655
8. 生活に密着した題材	2.58	0.86	0.678**	0.121	0.203	-0.288	0.128	0.614
9. 学習のペースが速い	2.74	1.03	0.630**	-0.014	0.351*	0.026	-0.188	0.556
10. 重要なポイントが明確	2.43	0.89	0.697**	-0.091	0.151	-0.118	0.564	0.564
11. 視聴者の疑問の配慮	2.61	0.97	0.520**	0.073	0.256	0.341*	-0.437#	0.649
12. 興味深い番組	3.26	0.89	0.419*	-0.301#	0.346*	0.459*	0.226	0.648
13. 生活に密着した題材	2.96	0.88	0.673**	-0.091	0.216	0.288	0.210	0.634
14. 学習のペースが速い	3.20	0.79	-0.236	0.705**	0.247	-0.064	0.064	0.622
15. 重要なポイントが明確	2.62	0.83	0.088	0.720**	0.096	-0.059	0.117	0.552
16. 視聴者の疑問の配慮	3.51	0.78	-0.347#	0.401*	0.453*	0.198	0.261	0.594
17. 興味深い番組	2.48	0.87	0.401*	0.279	-0.498#	0.432*	-0.292	0.758
18. 生活に密着した題材	2.74	0.85	0.563**	0.292	-0.257	0.256	-0.166	0.561
因子 寄与			5.775	1.676	1.264	1.083	0.974	10.772

(注: 有効データ数 = 907 ; ** ≥ 0.5, 0.5 > * ≥ 0.3, -0.3 ≥ # > -0.5, -0.5 ≥ ##)

表 6-2-2 「放送大学教材についての学生調査」18項目に関する専門家のプロマックス回転

項 目	平均値	標準偏差	プロマックス回転因子負荷量					共通性
			FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	FACTOR4	FACTOR5	
1. 体系的に満足な番組	2.25	0.87	0.707**	0.174	-0.030	0.058	0.103	0.545
2. 学習のペースが速い	2.55	0.75	0.657**	-0.182	0.063	0.043	0.155	0.495
3. 重要なポイントが明確	2.48	0.89	0.600**	0.008	0.196	-0.014	0.152	0.421
4. 視聴者の疑問の配慮	2.92	0.86	0.584**	0.041	0.349*	0.029	-0.114	0.478
5. 視聴者の疑問の配慮	2.08	0.87	0.580**	0.340*	-0.193	0.077	0.046	0.498
6. 興味深い番組	2.45	0.91	0.550**	0.122	0.180	-0.297	-0.159	0.463
7. 生活に密着した題材	2.64	0.96	0.002	0.858**	-0.090	-0.059	-0.158	0.773
8. 学習のペースが速い	2.58	0.86	0.228	0.686**	-0.043	0.106	-0.071	0.541
9. 重要なポイントが明確	2.74	1.03	-0.020	0.623**	0.267	0.046	0.040	0.464
10. 視聴者の疑問の配慮	2.43	0.89	0.137	0.604**	0.092	-0.116	0.036	0.407
11. 視聴者の疑問の配慮	2.61	0.97	-0.319#	0.519**	0.297	0.023	0.444*	0.657
12. 興味深い番組	3.26	0.89	0.091	-0.1027	0.785**	-0.070	-0.019	0.630
13. 生活に密着した題材	2.96	0.88	0.347*	0.112	0.585**	0.032	0.058	0.480
14. 学習のペースが速い	3.20	0.79	-0.051	0.049	-0.127	0.760**	-0.029	0.599
15. 重要なポイントが明確	2.62	0.83	0.237	0.052	-0.112	0.697**	0.092	0.566
16. 視聴者の疑問の配慮	3.51	0.78	-0.145	-0.165	0.310*	0.652**	-0.188	0.604
17. 興味深い番組	2.48	0.87	0.124	-0.175	-0.047	-0.078	0.878**	0.826
18. 生活に密着した題材	2.74	0.85	0.251	0.059	0.034	0.060	0.596**	0.426
因子 寄与			2.731	2.504	1.500	1.634	1.503	9.872

(注: 有効データ数 = 907 ; ** ≥ 0.5, 0.5 > * ≥ 0.3, -0.3 ≥ # > -0.5, -0.5 ≥ ##)

表 6-3-1 「放送大学教材についての学生調査」18 項目に関する学生の主成分分析

項	目	平均値	標準偏差	主成分分析因子負荷量					共通性
				FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	FACTOR4	FACTOR5	
イ.	重要なポイント明確	2.18	1.14	0.746**	-0.211	0.153	0.154	0.236	0.704
ロ.	流れに合った緊急配慮	2.16	1.09	0.751**	-0.078	0.029	0.239	0.215	0.674
ハ.	視聴者の疑問の配慮	2.49	1.15	0.655**	0.110	0.035	0.277	0.231	0.572
ニ.	わかりやすい番組	1.97	1.21	0.742**	-0.321#	-0.013	0.094	0.170	0.692
ホ.	全体的に満足な番組	1.99	1.12	0.840**	-0.095	0.193	-0.029	0.107	0.765
ヘ.	興味深い番組	1.77	1.05	0.726**	-0.024	0.128	-0.196	0.218	0.650
カ.	教材と適切な関連	1.69	0.92	0.565**	0.022	0.353*	0.031	-0.472#	0.668
キ.	印刷教材が充実した教材	2.21	1.10	0.655**	0.175	0.320*	-0.081	-0.170	0.598
ク.	学習が有効な教材	2.10	1.16	0.664**	-0.013	0.305*	-0.042	-0.173	0.566
コ.	学習ペースが適切な教材	2.38	1.26	0.561**	0.157	-0.382#	0.151	-0.461#	0.721
シ.	図表などの息抜きが適度	2.85	1.27	0.523**	0.105	-0.454#	0.219	0.013	0.539
ス.	中身の息抜きが適度	2.10	1.16	0.670**	0.178	-0.126	0.107	-0.181	0.540
セ.	教材が適切に活用	2.07	1.09	0.725**	0.040	-0.211	0.123	-0.068	0.591
ソ.	生活に密着した教材	2.41	1.21	0.633**	0.198	-0.286	-0.501##	0.124	0.788
タ.	時宜を得た教材	2.50	1.14	0.655**	0.194	-0.205	-0.516##	0.052	0.778
チ.	習得の進捗が速い教材	3.11	1.28	-0.297	0.700**	0.256	-0.089	0.097	0.662
リ.	講義の進捗が速い教材	3.63	1.07	-0.237	0.626**	-0.083	0.304*	0.197	0.586
ル.	必要以上の専門語が盛り込まない	2.22	1.13	0.284	0.617**	0.155	0.092	0.048	0.496
因	因子 寄与			7.139	1.616	1.033	0.938	0.844	11.570

(注：有効データ数 = 3352； ** ≥ 0.5 、* ≥ 0.3 、 $0.5 > * \geq 0.3$ 、 $-0.3 \geq \# > -0.5$ 、 $-0.5 \geq \#\#$)

表 6-3-2 「放送大学教材についての学生調査」18 項目に関する学生のプロマックス回転

項	目	平均値	標準偏差	プロマックス回転因子負荷量					共通性
				FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	FACTOR4	FACTOR5	
イ.	重要なポイント明確	2.18	1.14	0.837**	0.079	-0.066	-0.052	-0.072	0.719
ロ.	流れに合った緊急配慮	2.16	1.09	0.797**	0.011	0.111	-0.066	0.035	0.653
ハ.	視聴者の疑問の配慮	2.49	1.15	0.734**	-0.009	0.126	-0.084	0.225	0.612
ニ.	わかりやすい番組	1.97	1.21	0.712**	0.002	0.061	0.039	-0.245	0.572
ホ.	全体的に満足な番組	1.99	1.12	0.629**	0.270	-0.059	0.146	-0.044	0.495
ヘ.	興味深い番組	1.77	1.05	0.528**	0.104	-0.157	0.375*	0.000	0.455
カ.	教材と適切な関連	1.69	0.92	-0.026	0.848**	0.141	-0.168	-0.050	0.771
キ.	印刷教材が充実した教材	2.21	1.10	0.192	0.595**	-0.012	0.102	0.141	0.421
ク.	学習が有効な教材	2.10	1.16	0.266	0.570**	-0.014	0.022	-0.025	0.397
コ.	学習ペースが適切な教材	2.38	1.26	-0.210	0.271	0.812**	0.043	-0.065	0.783
シ.	図表などの息抜きが適度	2.85	1.27	0.263	-0.229	0.599**	0.098	0.032	0.492
ス.	中身の息抜きが適度	2.10	1.16	0.166	0.252	0.446*	0.085	0.084	0.304
セ.	教材が適切に活用	2.07	1.09	0.329*	0.086	0.441*	0.111	-0.026	0.323
ソ.	生活に密着した教材	2.41	1.21	0.004	-0.126	0.125	0.889**	0.005	0.822
タ.	時宜を得た教材	2.50	1.14	-0.037	0.008	0.099	0.857**	-0.005	0.747
チ.	習得の進捗が速い教材	3.11	1.28	-0.236	0.099	-0.243	0.111	0.714**	0.647
リ.	講義の進捗が速い教材	3.63	1.07	0.054	-0.264	0.147	-0.154	0.694**	0.599
ル.	必要以上の専門語が盛り込まない	2.22	1.13	0.137	0.202	0.067	0.056	0.626**	0.459
因	因子 寄与			3.491	1.822	1.607	1.813	1.538	10.271

(注：有効データ数 = 3352； ** ≥ 0.5 、* ≥ 0.3 、 $0.5 > * \geq 0.3$ 、 $-0.3 \geq \# > -0.5$ 、 $-0.5 \geq \#\#$)

7. 1987年度『放送大学教材についての学生調査』の
下位集団別の因子尺度偏差値に関する基礎統計量

表 7 - 1 専門家の性別・年齢群別・所属機関別・学生調査尺度偏差値基礎統計量一覧

	性別		年齢群				所属機関		
	性		年 齢				所 属 機 関		
	男	女	3 歳 ~ 4 歳	4 歳 5 歳	5 歳 ~ 6 歳	6 歳 以上	国立大学	私立大学	短期大学
学：明解性・満足感・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値									
学：明解性・満足感・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	907	803	131	309	258	208	426	186	246
学：明解性・満足感・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	46.26	46.27	44.74	46.03	46.96	46.66	45.96	45.50	47.13
学：明解性・満足感・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	7.26	7.22	7.14	7.71	6.82	7.00	7.92	6.82	6.34
学：明解性・満足感・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	-0.181	-0.183	-0.074	-0.112	-0.448	-0.116	-0.210	-0.017	-0.089
学：明解性・満足感・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	20.97	20.97	25.11	20.97	21.33	26.78	21.33	26.78	20.97
学：明解性・満足感・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	65.46	65.46	63.50	65.26	65.46	65.31	65.46	65.26	65.31
学：印刷教材の適切性・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値									
学：印刷教材の適切性・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	907	803	131	309	258	208	426	186	246
学：印刷教材の適切性・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	44.51	44.53	43.29	44.40	44.75	45.15	44.55	44.95	44.14
学：印刷教材の適切性・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	8.04	8.10	7.92	8.33	8.15	7.46	8.01	8.23	7.83
学：印刷教材の適切性・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	0.204	0.214	0.282	0.233	0.197	0.142	0.171	0.130	0.295
学：印刷教材の適切性・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	16.61	16.61	23.16	23.83	16.61	27.59	16.61	23.16	23.83
学：印刷教材の適切性・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	67.03	67.03	66.47	66.66	67.03	66.01	67.03	66.66	66.47
学：素材の親近性・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値									
学：素材の親近性・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	907	803	131	309	258	208	426	186	246
学：素材の親近性・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	49.20	49.12	48.30	47.93	49.83	50.87	49.07	48.86	49.50
学：素材の親近性・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	8.17	8.06	8.95	8.28	7.76	7.59	8.41	8.71	7.31
学：素材の親近性・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	-0.205	-0.212	-0.083	-0.279	-0.099	-0.145	-0.151	-0.318	-0.092
学：素材の親近性・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	21.02	21.02	21.25	21.02	29.54	23.96	21.02	21.25	27.45
学：素材の親近性・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	70.39	70.39	70.39	67.12	67.69	66.99	70.39	67.64	66.99
学：メディアを活用した有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値									
学：メディアを活用した有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	907	803	131	309	258	208	426	186	246
学：メディアを活用した有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	46.74	46.58	45.19	46.45	47.48	47.24	46.59	46.22	47.16
学：メディアを活用した有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	7.85	7.96	7.44	7.91	8.03	7.63	8.21	7.70	7.12
学：メディアを活用した有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	-0.459	-0.455	-0.495	-0.376	-0.621	-0.434	-0.577	-0.243	-0.384
学：メディアを活用した有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	19.55	19.55	20.00	21.59	21.39	19.55	19.55	25.64	21.65
学：メディアを活用した有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	66.31	66.31	60.06	66.31	65.60	65.12	64.75	66.31	65.60
学：分量・専門度・進捗・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値									
学：分量・専門度・進捗・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	907	803	131	309	258	208	426	186	246
学：分量・専門度・進捗・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	48.91	48.97	47.84	48.90	48.94	49.51	48.59	49.39	49.27
学：分量・専門度・進捗・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	7.30	7.30	7.25	7.47	6.83	7.56	7.83	7.48	6.67
学：分量・専門度・進捗・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	-0.214	-0.220	-0.161	-0.420	-0.333	-0.137	-0.274	0.161	-0.444
学：分量・専門度・進捗・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	24.14	24.14	26.62	24.14	27.78	27.95	24.14	30.49	27.11
学：分量・専門度・進捗・有効性・平均値・標準偏差・最小値・最大値	72.86	71.44	67.67	69.51	66.77	72.86	71.44	72.86	66.40

表 7-3 専門家の理文×メデア別・講義形態別・講義形態×メデア別・学生調査尺度偏差値基礎統計量一覧

	総計	理文×メメディア				講義形態		講義形態×メメディア					
		理科× テレビ	理科× ラジオ	文科× テレビ	文科× ラジオ	講 1人	その他 の形態	1人× テレビ	1人× ラジオ	その他 テレビ	その他 ラジオ		
学：明解性・満足感(FACTOR1)													
有平標準量最	907	427	30	237	99	517	339	400	117	283	56		
効均偏	46.26	46.29	49.60	46.07	46.30	45.59	47.14	45.34	46.45	47.59	44.87		
標準	7.26	7.15	7.13	7.23	7.08	7.09	7.37	7.10	6.95	7.24	7.59		
小	-0.181	-0.076	-0.209	-0.300	0.139	-0.024	-0.405	0.011	-0.141	-0.539	0.232		
大	20.97	21.33	36.22	24.43	30.41	21.33	20.97	21.33	27.44	20.97	27.20		
	65.46	65.31	61.90	64.30	65.46	65.46	65.31	65.26	65.46	65.31	60.17		
学：印刷教材の適切性(FACTOR2)													
有平標準量最	907	427	30	237	99	517	339	400	117	283	56		
効均偏	44.51	45.31	44.13	42.96	44.94	44.90	43.93	45.14	44.08	43.86	44.24		
標準	8.04	8.05	8.15	7.93	7.93	7.92	8.01	7.94	7.83	7.99	8.12		
小	0.204	0.200	0.462	0.081	0.429	0.267	0.019	0.300	0.153	-0.162	0.927		
大	16.61	23.12	29.78	16.61	25.72	24.61	16.61	24.61	25.05	16.61	31.06		
	67.03	67.03	63.98	66.01	66.47	67.03	66.47	67.03	63.44	64.01	66.47		
学：素材の親近性(FACTOR3)													
有平標準量最	907	427	30	237	99	517	339	400	117	283	56		
効均偏	49.20	49.09	45.65	51.00	45.47	48.08	50.78	48.92	45.22	51.54	46.96		
標準	8.17	7.66	7.83	8.20	7.68	7.91	8.53	7.83	7.50	7.93	10.23		
小	-0.205	-0.214	-0.180	-0.232	0.078	-0.054	-0.447	-0.100	0.058	-0.415	-0.095		
大	21.02	26.21	27.75	30.13	21.25	23.96	21.02	26.21	23.96	29.48	21.02		
	70.39	67.12	62.70	66.99	64.19	67.12	70.39	67.12	64.19	66.98	70.39		
学：メメディア活用性(FACTOR4)													
有平標準量最	907	427	30	237	99	517	339	400	117	283	56		
効均偏	46.74	48.31	42.99	47.98	41.57	45.64	48.22	47.15	40.46	49.17	43.41		
標準	7.85	7.82	6.97	6.89	7.88	8.14	7.35	7.70	7.44	7.08	6.77		
小	-0.459	-0.546	-0.193	-0.436	-0.386	-0.416	-0.388	-0.513	-0.307	-0.343	-0.924		
大	19.55	21.39	27.48	24.21	19.55	19.55	20.00	21.39	19.55	24.21	20.00		
	66.31	66.31	56.43	65.18	58.15	64.75	66.31	64.75	58.15	66.31	56.43		
学：分量・専門度・進度(FACTOR5)													
有平標準量最	907	427	30	237	99	517	339	400	117	283	56		
効均偏	48.91	49.70	46.94	48.08	47.77	49.78	47.73	50.13	48.59	47.43	49.24		
標準	7.30	7.19	7.29	7.11	7.70	7.50	7.07	7.31	8.03	6.98	7.34		
小	-0.214	-0.078	0.451	-0.444	-0.188	-0.264	-0.232	-0.248	-0.240	-0.160	-0.659		
大	24.14	27.78	31.31	25.82	24.14	24.14	25.82	27.11	24.14	25.82	28.32		
	72.86	71.44	66.64	64.59	72.86	72.86	66.40	71.44	72.86	66.40	64.19		

表 7 - 4 専門家の視聴量別・視聴質別・利用希望形態別・想定相当単位数別・学生調査尺度偏差値基礎統計量一覧

	総計	視 聴 量			視 聴 質		利用希望形態			想定相当単位数						
		5週 以下	6～ 11	12 以上	じっくり ある程度	表面 的	全面 利用	参考 資料	研究 材料	図書 室で	0 単位	1 単位	2 単位	3 以上		
学：明解性・満足感(FACTOR1)																
有効度	907	335	310	243	284	501	112	67	614	210	477	193	146	306	113	
平均偏差	46.3	47.1	46.4	45.0	47.5	46.0	44.4	48.3	46.7	47.0	46.8	44.6	46.4	47.1	46.7	
標準偏差	7.3	7.8	6.5	7.2	8.0	6.9	6.5	7.4	6.7	7.5	7.3	7.5	6.9	7.1	7.6	
最小値	-0.18	-0.22	-0.09	-0.14	-0.34	-0.26	0.26	-0.51	-0.09	-0.22	-0.19	-0.24	-0.39	-0.25	-0.08	
最大値	21.0	22.5	26.8	21.3	21.0	21.3	28.6	27.9	26.8	24.4	21.3	21.3	21.0	22.5	28.4	
	65.5	65.5	63.4	65.3	65.5	65.3	62.8	63.2	65.3	65.5	65.3	65.1	62.5	65.3	63.4	
学：印刷教材の適切性(FACTOR2)																
有効度	907	335	310	243	284	501	112	67	614	210	477	193	146	306	113	
平均偏差	44.5	45.6	44.1	43.3	46.1	44.3	41.6	49.0	44.6	46.8	45.0	43.0	43.6	45.7	46.9	
標準偏差	8.0	8.5	7.6	7.8	9.0	7.4	7.5	8.7	7.9	7.9	7.8	8.1	7.3	8.0	8.6	
最小値	0.20	0.11	0.12	0.36	0.07	0.08	0.64	0.08	0.16	0.26	0.20	0.42	0.24	0.15	0.00	
最大値	16.6	16.6	23.1	23.2	16.6	23.1	23.2	32.1	16.6	29.2	23.1	23.2	23.1	25.7	25.1	
	67.0	67.0	66.7	64.0	67.0	66.3	66.5	66.7	66.7	67.0	66.7	67.0	63.2	66.7	66.4	
学：素材の親近性(FACTOR3)																
有効度	907	335	310	243	284	501	112	67	614	210	477	193	146	306	113	
平均偏差	49.2	50.3	49.4	47.3	51.2	48.6	46.8	52.7	49.7	51.2	49.9	47.7	49.9	49.9	49.7	
標準偏差	8.2	8.0	8.1	8.2	8.4	8.1	7.0	7.7	7.8	7.9	8.2	7.9	7.9	8.2	8.2	
最小値	-0.21	-0.31	-0.24	-0.05	-0.21	-0.33	-0.06	-0.19	-0.18	-0.35	-0.31	-0.15	-0.31	-0.21	-0.26	
最大値	21.0	24.0	21.0	21.2	27.7	21.0	27.5	31.4	24.0	21.2	21.0	21.0	27.5	24.0	29.8	
	70.4	67.1	70.4	67.6	70.4	67.6	65.0	70.4	70.4	70.4	70.4	66.5	66.7	67.7	70.4	
学：メディア活用性(FACTOR4)																
有効度	907	335	310	243	284	501	112	67	614	210	477	193	146	306	113	
平均偏差	46.7	47.1	46.7	46.3	47.0	46.4	47.7	48.4	47.1	46.2	47.1	46.0	47.6	46.8	44.3	
標準偏差	7.8	8.0	7.5	8.1	8.8	7.7	5.8	8.6	7.9	7.2	8.1	7.6	6.6	8.3	9.4	
最小値	-0.46	-0.38	-0.53	-0.53	-0.45	-0.48	-0.12	-1.05	-0.49	-0.56	-0.42	-0.17	-0.53	-0.36	-0.56	
最大値	19.5	21.6	20.0	19.5	20.0	19.5	32.0	20.0	19.5	20.0	19.5	21.4	27.2	19.5	20.0	
	66.3	65.6	63.5	66.3	66.3	65.6	63.5	66.3	65.6	65.6	66.3	64.2	61.2	66.3	63.0	
学：分量・専門度・進度(FACTOR5)																
有効度	907	335	310	243	284	501	112	67	614	210	477	193	146	306	113	
平均偏差	48.9	48.8	48.7	49.0	48.1	49.2	49.8	50.1	48.8	49.3	48.4	50.0	48.3	47.9	49.7	
標準偏差	7.3	7.5	7.2	7.1	7.9	7.1	6.5	6.2	7.2	8.0	7.4	7.2	7.8	7.4	7.1	
最小値	-0.21	-0.11	-0.20	-0.50	-0.13	-0.14	-0.76	0.16	-0.13	-0.33	-0.28	-0.49	-0.19	0.07	-0.11	
最大値	24.1	27.8	24.1	25.8	27.8	25.9	24.1	33.9	27.1	24.1	25.8	24.1	27.1	26.6	27.8	
	72.9	72.9	71.4	69.5	69.8	72.9	71.4	69.8	72.9	71.4	69.5	72.9	69.8	71.4	71.4	

表 7-5 放送大学学生の性別・年齢群別・学生種別・学生調査尺度偏差値基礎統計量一覧

	性 別		年 齢				群		学 生 種 別		
	性 別		年 齢				群		学 生 種 別		
	男	女	2 4 歳	2 5 ~ 3 4 歳	3 5 ~ 4 4 歳	4 5 ~ 5 4 歳	5 5 歳 以 上	全 履 修 生	選・科 履 修 生	特 修 生	
学：明解性・満足感(FACTOR1)											
総 計	3352	1493	1859	346	649	1096	771	490	2616	522	214
数 値	51.01	50.24	51.63	48.76	48.90	51.03	52.20	53.48	50.66	52.13	52.61
均 偏	10.39	10.55	10.22	10.26	10.79	10.33	10.19	9.50	10.56	9.57	9.93
差 度	-0.792	-0.737	-0.839	-0.766	-0.651	-0.754	-0.870	-1.061	-0.742	-0.982	-0.976
準 小	10.16	10.16	14.27	10.16	14.27	18.41	19.68	17.06	14.27	10.16	18.41
大 最	69.63	68.37	69.63	67.46	68.49	68.02	69.63	68.19	68.49	69.63	67.55
学：印刷教材の適切性(FACTOR2)											
総 計	3352	1493	1859	346	649	1096	771	490	2616	522	214
数 値	51.49	49.67	52.95	49.60	50.12	51.50	52.15	53.55	51.09	52.71	53.36
均 偏	9.96	10.14	9.57	10.19	10.29	9.78	9.89	9.33	10.12	9.12	9.41
差 度	-0.593	-0.533	-0.640	-0.468	-0.440	-0.501	-0.799	-0.785	-0.552	-0.722	-0.730
準 小	11.15	11.15	13.62	20.56	16.62	11.15	13.62	18.84	11.15	16.63	19.22
大 最	74.02	72.44	74.02	68.55	71.76	74.02	71.89	72.44	74.02	70.61	69.59
学：素材の親近性(FACTOR3)											
総 計	3352	1493	1859	346	649	1096	771	490	2616	522	214
数 値	50.22	49.21	51.03	48.17	49.14	50.41	50.73	51.85	49.97	50.93	51.43
均 偏	10.43	10.54	10.27	9.45	10.25	10.44	10.74	10.44	10.54	10.04	9.83
差 度	-0.473	-0.388	-0.544	-0.302	-0.361	-0.461	-0.584	-0.697	-0.439	-0.565	-0.683
準 小	14.82	14.82	18.32	16.39	18.32	19.31	14.82	20.44	14.82	20.44	20.01
大 最	73.76	73.76	71.06	71.79	73.76	70.75	71.06	68.22	71.79	69.37	73.76
学：メディアの活用性(FACTOR4)											
総 計	3352	1493	1859	346	649	1096	771	490	2616	522	214
数 値	50.88	50.06	51.54	50.28	50.38	50.97	51.01	51.55	50.99	49.94	51.86
均 偏	10.33	10.36	10.26	9.04	9.55	10.57	11.14	10.28	10.35	10.42	9.77
差 度	-0.353	-0.361	-0.348	-0.149	-0.195	-0.411	-0.395	-0.461	-0.361	-0.319	-0.319
準 小	15.88	16.22	15.88	26.87	20.74	15.88	18.42	21.10	15.88	20.63	24.51
大 最	80.14	80.14	78.18	75.88	71.99	78.18	80.14	72.63	80.14	72.63	72.24
学：分量・専門度・進歩(FACTOR5)											
総 計	3352	1493	1859	346	649	1096	771	490	2616	522	214
数 値	50.30	50.58	50.07	51.67	50.44	50.44	49.47	50.13	50.26	50.08	51.30
均 偏	10.59	10.24	10.86	9.67	10.06	10.22	11.52	11.06	10.70	10.12	10.41
差 度	0.038	0.092	0.009	0.023	0.156	0.032	-0.057	0.223	-0.008	0.317	0.026
準 小	20.15	21.00	20.15	20.90	24.37	20.53	20.15	22.86	20.15	23.54	22.86
大 最	81.03	80.75	81.03	80.73	79.09	81.03	79.48	80.37	81.03	80.73	76.55

表 7-6 放送大学学生のメディア別・科目分類別・理文別・学生調査尺度基礎統計量一覧

	メディア				科目分類				理系・文系				理文×メディア			
	総計		テレビ		ラジオ		基礎		理系科目		文系科目		理科×テレビ		文科×テレビ	
	数	値	数	値	数	値	数	値	数	値	数	値	数	値	数	値
学：明解性・満足感(FACTOR1)																
有効度	3352	2027	1325	1750	651	951	726	1975	726	1975	674	52	674	52	957	1018
平均値	51.01	52.33	48.99	52.04	47.25	51.70	51.46	52.09	51.46	52.09	51.61	49.41	51.61	49.41	53.68	50.60
標準偏差	10.39	9.27	11.62	9.47	12.45	9.88	9.19	9.76	9.19	9.76	9.11	9.95	9.11	9.95	8.48	10.61
最小値	-0.792	-0.844	-0.586	-0.850	-0.469	-0.693	-0.738	-0.809	-0.738	-0.809	-0.782	-0.482	-0.782	-0.482	-0.847	-0.664
最大値	10.16	17.06	10.16	17.58	10.16	17.43	19.73	17.43	19.73	17.43	19.73	20.97	17.43	20.97	17.43	17.45
	69.63	68.49	69.63	69.63	68.49	68.17	68.19	69.63	68.19	69.63	68.19	66.14	68.19	66.14	68.37	69.63
学：印刷教材の適切性(FACTOR2)																
有効度	3352	2027	1325	1750	651	951	726	1975	726	1975	674	52	674	52	957	1018
平均値	51.49	52.69	49.65	51.46	52.80	50.63	51.77	50.95	51.77	50.95	52.05	48.15	52.05	48.15	52.25	49.72
標準偏差	9.96	9.39	10.50	9.84	9.94	10.09	9.84	9.96	9.84	9.96	9.72	10.68	9.72	10.68	9.28	10.41
最小値	-0.593	-0.629	-0.483	-0.601	-0.609	-0.580	-0.670	-0.569	-0.670	-0.569	-0.715	-0.136	-0.715	-0.136	-0.553	-0.553
最大値	11.15	11.15	13.62	13.62	11.15	14.65	14.65	13.62	14.65	13.62	14.65	26.58	14.65	26.58	19.63	13.62
	74.02	72.79	74.02	74.02	72.44	72.79	70.53	74.02	70.53	74.02	70.53	68.56	70.53	68.56	72.79	74.02
学：素材の親近性(FACTOR3)																
有効度	3352	2027	1325	1750	651	951	726	1975	726	1975	674	52	674	52	957	1018
平均値	50.22	52.42	46.84	50.02	48.25	51.92	51.80	50.28	51.80	50.28	52.14	47.42	52.14	47.42	53.35	47.39
標準偏差	10.43	9.44	10.96	10.01	11.83	9.88	9.41	10.18	9.41	10.18	9.33	9.38	9.33	9.38	8.82	10.53
最小値	-0.473	-0.603	-0.188	-0.395	-0.443	-0.509	-0.448	-0.412	-0.448	-0.412	-0.504	-0.234	-0.504	-0.234	-0.553	-0.175
最大値	14.82	14.82	16.84	16.84	14.82	22.76	23.17	16.84	23.17	16.84	23.17	30.83	23.17	30.83	26.39	16.84
	73.76	73.76	71.05	73.76	68.34	70.75	73.76	71.05	73.76	71.05	73.76	66.57	73.76	66.57	69.95	71.05
学：メディア活用性(FACTOR4)																
有効度	3352	2027	1325	1750	651	951	726	1975	726	1975	674	52	674	52	957	1018
平均値	50.88	54.58	45.22	52.44	46.04	51.34	55.60	50.74	55.60	50.74	56.25	47.15	56.25	47.15	55.21	46.54
標準偏差	10.33	8.67	10.11	9.82	10.91	9.84	8.25	10.05	8.25	10.05	7.90	7.95	7.90	7.95	8.32	9.73
最小値	-0.353	-0.440	0.016	-0.418	-0.096	-0.280	-0.552	-0.246	-0.552	-0.246	-0.576	-0.041	-0.576	-0.041	-0.400	0.047
最大値	15.88	22.20	15.88	16.82	15.88	20.36	26.54	16.82	26.54	16.82	26.54	30.84	26.54	30.84	22.20	16.82
	80.14	80.14	71.85	75.88	80.14	78.18	75.88	78.18	75.88	78.18	75.88	63.26	75.88	63.26	78.18	71.85
学：分量・専門度・進度(FACTOR5)																
有効度	3352	2027	1325	1750	651	951	726	1975	726	1975	674	52	674	52	957	1018
平均値	50.30	50.53	49.93	49.33	54.80	48.98	51.25	48.46	51.25	48.46	51.49	48.12	51.49	48.12	48.24	48.66
標準偏差	10.59	10.36	10.93	10.17	10.68	10.48	10.65	10.04	10.65	10.04	10.68	9.77	10.68	9.77	9.65	10.38
最小値	0.038	0.036	0.051	0.062	-0.218	0.077	0.052	0.043	0.052	0.043	0.061	-0.255	0.061	-0.255	0.057	0.024
最大値	20.15	21.19	20.15	20.15	21.61	21.00	22.07	20.15	22.07	20.15	22.07	26.09	22.07	26.09	21.19	20.15
	81.03	80.73	81.03	80.37	81.03	80.73	80.73	79.48	80.73	79.48	80.73	68.40	80.73	68.40	76.55	79.48

表 7-7 放送大学学生の専攻別・評価群別・学生調査尺度基礎統計量一覧

	専攻										評価		群
	専攻					専攻					評価		
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	80点以上	60～79点	59点以下	不受験			
学：理解性・満足度 有平標準量最	総計	3352	383	575	323	286	698	351	876	1363	618	495	不受験 無資格
	数値	51.01	51.05	51.24	49.84	49.62	51.73	48.75	55.36	52.53	45.07	46.57	
	偏差	10.39	10.22	10.36	11.12	9.72	10.62	10.84	7.89	9.42	11.54	10.34	
	均偏	-0.792	-0.713	-0.902	-0.742	-0.406	-0.824	-0.649	-1.182	-0.816	-0.319	-0.427	
	小大	10.16	16.03	14.27	19.13	19.70	17.45	17.58	17.43	18.41	14.27	10.16	
学：印刷教材の適切性 有平標準量最	総計	69.63	68.02	68.49	68.37	66.52	67.76	66.14	68.03	69.63	66.77	68.03	
	数値	3352	383	575	323	286	698	351	876	1363	618	495	
	偏差	51.49	51.99	51.67	48.88	48.79	52.51	50.25	53.95	52.40	48.72	48.06	
	均偏	9.96	9.74	9.67	10.12	9.38	10.31	10.73	8.83	9.17	11.29	10.41	
	小大	-0.593	-0.484	-0.519	-0.453	-0.521	-0.749	-0.519	-0.647	-0.602	-0.420	-0.294	
学：素材の親近性 有平標準量最	総計	74.02	74.02	71.76	72.45	67.99	71.91	72.44	74.02	72.79	72.44	70.61	
	数値	3352	383	575	323	286	698	351	876	1363	618	495	
	偏差	50.22	50.69	49.92	48.32	49.17	51.00	49.43	52.39	51.19	46.87	47.87	
	均偏	10.43	10.23	10.38	10.52	10.22	10.98	10.24	9.59	10.17	11.15	10.17	
	小大	-0.473	-0.485	-0.392	-0.383	-0.223	-0.566	-0.502	-0.525	-0.507	-0.317	-0.355	
学：メディア活用性 有平標準量最	総計	73.76	69.95	69.29	70.75	69.06	71.06	71.79	71.79	73.76	67.71	68.34	
	数値	3352	383	575	323	286	698	351	876	1363	618	495	
	偏差	50.88	51.72	51.52	49.15	51.04	50.85	51.25	52.60	51.67	48.46	48.71	
	均偏	10.33	10.95	9.43	10.06	9.59	10.94	10.54	10.19	10.14	10.50	9.96	
	小大	-0.353	-0.448	-0.371	-0.049	-0.493	-0.345	-0.465	-0.475	-0.423	-0.233	-0.152	
学：分量・専門度・進度 有平標準量最	総計	80.14	78.18	75.88	80.14	70.09	71.85	70.47	78.18	72.96	75.88	80.14	
	数値	3352	383	575	323	286	698	351	876	1363	618	495	
	偏差	50.30	51.20	50.10	50.58	51.76	49.34	49.77	47.70	48.91	54.49	53.46	
	均偏	10.59	11.07	10.26	10.28	10.24	11.30	10.24	10.17	10.24	10.21	10.43	
	小大	0.038	0.055	-0.104	0.105	0.096	-0.039	0.022	0.230	0.048	-0.115	-0.215	
学：分量・専門度・進度 有平標準量最	総計	20.15	24.57	21.00	24.31	24.27	20.15	25.46	20.15	21.00	24.57	20.90	
	数値	81.03	80.75	81.01	78.36	80.37	81.03	76.55	81.03	81.01	80.75	80.73	
	偏差	50.30	51.20	50.10	50.58	51.76	49.34	49.77	47.70	48.91	54.49	53.46	
	均偏	10.59	11.07	10.26	10.28	10.24	11.30	10.24	10.17	10.24	10.21	10.43	
	小大	0.038	0.055	-0.104	0.105	0.096	-0.039	0.022	0.230	0.048	-0.115	-0.215	

8. 1987年度『放送大学教材についての学生調査』の
因子尺度偏差値・質問項目間の相関係数

表 8-1-1 学生調査尺度偏差値・調査項目等の全体の相関係数行列

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	学生調査 18 評定項目因子尺度					科目分類	
			有効数	明解性 満足感	印刷教材 適切性	素材の 親近性	メディア 活用性	量・進度 専門度	メディア 理・文
Q15. 明解性・満足感	50.00	10.00	4259	1.000	0.489*	0.507**	0.448*	-0.164	-0.100
Q15. 印刷教材の適切性	50.00	10.00	4259	0.489*	1.000	0.480*	0.288	-0.047	-0.074
Q15. 素材の親近性	50.00	10.00	4259	0.507**	0.480*	1.000	0.350*	-0.050	-0.025
Q15. メディアの活用性	50.00	10.00	4259	0.448*	0.288	0.350*	1.000	0.006	0.127
Q15. 分量・専門度	50.00	10.00	4259	-0.164	-0.047	-0.050	0.006	1.000	0.107
評定者：性別 (男<女)	1.45	0.50	4470	0.125	0.234	0.090	0.126	-0.002	0.063
評定者：年齢 (10<19)	42.45	12.26	4491	0.116	0.059	0.103	0.025	-0.029	0.035
評定者：文系 (文<理)	1.36	0.48	4492	-0.100	-0.074	-0.242	-0.386*	-0.017	1.000
理系	1.34	0.47	3678	-0.084	-0.030	0.025	0.127	0.107	-0.415#
ア. わかりやすい番組 (6)	2.06	1.17	4435	-0.790##	-0.388#	-0.436#	-0.388#	0.358*	0.130
イ. 重要ポイント明確 (9)	2.24	1.10	4399	-0.823##	-0.446#	-0.405#	-0.316#	0.204	0.087
ウ. 流れがスムーズ (10)	2.33	1.10	4393	-0.795##	-0.449#	-0.369#	-0.502##	0.082	0.072
エ. 視聴者の疑問に答えている (14)	2.58	1.11	4393	-0.718##	-0.352#	-0.347#	-0.441#	-0.081	0.064
オ. 内容が盛りだくさん (15)	2.31	1.09	4393	-0.182	-0.394#	-0.236	-0.220	-0.564##	-0.064
カ. メディアが上手に活用されている (16)	2.24	1.16	4373	-0.524##	-0.515##	-0.455#	-0.645##	-0.016	-0.059
キ. 身体を動かして学習している (19)	2.15	1.05	4373	-0.618##	-0.437#	-0.517##	-0.635##	0.115	0.044
ク. 必要以上の語彙を覚えている (21)	3.60	1.01	4384	0.175	0.337*	0.204	-0.037	-0.720##	0.015
ケ. 印刷教材と適切な活用 (22)	1.86	0.97	4387	-0.409#	-0.785##	-0.254	-0.320#	0.072	0.018
コ. 図表などが適切に活用されている (23)	2.44	1.21	4350	-0.312#	-0.414#	-0.380#	-0.788##	0.060	0.362*
シ. 中身の息抜きが適度 (28)	2.93	1.21	4374	-0.476#	-0.137	-0.284	-0.707##	0.001	0.219
ス. 興味深い番組に密着した題材 (30)	1.83	1.02	4408	-0.695##	-0.517##	-0.649##	-0.231	0.101	-0.009
セ. 生活に密着した題材 (32)	2.46	1.16	4386	-0.446#	-0.323#	-0.867##	-0.405#	0.026	0.252
ソ. 時宜を得た素材利用 (33)	2.51	1.08	4370	-0.454#	-0.401#	-0.873##	-0.375#	0.024	0.183
タ. 講義の進度が速い (38)	3.12	1.19	4386	0.310*	0.028	0.062	0.233	-0.757##	-0.025
チ. 印刷教材が充実している (41)	2.32	1.07	4393	-0.514##	-0.750##	-0.474#	-0.308#	-0.049	0.044
ツ. 印刷教材の適切な活用 (44)	3.62	1.17	4341	-0.157	-0.106	-0.201	-0.184	-0.197	0.039
テ. 学習ペースが適切 (45)	2.20	1.11	4376	-0.579##	-0.666##	-0.431#	-0.266	0.099	0.083
ト. 全体的に満足な番組 (46)	2.04	1.07	4391	-0.812##	-0.617##	-0.595##	-0.332#	0.167	0.071

(注：** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 \geq # $>$ -0.5, -0.5 \geq ##)

表 8-1-1-2 学生調査尺度偏差値・調査項目等の全体のテレビ科目についての相関係数行列

学生調査 18 評定項目因子尺度										その他の分類	
因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	明解性 満足感	印刷教材 適切性	素材の 親近性	メディア 活用性	量・進 度・専門度	評定者 年齢	理・文 科・理・文	
Q15・明解性・満足感	50.74	9.18	2751	1.000	0.470*	0.504**	0.474*	-0.132	0.048	-0.147	
Q15・印刷教材の適切性	50.55	9.74	2751	0.470**	1.000	0.468*	0.336*	-0.022	0.016	-0.050	
Q15・素材の親近性	51.79	9.12	2751	0.504**	0.468*	1.000	0.298	-0.075	0.119	-0.109	
Q15・メディア活用性	52.86	8.84	2751	0.474*	0.336*	0.298	1.000	0.014	0.027	-0.035	
Q15・分量・専門度	50.13	9.65	2751	-0.132	-0.022	-0.075	0.014	1.000	-0.058	0.137	
評定者：性別（男＜女）	1.43	0.49	2859	0.181	0.296	0.158	0.211	-0.008	-0.098	-0.270	
評定者：年齢（12.24 V＜F M）	42.13	12.24	2877	0.048	0.016	0.119	0.027	-0.058	1.000	-0.008	
メディア：文系（文＜理）	1.00	0.00	2878								
理系：文系（文＜理）	1.48	0.50	2395	-0.147	-0.050	-0.109	-0.035	0.137	-0.008	1.000	
ア・わかりやすい番組（6）	1.95	1.09	2844	-0.769##	-0.364#	-0.414#	-0.369#	0.343*	-0.025	0.191	
イ・重要なポイント明確（9）	2.17	1.03	2824	-0.795##	-0.420#	-0.398#	-0.299	0.169	-0.050	0.078	
ウ・流れに合った緩急有（10）	2.26	1.06	2820	-0.781##	-0.456#	-0.356#	-0.527##	0.055	-0.019	0.100	
エ・視聴者の疑問の配慮（14）	2.53	1.08	2820	-0.709##	-0.326#	-0.335#	-0.452#	-0.103	-0.071	0.119	
オ・内容が盛りだくさん（15）	2.24	1.06	2820	-0.222	-0.426#	-0.220	-0.255	-0.560##	0.069	-0.057	
カ・メディアが特性活用（16）	1.94	1.05	2814	-0.514##	-0.563##	-0.419#	-0.594##	-0.021	0.054	0.084	
キ・具体例が適切に有（19）	1.99	0.98	2813	-0.592##	-0.450#	-0.508##	-0.636##	0.098	-0.065	0.154	
ク・必要以上の語有（21）	3.59	0.99	2819	0.184	0.340*	0.248	-0.003	-0.717##	0.030	-0.075	
ク・印刷教材と関連連（22）	1.84	0.94	2816	-0.414#	-0.792##	-0.264	-0.399#	0.037	0.031	0.096	
コ・図表などが適切利用（23）	2.11	1.06	2804	-0.298	-0.462#	-0.319#	-0.738##	0.055	-0.094	-0.056	
シ・中途の息抜きが適度（28）	2.73	1.19	2814	-0.487#	-0.133	-0.236	-0.694##	-0.004	-0.020	-0.025	
ス・興味深い番組（30）	1.74	0.92	2831	-0.667##	-0.494#	-0.633##	-0.235	0.091	-0.041	0.046	
セ・生徒に密着した題材（32）	2.24	1.08	2818	-0.451#	-0.311#	-0.849##	-0.336#	0.040	-0.086	0.235	
ソ・時宜を得た素材利用（33）	2.36	1.01	2809	-0.461#	-0.383#	-0.862##	-0.349#	0.053	-0.120	-0.008	
タ・講義の進度が速い（38）	3.14	1.16	2819	0.285	0.006	0.065	0.235	-0.749##	0.026	-0.158	
チ・印刷教材が充実（41）	2.28	1.04	2825	-0.496#	-0.750##	-0.465#	-0.361#	-0.066	-0.071	0.053	
ツ・印刷教材の練習有（44）	3.55	1.15	2793	-0.103	-0.060	-0.109	-0.124	-0.219	-0.050	0.024	
テ・学習ペースに合わせた番組（45）	2.14	1.04	2809	-0.555##	-0.650##	-0.397#	-0.273	0.080	-0.068	0.081	
ト・全体的に満足な番組（46）	1.95	0.99	2821	-0.786##	-0.593##	-0.591##	-0.334#	0.138	-0.092	0.063	

(注：** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 \geq # $>$ -0.5, -0.5 \geq ##)

表 8-1-3 学生調査尺度偏差値・調査項目等の全体のラジオ科目についての相関係数行列

因子尺度・項目	学生調査 18 評定項目因子尺度										その他の分類	
	平均値	標準偏差	有効数	明解性 満足感	印刷教材 適切性	素材の 親近性	メ 活用性	量・進 専門度	評定 年齢	理・文 科	理・文 科	理・文 科
Q15. 明解性・満足感	48.65	11.22	1508	1.000	0.511**	0.495*	0.411*	-0.214	0.227	-0.018		
Q15. 印刷教材の適切性	49.00	10.39	1508	0.511**	1.000	0.492*	0.199	-0.090	0.139	-0.064		
Q15. 素材の親近性	46.74	10.69	1508	0.495*	0.492*	1.000	0.271	-0.030	0.105	-0.011		
Q15. メディアの活用性	44.79	9.89	1508	0.411*	0.199	0.271	1.000	-0.021	0.058	-0.013		
Q15. 分量・専門度・進度	49.77	10.60	1508	-0.214	-0.090	-0.030	-0.021	1.000	0.019	-0.022		
評定者：性別 (男<女)	1.49	0.50	1611	0.063	0.147	0.038	0.097	0.013	-0.107	-0.198		
評定者：年齢 (1 V<F M)	43.03	12.29	1614	0.227	0.139	0.105	0.058	0.019	1.000	-0.032		
理系・文系 (文<理)	2.00	0.00	1614									
	1.07	0.25	1283	-0.018	-0.064	-0.011	-0.013	-0.022	-0.032	1.000		
ア. わかりやすい番組 (6)	2.27	1.28	1591	-0.812##	-0.410#	-0.425#	-0.361#	0.395*	-0.147	0.014		
イ. 重要ない番組 (9)	2.37	1.19	1575	-0.857##	-0.475#	-0.392#	-0.310#	0.261	-0.219	0.032		
ウ. 流れに適切な番組 (10)	2.45	1.16	1573	-0.813##	-0.431#	-0.367#	-0.488#	0.127	-0.211	0.046		
エ. 視聴者の疑問の配慮 (14)	2.68	1.15	1573	-0.732##	-0.384#	-0.351#	-0.449#	-0.043	-0.179	0.008		
オ. 内容が盛りだくさん (15)	2.42	1.13	1573	-0.110	-0.334#	-0.230	-0.130	-0.571##	-0.023	0.022		
カ. メディアが活用 (16)	2.78	1.17	1559	-0.540##	-0.464#	-0.393#	-0.585##	0.003	-0.145	0.057		
キ. 具体例が適切 (19)	2.43	1.12	1560	-0.641##	-0.407#	-0.474#	-0.592##	0.153	-0.125	0.028		
ク. 必要ない番組 (21)	3.62	1.05	1565	0.169	0.338*	0.164	-0.081	-0.724##	0.006	-0.004		
ケ. 印刷教材と適切な関係 (22)	1.88	1.02	1571	-0.404#	-0.777##	-0.247	-0.244	0.128	-0.096	0.079		
コ. 図表などが適切 (23)	3.02	1.24	1546	-0.297	-0.352#	-0.328#	-0.776##	0.093	-0.019	-0.015		
シ. 中身の抜きが適切 (28)	3.28	1.16	1560	-0.446#	-0.106	-0.257	-0.689##	0.020	-0.110	0.015		
ス. 興味深い番組 (30)	1.99	1.15	1577	-0.721##	-0.542##	-0.655##	-0.155	0.122	-0.136	-0.012		
セ. 生活に密着した番組 (32)	2.86	1.21	1568	-0.420#	-0.323#	-0.871##	-0.552#	0.018	-0.095	0.062		
ソ. 時宜を得た番組 (33)	2.77	1.16	1561	-0.425#	-0.413#	-0.878##	-0.313#	-0.010	-0.128	-0.016		
タ. 講義の進度が速い (38)	3.08	1.24	1567	0.344*	0.059	0.049	0.255	-0.771##	-0.032	0.025		
チ. 印刷教材が充実 (41)	2.38	1.13	1568	-0.537##	-0.749##	-0.495#	-0.244	-0.022	-0.179	0.051		
ツ. 印刷教材の演習 (44)	3.75	1.19	1548	-0.218	-0.167	-0.304#	-0.223	-0.160	-0.115	0.015		
テ. 学習ペース作り (45)	2.30	1.21	1567	-0.604##	-0.686##	-0.465#	-0.236	0.131	-0.180	0.047		
ト. 全体的に満足 (46)	2.20	1.19	1570	-0.839##	-0.648##	-0.584##	-0.284	0.215	-0.203	0.004		

(注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq ##$)

表 8 - 2 - 1 学生調査尺度偏差値・調査項目等の専門家の相関係数行列 (その 1)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	学生調査 18 評定項目因子尺度					科目分類	
			有効数	明解性 満足感	印刷教材 適切性	素材の 親近性	メディア 活用性	量・進 専門度	メディア 理・文
Q15. 明解性・満足感	46.26	7.26	907	1.000	0.318*	0.500*	0.363*	-0.185	-0.009
Q15. 印刷教材の適切性	44.51	8.04	907	0.318*	1.000	0.379*	0.138	-0.052	-0.012
Q15. 素材の親近性	49.20	8.17	907	0.500*	0.379*	1.000	0.275	-0.112	-0.201
Q15. メディアの活用性	46.74	7.85	907	0.363*	0.138	0.275	1.000	-0.094	-0.325#
Q15. 分量・専門度	48.91	7.30	907	-0.185	-0.052	-0.112	-0.094	1.000	-0.019
評定者：年齢	45.90	10.36	977	0.082	0.057	0.131	0.091	0.035	-0.044
評定者：職位 (教授 < 講師)	1.98	1.02	969	-0.045	-0.077	-0.110	-0.062	-0.048	0.059
評定者：性別 (男 < 女)	1.10	0.30	956	-0.032	-0.007	0.032	0.051	-0.028	-0.024
評定者：文系 (文 < 理)	1.21	0.41	978	-0.009	-0.012	-0.201	-0.325#	-0.019	-0.161
理系	1.57	0.50	855	0.025	0.104	-0.031	0.117	0.104	1.000
Q2. 視聴分量 (多 < 少)	3.14	1.71	958	-0.134	-0.131	-0.150	-0.029	0.015	0.037
Q3. 視聴質 (高 < 低)	1.82	0.68	967	-0.135	-0.172	-0.175	0.009	0.076	0.047
Q4A. テレビ設備 (利 < 難)	1.57	0.69	945	-0.035	-0.048	0.019	-0.009	0.077	0.006
Q4B. ビデオ設備 (利 < 難)	1.43	0.58	963	0.010	-0.016	0.004	0.038	0.088	0.019
Q4C. ラジオ設備 (利 < 難)	1.73	0.77	922	-0.013	-0.075	-0.038	0.015	0.026	-0.009
Q4D. テープレコーダ設備 (利 < 難)	1.61	0.73	936	-0.035	-0.090	-0.095	0.006	0.091	-0.100
講義形式 (講師 1 人 < 他)	1.39	0.49	923	0.105	-0.060	0.160	0.159	-0.135	-0.084
Q13.1. 授業で全般的に利用	0.08	0.27	949	0.082	0.160	0.121	0.059	0.047	-0.064
Q13.2. 授業参考資料に利用	0.68	0.46	949	0.099	0.014	0.091	0.064	-0.008	-0.109
Q13.3. 研究資料等に利用	0.24	0.43	949	0.060	0.154	0.132	-0.037	0.034	-0.003
Q13.4. 図書室で利用	0.55	0.50	949	0.087	0.060	0.088	0.054	-0.062	0.043
Q13.5. 利用したい回数 (0 ~ 3)	0.03	0.16	949	-0.180	-0.133	-0.229	-0.058	0.009	-0.021
Q14. 想定	1.45	1.03	807	0.117	0.174	0.092	-0.045	-0.054	0.062
ア. わかりやすい番組 (6)	2.44	0.90	960	-0.694##	-0.168	-0.375#	-0.296	0.395*	-0.001
イ. 重要に役立つ番組 (9)	2.48	0.89	963	-0.747##	-0.369#	-0.374#	-0.235	0.150	0.030
ウ. 流れに合った番組 (10)	2.96	0.88	963	-0.709##	-0.245	-0.306#	-0.521##	0.083	0.062
エ. 視聴者の疑問に答える番組 (14)	2.92	0.86	962	-0.704##	-0.192	-0.322#	-0.347#	0.017	0.010
オ. 内容が盛りだくさん (15)	2.63	0.84	959	-0.041	-0.332#	-0.115	0.017	-0.624##	0.032
カ. メディアが特性活用 (16)	2.74	1.02	961	-0.460#	-0.326#	-0.436#	-0.654##	0.058	0.211
キ. 具体例が適切に活用 (19)	2.43	0.88	961	-0.556##	-0.321#	-0.534##	-0.561##	0.209	0.126
ク. 必要以上の語句 (21)	3.51	0.77	958	0.212	0.342*	0.267	0.022	-0.724##	0.020
コ. 印刷教材と適切に関連 (22)	2.48	0.87	954	-0.210	-0.792##	-0.120	0.154	0.103	-0.074
コ. 図表などが適切に関連 (23)	2.63	0.97	947	-0.228	-0.583#	-0.326#	-0.755##	0.083	0.410*
シ. 中途の息抜きが適切 (28)	3.27	0.89	957	-0.412#	0.040	-0.148	-0.639##	0.100	0.133
ス. 興味深い番組 (30)	2.07	0.87	966	-0.630##	-0.482#	-0.638##	-0.101	0.096	0.094
セ. 生活に密着した題材 (32)	2.66	0.96	959	-0.387#	-0.185	-0.848##	-0.354#	0.142	0.199
ソ. 時宜を密着した素材利用 (33)	2.58	0.86	958	-0.484#	-0.317#	-0.856##	-0.315#	0.041	0.166
タ. 講義の進捗が速い (38)	3.20	0.79	960	0.219	-0.052	0.028	0.239	-0.731##	0.025
チ. 印刷教材が充実 (41)	2.74	0.85	957	-0.380#	-0.705##	-0.390#	-0.209	-0.004	-0.013
ツ. 印刷教材の活用が適切 (44)	3.57	0.90	943	-0.097	-0.052	-0.157	-0.115	-0.148	0.015
テ. 学習ペースが適切 (45)	2.55	0.75	949	-0.445#	-0.486#	-0.318#	-0.098	0.094	0.060
ト. 全体的に満足な番組 (46)	2.24	0.88	963	-0.738##	-0.537##	-0.566##	-0.182	0.120	-0.073

(注：** ≥ 0.5, 0.5 > * ≥ 0.3, -0.3 ≥ # > -0.5, -0.5 ≥ ##)

表 8-2-1 学生調査尺度偏差値・調査項目等の専門家の相関係数行列 (その 2)

学生調査 18 評定項目因子尺度										科目分類	
因子尺度・項目	平均値	標準差	有効数	明解性 満足感	印刷教材 適切性	素材の 親近性	メディア 活用性	量・進 度	メ ディア	理・文	
Q6. メディアの活用度	50.00	10.00	789	0.149	-0.136	0.220	0.338*	0.012	-0.215	-0.137	
Q6. 視聴者の利用頻度	50.00	10.00	789	0.416*	0.049	0.200	0.300	-0.070	-0.014	-0.039	
Q6. 印刷教材利用頻度	50.00	10.00	789	0.065	0.130	0.014	-0.086	0.269	0.190	0.087	
Q6. 講義内容の多さ	50.00	10.00	789	-0.033	0.163	0.056	-0.129	0.198	0.025	-0.018	
Q6. 実資料・図版・図表・図解の活用頻度	50.00	10.00	579	0.322*	0.123	0.318*	0.453*	-0.040	0.000	-0.097	
Q6. 黒板・図版・図表・図解の活用頻度	50.00	10.00	579	0.147	0.237	0.112	0.303*	0.059	0.000	0.146	
Q6. アニメ・実験・実習の活用頻度	50.00	10.00	579	0.250	0.116	0.182	0.371*	0.024	0.000	0.176	
Q7. 講義内容の多さ	50.00	10.00	626	-0.163	-0.067	-0.061	-0.009	0.112	-0.040	0.017	
Q7. ゲスト等の登場頻度	50.00	10.00	626	-0.032	-0.142	0.002	-0.066	-0.025	-0.073	-0.136	
Q7. 息抜き・休憩の頻度	50.00	10.00	626	-0.199	0.075	-0.134	-0.215	0.110	0.124	-0.066	
Q7. 問い・教科書・資料等の活用頻度	50.00	10.00	626	-0.031	-0.097	0.013	-0.042	0.077	0.096	-0.007	
Q7. 講師の登場頻度	50.00	10.00	626	-0.161	-0.193	-0.134	-0.061	0.010	0.032	0.055	
Q7. 実資料・図版・図表・図解の活用頻度	50.00	10.00	855	-0.027	-0.049	-0.045	0.065	-0.023	-0.250	0.081	
Q7. 黒板・図版・図表・図解の活用頻度	50.00	10.00	855	-0.021	-0.105	-0.045	-0.055	0.041	-0.170	0.013	
Q7. アニメ・実験・実習の活用頻度	50.00	10.00	855	-0.065	-0.064	-0.023	0.035	0.040	-0.239	0.179	
Q8. 講師の話し方	50.00	10.00	956	0.525**	0.326*	0.419*	0.258	-0.120	0.014	0.018	
Q8. 講師の堅さ	50.00	10.00	956	-0.079	0.062	-0.066	-0.053	0.262	-0.103	0.172	
Q8. 講師の派手さ	50.00	10.00	956	0.102	-0.055	0.049	0.126	0.147	-0.082	0.152	
Q8. 明解な話し方	50.00	10.00	958	0.611**	0.412*	0.393*	0.280	-0.096	0.031	0.043	
Q8. 面白味のある話し方	50.00	10.00	958	0.465*	0.099	0.306*	0.277	-0.107	0.018	-0.015	
Q8. 話し方の堅さ	50.00	10.00	958	-0.297	-0.303#	-0.256	-0.085	0.275	0.037	0.006	
Q8. 話し方	50.00	10.00	958	-0.155	0.004	0.015	-0.083	0.404*	-0.099	0.104	
Q9. 講師の親近感	50.00	10.00	595	-0.011	-0.048	-0.049	-0.000	0.090	-0.010	-0.025	
Q9. 講師の堅さ	50.00	10.00	595	-0.035	-0.013	-0.053	0.049	0.034	-0.040	0.050	
Q9. 講師の活動性	50.00	10.00	595	-0.039	-0.115	-0.056	0.040	-0.011	-0.018	-0.048	
Q9. 話し方の改善	50.00	10.00	813	-0.157	-0.128	-0.121	-0.001	0.069	-0.056	-0.041	
Q9. 話し方の改善	50.00	10.00	813	-0.144	0.036	-0.037	-0.101	0.201	0.064	0.026	
Q9. 話し方の改善	50.00	10.00	813	-0.187	-0.030	-0.103	-0.051	0.025	-0.040	-0.020	
Q9. 話し方の簡潔性の改善	50.00	10.00	813	-0.152	-0.134	-0.074	0.008	-0.035	0.037	0.016	
Q10. 講義内容の適切性	50.00	10.00	864	0.626**	0.387*	0.336*	0.225	-0.315#	0.034	-0.007	
Q10. 視聴者の理解の適切性	50.00	10.00	864	0.722**	0.171	0.337*	0.556**	0.001	-0.059	0.031	
Q10. 視聴者の満足度の適切性	50.00	10.00	864	0.707**	0.531**	0.693**	0.172	-0.145	-0.060	0.070	
Q10. 番組組の実用性の適切性	50.00	10.00	864	0.303**	0.185	0.730**	0.229	0.034	-0.250	0.033	
Q10. 要点提示の適切性	50.00	10.00	864	0.590**	0.487*	0.307*	0.181	-0.158	-0.027	0.138	
Q10. 難解性・専門性の適切性	50.00	10.00	864	-0.189	0.208	-0.056	-0.225	0.825**	-0.001	0.175	
Q10. 図表・図解の適切性	50.00	10.00	864	0.365*	0.329*	0.408*	0.848**	-0.123	-0.379#	0.167	
Q10. 印刷教材の適切性	50.00	10.00	864	0.273	0.743**	0.283	0.194	-0.147	0.028	0.042	

(注: ** ≥ 0.5 , * ≥ 0.3 , ≥ 0.3 ≥ 0.3 , ≥ 0.3 ≥ 0.3 , ≥ 0.3 ≥ 0.3 , ≥ 0.3 ≥ 0.3)

表 8-2-2 学生調査尺度偏差値・調査項目等の専門家のテレビ科目についての相関係数行列 (その 1)

学生調査 18 評定項目因子尺度										その他の分類	
因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	理解性 満足感	印刷教材 適切性	素材の 親近性	メディア 活用性	量・進度 専門度	評定者 年齢	科 目 理・文	
Q15. 明解性・満足感	46.30	7.24	724	1.000	0.324*	0.544**	0.441*	-0.164	0.061	0.015	
Q15. 印刷教材の適切性	44.56	8.03	724	0.324**	1.000	0.388*	0.210	-0.019	0.388*	0.139	
Q15. 素材の親近性	50.03	7.90	724	0.544**	0.388*	1.000	0.247	-0.115	0.160	-0.116	
Q15. メディアの活用性	48.02	7.41	724	0.441*	0.210	0.247	1.000	-0.115	0.117	0.021	
Q15. 分量・専門度・進度	48.98	7.21	724	-0.164	-0.019	-0.115	-0.115	1.000	-0.008	0.108	
評定者：年齢	46.13	10.43	767	0.061	0.048	0.160	0.117	-0.008	1.000	-0.031	
評定者：職位 (教授<講師>)	1.95	1.01	759	-0.038	-0.069	-0.152	-0.083	0.004	-0.679##	-0.012	
評定者：性別 (男<女>)	1.10	0.30	749	-0.036	0.016	0.032	0.043	-0.032	-0.131	-0.185	
評定者：メディア (V<FM>)	1.00	0.00	768								
理系：文系 (文<理>)	1.64	0.48	703	0.015	0.139	-0.116	0.021	0.108	-0.031	1.000	
Q2. 視聴分量 (多<少)	3.11	1.71	755	-0.108	-0.115	-0.170	-0.034	0.017	-0.140	-0.036	
Q3. 視聴時間 (高<低)	1.80	0.67	762	-0.097	-0.144	-0.187	-0.013	0.075	-0.069	-0.016	
Q4A. テレビ設備 (利<難)	1.57	0.69	744	-0.044	-0.044	-0.025	-0.007	0.099	0.000	0.025	
Q4B. ビデオ設備 (利<難)	1.43	0.59	760	0.007	-0.010	0.025	0.044	0.088	0.039	0.020	
Q4C. ラジオ設備 (利<難)	1.77	0.79	722	-0.009	-0.051	-0.049	-0.023	0.023	-0.052	0.068	
Q4D. ソープ設備 (利<難)	1.65	0.74	734	-0.040	-0.082	-0.111	-0.030	0.095	0.042	0.077	
講義形式 (講師 1 人<他>)	1.41	0.49	725	0.153	-0.079	0.162	0.132	-0.182	0.042	-0.225	
Q13. 1. 授業で全面的に利用	0.09	0.28	748	0.095	0.149	0.079	0.057	0.052	0.007	0.036	
Q13. 2. 授業参考資料として利用	0.71	0.45	748	0.080	0.006	0.079	0.056	-0.024	0.173	0.022	
Q13. 3. 図書室で利用	0.23	0.42	748	0.049	0.158	0.152	-0.074	0.069	-0.032	0.014	
Q13. 4. 図書室で自由に利用	0.55	0.50	748	0.113	0.062	0.107	0.087	-0.080	0.038	-0.004	
Q13. 5. 利用したいと思わず	0.03	0.17	748	-0.187	-0.143	-0.250	-0.079	0.012	-0.113	-0.095	
Q14. 想定単位数 (0~3)	1.41	1.02	631	0.084	0.191	0.108	0.016	-0.038	-0.051	0.050	
ア. わかりやすい番組 (6)	2.44	0.90	756	-0.702##	-0.153	-0.402#	-0.359#	0.391*	-0.040	0.150	
イ. 重要な番組 (9)	2.47	0.90	759	-0.751##	-0.368#	-0.404#	-0.264	0.126	0.010	-0.124	
ウ. 流れが速い番組 (10)	2.93	0.87	757	-0.712##	-0.259	-0.321#	-0.560##	0.079	-0.079	-0.046	
エ. 視聴者の疑問に答える番組 (14)	2.92	0.86	758	-0.719##	-0.225	-0.374#	-0.380#	0.007	-0.060	0.050	
オ. 内容が盛り上がる番組 (15)	2.61	0.85	754	-0.053	-0.331#	-0.106	0.012	-0.650##	0.031	-0.118	
カ. メディアが活用されている番組 (16)	2.63	1.02	754	-0.486#	-0.352#	-0.435#	-0.655##	0.061	-0.091	0.037	
キ. 具体例が豊富にある番組 (19)	2.37	0.88	755	-0.554##	-0.328#	-0.538##	-0.631##	0.191	-0.081	0.077	
ク. 必要以上の語彙がある番組 (21)	3.50	0.76	755	0.192	0.316*	0.288	0.055	-0.710##	0.018	-0.064	
コ. 印刷教材とが適切に活用されている番組 (22)	2.51	0.87	752	-0.220	-0.804##	-0.163	-0.244	0.097	-0.009	-0.128	
ク. 図表などが適切に活用されている番組 (23)	2.42	0.87	753	-0.329#	-0.500##	-0.286	-0.711##	0.097	-0.048	-0.123	
シ. 中途半端な番組 (28)	3.20	0.90	754	-0.426#	0.005	-0.131	-0.637##	0.110	-0.143	-0.087	
ス. 興味深い番組 (30)	2.02	0.84	760	-0.625##	-0.492#	-0.643##	-0.135	0.068	-0.053	-0.062	
セ. 生活に密着した番組 (32)	2.56	0.93	755	-0.440#	-0.190	-0.849##	-0.290	0.151	-0.149	0.236	
ソ. 時宜を得た番組 (33)	2.50	0.83	755	-0.535##	-0.335#	-0.856##	-0.314#	0.062	-0.145	-0.012	
タ. 講義の進度が速い番組 (38)	3.19	0.77	757	0.238	-0.075	0.016	0.257	-0.720##	-0.013	-0.082	
チ. 印刷教材が豊富にある番組 (41)	2.74	0.84	756	-0.386#	-0.701##	-0.386#	-0.289	-0.032	-0.123	-0.033	
ツ. 印刷教材の活用が適切である番組 (44)	3.54	0.88	747	-0.125	-0.064	-0.111	-0.044	-0.149	-0.034	0.076	
テ. 学習のペースが適切である番組 (45)	2.53	0.75	747	-0.451#	-0.064	-0.298	-0.122	0.071	-0.028	-0.064	
ト. 全体的に満足な番組 (46)	2.23	0.88	758	-0.738##	-0.544##	-0.596##	-0.234	0.095	-0.110	-0.081	

(注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq ##$)

表 8-2-2 学生調査尺度偏差値・調査項目等の専門家のテレビ科目についての相関係数行列 (その 2)

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	学生調査 18 評定項目因子尺度					その他の分類		
			明解性 満足感	印刷教材 適切性	素材の 親近性	メディア 活用性	量・進歩 専門度	評定者 年齢	科 理・文	目
Q6. メディアの活用度	51.03	9.48	0.205	-0.126	0.229	0.285	-0.039	-0.008	-0.249	-0.088
Q6. 視聴者の利用度	50.07	9.71	0.406*	0.038	0.219	0.306*	-0.085	0.036	-0.088	-0.088
Q6. 印刷教材の活用度	49.09	9.97	0.087	0.153	0.020	-0.056	0.264	-0.070	0.140	0.140
Q6. 講義内容の多さ	49.88	9.52	-0.067	0.136	0.069	-0.117	0.218	0.052	-0.019	-0.019
Q6. 資料・図版・実験の活用度	50.00	10.00	0.322*	0.123	0.318*	0.453*	-0.040	0.038	-0.097	-0.097
Q6. 実板・メ・実録の活用度	50.00	10.00	0.147	0.237	0.112	0.303*	0.059	0.016	0.146	0.146
Q6. ア・メ・実録の活用度	50.00	10.00	0.250	0.116	0.182	0.371*	0.024	0.072	0.176	0.176
Q7. 講義内容の多さ	50.25	10.18	-0.162	-0.083	-0.046	-0.026	0.101	-0.024	-0.011	-0.011
Q7. スライドの活用度	50.45	10.39	-0.037	-0.151	-0.001	-0.131	-0.075	0.023	-0.176	-0.176
Q7. 質問の活用度	49.23	9.59	-0.165	0.115	-0.038	-0.150	0.074	-0.050	-0.034	-0.034
Q7. 教材の活用度	49.41	9.58	-0.055	-0.129	0.026	0.037	0.072	0.071	0.048	0.048
Q7. 講師の活用度	49.80	9.78	-0.123	-0.199	-0.104	-0.081	-0.025	-0.002	0.045	0.045
Q7. 実資料の活用度	51.26	10.73	-0.035	-0.050	-0.112	-0.022	-0.024	0.082	0.004	0.004
Q7. 黒板・図版の活用度	50.86	10.89	-0.039	-0.112	-0.089	-0.125	0.060	-0.006	-0.047	-0.047
Q7. ア・メ・実録の活用度	51.21	10.77	-0.075	-0.072	-0.082	-0.056	0.044	0.006	0.138	0.138
Q8. 講師の話し方	49.93	10.01	0.519**	0.320*	0.407*	0.317*	-0.104	0.100	0.031	0.031
Q8. 講師の堅さ	50.54	9.90	-0.066	0.072	-0.073	-0.101	0.259	-0.040	0.202	0.202
Q8. 講師の派手さ	50.43	9.61	0.143	-0.037	0.057	0.075	0.103	0.089	0.169	0.169
Q8. 明解な話し方	49.84	9.76	0.574**	0.426*	0.413*	0.341*	-0.075	0.113	0.068	0.068
Q8. 面白味のある話し方	49.91	10.15	0.454**	0.094	0.315*	0.284	-0.103	0.144	-0.019	-0.019
Q8. 話し方の堅さ	49.81	9.67	-0.276	-0.290	-0.252	-0.127	0.278	-0.024	0.037	0.037
Q8. 話す速さ	50.52	9.51	-0.129	0.040	-0.004	-0.149	0.384*	0.057	0.112	0.112
Q9. 講師の親近感	50.06	9.81	0.012	-0.044	-0.043	-0.026	0.083	0.031	-0.032	-0.032
Q9. 講師の堅さ	50.26	10.40	-0.005	0.024	-0.064	0.011	0.044	0.016	0.109	0.109
Q9. 講師の活動性	50.11	10.15	-0.039	-0.132	-0.072	-0.002	-0.024	0.002	-0.098	-0.098
Q9. 話し方の改善	50.29	10.17	-0.143	-0.109	-0.134	-0.004	0.032	-0.019	-0.057	-0.057
Q9. 話し方の改善	49.67	9.65	-0.151	0.037	0.002	-0.068	0.202	0.001	0.049	0.049
Q9. 話し方の改善	50.21	10.08	-0.169	-0.010	-0.083	-0.075	-0.016	-0.039	-0.019	-0.019
Q9. 話し方の改善	49.81	9.89	-0.140	-0.152	-0.082	0.013	-0.046	-0.037	0.014	0.014
Q10. 講義内容の適切性	49.83	10.08	0.626**	0.393*	0.357*	0.278	-0.298	0.087	0.016	0.016
Q10. 視聴者の理解度	50.29	10.09	0.726**	0.199	0.366**	0.610**	0.018	0.119	-0.011	-0.011
Q10. 視聴者の満足度	50.30	9.93	0.711**	0.531**	0.720**	0.233	-0.122	0.049	0.053	0.053
Q10. 番組の活用度	51.24	9.38	0.372*	0.217	0.709**	0.096	0.027	0.101	-0.066	-0.066
Q10. 要約の活用度	50.13	10.10	0.612**	0.470*	0.338*	0.221	-0.138	0.022	0.159	0.159
Q10. 難解性の改善	50.00	10.23	-0.182	0.233	-0.070	-0.245	0.820**	-0.033	0.196	0.196
Q10. 図表の活用度	51.88	9.29	0.466*	0.405*	0.384*	0.829**	-0.162	0.134	0.071	0.071
Q10. 印刷教材の適切性	49.86	9.98	0.266	0.745**	0.298	0.275	-0.117	0.134	0.059	0.059

(注: ** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$)

表 8-2-2-3 学生調査尺度偏差値・調査項目等の専門家のラジオ科目についての相関係数行列 (その 1)

学生調査 18 評定項目因子尺度										その他の分類	
因子尺度・項目		平均値	標準偏差	有効数	明解性 満足感	印刷教材 適切性	素材の 親近性	メディア 活用性	量・進度 専門度	評定者 年齢	科目 分類
Q15. 明解性・満足感		46.13	7.31	183	1.000	0.295	0.375*	0.144	-0.263	0.161	0.193
Q15. 印刷教材の適切性		44.32	8.10	183	0.295	1.000	0.373*	-0.125	-0.177	0.090	-0.043
Q15. 素材の親近性		45.95	8.41	183	0.375*	0.373*	1.000	0.151	-0.132	-0.027	0.009
Q15. メディアの活用性		41.67	7.45	183	0.144	-0.125	0.151	1.000	-0.072	-0.091	0.078
Q15. 分量・専門度		48.63	7.67	183	-0.263	-0.177	-0.132	-0.072	1.000	0.192	-0.046
評定者：年齢		45.03	10.08	210	0.161	0.090	-0.027	-0.091	0.192	1.000	0.035
評定者：職位 (教授<講師)		2.10	1.04	210	-0.071	-0.104	0.109	0.145	-0.224	-0.728##	-0.014
評定者：性別 (男<女)		1.10	0.30	207	-0.017	-0.092	0.049	0.116	-0.010	-0.120	-0.080
評定者：アイ・文系 (I V<理 M)		2.00	0.00	210							
理系：アイ・文系 (文<理)		1.24	0.43	152	0.193	-0.043	0.009	0.078	-0.046	0.035	1.000
Q2. 視聴分量 (多<少)		3.26	1.69	203	-0.234	-0.192	-0.053	0.048	0.011	-0.140	0.035
Q3. 視聴満足 (高<低)		1.88	0.72	205	-0.278	-0.275	-0.114	0.160	0.083	-0.086	-0.073
Q4A. テレビ設備 (利<難)		1.58	0.67	201	0.004	-0.063	0.031	0.027	-0.005	-0.147	0.059
Q4B. テレビデオ設備 (利<難)		1.45	0.54	203	0.025	-0.040	-0.058	0.068	0.089	0.005	-0.040
Q4C. ラジオ設備 (利<難)		1.58	0.72	200	-0.029	-0.184	-0.076	0.082	0.027	-0.253	0.018
Q4D. テレプー式 (講師 1 人<他)		1.47	0.69	202	-0.022	-0.132	-0.136	-0.001	0.066	-0.019	0.017
講義形式 (講師 1 人<他)		1.31	0.46	198	-0.103	0.009	0.096	0.187	0.038	-0.184	-0.042
Q13.1. 授業で全体的に利用		0.04	0.21	201	0.007	0.237	0.290	-0.089	0.013	-0.027	0.046
Q13.2. 授業参考資料として利用		0.59	0.49	201	0.168	0.034	0.050	-0.043	0.038	0.185	0.087
Q13.3. 研究室等での利用		0.27	0.45	201	0.104	0.146	0.108	0.153	-0.088	-0.048	-0.010
Q13.4. 図書室での利用		0.52	0.50	201	-0.017	0.050	-0.011	-0.128	0.001	-0.015	0.091
Q13.5. 利用回数		0.02	0.14	201	-0.151	-0.092	-0.200	-0.030	-0.009	-0.100	0.032
Q14. 想定		1.57	1.07	176	0.236	0.115	0.091	-0.193	-0.105	0.021	0.015
ア. わかりやすい番組 (6)		2.44	0.89	204	-0.664##	-0.227	-0.303#	-0.114	0.415*	-0.022	-0.101
イ. 重要なトピック (9)		2.53	0.84	204	-0.734##	-0.375#	-0.244	-0.086	0.257	-0.173	-0.042
ウ. 流暢な表現 (10)		3.07	0.90	206	-0.707##	-0.187	-0.217	-0.396#	0.106	-0.188	-0.201
エ. 視聴者の疑問 (14)		2.94	0.85	204	-0.643##	-0.056	-0.152	-0.307#	0.053	-0.078	-0.123
オ. 内容が盛りだくさん (15)		2.68	0.80	205	0.009	-0.338#	-0.150	0.070	-0.525##	-0.011	-0.049
カ. メディアの活用 (16)		3.15	0.91	207	-0.392#	-0.237	-0.321#	-0.540##	0.076	-0.127	0.006
キ. 必要以上に専門用語 (19)		2.64	0.87	206	-0.577##	-0.299	-0.481#	-0.265	0.294	0.056	-0.088
ク. 印刷教材と関連 (21)		3.54	0.84	203	0.283	0.435*	0.239	-0.061	-0.772##	-0.137	-0.003
コ. 図表などが適切 (22)		2.36	0.87	202	-0.177	-0.760##	-0.049	0.022	0.120	-0.061	0.050
ク. 図表などが適切 (23)		3.41	0.96	194	0.048	-0.110	-0.230	-0.759##	0.107	0.158	-0.067
シ. 中身の良さが適度 (28)		3.49	0.78	203	-0.366#	0.211	-0.108	-0.642##	0.073	0.035	-0.075
ス. 興味深い番組 (30)		2.22	0.94	206	-0.659##	-0.452#	-0.610##	0.140	0.202	-0.045	-0.139
セ. 先生に密着した題材 (32)		3.02	0.97	204	-0.218	-0.173	-0.820##	-0.407#	0.140	0.044	0.093
ソ. 時宜を得た素材利用 (33)		2.85	0.91	203	-0.325#	-0.262	-0.833##	-0.159	-0.016	-0.058	-0.107
タ. 講義の進度が速い (38)		3.24	0.84	203	0.288	0.029	0.092	0.277	-0.767##	-0.084	0.075
チ. 印刷教材が充実 (41)		2.73	0.90	201	-0.355#	-0.718##	-0.438#	0.038	0.094	-0.165	0.041
ツ. 印刷教材の適切な活用 (44)		3.69	0.96	196	0.003	-0.007	-0.252	-0.075	-0.142	0.075	0.041
テ. 学習の準備が整った (45)		2.64	0.75	202	-0.424#	-0.508##	-0.366#	0.076	0.186	-0.063	-0.014
ト. 全体的に満足 (46)		2.25	0.88	205	-0.740##	-0.509##	-0.500##	-0.000	0.217	-0.143	-0.123

(注：** ≥ 0.5 、0.5 $>$ * ≥ 0.3 、-0.3 \geq # $>$ -0.5、-0.5 \geq ##)

表 8-2-2-3 学生調査尺度偏差値・調査項目等の専門家のラジオ科目についての相関係数行列 (その 2)

学生調査 18 評定項目因子尺度										その他の分類		
因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	明解性	印刷教材	素材の	メディア	量・進	評定者	科目		
				満足感	適切性	親近性	活用性	専門度			年齢	理・文
Q6.メディア特性の活用度	45.51	10.94	147	-0.068	-0.218	0.043	0.333*	0.165	-0.143	-0.086		
Q6.視聴者考慮の頻度	49.70	11.18	147	0.458*	0.090	0.142	0.333*	-0.014	0.034	0.153		
Q6.印刷教材利用頻度	53.97	9.12	147	-0.023	0.058	0.180	0.068	0.360*	0.007	-0.083		
Q6.講義内容量の多さ	50.53	11.84	147	0.094	0.264	0.035	-0.163	0.134	0.251	-0.039		
Q6.実資料・図版利用頻度												
Q6.黑板・図版導入頻度												
Q7.講義内容量の多さ改善	49.35	9.48	174	-0.168	-0.021	-0.153	-0.036	0.133	0.004	0.055		
Q7.テスト等改善	48.82	8.70	174	-0.022	-0.123	-0.070	0.002	0.116	0.176	-0.121		
Q7.黒板・図版改善	52.00	10.84	174	-0.286	-0.019	-0.276	-0.278	0.222	0.091	-0.097		
Q7.黒板・図版改善	51.54	10.86	174	0.029	-0.013	0.034	-0.164	0.101	0.089	0.017		
Q7.講師登場時間等改善	50.52	10.53	174	-0.255	-0.175	-0.173	0.042	0.103	0.050	0.039		
Q7.実資料・図版利用頻度改善	45.06	3.22	174	0.007	-0.148	-0.041	0.040	-0.021	-0.051	0.181		
Q7.黒板・図版利用頻度改善	46.63	3.55	174	0.158	-0.110	-0.019	-0.025	-0.141	-0.123	0.157		
Q7.ア・ニ・メ・実験頻度改善	45.28	3.02	174	-0.042	-0.058	0.007	0.147	0.059	-0.055	-0.117		
Q8.講師の親しみやすさ	50.27	9.95	204	0.548**	0.350*	0.523**	0.136	-0.176	0.049	-0.006		
Q8.講師の堅さ	48.03	10.13	204	-0.139	0.019	-0.137	-0.040	0.267	-0.064	-0.131		
Q8.講師の派手さ	48.43	11.17	204	-0.041	-0.119	-0.044	0.203	0.282	0.039	-0.008		
Q8.明解な話し方	50.59	10.81	205	0.753**	0.367*	0.399*	0.194	-0.162	0.133	0.058		
Q8.面白味のある話し方	50.34	9.43	205	0.515**	0.123	0.328*	0.365*	-0.122	0.066	0.120		
Q8.話し方の堅さ	50.71	11.10	205	-0.369#	-0.349#	-0.273	0.066	0.269	0.001	-0.005		
Q8.話し方の速さ	48.10	11.43	205	-0.250	-0.120	-0.024	-0.062	0.468*	0.221	-0.072		
Q9.講師の親近感改善	49.85	10.45	174	-0.065	-0.057	-0.083	0.035	0.102	0.132	-0.092		
Q9.講師の堅さ改善	49.37	8.93	174	-0.120	-0.116	-0.052	0.129	0.004	-0.129	-0.176		
Q9.講師の活動性改善	49.73	9.63	174	-0.001	-0.071	-0.031	0.141	0.019	-0.035	0.082		
Q9.話し方の改善	48.93	9.27	174	-0.224	-0.210	-0.150	-0.096	0.223	0.115	-0.099		
Q9.話し方の改善	51.23	11.11	174	-0.122	0.032	-0.105	-0.140	0.201	0.165	-0.014		
Q9.話し方の改善	49.24	9.68	174	-0.269	-0.112	-0.250	-0.068	0.182	0.165	-0.115		
Q9.話し方の簡潔性の改善	50.71	10.36	174	-0.205	-0.063	-0.026	0.034	0.009	0.102	0.064		
Q10.講義内容量の適切性	50.70	9.65	170	0.628**	0.370*	0.323*	0.120	-0.386#	0.098	0.015		
Q10.講義者の配慮工夫	48.81	9.52	170	0.709**	0.053	0.196	0.379*	-0.076	0.150	0.223		
Q10.番組への活用性	48.78	10.17	170	0.696**	0.529**	0.610**	-0.124	-0.236	0.077	0.165		
Q10.番組提示の適切性	44.94	10.81	170	0.102	0.085	0.744**	0.411*	0.047	-0.065	-0.066		
Q10.要点提示の適切性	49.46	9.55	170	0.498*	0.556**	0.192	0.015	-0.244	0.160	0.053		
Q10.難解性・専門性の改善	49.98	9.01	170	-0.222	0.099	-0.008	-0.201	0.857**	0.191	-0.030		
Q10.図表提示の適切性	42.34	9.12	170	0.083	0.122	0.309*	0.832**	-0.045	-0.016	0.051		
Q10.印刷教材の適切性	50.56	10.07	170	0.302*	0.742**	0.281	-0.035	-0.264	0.091	0.032		

(注: ** ≥ 0.5 , 0.5 $>$ * ≥ 0.3 , -0.3 \geq # $>$ -0.5, -0.5 \geq ##)

表 8-3-1 学生調査尺度偏差値・調査項目等の学生の相関係数行列

学生調査 18 評定項目因子尺度								
因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	明解性 満足感	印刷教材 適切性	素材の 親近性	メディア 活用性	量・進度 専門度
Q15. 明解性・満足感	51.01	10.39	3352	1.000	0.484*	0.511**	0.440*	-0.178
Q15. 印刷教材の適切性	51.49	9.96	3352	0.484*	1.000	0.508**	0.272	-0.069
Q15. 素材の親近性	50.22	10.43	3352	0.511**	0.508**	1.000	0.360*	-0.044
Q15. メディア活用性	50.88	10.33	3352	0.440*	0.272	0.360*	1.000	0.009
Q15. 分量・進度	50.30	10.59	3352	-0.178	-0.069	-0.044	0.009	1.000
評定者：性別（男＜女）	1.55	0.50	3514	0.067	0.164	0.087	0.071	-0.024
認定者：年齢（得点＞無）	41.50	12.58	3514	0.162	0.119	0.108	0.046	0.029
単位：試験取得（有＞無）	67.19	18.11	2982	0.365*	0.205	0.189	0.132	-0.241
理系：文系（有＞無）	0.66	0.47	3514	0.358*	0.217	0.196	0.158	-0.249
ア. わかりやすい番組（6）	1.27	0.44	2823	-0.029	0.037	0.067	0.219	0.120
イ. 重要なポイント明確（9）	1.96	1.21	3475	-0.796##	-0.392#	-0.445#	-0.381#	0.371*
ウ. 流れに適切な緩急（10）	2.17	1.14	3436	-0.834##	-0.446#	-0.408#	-0.315#	0.221
エ. 視聴者の疑問の配慮（14）	2.15	1.09	3430	-0.800##	-0.425#	-0.386#	-0.473#	0.107
オ. 内容が盛りだくさん（15）	2.49	1.15	3431	-0.711##	-0.346#	-0.349#	-0.438#	-0.086
カ. メディア特性活用（16）	2.22	1.13	3434	-0.173	-0.378#	-0.251	-0.233	-0.554##
キ. 具体例が適切に活用（19）	2.10	1.16	3412	-0.512##	-0.514##	-0.463#	-0.629##	-0.014
ク. 必要以上の専門知識（21）	2.07	1.08	3412	-0.617##	-0.437#	-0.514##	-0.638##	0.111
コ. 印刷教材と図表（22）	3.63	1.07	3426	0.163	0.337*	0.192	-0.056	-0.724##
シ. 図表などが適切に活用（23）	1.68	0.92	3433	-0.404#	-0.760##	-0.283	-0.309#	0.097
サ. 中途の息抜きが適度（28）	2.38	1.26	3403	-0.315#	-0.415#	-0.387#	-0.794##	0.062
ス. 興味深い番組を見た（30）	2.83	1.27	3417	-0.469#	-0.124	-0.301#	-0.710##	-0.003
セ. 生活に密着した題材利用（32）	1.76	1.05	3442	-0.700##	-0.511##	-0.651##	-0.235	0.112
ソ. 時宜が適切に活用（33）	2.41	1.21	3427	-0.449#	-0.337#	-0.870##	-0.405#	0.014
タ. 講義の進度が速い（38）	2.49	1.14	3412	-0.453#	-0.424#	-0.876##	-0.385#	0.023
チ. 印刷教材が充実（41）	3.10	1.28	3426	0.331*	0.051	0.069	0.243	-0.760##
ツ. 印刷教材の適切な活用（44）	2.20	1.10	3436	-0.511##	-0.743##	-0.490#	-0.296	-0.043
テ. 学習ペースが適度（45）	3.63	1.24	3398	-0.173	-0.127	-0.209	-0.202	-0.206
ト. 全体的に満足な番組（46）	2.10	1.17	3427	-0.580##	-0.680##	-0.466#	-0.265	0.113
（注：** ≥ 0.5 , * ≥ 0.3 , $\geq 0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \#$ ）	1.98	1.12	3428	-0.823##	-0.631#	-0.599##	-0.344#	0.181

表 8-3-2 学生調査尺度偏差値・調査項目等の学生のテレビ科目についての相関係数行列

学生調査 18 評定項目因子尺度								
因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	明瞭性 満足感	印刷教材 適切性	素材の 親近性	メディア 活用性	量・進度 専門度
Q15・明瞭性・満足感	52.33	9.27	2027	1.000	0.428*	0.483*	0.414*	-0.159
Q15・印刷教材の適切性	52.69	9.39	2027	0.428*	1.000	0.480*	0.255	-0.059
Q15・素材の親近性	52.42	9.44	2027	0.483*	0.480*	1.000	0.285	-0.078
Q15・メディアの活用性	54.58	8.67	2027	0.414*	0.255	0.285	1.000	0.012
Q15・分量・専門度・進度	50.53	10.36	2027	-0.159	-0.059	-0.078	0.012	1.000
評定者：性別（男<女）	1.55	0.50	2110	0.091	0.205	0.140	0.102	-0.042
評定者：年齢	40.67	12.52	2110	0.128	0.114	0.098	0.098	-0.052
単位取得有無（有>無）	68.23	18.63	1794	0.317*	0.139	0.167	0.118	-0.219
単位取得有無（文<理）	0.67	0.47	2110	0.355*	0.197	0.197	0.186	-0.244
理系・文系	1.42	0.49	1692	-0.115	-0.011	-0.066	0.063	0.157
ア.わかりやすい番組（6）	1.77	1.09	2088	-0.761#	-0.332#	-0.400#	-0.295	0.375*
イ.重要なポイント明確（9）	2.06	1.05	2065	-0.800#	-0.396#	-0.382#	-0.261	0.197
ウ.流れに合った番組（10）	2.02	1.01	2063	-0.769#	-0.397#	-0.345#	-0.435#	0.091
エ.視聴者の疑問の配慮（14）	2.38	1.12	2062	-0.686#	-0.284	-0.308#	-0.423#	-0.110
オ.内容が盛りだくさん（15）	2.11	1.09	2066	-0.198	-0.396#	-0.224	-0.252	-0.542##
カ.メディアが適切に活用（16）	1.69	0.94	2060	-0.451#	-0.538#	-0.405#	-0.499#	-0.007
キ.具体例が適切に活用（19）	1.86	0.98	2058	-0.567#	-0.424#	-0.487#	-0.604#	0.103
ク.必要以上の専門用語の有無（21）	3.62	1.06	2064	0.173	0.352*	0.235	-0.038	-0.726##
コ.印刷教材などが適切に活用（22）	1.60	0.84	2064	-0.372#	-0.743#	-0.264	-0.325#	0.070
ク.図表などが適切に活用（23）	2.00	1.10	2051	-0.248	-0.419#	-0.311#	-0.737#	0.063
シ.中途の息抜きが適度（28）	2.56	1.23	2060	-0.455#	-0.065	-0.236	-0.681#	-0.004
ス.興味深い番組（30）	1.63	0.93	2071	-0.660#	-0.457#	-0.623#	-0.201	0.116
セ.生活に密着した題材（32）	2.13	1.10	2063	-0.422#	-0.291	-0.848#	-0.303#	0.033
ソ.時宜を得た素材利用（33）	2.31	1.07	2054	-0.440#	-0.391#	-0.862#	-0.348#	0.059
タ.講義の進度が速い（38）	3.13	1.27	2062	0.317*	0.032	0.078	0.258	-0.755##
チ.印刷教材が充実（41）	2.11	1.06	2069	-0.470#	-0.735#	-0.469#	-0.305#	-0.052
ツ.印刷教材の演習（44）	3.55	1.24	2046	-0.107	-0.068	-0.110	-0.153	-0.233
テ.学習ペース作（45）	2.00	1.09	2062	-0.540#	-0.660#	-0.402#	-0.237	0.103
ト.全体的に満足（46）	1.85	1.01	2063	-0.791#	-0.585#	-0.581#	-0.314#	0.167

(注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq ##$)

表 8-3-3 学生調査尺度偏差値・調査項目等の学生のラジオ科目についての相関係数行列

学生調査 18 評定項目因子尺度								
因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	明解性 満足感	印刷教材 適切性	素材の 親近性	メディア 活用性	量・進 度専門度
Q15. 明解性・満足感	48.99	11.62	1325	1.000	0.521**	0.503**	0.422*	-0.216
Q15. 印刷教材の適切性	49.65	10.50	1325	0.521**	1.000	0.504**	0.207	-0.092
Q15. 素材の親近性	46.84	10.96	1325	0.503**	0.504**	1.000	0.279	-0.023
Q15. メディア活用性	45.22	10.11	1325	0.422*	0.207	0.279	1.000	-0.023
Q15. 分量・専門度	49.93	10.93	1325	-0.216	-0.092	-0.023	-0.023	1.000
評定者：性別 (男<女)	1.55	0.50	1404	0.043	0.117	0.032	0.063	0.002
評定者：年齢 (17.16)	42.73	12.56	1404	0.239	0.157	0.118	0.078	0.008
評定者：試験得点 (65.61)	65.61	17.16	1188	0.427*	0.282	0.194	0.106	-0.284
理系：文系 (0.65)	0.65	0.48	1404	0.367*	0.240	0.196	0.133	-0.257
ア. わかりやすい番組 (6)	2.24	1.32	1387	-0.820##	-0.421#	-0.433#	-0.375#	0.397*
イ. 重要なポイント明確 (9)	2.34	1.23	1371	-0.864##	-0.481#	-0.402#	-0.321#	0.265
ウ. 流れがスムーズ (10)	2.35	1.17	1367	-0.824##	-0.429#	-0.382#	-0.484#	0.140
エ. 視聴者が盛り上がる (14)	2.64	1.19	1369	-0.736##	-0.402#	-0.365#	-0.454#	-0.047
オ. 内容が盛り上がる (15)	2.38	1.16	1368	-0.111	-0.328#	-0.234	-0.136	-0.573##
カ. メディアが活用 (16)	2.72	1.19	1352	-0.546##	-0.471#	-0.399#	-0.582##	0.003
キ. 具体例が豊富 (19)	2.40	1.15	1354	-0.644##	-0.411#	-0.473#	-0.615##	0.146
ク. 必要以上の語句 (21)	3.64	1.08	1362	0.159	0.330*	0.157	-0.087	-0.723##
コ. 印刷教材とが適切 (22)	1.81	1.02	1369	-0.414#	-0.772##	-0.264	-0.251	0.138
ク. 図表が適切 (23)	2.97	1.26	1352	-0.314#	-0.359#	-0.335#	-0.774##	0.098
シ. 中身の息抜き (28)	3.25	1.20	1357	-0.448#	-0.120	-0.266	-0.692##	0.019
ス. 興味深い番組 (30)	1.96	1.17	1371	-0.725##	-0.546##	-0.659##	-0.172	0.120
セ. 先生が丁寧に解説 (32)	2.83	1.24	1364	-0.432#	-0.332#	-0.875##	-0.345#	0.010
ソ. 時宜が適切 (33)	2.76	1.19	1358	-0.432#	-0.427#	-0.882##	-0.325#	-0.009
タ. 講義の進度が速い (38)	3.06	1.29	1364	0.353*	0.070	0.048	0.262	-0.771##
チ. 印刷教材が充実 (41)	2.33	1.15	1367	-0.546##	-0.747##	-0.500##	-0.254	-0.026
ツ. 印刷教材の活用 (44)	3.76	1.22	1352	-0.235	-0.185	-0.309#	-0.223	-0.162
テ. 学習のペースが適切 (45)	2.25	1.25	1365	-0.610##	-0.694##	-0.472#	-0.245	0.133
ト. 全体的に満足 (46)	2.19	1.23	1365	-0.847##	-0.665##	-0.590##	-0.304#	0.215

注：** ≥ 0.5, 0.5 > * ≥ 0.3, -0.3 > > -0.5, -0.5 > ## (##)

(注：** ≥ 0.5 , * $0.5 > \geq 0.3$, - $0.3 \geq \# > -0.5$, - $0.5 \geq \#$)

表 8-3-4 学生調査のその他の指標・調査項目等の学生の相関係数行列

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	評 定 者 の 指 標				科目の指標			
			評定者性別	評定者年齢	評定者試験点	評定者合格・否	科目メ	目デ	科アイ	目理・文
Q15・明解性・満足感	51.01	10.39	3352	0.067	0.365*	0.358*	-0.157	-0.029		
Q15・印刷教材の適切性	51.49	9.96	3352	0.164	0.205	0.217	-0.149	0.037		
Q15・素材の身近性	50.22	10.43	3352	0.087	0.189	0.196	-0.261	0.067		
Q15・メデア活用性	50.88	10.33	3352	0.071	0.132	0.158	-0.443#	0.219		
Q15・分量・専門度・進捗	50.30	10.59	3352	-0.024	-0.241	-0.249	-0.028	0.120		
評定者：性別（男＜女）	1.55	0.50	3514	1.000	0.068	0.098	0.006	-0.187		
評定者：年齢	41.50	12.58	3514	-0.037	-0.050	0.031	0.080	-0.067		
評定者：試験点（有＞無）	67.19	18.11	2982	0.068	1.000	0.788**	-0.071	-0.048		
単位取得有無（有＞無）	0.66	0.47	3514	0.098	0.031	1.000	-0.024	-0.059		
理系・文系	1.27	0.44	2823	-0.187	-0.067	-0.059	-0.409#	1.000		
ア・わかやボイ	1.96	1.21	3475	-0.036	-0.106	-0.374#	0.189	0.009		
イ・重要に	2.17	1.14	3436	-0.058	-0.152	-0.330#	0.122	0.033		
ウ・流暢な	2.15	1.09	3430	-0.069	-0.152	-0.218	0.150	-0.003		
エ・視聴者の疑問の盛	2.49	1.15	3431	-0.052	-0.150	-0.184	0.111	0.012		
オ・内容が盛りだくさん	2.22	1.13	3434	-0.060	0.013	0.026	0.119	-0.112		
カ・メデア活用	2.10	1.16	3412	-0.102	-0.036	-0.190	0.436*	-0.167		
キ・具体例が適切に	2.07	1.08	3412	-0.075	-0.114	-0.222	0.244	-0.023		
ク・必要以上の語運用	3.63	1.07	3426	0.050	0.037	0.180	0.006	-0.056		
ケ・印刷などが適切利用	1.68	0.92	3433	-0.115	-0.087	-0.195	0.111	0.009		
コ・図表などが適切利用	2.38	1.26	3403	-0.071	-0.069	-0.106	0.377*	-0.236		
ク・中途の息抜きが適度	2.83	1.27	3417	-0.036	-0.060	-0.139	0.268	-0.161		
ス・興味深い番組を見た	1.76	1.05	3442	-0.055	-0.104	-0.256	0.152	-0.050		
シ・生活に密着した素材利用	2.41	1.21	3427	-0.091	-0.089	-0.148	0.284	0.012		
ソ・時宜を得た素材利用	2.49	1.14	3412	-0.048	-0.119	-0.144	0.195	-0.117		
タ・講義の進度が速い	3.10	1.28	3426	0.054	0.002	0.252	-0.026	-0.102		
チ・印刷教材の演習が豊富	2.20	1.10	3436	-0.134	-0.149	-0.160	0.096	-0.021		
ツ・印刷教材の演習が豊富	3.63	1.24	3398	0.031	0.078	0.053	0.083	-0.011		
テ・学習ペースの適切	2.10	1.17	3427	-0.126	-0.155	-0.215	0.107	0.013		
ト・全体的に満足な番組	1.98	1.12	3428	-0.079	-0.155	-0.344#	0.151	-0.010		

(注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq \# \#$)

表 8-3-5 学生調査のその他の指標・調査項目等の学生のテレビ科目についての相関係数行列

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	有効数	評 定 者 の 指 標			科目指標
				評 定 者 性 別	評 定 者 年 齢	評 定 者 試験点 合・否	
Q15・明解性・満足感	52.33	9.27	2027	0.091	0.128	0.317*	0.355*
Q15・印刷教材の適切性	52.69	9.39	2027	0.205	0.114	0.139	0.197
Q15・素材の親近性	52.42	9.44	2027	0.140	0.144	0.167	0.197
Q15・メディア活用性	54.58	8.67	2027	0.102	0.098	0.118	0.186
Q15・分量・専門度・進度	50.53	10.36	2027	-0.042	-0.052	-0.219	-0.244
評定者：性別 (男<女)	1.55	0.50	2110	1.000	-0.003	0.048	0.100
評定者：年齢 (有>無)	40.67	12.52	2110	-0.003	1.000	-0.057	0.037
単位認定取得 (有>無)	68.23	18.63	1794	0.048	-0.057	1.000	0.773**
理系・文系 (文<理)	0.67	0.47	2110	0.100	0.037	0.773**	1.000
ア・わかりやすい番組 (6)	1.77	1.09	2088	-0.222	-0.052	-0.050	-0.061
イ・重要なポイント明確 (9)	1.77	1.09	2088	-0.049	-0.094	-0.326#	-0.350#
ウ・流れがスムーズ (10)	2.06	1.05	2065	-0.074	-0.115	-0.275	-0.299
エ・視聴者が盛り上がる (14)	2.02	1.01	2063	-0.105	-0.114	-0.171	-0.227
オ・内容が盛り上がる (15)	2.38	1.12	2062	-0.061	-0.136	-0.167	-0.190
カ・メディアが適切に活用 (16)	2.11	1.09	2066	-0.077	0.026	0.033	0.024
キ・具体例が適切に活用 (19)	1.69	0.94	2060	-0.158	-0.010	-0.174	-0.196
ク・必須以上の語彙 (21)	1.86	0.98	2058	-0.099	-0.129	-0.210	-0.248
ケ・図表などが適切に活用 (22)	3.62	1.06	2064	0.075	0.046	0.169	0.168
コ・図表などが適切に活用 (23)	1.60	0.84	2064	-0.136	-0.083	-0.140	-0.176
シ・中途の息抜きが適切 (28)	2.00	1.10	2051	-0.097	-0.157	-0.066	-0.155
ス・興味深い番組 (30)	2.56	1.23	2060	-0.043	-0.058	-0.121	-0.135
セ・生活に密着した題材 (32)	1.63	0.93	2071	-0.086	-0.092	-0.213	-0.231
ソ・時宜性を密着した題材利用 (33)	2.13	1.10	2063	-0.161	-0.121	-0.129	-0.138
タ・講義の進度が速い (38)	2.31	1.07	2054	-0.075	-0.140	-0.141	-0.192
チ・印刷教材が充実 (41)	3.13	1.27	2062	0.073	0.028	0.230	0.281
ツ・印刷教材の演習が適切 (44)	2.11	1.06	2069	-0.179	-0.135	-0.115	-0.172
テ・学習ペースが適切 (45)	3.55	1.24	2046	0.001	-0.054	0.076	0.098
ト・全体的に満足な番組 (46)	2.00	1.09	2062	-0.167	-0.140	-0.160	-0.216
注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq ##$)	1.85	1.01	2063	-0.102	-0.138	-0.289	-0.320#

(注：** ≥ 0.5 , $0.5 > * \geq 0.3$, $-0.3 \geq \# > -0.5$, $-0.5 \geq ##$)

表 8-3-6 学生調査のその他の指標・調査項目等の学生のラジョ科目についての相関係数行列

因子尺度・項目	平均値	標準偏差	評 定 者 の 指 標			科目指標	
			評定者性別	評定者年齢	評定者試験点	評定者合・否	科目
Q15. 明解性・満足感	48.99	11.62	0.043	0.239	0.427*	0.367*	-0.024
Q15. 印刷教材の適切性	49.65	10.50	0.117	0.157	0.282	0.240	-0.032
Q15. 素材の親近性	46.84	10.96	0.032	0.118	0.194	0.196	0.000
Q15. 学習の活用性	45.22	10.11	0.063	0.078	0.106	0.133	0.013
Q15. 分量・専門度・進度	49.93	10.93	0.002	0.008	-0.284	-0.257	-0.011
評定者：性別 (男<女)	1.55	0.50	1.000	-0.090	0.102	0.095	-0.161
評定者：年齢 (得点)	42.73	12.56	-0.090	1.000	-0.023	0.026	-0.074
単位取得の有無 (有>無)	65.61	17.16	0.102	-0.023	1.000	0.815**	-0.197
理系・文系 (文<理)	0.65	0.48	0.095	0.026	0.815**	1.000	-0.136
ア. わかりやすい番組 (6)	1.05	0.21	-0.161	-0.074	-0.197	-0.136	1.000
イ. 重要なポイント明確 (9)	2.24	1.32	-0.026	-0.161	-0.432#	-0.373#	0.022
ウ. 流れがスムーズ (10)	2.34	1.23	-0.043	-0.227	-0.400#	-0.346#	0.026
エ. 視聴者が盛り上がる (14)	2.55	1.17	-0.027	-0.234	-0.266	-0.231	0.031
オ. 内容が盛り上がる (15)	2.64	1.19	-0.042	-0.195	-0.195	-0.206	0.004
カ. メディアが活用 (16)	2.38	1.16	-0.038	-0.030	0.039	0.018	0.010
キ. 具体例が適切 (19)	2.72	1.19	-0.072	-0.159	-0.186	-0.157	0.030
ク. 必要以上の言語有 (21)	2.40	1.15	-0.055	-0.148	-0.215	-0.212	0.025
ケ. 印刷教材とが適切 (22)	3.64	1.08	0.012	0.022	0.198	0.162	0.004
コ. 図表などが適切 (23)	1.81	1.02	-0.094	-0.115	-0.255	-0.210	0.053
シ. 中途の息抜きが適度 (28)	2.97	1.26	-0.059	-0.043	-0.115	-0.159	-0.057
ス. 興味深い番組 (30)	3.25	1.20	-0.036	-0.127	-0.128	-0.082	0.007
セ. 生徒が得た素材利用 (32)	1.96	1.17	-0.023	-0.152	-0.301#	-0.245	-0.014
ソ. 時宜を得た素材利用 (33)	2.83	1.24	-0.011	-0.112	-0.141	-0.151	0.036
タ. 講義の進度が速い (38)	2.76	1.19	-0.017	-0.137	-0.120	-0.137	-0.016
チ. 印刷教材が充実 (41)	3.06	1.29	0.025	-0.032	0.285	0.292	0.015
ツ. 印刷教材の適切 (44)	2.33	1.15	-0.076	-0.191	-0.212	-0.193	0.026
テ. 学習スラスラ (45)	3.76	1.22	0.076	-0.132	0.028	0.043	0.005
ト. 全体的に満足 (46)	2.25	1.25	-0.076	-0.198	-0.280	-0.223	0.026
注：** ≥ 0.5, 0.5 > * ≥ 0.3, -0.3 ≥ # > -0.5, -0.5 ≥ ##	2.19	1.23	-0.057	-0.210	-0.411#	-0.340#	0.020

(注：** ≥ 0.5, 0.5 > * ≥ 0.3, -0.3 ≥ # > -0.5, -0.5 ≥ ##)

9. 1986年度『放送大学放送教材に関する調査』と1987年度『放送大学教材についての学生調査』の比較一覧

表9 「専門家評価調査(1986年度)」と「学生評価調査(1987年度)」の比較一覧

	専門家評価調査			学生評価調査			科目平均値の差			差の平均のT値			専門家と 学生との科 学目平均の相 関係数
	平均値	標準 偏差	標準 偏差	平均値	標準 偏差	標準 偏差	平均値	標準 偏差	標準 偏差	T 値	T 値 側面率	T 値 側面率	
ア.わかりやすい番組	2.40	0.36	0.59	2.03	0.39	0.479	0.364	0.479	4.223	0.0020	0.0020	0.588	
イ.重要なポイント	2.53	0.30	0.39	2.16	0.39	0.370	0.370	0.419	4.912	0.0003	0.0003	0.294	
ウ.流れに合った疑問	2.99	0.29	0.34	2.22	0.34	0.360	0.772	0.360	11.932	0.0000	0.0000	0.357	
エ.視聴者の疑問の配慮	2.92	0.25	0.29	2.49	0.29	0.372	0.429	0.372	6.423	0.0000	0.0000	0.055	
オ.内容が盛りだくさん	2.67	0.21	0.29	2.26	0.29	0.315	0.406	0.315	7.172	0.0000	0.0000	0.229	
カ.メデイアが特選活用	2.90	0.42	0.54	2.27	0.54	0.383	0.624	0.383	9.085	0.0000	0.0000	0.705	
キ.具体例が適切に活用	2.50	0.41	0.46	2.16	0.46	0.377	0.345	0.377	5.096	0.0002	0.0002	0.632	
ク.印刷教材以上に関連	3.52	0.23	0.32	3.58	0.32	0.267	-0.056	0.267	-1.169	0.2519	0.2519	0.563	
コ.図表などが適切に利用	2.44	0.28	0.28	1.74	0.28	0.383	0.700	0.383	10.174	0.0000	0.0000	0.094	
シ.中途の息抜きが適度	2.93	0.61	0.71	2.48	0.71	0.378	0.451	0.378	6.643	0.0000	0.0000	0.845	
ス.興味深い番組が適度	3.32	0.36	0.47	2.96	0.47	0.364	0.362	0.364	5.539	0.0000	0.0000	0.643	
セ.生活に密着した題材	2.17	0.35	0.30	1.72	0.30	0.409	0.444	0.409	6.036	0.0000	0.0000	0.198	
ソ.時宜を得た素材利用	2.70	0.52	0.57	2.42	0.57	0.275	0.276	0.275	5.590	0.0000	0.0000	0.878	
タ.講義の進度が速い	2.67	0.32	0.39	2.45	0.39	0.260	0.225	0.260	4.830	0.0003	0.0003	0.751	
チ.印刷教材が充実	3.25	0.26	0.57	3.09	0.57	0.520	0.162	0.520	1.740	0.09171	0.09171	0.423	
ツ.学習ペースに満足	2.74	0.22	0.24	2.26	0.24	0.300	0.483	0.300	8.942	0.0000	0.0000	0.173	
ト.全体的に満足	3.62	0.44	0.59	3.53	0.59	0.385	0.087	0.385	1.265	0.21532	0.21532	0.760	
差：明解性・満足感	2.60	0.16	0.28	2.15	0.28	0.280	0.453	0.280	9.004	0.0000	0.0000	0.265	
差：印刷教材の適切性	2.27	0.30	0.42	2.00	0.42	0.479	0.276	0.479	3.204	0.00313	0.00313	0.130	
差：素材の親近性	46.17	2.69	4.21	50.75	4.21	4.324	-4.580	4.324	-5.897	0.0000	0.0000	0.275	
差：メデイア活用度	44.08	2.33	2.77	50.76	2.77	3.263	-6.671	3.263	-11.383	0.0000	0.0000	0.188	
差：分量	48.19	3.89	4.12	50.35	4.12	2.730	-2.165	2.730	-4.415	0.0011	0.0011	0.769	
差：専門度	45.10	4.28	6.03	49.32	6.03	3.657	-4.225	3.657	-6.433	0.0000	0.0000	0.800	
差：進度	48.58	2.23	4.35	50.45	4.35	3.649	-1.873	3.649	-2.858	0.00756	0.00756	0.547	

付．1987年度『放送大学教材についての学生調査』の結果一覧

付表－1 1987年度放送大学学生教材調査 性別・学生種別・年齢群別結果一覧（その1）

	放送大 総計	性別		学生種別				年齢				
		男	女	性				年				
				全 科 履 修 生	科 履 修 生	目 履 修 生	特 修 生	24歳 ～	25歳 34歳	35歳 44歳	45歳 54歳	55歳 ～
回答総数	1566	748	816	989	344	136	95	186	336	453	319	270
Q01-1 全体的にみて、放送大学のテレビによる講義は、学習を進める上で効果的である												
1 有効回答数	1474	709	765	982	306	97	89	178	315	434	302	245
2 有効回答率	94.8%	94.8%	93.6%	99.3%	88.9%	71.3%	93.7%	94.4%	93.7%	95.8%	94.7%	85.7%
3 有効回答率	94.8%	94.8%	93.6%	99.3%	88.9%	71.3%	93.7%	94.4%	93.7%	95.8%	94.7%	85.7%
4 有効回答率	94.8%	94.8%	93.6%	99.3%	88.9%	71.3%	93.7%	94.4%	93.7%	95.8%	94.7%	85.7%
5 有効回答率	94.8%	94.8%	93.6%	99.3%	88.9%	71.3%	93.7%	94.4%	93.7%	95.8%	94.7%	85.7%
Q01-2 全体的にみて、放送大学のラジオによる講義は、学習を進める上で効果的である												
1 有効回答数	1445	692	753	955	302	103	85	171	308	419	305	242
2 有効回答率	92.3%	92.3%	92.3%	96.5%	87.8%	76.5%	89.5%	91.4%	91.4%	92.5%	95.6%	84.8%
3 有効回答率	92.3%	92.3%	92.3%	96.5%	87.8%	76.5%	89.5%	91.4%	91.4%	92.5%	95.6%	84.8%
4 有効回答率	92.3%	92.3%	92.3%	96.5%	87.8%	76.5%	89.5%	91.4%	91.4%	92.5%	95.6%	84.8%
5 有効回答率	92.3%	92.3%	92.3%	96.5%	87.8%	76.5%	89.5%	91.4%	91.4%	92.5%	95.6%	84.8%
Q01-3 全体的にみて、放送大学の印刷教材は、学習を進める上で効果的である												
1 有効回答数	1557	746	811	987	342	134	94	186	336	452	318	265
2 有効回答率	99.3%	99.3%	99.3%	100.0%	99.4%	100.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%
3 有効回答率	99.3%	99.3%	99.3%	100.0%	99.4%	100.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%
4 有効回答率	99.3%	99.3%	99.3%	100.0%	99.4%	100.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%
5 有効回答率	99.3%	99.3%	99.3%	100.0%	99.4%	100.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%
Q01-4 全体的にみて、放送大学の通信指導は、学習を進める上で効果的である												
1 有効回答数	1452	693	759	952	310	109	81	183	310	425	299	235
2 有効回答率	92.9%	92.9%	92.9%	97.3%	89.8%	80.0%	84.2%	94.4%	92.9%	94.5%	93.4%	87.0%
3 有効回答率	92.9%	92.9%	92.9%	97.3%	89.8%	80.0%	84.2%	94.4%	92.9%	94.5%	93.4%	87.0%
4 有効回答率	92.9%	92.9%	92.9%	97.3%	89.8%	80.0%	84.2%	94.4%	92.9%	94.5%	93.4%	87.0%
5 有効回答率	92.9%	92.9%	92.9%	97.3%	89.8%	80.0%	84.2%	94.4%	92.9%	94.5%	93.4%	87.0%
Q01-5 全体的にみて、放送大学の単位認定試験は、学習を進める上で効果的である												
1 有効回答数	1492	705	787	978	315	111	88	181	315	434	310	252
2 有効回答率	95.3%	95.3%	95.3%	99.7%	91.8%	81.6%	93.8%	91.4%	93.7%	95.8%	94.7%	85.7%
3 有効回答率	95.3%	95.3%	95.3%	99.7%	91.8%	81.6%	93.8%	91.4%	93.7%	95.8%	94.7%	85.7%
4 有効回答率	95.3%	95.3%	95.3%	99.7%	91.8%	81.6%	93.8%	91.4%	93.7%	95.8%	94.7%	85.7%
5 有効回答率	95.3%	95.3%	95.3%	99.7%	91.8%	81.6%	93.8%	91.4%	93.7%	95.8%	94.7%	85.7%

付表-1 1987年度放送大学学生教材調査 性別・学生種別・年齢群別結果一覧(その2)

	放送大 総 計	性 別		全 科 履 修 生	学 生 種 別	年 齢
		男 性	女 性			
Q01-6	平 均 値	1.78	1.83	1.79	1.73	1.87
1	有効回答数	1269	598	956	195	53
2	%	52.0	51.2	51.6	54.4	50.9
3	思う	26.4	25.8	27.5	21.0	20.8
4	思わない	14.9	14.9	13.1	22.6	22.6
5	思わない	4.7	5.5	5.6	1.5	1.9
	思わない	2.0	2.7	2.2	0.5	3.8
Q02	平 均 値	2.05	2.10	2.23	1.73	1.66
1	有効回答数	1552	741	985	339	134
2	%	39.1	37.4	32.5	47.8	61.2
3	利用	36.8	37.9	37.4	40.4	23.9
4	利用	11.3	10.3	14.1	5.6	6.7
5	利用	5.5	5.9	6.7	2.9	4.5
	利用	7.3	8.5	9.3	3.2	5.3
Q03-1	平 均 値	2.65	2.68	2.42	3.03	3.20
1	有効回答数	1524	729	982	330	125
2	%	18.5	19.5	21.1	14.2	15.2
3	利用	34.0	31.6	40.7	23.6	16.0
4	利用	11.3	10.8	13.4	6.7	2.4
	利用	36.2	38.1	24.7	55.5	66.4
Q03-2	平 均 値	3.77	3.72	3.69	3.92	3.96
1	有効回答数	1453	698	937	317	115
2	%	1.1	1.6	1.5	0.3	0.0
3	利用	5.0	6.7	6.6	2.2	0.0
4	利用	9.5	9.9	13.1	2.2	4.3
	利用	84.4	81.8	78.8	95.3	95.7
Q03-3	平 均 値	2.69	2.65	2.44	3.05	3.42
1	有効回答数	1516	724	976	328	124
2	%	11.3	13.3	13.7	7.9	2.4
3	利用	39.6	39.2	46.9	28.7	21.0
4	利用	18.4	17.1	20.9	13.7	8.9
	利用	30.7	30.4	18.4	49.7	67.7
Q03-4	平 均 値	2.51	2.59	2.43	2.58	2.87
1	有効回答数	1513	725	972	327	126
2	%	19.3	18.1	20.0	17.7	20.6
3	利用	36.7	32.8	40.2	38.2	19.8
4	利用	17.9	21.1	15.0	12.5	11.9
	利用	26.1	28.0	21.4	31.5	47.6

付表-1 1987年度放送大学学生教材調査 性別・学生種別・年齢群別結果一覧(その3)

	放送大 総計	性 別		全 履修生	学 生 選 修 生	種 別 科 履 修 生 特 修 生	年 齢						
		男 女 性					2 4 歳	2 5 ~ 3 4 歳	3 5 ~ 4 4 歳	4 5 ~ 5 4 歳	5 5 歳 ~		
		男	女										
Q03-5	学習センターでの学習相談の利用の程度												
1	平均値	3.81	3.79	3.83	3.77	3.92	3.86	3.83	3.86	3.84	3.82	3.70	
2	有効回数	1492	715	777	960	325	123	84	327	432	302	246	
3	よく利用する	0.4	0.7	0.1	0.3	0.3	1.6	0.0	0.3	0.2	0.0	1.2	
4	たまに利用する	3.7	3.6	3.7	4.6	1.5	2.4	3.6	2.8	3.0	3.6	6.5	
5	まったく利用しない	10.0	11.2	8.9	12.8	4.0	4.1	9.5	8.0	9.5	10.3	13.8	
6	あまったく利用しない	85.9	84.5	87.3	82.3	94.2	91.9	86.9	89.0	87.3	86.1	78.5	
Q03-6	通信指導問題の最後のページにある質問票の利用の程度												
1	平均値	3.85	3.82	3.88	3.85	3.89	3.73	3.86	3.88	3.87	3.85	3.76	
2	有効回数	1505	720	785	971	325	124	85	328	436	307	249	
3	よく利用する	0.5	1.0	0.1	0.1	0.9	3.2	0.0	0.3	0.2	0.3	2.0	
4	たまに利用する	2.4	2.4	2.4	2.2	1.8	5.6	2.4	1.8	1.8	2.6	3.2	
5	まったく利用しない	8.8	10.8	7.0	10.6	4.6	5.6	9.4	7.0	8.9	8.5	12.0	
6	あまったく利用しない	88.2	85.8	90.4	87.1	92.6	85.5	88.2	90.9	89.0	88.6	82.7	
Q03-7	放送大学内のサークル活動や勉強会の利用の程度												
1	平均値	3.67	3.70	3.65	3.58	3.86	3.83	3.80	3.81	3.65	3.56	3.68	
2	有効回数	1505	720	785	971	325	124	85	327	437	306	250	
3	よく利用する	4.5	4.4	4.5	5.8	2.2	2.4	1.2	2.1	4.3	6.2	4.4	
4	たまに利用する	5.4	3.9	6.9	7.1	2.2	3.2	2.4	4.9	5.7	7.8	4.8	
5	まったく利用しない	8.6	9.0	8.2	10.7	3.4	3.2	11.8	7.0	10.3	9.8	9.6	
6	あまったく利用しない	81.5	82.6	80.5	76.4	92.3	91.1	84.7	82.2	79.6	76.1	81.2	
Q04-1	あなたのお宅では、テレビで放送大学の番組を支援なく受信できますか												
1	平均値	1.44	1.44	1.44	1.40	1.49	1.62	1.48	1.53	1.44	1.41	1.36	
2	有効回数	1523	726	797	983	329	117	94	184	444	312	258	
3	よく受信できる	63.4	63.6	63.2	65.7	59.6	57.3	60.6	53.8	62.8	66.3	71.3	
4	何とか受信できない	29.3	28.5	30.0	29.0	31.6	23.9	30.9	39.1	30.4	26.6	21.7	
5	あまったく受信できない	7.3	7.9	6.8	5.3	8.8	18.8	8.5	7.1	6.8	7.1	7.0	
Q04-2	あなたのお宅では、ラジオで放送大学の番組を支援なく受信できますか												
1	平均値	1.17	1.17	1.18	1.16	1.16	1.28	1.24	1.23	1.15	1.17	1.13	
2	有効回数	1489	718	771	974	318	112	85	181	430	308	247	
3	よく受信できる	85.1	85.7	84.6	85.7	86.5	79.5	80.0	80.1	87.0	84.7	90.3	
4	何とか受信できない	12.4	11.4	13.4	12.4	11.0	13.4	16.5	16.6	10.7	13.6	6.9	
5	あまったく受信できない	2.5	2.9	2.1	1.8	2.5	7.1	3.5	3.3	2.3	1.6	2.8	
Q05-1	あなたの身近に、利用できるビデオデッキがありますか												
1	平均値	1.25	1.27	1.23	1.22	1.28	1.35	1.34	1.22	1.22	1.27	1.33	
2	有効回数	1536	732	804	984	335	124	93	183	450	314	256	
3	よく身近にない	75.1	73.5	76.6	78.4	72.2	64.5	65.6	77.6	78.4	73.2	66.8	
4	あまったく身近にない	24.9	26.5	23.4	21.6	27.8	35.5	34.4	22.4	21.6	26.8	33.2	
Q05-2	あなたの身近に、利用できるテープレコーダーがありますか												
1	平均値	1.05	1.07	1.03	1.04	1.06	1.08	1.11	1.03	1.02	1.04	1.05	
2	有効回数	1546	740	806	987	336	131	92	185	336	449	315	
3	よく身近にない	95.0	93.0	96.8	96.0	94.3	92.4	89.1	97.3	97.6	95.8	88.5	
4	あまったく身近にない	5.0	7.0	3.2	4.0	5.7	7.6	10.9	2.7	2.4	4.2	11.5	

付表-1 1987年度放送大学学生教材調査 性別・学生種別・年齢群別結果一覧(その4)

放送大 総計	性 別		学 生 種 別			年 齢					
	男	女	性	種 別	特修生	2 4 歳	2 5 歳 3 4 歳	3 5 歳 4 4 歳	4 5 歳 5 4 歳	5 5 歳 ～	
Q06-1 あなたは日常どのように放送大学の教材を学習していますか(テレビ科目)(択一)											
有効回数	1445	689	756	975	295	87	172	309	425	292	247
予習型	19.4	20.0	18.8	18.2	18.6	23.9	8.1	15.2	18.1	24.7	28.3
復習型	16.4	17.9	15.1	16.4	18.6	15.9	14.0	18.8	15.3	20.2	12.6
同時型	23.0	20.3	25.5	23.3	19.7	27.3	23.8	21.4	24.7	20.2	25.1
放送中心型	27.3	25.7	28.8	27.1	32.2	19.3	29.7	28.2	28.5	24.7	25.9
放送中心型	2.9	3.5	2.4	2.9	2.7	5.7	6.4	2.9	2.6	2.7	1.2
その他	6.8	9.0	4.8	8.1	4.7	1.1	15.1	10.4	6.1	2.7	2.4
	4.2	3.6	4.6	4.1	3.4	6.8	2.9	3.2	4.7	4.8	4.5
Q06-2 あなたは日常どのように放送大学の教材を学習していますか(ラジオ科目)(択一)											
有効回数	1368	640	728	923	278	85	163	288	393	296	228
予習型	20.9	20.6	21.2	19.0	23.0	24.7	10.4	14.9	18.1	26.4	33.8
復習型	16.2	16.4	16.1	16.1	18.0	12.9	17.8	15.6	14.8	19.9	13.6
同時型	19.4	17.3	21.2	19.9	16.9	21.2	17.2	19.8	22.9	16.2	18.4
放送中心型	27.5	25.8	29.0	26.7	31.7	25.9	26.4	27.1	30.3	25.0	27.2
放送中心型	2.1	2.5	1.8	2.0	1.8	3.5	3.1	2.1	1.3	3.4	1.3
その他	10.4	14.5	6.7	12.9	5.8	4.7	22.1	17.7	9.2	4.4	2.6
	3.5	2.8	4.1	3.5	2.9	7.1	3.1	2.8	3.6	4.7	3.1
Q07 学習上、もっともほしい放送大学の教材の組み合わせ(択一)											
有効回数	1552	742	810	983	342	93	183	334	449	317	269
放送+通+面	67.5	61.7	72.7	67.9	67.5	71.0	57.4	67.7	70.8	66.2	69.9
放送+面	10.2	10.2	10.2	11.4	9.6	3.7	12.6	8.1	8.9	12.3	11.2
放送+面	12.6	15.5	9.9	14.2	9.9	9.7	17.5	11.4	14.9	12.0	7.4
放送+面	7.3	9.3	5.6	4.2	12.0	19.4	9.8	9.9	4.0	7.3	8.2
放送+面	0.6	0.9	0.4	0.9	0.0	0.0	0.5	1.5	0.7	0.3	0.0
放送+面	0.8	0.8	0.9	0.7	0.6	1.1	1.1	1.2	0.0	0.9	1.5
放送のみ	0.5	0.8	0.2	0.4	0.0	2.2	0.5	0.0	0.4	0.6	1.1
印刷のみ	0.4	0.7	0.1	0.3	0.3	1.5	0.5	0.3	0.2	0.3	0.7
Q08-01 印刷教材には、放送で取り上げる内容そのものの記述が必要											
有効回数	1517	723	794	966	334	87	186	333	448	307	243
必要だがよい	51.9	54.8	49.2	49.1	54.8	60.9	46.8	50.2	51.3	51.5	59.7
必要だがよい	36.6	35.1	37.9	39.1	32.0	34.5	38.7	39.6	37.5	33.2	33.3
必要でない	10.3	8.7	11.7	10.5	11.7	4.6	12.9	9.3	10.3	13.0	6.2
	1.3	1.4	1.1	1.3	1.5	0.0	1.6	0.9	0.9	2.3	0.8
Q08-02 印刷教材には、放送以外の、テーマに関連した内容の記述が必要											
有効回数	1520	724	796	969	335	84	186	333	447	312	242
必要だがよい	58.2	56.9	59.3	58.0	59.4	54.8	59.7	59.8	57.3	55.4	59.9
必要だがよい	8.4	9.8	7.2	7.9	10.7	10.7	12.4	8.7	6.5	7.7	9.5
必要でない	1.2	1.7	0.8	1.0	0.9	3.6	2.2	0.6	0.9	1.0	2.1

付表－1 1987年度放送大学学生教材調査 性別・学生種別・年齢群別結果一覧（その5）

	放送大 総計	性 別		学 生 種 別	年 齢							
		男 女			特修生	2 5 ～ 3 4 歳			4 5 ～ 5 4 歳	5 5 歳 ～		
		男	女			2 4 歳	2 5 歳	3 5 歳				
Q08-03 印刷教材には、放送番組を理解するための予備知識が必要												
平 均 値	1.90	1.91	1.89	1.89	1.88	1.77	1.84	1.84	1.84	1.93	1.93	1.94
有効回答数	1510	720	790	331	130	86	186	333	333	445	309	237
1 必要だ	30.5	30.3	30.8	31.4	31.5	36.0	30.6	34.5	34.5	29.4	30.1	27.4
2 あった	50.4	50.6	50.3	51.0	48.9	52.3	57.0	48.9	48.9	49.4	47.9	52.3
3 なくともよい	17.8	16.9	18.6	17.8	20.0	10.5	10.2	14.7	14.7	20.2	21.4	19.0
4 ないほうがよい	1.3	2.2	0.4	1.7	0.0	1.2	2.2	1.8	1.8	0.9	0.6	1.3
Q08-04 印刷教材には、放送番組視聴のためのポイントの解説が必要												
平 均 値	1.87	1.91	1.83	1.87	1.92	1.69	1.81	1.90	1.90	1.85	1.92	1.83
有効回答数	1508	719	789	331	130	85	186	333	333	448	305	236
1 必要だ	34.4	33.1	35.5	34.7	32.0	42.4	36.6	33.9	33.9	35.7	29.8	36.4
2 あった	46.2	45.8	46.6	45.4	44.6	47.1	47.8	44.1	44.1	45.5	49.2	45.3
3 なくともよい	17.8	18.4	17.4	18.1	22.3	9.4	14.0	20.1	20.1	16.7	20.0	16.9
4 ないほうがよい	1.6	2.8	0.5	1.8	0.8	1.2	1.6	1.8	1.8	2.0	1.0	1.3
Q08-05 印刷教材には、専門用語やキー・ワードの解説が必要												
平 均 値	1.61	1.66	1.56	1.67	1.59	1.54	1.59	1.58	1.58	1.59	1.62	1.68
有効回答数	1509	719	790	332	130	84	186	334	334	447	309	233
1 必要だ	47.6	44.8	50.1	48.4	49.2	53.6	50.5	49.4	49.4	49.2	45.3	42.5
2 あった	44.4	45.3	43.5	44.3	42.3	39.3	40.3	43.4	43.4	43.0	47.6	47.6
3 なくともよい	7.6	9.0	6.3	6.7	8.5	7.1	8.6	6.9	6.9	7.2	7.1	9.4
4 ないほうがよい	0.4	0.8	0.0	0.5	0.0	0.0	0.5	0.3	0.3	0.7	0.0	0.4
Q08-06 印刷教材には、講座各回のねらいや学習の到達目標が必要												
平 均 値	1.79	1.82	1.76	1.84	1.87	1.77	1.97	1.80	1.80	1.74	1.74	1.80
有効回答数	1511	719	792	335	129	84	186	334	334	445	307	239
1 必要だ	38.1	37.0	39.1	39.5	35.7	36.9	24.2	37.7	37.7	42.2	41.7	37.2
2 あった	45.5	45.1	46.0	45.4	43.4	51.2	55.4	46.7	46.7	41.6	43.3	46.4
3 なくともよい	15.6	17.0	14.3	14.4	19.4	9.5	19.9	13.5	13.5	16.0	14.7	15.5
4 ないほうがよい	0.8	1.0	0.6	0.7	1.6	2.4	0.5	2.1	2.1	0.2	0.3	0.8
Q08-07 印刷教材には、各回ごとのまとめや要約が必要												
平 均 値	1.88	1.86	1.90	1.88	1.95	1.67	1.83	1.92	1.92	1.90	1.89	1.79
有効回答数	1524	727	797	335	131	87	186	332	332	447	313	246
1 必要だ	35.2	37.0	33.5	35.3	29.8	40.2	37.1	36.1	36.1	34.0	32.6	37.8
2 あった	43.6	42.6	44.4	42.8	45.8	54.0	43.5	38.6	38.6	43.6	47.0	45.9
3 なくともよい	19.6	18.0	21.1	20.0	23.7	4.6	18.3	22.6	22.6	20.4	19.5	15.4
4 ないほうがよい	1.6	2.3	1.0	1.9	0.8	1.1	1.1	2.7	2.7	2.0	1.0	0.8
Q08-08 印刷教材には、練習問題が必要												
平 均 値	2.09	2.02	2.17	2.15	2.07	1.88	2.09	2.04	2.04	2.11	2.18	2.03
有効回答数	1502	717	785	959	330	83	186	334	334	443	303	236
1 必要だ	23.6	29.7	18.1	20.8	24.2	37.3	23.1	28.7	28.7	21.9	19.5	25.4
2 あった	46.2	42.4	49.7	47.2	46.4	39.8	47.8	42.8	42.8	47.2	45.9	48.3
3 なくともよい	27.2	24.4	29.8	28.5	27.6	20.5	26.3	23.7	23.7	28.9	32.0	23.7
4 ないほうがよい	2.9	3.5	2.4	3.5	1.8	2.4	2.7	4.8	4.8	2.0	2.6	2.5

付表-1 1987年度放送大学学生教材調査 性別・学生種別・年齢群別結果一覧(その6)

放送大 総計		性 別		学 生 種 別		年 齢								
		男 性	女 性	全 履修生	選 科履修生	科 履修生	特修生	2 4 歳 ～	2 5 ～ 3 4 歳	3 5 ～ 4 4 歳	4 5 ～ 5 4 歳	5 5 歳 ～		
008-09		印刷教材には、参考資料が必要												
1	平 均 値	1.78	1.82	1.74	1.77	1.79	1.77	1.80	1.69	1.82	1.77	1.76	1.79	1.79
2	有 効 回 答 数	1504	714	790	330	962	330	127	85	186	335	445	307	231
3	%	32.2	31.4	32.9	34.2	31.1	34.2	31.5	37.6	32.8	34.9	33.3	29.0	29.9
4	必要だったほうがよい	58.3	56.6	59.9	54.5	59.8	54.5	58.3	56.5	54.3	54.3	58.0	62.9	61.9
	必要だったほうがよい	8.8	10.6	7.1	10.9	8.4	10.9	8.7	4.7	10.8	9.9	8.5	7.8	7.4
	必要だったほうがよい	0.7	1.4	0.1	0.3	0.7	0.3	1.6	1.2	2.2	0.9	0.2	0.3	0.9
008-10		印刷教材には、参考文献のリストが必要												
1	平 均 値	1.75	1.80	1.71	1.79	1.73	1.79	1.86	1.74	1.88	1.69	1.74	1.75	1.77
2	有 効 回 答 数	1503	714	789	330	961	330	127	85	185	334	445	306	233
3	%	35.8	34.9	36.6	34.5	36.8	34.5	32.3	34.1	31.4	41.6	35.7	34.3	33.0
4	必要だったほうがよい	53.7	51.3	55.9	52.1	54.2	52.1	51.2	57.6	51.4	48.2	54.8	56.5	57.5
	必要だったほうがよい	9.8	12.6	7.4	13.0	8.2	13.0	15.0	8.2	15.7	9.6	9.0	8.8	8.6
	必要だったほうがよい	0.7	1.3	0.1	0.3	0.7	0.3	1.6	0.0	1.6	0.6	0.4	0.3	0.9
008-11		印刷教材には、参考文献や資料の検索法が必要												
1	平 均 値	2.02	2.09	1.96	2.04	2.01	2.04	2.11	1.93	2.13	2.03	2.02	1.94	2.03
2	有 効 回 答 数	1499	712	787	327	962	327	128	82	185	334	444	304	232
3	%	24.1	22.9	25.3	22.0	24.9	22.0	20.3	29.3	19.5	23.1	24.3	28.9	22.8
4	必要だったほうがよい	51.0	47.2	54.5	52.0	50.6	52.0	52.3	50.0	50.8	52.7	50.5	48.4	53.4
	必要だったほうがよい	23.5	27.9	19.6	25.7	23.2	25.7	23.4	19.5	27.0	22.8	24.5	22.0	22.0
	必要だったほうがよい	1.3	2.0	0.6	0.3	1.2	0.3	3.9	1.2	2.7	1.5	0.7	0.7	1.7
008-12		印刷教材には、図表が必要												
1	平 均 値	1.46	1.42	1.49	1.46	1.44	1.46	1.58	1.42	1.48	1.44	1.45	1.50	1.41
2	有 効 回 答 数	1514	722	792	335	966	335	128	85	186	333	447	307	241
3	%	56.8	60.4	53.5	58.2	56.8	58.2	50.0	61.2	53.8	57.7	57.5	53.4	61.0
4	必要だったほうがよい	41.0	37.5	44.1	37.6	42.4	37.6	42.2	35.3	44.6	40.8	40.3	43.3	36.5
	必要だったほうがよい	2.2	2.1	2.3	4.2	0.6	4.2	7.8	3.5	1.6	1.5	2.2	2.9	2.5
	必要だったほうがよい	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
008-13		印刷教材には、小見出しが必要												
1	平 均 値	1.67	1.69	1.66	1.74	1.64	1.74	1.81	1.59	1.69	1.69	1.65	1.64	1.69
2	有 効 回 答 数	1501	712	789	331	962	331	125	83	186	331	443	307	234
3	%	41.1	40.9	41.3	36.9	43.0	36.9	32.8	48.2	37.1	41.1	41.8	42.0	41.9
4	必要だったほうがよい	51.0	50.0	51.8	52.6	50.4	52.6	54.4	45.8	56.5	48.6	51.5	51.5	48.3
	必要だったほうがよい	7.7	8.7	6.7	10.6	6.3	10.6	12.0	4.8	6.5	10.0	6.8	6.5	8.5
	必要だったほうがよい	0.3	0.4	0.1	0.0	0.2	0.0	0.8	1.2	0.0	0.3	0.0	0.0	1.3
008-14		印刷教材には、索引が必要												
1	平 均 値	1.52	1.53	1.52	1.60	1.48	1.60	1.70	1.42	1.49	1.45	1.54	1.52	1.63
2	有 効 回 答 数	1508	717	791	332	963	332	129	84	186	333	444	310	235
3	%	53.7	54.1	53.4	48.8	56.6	48.8	41.1	59.5	55.4	60.7	51.8	52.9	47.2
4	必要だったほうがよい	40.3	38.9	41.6	42.5	38.5	42.5	48.8	39.3	40.9	33.6	42.1	41.9	43.8
	必要だったほうがよい	5.8	6.7	4.9	8.4	4.8	8.4	9.3	1.2	3.2	5.7	6.1	5.2	8.1
	必要だったほうがよい	0.2	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.8	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.9

付表-1 1987年度放送大学学生教材調査 性別・学生種別・年齢群別結果一覧(その7)

	放送大 総計	性 別		学 生 種 別		年 齢						
		性 別		学 生 種 別		年 齢						
		男	女	全 科 履 修 生	特 修 生	2 4 歳	2 5 歳	3 4 歳	3 5 歳	4 4 歳	4 5 歳	5 4 歳
Q08-15	印刷教材には、写真が必要	1.70	1.70	1.65	1.80	1.82	1.71	1.76	1.73	1.61	1.74	1.72
	平均値	1.70	1.70	1.65	1.80	1.82	1.71	1.76	1.73	1.61	1.74	1.72
	有効回答数	1505	792	961	330	127	87	186	333	445	307	234
	必要だったほうがよい	39.8	40.7	42.1	36.1	33.9	36.8	37.6	38.4	46.1	36.5	35.9
	必要だったほうがよい	50.8	52.4	51.2	48.5	50.4	55.2	48.9	50.2	47.2	53.4	56.4
Q08-16	印刷教材には、イラストが必要	1.89	1.97	1.88	2.02	2.15	1.92	1.95	1.89	1.92	1.95	1.99
	平均値	1.89	1.97	1.88	2.02	2.15	1.92	1.95	1.89	1.92	1.95	1.99
	有効回答数	1502	788	961	328	127	86	186	332	444	308	232
	必要だったほうがよい	30.2	32.4	32.6	26.5	22.8	27.9	28.5	32.5	32.0	29.2	25.9
	必要だったほうがよい	47.9	48.3	48.8	47.0	40.2	52.3	50.5	47.3	45.9	47.4	50.9
Q08-17	ノートやメモ用の余白が必要	1.55	1.53	1.55	1.8	0.8	0.0	2.2	0.9	1.8	1.0	1.3
	平均値	1.55	1.53	1.55	1.8	0.8	0.0	2.2	0.9	1.8	1.0	1.3
	有効回答数	1505	795	963	332	127	83	186	334	442	308	235
	必要だったほうがよい	29.0	28.0	29.4	29.2	21.3	36.1	26.3	28.7	28.1	29.2	33.6
	必要だったほうがよい	33.1	34.2	32.2	33.4	43.3	26.5	44.6	37.1	31.4	30.5	24.7
Q08-18	講師の研究上のエピソードが必要	2.22	2.23	2.21	2.28	2.33	2.03	2.36	2.23	2.19	2.22	2.19
	平均値	2.22	2.23	2.21	2.28	2.33	2.03	2.36	2.23	2.19	2.22	2.19
	有効回答数	1524	802	974	334	130	86	186	336	448	312	242
	必要だったほうがよい	14.4	17.3	14.8	13.8	10.8	18.6	11.8	13.4	16.5	12.8	16.1
	必要だったほうがよい	52.2	48.3	53.1	48.2	50.8	59.3	46.2	53.9	51.1	54.5	53.3
Q08-19	放送番組制作上のエピソードが必要	2.66	2.67	2.69	2.64	2.66	2.42	2.79	2.69	2.70	2.58	2.56
	平均値	2.66	2.67	2.69	2.64	2.66	2.42	2.79	2.69	2.70	2.58	2.56
	有効回答数	1511	794	965	331	131	84	186	334	446	309	236
	必要だったほうがよい	5.4	5.9	5.3	5.7	5.3	4.8	4.3	4.2	4.7	7.4	6.4
	必要だったほうがよい	31.9	33.1	29.9	32.9	32.1	50.0	25.8	32.3	30.3	33.3	37.3
Q08-20	講師の履歴や業績の紹介が必要	2.23	2.25	2.24	2.26	2.31	2.05	2.53	2.31	2.28	2.15	1.97
	平均値	2.23	2.25	2.24	2.26	2.31	2.05	2.53	2.31	2.28	2.15	1.97
	有効回答数	1512	794	966	329	130	87	186	333	446	310	237
	必要だったほうがよい	14.6	16.4	13.9	15.2	12.3	23.0	11.3	15.0	10.5	15.5	22.8
	必要だったほうがよい	51.0	48.3	52.3	48.3	47.7	51.7	33.9	44.7	54.7	56.5	59.1

付表-1 1987年度放送大学学生教材調査 性別・学生種別・年齢群別結果一覧(その8)

	放送大 総計	性別		性	学生種別		年齢								
		男	女		全 履修生	選 修生	科 履修生	目 修生	24歳 ～	25歳 34歳	35歳 44歳	45歳 54歳	55歳 ～		
Q08-21 印刷教材には、講師の人となりの紹介が必要															
平均値	2.35	2.39	2.32		2.36	2.38	2.45	2.07	2.66	2.44	2.34	2.21	2.22		
有効回答数	1510	715	795		965	328	130	87	186	333	447	310	234		
1 必要だと感じるがよい	11.1	11.3	10.9		10.8	10.1	9.2	21.8	6.5	11.4	9.8	12.6	15.0		
2 必要だと感じるがよい	47.6	44.5	50.4		48.1	47.9	41.5	50.6	31.7	39.0	51.7	56.8	52.6		
3 必要だと感じるがよい	36.0	37.6	34.5		35.5	36.6	43.8	26.4	51.1	43.8	33.3	28.1	28.2		
4 必要だと感じるがよい	5.3	6.6	4.2		5.6	5.5	5.4	1.1	10.8	5.7	5.1	2.6	4.3		
Q08-22 印刷教材には、講師の顔写真が必要															
平均値	2.48	2.46	2.49		2.47	2.53	2.62	2.12	2.77	2.51	2.46	2.41	2.32		
有効回答数	1506	714	792		963	329	130	84	186	334	447	307	232		
1 必要だと感じるがよい	11.3	12.9	9.8		11.5	10.3	7.7	17.9	4.8	13.2	11.0	12.7	12.5		
2 必要だと感じるがよい	37.6	37.4	37.9		37.5	36.2	31.5	54.8	28.5	32.9	39.6	38.1	47.4		
3 必要だと感じるがよい	43.2	40.9	45.3		43.4	43.8	52.3	25.0	51.6	44.0	42.1	44.6	35.8		
4 必要だと感じるがよい	7.8	8.8	6.9		7.6	9.7	8.5	2.4	15.1	9.9	7.4	4.6	4.3		
Q09 放送大学における放送教材と印刷教材の望ましい関係(択一)															
平均値	1550	741	809		983	340	132	95	186	332	449	318	265		
有効回答数	23.2	23.3	23.1		22.7	23.2	22.0	30.5	25.8	20.2	19.2	24.5	30.6		
1 互いに独立主体	1.6	2.0	1.2		1.5	0.9	3.0	3.2	3.8	1.8	0.4	1.9	1.5		
2 放送教材を主体	21.5	20.2	22.7		20.1	26.8	25.8	11.6	23.1	25.3	21.8	18.2	19.2		
3 印刷教材を主体	50.1	50.7	49.4		51.5	46.5	45.5	54.7	41.9	46.7	56.1	51.6	47.9		
4 その他	3.5	3.6	3.5		4.2	2.6	3.8	0.0	5.4	6.0	2.4	3.8	0.8		
Q10 今後放送大学で、重点を置いてほしい科目のタイプ(択一)															
平均値	1544	740	804		980	337	132	95	182	332	446	318	266		
有効回答数	27.4	26.9	27.9		23.9	32.0	26.5	48.4	21.4	23.2	20.0	30.8	45.1		
1 教養科目	20.5	17.7	23.0		20.6	20.5	25.8	11.6	14.8	21.1	26.5	19.2	15.0		
2 総合基礎科目	31.0	30.1	31.8		31.9	27.9	32.6	30.5	33.0	32.8	34.1	28.9	24.8		
3 専門基礎科目	18.5	21.8	15.4		20.5	18.1	11.4	8.4	26.9	20.8	16.6	18.2	13.2		
4 専攻科目	2.7	3.5	1.9		3.1	1.5	3.8	1.1	3.8	2.1	2.9	2.8	1.9		

付表-2 1987年度放送大学学生教材調査 職業・学歴別結果一覧 (その1)

		職業										学歴				
		放送大 総計	教員	公務員	会社員	個人 営業	自由 業	農業	無職	その他	新制 中等	旧制 中等	高等 学校	短大	専修 専門	大学 以上
	回答総数	1566	32	209	533	56	43	17	541	133	63	73	896	217	53	224
Q01-1	平	147	1.45	1.52	1.52	1.38	1.56	1.59	1.35	1.58	1.35	1.23	1.48	1.45	1.58	1.50
	有効回答数	1474	31	199	504	53	41	17	502	127	57	66	866	206	48	195
1	有	66.4	61.3	63.3	63.3	71.7	63.4	70.6	71.7	63.0	71.9	83.3	64.7	68.4	60.4	66.2
2	や	24.4	35.5	26.6	26.2	20.8	24.4	11.8	22.5	21.3	22.8	12.1	26.6	21.8	22.9	22.6
3	ど	6.0	0.0	6.5	6.3	5.7	4.9	5.9	4.4	11.8	3.5	3.0	5.4	6.3	14.6	7.2
4	あ	2.8	3.2	4.0	3.2	1.9	7.3	11.8	1.4	2.4	1.8	1.5	2.8	2.9	2.1	3.6
5	そ	0.5	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.6	0.5	0.0	0.5
Q01-2	平	2.00	1.82	2.19	2.12	1.87	1.87	2.38	1.81	2.06	1.92	1.52	2.02	2.01	2.49	1.96
	有効回答数	1445	28	191	498	52	38	16	502	120	59	64	835	203	45	203
1	有	40.1	39.3	30.9	34.9	48.1	47.4	31.3	48.0	38.3	50.8	60.9	37.8	39.9	26.7	42.4
2	や	33.8	50.0	35.6	35.1	28.8	31.6	25.0	31.5	35.0	20.3	28.1	35.3	32.0	31.1	34.5
3	ど	14.5	3.6	18.8	15.7	11.5	7.9	25.0	13.5	11.7	16.9	9.4	15.4	15.3	15.6	11.8
4	あ	9.8	3.6	13.1	11.8	11.5	13.2	12.5	5.8	12.5	10.2	1.6	9.7	12.8	20.0	7.9
5	そ	1.8	3.6	1.6	2.4	0.0	0.0	6.3	1.2	2.5	1.7	0.0	1.7	0.0	6.7	3.4
Q01-3	平	1.50	1.50	1.55	1.62	1.45	1.43	1.71	1.36	1.50	1.46	1.24	1.51	1.48	1.60	1.54
	有効回答数	1557	32	208	532	55	42	17	538	133	63	72	894	216	53	221
1	有	63.8	65.6	61.1	54.5	70.9	64.3	58.8	72.1	68.4	68.3	80.6	63.8	62.5	56.6	60.2
2	や	25.8	21.9	26.9	32.5	20.0	28.6	17.6	21.4	18.0	22.2	15.3	25.1	28.7	30.2	28.5
3	ど	7.8	9.4	8.2	9.8	3.6	7.1	17.6	5.2	10.5	6.3	4.2	7.8	7.4	11.3	9.0
4	あ	2.3	3.1	3.4	3.0	3.6	0.0	5.9	1.5	1.5	1.6	0.0	3.2	0.9	0.0	1.8
5	そ	0.3	0.0	0.5	0.2	1.8	0.0	0.0	0.0	1.5	1.6	0.0	0.1	0.5	1.9	0.5
Q01-4	平	2.13	2.30	2.28	2.22	1.88	2.00	2.06	2.02	2.11	2.02	1.60	2.20	2.09	2.18	2.09
	有効回答数	1452	30	193	501	52	38	16	500	122	59	62	846	204	50	199
1	有	36.8	26.7	30.1	33.7	51.9	42.1	37.5	42.2	32.8	50.8	62.9	33.2	39.2	30.0	37.2
2	や	30.4	40.0	31.1	29.3	23.1	34.2	37.5	29.4	36.9	18.6	19.4	32.2	29.4	32.0	32.2
3	ど	19.2	10.0	23.3	22.4	15.4	7.9	12.5	16.2	20.5	15.3	12.9	19.6	18.1	28.0	19.6
4	あ	9.6	23.3	11.9	10.0	3.8	13.2	6.3	8.8	6.6	8.5	4.8	11.0	9.3	10.0	6.5
5	そ	3.9	0.0	3.6	4.6	5.8	2.6	6.3	3.4	3.3	6.8	0.0	4.0	3.9	0.0	4.5
Q01-5	平	1.74	1.61	1.85	1.78	1.88	1.77	1.82	1.63	1.86	1.71	1.54	1.75	1.76	2.02	1.71
	有効回答数	1492	31	195	511	50	40	17	520	128	58	65	869	210	50	204
1	有	54.8	58.1	44.6	52.6	54.0	52.5	58.8	61.3	52.3	63.8	64.6	54.3	55.7	40.0	55.9
2	や	25.2	32.3	34.4	26.6	26.0	27.5	17.6	20.8	21.9	15.5	21.5	25.3	21.4	36.0	26.5
3	ど	12.7	0.0	14.4	12.9	8.0	12.5	5.9	12.7	15.6	12.1	9.2	12.9	15.7	10.0	11.3
4	あ	5.2	9.7	4.6	5.5	2.0	17.6	4.0	7.8	7.8	5.4	4.6	5.5	5.7	10.0	3.4
5	そ	2.1	0.0	2.1	2.3	10.0	2.5	0.0	1.2	2.3	5.2	0.0	2.0	1.4	4.0	2.9

付表-2 1987年度放送大学学生教材調査 職業・学歴別結果一覧 (その2)

		業										学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職					業					学		歴	
		職													

付表一 2 1 9 8 7 年度放送大学学生教材調査 職業・学歴別結果一覧 (その 3)

		業										学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業					学					歴	
		職					業											

付表-2 1987年度放送大学学生教材調査 職業・学歴別結果一覧(その4)

		職業					学歴							
		放送大 総計	教員	公務員	会社員 等	個人 営業	自由 業	農業 等	その他	新制 中等	旧制 中等	高等 学校	短大 専修	大学 以上
Q06-1 あなたは日常どのような放送大学の教材を学習していますか(テレビ科目)(択一)														
1	有効回数	1445	31	194	492	52	39	17	499	121	52	65	863	201
2	有効回数	19.4	19.4	16.5	17.3	19.2	17.9	0.0	24.4	14.9	28.8	27.7	19.1	17.4
3	有効回数	16.4	19.4	21.1	16.1	15.4	20.5	5.9	14.6	17.4	7.7	16.9	16.8	15.9
4	有効回数	23.0	32.3	23.7	19.1	34.6	17.9	29.4	25.3	22.3	25.0	26.2	23.2	25.4
5	有効回数	27.3	25.8	24.7	28.3	21.2	33.3	35.3	25.7	34.7	29.0	23.1	27.0	27.4
6	有効回数	2.9	0.0	3.1	4.7	0.0	5.1	5.9	1.4	2.5	0.0	0.0	2.7	4.0
7	有効回数	6.8	3.2	8.8	10.0	1.9	0.0	17.6	4.2	5.0	7.7	0.0	7.3	6.0
8	有効回数	4.2	0.0	2.1	4.7	7.7	5.1	5.9	4.4	3.3	5.8	6.2	3.9	4.0
Q06-2 あなたは日常どのような放送大学の教材を学習していますか(ラジオ科目)(択一)														
1	有効回数	1368	26	177	463	49	33	14	488	118	58	59	799	189
2	有効回数	20.9	26.9	15.8	17.3	28.6	24.2	0.0	27.0	14.4	32.8	28.8	20.7	18.5
3	有効回数	16.2	26.9	16.4	16.6	18.4	12.1	14.3	15.0	17.8	13.8	15.3	16.9	13.2
4	有効回数	19.4	23.1	18.1	18.1	22.4	24.2	21.4	20.3	18.6	20.7	16.9	19.3	23.3
5	有効回数	27.5	15.4	31.1	26.1	16.3	27.3	42.9	28.1	30.5	24.1	30.5	26.9	30.7
6	有効回数	2.1	0.0	0.6	3.2	2.0	3.0	0.0	1.4	3.4	3.4	0.0	1.6	3.2
7	有効回数	10.4	7.7	17.5	14.5	6.1	3.0	14.3	4.7	11.0	1.7	5.1	12.0	5.8
8	有効回数	3.5	0.0	0.6	4.1	6.1	6.1	7.1	3.5	4.2	3.4	3.4	2.6	5.3
Q07 学習上、もっともよい放送大学の教材の組み合わせ(択一)														
1	有効回数	1552	32	207	528	56	42	17	539	131	62	72	891	215
2	有効回数	67.5	71.9	59.9	65.9	71.4	71.4	47.1	69.9	74.0	64.5	70.8	65.2	72.6
3	有効回数	10.2	6.3	15.5	9.3	8.9	9.5	5.9	10.6	6.9	12.9	6.9	11.4	8.4
4	有効回数	12.6	15.6	15.5	13.6	10.7	11.9	23.5	11.5	6.9	4.8	9.7	14.6	10.2
5	有効回数	7.3	6.3	7.2	8.5	7.1	4.8	11.8	6.3	7.6	11.3	11.1	6.6	5.6
6	有効回数	0.6	0.0	0.5	1.1	0.0	0.0	0.0	0.4	0.8	1.6	0.0	0.7	0.5
7	有効回数	0.8	0.0	1.4	0.6	0.0	2.4	5.9	0.6	1.5	3.2	0.0	0.8	0.9
8	有効回数	0.5	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	5.9	0.6	1.5	1.6	0.0	0.3	1.4
9	有効回数	0.4	0.0	0.0	0.6	1.8	0.0	0.0	0.2	0.8	0.0	1.4	0.3	0.5
Q08-01 印刷教材には、放送で取り上げる内容そのものの記述が必要														
1	有効回数	1.61	1.59	1.57	1.63	1.71	1.46	1.25	1.60	1.68	1.47	1.53	1.63	1.59
2	有効回数	1517	32	204	521	52	39	16	522	131	57	64	877	211
3	有効回数	51.9	50.0	54.9	50.7	50.0	66.7	81.3	51.0	48.9	57.9	54.7	50.1	52.6
4	有効回数	36.6	40.6	34.8	37.6	32.7	23.1	12.5	38.1	36.6	36.8	37.5	38.1	36.5
5	有効回数	10.3	9.4	8.8	10.2	13.5	7.7	6.3	10.5	12.2	5.3	7.8	10.4	10.4
6	有効回数	1.3	0.0	1.5	1.5	3.8	2.6	0.0	0.4	2.3	0.0	0.0	1.5	0.5
Q08-02 印刷教材には、放送以外の、テーマに関連した内容の記述が必要														
1	有効回数	1.79	1.84	1.76	1.78	1.70	1.82	1.60	1.80	1.78	1.97	1.69	1.77	1.79
2	有効回数	1520	32	208	524	54	39	15	519	129	58	65	879	214
3	有効回数	32.2	31.3	32.7	32.1	42.6	35.9	53.3	30.6	31.0	24.1	38.5	33.4	30.4
4	有効回数	58.2	56.3	58.7	58.8	46.3	46.2	33.3	59.5	61.2	60.3	55.4	57.1	60.3
5	有効回数	8.4	9.4	8.2	7.8	9.3	17.9	13.3	8.7	6.2	10.3	4.6	8.8	9.3
6	有効回数	1.2	3.1	0.5	1.3	1.9	0.0	0.0	1.2	1.6	5.2	1.5	0.7	0.0

付表－2 1987年度放送大学学生教材調査 職業・学歴別結果一覧（その6）

業															学		歴	
職															学		歴	
放送大 総計															学		歴	
教員															学		歴	
公務員															学		歴	
会社 員等															学		歴	
個人 営業															学		歴	
自由 業															学		歴	
農業 等															学		歴	
無職															学		歴	
その他															学		歴	
新制 中等															学		歴	
旧制 中等															学		歴	
高等学校															学		歴	
短大 専修 以上															学		歴	
大学 専修 以上															学		歴	

008-09	印刷教材には、参考資料が必要	1.78	1.66	1.80	1.82	1.76	1.72	1.69	1.75	1.78	1.72	1.80	1.80	1.78	1.65	1.75
平	値	1504	32	204	521	51	40	16	511	129	58	60	871	212	52	217
1	必要だったほうがよい	32.2	37.5	33.3	29.8	31.4	40.0	37.5	33.5	31.0	36.2	30.0	29.6	32.1	44.2	39.2
2	必要だったほうがよい	58.3	59.4	53.9	59.3	60.8	47.5	56.3	59.1	60.5	56.9	60.0	61.4	58.5	46.2	47.5
3	必要だったほうがよい	8.8	3.1	12.3	10.0	7.8	12.5	6.3	6.7	7.8	5.2	10.0	8.2	9.0	9.6	12.4
4	必要だったほうがよい	0.7	0.0	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	1.7	0.0	0.8	0.5	0.0	0.9

008-10	印刷教材には、参考文献のリストが必要	1.75	1.53	1.74	1.78	1.69	1.70	1.63	1.75	1.78	1.74	1.79	1.79	1.70	1.77	1.67
平	値	1503	32	203	521	51	40	16	513	127	58	61	870	211	52	217
1	必要だったほうがよい	35.8	46.9	37.9	34.4	43.1	42.5	43.8	34.9	33.1	37.9	29.5	33.4	40.3	36.5	42.9
2	必要だったほうがよい	53.7	53.1	50.7	53.7	45.1	45.0	50.0	55.9	55.9	50.0	62.3	55.3	50.7	50.0	48.4
3	必要だったほうがよい	9.8	0.0	10.3	11.3	11.8	12.5	6.3	8.2	11.0	12.1	8.2	10.6	8.1	13.5	7.8
4	必要だったほうがよい	0.7	0.0	1.0	0.6	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.9	0.0	0.9

008-11	印刷教材には、参考文献や資料の検索法が必要	2.02	2.00	2.06	2.08	1.86	1.95	1.63	2.00	1.95	1.89	2.02	2.00	2.03	2.10	2.10
平	値	1499	32	202	516	51	39	16	514	129	57	59	873	209	51	217
1	必要だったほうがよい	24.1	28.1	20.8	22.9	35.3	30.8	43.8	23.5	27.1	33.3	18.6	24.6	23.4	13.7	24.4
2	必要だったほうがよい	51.0	43.8	53.0	48.3	43.1	46.2	50.0	54.5	51.9	45.6	62.7	51.9	50.2	62.7	43.3
3	必要だったほうがよい	23.5	28.1	25.7	27.3	21.6	20.5	6.3	20.6	19.4	19.3	16.9	22.2	25.8	23.5	30.0
4	必要だったほうがよい	1.3	0.0	0.5	1.6	0.0	2.6	0.0	1.4	1.6	1.8	1.7	1.3	0.5	0.0	2.3

008-12	印刷教材には、図表が必要	1.46	1.31	1.41	1.45	1.44	1.45	1.75	1.47	1.48	1.50	1.42	1.46	1.47	1.37	1.46
平	値	1514	32	204	520	52	40	16	521	129	58	62	876	211	52	218
1	必要だったほうがよい	56.8	71.9	59.8	57.1	55.8	57.5	37.5	55.7	54.3	55.2	62.9	56.4	55.0	65.4	56.9
2	必要だったほうがよい	41.0	25.0	39.2	40.6	44.2	40.0	50.0	41.8	43.4	39.7	32.3	41.7	43.1	32.7	40.4
3	必要だったほうがよい	2.2	3.1	1.0	2.3	0.0	2.5	12.5	2.3	2.3	5.2	4.8	1.8	1.9	1.9	2.8
4	必要だったほうがよい	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0

008-13	印刷教材には、小見出しが必要	1.67	1.41	1.66	1.70	1.73	1.67	1.67	1.65	1.70	1.66	1.65	1.67	1.59	1.71	1.74
平	値	1501	32	201	522	52	39	15	512	128	56	60	872	210	52	217
1	必要だったほうがよい	41.1	59.4	42.8	39.1	34.6	43.6	40.0	42.2	39.8	44.6	43.3	40.6	45.7	36.5	39.2
2	必要だったほうがよい	51.0	40.6	48.8	51.9	57.7	48.7	53.3	51.0	50.8	46.4	48.3	51.7	50.0	55.8	48.4
3	必要だったほうがよい	7.7	0.0	8.5	8.6	7.7	5.1	6.7	6.6	9.4	7.1	8.3	7.5	4.3	7.7	12.0
4	必要だったほうがよい	0.3	0.0	0.0	0.4	0.0	2.6	0.0	0.2	0.0	1.8	0.0	0.2	0.0	0.0	0.5

008-14	印刷教材には、索引が必要	1.52	1.31	1.50	1.55	1.48	1.52	1.44	1.54	1.49	1.47	1.61	1.54	1.45	1.50	1.53
平	値	1508	32	202	526	52	40	16	512	128	59	61	875	210	52	217
1	必要だったほうがよい	53.7	68.8	57.4	52.1	57.7	57.5	62.5	51.4	56.3	54.2	47.5	52.3	59.5	55.8	55.8
2	必要だったほうがよい	40.3	31.3	35.6	41.3	36.5	35.0	31.3	43.2	39.1	44.1	44.3	41.5	36.2	38.5	36.4
3	必要だったほうがよい	5.8	0.0	6.9	6.5	5.8	5.0	6.3	5.5	3.9	1.7	8.2	5.9	4.3	5.8	7.4
4	必要だったほうがよい	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	2.5	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.5

付表-2 1987年度放送大学学生教材調査 職業・学歴別結果一覧(その7)

		職業										学歴				
		職					業					学				
		放送大 総計	教員	公務員	会社員等	個人営業	自由業	農業等	無職	その他	新制中等	旧制中等	高等学校	短大	専修門	大学以上
Q08-15	印刷教材には、写真が必要															
	平均値	1.70	1.47	1.64	1.75	1.69	1.72	1.44	1.69	1.71	1.73	1.79	1.67	1.71	1.63	1.76
	有効回答数	1505	32	203	520	51	40	16	514	129	59	62	870	209	52	217
	%	39.8	56.3	43.8	36.9	43.1	40.0	56.3	39.1	40.3	37.3	32.3	40.7	37.8	48.1	38.7
	必要だほうがよい	50.8	40.6	48.8	51.5	45.1	47.5	43.8	53.1	48.1	54.2	56.5	51.3	53.6	40.4	46.5
Q08-16	必要だほうがよい	9.3	3.1	7.4	11.3	11.8	12.5	0.0	7.6	11.6	6.8	11.3	7.9	8.6	11.5	14.7
	必要だほうがよい	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	1.7	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	必要だほうがよい															
	必要だほうがよい															
	必要だほうがよい															
Q08-17	印刷教材には、イラストが必要															
	平均値	1.93	1.81	1.83	1.95	1.81	2.05	2.06	1.97	1.91	1.90	2.05	1.90	1.96	1.85	2.04
	有効回答数	1502	32	202	520	52	39	16	513	128	58	61	872	207	52	216
	%	30.2	34.4	34.7	30.2	34.6	30.8	31.3	26.5	34.4	31.0	23.0	30.6	28.5	36.5	30.1
	必要だほうがよい	47.9	50.0	48.5	46.3	50.0	35.9	37.5	51.7	41.4	50.0	49.2	49.9	48.3	42.3	38.4
Q08-18	必要だほうがよい	20.6	15.6	16.3	21.9	15.4	30.8	25.0	20.3	22.7	17.2	27.9	18.0	22.2	21.2	29.2
	必要だほうがよい	1.4	0.0	0.5	1.5	0.0	2.6	6.3	1.6	1.6	1.7	0.0	1.5	1.0	0.0	2.3
	必要だほうがよい															
	必要だほうがよい															
	必要だほうがよい															
Q08-19	印刷教材には、講師の研究上のエピソードが必要															
	平均値	2.23	2.19	2.27	2.25	2.02	2.26	2.07	2.23	2.16	2.02	2.14	2.20	2.30	2.29	2.35
	有効回答数	1524	32	208	526	53	38	15	521	131	59	65	885	211	52	218
	%	14.4	15.6	12.5	14.8	24.5	26.3	13.3	12.5	16.0	18.6	12.3	15.0	10.9	15.4	11.9
	必要だほうがよい	52.2	50.0	52.4	50.4	49.1	34.2	66.7	54.3	55.7	61.0	66.2	52.8	51.7	40.4	49.5
Q08-20	必要だほうがよい	29.7	34.4	30.3	30.0	26.4	26.3	20.0	30.9	24.4	20.3	16.9	29.3	33.6	44.2	29.8
	必要だほうがよい	3.7	0.0	4.8	4.8	0.0	13.2	0.0	2.3	3.8	0.0	4.6	2.9	3.8	0.0	8.7
	必要だほうがよい															
	必要だほうがよい															
	必要だほうがよい															

付表-2 1987年度放送大学学生教材調査 職業・学歴別結果一覧(その8)

	放送大 総計	職業	業					学歴									
			教員	公務員	会社 役員等	個人 営業	自由 業	農業 等	無職	その他	新制 中等	旧制 中等	高等 学校	短大 専修	大学 以上		
Q08-21	印刷教材には、講師の人となりの紹介が必要		2.44	2.42	2.44	2.15	2.35	2.33	2.27	2.31	2.12	2.10	2.36	2.42	2.33	2.44	
	均値	2.35	2.44	2.42	2.44	2.15	2.35	2.33	2.27	2.31	2.12	2.10	2.36	2.42	2.33	2.44	
	有効回答数	1510	32	204	522	52	40	15	518	127	60	60	874	213	51	217	
	必要だ	%	11.1	9.4	8.8	11.3	15.4	15.0	6.7	11.2	11.8	20.0	15.0	9.6	10.3	11.8	12.4
	必要でない	%	47.6	46.9	47.1	40.8	55.8	45.0	53.3	51.2	48.3	60.0	50.7	40.8	45.1	40.1	38.7
Q08-22	印刷教材には、講師の顔写真が必要		36.0	37.3	40.8	26.9	30.0	40.0	33.2	30.7	31.7	25.0	33.8	45.1	41.2	38.7	
	均値	5.3	9.4	6.9	7.1	1.9	10.0	0.0	2.5	6.3	0.0	0.0	5.9	3.8	2.0	8.8	
	有効回答数	2.48	2.41	2.50	2.55	2.18	2.67	2.19	2.40	2.53	2.19	2.24	2.48	2.56	2.48	2.56	
	必要だ	%	11.3	12.5	9.3	12.1	9.8	12.8	12.5	11.5	10.2	19.0	10.2	11.8	7.5	7.7	11.0
	必要でない	%	37.6	46.9	40.2	30.9	64.7	23.1	56.3	41.0	36.7	44.8	59.3	36.7	34.4	46.2	34.4
Q09	放送大学における放送教材と印刷教材の望ましい関係(択一)		43.2	41.2	46.6	23.5	48.7	31.3	43.5	43.0	34.5	27.1	43.6	52.4	36.5	41.7	
	均値	7.8	12.5	9.3	10.4	2.0	15.4	0.0	4.1	10.2	1.7	3.4	7.9	5.7	9.6	12.8	
	有効回答数	1550	32	205	530	56	42	16	537	132	63	72	890	215	52	221	
	交互に独立	%	23.2	25.0	22.0	21.9	28.6	25.0	22.2	30.3	27.0	23.6	22.8	25.6	28.8	20.8	20.8
	放送教材を主体	%	1.6	0.0	1.5	1.7	1.8	0.0	0.0	1.1	4.5	3.2	2.8	1.7	0.9	3.8	0.9
Q10	今後放送大学で、重点を置いてほしい科目のタイプ(択一)		50.1	50.0	48.3	50.4	46.4	45.2	50.0	52.7	43.9	54.0	52.8	52.4	40.4	45.2	
	均値	3.5	0.0	2.4	4.3	5.4	7.1	0.0	3.0	3.8	0.0	0.0	3.6	3.7	1.9	6.3	
	有効回答数	1544	32	205	526	56	43	16	535	131	63	72	887	212	53	220	
	基礎科目	%	27.4	18.8	26.8	24.7	28.6	16.3	31.6	24.4	47.6	52.8	27.2	25.5	22.6	15.5	15.5
	専門科目	%	20.5	34.4	22.4	18.1	21.4	14.0	25.0	22.1	6.3	15.3	20.6	18.9	24.5	26.4	26.4
	総合科目	%	31.0	18.8	30.2	35.0	17.9	41.9	30.5	26.0	38.1	20.8	32.8	28.8	26.4	28.2	28.2
	専門科目	%	18.5	28.1	19.0	19.0	26.8	12.5	14.0	27.5	6.3	9.7	17.1	24.5	22.6	24.5	24.5
	その他	%	2.7	0.0	1.5	3.2	5.4	7.0	0.0	1.9	1.6	1.4	2.3	2.4	3.8	5.5	5.5

付表-3 1987年度放送大学学生教材調査 職業・学歴細分類別結果一覧(その1)

		職業										学歴			
		被雇用					無職					小・中等卒		高校卒	
		若年	中堅	高齢	女性	若年	高齢	女性	新制	旧制	新制	旧制	新制	旧制	短大等卒
回答総数	1566	215	305	222	240	44	131	357	32	118	609	287	140	77	
放送大学															
総計															
001-1 平 全体のみにみて、放送大学のテレビによる講義は、学習を進める上で効果的である															
1	1474	1.47	1.68	1.55	1.33	1.59	1.20	1.36	1.62	1.20	1.55	1.33	1.51	1.34	
2	66.4	205	295	203	223	43	119	332	29	107	593	273	133	73	
3	24.4	55.1	62.4	72.4	59.6	58.1	83.2	70.2	58.6	84.1	60.5	73.6	66.2	72.6	
4	6.0	30.7	24.7	24.1	28.3	23.3	14.3	25.0	27.6	13.1	28.8	21.6	21.1	23.3	
5	2.8	6.8	9.5	1.5	6.7	14.0	1.7	3.6	6.9	1.9	6.4	3.3	9.0	1.4	
6	0.5	5.9	2.7	2.0	4.5	4.7	0.8	1.2	6.9	0.9	3.4	1.5	3.0	2.7	
7		1.5	0.7	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0	
001-2 平 全体のみにみて、放送大学のラジオによる講義は、学習を進める上で効果的である															
1	2.00	2.39	2.27	1.71	2.11	2.33	1.50	1.83	2.46	1.54	2.15	1.76	2.20	1.64	
2	14.5	198	281	210	222	42	117	334	28	108	565	270	134	69	
3	33.8	40.1	24.7	51.0	32.4	23.8	62.4	46.7	28.6	63.0	32.6	48.9	32.8	53.6	
4	14.5	34.8	37.0	33.3	36.0	38.1	29.1	31.7	25.0	24.1	35.8	34.4	31.3	33.3	
5	9.8	19.7	19.2	10.0	20.3	21.4	6.0	14.4	21.4	10.2	18.1	10.0	18.7	8.7	
6	1.8	17.7	13.9	4.8	10.4	14.3	1.7	6.0	21.4	1.9	11.7	5.6	17.2	4.3	
7		3.0	2.5	1.0	0.9	2.4	0.9	1.2	3.6	0.9	1.9	1.1	0.0	0.0	
001-3 平 全体のみにみて、放送大学の印刷教材は、学習を進める上で効果的である															
1	1557	1.50	1.72	1.67	1.39	1.54	1.52	1.26	1.66	1.23	1.56	1.39	1.54	1.38	
2	63.8	215	304	221	239	44	128	357	32	117	609	285	140	76	
3	25.8	50.2	52.0	68.3	57.7	63.6	79.7	70.6	56.3	82.1	61.4	68.8	60.0	67.1	
4	7.8	33.0	33.6	25.3	32.2	22.7	15.6	23.2	28.1	13.7	25.5	24.2	29.3	27.6	
5	2.3	12.1	10.5	5.0	8.8	11.4	3.9	4.8	12.5	3.4	8.7	6.0	8.6	5.3	
6	0.3	4.2	3.6	1.4	0.8	2.3	0.8	1.4	0.0	0.9	4.3	1.1	1.4	0.0	
7		0.5	0.3	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.2	0.0	0.7	0.0	
001-4 平 全体のみにみて、放送大学の通信指導は、学習を進める上で効果的である															
1	1452	2.32	2.31	2.05	2.09	2.52	1.56	2.11	2.48	1.57	2.28	2.05	2.18	1.93	
2	36.8	208	281	205	224	44	112	337	29	103	576	270	134	70	
3	30.4	27.9	28.1	43.9	32.6	27.3	67.9	35.3	27.6	66.0	29.2	41.9	34.3	48.6	
4	19.2	33.2	32.0	23.4	36.2	29.5	15.2	34.1	24.1	18.4	34.4	27.4	32.1	24.3	
5	9.6	22.6	24.9	19.5	21.9	15.9	11.6	17.8	27.6	9.7	20.7	17.4	19.4	15.7	
6	3.9	11.5	10.3	9.8	8.5	18.2	3.6	9.5	13.8	3.9	11.1	10.7	9.7	8.6	
7		4.8	4.6	3.4	0.9	9.1	1.8	3.3	6.9	1.9	4.7	2.6	4.5	2.9	
001-5 平 全体のみにみて、放送大学の単位認定試験は、学習を進める上で効果的である															
1	1492	1.74	1.92	1.83	1.65	1.68	1.54	1.64	1.93	1.53	1.80	1.65	1.77	1.74	
2	54.8	205	289	212	227	43	121	349	29	107	589	280	134	76	
3	25.2	28.8	30.1	26.9	24.2	27.9	12.4	22.6	27.6	17.8	25.8	24.3	23.1	18.4	
4	5.2	15.1	13.1	11.8	12.3	18.6	10.7	12.9	20.7	8.4	13.4	11.8	17.9	11.8	
5	2.1	6.3	6.2	2.8	4.0	4.7	3.3	4.3	3.4	3.7	6.1	4.3	6.0	5.3	
6		3.4	2.1	1.4	1.8	2.3	2.5	0.6	3.4	1.9	2.4	1.1	0.0	3.9	

付表-3 1987年度放送大學生教材調査 職業・学歴細分類別結果一覧(その2)

	放送大	職 業				学 歴									
		被 雇 用		無 職		小・中等卒		高校卒							
		若年	中堅	高齢	女性	若年	高齢	女性	新制	旧制	新制	旧制			
Q01-6	放送大学の面接授業は、体系的にみて、放送大学の面接授業は、学習を進める上で効果的である	1.78	1.84	1.82	1.78	1.68	1.73	1.61	1.80	1.94	1.55	1.81	1.76	1.78	1.86
1	平均値	1269	172	256	180	196	41	85	300	16	76	544	258	117	863
2	有効回答のうち	52.0	49.4	50.4	53.3	55.1	56.1	65.9	49.0	25.0	67.1	50.0	52.7	51.7	50.8
3	それより多い	26.4	26.7	28.5	25.0	26.0	22.0	14.1	30.0	62.5	17.1	28.7	27.9	25.6	20.6
4	それより少ない	14.9	16.9	12.1	14.4	15.3	14.6	14.1	14.7	6.3	11.8	13.4	12.4	17.1	20.6
5	わからない	4.7	4.1	6.6	4.4	3.1	7.3	4.7	4.3	6.3	1.3	4.3	4.3	2.6	7.9
6	その他	2.0	2.9	2.3	2.8	0.5	0.0	1.2	2.0	0.0	2.6	1.8	2.7	2.6	0.0
Q02	あなたは、面接授業などの他、約5か月間に学習センターをどの程度利用したか	2.05	2.13	2.00	2.02	2.10	2.48	1.93	1.95	1.78	1.89	2.14	2.02	2.06	2.13
1	平均値	1552	215	305	218	239	44	126	356	32	112	609	285	140	76
2	有効回答のうち	39.1	38.1	39.3	42.2	41.8	27.3	45.2	38.5	46.9	49.1	36.9	36.1	41.4	36.8
3	それより多い	36.8	35.3	37.7	34.9	30.5	38.6	34.1	41.0	43.8	32.1	36.0	43.2	32.9	32.9
4	それより少ない	11.3	11.2	12.8	10.1	12.6	6.8	8.7	11.8	0.0	5.4	12.2	9.8	10.7	15.8
5	わからない	5.5	5.6	3.9	4.6	5.4	13.6	6.3	4.5	3.1	7.1	5.9	4.2	7.9	9.2
6	その他	7.3	9.8	6.2	8.3	9.6	13.6	5.6	4.2	6.3	6.3	9.0	6.7	7.1	5.3
Q03-1	学習センターの番組視聴設備の利用の程度	2.65	2.58	2.67	2.84	2.67	2.39	2.86	2.53	3.16	3.05	2.51	2.73	2.46	2.67
1	平均値	1524	214	301	213	236	44	124	351	31	110	605	282	136	73
2	有効回答のうち	18.5	22.9	15.3	16.0	17.4	25.0	14.5	18.8	9.7	14.5	21.0	12.1	23.5	12.3
3	それより多い	34.0	31.3	36.9	29.1	34.7	38.6	27.4	39.9	22.6	18.2	36.2	37.9	37.5	45.2
4	それより少ない	11.3	10.3	13.3	10.3	11.9	9.1	15.3	10.5	9.7	14.5	13.2	14.5	8.8	5.5
5	わからない	36.2	35.5	34.6	44.6	36.0	27.3	42.7	30.8	58.1	52.7	29.6	35.5	30.1	37.0
Q03-2	学習センターの実験設備の利用の程度	3.77	3.75	3.76	3.78	3.82	3.45	3.84	3.80	3.90	3.88	3.71	3.75	3.78	3.90
1	平均値	1453	207	286	201	222	42	116	334	30	103	576	265	134	68
2	有効回答のうち	1.1	1.0	1.4	1.0	0.9	7.1	0.9	0.6	0.0	1.0	1.6	1.1	0.7	0.0
3	それより多い	5.0	4.3	4.2	7.0	2.7	11.9	4.3	3.9	3.3	2.9	5.6	6.8	3.7	1.5
4	それより少ない	9.5	13.5	11.2	5.0	10.4	9.5	5.2	10.5	3.3	2.9	13.4	8.3	11.9	7.4
5	わからない	84.4	81.2	83.2	87.1	86.0	71.4	89.7	85.0	93.3	93.2	79.5	83.8	83.6	91.2
Q03-3	学習センターの図書館の利用の程度	2.69	2.64	2.66	2.73	2.73	2.52	2.85	2.69	2.97	3.06	2.58	2.60	2.61	2.53
1	平均値	1516	214	300	213	235	44	121	347	32	108	600	281	136	70
2	有効回答のうち	11.3	10.3	11.3	13.1	11.5	20.5	9.9	8.1	9.4	9.3	12.7	11.7	11.8	17.1
3	それより多い	39.6	39.3	39.3	37.1	35.3	36.4	33.9	43.8	25.0	25.0	41.5	44.8	41.2	40.0
4	それより少ない	18.4	27.1	21.0	13.1	22.1	13.6	17.4	19.6	25.0	16.7	21.3	21.3	21.3	21.3
5	わからない	30.7	23.4	28.3	36.6	31.1	29.5	38.8	28.5	40.6	49.1	24.5	28.1	25.7	27.1
Q03-4	公立図書館など学習センター以外の図書館の利用の程度	2.51	2.62	2.61	2.61	2.58	2.28	2.61	2.28	2.56	2.56	2.44	2.49	2.41	2.64
1	平均値	1513	213	300	215	235	43	124	347	32	110	599	277	135	74
2	有効回答のうち	19.3	16.4	14.7	16.3	14.9	20.9	20.2	25.9	15.6	20.0	20.4	20.9	23.7	16.2
3	それより多い	36.7	31.9	37.7	36.3	40.0	46.5	32.3	40.1	34.4	35.5	37.6	35.7	34.8	36.5
4	それより少ない	17.9	24.4	19.7	16.3	17.4	16.3	13.7	14.1	28.1	12.7	19.5	16.6	17.8	14.9
5	わからない	26.1	27.2	28.0	30.7	27.7	16.3	33.9	19.9	21.9	31.8	22.5	26.7	23.7	32.4

付表-3 1987年度放送大学学生教材調査職業・学歴細分類別結果一覽(その3)

放送大 総 計			職 業				学 歴						
			被 雇 用		無 職		小・中等卒		高校卒		新制 旧制		
放送大		若年	中堅	高齢	女性	若年	高齢	女性	新制	旧制	新制	旧制	
センタ-での学習相談の利用の程度													
003-5	平均値	3.81	3.90	3.86	3.83	3.90	3.66	3.76	3.80	3.84	3.79	3.84	3.74
1	有効回答数	1492	210	296	206	229	44	121	342	31	104	593	133
2	有効回答率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.8	0.3	0.0	1.0	0.2	0.7
3	有効回答率	%	3.7	1.0	2.0	1.9	2.2	6.8	5.0	4.7	3.2	3.8	4.7
4	有効回答率	%	10.0	7.6	8.8	9.7	6.1	13.6	11.6	10.2	9.7	10.6	13.4
指導問題の最後のページにある質問票の利用の程度													
003-6	平均値	3.85	3.86	3.89	3.83	3.90	3.80	3.84	3.88	3.87	3.81	3.88	3.82
1	有効回答数	1505	211	299	212	233	44	119	345	31	106	598	134
2	有効回答率	%	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	1.9	0.0	0.4
3	有効回答率	%	2.4	1.9	1.3	3.3	1.7	6.8	1.7	2.0	3.2	1.9	1.8
4	有効回答率	%	8.8	8.5	8.0	9.9	6.4	6.8	7.6	6.7	6.5	9.4	9.7
放送大学内のサークル活動や勉強会の利用の程度													
003-7	平均値	3.67	3.73	3.77	3.68	3.72	3.52	3.73	3.54	3.71	3.75	3.64	3.57
1	有効回答数	1505	211	300	213	235	44	120	345	31	106	598	280
2	有効回答率	%	4.5	4.7	1.7	4.7	3.0	6.8	4.2	6.5	2.8	4.8	6.1
3	有効回答率	%	5.4	4.3	4.3	5.6	6.8	6.8	2.5	3.2	1.9	6.0	7.5
4	有効回答率	%	8.6	4.3	9.7	7.0	5.1	13.6	9.2	3.2	13.2	9.5	9.6
あなたのお宅では、テレビで放送大学の番組を支障なく受信できますか													
004-1	平均値	1.44	1.49	1.50	1.40	1.53	1.35	1.41	1.41	1.47	1.43	1.43	1.37
1	有効回答数	1523	212	295	214	231	43	124	351	30	112	598	284
2	有効回答率	%	63.4	58.5	58.3	68.2	55.8	67.4	66.1	63.3	66.1	62.7	69.0
3	有効回答率	%	29.3	34.0	33.6	23.4	35.5	30.2	26.6	26.7	25.0	31.4	25.0
あなたのお宅では、ラジオで放送大学の番組を支障なく受信できますか													
004-2	平均値	1.17	1.22	1.21	1.16	1.23	1.16	1.13	1.14	1.19	1.16	1.19	1.16
1	有効回答数	1489	207	293	211	229	44	118	340	31	106	585	277
2	有効回答率	%	85.1	80.7	82.9	86.3	79.5	86.4	87.6	83.9	86.8	83.4	85.9
3	有効回答率	%	12.4	16.4	13.0	11.4	17.9	11.4	7.6	12.9	10.4	14.2	12.3
あなたのお宅では、利用できるビデオデッキがありませんか													
005-1	平均値	2.5	2.9	4.1	2.4	2.6	2.3	2.5	1.5	3.2	2.8	2.4	1.8
1	有効回答数	1536	213	303	213	235	43	125	356	32	111	604	285
2	有効回答率	%	75.1	78.4	79.5	73.7	76.2	81.4	59.2	75.0	64.9	79.8	71.9
あなたのお宅では、利用できるテープレコーダーがありませんか													
005-2	平均値	1.05	1.03	1.04	1.06	1.04	1.05	1.13	1.02	1.06	1.11	1.04	1.06
1	有効回答数	1546	214	303	219	239	44	126	353	32	114	606	283
2	有効回答率	%	95.0	96.7	96.4	94.1	96.2	86.5	97.7	93.8	88.6	96.4	94.3
あなたのお宅では、利用できるビデオデッキがありませんか													
005-3	平均値	5.0	3.3	3.6	5.9	3.8	4.5	13.5	2.3	6.3	11.4	3.6	5.7
1	有効回答数	50	33	36	59	38	45	135	23	63	114	36	57
2	有効回答率	%	95.0	96.7	96.4	94.1	96.2	86.5	97.7	93.8	88.6	96.4	94.3
あなたのお宅では、利用できるビデオデッキがありませんか													
005-4	平均値	1.05	1.03	1.04	1.06	1.04	1.05	1.13	1.02	1.06	1.11	1.04	1.06
1	有効回答数	1546	214	303	219	239	44	126	353	32	114	606	283
2	有効回答率	%	95.0	96.7	96.4	94.1	96.2	86.5	97.7	93.8	88.6	96.4	94.3

付表-3 1987年度放送大学学生教材調査 職業・学歴細分類別結果一覧(その4)

放送大		職業						学						歴			
		職			業			学			歴						
放送大		被雇用		無職		小・中等卒		高校卒		新制		旧制		新制		旧制	
総計		若年	中堅	高齢	女性	若年	高齢	女性	新制	旧制	新制	旧制	新制	旧制	新制	旧制	
あなた は 日 常 どの よう に 放 送 大 学 の 教 材 を 学 習 し て い ま す か (テ レ ビ 科 目) (択 一)																	
006-1	有効回答数	1445	200	287	199	218	42	118	330	27	102	589	274	128	178	64	
1	有効回答率	19.4	9.0	17.8	24.1	13.3	19.0	30.5	23.3	11.1	31.4	15.3	27.4	17.2	17.3	23.4	
2	有効回答率	16.4	18.0	16.7	18.1	16.5	9.5	13.6	15.8	7.4	14.7	17.0	16.4	13.3	20.5	18.8	
3	有効回答率	25.0	23.0	18.5	20.6	22.9	23.8	22.9	26.1	33.3	25.5	23.9	21.5	23.4	28.8	24.7	
4	有効回答率	27.3	29.0	28.6	23.6	30.7	21.4	27.1	26.1	33.3	20.6	27.7	25.5	28.9	24.7	25.0	
5	有効回答率	2.9	5.5	4.2	3.0	4.6	7.1	0.8	0.9	0.0	1.0	3.1	1.8	5.5	1.4	0.0	
6	有効回答率	6.8	12.5	10.1	6.0	8.3	16.7	0.8	3.3	14.8	0.0	9.2	3.3	9.4	0.0	6.8	
7	有効回答率	4.2	3.0	4.2	4.5	3.7	2.4	4.2	4.5	0.0	6.9	3.9	4.0	2.3	6.8	6.8	
あなた は 日 常 どの よう に 放 送 大 学 の 教 材 を 学 習 し て い ま す か (ラ ジ オ 科 目) (択 一)																	
006-2	有効回答数	1368	184	259	197	209	40	113	326	29	100	535	264	125	125	64	
1	有効回答率	20.9	8.2	16.6	25.4	14.8	20.0	36.3	25.5	17.2	35.0	15.9	30.3	16.0	23.4	23.4	
2	有効回答率	16.2	16.8	15.4	17.8	17.7	12.5	12.4	16.0	20.7	13.0	16.4	17.8	11.2	17.2	23.4	
3	有効回答率	19.4	20.7	17.4	16.8	18.2	15.0	15.0	22.1	31.0	16.0	20.6	16.7	23.2	23.4	23.4	
4	有効回答率	27.5	28.3	29.0	24.9	31.6	22.5	31.0	28.2	24.1	27.0	27.7	25.4	33.6	25.0	25.0	
5	有効回答率	2.1	2.2	2.7	2.5	1.9	0.0	1.8	1.5	3.4	2.0	1.1	2.7	4.0	1.6	1.6	
6	有効回答率	10.4	21.2	16.2	8.6	12.9	27.5	0.9	3.1	3.4	3.0	15.9	4.2	8.8	0.0	0.0	
7	有効回答率	3.5	2.7	2.7	4.1	2.9	2.5	2.7	3.7	0.0	4.0	2.4	3.0	3.2	9.4	9.4	
学習上、もっともよい放送大学の教材の組み合わせ(択一)																	
007	有効回答数	1552	212	303	220	237	44	131	355	32	116	604	287	138	77	70	
1	有効回答率	67.5	63.7	64.4	64.5	73.0	54.5	65.6	73.5	56.3	69.8	64.9	65.9	73.9	70.1	70.1	
2	有効回答率	10.2	10.4	11.6	10.9	11.8	9.1	13.7	9.9	12.5	9.5	10.3	13.9	8.0	9.1	9.1	
3	有効回答率	12.6	12.3	16.8	12.3	8.4	25.0	9.2	10.4	12.5	7.8	16.2	11.1	10.1	10.4	10.4	
4	有効回答率	7.3	10.4	5.3	10.0	5.1	9.1	9.2	4.8	15.6	9.5	6.5	7.0	5.1	6.5	6.5	
5	有効回答率	0.6	1.4	1.3	0.0	0.4	0.0	0.0	0.6	3.1	0.0	0.8	0.3	0.7	0.0	0.0	
6	有効回答率	0.8	0.9	0.7	0.9	1.3	2.3	0.8	0.3	0.0	1.7	0.5	1.4	1.4	0.0	0.0	
7	有効回答率	0.5	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	1.5	0.3	0.0	0.9	0.5	0.0	0.0	3.9	3.9	
8	有効回答率	0.4	0.5	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.9	0.3	0.3	0.7	0.0	0.0	
印刷教材には、放送で取り上げる内容そのものの記述が必要																	
008-01	有効回答数	1517	169	158	157	167	155	154	164	159	146	161	168	160	156	156	
1	有効回答率	51.9	45.5	53.6	55.8	48.1	56.8	53.8	49.1	46.9	59.8	50.2	49.6	51.4	54.8	73	
2	有効回答率	36.6	40.8	36.2	33.7	38.2	31.8	38.5	38.6	46.9	34.3	39.3	35.4	37.7	34.2	34.2	
3	有効回答率	10.3	12.7	8.6	8.7	12.4	11.4	7.7	11.6	6.3	5.9	9.6	12.0	10.1	11.0	11.0	
4	有効回答率	1.3	0.9	1.6	1.9	1.3	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.8	2.9	0.7	0.0	0.0	
印刷教材には、テーマに関連した内容の記述が必要																	
008-02	有効回答数	1520	179	171	174	174	191	194	175	206	175	178	174	176	184	184	
1	有効回答率	32.2	26.2	36.5	32.2	33.2	22.7	23.5	33.6	22.6	35.3	32.5	35.5	32.4	26.7	75	
2	有効回答率	58.2	58.9	56.9	61.2	59.7	63.6	62.6	58.4	54.8	56.9	57.9	55.4	59.0	62.7	62.7	
3	有効回答率	8.4	12.6	5.6	6.5	7.1	13.6	10.4	7.4	16.1	5.9	9.0	8.3	8.6	10.7	10.7	
4	有効回答率	1.2	2.3	1.0	0.0	0.0	0.0	3.5	0.6	6.5	2.0	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	

付表-3 1987年度放送大学学生教材調査 職業・学歴細分類別結果一覧(その5)

放送大		職業										学歴			
		職					業					歴			
		被雇用		無職		職業		若年		若年		小・中等卒		高校卒	
総計		若年	中堅	高齡	女性	女性	高齡	女性	女性	若年	若年	新制	旧制	新制	旧制
Q08-03 印刷教材には、放送番組を理解するための予備知識が必要															
平	印刷回数	1.90	1.89	1.91	1.85	1.91	1.94	1.91	1.91	1.69	1.84	1.89	1.96	1.86	1.91
1	有効回答数	213	302	208	234	44	115	352	74	32	101	604	270	137	74
2	必要だがよい	30.5	31.8	31.7	35.0	29.5	28.7	28.7	32.4	40.6	30.7	30.1	26.7	33.6	32.4
3	必要だがよい	50.4	48.0	48.6	44.9	52.3	49.7	52.0	47.4	53.1	54.5	52.0	50.7	47.4	44.6
4	必要だがよい	17.8	17.9	18.8	19.7	15.9	20.0	19.0	14.9	3.1	14.9	16.4	22.2	18.2	23.0
	必要だがよい	1.3	1.9	2.3	1.0	0.4	2.3	0.3	1.7	3.1	0.0	1.5	0.4	0.7	0.0
Q08-04 印刷教材には、放送番組視聴のためのポイントの解説が必要															
平	印刷回数	1.87	1.90	1.88	1.97	1.86	1.80	1.79	1.81	1.88	1.74	1.87	1.89	1.76	1.89
1	有効回答数	1508	214	303	209	236	44	112	351	32	98	604	270	139	73
2	必要だがよい	34.4	33.2	36.0	29.7	33.9	36.4	36.6	35.9	34.4	37.8	33.1	33.0	39.6	28.8
3	必要だがよい	46.2	45.8	42.9	45.9	47.0	47.7	49.1	47.9	46.9	50.0	48.3	46.3	45.3	54.8
4	必要だがよい	17.8	18.7	17.8	22.5	18.2	15.9	13.4	16.0	15.6	12.2	16.7	20.0	14.4	15.1
	必要だがよい	1.6	2.3	3.3	1.9	0.8	0.0	0.9	0.3	3.1	0.0	1.8	0.7	0.7	1.4
Q08-05 印刷教材には、専門用語やキーワードの解説が必要															
平	印刷回数	1.61	1.59	1.58	1.65	1.54	1.59	1.65	1.57	1.44	1.64	1.56	1.61	1.68	1.64
1	有効回答数	1509	215	303	211	236	44	111	350	32	97	604	270	139	74
2	必要だがよい	47.6	49.8	51.5	44.5	53.4	52.3	45.0	49.4	62.5	46.4	51.5	45.9	43.2	41.9
3	必要だがよい	44.4	42.3	39.9	46.0	39.0	36.4	45.0	44.6	31.3	43.3	41.7	47.4	46.8	54.1
4	必要だがよい	7.6	7.4	7.6	9.0	7.6	11.4	9.9	6.0	6.3	10.3	6.1	6.7	9.4	2.7
	必要だがよい	0.4	0.5	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7	1.4
Q08-06 印刷教材には、講座各回のねらいや学習の到達目標が必要															
平	印刷回数	1.79	1.90	1.78	1.81	1.80	2.05	1.77	1.70	1.78	1.77	1.81	1.70	1.78	1.84
1	有効回答数	1511	214	304	208	235	44	115	350	32	99	602	271	138	74
2	必要だがよい	38.1	29.4	39.8	40.4	36.2	15.9	37.4	42.3	37.5	38.4	36.5	42.1	39.1	39.2
3	必要だがよい	45.5	52.8	43.1	38.5	48.5	63.6	48.7	46.0	50.0	47.5	47.0	45.4	44.9	40.5
4	必要だがよい	15.6	16.4	16.4	20.7	14.5	20.5	13.0	11.1	9.4	13.1	15.8	12.5	15.2	17.6
	必要だがよい	0.8	1.4	0.7	0.5	0.9	0.0	0.9	0.6	3.1	1.0	0.7	0.0	0.7	2.7
Q08-07 印刷教材には、各回ごとのまとめや要約が必要															
平	印刷回数	1.88	1.91	1.89	1.90	1.92	1.84	1.78	1.93	1.69	1.75	1.87	1.85	1.87	1.80
1	有効回答数	1524	214	303	215	238	44	117	350	32	106	602	278	138	74
2	必要だがよい	35.2	35.0	35.6	33.0	34.0	34.1	36.8	31.7	46.9	37.7	35.2	34.2	35.5	37.8
3	必要だがよい	43.6	40.7	42.2	45.1	40.8	47.7	48.7	45.1	40.6	49.1	44.2	47.5	43.5	45.9
4	必要だがよい	19.6	22.9	19.1	20.5	23.9	18.2	14.5	22.0	9.4	13.2	18.6	17.6	19.6	14.9
	必要だがよい	1.6	1.4	3.0	1.4	1.3	0.0	0.0	1.1	3.1	0.0	2.0	0.7	1.4	1.4
Q08-08 印刷教材には、練習問題が必要															
平	印刷回数	2.09	2.07	2.07	2.07	2.18	2.14	2.07	2.20	1.97	1.91	2.09	2.23	2.20	2.07
1	有効回答数	1502	214	301	207	234	44	113	348	37.5	31.6	603	267	137	74
2	必要だがよい	23.6	27.1	25.6	25.1	17.1	18.2	22.1	18.4	37.5	31.6	23.1	16.1	18.2	24.3
3	必要だがよい	46.2	41.6	45.5	44.9	50.0	54.5	51.3	47.4	34.4	45.9	48.3	49.1	46.7	45.9
4	必要だがよい	27.2	28.5	25.6	27.5	31.2	22.7	23.9	30.5	21.9	22.4	25.5	30.7	32.1	28.4
	必要だがよい	2.9	2.8	3.3	2.4	1.7	4.5	2.7	3.7	6.5	0.0	3.2	4.1	2.9	1.4

付表-3 1987年度放送大学学生教材調査 職業・学歴細分類別結果一覧(その6)

		業										学				歴	
		職					業					学				歴	
		放送大		被雇用		無職		若年		高齢		女性		小・中等卒		高校卒	
総計		若年	中堅	高齢	女性	若年	高齢	女性	若年	高齢	女性	新制	旧制	新制	旧制	新制	旧制
Q08-09 印刷教材には、参考資料が必要																	
平	値	1.78	1.81	1.79	1.78	1.75	1.82	1.73	1.66	1.78	1.80	1.66	1.78	1.80	1.81	1.78	1.77
1	有効回答数	215	301	209	236	44	108	350	32	96	603	32	96	603	268	139	73
2	必要だったほうがよい	32.2	30.7	31.1	30.9	40.9	27.8	34.0	43.8	30.2	31.2	43.8	30.2	31.2	26.1	33.1	30.1
3	必要だったほうがよい	58.3	55.3	58.5	59.3	60.6	63.9	59.4	50.0	61.5	58.7	50.0	61.5	58.7	67.5	56.1	63.0
4	必要だったほうがよい	8.8	13.0	10.0	9.1	8.5	11.4	6.5	3.1	8.3	9.1	3.1	8.3	9.1	6.0	10.1	6.8
	平均	0.7	0.9	1.0	0.5	0.0	2.3	1.9	0.3	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.7	0.0
Q08-10 印刷教材には、参考文献のリストが必要																	
平	値	1.75	1.81	1.76	1.74	1.69	1.93	1.82	1.69	1.79	1.79	1.69	1.79	1.79	1.77	1.68	1.73
1	有効回答数	1503	214	303	207	236	44	111	32	97	602	32	97	602	268	138	73
2	必要だったほうがよい	35.8	33.6	35.6	36.7	38.1	34.1	29.7	40.6	29.9	33.9	40.6	29.9	33.9	32.5	43.5	34.2
3	必要だったほうがよい	53.7	52.3	53.5	52.7	54.7	43.2	60.4	50.0	60.8	53.8	50.0	60.8	53.8	58.6	46.4	58.9
4	必要だったほうがよい	9.8	13.6	9.9	10.1	7.2	18.2	8.1	9.4	9.3	11.5	9.4	9.3	11.5	8.6	8.7	6.8
	平均	0.7	0.5	1.0	0.5	0.0	4.5	1.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	0.4	1.4	0.0
Q08-11 印刷教材には、参考文献や資料の検索法が必要																	
平	値	2.02	2.08	2.06	2.07	1.98	2.20	2.01	1.91	1.98	2.04	1.91	1.98	2.04	1.92	2.08	1.95
1	有効回答数	1499	213	301	204	233	44	111	32	94	604	32	94	604	269	136	73
2	必要だったほうがよい	24.1	20.7	21.9	24.5	23.6	18.2	22.5	28.1	24.5	22.8	28.1	24.5	22.8	28.6	23.5	23.3
3	必要だったほうがよい	51.0	51.6	51.2	45.1	54.5	45.5	56.8	53.1	55.3	52.2	53.1	55.3	52.2	51.3	45.6	58.9
4	必要だったほうがよい	23.5	26.3	25.6	29.4	21.9	34.1	18.0	18.8	18.1	23.5	18.8	18.1	23.5	19.3	30.1	17.8
	平均	1.3	1.4	1.3	1.0	0.0	2.3	2.7	0.0	2.1	1.5	0.0	2.1	1.5	0.7	0.7	0.0
Q08-12 印刷教材には、図表が必要																	
平	値	1.46	1.39	1.48	1.49	1.30	1.38	1.52	1.47	1.46	1.44	1.47	1.46	1.44	1.49	1.50	1.41
1	有効回答数	1514	213	304	207	235	44	118	32	101	604	32	101	604	272	138	73
2	必要だったほうがよい	56.8	53.5	55.6	52.8	70.5	64.4	50.9	59.4	58.4	57.1	59.4	58.4	57.1	54.8	52.9	58.9
3	必要だったほうがよい	41.0	45.5	35.9	41.1	46.0	29.5	33.1	34.4	37.6	41.6	34.4	37.6	41.6	41.9	44.2	41.1
4	必要だったほうがよい	2.2	0.9	1.6	3.4	1.3	0.0	2.5	6.3	4.0	1.3	6.3	4.0	1.3	2.9	2.9	0.0
	平均	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0
Q08-13 印刷教材には、小見出しが必要																	
平	値	1.67	1.67	1.65	1.68	1.57	1.73	1.63	1.65	1.67	1.68	1.65	1.67	1.68	1.67	1.59	1.58
1	有効回答数	1501	212	301	210	237	44	109	31	95	600	31	95	600	272	137	73
2	必要だったほうがよい	41.1	34.9	41.5	43.3	39.7	45.5	38.5	45.2	42.1	40.0	45.2	42.1	40.0	41.9	47.4	42.5
3	必要だったほうがよい	51.0	54.7	49.8	49.0	53.2	52.3	50.5	45.2	49.5	52.5	45.2	49.5	52.5	50.0	46.0	57.5
4	必要だったほうがよい	7.7	9.9	8.6	7.1	7.2	2.3	10.1	0.0	7.4	7.3	0.0	7.4	7.3	7.7	6.6	0.0
	平均	0.3	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.9	0.0	1.1	0.2	0.0	1.1	0.2	0.4	0.0	0.0
Q08-14 印刷教材には、索引が必要																	
平	値	1.52	1.50	1.53	1.57	1.52	1.44	1.67	1.38	1.61	1.54	1.38	1.61	1.54	1.55	1.43	1.47
1	有効回答数	1508	214	303	211	238	44	110	32	98	603	32	98	603	272	136	74
2	必要だったほうがよい	53.7	56.1	53.8	50.7	53.4	63.6	41.8	65.6	43.9	52.6	65.6	43.9	52.6	51.8	61.8	55.4
3	必要だったほうがよい	40.3	38.3	38.9	42.2	41.6	31.8	49.1	31.3	51.0	41.5	31.3	51.0	41.5	41.5	33.1	41.9
4	必要だったほうがよい	5.8	5.6	7.3	6.6	5.0	4.5	9.1	3.1	5.1	5.8	3.1	5.1	5.8	6.3	5.1	2.7
	平均	0.2	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.4	0.0	0.0

付表-3 1987年度放送大学学生教材調査 職業・学歴細分類別結果一覧(その7)

		職				業				学				歴	
		放送大		被雇用		無職		小・中等卒		高校卒		短大等卒			
		総計	若年	中堅	高齢	女性	若年	高齢	女性	新制	旧制	新制	旧制		
008-15 印刷教材には、写真が必要															
平	均値	1.70	1.79	1.62	1.78	1.72	1.66	1.75	1.67	1.59	1.79	1.66	1.71	1.70	1.73
有	効回数	1505	214	302	207	238	44	112	349	32	101	602	268	138	171
1	必要	39.8	35.0	46.0	32.4	35.7	43.2	32.1	41.3	43.8	32.7	42.2	37.3	41.3	31.0
2	あつた	50.8	50.5	46.7	57.0	56.3	47.7	61.6	50.7	53.1	56.4	50.0	54.1	47.8	64.8
3	なく	9.3	14.5	7.0	10.6	8.0	9.1	5.4	8.0	3.1	9.9	7.6	8.6	10.9	4.2
4	ない	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	1.0	0.2	0.0	0.0	0.0
008-16 印刷教材には、イラストが必要															
平	均値	1.93	1.97	1.87	1.91	1.97	1.75	1.99	1.99	1.81	2.00	1.89	1.94	1.91	2.04
有	効回数	1502	214	302	206	237	44	111	349	32	99	603	269	136	71
1	必要	30.2	29.9	34.8	28.2	27.4	31.8	23.4	26.9	31.3	26.3	31.5	28.6	33.1	19.7
2	あつた	47.9	44.4	44.7	52.9	48.9	61.4	55.9	48.7	56.3	48.5	49.8	50.2	44.1	56.3
3	なく	20.6	24.3	18.9	18.4	23.2	6.8	18.9	22.6	12.5	24.2	17.2	19.7	21.3	23.9
4	ない	1.4	1.4	1.7	0.5	0.4	0.0	1.8	1.7	0.0	1.0	1.5	1.5	1.5	0.0
008-17 印刷教材には、ノートやメモ用の余白が必要															
平	均値	2.21	2.47	2.25	2.17	2.26	2.52	2.02	2.11	2.34	1.98	2.28	2.09	2.12	2.10
有	効回数	1505	215	300	207	237	44	113	350	32	98	603	273	137	71
1	必要	29.2	18.6	30.3	32.4	27.0	15.9	38.9	32.6	21.9	33.7	27.0	33.7	32.8	33.8
2	あつた	29.0	26.0	26.3	28.5	27.8	22.7	27.4	29.7	31.3	38.8	26.4	30.8	29.2	28.2
3	なく	33.1	45.1	31.0	28.5	37.1	54.5	26.5	32.3	37.5	23.5	38.3	28.6	30.7	32.4
4	ない	8.7	10.2	12.3	10.6	8.0	6.8	7.1	5.4	9.4	4.1	8.3	7.0	7.3	5.6
008-18 印刷教材には、講師の研究上のエピソードが必要															
平	均値	2.23	2.36	2.20	2.22	2.29	2.27	2.17	2.24	2.13	2.06	2.20	2.20	2.28	2.34
有	効回数	1524	215	304	215	239	44	115	353	32	102	608	277	138	73
1	必要	14.4	10.2	17.8	13.0	9.2	15.9	14.8	11.3	15.6	16.7	15.6	13.7	11.6	9.6
2	あつた	52.2	48.4	49.3	55.8	55.6	45.5	56.5	55.2	56.3	63.7	52.0	54.5	51.4	52.1
3	なく	29.7	36.3	27.6	27.4	32.2	34.1	25.2	31.7	28.1	16.7	28.9	30.0	34.1	32.9
4	ない	3.7	5.1	5.3	3.7	2.9	4.5	3.5	1.7	0.0	2.9	3.5	1.8	2.9	5.5
008-19 印刷教材には、放送番組制作上のエピソードが必要															
平	均値	2.66	2.82	2.70	2.63	2.76	2.77	2.53	2.61	2.41	2.42	2.71	2.57	2.77	2.69
有	効回数	1511	214	303	208	237	44	116	352	32	99	603	270	139	74
1	必要	5.4	3.7	5.3	6.3	3.4	0.0	4.3	6.8	3.1	6.1	4.3	8.1	4.3	5.4
2	あつた	31.9	24.8	31.7	31.7	26.2	27.3	41.4	31.8	53.1	47.5	30.0	31.9	24.5	31.1
3	なく	54.0	57.0	50.5	54.3	61.2	68.2	50.9	55.1	43.8	44.4	55.6	55.2	61.2	52.7
4	ない	8.7	14.5	12.5	7.7	9.3	4.5	3.4	6.3	0.0	2.0	10.1	4.8	10.1	10.8
008-20 印刷教材には、講師の履歴や業績の紹介が必要															
平	均値	2.24	2.59	2.27	2.08	2.35	2.36	1.96	2.21	2.09	2.08	2.37	2.11	2.35	1.95
有	効回数	1512	214	304	210	238	44	113	350	32	98	601	273	139	75
1	必要	14.6	7.9	12.2	21.9	11.8	13.6	22.1	12.9	21.9	19.4	10.8	16.1	12.2	22.7
2	あつた	51.0	36.0	52.3	50.5	47.5	36.4	61.1	56.0	46.9	55.1	48.1	58.6	45.3	61.3
3	なく	30.2	44.9	31.6	25.2	34.9	50.0	15.9	28.6	31.3	23.5	34.4	23.8	38.1	14.7
4	ない	4.2	11.2	3.9	2.4	5.9	0.0	0.9	2.6	0.0	2.0	6.7	1.5	4.3	1.3

付表一 3 1987年度放送大学学生教材調査職業・学歴細分類別結果一覽(その8)

	放送大	業						学							
		職			無			小・中等卒		高校卒		短大等卒	旧制		
		若年	被雇	中高	女性	若年	高齢	職業	女性	新制	旧制				
Q08-21	印刷教材には、講師のひとりの紹介が必要	2.35	2.67	2.38	2.26	2.45	2.55	2.12	2.27	2.22	2.06	2.43	2.20	2.51	2.26
1	平均値	1510	214	303	209	237	44	113	352	32	99	604	270	139	74
2	有効回答数	%	6.1	11.2	14.4	9.7	4.5	15.0	11.1	18.8	18.2	8.8	11.5	7.2	16.2
3	必要だったほうがよい	47.6	30.8	45.5	30.2	41.8	38.6	59.3	53.7	40.6	57.6	46.9	59.3	38.1	43.8
4	まったくもない	36.0	52.8	37.0	50.6	42.6	54.5	23.9	32.7	40.6	24.2	36.9	26.7	51.1	35.9
5	ないほうがよい	5.3	10.3	6.3	4.8	5.9	2.3	1.8	2.6	0.0	0.0	7.5	2.6	3.6	4.1
Q08-22	印刷教材には、講師の顔写真が必要	2.48	2.79	2.47	2.39	2.64	2.61	2.29	2.40	2.28	2.18	2.53	2.36	2.63	2.42
1	平均値	1506	214	303	208	237	44	111	351	32	96	604	268	139	73
2	有効回答数	%	5.1	14.2	13.5	7.6	4.5	13.5	11.7	9.4	16.7	10.6	14.6	8.6	5.5
3	必要だったほうがよい	37.6	27.1	34.7	38.5	30.8	34.1	48.6	39.9	53.1	53.1	35.9	38.4	27.3	47.9
4	まったくもない	43.2	51.4	41.6	43.8	51.5	56.8	33.3	44.7	37.5	26.0	43.7	43.3	56.1	45.2
5	ないほうがよい	7.8	16.4	9.6	4.3	10.1	4.5	4.5	3.7	0.0	4.2	9.8	3.7	7.9	1.4
Q09	放送大学における放送教材と印刷教材の望ましい関係(択一)	1550	214	300	221	235	44	128	356	32	117	604	286	139	76
1	有効回答数	%	23.2	21.0	19.3	26.2	23.4	22.7	28.9	34.4	23.1	21.2	26.2	23.0	30.3
2	互いに独立した教材を主体	1.6	2.3	1.0	1.8	1.7	4.5	2.3	0.3	3.1	2.6	1.5	2.1	1.4	0.0
3	放送教材を主体	21.5	27.6	23.7	17.2	27.2	20.5	20.3	21.6	18.8	20.5	20.9	16.8	28.1	15.8
4	印刷教材を主体	50.1	44.4	51.3	52.9	43.8	45.5	47.7	55.3	43.8	53.8	52.6	51.7	43.9	50.0
5	その他	3.5	4.7	4.7	1.8	3.8	6.8	0.8	3.1	0.0	0.0	3.8	3.1	3.6	3.9
Q10	今後放送大学で、重点を置いてほしい科目のタイプ(択一)	1544	213	297	221	233	43	128	355	32	117	601	286	136	76
1	有効回答数	%	27.4	25.4	21.2	30.8	23.2	16.3	25.9	37.5	53.0	23.5	35.0	20.6	34.2
2	教養科目	20.5	22.5	19.9	15.4	21.0	11.6	16.4	25.6	6.3	13.7	22.3	17.1	19.9	17.1
3	総合科目	31.0	33.3	34.0	33.5	37.8	30.2	21.1	33.8	46.9	23.9	33.4	31.5	31.6	23.7
4	専門基礎科目	18.5	17.4	21.2	17.6	15.9	37.2	7.0	13.0	9.4	7.7	18.1	15.0	25.7	22.4
5	その他の科目	2.7	1.4	3.7	2.7	2.1	4.7	1.6	1.7	0.0	1.7	2.7	1.4	2.2	2.2

付表-4 1987年度放送大学学生教材調査 学習センター・専攻別結果一覧(その1)

		学 習 セ ン タ ー										在籍全科履修生・専 攻									
		放送大 総 計		群馬		埼玉		千葉		東京第一		東京第二		神 奈 川		生活 福祉	発達 教育	社会 経済	産業 技術	人間 探究	自然 理解
回	答 総 数	1566	91	179	281	293	450	222	48	135	204	124	120	268	138						
001-1 平 均 値																					
1 有効回数																					
2 有効回数																					
3 有効回数																					
4 有効回数																					
5 有効回数																					
001-2 平 均 値																					
1 有効回数																					
2 有効回数																					
3 有効回数																					
4 有効回数																					
5 有効回数																					
001-3 平 均 値																					
1 有効回数																					
2 有効回数																					
3 有効回数																					
4 有効回数																					
5 有効回数																					
001-4 平 均 値																					
1 有効回数																					
2 有効回数																					
3 有効回数																					
4 有効回数																					
5 有効回数																					
001-5 平 均 値																					
1 有効回数																					
2 有効回数																					
3 有効回数																					
4 有効回数																					
5 有効回数																					

付表－4 1987年度放送大学学生教材調査 学習センター・専攻別結果一覧（その2）

		学 習 セ ン タ ー					在籍全科履修生・専 攻								
		放送大 総 計	群馬	埼玉	千葉	東京 第一	東京 第二	神 奈 川	諏 訪	生活 福祉	発達 教育	社会 経済	産業 技術	人間 探究	自然 理解
Q01-6	全体的にみて、放送大学の面接授業は、学習を進める上で効果的である	1.78	1.77	1.89	1.91	1.79	1.68	1.80	1.40	1.81	1.80	1.93	1.81	1.71	1.81
	平均値	1.78	1.77	1.89	1.91	1.79	1.68	1.80	1.40	1.81	1.80	1.93	1.81	1.71	1.81
	有効回答数	1269	82	142	228	245	358	184	30	132	200	121	116	258	129
	%	52.0	58.5	45.8	48.2	50.6	55.3	50.0	76.7	51.5	49.5	50.4	44.8	57.8	49.6
	1 思う	26.4	18.3	30.3	26.3	29.4	26.0	27.2	6.7	30.3	29.5	22.3	36.2	23.6	26.4
	2 やや思う	14.9	14.6	15.5	14.5	13.1	14.8	17.4	16.7	6.8	13.5	16.5	12.9	11.6	18.6
Q02	あなたは、面接授業などの他、約5か月間に学習センターをどの程度利用したか	2.0	3.7	2.8	3.1	2.4	0.6	1.6	0.0	3.0	1.0	5.0	0.9	2.7	0.8
	平均値	2.0	3.7	2.8	3.1	2.4	0.6	1.6	0.0	3.0	1.0	5.0	0.9	2.7	0.8
	有効回答数	1552	90	178	278	291	447	221	47	134	204	124	119	266	138
	%	39.1	35.6	43.3	43.5	43.0	38.3	33.9	12.8	35.8	34.4	34.7	34.5	30.8	29.0
	1 全く利用しなかった	36.8	47.8	43.8	33.5	31.3	36.7	37.6	40.4	41.0	33.8	36.3	44.5	35.7	37.0
	2 1～5回程度利用	11.3	5.6	6.7	9.7	12.0	12.3	14.9	17.0	13.4	14.2	15.3	12.6	14.7	13.8
Q03-1	学習センターの番組・視聴設備の利用の程度	7.3	6.7	2.8	6.5	7.9	8.7	6.8	14.9	5.2	11.3	3.2	2.5	7.1	7.2
	平均値	7.3	6.7	2.8	6.5	7.9	8.7	6.8	14.9	5.2	11.3	3.2	2.5	7.1	7.2
	有効回答数	1524	90	175	275	279	438	219	48	133	203	123	119	267	137
	%	18.5	15.6	10.9	19.3	18.3	18.5	21.5	35.4	13.5	25.1	22.0	16.0	23.6	21.2
	1 よく利用する	34.0	33.3	33.1	32.4	32.6	34.9	35.2	41.7	42.1	38.9	39.0	37.8	43.1	41.6
	2 あまり利用しない	11.3	13.3	11.4	11.3	10.4	10.7	14.2	4.2	12.8	13.3	15.4	14.3	13.9	10.9
Q03-2	学習センターの実験設備の利用の程度	36.2	37.8	44.6	37.1	38.7	35.8	29.2	18.8	31.6	22.7	23.6	31.9	19.5	26.3
	平均値	36.2	37.8	44.6	37.1	38.7	35.8	29.2	18.8	31.6	22.7	23.6	31.9	19.5	26.3
	有効回答数	1453	86	172	261	273	413	212	36	127	193	114	116	257	130
	%	1.1	1.2	2.3	0.8	1.1	0.7	1.4	0.0	1.6	1.6	0.9	0.0	0.4	5.4
	1 よく利用する	5.0	2.3	3.5	6.5	5.1	4.6	6.1	2.8	5.5	5.2	5.3	7.8	4.7	13.8
	2 あまり利用しない	9.5	10.5	8.7	11.5	9.2	8.7	10.4	2.8	13.4	15.0	12.3	13.8	7.0	22.3
Q03-3	学習センターの図書館の利用の程度	84.4	86.0	85.5	81.2	84.6	86.0	82.1	94.4	79.5	78.2	81.6	78.4	87.9	58.5
	平均値	84.4	86.0	85.5	81.2	84.6	86.0	82.1	94.4	79.5	78.2	81.6	78.4	87.9	58.5
	有効回答数	2.69	2.45	2.94	2.65	2.73	2.72	2.53	2.59	2.59	2.40	2.32	2.64	2.39	2.37
	%	1516	89	172	276	284	430	219	46	134	200	120	119	266	137
	1 よく利用する	11.3	18.0	3.5	11.2	13.4	10.5	13.7	10.9	9.7	12.5	18.3	8.4	15.4	16.8
	2 あまり利用しない	39.6	42.7	36.6	41.3	35.2	39.5	43.8	41.3	47.8	50.0	46.7	42.0	46.6	46.7
Q03-4	公立図書館など学習センター以外の図書館の利用の程度	18.4	15.7	22.7	18.8	16.2	17.9	17.8	26.1	16.4	22.0	19.2	26.9	21.4	19.0
	平均値	18.4	15.7	22.7	18.8	16.2	17.9	17.8	26.1	16.4	22.0	19.2	26.9	21.4	19.0
	有効回答数	30.7	23.6	37.2	28.6	35.2	32.1	24.7	21.7	26.1	15.5	15.8	22.7	16.5	17.5
	%	2.51	2.66	2.46	2.61	2.43	2.45	2.51	2.86	2.34	2.40	2.42	2.54	2.39	2.58
	1 よく利用する	1513	90	173	272	280	437	218	43	134	198	120	119	263	138
	2 あまり利用しない	19.3	15.6	20.2	19.5	24.6	19.7	14.2	9.3	20.1	18.7	20.8	18.5	21.7	18.8

付表-4 1987年度放送大学学生教材調査 学習センター・専攻別結果一覧(その3)

		学 習 セ ン タ ー				在籍全科履修生・専 攻								
		放送大 総 計		東京第一 千 葉		東京第二 神 奈 川		諏訪	生活 福祉	発達 教育	社会 経済	産業 技術	人間 探究	自然 理解
学習センターでの学習相談の利用の程度														
Q03-5	平均値	3.81	3.90	3.84	3.85	3.79	3.84	3.81	3.26	3.81	3.73	3.76	3.86	3.74
1	有効回答数	1492	87	172	270	278	427	215	43	131	197	118	116	260
2	有効回答率	0.4	0.0	0.0	0.7	0.4	0.2	0.0	4.7	0.0	0.5	0.8	0.0	0.7
3	有効回答率	3.7	0.0	3.5	2.2	4.0	3.3	3.7	23.3	3.1	6.6	3.4	1.7	5.8
4	有効回答率	10.0	10.3	9.3	8.1	11.5	9.1	11.6	14.0	13.0	12.2	14.4	10.3	14.2
5	有効回答率	85.9	89.7	87.2	88.9	84.2	87.4	84.7	58.1	84.0	80.7	81.4	87.9	80.0
通信指導問題の最後のページにある質問票の利用の程度														
Q03-6	平均値	3.85	3.84	3.90	3.85	3.81	3.86	3.87	3.63	3.90	3.85	3.79	3.90	3.85
1	有効回答数	1505	88	173	274	282	430	217	41	131	200	121	119	263
2	有効回答率	0.5	2.3	0.0	0.4	0.7	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	有効回答率	2.4	1.1	1.7	2.9	3.2	1.9	1.8	7.3	1.5	2.0	3.3	0.0	2.3
4	有効回答率	8.8	6.8	6.9	7.7	10.6	8.6	8.3	22.0	6.9	10.5	14.0	10.1	10.6
5	有効回答率	88.2	89.8	91.3	89.1	85.5	89.1	89.4	70.7	91.6	87.5	82.6	89.9	87.1
放送大学内のサークル活動や勉強会の利用の程度														
Q03-7	平均値	3.67	3.77	3.79	3.68	3.67	3.65	3.64	3.29	3.64	3.51	3.67	3.75	3.44
1	有効回答数	1505	88	173	274	281	430	218	41	132	199	121	118	263
2	有効回答率	4.5	2.3	1.2	4.0	5.7	5.6	3.7	9.8	3.0	7.0	1.7	2.5	9.5
3	有効回答率	5.4	2.3	4.6	5.8	3.9	5.1	7.8	14.6	6.1	9.0	6.6	4.2	8.4
4	有効回答率	8.6	11.4	8.1	8.0	8.2	8.1	9.2	12.2	14.4	10.1	14.9	9.3	10.6
5	有効回答率	81.5	84.1	86.1	82.1	82.2	81.2	79.4	63.4	76.5	73.9	76.9	83.9	71.5
あなたのお宅では、テレビで放送大学の番組を支障なく受信できますか														
Q04-1	平均値	1.44	1.18	1.37	1.38	1.48	1.46	1.53	1.67	1.34	1.38	1.46	1.38	1.41
1	有効回答数	1523	90	175	276	284	436	219	43	134	204	122	119	267
2	有効回答率	63.4	87.8	68.6	67.4	59.2	60.6	55.7	62.8	70.9	67.6	63.1	64.7	64.8
3	有効回答率	29.3	6.7	25.7	27.2	33.5	33.0	35.6	7.0	23.9	27.0	27.9	32.8	29.2
4	有効回答率	7.3	5.6	5.7	5.4	7.4	6.4	8.7	30.2	5.2	5.4	9.0	2.5	6.0
あなたのお宅では、ラジオで放送大学の番組を支障なく受信できますか														
Q04-2	平均値	1.17	1.15	1.25	1.18	1.08	1.13	1.24	1.69	1.19	1.13	1.20	1.18	1.15
1	有効回答数	1489	89	173	268	278	432	210	39	134	200	121	119	263
2	有効回答率	85.1	86.5	79.8	83.6	92.4	88.7	79.0	56.4	83.6	88.5	83.5	82.4	86.7
3	有効回答率	12.4	12.4	15.6	14.9	6.8	10.0	18.1	17.9	13.4	9.5	13.2	16.8	11.8
4	有効回答率	2.5	1.1	4.6	1.5	0.7	1.4	2.9	25.6	3.0	2.0	3.3	0.8	1.5
あなたの身近に、利用できるビデオデッキがありますか														
Q05-1	平均値	1.25	1.22	1.27	1.23	1.27	1.26	1.20	1.31	1.17	1.17	1.22	1.14	1.30
1	有効回答数	1536	91	176	278	283	442	221	45	135	204	123	120	266
2	有効回答率	75.1	78.0	72.7	76.6	72.8	74.4	79.6	68.9	83.0	83.3	78.0	85.8	69.5
3	有効回答率	24.9	22.0	27.3	23.4	27.2	25.6	20.4	31.1	17.0	16.7	22.0	14.2	30.5
あなたの身近に、利用できるテープレコーダーがありますか														
Q05-2	平均値	1.05	1.07	1.04	1.05	1.04	1.04	1.06	1.16	1.01	1.06	1.01	1.03	1.04
1	有効回答数	1546	91	179	277	286	448	220	45	134	204	123	120	268
2	有効回答率	95.0	93.4	95.5	94.9	96.2	95.8	94.1	84.4	98.5	93.6	99.2	96.7	96.3
3	有効回答率	5.0	6.6	4.5	5.1	3.8	4.2	5.9	15.6	1.5	6.4	0.8	3.3	3.7

付表-4 1987年度放送大学学生教材調査 学習センター・専攻別結果一覧(その4)

学 習 セ ン タ ー															在籍全科履修生・専 攻																													
放 送 大 計															生活 福祉					発達 教育					社会 経済					産業 技術					人間 探究					自然 理解				
あなたは日常どのように放送大学の教材を学習していますか(テレビ科目)(択一)																																												
有効回答数																														1445	87	161	257	270	419	211	40	133	204	123	118	260	137	
% 有効回答率																														19.4	17.2	21.7	20.6	17.0	20.5	18.5	15.0	22.6	11.3	22.0	9.3	23.5	18.2	
% 有効回答率																														16.4	17.2	15.5	18.3	15.6	15.3	19.0	10.0	13.5	14.7	27.6	16.9	15.8	12.4	
% 有効回答率																														23.0	23.0	23.0	27.6	23.7	19.8	22.3	27.5	26.3	28.4	17.9	17.8	24.6	19.7	
% 有効回答率																														27.3	24.1	23.6	24.5	30.4	29.4	25.6	35.0	29.3	29.9	19.5	33.1	23.1	29.9	
% 有効回答率																														2.9	2.3	2.5	1.9	3.0	4.8	0.9	2.5	2.3	2.5	2.4	3.4	3.1	3.6	
% 有効回答率																														6.8	6.9	10.6	5.1	7.0	6.4	6.2	7.5	2.3	8.3	7.3	14.4	6.2	12.4	
% 有効回答率																														4.2	9.2	3.1	1.9	3.3	3.8	7.6	2.5	3.8	4.9	3.3	5.1	3.8	5.6	
あなたは日常どのように放送大学の教材を学習していますか(ラジオ科目)(択一)																																												
有効回答数																														1368	76	159	248	261	398	201	25	129	190	116	107	256	125	
% 有効回答率																														20.9	21.1	23.3	22.2	18.4	20.9	19.9	28.0	23.3	14.2	23.3	7.5	25.0	15.2	
% 有効回答率																														16.2	15.8	16.4	15.7	16.5	15.6	19.4	4.0	14.7	14.2	24.1	15.0	18.0	10.4	
% 有効回答率																														19.4	18.4	22.6	19.8	20.3	19.3	15.9	16.0	23.3	23.7	18.1	18.7	18.0	17.6	
% 有効回答率																														27.5	27.6	20.8	29.8	28.0	27.6	27.4	40.0	28.7	26.8	18.1	29.0	27.0	29.6	
% 有効回答率																														2.1	0.0	1.3	1.2	3.4	2.3	2.5	4.0	2.3	2.6	1.7	2.8	1.6	0.8	
% 有効回答率																														10.4	11.8	12.6	8.9	9.6	11.8	8.5	8.0	3.9	14.7	12.9	23.4	6.3	24.0	
% 有効回答率																														3.5	5.3	3.1	2.4	3.8	2.5	6.5	0.0	3.9	3.7	1.7	3.7	4.3	2.4	
学習上、もっともよい放送大学の教材の組み合わせ(択一)																																												
有効回答数																														1552	90	176	279	292	445	222	48	135	204	123	120	264	137	
% 有効回答率																														67.5	70.0	67.0	66.7	65.8	69.0	70.3	52.1	63.7	71.6	58.5	60.0	74.6	68.6	
% 有効回答率																														10.2	7.8	8.0	13.3	10.3	9.4	10.8	10.4	12.6	10.3	13.0	14.2	11.7	7.3	
% 有効回答率																														12.6	11.1	15.9	10.4	13.0	11.7	12.2	22.9	14.8	13.7	18.7	17.5	9.8	16.1	
% 有効回答率																														7.3	10.0	7.4	7.2	9.6	6.3	5.0	10.4	5.2	2.9	7.3	6.7	1.9	4.4	
% 有効回答率																														0.6	0.0	0.6	0.7	0.0	1.3	0.5	0.0	0.7	1.0	0.0	0.0	1.1	2.2	
% 有効回答率																														0.8	0.0	1.1	0.7	0.3	0.9	0.9	4.2	1.5	0.5	1.6	0.0	0.8	0.0	
% 有効回答率																														0.5	1.1	0.0	0.7	0.3	0.9	0.0	0.0	0.7	0.0	0.8	0.0	0.0	1.5	
% 有効回答率																														0.4	0.0	0.0	0.4	0.7	0.4	0.5	0.0	0.7	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	
印刷教材には、放送で取り上げる内容そのものの記述が必要																																												
有効回答数																														1517	89	173	275	285	435	215	45	129	200	122	120	258	137	
% 有効回答率																														51.9	51.7	60.1	50.5	49.1	51.0	50.7	60.0	47.3	42.5	49.2	50.8	49.6	57.7	
% 有効回答率																														36.6	36.0	31.2	35.6	40.0	36.6	39.5	28.9	41.9	43.5	35.2	37.5	39.1	35.0	
% 有効回答率																														10.3	11.2	8.1	12.4	9.5	10.8	9.8	6.7	9.3	13.0	14.8	10.0	9.3	6.6	
% 有効回答率																														1.3	1.1	0.6	1.5	1.4	1.6	0.0	4.4	1.6	1.0	0.8	1.7	1.9	0.7	
印刷教材には、放送以外の、テーマに関連した内容の記述が必要																																												
有効回答数																														1520	89	173	275	284	437	217	45	128	199	124	120	261	137	
% 有効回答率																														32.2	29.2	39.9	32.0	30.6	30.7	30.9	42.2	32.8	34.2	27.4	30.0	39.5	27.0	
% 有効回答率																														58.2	62.9	51.4	60.7	62.0	58.6	55.8	42.2	59.4	57.8	62.9	62.5	51.7	60.6	
% 有効回答率																														8.4	6.7	7.5	6.2	6.7	8.9	12.4	15.6	6.3	7.5	9.7	5.8	8.0	10.2	
% 有効回答率																														1.2	1.1	1.2	1.1	0.7	1.8	0.9	0.0	1.6	0.5	0.0	1.7	0.8	2.2	

付表-4 1987年度放送大学学生教材調査 学習センター・専攻別結果一覧(その5)

	放送大 総計	学 習 セ ン タ ー					在籍全科履修生・専攻								
		群馬	埼玉	千葉	東京 第一	東京 第二	神奈川	諏訪	生活 福祉	発達 教育	社会 経済	産業 技術	人間 探究	自然 理解	
Q08-03	印刷教材には、放送番組を理解するためのポイントの解説が必要														
	平均値	1.90	1.74	1.90	1.89	1.91	1.96	1.87	1.72	1.87	1.94	1.88	1.93	1.92	1.91
	有効回数	1510	90	175	272	279	435	216	43	125	200	122	120	260	136
	必要だ	30.5	42.2	30.9	28.3	29.0	27.4	33.3	46.5	26.4	29.5	30.3	28.3	31.2	30.1
	必要だがよい	50.4	41.1	48.6	54.4	52.0	52.2	48.1	34.9	60.0	47.0	53.3	54.2	46.9	51.5
Q08-04	必要だがよい	17.8	16.7	20.6	16.9	17.6	17.9	17.1	18.6	13.6	23.0	14.8	13.3	20.4	15.4
	必要でない	1.3	0.0	0.0	0.4	1.4	2.5	1.4	0.0	0.0	0.5	1.6	4.2	1.5	2.9
	平均値	1.87	1.73	1.84	1.90	1.86	1.94	1.80	1.70	1.75	1.78	1.89	1.92	1.92	1.96
	有効回数	1508	89	175	272	282	431	216	43	126	199	122	120	259	136
	必要だ	34.4	37.1	34.9	30.9	35.8	32.9	36.1	44.2	36.5	37.7	32.8	36.7	33.2	31.6
Q08-05	必要だがよい	46.2	52.8	48.0	48.5	44.7	42.7	49.1	41.9	52.4	46.7	48.4	39.2	43.6	43.4
	必要でない	17.8	10.1	15.4	20.2	17.4	21.8	13.4	14.0	11.1	15.6	15.6	20.0	21.2	22.8
	平均値	1.6	0.0	1.7	0.4	2.1	2.6	1.4	0.0	0.0	0.0	3.3	4.2	1.9	2.2
	有効回数	1509	89	172	272	283	435	214	44	125	200	122	120	260	136
	必要だ	47.6	41.6	47.7	48.5	46.3	47.1	49.1	59.1	51.2	51.5	43.4	44.2	51.9	42.6
Q08-06	必要だがよい	44.4	48.3	45.3	45.6	42.8	45.1	43.5	34.1	41.6	45.0	48.4	50.0	40.4	44.9
	必要でない	7.6	10.1	6.4	5.5	10.6	7.4	7.0	6.8	7.2	3.5	6.6	5.8	7.3	11.0
	平均値	0.4	0.0	0.6	0.4	0.4	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.4	1.5
	有効回数	1511	90	173	272	283	434	215	44	125	201	121	120	259	137
	必要だ	38.1	40.0	34.7	43.0	35.7	36.9	38.1	45.5	37.6	42.3	44.6	37.5	39.8	33.6
Q08-07	必要だがよい	45.5	48.9	53.2	43.0	44.5	44.0	46.5	40.9	57.6	45.3	38.8	47.5	42.1	44.5
	必要でない	15.6	11.1	12.1	14.0	18.0	18.0	14.4	13.6	4.8	12.4	14.9	15.0	17.0	20.4
	平均値	0.8	0.0	0.0	0.0	1.8	1.2	0.9	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	1.2	1.5
	有効回数	1511	90	173	272	283	434	215	44	125	201	121	120	259	137
	必要だ	38.1	40.0	34.7	43.0	35.7	36.9	38.1	45.5	37.6	42.3	44.6	37.5	39.8	33.6
Q08-08	必要だがよい	45.5	48.9	53.2	43.0	44.5	44.0	46.5	40.9	57.6	45.3	38.8	47.5	42.1	44.5
	必要でない	15.6	11.1	12.1	14.0	18.0	18.0	14.4	13.6	4.8	12.4	14.9	15.0	17.0	20.4
	平均値	0.8	0.0	0.0	0.0	1.8	1.2	0.9	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	1.2	1.5
	有効回数	1511	90	173	272	283	434	215	44	125	201	121	120	259	137
	必要だ	38.1	40.0	34.7	43.0	35.7	36.9	38.1	45.5	37.6	42.3	44.6	37.5	39.8	33.6

付表－4 1987年度放送大学学生教材調査 学習センタ－・専攻別結果一覧（その6）

学 習 セ ン タ ー														在籍全科履修生・専 攻																																																																					
放送大 総 計														神 奈 川					諏 訪					生活 福祉					発達 教育					社会 経済					産業 技術					人間 探究					自然 理解																																		
群馬														埼玉					千葉					東京 第一					東京 第二					神 奈 川					諏 訪					生活 福祉					発達 教育					社会 経済					産業 技術					人間 探究					自然 理解														
Q08-09 印刷教材には、参考資料が必要														1.83					1.79					1.73					1.83					1.77					1.75					1.81					1.76					1.75					1.88					1.76					1.82														
平 均 値														1.78					1.72					271					282					433					215					43					126					120					258					136																			
有効回答数														1504					88					29.5					31.4					33.6					28.4					33.5					33.0					39.5					24.6					120					258					136									
1 必要だほうがよい														32.2					59.1					59.3					59.8					60.6					56.4					59.5					41.9					70.6					59.0					62.5					58.1					50.7									
2 あつてもよい														58.3					10.2					8.1					6.6					10.3					9.5					6.5					16.3					4.0					8.2					10.0					7.8					13.2									
3 なくともよい														8.8					1.1					1.2					0.0					0.7					0.7					0.9					0.8					1.7					0.8					1.5																			
4 ないほうがよい														0.7																																																																					
Q08-10 印刷教材には、参考文献のリストが必要														1.75					1.73					1.76					1.77					1.78					1.70					1.79					1.89					1.67					1.79					1.89					1.65					1.71									
平 均 値														1.75					1.73					1.76					1.77					1.78					1.70					1.79					1.89					1.67					1.79					1.89					1.65					1.71									
有効回答数														1503					89					173					272					280					431					214					44					127					199					121					120					258					136				
1 必要だほうがよい														35.8					41.6					35.3					33.5					33.2					39.4					33.2					34.1					28.3					39.7					30.6					27.5					43.4					41.9				
2 あつてもよい														53.7					43.8					54.9					56.6					56.1					51.3					56.5					45.5					65.4					59.5					57.5					49.6					45.6									
3 なくともよい														9.8					14.6					8.7					9.6					10.4					8.8					8.9					18.2					5.5					9.9					13.3					5.8					11.8									
4 ないほうがよい														0.7					0.0					1.2					0.4					0.4					0.5					1.4					2.3					0.8					1.7					1.2					0.7														
Q08-11 印刷教材には、参考文献や資料の検索法が必要														2.02					1.95					1.99					2.05					2.03					2.05					2.00					1.99					1.97					2.08					1.95					2.10														
平 均 値														2.02					1.95					1.99					2.05					2.03					2.05					2.00					1.99					1.97					2.08					1.95					2.10														
有効回答数														1499					88					174					271					279					429					214					44					127					199					121					120					259					136				
1 必要だほうがよい														24.1					30.7					23.0					25.5					20.1					24.9					22.4					34.1					22.8					27.1					24.0					21.7					29.3					19.1				
2 あつてもよい														51.0					44.3					55.7					50.9					55.9					48.5					51.9					36.4					55.9					49.7					50.4					50.0					48.3					52.2				
3 なくともよい														23.5					23.9					20.1					23.2					22.9					24.9					24.3					25.0					20.5					22.1					24.0					26.7					20.5					28.7				
4 ないほうがよい														1.3					1.1					0.4					1.1					1.6					1.4					4.5					0.8					1.0					1.7					1.9					0.0														
Q08-12 印刷教材には、図表が必要														1.47					1.41					1.47					1.45					1.44					1.48					1.54					1.49					1.41					1.48					1.38					1.49					1.35									
平 均 値														1.46					1.41					1.47					1.45					1.44					1.48					1.54					1.49					1.41					1.48					1.38					1.49					1.35									
有効回答数														1514					89					171					275					286					431					216					46					127					202					124					120					257					136				
1 必要だほうがよい														56.8					53.9					59.6					55.3					56.6					58.2					55.1					56.5					53.5					58.9					61.7					52.1					66.2									
2 あつてもよい														41.0					44.9					39.8					42.5					41.3					39.7					41.7					34.8					44.9					41.1					48.4					38.3					46.3					33.1				
3 なくともよい														2.2					1.1					0.6					2.2					2.1					2.1					3.2					6.5					0.8					0.0					0.0					1.6					0.7									
4 ないほうがよい														0.1					0.0					0.0					0.0					0.0					0.0					2.2					0.8					0.0					0.0					0.0					0.0					0.0									
Q08-13 印刷教材には、小見出しが必要														1.67					1.60					1.65					1.69					1.65					1.70					1.61					1.65					1.57					1.69					1.70					1.63					1.64									
平 均 値														1.67					1.60					1.65					1.69					1.65					1.70					1.61					1.65					1.57					1.69					1.70					1.63					1.64									
有効回答数														1501					89					171					270					282					430					215					44					127					200					121					120					259					135				
1 必要だほうがよい														41.1					44.9					40.4					36.7					40.4					44.7					37.2					52.3					41.7					46.5					38.8					40.0					44.4					43.0				
2 あつてもよい														51.0					51.7					53.8					56.3					50.4					46.0					55.8					53.1					50.0					52.9					50.0					49.4					50.4									
3 なくともよい														7.7					2.2					5.8					7.0					8.9					8.8					7.0					13.6					7.1					3.5					8.3					10.0					5.4					6.7				
4 ないほうがよい														0.3					1.1					0.0					0.4					0.5					0.0					0.0					0.0					0.0					0.0					0.8					0.0					0.0									
Q08-14 印刷教材には、索引が必要														1.55					1.51					1.63					1.52					1.47					1.50					1.59					1.55					1.41					1.58					1.52					1.48					1.43									
平 均 値														1.52					1.51					1.63					1.52					1.47					1.50					1.59					1.55					1.41					1.58					1.52					1.48					1.43									
有効回答数														1508					89					173					271					281					434					216					44					126					200					122					120					260					135				
1 必要だほうがよい														53.7					50.6					54.9					43.5					54.1					59.7					55.6					47.7					49.2					62.5					50.0					54.2					58.1					60.0				
2 あつてもよい														40.3					44.9					38.7					50.2					39.9					34.1					39.4					45.5					46.8					34.0					41.8					40.0					36.5					37.0				
3 なくともよい														5.8					3.4					6.4					5.7					6.0					5.1					6.8					4.0					3.5					8.2					5.8					5.0					3.0									
4 ないほうがよい														0.2					1.1					0.0					0.4					0.2					0.0					0.0					0.0					0.0					0.4					0.0					0.4					0.0									

付表-4 1987年度放送大学学生教材調査 学習センター・専攻別結果一覧(その7)

		学 習 セ ン タ ー				在籍全科履修生・専 攻									
		放送大 総 計	群馬	埼玉	千葉	東京 第一	東京 第二	神 奈 川	諏 訪	生活 福祉	発達 教育	社会 経済	産業 技術	人間 探究	自然 理解
Q08-15 印刷教材には、写真が必要															
平均値	1.70	1.60	1.65	1.69	1.75	1.73	1.63	1.82	1.58	1.61	1.82	1.63	1.62	1.67	
有効回答数	1505	88	171	275	283	430	214	44	125	200	122	120	259	135	
1 必要だ	39.8	45.5	40.9	38.9	35.7	39.3	44.4	38.6	44.8	45.5	32.0	42.5	44.8	38.5	
2 あつたほうがいい	50.8	48.9	52.6	53.5	54.1	48.6	48.1	43.2	52.8	48.0	54.9	51.7	48.3	56.3	
3 なくともよい	9.3	5.7	6.4	7.6	10.2	11.9	7.5	15.9	2.4	6.5	12.3	5.8	6.9	5.2	
4 ないほうがいい	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	2.3	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	
Q08-16 印刷教材には、イラストが必要															
平均値	1.93	1.83	1.87	1.95	1.94	1.96	1.89	2.14	1.86	1.86	1.92	1.77	1.97	1.79	
有効回答数	1502	87	172	271	283	431	214	44	126	200	122	120	257	136	
1 必要だ	30.2	36.8	33.1	27.3	28.6	29.7	32.7	25.0	32.5	31.5	29.5	39.2	30.7	34.6	
2 あつたほうがいい	47.9	43.7	48.3	50.6	50.9	46.4	46.7	38.6	50.8	51.0	50.0	46.7	44.7	52.2	
3 なくともよい	20.6	19.5	16.9	22.1	18.0	22.3	19.2	34.1	15.1	17.0	19.7	12.5	21.4	13.2	
4 ないほうがいい	1.4	0.0	1.7	0.0	2.5	1.6	1.4	2.3	1.6	0.5	0.8	1.7	3.1	0.0	
Q08-17 印刷教材には、ノートやメモ用の余白が必要															
平均値	2.21	2.21	2.29	2.16	2.25	2.20	2.20	2.19	2.11	2.05	2.26	2.36	2.11	2.28	
有効回答数	1505	89	171	270	283	434	215	43	129	201	122	119	257	135	
1 必要だ	29.2	30.3	32.4	31.5	29.0	30.2	28.4	30.2	31.8	34.3	27.0	24.4	35.0	24.4	
2 あつたほうがいい	29.0	24.7	32.7	28.9	26.5	29.7	29.8	30.2	29.5	33.8	27.9	28.6	25.3	32.6	
3 なくともよい	33.1	38.2	35.1	32.2	35.0	30.0	34.9	30.2	34.9	24.4	36.9	33.6	33.5	33.3	
4 ないほうがいい	8.7	6.7	8.8	7.4	9.5	10.1	7.0	9.3	3.9	7.5	8.2	13.4	6.2	9.6	
Q08-18 印刷教材には、講師の研究上のエピソードが必要															
平均値	2.23	2.17	2.13	2.22	2.28	2.22	2.27	2.28	2.29	2.22	2.21	2.18	2.18	2.20	
有効回答数	1524	89	174	279	285	439	215	43	129	203	123	120	262	137	
1 必要だ	14.4	15.7	18.4	13.3	13.3	14.8	13.0	14.0	9.3	16.3	16.3	18.3	14.1	14.6	
2 あつたほうがいい	52.2	52.8	53.4	53.4	49.1	52.8	52.1	51.2	53.5	48.8	49.6	50.8	58.4	54.0	
3 なくともよい	29.7	30.3	24.7	31.5	33.3	28.2	29.3	27.9	35.7	32.0	30.9	25.0	22.5	27.7	
4 ないほうがいい	3.7	1.1	3.4	1.8	4.2	4.1	5.6	7.0	1.6	3.0	3.3	5.8	5.0	3.6	
Q08-19 印刷教材には、放送番組制作上のエピソードが必要															
平均値	2.66	2.58	2.54	2.66	2.75	2.67	2.68	2.63	2.67	2.67	2.73	2.69	2.68	2.71	
有効回答数	1511	90	173	272	281	435	217	43	127	200	123	120	259	136	
1 必要だ	5.4	4.4	7.5	4.4	2.5	6.0	6.9	9.3	5.5	4.5	5.7	8.3	4.2	5.1	
2 あつたほうがいい	31.9	37.8	37.0	33.5	28.5	31.5	28.1	34.9	30.7	31.0	26.0	29.2	31.7	28.7	
3 なくともよい	54.0	53.3	49.7	54.0	60.5	52.4	55.3	39.5	55.1	57.5	57.7	47.5	55.6	56.6	
4 ないほうがいい	8.7	4.4	5.8	8.1	8.5	10.1	9.7	16.3	8.7	7.0	10.6	15.0	8.5	9.6	
Q08-20 印刷教材には、講師の履歴や業績の紹介が必要															
平均値	2.24	2.10	2.15	2.27	2.33	2.22	2.23	2.44	2.22	2.28	2.16	2.27	2.17	2.41	
有効回答数	1512	88	173	273	281	437	217	43	130	199	121	120	259	137	
1 必要だ	14.6	19.3	19.7	11.4	12.8	14.6	14.7	14.0	11.5	10.1	18.2	19.2	16.2	8.8	
2 あつたほうがいい	51.0	52.3	50.9	55.3	45.6	52.9	50.7	39.5	58.5	54.8	50.4	44.2	54.8	46.7	
3 なくともよい	30.2	27.3	24.3	28.6	37.4	28.6	31.3	34.9	26.2	32.2	28.9	27.5	25.1	39.4	
4 ないほうがいい	4.2	1.1	5.2	4.8	4.3	3.9	3.2	11.6	3.8	3.0	2.5	9.2	3.9	5.1	

付表一 4 1 9 8 7 年度放送大学学生教材調査 学習センター・専攻別結果一覧 (その 8)

		学 習 セ ン タ ー					在籍全科履修生・専 攻									
		放送大 総 計		群馬	埼玉	千葉	東京 第一	東京 第二	神 奈 川	諏訪	生活 福祉	発達 教育	社会 経済	産業 技術	人間 探究	自然 理解
Q08-21	印刷教材には、講師の紹介が必要	2.35	2.29	2.30	2.36	2.46	2.31	2.36	2.46	2.29	2.32	2.33	2.41	2.35	2.47	
	平均値	1510	89	175	272	284	434	215	41	127	200	122	120	260	136	
	有効回答数	%	11.1	12.4	15.4	8.5	8.8	12.9	9.8	10.2	11.5	10.7	11.7	10.4	10.3	
	必要だったほうがよい	47.6	49.4	44.0	52.6	41.2	49.1	50.7	39.0	52.8	49.0	51.6	45.8	49.2	39.0	
	必要でなくてもよい	36.0	34.8	35.4	33.8	45.4	32.5	33.5	39.0	34.6	35.0	32.0	32.5	35.0	44.1	
4	ないほうがよい	5.3	3.4	5.1	5.1	4.6	5.5	6.0	9.8	2.4	4.5	5.7	10.0	5.4	6.6	
Q08-22	印刷教材には、講師の顔写真が必要	2.48	2.33	2.43	2.50	2.55	2.44	2.49	2.69	2.49	2.44	2.33	2.56	2.47	2.54	
	平均値	1506	89	173	273	282	432	215	42	127	199	122	120	259	136	
	有効回答数	%	11.3	18.0	10.4	10.6	8.9	13.2	10.2	7.1	6.3	13.6	13.9	14.2	10.4	11.0
	必要だったほうがよい	37.6	37.1	43.4	36.6	35.5	37.7	38.1	33.3	44.9	35.2	47.5	28.3	39.4	29.4	
	必要でなくてもよい	43.2	39.3	39.3	45.1	47.2	41.4	44.2	42.9	42.5	44.7	30.3	45.0	42.9	53.7	
4	ないほうがよい	7.8	5.6	6.9	7.7	8.5	7.6	7.4	16.7	6.3	6.5	8.2	12.5	7.3	5.9	
Q09	大学における放送教材と印刷教材の望ましい関係(択一)	1550	90	176	279	292	446	219	48	134	203	124	120	266	136	
	放送回数	%	23.2	18.9	18.2	24.0	22.6	23.1	28.8	25.0	17.7	22.6	26.7	24.1	21.3	
	互いに独立主体	1.6	1.1	2.8	3.2	1.0	0.7	1.8	0.0	0.0	1.5	2.4	1.7	1.9	1.5	
	放送教材を主体	21.5	16.7	22.2	18.3	24.7	23.3	18.3	27.1	14.9	21.7	16.9	18.3	21.4	25.0	
	その他	50.1	58.9	54.5	52.0	47.9	47.8	48.4	47.9	59.0	54.2	54.0	50.0	47.7	46.3	
5	その他	3.5	4.4	2.3	2.5	3.8	5.2	2.7	0.0	0.7	4.9	4.0	3.3	4.9	5.9	
Q10	今後放送大学で、重点を置いてほしい科目のタイプ(択一)	1544	91	176	280	290	443	216	48	133	202	124	120	265	136	
	放送回数	%	27.4	29.7	30.1	27.9	23.1	27.3	35.4	37.6	25.2	21.8	20.0	21.9	17.6	
	総合科目	20.5	22.0	18.8	22.1	22.1	17.8	22.7	18.8	25.6	20.8	16.9	18.3	24.5	13.2	
	基礎科目	31.0	28.6	27.3	29.3	31.7	33.9	31.5	27.1	24.1	33.2	29.8	39.2	28.3	40.4	
	専門科目	18.5	17.6	20.5	18.9	19.7	18.1	17.1	12.5	12.0	19.8	26.6	20.0	21.1	23.5	
5	その他	2.7	2.2	3.4	1.8	3.4	2.7	1.4	6.3	0.8	1.0	4.8	2.5	4.2	5.1	

付表-5 1987年度放送大学学生教材調査 87年度1学期在籍全科目履修生細分類別結果一覧(その1)

全 科 履 修 生														全 回 答 者 中	
全 科 生		登 録 続 続					登 録 中 断			種 別 変 更			8 8 卒 論 登 録		
総 計		1 年	2 年	3 年	総 計	中 断	復 帰	変 更	特 修	選 科			8 5	8 6	連 続
回 答 総 数	989	190	200	469	859	130	50	141	40	101	125	16			
Q01-1 全体的にみて、放送大学のテレビによる講義は、学習を進める上で効果的である															
1	平 均 効 用 率	1.47	1.53	1.51	1.40	1.45	1.60	1.40	1.26	1.17	1.29	1.39	1.88		
2	有 効 回 数	982	188	199	466	853	129	50	139	40	99	125	16		
3	そ の や や ち ま う 思 っ て	65.6	60.1	62.8	70.0	66.1	62.0	70.0	77.7	87.5	73.7	71.2	43.8		
4	ど ち ら の 方 が 思 っ て	25.4	29.3	28.6	22.5	25.4	24.8	24.0	19.4	10.0	23.2	21.6	31.3		
5	あ る い は 思 っ て	5.8	8.5	4.5	5.2	5.7	6.2	2.0	0.2	0.0	3.0	4.0	18.8		
6	そ の 他 の 方 が 思 っ て	2.7	2.1	3.0	2.1	2.3	5.4	4.0	0.7	2.5	0.0	3.2	6.3		
7	あ る い は 思 っ て	0.5	0.0	1.0	0.2	0.4	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
Q01-2 全体的にみて、放送大学のラジオによる講義は、学習を進める上で効果的である															
1	平 均 効 用 率	2.05	2.20	2.06	1.92	2.01	2.29	1.96	1.68	1.38	1.81	1.83	2.50		
2	有 効 回 数	955	172	193	468	833	122	48	138	40	98	124	16		
3	そ の や や ち ま う 思 っ て	36.4	31.4	38.9	40.2	38.1	25.4	37.5	52.9	70.0	45.9	40.3	12.5		
4	ど ち ら の 方 が 思 っ て	37.0	34.9	33.2	37.8	36.1	42.6	43.8	32.6	25.0	35.7	43.5	37.5		
5	あ る い は 思 っ て	13.9	18.6	14.0	12.6	14.2	12.3	6.3	8.7	2.5	11.2	10.5	37.5		
6	そ の 他 の 方 が 思 っ て	10.9	12.8	11.4	8.3	10.0	17.2	10.4	5.1	2.5	6.1	4.0	12.5		
7	あ る い は 思 っ て	1.8	2.3	2.6	1.1	1.7	2.5	2.1	0.7	0.0	1.0	1.6	0.0		
Q01-3 全体的にみて、放送大学の印刷教材は、学習を進める上で効果的である															
1	平 均 効 用 率	1.49	1.57	1.52	1.41	1.47	1.64	1.40	1.41	1.27	1.47	1.39	1.69		
2	有 効 回 数	987	190	199	469	858	129	50	141	40	101	125	16		
3	そ の や や ち ま う 思 っ て	63.3	55.8	62.3	69.3	64.7	54.3	68.0	68.8	75.0	66.3	75.2	50.0		
4	ど ち ら の 方 が 思 っ て	26.5	32.6	27.1	22.4	25.8	31.8	24.0	22.7	22.5	22.8	20.8	31.3		
5	あ る い は 思 っ て	7.9	10.0	7.5	6.4	7.5	10.9	8.0	7.1	2.5	8.9	4.0	18.8		
6	そ の 他 の 方 が 思 っ て	1.9	1.6	2.5	1.7	1.9	2.3	0.0	1.4	0.0	2.0	0.0	0.0		
7	あ る い は 思 っ て	0.3	0.0	0.5	0.2	0.2	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
Q01-4 全体的にみて、放送大学の通信指導は、学習を進める上で効果的である															
1	平 均 効 用 率	2.22	2.16	2.16	2.21	2.19	2.38	2.43	1.91	1.54	2.06	2.17	2.56		
2	有 効 回 数	952	182	195	453	830	122	49	134	39	95	121	16		
3	そ の や や ち ま う 思 っ て	33.2	29.7	34.4	35.8	34.1	27.0	28.6	50.7	66.7	44.2	39.7	18.8		
4	ど ち ら の 方 が 思 っ て	31.6	39.6	33.3	27.2	31.3	33.6	26.5	23.9	23.1	24.2	26.4	31.3		
5	あ る い は 思 っ て	20.0	20.3	17.9	21.0	20.1	18.9	24.5	14.2	5.1	17.9	18.2	25.0		
6	そ の 他 の 方 が 思 っ て	10.9	5.5	10.3	12.1	10.2	15.6	14.3	6.0	0.0	8.4	9.1	25.0		
7	あ る い は 思 っ て	4.3	4.9	4.1	4.0	4.2	4.9	6.1	5.2	5.1	5.3	6.6	0.0		
Q01-5 全体的にみて、放送大学の単位認定試験は、学習を進める上で効果的である															
1	平 均 効 用 率	1.77	1.80	1.70	1.72	1.73	2.07	1.88	1.51	1.26	1.61	1.53	2.13		
2	有 効 回 数	978	188	199	467	854	124	50	139	39	100	125	16		
3	そ の や や ち ま う 思 っ て	53.8	54.3	55.3	56.3	55.6	41.1	48.0	62.6	79.5	56.0	64.0	37.5		
4	ど ち ら の 方 が 思 っ て	25.2	22.3	27.6	25.3	25.2	23.0	26.0	27.3	17.9	31.0	26.4	25.0		
5	あ る い は 思 っ て	13.3	15.4	10.6	11.1	11.9	22.6	16.0	7.2	0.0	10.0	4.8	25.0		
6	そ の 他 の 方 が 思 っ て	5.4	5.3	4.5	5.1	5.0	8.1	10.0	2.2	2.6	2.0	2.4	12.5		
7	あ る い は 思 っ て	2.4	2.7	2.0	2.1	2.2	3.2	0.0	0.7	0.0	1.0	2.4	0.0		

付表-5 1987年度放送大学学生教材調査 87年度1学期在籍全科履修生細分類別結果一覧(その2)

全 科 履 修 生										全 回 答 者 中		
全科生			登 録 継 続			種 別 変 更			8 卒 論 登 録	前 調 査 回 答 者		
総 計			1 年	2 年	3 年	総 計	中 断	復 帰	変 更	特 修	選 科	8 5 8 6 連 続
Q01-6 全体的にみて、放送大学の面接授業は、学習を進める上で効果的である												
平均値	1.79	1.64	1.73	1.86	1.78	1.87	2.17	1.63	1.41	1.72	1.90	1.88
有効回数	956	178	195	463	836	120	47	131	37	94	125	16
それより思う	%	60.1	53.3	47.7	51.7	50.8	38.3	56.5	64.9	53.2	47.2	31.3
それより思わない		23.0	27.7	29.4	27.6	26.7	34.0	29.8	29.7	29.8	28.8	56.3
どちらでもない	13.1	11.2	12.3	14.3	13.2	12.5	8.5	9.2	5.4	10.6	14.4	6.3
わからない	5.6	3.9	5.6	6.5	5.7	5.0	10.6	3.1	0.0	4.3	5.6	6.3
わからない	2.2	1.7	1.0	2.2	1.8	5.0	8.5	1.5	0.0	2.1	4.0	0.0
Q02 あなたは、面接授業などの他、約5か月間に学習センターをどの程度利用したか												
平均値	2.23	2.62	2.30	2.21	2.32	1.64	2.08	2.16	2.02	2.22	2.57	2.31
有効回数	985	189	199	468	856	129	50	140	40	100	124	16
全く利用しなかった	%	22.2	24.1	31.0	27.5	65.9	46.0	31.4	27.5	33.0	20.2	37.5
1～5回程度利用	37.4	34.4	44.7	40.0	39.8	20.9	30.0	40.7	50.0	37.0	37.9	25.0
6～10回程度利用	14.1	18.0	15.6	14.5	15.5	4.7	8.0	16.4	17.5	16.0	20.2	18.8
11～15回以上利用	6.7	10.1	8.5	6.2	7.6	0.8	2.0	2.9	2.5	3.0	8.1	6.3
16回以上利用	9.3	15.3	7.0	8.3	9.6	7.8	14.0	8.6	2.5	11.0	13.7	12.5
Q03-1 学習センターの番組再視聴設備の利用の程度												
平均値	2.42	2.32	2.32	2.40	2.36	2.79	2.59	2.63	2.90	2.53	2.16	1.88
有効回数	982	190	197	468	855	127	49	139	39	100	125	16
よく利用する	%	21.1	27.9	21.8	20.5	22.5	11.8	18.4	13.7	5.1	17.0	43.8
あまり利用しない	40.7	38.4	43.7	41.9	41.5	35.4	34.7	39.6	35.9	41.0	43.2	31.3
まったく利用しない	13.4	7.9	15.2	14.5	13.2	15.0	16.3	16.5	23.1	14.0	13.6	18.8
あまり利用しない	24.7	25.8	19.3	23.1	22.8	37.8	30.6	30.2	35.9	28.0	15.2	6.3
Q03-2 学習センターの実験設備の利用の程度												
平均値	3.69	3.65	3.73	3.66	3.67	3.80	3.75	3.75	3.69	3.77	3.60	3.63
有効回数	937	178	191	446	815	122	48	132	36	96	121	16
よく利用する	%	1.5	3.9	0.5	1.3	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0
あまり利用しない	6.6	6.7	6.8	7.4	7.1	3.3	4.2	7.6	11.1	6.3	9.1	0.0
まったく利用しない	13.1	10.1	11.5	15.0	13.1	13.1	16.7	9.8	8.3	10.4	19.0	37.5
あまり利用しない	78.8	79.2	81.2	76.2	78.0	83.6	79.2	82.6	80.6	83.3	71.1	62.5
Q03-3 学習センターの図書館の利用の程度												
平均値	2.44	2.53	2.38	2.35	2.39	2.75	2.68	2.50	2.55	2.48	2.18	2.44
有効回数	976	186	199	463	848	128	50	141	40	101	125	16
よく利用する	%	13.7	14.0	15.1	14.3	14.4	9.4	12.0	13.5	12.5	13.9	6.3
あまり利用しない	46.9	40.9	46.7	52.1	48.3	37.5	34.0	44.7	40.0	46.5	59.2	62.5
まったく利用しない	20.9	23.1	23.6	18.6	20.8	21.9	28.0	20.6	27.5	17.8	17.6	12.5
あまり利用しない	18.4	22.0	14.6	15.1	16.5	31.3	26.0	21.3	20.0	21.8	8.0	18.8
Q03-4 公立図書館など学習センター以外の図書館の利用の程度												
平均値	2.44	2.49	2.48	2.44	2.46	2.29	2.31	2.48	2.42	2.50	2.18	2.31
有効回数	972	187	195	464	846	126	49	140	40	100	124	16
よく利用する	%	20.0	19.3	16.9	19.8	19.0	26.2	30.6	19.3	20.0	24.2	25.0
あまり利用しない	38.0	34.8	39.5	38.1	37.3	30.6	34.3	37.5	33.0	33.0	43.2	43.8
まったく利用しない	20.7	24.1	22.6	19.2	21.0	18.3	16.3	25.7	22.5	27.0	19.4	6.3
あまり利用しない	21.4	21.9	21.0	22.2	21.9	18.3	22.4	20.7	20.0	21.0	11.3	25.0

付表-5 1987年度放送大学学生教材調査 87年度1学期在籍全科履修生細分類別結果一覧(その3)

全 科 履 修 生										全 回 答 者 中				
全 科 生			登 録 継 続			登 録 中 断			種 別 変 更		8 卒 論 登 録			
総 計			1 年	2 年	3 年	総 計	中 断	復 帰	変 更	特 修	選 科	8 5	8 6	連 続
603-5 学習センターでの学習相談の利用の程度														
平均値			3.77	3.73	3.81	3.75	3.76	3.85	3.79	3.74	3.64	3.79	3.53	
有効回数			960	182	194	461	837	123	48	137	39	98	123	
利用率			%	0.5	0.0	0.2	0.2	0.8	2.1	0.7	0.0	1.0	0.0	
学習に利用しない			4.6	6.6	3.6	5.2	5.1	0.8	2.1	4.4	7.7	3.1	12.2	
学習に利用しない			12.8	12.1	11.9	14.1	13.1	10.6	10.4	14.6	20.5	12.2	22.8	
学習に利用しない			82.3	80.8	84.5	80.5	81.5	87.8	85.4	80.3	71.8	83.7	65.0	
603-6 指導問題の最後のページにある質問票の利用の程度														
平均値			3.85	3.77	3.87	3.89	3.86	3.78	3.80	3.69	3.84	3.89	3.75	
有効回数			971	185	195	466	846	125	49	138	39	99	125	
利用率			%	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指導問題に利用しない			2.2	3.8	1.5	1.3	1.9	4.0	4.1	3.6	5.1	3.0	0.0	
指導問題に利用しない			10.6	15.1	10.3	8.2	10.2	13.6	12.2	13.0	20.5	10.1	11.2	
指導問題に利用しない			87.1	81.1	88.2	90.3	87.8	82.4	83.7	83.3	74.4	86.9	88.8	
603-7 放送大学内のサークル活動や勉強会の利用の程度														
平均値			3.58	3.67	3.54	3.52	3.56	3.72	3.66	3.66	3.70	3.64	3.21	
有効回数			971	184	197	465	846	125	50	140	40	100	124	
利用率			%	4.3	7.6	6.5	6.3	2.4	2.0	2.1	2.5	2.0	14.5	
サークル活動に利用しない			7.1	5.4	6.1	8.8	7.4	4.8	8.0	8.6	2.5	11.0	10.5	
サークル活動に利用しない			10.7	9.2	11.2	11.0	10.6	11.2	12.0	10.7	17.5	8.0	14.5	
サークル活動に利用しない			76.4	81.0	75.1	73.8	75.7	81.6	78.0	78.6	77.5	79.0	60.5	
604-1 あなたのお宅では、テレビで放送大学の番組を支障なく受信できますか														
平均値			1.40	1.49	1.41	1.32	1.38	1.51	1.44	1.39	1.47	1.36	1.59	
有効回数			983	188	200	467	855	128	50	140	40	100	125	
受信できる			65.7	60.6	63.5	70.4	66.7	59.4	62.0	65.0	62.5	66.0	72.0	
受信できる			29.0	29.8	31.5	27.2	28.8	30.5	32.0	30.7	27.5	32.0	27.2	
受信できない			5.3	9.6	5.0	2.4	4.6	10.2	6.0	4.3	10.0	2.0	0.8	
604-2 あなたのお宅では、ラジオで放送大学の番組を支障なく受信できますか														
平均値			1.76	1.24	1.16	1.12	1.16	1.18	1.10	1.11	1.10	1.11	1.14	
有効回数			974	182	195	468	845	129	50	140	40	100	125	
受信できる			85.7	80.8	84.6	88.2	85.8	85.3	90.0	90.0	92.5	89.0	86.4	
受信できる			12.4	14.3	14.4	11.1	12.5	11.6	10.0	9.3	5.0	11.0	12.8	
受信できない			1.8	4.9	1.0	0.6	1.7	3.1	0.0	0.7	2.5	0.0	0.8	
605-1 あなたの身近に、利用できるビデオデッキがありますか														
平均値			1.22	1.24	1.21	1.19	1.21	1.28	1.32	1.25	1.23	1.26	1.21	
有効回数			984	189	200	466	855	129	50	140	39	101	125	
身近にない			78.4	75.7	79.0	80.9	79.3	72.1	68.0	75.0	76.9	74.3	79.2	
身近にない			21.6	24.3	21.0	19.1	20.7	27.9	32.0	25.0	23.1	25.7	20.8	
605-2 あなたの身近に、利用できるテープレコーダーがありますか														
平均値			1.04	1.07	1.04	1.03	1.04	1.04	1.02	1.03	1.05	1.02	1.02	
有効回数			987	190	200	469	859	128	50	141	40	101	125	
身近にない			96.0	93.2	95.5	97.4	96.0	96.1	98.0	97.2	95.0	98.0	97.6	
身近にない			4.0	6.8	4.5	2.6	4.0	3.9	2.0	2.8	5.0	2.0	2.4	

附表-5 1987年度放送大学生教材調查

全 科 履 修 生										全 回 答 者 中		
全 科 生										前 調 査 回 答 者		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
1 年 2 年 3 年 総 計										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		
登 録 継 続										8 5 8 6 連 続		

付表-5 1987年度放送大学学生教材調査 87年度1学期在籍全科履修生細分類別結果一覧(その5)

	全 科 履 修 生										全 回 答 者 中	
	全 科 生		登 録 続 続		登 録 中 断		種 別 変 更		8 卒 論 登 録		前 調 査 回 答 者	
	総 計	1 年	2 年	3 年	総 計	中 断	復 帰	変 更	特 修	選 科	8 5	8 6 連 続
Q08-03 印刷教材には、放送番組を理解するための予備知識が必要												
平 均 値	1.91	1.84	1.90	1.97	1.92	1.85	1.88	1.92	1.89	1.93	2.02	1.63
有効回答数	963	187	198	456	841	122	48	132	36	96	125	16
1 必要だがよい	29.6	33.2	31.8	27.2	29.6	29.5	25.0	26.5	27.8	26.0	24.8	50.0
2 あつてもよい	51.0	50.8	48.0	50.2	50.1	57.4	62.5	56.8	55.6	57.3	49.6	37.5
3 なくてもよい	17.8	14.4	16.7	21.3	18.7	11.5	12.5	15.2	16.7	14.6	24.0	12.5
4 ないほうがよい	1.7	1.6	2.5	1.3	1.7	1.6	0.0	1.5	0.0	2.1	1.6	0.0
Q08-04 印刷教材には、放送番組視聴のためのポイントの解説が必要												
平 均 値	1.87	1.80	1.91	1.87	1.87	1.88	1.88	1.93	1.81	1.97	2.03	1.75
有効回答数	962	184	198	457	839	123	48	134	36	98	124	16
1 必要だがよい	34.7	41.8	31.8	33.5	34.9	33.3	31.3	29.9	36.1	27.6	26.6	37.5
2 あつてもよい	45.4	38.0	47.0	47.0	45.1	48.0	52.1	49.3	47.2	50.0	44.4	50.0
3 なくてもよい	18.1	17.9	19.2	18.2	18.4	16.3	14.6	19.4	16.7	20.4	28.2	12.5
4 ないほうがよい	1.8	2.2	2.0	1.3	1.7	2.4	2.1	1.5	0.0	2.0	0.8	0.0
Q08-05 印刷教材には、専門用語やキー・ワードの解説が必要												
平 均 値	1.59	1.55	1.66	1.59	1.60	1.57	1.54	1.61	1.56	1.63	1.67	1.44
有効回答数	963	186	198	456	840	123	48	133	36	97	124	16
1 必要だがよい	48.4	53.8	43.4	48.0	48.2	49.6	50.0	44.4	47.2	43.3	44.4	68.8
2 あつてもよい	44.3	38.2	48.0	45.4	44.4	43.9	45.8	50.4	50.0	50.5	45.2	18.8
3 なくてもよい	6.7	7.0	7.6	6.4	6.8	6.5	4.2	5.3	2.8	6.2	9.7	12.5
4 ないほうがよい	0.5	1.1	1.0	0.2	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0
Q08-06 印刷教材には、講座各回のねらいや学習の到達目標が必要												
平 均 値	1.76	1.72	1.85	1.74	1.76	1.80	1.76	1.74	1.56	1.81	1.85	1.81
有効回答数	963	186	197	454	837	126	50	134	36	98	124	16
1 必要だがよい	39.5	44.1	33.5	40.7	39.8	37.3	44.0	39.6	50.0	35.7	34.7	25.0
2 あつてもよい	45.4	40.9	49.2	45.4	45.3	46.0	38.0	47.8	44.4	49.0	46.0	68.8
3 なくてもよい	14.4	14.5	15.7	13.4	14.2	15.9	16.0	11.9	5.6	14.3	18.5	6.3
4 ないほうがよい	0.7	0.5	1.5	0.4	0.7	0.8	2.0	0.7	0.0	1.0	0.8	0.0
Q08-07 印刷教材には、各回ごとのまとめや要約が必要												
平 均 値	1.88	1.86	1.88	1.91	1.89	1.83	1.85	1.89	1.74	1.95	2.06	1.63
有効回答数	971	185	199	464	848	123	48	137	38	99	125	16
1 必要だがよい	35.3	34.6	35.2	34.9	34.9	38.2	35.4	36.5	42.1	34.3	27.2	50.0
2 あつてもよい	42.8	45.9	42.2	42.0	42.9	42.3	45.8	40.9	42.1	40.4	40.8	37.5
3 なくてもよい	20.0	17.8	21.6	20.7	20.3	17.9	16.7	19.7	15.8	21.2	30.4	12.5
4 ないほうがよい	1.9	1.6	1.0	2.4	1.9	1.6	2.1	2.9	0.0	4.0	1.6	0.0
Q08-08 印刷教材には、練習問題が必要												
平 均 値	2.15	2.02	2.14	2.26	2.18	1.96	2.00	2.08	2.17	2.04	2.40	1.80
有効回答数	959	185	197	454	836	123	48	132	36	96	123	15
1 必要だがよい	20.8	29.2	17.8	16.3	19.5	29.3	31.3	25.0	13.9	29.2	11.4	33.3
2 あつてもよい	47.2	42.7	53.3	46.3	47.1	48.0	39.6	47.0	61.1	41.7	41.5	53.3
3 なくてもよい	28.5	24.9	26.4	33.0	29.7	20.3	27.1	23.5	19.4	25.0	43.1	13.3
4 ないほうがよい	3.5	3.2	2.5	4.4	3.7	2.4	2.1	4.5	5.6	4.2	4.1	0.0

付表一 5 1987年度放送大学学生教材調査 87年度1学期在籍全科履修生細分類別結果一覽(その6)

全科生										全科						履修		生		全回答者中														
全科生		登		録		続		統		1年		2年		3年		総計		中断		復帰		変更		種別変更		88卒論登録		85		86		連続		
総計		印刷教材には、参考資料が必要		印刷教材には、参考文献のリストが必要		印刷教材には、参考文献や資料の検索法が必要		印刷教材には、図表が必要		印刷教材には、小見出しが必要		印刷教材には、索引が必要																						
Q08-09	平均値	1.79	1.85	200	1.80	1.78	1.79	1.78	1.75	1.77	1.74	1.77	1.75	1.78	1.75	1.77	1.74	1.77	1.81	1.63	1.6	1.63	1.75	1.67	1.77	1.74	1.77	1.81	1.63	1.6	1.63	1.75	1.67	
1	必要	31.1	32.4	28.5	31.5	31.0	31.7	35.4	29.5	31.4	28.9	28.2	31.7	35.4	29.5	31.4	28.9	28.2	43.8	16	43.8	43.8	42.7	35	35	31.4	28.9	28.2	43.8	16	43.8	43.8	42.7	
2	必要	59.8	58.4	62.5	59.3	59.8	59.3	54.2	64.4	62.9	64.9	63.7	59.3	54.2	64.4	62.9	64.9	63.7	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
3	必要	8.4	7.6	9.0	8.6	8.5	8.1	10.4	6.1	5.7	6.2	7.3	8.1	10.4	6.1	5.7	6.2	7.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	
4	必要	0.7	1.6	0.0	0.7	0.7	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
Q08-10	平均値	1.73	1.76	1.71	1.71	1.72	1.72	1.76	1.73	1.69	1.78	1.66	1.73	1.76	1.73	1.69	1.78	1.66	1.67	1.75	1.6	1.75	1.67	1.77	1.74	1.77	1.75	1.6	1.66	1.75	1.67	1.77	1.74	1.77
1	必要	36.8	36.4	37.2	37.8	37.4	33.3	35.4	36.1	30.6	38.1	42.7	33.3	35.4	36.1	30.6	38.1	42.7	43.8	16	43.8	43.8	42.7	36	36	31.4	28.9	28.2	43.8	16	43.8	43.8	42.7	
2	必要	54.2	52.7	54.8	53.4	53.6	53.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6
3	必要	8.2	9.2	7.5	8.4	8.4	8.4	7.3	8.3	5.3	8.3	4.1	8.3	7.3	8.3	5.3	8.3	4.1	8.1	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8
4	必要	0.7	1.6	0.5	0.4	0.7	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q08-11	平均値	2.01	2.03	1.97	2.02	2.01	2.01	2.08	1.97	1.86	2.01	2.13	2.01	2.08	1.97	1.86	2.01	2.13	1.94	1.6	1.94	2.13	2.13	2.13	2.13	2.13	2.13	2.13	2.13	2.13	2.13	2.13	2.13	2.13
1	必要	24.9	24.3	26.8	25.7	25.6	20.3	12.5	28.4	32.4	26.8	27.6	20.3	12.5	28.4	32.4	26.8	27.6	31.3	16	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3
2	必要	50.6	50.3	51.0	48.0	49.2	60.2	66.7	47.0	48.6	46.4	43.5	60.2	66.7	47.0	48.6	46.4	43.5	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8
3	必要	23.2	23.8	20.7	25.4	24.0	17.9	20.8	23.9	18.9	25.8	32.3	17.9	20.8	23.9	18.9	25.8	32.3	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
4	必要	1.2	1.6	1.5	0.9	1.2	1.6	0.0	0.7	0.0	0.0	1.0	1.6	0.0	0.7	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
Q08-12	平均値	1.44	1.47	1.49	1.40	1.43	1.52	1.42	1.45	1.33	1.49	1.44	1.52	1.42	1.45	1.33	1.49	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44
1	必要	56.8	58.8	52.5	60.2	58.1	48.4	58.3	55.2	66.7	51.0	57.3	48.4	58.3	55.2	66.7	51.0	57.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3
2	必要	42.4	40.1	46.0	39.4	41.1	51.6	41.7	44.8	33.3	49.0	41.9	41.7	44.8	41.7	44.8	33.3	49.0	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8
3	必要	0.6	0.5	1.5	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	必要	0.1	0.5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q08-13	平均値	1.64	1.64	1.70	1.61	1.64	1.64	1.53	1.60	1.62	1.59	1.60	1.64	1.53	1.60	1.62	1.59	1.60	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44
1	必要	43.0	45.9	38.0	44.7	43.4	40.5	48.9	45.9	51.4	43.8	48.0	40.5	48.9	45.9	51.4	43.8	48.0	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3
2	必要	50.4	43.8	54.5	50.0	49.7	55.4	48.9	48.9	37.8	53.1	43.9	55.4	48.9	48.9	37.8	53.1	43.9	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8	43.8
3	必要	6.3	10.3	7.0	5.0	6.7	4.1	2.1	4.5	8.1	3.1	8.1	4.1	2.1	4.5	8.1	3.1	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	必要	0.2	0.0	0.5	0.2	0.2	0.0	0.0	0.8	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q08-14	平均値	1.48	1.48	1.54	1.45	1.47	1.57	1.48	1.51	1.49	1.52	1.39	1.57	1.48	1.51	1.49	1.52	1.39	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56
1	必要	56.6	59.9	49.5	60.5	57.8	48.4	54.2	56.7	62.2	54.6	67.7	48.4	54.2	56.7	62.2	54.6	67.7	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3	56.3
2	必要	38.5	36.4	47.0	33.8	37.5	45.9	43.8	36.6	29.7	39.2	25.8	45.9	43.8	36.6	29.7	39.2	25.8	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3	31.3
3	必要	4.8	3.7	3.5	5.5	4.6	5.7	2.1	6.0	5.4	6.2	6.5	5.7	2.1	6.0	5.4	6.2	6.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5
4	必要	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.7	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

付表-5 1987年度放送大学学生教材調査 87年度1学期在籍全科履修生細分類別結果一覧(その7)

全科生														全 科 履 修 生			全 回 答 者 中		
全科生		登 録 続 続			登 録 中 断			種別変更			8 8 本論登録		前調査回答者						
總 計		1 年	2 年	3 年	總 計	中 断	復 帰	変 更	特 修	選 科	8 8 本論登録		8 5	8 6	連 続				
008-15 印刷教材には、写真が必要																			
平 均 回 答 数	1.65	1.61	1.63	1.64	1.63	1.74	1.66	1.60	1.58	1.61	1.69	1.63	.	.	.				
1 必要だ	961	184	456	839	122	47	133	36	97	124	16				
2 必要だがよい	42.1	46.7	42.2	42.1	43.1	35.2	42.6	44.4	44.4	44.3	41.9	43.8	.	.	.				
3 あつてもよい	51.2	45.1	52.8	51.8	50.5	55.7	48.9	51.1	52.8	50.5	48.4	50.0	.	.	.				
4 ないほう	6.6	8.2	4.5	6.1	6.2	9.0	8.5	4.5	2.8	5.2	8.9	6.3	.	.	.				
008-16 印刷教材には、イラストが必要	0.1	0.0	0.5	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	.	.	.				
平 均 回 答 数	1.88	1.85	1.92	1.85	1.87	1.93	1.87	1.86	1.78	1.89	1.94	1.63	.	.	.				
1 必要だ	961	185	456	840	121	47	132	36	96	124	16				
2 必要だがよい	32.6	34.6	30.2	34.2	33.3	27.3	29.8	33.3	38.9	31.3	32.3	43.8	.	.	.				
3 あつてもよい	48.8	45.9	50.3	48.2	48.5	52.9	53.2	48.5	47.2	49.0	44.4	50.0	.	.	.				
4 ないほう	17.2	19.5	16.6	16.0	16.9	19.0	17.0	17.4	11.1	19.8	20.2	6.3	.	.	.				
008-17 印刷教材には、ノートやメモ用の余白が必要	1.5	0.0	3.0	1.5	1.5	0.8	0.0	0.8	2.8	0.0	3.2	0.0	.	.	.				
平 均 回 答 数	2.17	2.32	2.15	2.04	2.13	2.48	2.36	1.94	1.73	2.02	1.97	2.38	.	.	.				
1 必要だ	963	184	458	841	122	47	133	37	96	124	16				
2 必要だがよい	30.6	26.1	30.7	35.6	32.3	18.9	21.3	39.8	56.8	33.3	41.9	25.0	.	.	.				
3 あつてもよい	29.4	25.0	30.2	32.1	30.1	24.6	25.5	30.8	18.9	35.4	28.2	35.0	.	.	.				
4 ないほう	32.2	40.2	32.7	25.1	30.2	45.9	48.9	24.8	18.9	27.1	21.0	37.5	.	.	.				
008-18 印刷教材には、講師の研究上のエピソードが必要	7.8	8.7	6.5	7.2	7.4	10.7	4.3	4.5	5.4	4.2	8.9	12.5	.	.	.				
平 均 回 答 数	2.21	2.24	2.28	2.18	2.22	2.18	2.14	2.08	2.03	2.10	2.23	2.06	.	.	.				
1 必要だ	974	188	460	848	126	49	136	38	98	124	16				
2 必要だがよい	14.8	14.9	11.5	14.6	13.9	20.6	18.4	17.6	21.1	16.3	16.1	12.5	.	.	.				
3 あつてもよい	53.1	51.1	52.0	56.3	54.1	46.0	53.1	58.1	57.9	58.2	50.0	68.8	.	.	.				
4 ないほう	28.3	29.3	33.0	26.1	28.4	27.8	24.5	22.8	18.4	24.5	29.0	18.8	.	.	.				
008-19 印刷教材には、放送番組制作上のエピソードが必要	3.8	4.8	3.5	3.0	3.5	5.6	4.1	1.5	2.6	1.0	4.8	0.0	.	.	.				
平 均 回 答 数	2.69	2.72	2.71	2.67	2.69	2.69	2.85	2.64	2.64	2.64	2.68	2.75	.	.	.				
1 必要だ	965	186	457	841	124	48	134	36	98	124	16				
2 必要だがよい	5.3	4.3	4.0	5.3	4.8	8.9	6.3	3.7	2.8	4.1	6.5	6.3	.	.	.				
3 あつてもよい	29.9	29.0	30.3	31.1	30.4	26.6	16.7	37.3	38.9	36.7	30.6	25.0	.	.	.				
4 ないほう	55.3	57.0	56.1	55.4	55.9	51.6	62.5	50.0	50.0	50.0	51.6	56.3	.	.	.				
008-20 印刷教材には、講師の履歴や業績の紹介が必要	9.4	9.7	9.6	8.3	8.9	12.9	14.6	9.0	8.3	9.2	11.3	12.5	.	.	.				
平 均 回 答 数	2.24	2.30	2.35	2.15	2.23	2.33	2.27	2.10	2.05	2.12	2.03	2.25	.	.	.				
1 必要だ	966	185	460	843	123	48	136	37	99	125	16				
2 必要だがよい	13.9	13.5	8.6	15.0	13.2	18.7	16.7	17.6	18.9	17.2	21.6	6.3	.	.	.				
3 あつてもよい	52.3	47.0	53.0	58.7	54.8	35.0	39.6	55.9	59.5	54.5	55.2	68.8	.	.	.				
4 ないほう	29.5	35.7	33.3	22.2	27.8	41.5	25.0	18.9	27.3	21.6	18.8				
	4.3	3.8	5.1	4.1	4.3	4.9	0.0	1.5	2.7	1.0	1.6	6.3	.	.	.				

付表-5 1987年度放送大学学生教材調査 87年度1学期在籍全科履修生細分類別結果一覧(その8)

	全 科 履 修 生										全 回 答 者 中		
	全科生		登 録 継 続		登 録 中 断		種 別 変 更		8 8 卒 業 登 録		前 回 調 査 回 答 者		
	総 計	1 年	2 年	3 年	総 計	中 断	復 帰	変 更	特 修	選 科	8 5	8 6	連 続
Q08-21	印刷教材には、講師の紹介が必要												
1	有効回数	2.43	2.41	2.51	2.36	2.37	2.33	2.29	2.42	2.24	2.25	.	.
2	必要回数	185	199	457	841	124	49	135	36	99	16	.	.
3	必要率がよい	12.4	7.0	10.7	10.2	14.5	14.3	8.9	2.8	11.1	13.7	.	.
4	必要率がよい	38.9	50.8	52.7	49.2	40.3	42.9	56.3	58.3	55.6	49.2	.	.
5	必要率がよい	48.1	56.2	51.7	35.1	38.7	38.8	31.9	33.3	31.3	31.3	.	.
6	必要率がよい	35.5	42.2	31.7	35.1	38.7	38.8	31.9	33.3	31.3	31.3	.	.
7	必要率がよい	5.6	6.5	6.0	4.8	5.5	4.1	3.0	5.6	2.0	4.8	.	.
8	必要率がよい	2.47	2.54	2.52	2.41	2.46	2.42	2.40	2.22	2.47	2.13	.	.
9	必要率がよい	963	184	199	457	840	123	134	36	98	16	.	.
10	必要率がよい	11.5	9.2	8.0	13.1	11.1	14.6	9.7	11.1	9.2	17.7	.	.
11	必要率がよい	37.5	38.0	39.7	39.2	39.0	26.8	25.0	44.0	58.3	39.5	.	.
12	必要率がよい	43.4	41.8	44.7	41.6	42.4	50.4	52.1	27.8	48.0	38.7	.	.
13	必要率がよい	7.6	10.9	7.5	6.1	7.5	8.1	3.7	2.8	4.1	0.0	.	.
Q08-22	印刷教材には、講師の顔写真が必要												
1	有効回数	2.47	2.54	2.52	2.41	2.46	2.42	2.40	2.22	2.47	2.13	.	.
2	必要回数	963	184	199	457	840	123	134	36	98	16	.	.
3	必要率がよい	11.5	9.2	8.0	13.1	11.1	14.6	9.7	11.1	9.2	17.7	.	.
4	必要率がよい	37.5	38.0	39.7	39.2	39.0	26.8	25.0	44.0	58.3	39.5	.	.
5	必要率がよい	43.4	41.8	44.7	41.6	42.4	50.4	52.1	27.8	48.0	38.7	.	.
6	必要率がよい	7.6	10.9	7.5	6.1	7.5	8.1	3.7	2.8	4.1	0.0	.	.
Q09	放送大学における放送教材と印刷教材の望ましい関係(択一)												
1	有効回数	983	188	200	466	854	129	50	141	40	101	125	.
2	必要回数	22.7	27.1	19.0	20.6	21.7	29.5	24.0	23.4	32.5	19.8	14.4	.
3	必要率がよい	1.5	1.1	2.5	1.3	1.5	1.6	2.0	2.8	2.5	3.0	1.6	.
4	必要率がよい	20.1	24.5	15.0	19.3	25.6	18.0	15.6	10.0	17.8	16.0	12.5	.
5	必要率がよい	51.5	42.6	50.0	58.6	53.0	41.1	54.0	52.5	55.0	51.5	63.2	.
6	必要率がよい	4.2	4.8	4.0	4.5	4.4	2.3	2.0	5.7	0.0	7.9	4.8	.
7	必要率がよい	983	188	200	466	854	129	50	141	40	101	125	.
8	必要率がよい	22.7	27.1	19.0	20.6	21.7	29.5	24.0	23.4	32.5	19.8	14.4	.
9	必要率がよい	1.5	1.1	2.5	1.3	1.5	1.6	2.0	2.8	2.5	3.0	1.6	.
10	必要率がよい	20.1	24.5	15.0	19.3	25.6	18.0	15.6	10.0	17.8	16.0	12.5	.
11	必要率がよい	51.5	42.6	50.0	58.6	53.0	41.1	54.0	52.5	55.0	51.5	63.2	.
12	必要率がよい	4.2	4.8	4.0	4.5	4.4	2.3	2.0	5.7	0.0	7.9	4.8	.
Q10	放送大学で、重点を置いてほしい科目のタイプ(択一)												
1	有効回数	980	188	200	465	853	127	49	141	40	101	125	.
2	必要回数	23.9	28.2	21.5	22.6	23.6	26.0	32.7	27.7	32.5	25.7	17.6	.
3	必要率がよい	20.6	14.4	22.0	21.9	20.3	22.8	10.2	17.7	20.0	16.8	22.4	.
4	必要率がよい	31.9	31.9	38.0	29.2	31.9	32.3	36.7	27.0	27.5	26.7	25.6	.
5	必要率がよい	20.5	21.3	16.0	23.2	21.1	16.5	18.4	24.1	20.0	25.7	32.8	.
6	必要率がよい	3.1	4.3	2.5	3.0	3.2	2.4	2.0	3.5	0.0	5.0	1.6	.
7	必要率がよい	980	188	200	465	853	127	49	141	40	101	125	.
8	必要率がよい	23.9	28.2	21.5	22.6	23.6	26.0	32.7	27.7	32.5	25.7	17.6	.
9	必要率がよい	20.6	14.4	22.0	21.9	20.3	22.8	10.2	17.7	20.0	16.8	22.4	.
10	必要率がよい	31.9	31.9	38.0	29.2	31.9	32.3	36.7	27.0	27.5	26.7	25.6	.
11	必要率がよい	20.5	21.3	16.0	23.2	21.1	16.5	18.4	24.1	20.0	25.7	32.8	.
12	必要率がよい	3.1	4.3	2.5	3.0	3.2	2.4	2.0	3.5	0.0	5.0	1.6	.

付表-6 1987年度放送大学学生教材調査 87年度1学期在籍全科履修生学習状況別結果一覧(その1)

		学 習 状 況				学 習 評 価				分 類					
		無 登 録	無 資格	無 受験	合格 0-1	合格 2-5	合格 6-9	合格 10-	無 受験	0-50	50-60	60-70	70-80	80-90	90-100
回	答 総 数	80	55	48	70	211	232	293	210	109	165	201	199	87	18
001-1 全体的にみて、放送大学のテレビによる講義は、学習を進める上で効果的である															
1	平均値	1.47	1.72	1.69	1.54	1.53	1.40	1.35	1.67	1.60	1.48	1.44	1.35	1.20	1.28
2	有効回数	982	79	54	48	70	210	230	208	109	163	200	198	86	18
3	それやちまう思う	65.6	57.0	50.0	62.5	61.4	62.4	69.1	71.8	55.8	66.1	64.5	71.2	82.6	77.8
4	え ない	25.4	25.3	37.0	22.9	25.7	27.1	23.9	23.4	29.3	14.7	27.0	32.5	23.7	15.1
5	それやちまう思う	5.8	8.9	9.3	8.3	10.0	6.2	5.2	3.1	8.7	13.8	4.3	3.5	2.3	5.6
6	あ そ 思 っ た	2.7	6.3	1.9	4.2	2.9	3.8	1.7	1.7	4.3	4.6	1.5	1.5	0.0	0.0
7	あ そ 思 っ た	0.5	2.5	1.9	2.1	0.0	0.5	0.0	0.0	1.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0
001-2 全体的にみて、放送大学のラジオによる講義は、学習を進める上で効果的である															
1	平均値	2.05	2.50	2.31	2.33	2.12	2.14	1.98	1.81	2.24	2.11	1.95	1.84	1.72	2.06
2	有効回数	955	74	52	46	68	204	226	285	198	104	160	193	87	17
3	それやちまう思う	36.4	17.6	23.1	32.6	33.8	32.4	41.2	44.2	24.2	35.6	32.5	38.8	43.0	54.0
4	え ない	37.0	41.9	40.4	28.3	38.2	38.2	33.2	38.2	38.9	29.8	39.4	37.8	39.9	27.6
5	それやちまう思う	13.9	16.2	19.2	15.2	14.7	14.7	14.6	10.9	16.7	15.4	15.6	14.8	8.3	11.5
6	あ そ 思 っ た	10.9	21.6	17.3	21.7	8.8	12.7	8.8	6.0	18.7	16.3	7.1	7.3	5.7	5.9
7	あ そ 思 っ た	1.8	2.7	0.0	2.2	4.4	2.0	2.2	0.7	1.5	2.9	1.5	1.6	1.1	0.0
001-3 全体的にみて、放送大学の印刷教材は、学習を進める上で効果的である															
1	平均値	1.49	1.78	1.78	1.63	1.64	1.63	1.57	1.31	1.73	1.52	1.45	1.30	1.26	1.44
2	有効回数	987	79	54	48	70	211	232	293	208	109	165	199	87	18
3	それやちまう思う	63.3	45.6	42.6	58.3	54.3	54.5	72.8	73.7	49.0	57.8	61.2	64.2	75.9	55.6
4	え ない	26.5	36.7	40.7	25.0	31.4	31.3	19.8	22.2	33.7	25.7	29.1	28.4	18.1	17.2
5	それやちまう思う	7.9	12.7	13.0	12.5	10.0	11.8	5.2	3.8	13.0	11.9	7.3	6.0	2.3	0.0
6	あ そ 思 っ た	1.9	3.8	3.7	4.2	4.3	1.9	2.2	0.0	3.8	4.6	1.8	1.5	0.0	0.0
7	あ そ 思 っ た	0.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.3	0.5	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0
001-4 全体的にみて、放送大学の通信指導は、学習を進める上で効果的である															
1	平均値	2.22	2.34	2.54	2.41	2.48	2.18	2.15	2.11	2.42	2.25	2.15	2.08	2.11	2.12
2	有効回数	952	73	50	46	69	205	225	284	196	108	163	193	192	17
3	それやちまう思う	33.2	26.0	12.0	23.9	27.5	33.7	35.6	39.4	23.0	32.4	31.3	37.3	38.6	29.4
4	え ない	31.6	38.4	48.0	34.8	27.5	32.7	28.4	29.2	37.8	31.5	29.4	29.5	29.7	26.5
5	それやちまう思う	20.0	15.1	18.0	23.9	21.7	20.5	24.0	16.9	18.4	20.4	17.6	17.7	22.9	5.9
6	あ そ 思 っ た	10.9	16.4	18.0	10.9	15.9	8.8	9.3	9.9	15.8	10.2	8.0	11.9	9.4	0.0
7	あ そ 思 っ た	4.3	4.1	4.0	6.5	7.2	4.4	2.7	4.6	5.1	5.6	3.6	3.6	2.4	11.8
001-5 全体的にみて、放送大学の単位認定試験は、学習を進める上で効果的である															
1	平均値	1.77	2.20	2.29	2.08	2.03	1.94	1.55	1.52	2.14	1.94	1.64	1.51	1.41	1.61
2	有効回数	978	74	51	48	70	210	232	293	200	109	165	201	199	86
3	それやちまう思う	53.8	36.5	31.4	37.5	48.6	47.1	60.3	65.5	38.5	45.0	58.7	66.3	70.9	55.6
4	え ない	25.2	24.3	29.4	31.3	18.6	24.8	28.9	22.5	23.5	28.4	26.7	27.4	21.6	18.6
5	それやちまう思う	13.3	27.0	19.6	20.8	20.0	18.6	6.9	7.2	23.0	16.5	17.0	7.5	9.3	5.6
6	あ そ 思 っ た	5.4	6.8	17.6	6.3	7.1	6.2	3.0	3.8	9.0	8.3	3.6	4.5	4.5	1.2
7	あ そ 思 っ た	2.4	5.4	2.0	4.2	5.7	3.3	0.9	1.0	4.0	1.8	4.8	2.0	0.5	0.0

付表－6 1987年度放送大学学生教材調査 87年度1学期在籍全科履修生学習状況別結果一覧（その2）

	全科目 平均値	学 習 状 況				学 習 評 価				分 類						
		無 登 録	無 資 格	無 受 験	合 格	合 格	合 格	合 格	0--	50--	60--	70--	80--	90--	100	
Q01-6	全体的にみて、放送大学の面接授業は、学習を進める上で効果的である	1.79	1.67	2.13	1.93	1.76	1.70	1.78	1.83	1.83	1.89	1.76	1.81	1.73	1.79	1.63
1	有効回答数	956	73	52	46	66	204	225	290	198	104	164	194	195	85	16
2	やや思う	51.6	58.9	38.5	41.3	53.0	53.9	50.7	52.4	50.5	47.1	48.8	53.6	55.4	49.4	62.5
3	どちらでもない	27.5	21.9	28.8	37.0	30.3	29.4	28.4	24.5	27.8	26.9	32.9	25.3	25.6	29.4	12.5
4	どちらでもない	13.1	15.1	15.4	8.7	6.1	11.8	14.7	14.1	11.6	17.3	13.4	10.8	12.3	15.3	25.0
5	そう思う	5.6	1.4	15.4	13.0	9.1	2.9	4.9	5.5	8.6	6.7	3.0	7.2	3.6	4.7	0.0
		2.2	2.7	1.9	0.0	1.5	2.0	1.3	3.4	1.5	1.9	1.8	3.1	3.1	1.2	0.0
Q02	あなたは、面接授業などの他、約5か月間に学習センターをどの程度利用したか	2.23	1.35	1.49	1.88	2.12	2.16	2.41	2.60	1.63	2.43	2.26	2.34	2.49	2.47	2.44
1	有効回答数	985	79	55	48	69	210	231	293	209	107	164	201	199	87	18
2	全く利用しなかった	32.5	78.5	63.6	45.8	31.9	30.5	23.4	20.8	60.8	26.2	28.7	24.9	21.6	24.1	22.2
3	やや利用する	37.4	15.2	30.9	37.5	40.6	43.3	41.6	36.2	27.3	38.3	40.2	41.8	39.7	37.9	44.4
4	やや利用する	14.1	2.5	0.0	6.3	17.4	12.4	16.0	20.1	4.3	15.9	15.2	16.4	18.6	17.2	16.7
5	1回以上利用	6.7	0.0	3.6	4.2	4.3	7.6	8.7	7.8	3.3	5.6	8.5	8.0	8.0	8.0	0.0
		9.3	3.8	1.8	6.3	5.8	6.2	10.4	15.0	4.3	14.0	7.3	9.0	12.1	12.6	16.7
Q03-1	学習センターの番組再視聴設備の利用の程度	2.42	2.91	2.93	2.40	2.63	2.52	2.31	2.16	2.75	2.49	2.46	2.35	2.25	2.11	1.89
1	有効回答数	982	78	54	48	70	210	229	293	207	109	163	200	198	87	18
2	全く利用しなかった	21.1	7.7	9.3	29.2	14.3	18.1	20.1	30.0	14.0	24.8	16.6	21.0	24.7	29.9	38.9
3	やや利用する	40.7	35.9	31.5	33.3	40.0	37.6	47.6	42.0	35.3	32.1	43.6	44.0	43.4	44.8	44.4
4	やや利用する	13.4	14.1	16.7	6.3	14.3	18.1	13.5	10.2	12.6	12.8	17.2	13.5	14.1	9.2	5.6
		24.7	42.3	42.6	31.3	31.4	26.2	18.8	17.7	38.2	30.3	22.7	21.5	17.7	16.1	11.1
Q03-2	学習センターの実験設備の利用の程度	3.69	3.84	3.85	3.77	3.70	3.72	3.62	3.64	3.78	3.57	3.60	3.71	3.72	3.67	3.76
1	有効回答数	937	74	55	48	66	193	213	288	203	99	149	192	194	83	17
2	全く利用しなかった	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5	2.1	1.9	1.7	1.5	2.0	3.4	0.5	0.5	1.2	5.9
3	やや利用する	6.6	2.7	1.8	6.3	6.1	5.7	8.5	8.0	3.9	10.1	8.7	5.7	6.7	8.4	0.0
4	やや利用する	13.1	10.8	10.9	10.4	13.6	10.4	15.0	14.9	9.9	17.2	12.1	16.1	13.4	12.0	5.9
		78.8	86.5	87.3	83.3	78.8	81.9	74.6	75.3	84.7	70.7	75.8	77.6	79.4	78.3	88.2
Q03-3	学習センターの図書館の利用の程度	2.44	2.79	2.89	2.69	2.65	2.56	2.28	2.21	2.79	2.42	2.41	2.36	2.26	2.31	2.33
1	有効回答数	976	78	54	48	68	209	229	290	207	108	162	197	197	87	18
2	全く利用しなかった	13.7	7.7	7.4	10.4	5.9	10.5	18.8	17.2	8.2	13.9	14.2	14.7	17.8	13.8	16.7
3	やや利用する	46.9	39.7	29.6	39.6	47.1	43.5	47.2	55.5	37.2	48.1	46.3	49.2	51.3	55.2	44.4
4	やや利用する	20.9	17.9	29.6	20.8	23.5	24.9	21.4	16.2	22.2	20.4	23.5	21.3	18.3	17.2	27.8
		18.4	34.6	33.3	29.2	23.5	21.1	12.7	11.0	32.4	17.6	16.0	14.7	12.7	13.8	11.1
Q03-4	公立図書館など学習センター以外の図書館の利用の程度	2.44	2.27	2.76	2.29	2.74	2.58	2.38	2.31	2.47	2.56	2.49	2.34	2.36	2.49	2.28
1	有効回答数	972	77	55	48	69	206	226	291	207	107	160	198	197	85	18
2	全く利用しなかった	20.0	23.4	14.5	31.5	18.8	13.1	20.8	22.7	21.7	17.8	15.0	22.7	21.3	18.8	16.7
3	やや利用する	38.0	41.6	27.3	31.3	23.2	42.2	38.5	40.2	33.8	34.6	40.6	38.9	40.1	37.6	50.0
4	やや利用する	20.7	19.5	25.5	14.6	23.2	18.4	22.6	20.6	19.8	21.5	24.4	19.7	19.8	18.8	22.2
		21.4	15.6	32.7	22.9	34.8	26.2	18.1	16.5	24.6	26.2	20.0	18.7	18.8	24.7	11.1

付表-6 1987年度放送大学学生教材調査 87年度1学期在籍全科履修生学習状況別結果一覧(その3)

	全 科 生 総 計	学 習 状 況			分 類			学 習 評 価										分 類
		無 登 録	無 資 格	無 受 験	合 格 0--1	合 格 2--5	合 格 6--9	合 格 10--	無 受 験	0--	50--	60--	70--	80--	90--	100--		
Q03-5 センターでの学習相談の利用の程度																		
平均値	3.77	3.89	3.85	3.92	3.79	3.77	3.79	3.68	3.87	3.75	3.80	3.80	3.72	3.60	3.56			
有効回答数	960	75	55	48	68	204	223	287	205	105	158	193	196	85	18			
1 有効に利用する	0.3	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.5	0.0	0.6	0.0	0.0	1.2	0.0			
2 よたまたまに利用しない	4.6	0.0	0.0	2.1	4.4	5.9	1.8	8.4	1.5	7.6	2.5	3.6	6.1	8.2	16.7			
3 あまってきた利用しない	12.8	10.7	9.1	4.2	11.8	11.3	14.8	15.3	8.8	9.5	13.3	13.0	15.3	20.0	11.1			
4 まったく利用しない	82.3	89.3	89.1	93.8	83.8	82.8	82.5	76.3	89.3	82.9	83.5	83.4	78.6	70.6	72.2			
Q03-6 通信指導問題の最後のページにある質問票の利用の程度																		
平均値	3.85	3.78	3.80	3.94	3.87	3.84	3.83	3.87	3.82	3.89	3.83	3.88	3.84	3.85	3.76			
有効回答数	971	76	55	48	67	206	228	291	204	107	162	197	197	87	17			
1 有効に利用する	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0			
2 よたまたまに利用しない	2.2	3.9	3.6	0.0	1.5	2.4	1.8	2.1	2.9	1.9	1.9	2.0	2.0	1.1	5.9			
3 あまってきた利用しない	10.6	14.5	12.7	6.3	10.4	10.7	12.3	8.6	12.3	7.5	11.1	8.1	11.7	12.6	11.8			
4 まったく利用しない	87.1	81.6	83.6	93.8	88.1	86.9	85.5	89.3	84.8	90.7	86.4	89.8	86.3	86.2	82.4			
Q03-7 放送大学内のサークル活動や勉強会の利用の程度																		
平均値	3.58	3.76	3.89	3.88	3.59	3.60	3.58	3.40	3.81	3.64	3.49	3.54	3.47	3.55	3.11			
有効回答数	971	75	55	48	69	207	228	289	205	107	162	197	195	87	18			
1 有効に利用する	5.8	2.7	0.0	2.1	5.8	4.8	5.3	9.3	2.0	4.7	7.4	6.6	7.7	6.9	5.6			
2 たまたまに利用しない	7.1	2.7	0.0	2.1	5.8	8.2	7.5	9.7	2.0	5.6	8.0	7.1	10.8	6.9	27.8			
3 あまってきた利用しない	10.7	10.7	10.9	2.1	11.6	9.2	11.4	12.5	8.8	11.2	13.0	12.2	8.7	10.3	16.7			
4 まったく利用しない	76.4	84.0	89.1	93.8	76.8	77.8	75.9	68.5	87.3	78.5	71.6	74.1	72.8	75.9	50.0			
Q04-1 あなたのお宅では、テレビで放送大学の番組を視聴できそうですか																		
平均値	1.40	1.55	1.45	1.40	1.41	1.43	1.33	1.37	1.49	1.36	1.42	1.38	1.33	1.36	1.39			
有効回答数	983	78	55	47	70	210	232	291	207	108	165	200	198	87	18			
1 有効に受信できる	65.7	57.7	60.0	70.2	64.3	61.9	68.5	69.1	60.9	69.4	62.4	65.5	71.2	67.8	61.1			
2 何とか受信できる	29.0	29.5	34.5	19.1	30.0	33.3	30.2	25.1	29.5	25.0	32.7	31.0	24.7	28.7	38.9			
3 受信できない	5.3	12.8	5.5	10.6	5.7	4.8	1.3	5.8	9.7	5.6	4.8	3.5	4.0	3.4	0.0			
Q04-2 あなたのお宅では、ラジオで放送大学の番組を視聴できそうですか																		
平均値	1.16	1.23	1.15	1.15	1.21	1.20	1.13	1.13	1.18	1.22	1.19	1.13	1.15	1.08	1.22			
有効回答数	974	79	54	47	67	206	230	291	206	104	164	197	198	87	18			
1 有効に受信できる	85.7	82.3	85.2	87.2	80.6	82.5	88.3	88.0	84.5	80.8	82.9	87.8	86.9	94.3	77.8			
2 何とか受信できる	12.4	12.7	14.8	10.6	17.9	14.6	10.4	11.0	13.1	16.3	15.2	11.2	11.6	3.4	22.2			
3 受信できない	1.8	5.1	0.0	2.1	1.5	2.9	1.3	1.0	2.4	2.9	1.8	1.0	1.5	2.3	0.0			
Q05-1 あなたの身近に、利用できるビデオデッキがありますか																		
平均値	1.22	1.25	1.15	1.27	1.11	1.23	1.22	1.22	1.22	1.20	1.22	1.20	1.21	1.26	1.35			
有効回答数	984	79	55	48	70	210	231	291	209	109	164	200	199	86	17			
1 身近にある	78.4	74.7	85.5	72.9	88.6	77.1	77.9	77.7	78.5	79.8	78.0	79.5	79.4	74.4	64.7			
2 身近にない	21.6	25.3	14.5	27.1	11.4	22.9	22.1	22.3	21.5	20.2	22.0	20.5	20.6	25.6	35.3			
Q05-2 あなたの身近に、利用できるテープレコーダーがありますか																		
平均値	1.04	1.05	1.07	1.04	1.01	1.04	1.06	1.02	1.05	1.06	1.06	1.02	1.03	1.02	1.00			
有効回答数	987	78	55	48	70	211	232	293	208	109	165	201	199	87	18			
1 身近にある	96.0	94.9	92.7	95.8	98.6	96.2	94.4	97.6	95.2	94.5	93.9	97.5	97.0	97.7	100.0			
2 身近にない	4.0	5.1	7.3	4.2	1.4	3.8	5.6	2.4	4.8	5.5	6.1	2.5	3.0	2.3	0.0			

付表-6 1987年度放送大学学生教材調査 87年度1学期在籍全科履修生学習状況別結果一覧(その4)

		学 習 状 況				分 類				学 習 評 価				分 類			
全科生 総計		無 登 録	無 質 格	無 受 験	合 格 0--1	合 格 2--5	合 格 6--9	合 格 10--	無 受 験	0-- 50	50-- 60	60-- 70	70-- 80	80-- 90	90-- 100		
Q06-1 あなたは日常どのような放送大学の教材を学習していますか(テレビ科目)(択一)																	
1	有効回数・復習型	975	75	53	47	70	208	231	291	202	109	164	200	197	86	17	
2	予習型	12.0	24.5	21.3	12.9	14.9	23.8	17.2	18.3	13.8	15.2	16.0	18.3	33.7	17.6	17.6	
3	復習型	16.4	20.0	17.0	19.1	18.6	14.4	13.9	17.9	18.8	9.2	12.2	19.0	18.3	17.4	17.6	
4	同時型	23.3	20.0	11.3	12.8	22.9	25.0	24.2	26.1	16.3	21.1	29.9	24.0	24.4	25.6	23.5	
5	放送中心型	27.1	29.3	26.4	31.9	24.3	28.4	24.2	27.8	28.2	33.9	28.0	26.5	25.4	18.6	29.4	
6	放送中心型	2.9	5.3	5.7	0.0	2.9	5.3	2.2	1.0	4.5	5.5	3.0	1.0	2.5	0.0	5.9	
7	その他	8.1	5.3	13.2	10.6	10.0	10.1	8.2	5.5	9.4	9.2	7.3	11.0	7.6	0.0	5.9	
		4.1	8.0	1.9	4.3	8.6	1.9	3.5	4.5	4.5	7.3	4.3	2.5	3.6	4.7	0.0	
Q06-2 あなたは日常どのような放送大学の教材を学習していますか(ラジオ科目)(択一)																	
1	有効回数・復習型	923	67	46	43	66	197	222	282	181	99	158	193	190	86	16	
2	予習型	19.0	10.4	23.9	23.3	12.1	17.3	23.4	18.8	18.8	12.1	15.8	18.7	18.4	34.9	18.8	
3	復習型	16.1	23.9	13.0	16.3	21.2	15.2	12.6	17.0	17.1	10.1	13.3	17.6	19.5	16.3	12.5	
4	同時型	19.9	13.4	10.9	16.3	22.7	21.8	19.8	21.6	15.5	15.2	27.2	19.2	18.9	22.1	37.5	
5	放送中心型	26.7	28.4	30.4	20.9	27.3	26.4	25.2	27.7	26.0	38.4	25.3	26.9	27.4	16.3	18.8	
6	放送中心型	2.0	4.5	4.3	2.3	1.5	2.0	1.8	1.1	3.9	3.0	1.9	0.5	1.6	1.2	0.0	
7	その他	12.9	11.9	15.2	16.3	10.6	15.2	14.4	9.9	14.4	16.2	12.0	14.5	12.6	4.7	12.5	
		3.5	7.5	2.2	4.7	4.5	2.0	2.7	3.9	4.4	5.1	4.4	2.6	1.6	4.7	0.0	
Q07 学習上、もっともよい放送大学の教材の組み合わせ(択一)																	
1	有効回数・復習型	983	79	55	47	70	210	230	292	208	108	165	201	197	87	17	
2	予習型	67.9	51.9	54.5	46.8	58.6	63.3	76.1	77.1	52.9	56.5	62.4	73.6	80.2	83.9	82.4	
3	復習型	11.4	17.7	16.4	14.9	14.3	18.6	7.8	5.1	15.4	16.7	16.4	8.5	6.1	5.7	5.9	
4	同時型	14.2	20.3	18.2	29.8	20.0	10.0	11.7	13.0	22.6	13.0	17.6	10.9	9.1	10.3	5.9	
5	放送中心型	4.2	2.5	7.3	6.4	1.4	5.2	3.5	4.1	4.8	6.5	3.0	6.0	3.0	0.0	5.9	
6	放送中心型	0.9	3.8	0.0	2.1	1.4	1.4	0.4	0.0	1.9	2.8	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	
7	その他	0.7	1.3	3.6	0.0	1.4	1.0	0.0	0.3	1.4	1.9	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	
8	その他	0.4	0.0	0.0	0.0	1.4	0.5	0.4	0.3	0.0	1.9	0.6	0.0	0.5	0.0	0.0	
		0.3	2.5	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	1.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
Q08-01 印刷教材には、放送で取り上げる内容そのものの記述が必要																	
1	有効回数・復習型	1.64	1.69	1.76	1.67	1.54	1.63	1.66	1.62	1.69	1.59	1.63	1.59	1.63	1.71	1.89	
2	予習型	966	75	55	48	68	205	227	288	204	107	160	198	194	85	18	
3	復習型	49.1	48.0	41.8	47.9	55.9	49.3	47.6	50.3	47.5	54.2	48.1	50.0	48.5	51.8	27.8	
4	同時型	39.1	38.7	41.8	37.5	35.3	40.0	40.5	38.2	37.7	36.4	42.5	41.9	40.2	27.1	55.6	
		10.5	9.3	14.5	14.6	7.4	9.3	10.6	10.8	12.7	5.6	8.1	7.6	10.8	20.0	16.7	
		1.3	4.0	1.8	0.0	1.5	1.5	1.3	0.7	2.0	3.7	1.3	0.5	0.5	1.2	0.0	
Q08-02 印刷教材には、放送以外の、テーマに関連した内容の記述が必要																	
1	有効回数・復習型	1.77	1.76	1.75	1.81	1.78	1.85	1.79	1.70	1.76	1.87	1.80	1.80	1.67	1.78	1.72	
2	予習型	969	76	53	47	69	205	229	290	202	107	163	197	196	86	18	
3	復習型	33.0	31.6	26.4	29.8	39.1	26.3	35.8	36.2	31.2	29.0	33.1	30.5	39.8	31.4	38.9	
4	同時型	58.0	61.8	71.7	59.6	46.4	63.4	52.0	57.9	62.4	57.9	55.8	60.4	53.1	59.3	50.0	
		7.9	5.3	1.9	10.6	11.6	9.3	10.0	5.9	5.9	10.3	8.6	8.1	7.1	9.3	11.1	
		1.0	1.3	0.0	0.0	2.9	1.0	2.2	0.0	0.5	2.8	2.5	1.0	0.0	0.0	0.0	

付表-6 1987年度放送大学学生教材調査 87年度1学期在籍全科履修生学習状況別結果一覧(その5)

	全科生 総計	学 習 状 況				分 類				学 習 評 価				分 類			
		無登録	無資格	無受験	合格	合格	合格	合格	合格	0--	50--	60--	70--	80--	90--	100	
Q08-03 印刷教材には、放送番組を理解するための予備知識が必要																	
平	均 値	1.91	1.84	1.75	1.91	1.87	1.89	1.90	2.00	1.88	1.86	1.89	1.86	2.05	2.00	1.67	
1	有効回答数	963	74	53	47	68	205	228	288	199	107	162	199	193	85	18	
2	必要だったほうがよい	29.6	32.4	39.6	29.8	35.3	29.8	30.3	25.0	32.2	35.5	29.6	34.2	21.8	20.0	44.4	
3	あつてもよい	51.0	54.1	47.2	48.9	48.5	53.7	49.6	51.0	50.8	46.7	53.1	47.2	52.3	60.0	44.4	
4	ないほうがよい	17.8	10.8	11.3	21.3	10.3	14.1	19.7	22.9	14.1	14.0	16.0	17.1	25.4	20.0	11.1	
		1.7	2.7	1.9	0.0	5.9	2.4	0.4	1.0	3.0	3.7	1.2	1.5	0.5	0.0	0.0	
Q08-04 印刷教材には、放送番組視聴のためのポイントの解説が必要																	
平	均 値	1.87	1.88	1.79	1.79	1.75	1.78	1.88	1.98	1.83	1.74	1.88	1.76	2.05	1.95	1.78	
1	有効回答数	962	75	53	47	69	204	226	288	200	108	160	196	194	86	18	
2	必要だったほうがよい	45.4	34.7	35.8	31.9	44.9	39.2	33.6	30.2	35.0	46.3	30.6	41.3	27.3	26.7	44.4	
3	あつてもよい	18.1	17.3	11.3	10.6	8.7	15.2	18.1	25.0	13.5	13.0	17.5	15.3	26.8	22.1	22.2	
4	ないほうがよい	1.8	2.7	1.9	0.0	5.8	1.0	1.8	1.4	2.5	3.7	0.6	1.0	2.6	0.0	0.0	
Q08-05 印刷教材には、専門用語やキーワードの解説が必要																	
平	均 値	1.59	1.59	1.42	1.66	1.38	1.54	1.70	1.63	1.52	1.60	1.57	1.57	1.70	1.65	1.44	
1	有効回答数	963	75	53	47	68	205	227	288	200	108	161	197	194	85	18	
2	必要だったほうがよい	48.4	49.3	62.3	38.3	64.7	52.2	41.9	45.8	54.0	48.1	50.9	48.7	41.8	42.4	61.1	
3	あつてもよい	44.3	42.7	34.0	57.4	33.8	42.9	47.1	45.8	40.0	45.4	41.0	46.2	47.4	50.6	33.3	
4	ないほうがよい	6.7	8.0	3.8	4.3	0.0	3.9	10.6	8.0	5.5	4.6	8.1	4.6	10.3	7.1	5.6	
		0.5	0.0	0.0	0.0	1.5	1.0	0.4	0.3	0.5	1.9	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	
Q08-06 印刷教材には、講座各回のねらいや学習の到達目標が必要																	
平	均 値	1.76	1.83	1.81	1.81	1.69	1.70	1.84	1.73	1.83	1.64	1.70	1.76	1.80	1.81	1.78	
1	有効回答数	963	76	54	47	68	205	228	285	203	107	161	197	194	83	18	
2	必要だったほうがよい	39.5	32.9	40.7	38.3	45.6	43.4	34.2	41.1	36.9	48.6	42.9	39.1	36.6	36.1	33.3	
3	あつてもよい	45.4	51.3	38.9	42.6	41.2	44.4	48.7	44.6	44.3	39.3	45.3	46.2	47.4	47.0	55.6	
4	ないほうがよい	14.4	15.8	18.5	19.1	11.8	11.2	15.8	14.4	17.7	11.2	10.6	14.2	15.5	16.9	11.1	
		0.7	0.0	1.9	0.0	1.5	1.0	1.3	0.0	1.0	0.9	1.2	0.5	0.5	0.0	0.0	
Q08-07 印刷教材には、各回ごとのまとめや要約が必要																	
平	均 値	1.88	1.81	1.78	1.83	1.78	1.83	1.95	1.94	1.81	1.81	1.75	1.84	2.04	2.07	2.28	
1	有効回答数	971	75	54	48	68	206	229	291	202	108	163	199	195	86	18	
2	必要だったほうがよい	35.3	40.0	42.6	37.5	41.2	36.9	33.2	31.6	40.1	38.0	41.7	39.2	27.2	22.1	16.7	
3	あつてもよい	42.8	40.0	38.9	41.7	45.6	45.1	41.0	43.6	41.1	45.4	42.3	39.2	45.1	48.8	38.9	
4	ないほうがよい	20.0	18.7	16.7	20.8	7.4	16.5	23.1	23.7	16.8	13.9	14.7	20.1	24.6	29.1	44.4	
		1.9	1.3	1.9	0.0	5.9	1.5	2.6	1.0	2.0	2.8	1.2	1.5	3.1	0.0	0.0	
Q08-08 印刷教材には、練習問題が必要																	
平	均 値	2.15	1.93	2.04	2.08	1.85	2.12	2.25	2.25	1.99	1.93	2.06	2.22	2.36	2.32	2.11	
1	有効回答数	959	75	53	48	68	204	226	285	201	106	162	197	190	85	18	
2	必要だったほうがよい	20.8	28.0	28.3	22.9	35.3	21.6	16.8	16.1	27.9	32.1	25.9	15.2	11.6	15.3	11.1	
3	あつてもよい	47.2	53.3	43.4	52.1	45.6	47.1	47.3	46.0	48.8	45.3	45.1	51.8	44.7	41.2	66.7	
4	ないほうがよい	28.5	16.0	24.5	18.8	17.6	28.9	30.1	35.1	19.9	19.8	25.9	28.4	40.0	40.0	22.2	
		3.5	2.7	3.8	6.3	1.5	2.5	5.8	2.8	3.5	2.8	3.1	4.6	3.7	3.5	0.0	

付表－6 1987年度放送大学学生教材調査 87年度1学期在籍全科履修生学習状況別結果一覧（その6）

		学 習 状 況 分 類				学 習 評 価 分 類													
		無登録	無資格	無受験	合格	合格	合格	合格	無受験	50	50--	60	60--	70	70--	80	80--	90	90--
全科生 総計		1.79	1.80	1.75	1.80	1.79	1.80	1.80	1.75	1.80	1.79	1.79	1.79	1.79	1.82	1.79	1.72	1.72	1.72
印刷教材には、参考資料が必要		1.79	1.80	1.75	1.80	1.79	1.80	1.80	1.75	1.80	1.79	1.79	1.79	1.79	1.82	1.79	1.72	1.72	1.72
1	有効回数	962	75	48	68	204	227	288	201	106	161	197	197	194	85	18	18	18	18
2	必要だったほうがよい	31.1	29.3	46.2	35.3	30.9	30.4	29.5	34.3	34.0	31.7	29.4	29.4	28.4	27.1	38.9	38.9	38.9	38.9
3	必要だったほうがよい	59.8	62.7	48.1	54.4	59.3	61.2	61.5	57.2	54.7	58.4	62.4	62.4	61.3	67.1	50.0	50.0	50.0	50.0
4	必要だったほうがよい	8.4	6.7	5.8	10.3	8.8	7.5	8.3	8.0	8.5	9.3	7.6	7.6	9.8	5.9	11.1	11.1	11.1	11.1
4	必要だったほうがよい	0.7	1.3	0.0	0.0	1.0	0.9	0.7	0.5	2.8	0.6	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
印刷教材には、参考文献のリストが必要		1.73	1.62	1.73	1.76	1.77	1.72	1.71	1.70	1.83	1.82	1.74	1.69	1.62	1.62	1.44	1.44	1.44	1.44
1	有効回数	961	75	53	68	203	225	289	201	107	160	197	193	85	18	18	18	18	18
2	必要だったほうがよい	36.8	32.0	50.9	37.5	34.5	33.3	38.1	39.8	32.7	30.0	34.5	40.4	41.2	55.6	55.6	55.6	55.6	55.6
3	必要だったほうがよい	54.2	60.0	35.8	52.1	56.2	53.8	53.6	51.2	54.2	58.1	58.4	50.3	55.3	44.4	44.4	44.4	44.4	44.4
4	必要だったほうがよい	8.2	6.7	13.2	10.4	7.4	8.4	8.0	8.5	10.3	11.9	5.6	9.3	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	必要だったほうがよい	0.7	1.3	0.0	0.0	2.0	0.4	0.3	0.5	2.8	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
印刷教材には、参考文献や資料の検索法が必要		1.96	1.81	2.19	1.94	1.97	2.07	2.02	1.95	2.07	1.95	1.99	2.10	2.03	1.72	1.72	1.72	1.72	1.72
1	有効回数	962	75	53	69	203	227	287	201	107	161	197	192	86	18	18	18	18	18
2	必要だったほうがよい	24.9	25.3	35.8	12.5	29.0	28.6	22.5	26.9	25.2	27.3	25.4	19.3	25.6	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
3	必要だったほうがよい	50.6	56.0	49.1	56.3	50.7	47.8	48.9	53.2	45.8	51.6	50.3	51.6	45.3	61.1	61.1	61.1	61.1	61.1
4	必要だったほうがよい	23.2	16.0	13.2	31.3	22.2	28.2	23.7	17.9	25.2	19.9	23.9	28.6	29.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6
4	必要だったほうがよい	1.2	2.7	1.9	0.0	2.9	1.5	0.4	2.0	3.7	1.2	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
印刷教材には、図表が必要		1.44	1.58	1.48	1.34	1.38	1.45	1.44	1.47	1.48	1.35	1.45	1.44	1.46	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
1	有効回数	966	76	54	47	68	204	288	203	107	163	197	193	85	18	18	18	18	18
2	必要だったほうがよい	56.8	42.1	51.9	66.0	61.8	57.4	56.6	52.7	55.1	65.0	56.9	57.0	54.1	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
3	必要だったほうがよい	42.4	57.9	48.1	34.0	38.2	41.2	42.4	47.3	43.0	35.0	41.1	42.5	45.9	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
4	必要だったほうがよい	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.0	0.0	0.9	0.0	2.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	必要だったほうがよい	0.1	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
印刷教材には、小見出しが必要		1.64	1.70	1.85	1.70	1.62	1.62	1.59	1.73	1.64	1.65	1.54	1.61	1.64	1.72	1.72	1.72	1.72	1.72
1	有効回数	962	74	54	47	69	205	287	201	107	161	196	193	86	18	18	18	18	18
2	必要だったほうがよい	43.0	35.1	29.6	25.5	42.0	45.9	46.0	33.3	43.9	45.3	50.5	44.6	41.9	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
3	必要だったほうがよい	50.4	59.5	70.4	63.8	47.8	46.8	48.8	60.2	48.6	44.7	44.9	49.7	52.3	61.1	61.1	61.1	61.1	61.1
4	必要だったほうがよい	6.3	5.4	0.0	10.6	8.7	6.8	8.0	6.5	6.5	9.3	4.6	5.7	5.8	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6
4	必要だったほうがよい	0.2	0.0	0.0	0.0	1.4	0.5	0.0	0.0	0.9	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
印刷教材には、索引が必要		1.48	1.64	1.53	1.66	1.47	1.45	1.43	1.59	1.48	1.47	1.43	1.45	1.49	1.39	1.39	1.39	1.39	1.39
1	有効回数	963	74	53	47	68	207	288	199	108	163	195	194	86	18	18	18	18	18
2	必要だったほうがよい	56.6	44.6	50.9	40.4	57.4	58.9	57.1	46.7	56.5	59.5	62.1	58.2	55.8	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7
3	必要だったほうがよい	38.5	47.3	45.3	53.2	38.2	37.2	34.7	47.2	38.9	35.0	33.3	38.1	39.5	27.8	27.8	27.8	27.8	27.8
4	必要だったほうがよい	4.8	8.1	3.8	6.4	4.4	3.4	4.2	6.0	4.6	4.9	4.6	3.6	4.7	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6
4	必要だったほうがよい	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

付表-6 1987年度放送大学学生教材調査 87年度1学期在籍全科履修生学習状況別結果一覧(その7)

		学 習 状 況				分 類				学 習 評 価				分 類									
		無 登 録	無 格 格	無 受 験	合 格	合 格	合 格	合 格	合 格	0-- 50	50-- 60	60-- 70	70-- 80	80-- 90	90-- 100	無 受 験	0-- 50	50-- 60	60-- 70	70-- 80	80-- 90	90-- 100	
Q08-15	印刷教材には、写真が必要	1.65	1.85	1.66	1.61	1.65	1.61	1.61	1.61	1.76	1.55	1.63	1.60	1.62	1.67	1.78	1.76	1.55	1.63	1.60	1.62	1.67	1.78
1	必要だ	961	75	53	47	69	204	226	287	200	108	162	195	193	85	18	200	108	162	195	193	85	18
2	必要だ	42.1	30.7	22.6	40.4	47.8	42.6	45.6	44.6	33.0	48.1	43.8	46.7	44.0	38.8	38.9	33.0	48.1	43.8	46.7	44.0	38.8	38.9
3	必要だ	51.2	60.0	69.8	53.2	44.9	50.0	47.8	50.2	58.0	49.1	49.4	46.7	50.3	55.3	44.4	58.0	49.1	49.4	46.7	50.3	55.3	44.4
4	必要だ	6.6	9.3	7.5	6.4	5.8	7.4	6.6	5.2	8.5	2.8	6.8	6.7	5.7	5.9	16.7	8.5	2.8	6.8	6.7	5.7	5.9	16.7
	必要だ	0.1	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q08-16	印刷教材には、イラストが必要	1.88	2.06	1.89	1.78	1.76	1.97	1.84	1.84	1.94	1.86	1.76	1.83	1.91	1.99	1.89	1.94	1.86	1.76	1.83	1.91	1.99	1.89
1	必要だ	961	74	53	47	68	204	226	289	199	107	162	196	194	85	18	199	107	162	196	194	85	18
2	必要だ	32.6	25.7	20.8	31.9	38.2	36.8	29.6	34.6	28.6	30.8	37.0	36.2	32.5	27.1	33.3	28.6	30.8	37.0	36.2	32.5	27.1	33.3
3	必要だ	48.8	52.7	58.5	48.9	47.1	51.0	45.6	47.4	51.8	52.3	50.6	45.9	44.8	49.4	50.0	51.8	52.3	50.6	45.9	44.8	49.4	50.0
4	必要だ	17.2	20.3	15.1	17.0	13.2	11.8	23.0	17.0	16.6	16.8	11.7	16.3	22.2	21.2	11.1	16.6	16.8	11.7	16.3	22.2	21.2	11.1
	必要だ	1.5	1.4	5.7	2.1	0.5	1.8	1.0	1.0	3.0	0.0	0.6	1.5	0.5	2.4	5.6	3.0	0.0	0.6	1.5	0.5	2.4	5.6
Q08-17	印刷教材には、ノートやメモ用の余白が必要	2.17	2.56	2.30	2.34	2.08	2.19	2.00	2.00	2.46	2.25	2.27	1.92	2.13	1.90	2.00	2.46	2.25	2.27	1.92	2.13	1.90	2.00
1	必要だ	963	75	54	47	67	204	226	290	201	106	162	197	195	84	18	201	106	162	197	195	84	18
2	必要だ	30.6	17.3	13.0	25.5	28.4	28.3	39.0	39.0	19.4	25.5	27.2	43.7	30.8	36.9	44.4	19.4	25.5	27.2	43.7	30.8	36.9	44.4
3	必要だ	29.4	24.0	31.5	31.9	32.8	31.9	27.6	27.6	27.4	30.2	29.6	25.9	31.3	38.1	22.2	27.4	30.2	29.6	25.9	31.3	38.1	22.2
4	必要だ	32.2	44.0	48.1	29.8	38.8	27.9	31.9	28.3	40.8	38.7	32.1	25.4	31.8	22.2	22.2	40.8	38.7	32.1	25.4	31.8	22.2	22.2
	必要だ	7.8	14.7	7.4	12.8	11.9	6.4	8.0	5.2	12.4	5.7	11.1	5.1	6.2	2.4	11.1	12.4	5.7	11.1	5.1	6.2	2.4	11.1
Q08-18	印刷教材には、講師の研究上のエピソードが必要	2.21	2.21	2.19	2.35	2.17	2.14	2.24	2.24	2.23	2.17	2.20	2.19	2.31	2.10	2.11	2.23	2.17	2.20	2.19	2.31	2.10	2.11
1	必要だ	974	77	54	48	70	207	229	289	206	109	163	199	193	86	18	206	109	163	199	193	86	18
2	必要だ	14.8	22.1	20.4	10.4	15.7	16.9	11.8	13.1	18.9	13.8	15.3	14.1	10.4	15.1	22.2	18.9	13.8	15.3	14.1	10.4	15.1	22.2
3	必要だ	53.1	41.6	42.6	52.1	52.9	54.6	55.5	55.4	44.2	58.7	50.9	56.8	54.4	61.6	44.4	44.2	58.7	50.9	56.8	54.4	61.6	44.4
4	必要だ	28.3	29.9	35.2	29.2	30.0	26.6	29.7	26.3	32.0	24.8	32.5	25.1	29.0	20.9	33.3	32.0	24.8	32.5	25.1	29.0	20.9	33.3
	必要だ	3.8	6.5	1.9	8.3	1.4	1.9	3.1	5.2	4.9	2.8	1.2	4.0	6.2	2.3	0.0	4.9	2.8	1.2	4.0	6.2	2.3	0.0
Q08-19	印刷教材には、放送番組制作上のエピソードが必要	2.69	2.58	2.74	2.90	2.65	2.58	2.75	2.72	2.70	2.59	2.70	2.67	2.77	2.60	2.78	2.70	2.59	2.70	2.67	2.77	2.60	2.78
1	必要だ	965	76	53	48	68	205	227	288	202	107	162	197	194	85	18	202	107	162	197	194	85	18
2	必要だ	5.3	10.5	3.8	4.2	8.8	5.4	4.4	4.2	6.9	8.4	5.6	4.6	3.1	4.7	0.0	6.9	8.4	5.6	4.6	3.1	4.7	0.0
3	必要だ	29.9	32.9	26.4	18.8	25.0	38.5	26.0	29.9	26.7	29.9	27.8	34.5	27.3	37.6	27.8	26.7	29.9	27.8	34.5	27.3	37.6	27.8
4	必要だ	55.3	44.7	62.3	60.4	58.8	48.8	59.9	56.3	55.4	56.1	58.0	50.3	58.8	50.6	66.7	55.4	56.1	58.0	50.3	58.8	50.6	66.7
	必要だ	9.4	11.8	7.5	16.7	7.4	7.3	9.7	9.7	10.9	5.6	8.6	10.7	10.8	7.1	5.6	10.9	5.6	8.6	10.7	10.8	7.1	5.6
Q08-20	印刷教材には、講師の履歴や業績の紹介が必要	2.24	2.36	2.28	2.46	2.46	2.22	2.22	2.16	2.36	2.28	2.29	2.18	2.22	2.07	2.06	2.36	2.28	2.29	2.18	2.22	2.07	2.06
1	必要だ	966	75	54	48	68	204	228	289	202	107	160	198	196	86	17	202	107	160	198	196	86	17
2	必要だ	13.9	20.0	16.7	4.2	11.8	11.3	13.2	16.3	13.9	15.0	9.4	12.1	14.8	19.8	29.4	13.9	15.0	9.4	12.1	14.8	19.8	29.4
3	必要だ	52.3	32.0	46.3	54.2	36.8	59.3	56.6	53.6	43.6	46.7	56.9	60.6	52.0	55.8	35.3	43.6	46.7	56.9	60.6	52.0	55.8	35.3
4	必要だ	29.5	40.0	29.6	33.3	45.6	26.0	25.4	28.0	35.1	33.6	29.4	24.2	29.6	22.1	35.3	35.1	33.6	29.4	24.2	29.6	22.1	35.3
	必要だ	4.3	8.0	7.4	8.3	5.9	3.4	4.8	2.1	7.4	4.7	4.4	3.0	3.6	2.3	0.0	7.4	4.7	4.4	3.0	3.6	2.3	0.0

付表-6 1987年度放送大学学生教材調査 87年度1学期在籍全科履修生学習状況別結果一覧(その8)

	全 科 生 総 計	学 習 状 況			学 習 評 価			学 習 分 類								
		無 登 録	無 資 格	無 受 験	合 格 0--1	合 格 2--5	合 格 6--9	合 格 10--	無 受 験	0-- 50	50-- 60	60-- 70	70-- 80	80-- 90	90-- 100	
Q08-21 印刷教材には、講師のひとりの紹介が必要	平均値	2.36	2.40	2.34	2.60	2.43	2.28	2.34	2.36	2.43	2.37	2.31	2.30	2.39	2.32	2.33
	有効回数	965	75	53	48	68	204	228	289	201	107	162	197	195	85	18
	%	10.8	14.7	11.3	4.2	10.3	10.8	11.0	10.7	10.4	11.2	12.3	10.7	8.7	11.8	16.7
	必要だったほうがよい	48.1	38.7	49.1	41.7	42.6	53.9	48.7	48.1	43.3	44.9	50.0	52.8	49.2	48.2	38.9
	必要だったほうがよい	35.5	38.7	34.0	43.8	41.2	31.4	35.5	35.3	38.8	39.3	32.1	32.0	35.9	36.5	38.9
4 ないほうがよい	5.6	8.0	5.7	10.4	5.9	3.9	4.8	5.9	7.5	4.7	5.6	4.6	6.2	3.5	5.6	
Q08-22 印刷教材には、講師の顔写真が必要	平均値	2.47	2.59	2.40	2.73	2.60	2.38	2.51	2.42	2.57	2.46	2.44	2.39	2.52	2.36	2.50
	有効回数	963	75	53	48	68	203	227	289	201	107	162	197	193	85	18
	%	11.5	12.0	17.0	8.3	7.4	12.3	11.0	11.8	11.9	12.1	11.7	12.2	8.8	12.9	16.7
	必要だったほうがよい	37.5	28.0	35.8	25.0	35.3	43.3	35.2	40.5	30.3	37.4	38.9	41.1	39.9	41.2	22.2
	必要だったほうがよい	43.4	49.3	37.7	52.1	47.1	38.4	45.8	42.2	46.3	43.0	42.6	42.6	41.5	42.4	55.6
4 ないほうがよい	7.6	10.7	9.4	14.6	10.3	5.9	7.9	5.5	11.4	7.5	6.8	4.1	9.8	3.5	5.6	
Q09 放送大学における放送教材と印刷教材の望ましい関係(択一)	放送回数	983	79	54	48	70	209	232	291	208	109	164	200	197	87	18
	%	22.7	32.9	29.6	16.7	25.7	26.3	21.1	17.5	28.8	25.7	24.4	21.5	19.8	13.8	5.6
	互いに相互に	1.5	1.3	0.0	0.0	2.9	1.4	2.2	1.4	0.5	1.8	2.4	0.5	2.5	2.3	0.0
	放送教材を主体	20.1	30.4	37.0	16.7	17.1	19.6	18.1	17.5	27.4	20.2	17.7	18.0	18.3	14.9	27.8
	印刷教材を主体	51.5	32.9	31.5	58.3	51.4	48.3	54.7	58.8	39.9	47.7	51.8	57.5	53.3	64.4	55.6
5 その他	4.2	2.5	1.9	8.3	2.9	4.3	3.9	4.8	3.4	4.6	3.7	2.5	6.1	4.6	11.1	
Q10 今後放送大学で、重点を置いてほしい科目のタイプ(択一)	放送回数	980	78	54	47	70	209	232	290	206	109	163	200	197	87	18
	%	23.9	21.8	24.1	31.9	34.3	25.4	22.8	20.3	25.7	28.4	28.2	23.5	20.3	17.2	11.1
	教養科目	20.6	30.8	16.7	17.0	17.1	16.3	24.1	20.3	22.8	12.8	18.4	20.0	23.4	27.6	5.6
	総合科目	31.9	29.5	40.7	40.4	32.9	39.7	28.4	26.6	34.5	45.0	30.1	30.0	24.4	29.9	55.6
	専門科目	20.5	15.4	11.1	8.5	14.3	15.8	22.8	28.6	13.6	11.9	19.6	25.5	27.4	21.8	22.2
5 その他	3.1	2.6	7.4	2.1	1.4	2.9	1.7	4.1	3.4	1.8	3.7	1.0	4.6	3.4	5.6	

資料 1 1986年度『放送大学放送教材に関する調査』の原票

放送大学放送教材に関する調査

放送教育開発センター・放送大学学園

この度、放送教育開発センターと放送大学では、放送を利用して行う教育の内容及び方法等の研究開発の一環として、放送大学の放送教材を国公私立大学等諸機関に配布し、幅広い見地からの御意見を賜り、放送教材の活用の可能性を模索するとともに、放送教材の改善のための基礎資料を得たいと考えております。本調査は、その放送教材の利用可能性、及び、番組の評価について皆様の御意見をいただくことを目的とするものです。皆様のお手元に配布されました放送教材及び印刷教材をご覧いただきまして、それについての以下の質問に答え下さいますようお願い申し上げます。

放送大学は発足してまだ日が浅く、いろいろな教材利用の可能性の開発と、不十分な点についての改善を志しております。皆様の率直な御意見をお聞かせ願えれば幸いです。これからの放送教育の発展のための貴重な資料とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

※最初に、下記の欄に、性別・生年月日・年齢・所属・職位・専門分野などについてご記入下さい。なお、「所属大学等」の欄には所属する機関名を、また、「学部及び学科」の欄には、所属する部署を、「学科」のレベルまで詳しくお書き下さい。

男・女	生年月日	年	月	年齢	満	歳
所属大学等	学部及び学科					
職種・職位	専攻・専門分野					

記入方法 以下の質問事項のそれぞれについて、もっとも適当と思われる項目の番号を○で囲んで下さい。特にことわりのないかぎり、○をつける数は1つだけです。また、「その他」という項目には、その番号に○をつけた上で、該当する事項を所定の空欄にご記入下さい。さらに、率直な御意見をお書き下さい。

なお、回答結果は、すべて統計的に処理されますので、個人のお名前が出ることは決してありません。御自由にお答え下さいますようお願い致します。

また、該当する部分については、記入もれがありませんよう御注意下さい。この調査は、1つの放送授業についてお答えいただくもので、いくつかの放送授業を併せて視聴された方は、それぞれ別の調査用紙に御回答下さるようお願い申し上げます。

Q 0 1. あなたの視聴された放送教材は以下のどれですか。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 地球と宇宙 | 2 日本の自然 |
| 3 生活と芸術 | 4 心理学概論 I |
| 5 基礎化学 | 6 英語 I |
| 7 住居 I | 8 食物総論 |
| 9 乳幼児の健康と心理 | 10 日常生活と法 |
| 11 日本経済史 | 12 経営管理 II |
| 13 計測と制御 | 14 宗教理論と宗教史 |
| 15 脳と行動 | 16 データ解析法 |
| 17 人間の歴史 | 18 人間と社会 |
| 19 哲学の基礎 | 20 国家と法 I |
| 21 英語 II - A | 22 英語 II - B 1 |
| 23 英語 II - B 2 | 24 中国語 |
| 25 青少年の保健 I | 26 児童の心理と教育 |
| 27 教育思想 | 28 政治思想 I |
| 29 中小企業論 | 30 流通と商業 |
| 31 和文古典 I | 32 物理科学史 |

Q 0 2. あなたは、その放送教材をどの程度視聴しましたか。

- 1 1 5 週分すべて視聴した
- 2 1 5 週分のうち 1 2 ～ 1 4 週分くらい視聴した
- 3 1 5 週分のうち 9 ～ 1 1 週分くらい視聴した
- 4 1 5 週分のうち 6 ～ 8 週分くらい視聴した
- 5 1 5 週分のうち 3 ～ 5 週分くらい視聴した
- 6 1 5 週分のうち視聴したのは 2 週分以下であった

Q 0 3. あなたは、その放送教材をどのように視聴しましたか。

- 1 かなりじっくりと視聴した
- 2 ある程度じっくりと視聴した
- 3 あまりじっくりとは視聴しなかった
- 4 はほとんど表面的に流しただけだった

Q 0 4. あなたの所属される機関では、視聴覚設備がどの程度利用できますか。

- | A. テレビ | | B. ビデオ | |
|--------|-------------|--------|-------------|
| 1 | 利用するのが容易である | 1 | 利用するのが容易である |
| 2 | ある程度利用できる | 2 | ある程度利用できる |
| 3 | 利用するのが難しい | 3 | 利用するのが難しい |
-
- | C. ラジオ | | D. オーディオ・テープ・レコーダー | |
|--------|-------------|--------------------|-------------|
| 1 | 利用するのが容易である | 1 | 利用するのが容易である |
| 2 | ある程度利用できる | 2 | ある程度利用できる |
| 3 | 利用するのが難しい | 3 | 利用するのが難しい |

Q 0 5. あなたの視聴された放送教材は、以下のどのような形式に近いかと思われるか。

- 1 講師 1 人の形式
- 2 アナウンサーなどの聞き手に講師が答える形式
- 3 講師が聞き手となる対談形式
- 4 ゲスト中心で講師がそのまゝとめをする形式
- 5 講師を中心に何人かのゲストがディスカッションする形式
- 6 講師の出演がないドキュメンタリー形式
- 7 その他 ()

Q 0 6. あなたの視聴された放送教材について、さまざまな観点から評価をしていただきます。以下にあげるそれぞれの観点について、あなたがもっとも適当と思われる段階を、右の 5 つの中から選んで、その番号を○で囲んで下さい。なお、ラジオ教材で該当しない場合には、9 に○をつけて下さい。

- | | | | | | | |
|-------------------------------|---|---|---|---|---|---|
| A. 講師の登場している時間..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 9 |
| B. 黒板、パネルなどの利用頻度..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 9 |
| C. コンピュータ・グラフィックやアニメーションの利用頻度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 9 |
| D. 図版 (フリップ) の利用頻度..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 9 |
| E. ビデオ、オーディオ・テープ等の教材視聴教材の利用頻度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 9 |
| F. 実験等のデモンストレーションの導入頻度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 9 |

Q07. 以上のA～Sの放送教材に関する評価の観点の中で、あなたが視聴された放送教材を改善するために重要と思われる点を選び、以下の該当する記号を○で囲んで下さい。○の数はいくつでも結構です。また、以上の観点の他に、その放送教材の改善に重要と思われるものがあれば、「その他」の欄に御自由にお書き下さい。

G. 寸劇などの利用頻度.....	1	2	3	4	5	9
H. 講師以外のゲストの登場時間.....	1	2	3	4	5	
I. 印刷教材を参照する頻度.....	1	2	3	4	5	
J. 演習問題などの利用頻度.....	1	2	3	4	5	
K. 講義内容の分量.....	1	2	3	4	5	
L. 内容を説明する時間.....	1	2	3	4	5	
M. 視聴者に考えさせる時間.....	1	2	3	4	5	
N. 息抜きの時間.....	1	2	3	4	5	
O. 1回の講義時間.....	1	2	3	4	5	
P. 視聴者に問いかけをする頻度.....	1	2	3	4	5	
Q. 実物資料等の提示頻度.....	1	2	3	4	5	9
R. 事実を証言する証人の登場頻度...	1	2	3	4	5	
S. 実地見学シーンの導入頻度.....	1	2	3	4	5	9

A. 講師の登場時間 B. 黒板等の利用頻度 C. アニメ等の利用頻度
D. 図版の利用頻度 E. VTR等の利用頻度 F. 実験等の導入頻度
G. 寸劇等の利用頻度 H. ゲストの登場時間 I. 印刷教材の参照頻度
J. 演習問題の利用頻度 K. 講義内容の分量 L. 内容の説明時間
M. 視聴者の考慮時間 N. 息抜きの時間 O. 1回の講義時間
P. 問いかけの頻度 Q. 実物資料の提示頻度 R. 証人の登場頻度
S. 実地見学シーンの頻度
X. その他

Q 08. 放送教材の講師について、以下にあげる観点から、その印象の強弱を5段階評定して下さい。

(I) 講師のパーソナリティについての印象

	1	2	3	4	5
	非強	強	どい ちえ ない	弱	非弱
	常	い	らな い	い	常
	にい		も		にい
A. 派手な印象が.....	1	2	3	4	5
B. 清潔な印象が.....	1	2	3	4	5
C. 活動的な印象が.....	1	2	3	4	5
D. 親しみやすいという印象が.....	1	2	3	4	5
E. 暖かいという印象が.....	1	2	3	4	5
F. 厳しいという印象が.....	1	2	3	4	5
G. 緊張しているという印象が.....	1	2	3	4	5

(II) 講師の講義の進め方・話し方についての印象

	1	2	3	4	5
	非強	強	どい ちえ ない	弱	非弱
	常	い	らな い	い	常
	にい		も		にい
H. 話すスピードが遅いという印象が.....	1	2	3	4	5
I. 話し方が明瞭であるという印象が.....	1	2	3	4	5
J. 言葉遣いが硬いという印象が.....	1	2	3	4	5
K. 間の取り方がよいという印象が.....	1	2	3	4	5

	1	2	3	4	5
	非強	強	どい ちえ ない	弱	非弱
	常	い	らな い	い	常
	にい		も		にい
L. 表現力が豊かであるという印象が.....	1	2	3	4	5
M. ユーモアがあるという印象が.....	1	2	3	4	5
N. 説得力があるという印象が.....	1	2	3	4	5
O. わかりやすいという印象が.....	1	2	3	4	5
P. 話術が巧みであるという印象が.....	1	2	3	4	5
Q. まわりくどい話し方という印象が.....	1	2	3	4	5
R. すっきりした話し方である印象が.....	1	2	3	4	5
S. 素材の提示の仕方が適切という印象が	1	2	3	4	5

Q 09. 以上のA～Sの講師に関する観点の中で、視聴された放送教材を改善するために重要と思われる点を選び、以下の該当する記号を○で囲んで下さい。
 ○はいくつつけても結構です。また、以上の他に、何か講師に関する観点で重要なものがあれば、「その他」の欄に御自由にお書き下さい。

A. 派手さ	B. 清潔感	C. 活動性	D. 親しみやすさ
E. 暖かさ	F. 厳しさ	G. 緊張の度合	H. 話すスピード
I. 話し方の明瞭さ	J. 言葉遣いの硬さ	K. 間の取り方	L. 表現力の豊さ
M. ユーモア	N. 説得力	O. わかりやすさ	P. 話術の巧みさ
R. まわりくどさ	S. すっきりさ	Q. 素材提示の適切性	
X. その他.....			

Q10. あなたが視聴された放送教材（講義・番組）に関する以下の意見について、あなたはどのように思われますか。右にあける5つの段階から、あなたのご意見にもっとも近いと思われる段階を選んで、その番号に○をつけて下さい。

	1	2	3	4	5
	非 常 に 思 う	や そ う 思 う	ど い ち え な い も	や 思 わ な い う	非 常 に 思 う
1. 扱っている内容の範囲は適切である……	1	2	3	4	5
2. 内容が専門的である……	1	2	3	4	5
3. 単位数にふさわしい内容である……	1	2	3	4	5
4. 面白い番組である……	1	2	3	4	5
5. 役に立つ番組である……	1	2	3	4	5
6. わかりやすい番組である……	1	2	3	4	5
7. 講義の概要が最初に適切に示されている…	1	2	3	4	5
8. まとめが要所で適切になされている……	1	2	3	4	5
9. どこが重要なポイントかがよくわかる……	1	2	3	4	5
10. 講義の流れに適当な緩急のリズムがある…	1	2	3	4	5
11. 1回分の講義の情報量は適切である……	1	2	3	4	5
12. 視聴者の動機づけを高める工夫がある……	1	2	3	4	5
13. 視聴者自身に考えさせる工夫がある……	1	2	3	4	5
14. 視聴者が抱きそうな疑問への説明がある…	1	2	3	4	5

	1	2	3	4	5
	非 常 に 思 う	や そ う 思 う	ど い ち え な い も	や 思 わ な い う	非 常 に 思 う
15. 内容が盛りだくさんである……	1	2	3	4	5
16. 利用メディアの特性が活かされている……	1	2	3	4	5
17. 視聴者への問いかけが適切である……	1	2	3	4	5
18. 新しい概念の導入は適切に行われている…	1	2	3	4	5
19. 具体例が適切に取り入れられている……	1	2	3	4	5
20. 講義の流れに変化が乏しい……	1	2	3	4	5
21. 必要以上に専門用語が使われている……	1	2	3	4	5
22. 印刷教材と適切に関連している……	1	2	3	4	5
23. 図表などが適切に利用されている……	1	2	3	4	5
24. 内容が実用的である……	1	2	3	4	5
25. 内容のレベルは適切である……	1	2	3	4	5
26. 講義の進度は適当である……	1	2	3	4	5
27. 1回の講義時間の長さは適当である……	1	2	3	4	5
28. 中途に息抜きの時間が適度に入っている…	1	2	3	4	5
29. カリキュラムの組み方は適切である……	1	2	3	4	5
30. 興味深い番組である……	1	2	3	4	5

Q11. 以上の他に、あなたが視聴された放送教材について、何かご意見がありま
したら、以下に何なりとお書き下さい。特に、是非改善すべき点を御指摘下
されば幸いです。

1	2	3	4	5	
非 常 に 思 う	や そ う 思 う	ど い ち え ら な い も	や 思 え わ そ な い う	非 思 常 に な い う	
331. 何らかの形で利用価値のある教材である…	1	2	3	4	5
332. 生活に密着した題材を扱っている…	1	2	3	4	5
333. 時宜を得た素材を利用している…	1	2	3	4	5
334. 実社会での実務に応用できる内容である…	1	2	3	4	5
335. 基本が身につく講義である…	1	2	3	4	5
336. 一般の大学にはない内容が含まれている…	1	2	3	4	5
337. 講師の人は適切である…	1	2	3	4	5
338. 講義の進度が速い…	1	2	3	4	5
339. 全体の講義の分量は適当である…	1	2	3	4	5
440. 図表などの提示に工夫がある…	1	2	3	4	5
441. 印刷教材が充実している…	1	2	3	4	5
442. 改善の余地が多い番組である…	1	2	3	4	5
443. 印刷教材にも少し工夫が欲しい…	1	2	3	4	5
444. 印刷教材に演習などが適切に含まれている	1	2	3	4	5
445. 放送は学習のベース作りに役だっている…	1	2	3	4	5
446. 全体的に満足いく番組である…	1	2	3	4	5

Q12. あなたが視聴された放送教材の中で、あなたの印象に残っている点があり
ましたら、以下に具体的に列挙して下さい。

Q13. この放送教材を、何らかの形で今後利用するということがあれば、以下のどのような利用法が考えられますか。該当する項目にいくつでも○をつけて下さい。

- 1 授業で全面的に利用してみたい
- 2 授業の参考資料として適宜利用したい
- 3 研究材料として自分の研究に利用したい
- 4 図書室・視聴覚室などで学生等の自主的な利用に供したい
- 5 利用したいと思わない(理由:)
- 6 その他()

Q14. もし、この講義を、あなたの所属する学校の単位で置き換えるとしたら、どのようなコース(教養・専門)または条件で、何単位程度を与えることができるでしょうか。また、その理由もお書き下さい。なお、単位を与えることができないという場合には、単位数に0を記入し、その理由をお書き下さい。

コース・条件等

単位数 ----- 単位

【理由】

Q15. もし、このような放送教材を、今後、あなたの所属される機関で利用するとすれば、どのような放送教材が望ましいとお考えですか。あったらよいと思われる講義の種類、番組の形態など、具体的に教えてください。

【講義の種類】

【番組の形態】

Q16. その他、本調査において、何かお気づきの点があれば、以下に御自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。
何か不明の点がございましたら、下記へお問い合わせ下さい。
放送教育開発センター 研究協力課 連携協力係
TEL 0472-76-1111 内2214・2215

資料2 1987年度『放送大学教材についての学生調査』の原票

放送大学教材についての学生調査

昭和62年8月

放送大学学園・放送教育開発センター

この調査は、放送大学の教育体制やカリキュラムをより充実させるため、放送大学の番組や種々の教材に対する学生のみなさまのご意見やご感想などを伺うことを目的として行なわれるものです。もちろん調査の結果はすべて統計的に処理され、あなたのお名前や個人的なご意見が公けにされることは決してありませんし、また結果が成績などに関係することはありません。

放送大学が発足して2年余りが経過しましたが、まだまだ不十分な点があるとお感じのことと存じます。どうぞご遠慮なく、忌憚のないご意見をお聞かせください。これからこの若い放送大学をよりよいものにしていくための貴重な資料とさせていただきます。

なお、集計の都合上、記入されました調査票はご面倒でも9月15日までに同封の返信用封筒に入れてご投函くださいますようお願い申し上げます。切手をはる必要はありません。

○この調査票の裏にはりつけてあります住所・氏名・学生証番号のタッグは、みなさまそれぞれの性別・年齢・入学年度等を正確に知り、回答上の負担を軽くするために必要なのです。それ以外の目的のためには決して用いられることはありません。このタッグをはがしたり、読めなくなるほど汚れたりされますと、せっかくのご回答が無効になることもありますので、その趣旨をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

記入の仕方 これから質問させていただく事柄のそれぞれについて、あなたに最もあてはまると思われる項目の番号に○を付けてください。特にことわり書きのない限り、○をつける数は1つだけです。また、自由回答欄やその他の余白には、もし該当事項があれば自由にお書きください。なお、回答結果は機械的に処理いたしますので、記入もれの項目がありまるとその他の回答が無効となる場合があります。どうか記入もれがないようお願いいたします。

○Q1からQ14までは、放送大学の教材一般についてのご質問です。放送大学で学ばれての全体的な印象でお答えください。

Q1. あなたは、放送大学における学習方法の効果について、どのようにお考えですか。

(ア)～(カ)のそれぞれの内容について、左の5つの段階からもっとも近いものを1つ選んで○をつけてください。なお、質問の内容についてあなたがそれをまったく経験していない場合には、○をつける必要はありません。

	そう 思う	やや 思う	どちら いらい ない	まあ 思わ ない	そう 思わ ない
(ア) 全体的にみて、放送大学のテレビによる講義は、学習を進める上で効果的である	1	2	3	4	5
(イ) 全体的にみて、放送大学のラジオによる講義は、学習を進める上で効果的である	1	2	3	4	5
(ウ) 全体的にみて、放送大学のテキスト（印刷教材）は学習を進める上で効果的である	1	2	3	4	5
(エ) 全体的にみて、放送大学の通信指導は学習を進める上で効果的である	1	2	3	4	5
(オ) 全体的にみて、放送大学の単位認定試験は学習を進める上で効果的である	1	2	3	4	5
(カ) 全体的にみて、放送大学の面接授業は学習を進める上で効果的である	1	2	3	4	5

Q2. あなたは、面接授業や単位認定試験、学生証の交付以外に、62年4月から今までに（つまり約5か月間に）学習センターをどの程度利用しましたか。

- 1 全く利用しなかった 2 1～5回程度利用した
3 6～10回程度利用した 4 11～15回程度利用した
5 16回以上利用した

Q3. あなたは、放送大学での学習に関して次にあげるような学習設備や教育機会をどの程度利用していますか。それぞれの項目についてあなたの利用の程度をお答えください。

	よく利用する	たまに利用する	あまり利用しない	まったく利用しない
(ア) 学習センターの番組再視聴設備	1	2	3	4
(イ) 学習センターの実験設備	1	2	3	4
(ウ) 学習センターの図書館	1	2	3	4
(エ) 公立図書館など学習センター以外の図書館	1	2	3	4
(オ) 学習センターでの学習相談	1	2	3	4
(カ) 通信指導問題の最後のページにある質問票	1	2	3	4
(キ) 放送大学内のサークル活動や勉強会	1	2	3	4

Q4. あなたのお宅では放送大学の番組を支援なく受信することができますか。

テレビ …… 1 はっきり受信できる 2 何とか受信できる 3 受信できない
ラジオ …… 1 はっきり受信できる 2 何とか受信できる 3 受信できない

Q5. 次のような再視聴設備について、あなたの身近に利用できるものがありますか。

ビデオデッキ …… 1 身近にある 2 身近にない
テープレコーダー …… 1 身近にある 2 身近にない

Q6. あなたは日常どのように放送大学の教材を学習していらっしゃいますか。あなたの学習の仕方にもっとも近い型を、テレビ科目とラジオ科目とラジオリ科目にわけて次の中から1つずつ選び、○をつけてください。

A. テレビ科目（テレビ科目を履修した経験がない場合は回答の必要はありません）

1. 放送教材を視聴する前後に、印刷教材で予習・復習する（予習・復習型）
2. 印刷教材で予習した後、放送教材を視聴する（予習型）
3. 放送教材を視聴した後、印刷教材で復習する（復習型）
4. 放送教材を視聴しながら同時に印刷教材で学習する（同時型）
5. 主に放送教材だけで学習する（放送中心型）
6. 主に印刷教材だけで学習する（テキスト中心型）
7. その他（以下の余白に自由にお書き下さい）

B. ラジオリ科目（ラジオ科目を履修した経験がない場合は回答の必要はありません）

1. 放送教材を視聴する前後に、印刷教材で予習・復習する（予習・復習型）
2. 印刷教材で予習した後、放送教材を視聴する（予習型）
3. 放送教材を視聴した後、印刷教材で復習する（復習型）
4. 放送教材を視聴しながら同時に印刷教材で学習する（同時型）
5. 主に放送教材だけで学習する（放送中心型）
6. 主に印刷教材だけで学習する（テキスト中心型）
7. その他（以下の余白に自由にお書き下さい）

Q7. あなたにとって学習する上でもっともものぞましいと思われる放送大学の教材の組み合わせはどのようなものですか。次の中から1つだけ選び、○をつけてください。

1. 放送教材+印刷教材+通信指導+面接授業+単位認定試験
2. 放送教材+印刷教材+通信指導+面接授業
3. 放送教材+印刷教材+面接授業
4. 放送教材+印刷教材
5. 放送教材+面接授業
6. 印刷教材+面接授業
7. 放送教材のみ
8. 印刷教材のみ

Q8. 印刷教材のあり方についておたずねします。印刷教材の内容として、次のような部分はどの程度必要だと思われますか。

	必要だ	あつたほうがいい	なくてもよい	ないほうがいい
○本文の内容について				
a) 放送で取り上げる内容そのものの記述	1	2	3	4
b) 放送では取り上げないがテーマに関連した内容の記述	1	2	3	4
c) 放送番組を理解するための予備知識	1	2	3	4
d) 放送番組視聴のためのポイントの解説	1	2	3	4
e) 専門用語やキー・ワードの解説	1	2	3	4
○本文に付随する部分について				
f) 講座各回のねらいや学習の到達目標	1	2	3	4
g) 各回ごとのまとめや要約	1	2	3	4
h) 練習問題	1	2	3	4
i) 参考資料	1	2	3	4
j) 参考文献のリスト	1	2	3	4
k) 参考文献や資料の検索法	1	2	3	4
○本文の理解を助ける工夫について				
l) 図表	1	2	3	4
m) 小見し	1	2	3	4
n) 索引	1	2	3	4
o) 写真	1	2	3	4
p) イラスト	1	2	3	4
q) ノートやメモ用の余白	1	2	3	4
○その他				
r) 講師の研究上のエピソード	1	2	3	4
s) 放送番組制作上のエピソード	1	2	3	4
t) 講師の履歴や業績の紹介	1	2	3	4
u) 講師の人となりの紹介	1	2	3	4
v) 講師の顔写真	1	2	3	4

Q9. 全体的にみて、放送大学の放送教材と印刷教材の関係はどのようなものが望ましいとお考えですか。次の中から1つだけ選び、○をつけてください。

1. 共に同じ内容とし、互いに重複しているものがよい。
2. 両方の内容が異なっていて、互いに独立しているものがよい。
3. 放送教材を主体とし、印刷教材で不足を補うようなものがよい。
4. 印刷教材を主体とし、放送教材で不足を補うようなものがよい。
5. その他（以下の余白に自由にお書き下さい）

Q10. あなたは、今後放送大学でどのようなタイプの科目に重点を置いてほしいと思いますか。特に重点を置いてほしいと思われるものを次の中から1つだけ選び、○をつけてください。

- 1 専門的な学問の内容をわかりやすく解説するような科目（教養科目）
- 2 特定の主題に対して色々な専門分野から総合的にアプローチするような科目（総合科目）
- 3 専門的な学問を深く学習するために必要な基礎の習得を目的とした科目（専門基礎科目）
- 4 専門的な学問の科目（専門科目）
- 5 その他（以下の余白に自由にお書き下さい）

Q11. あなたがこれまで履修、または視聴した放送大学の科目の中で、特によかったと思われるものを具体的にあげてください。いくつでも結構です。

Q12. あなたがこれまで履修、または視聴した放送大学の科目の中で、あまりよくなかったと思われるものを具体的にあげてください。いくつでも結構です。

Q13. 今後、放送大学で開講したらよいと思われる科目のテーマを具体的にあげてください。

(例－国際交流を中心とした日本史、財産の相続に関する法律問題、パソコン実技、先端技術と現代社会、論文を書くための英語講座、等々)

Q14. 放送教材や印刷教材等について何かご意見やご感想があれば以下の余白にお書きください。もし特定の科目についての意見や感想である場合、科目名がわかるようにお願いします。

○ここからあとの回答は後に折り込んで記入してください。

Q15. 次の放送教材の中で、あなたがこの1年間（61年度2学期から62年度1学期まで）に学習されたものがあるでしょうか。ある場合には、学習されたそれぞれの放送教材について各項目ごとにあなたのご意見に最も近いと思われる段階を1つずつ選び、1～5の数字を後に折り込んである表の中にお書き込みください。なお、学習されている、単位を取得されていないにもかかわらずありません。

人間の歴史		英語 I		住居 I		日本経済史	
基本	生活と芸術	英語 II-A	青少年の保健 I	経営管理 II	計測と制御	流通と商業	宗教理論と宗教史
・	人間と社会	英語 II-B1	食物総論	和文古典 I	物理科学史	脳と行動	データ解析法
・	地球と宇宙	英語 II-B2	教育思想	乳幼児の健康と心理	政治思想 I	中小企業論	
・	日本の自然	中国語	児童の心理と教育	日常生活と法			
・	哲学の基礎		日常生計と法				
・	心理学概論 I		政治思想 I				
・	国家と法 I		中小企業論				
・	基礎化学						

回答は後に折り込んである表にまとめて数字で科目毎に記入してください。

人間と社会		英語 I		住居 I		日本経済史	
(ア) わかりやすい番組である	1	2	3	4	5		
(イ) どこが重要なポイントかがよくわかる	1	2	3	4	5		
(ウ) 講義の流れに適当なリズムがある	1	2	3	4	5		
(エ) 視聴者が抱きそうな疑問への説明がある	1	2	3	4	5		
(オ) 内容が盛りだくさんである	1	2	3	4	5		
(カ) 利用メディアの特性が活かされている	1	2	3	4	5		
(キ) 具体例が適切に取り入れられている	1	2	3	4	5		
(ク) 必要以上に専門用語が使われている	1	2	3	4	5		
(ケ) 印刷教材と適切に関連している	1	2	3	4	5		
(コ) 図表などが適切に使われている	1	2	3	4	5		
(サ) まとめが要所で適切に入っている	1	2	3	4	5		
(シ) 中途に息抜きの時間が適度に入っている	1	2	3	4	5		
(ス) 興味深い番組である	1	2	3	4	5		

回答は後に折り込んである表にまとめて数字で科目毎に記入してください。

人間と社会		英語 I		住居 I		日本経済史	
(セ) 生活に密着した題材を扱っている	1	2	3	4	5		
(ソ) 時宜を得た素材を利用している	1	2	3	4	5		
(タ) 講義の進度が速い	1	2	3	4	5		
(チ) 印刷教材が充実している	1	2	3	4	5		
(ツ) 印刷教材に演習などが適切に含まれている	1	2	3	4	5		
(テ) 放送は学習のペース作りに役立っている	1	2	3	4	5		
(ト) 全体的に満足のいく番組である	1	2	3	4	5		

○ご協力ありがとうございました。記入もれがございましたら、何なりと下記へお問い合わせください。なお、ご不明の点がございましたら、何なりと下記へお問い合わせください。

放送教育開発センター 研究協力課
TEL 0472-76-1111 (内線 2215)

学習された科目を つけてください	科目コード	科目名	メディア	1. 思う、 わかりやすい番組で ある	2. やや思う、 視聴者が抱きそうな 疑問への説明がある どこが重要なポイント かがよくわかる	3. どちらとも言えない、 必要以上に専門用語が 使われている	4. あまりそう思わない、 中途に息抜きの時間 が適度に入っている	5. そう思わない 講義の進度が速い、 時宜を得た素材を利用 している	印刷教材が充実して いる	印刷教材に演習等が 適度に含まれている	放送は学習のペース 作りに役立っている	全体的に満足する 番組である
1	11021	人間の歴史	R									
2	11050	生活と芸術	T									
3	12010	人間と社会	R									
4	13014	地球と宇宙	T									
5	13043	日本の自然	T									
6	21019	哲学の基礎	R									
7	21120	心理学概論 I	T									
8	22013	国家と法 I	R									
9	23053	基礎化学	T									
10	31012	英語 I	T									
11	31035	英語 II - A	R									
12	31041	英語 II - B1	R									
13	31058	英語 II - B2	R									
14	35010	中国語	R									
15	51061	住居 I	T									
16	51150	青少年の保健 I	R									
17	51285	食物総論	T									
18	52014	教育思想	R									
19	52304	乳幼児の健康と心理	T									
20	52310	児童の心理と教育	R									
21	53031	日常生活と法	T									
22	53090	政治思想 I	R									
23	53232	中小企業論	R									
24	53255	日本経済史	T									
25	54131	経営管理 II	T									
26	54272	計測と制御	T									
27	54310	流通と商業	R									
28	55171	宗教理論と宗教史	T									
29	55277	和文古典 I	R									
30	56012	物理科学史	R									
31	56213	脳と行動	T									
32	56319	データ解析法	T									